講義科目名称： 基礎演習Ⅱ　　授業コード： 10002

英文科目名称： Basic Exercise2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年次	2単位(30)	必修
担当教員			
第2学年担任			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 本学の建学の精神・教育目的に基づき、基礎演習Ⅰで行った初年次教育のステップアップを行う。基礎演習Ⅱにおいては、礼儀・挨拶、ボランティア活動、環境美化活動に自主的に取り組み、工夫できることを目指し、人間としての基礎的教養力と自律的実践能力を確実なものとする。基礎演習における学習の集大成である研究小論文の作成を行い、学士力の向上を図る。研究テーマを自主的に設定し、そのテーマを深めるのに適した研究方法に基づき、収集した資料を駆使して問題の構造等を明らかにしていく。同時に読書力、コミュニケーション能力、問題解決能力などを高め、専門演習への橋渡しとする。 【到達目標】 １．礼儀・挨拶、ボランティア活動、環境美化活動に自主的に取り組み工夫して行なうことができる。 ２．将来の看護職としての専門性を探求できる。 ３．課題解決に向けたコミュニケーション・協働する能力を身につける。
授業の概要	授業を①建学の精神と実践教育、②学習統合、③進路・資格取得、④地域貢献、⑤心身の健康の５つのプログラムから構成し、建学の精神に則り、ボランティア活動、環境美化活動、挨拶等の礼儀作法等に関する人間としての基礎的教養力と自律的実践能力を学習すると共に、グループ研究を行うことにより、読書力、問題解決能力、コミュニケーション能力を高め、学士力の向上を図る。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	○
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	○
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	建学の精神と実践プログラム①　科目オリエンテーション 【key words】 ・建学の精神　履修要件　単位　基礎演習Ⅱ授業概要 【授業概要】 ・2学年オリエンテーション ・学長訓話 ・各委員会より ・基礎演習Ⅱの目的・到達目標・内容 【教科書ページ・参考文献】 ・配布資料参照 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	建学の精神と実践教育プログラム②　修学ポートフォリオの確認と履修登録 【key words】 目標、活動計画、クラス運営委員会活動、自治活動、協働参画、環境美化活動、ボランティア活動、修学ポートフォリ 【授業概要】 修学ポートフォリオの確認と履修登録、看護学生の2年目をどう生きるかについて、自己目標の立案、学生の委員会の目標と具体的な活動内容を決める。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料参照 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第３回	進路、資格取得プログラム①　PSUテスト等

【key words】
PSUテスト、自己分析、性格、行動特性

【授業概要】
自己の基礎能力、性格的・意欲的・行動的・内面的・社会的特徴等の特性を分析し、今後の進路・資格取得に活用する。
【教科書ページ・参考文献】
・配布資料参照
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
30分

第４回　学士力育成プログラム②
【key words】
研究、テーマ、文献検索、SDG´S
【授業概要】
研究テーマ、文献検索の方法等について知る。
【教科書ページ・参考文献】
・配布資料参照
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第５回　学士力育成プログラム①　2年次国家試験対策ガイダンス
【key words】
学士力育成プログラム①　2年次国家試験対策ガイダンス
【授業概要】
具体的な学習方法について解説を行う。
【教科書ページ・参考文献】
・配布資料参照
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第６回　学士力育成プログラム③
【key words】
研究、テーマ、文献検索、SDG´S、グループワーク
【授業概要】
研究テーマをグループで明確にする。
【教科書ページ・参考文献】
・配布資料参照
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
60～180分

第７回　心身の健康プログラム①　親睦スポーツの参加（スポーツ、集団ゲーム等）
【key words】
スポーツ、交流、親睦
【授業概要】
スポーツ等を通して他学部学生との親睦を図る。
【教科書ページ・参考文献】
・配布資料参照
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第８回　学士力育成プログラム④
【key words】
研究、テーマ、文献検索、SDG´S、グループ学習
【授業概要】
興味関心のある領域のテーマを明確にし、グループで探究
研究目的・方法・結果・分析・考察の書き方について学する。

【教科書ページ・参考文献】
・配布資料参照
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第９回　学士力育成プログラム⑤
【key words】
研究、研究方法、考察、SDG´S、グループ学習
【授業概要】
グループ学習
研究目的・方法・結果・分析・考察としてまとめる
【教科書ページ・参考文献】
・配布資料参照
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

	60分 第１０回　建学の精神と実践教育プログラム③　接遇（実践編）　★接遇講師に依頼 【key words】 挨拶、態度、接遇、臨地実習 【授業概要】 看護職としての礼節、態度を養う。 【教科書ページ・参考文献】 ・配布資料参照 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１１回　学士力育成プログラム⑥ 【key words】 研究成果発表、SDG´S、グループ学習 【授業概要】 研究の成果発表を行う。 【教科書ページ・参考文献】 ・配布資料参照 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１２回　地域貢献プログラム①　リレーフォーライフ 【key words】 がん、制圧、コミュニケーション能力、行動力 【授業概要】 リレーフォーライフ・ジャパンへ参加し、参加者とのコミュニケーションを図る。 【教科書ページ・参考文献】 ・配布資料参照 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１３回　建学の精神と実践教育プログラム④ 【key words】 環境美化活動まとめ 【授業概要】 環境美化活動としての取り組みの工夫 【教科書ページ・参考文献】 ・配布資料参照 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１４回　地域貢献プログラム②　ボランティア活動のまとめ 【key words】 【key words】地域貢献、ボランティア活動、プレゼンテーション 【授業概要】 自身が体験したボランティア活動を通しての学びをまとめる 【教科書ページ・参考文献】 ・配布資料参照 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１５回　建学の精神と実践教育プログラム⑤　２年次の振り返り、3年次に向けての課題 【key words】 建学の精神、2年次総括（学習の成果の自己点検・自己評価）、修学ポートフォリオ 【授業概要】 2年次の1年間を振り返り、次年度に向けての自身の課題を明確にする。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料参照 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 １．基礎演習は本学の人間教育の要である。そのことに深く留意して取り組むこと。 ２．私語は慎み、出欠席の状況や受講態度等本学の学生にふさわしい態度で臨むこと。 ３．全体オリエンテーション等の学校行事は、建学の精神と実践教育プログラムに含まれるので必ず出席すること。 〔受講のルール〕 １．授業シラバスを必ず確認し、積極的に授業に臨むこと。 ２．授業を受ける際、課題に取り組む際には基礎演習Ⅰにおいて学習した内容（授業に臨む態度、

	ノートの取り方、レポート・論文の書き方、グループ　ワークのあり方など）を活用すること。 ３．資料の取り扱い。「授業で配布する資料の予備は保管しませんので，出席者からコピーをしてください」
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	研究テーマ・研究発表に関する資料収集・作成に要する時間は、授業時間外の活動が重要である。 グループワークはリーダーシップ・メンバーシップを発揮しながら学習していくことが重要である。
オフィスアワー	授業時に提示する。
評価方法	演習への取組・内容等、研究テーマの発表資料、クラス課題等の提出物を総合して評価する。
教科書	大学生からのスタディ・スキルズ「知へのステップ」　くろしお出版
参考書	授業の中で適宜紹介していく。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 総合演習Ⅰ　　授業コード：10005

英文科目名称： Comprehensive Exercise 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	３年次	1単位（30）	必修
担当教員			
第3学年担任			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 本学の建学の精神に基づき、基礎演習で身に付けた基礎学士力や問題解決能力等を基にして、高度な総合知識と豊かな人間性及び人間愛並びに奉仕の精神を備え、自立心と礼儀を重んじた世の中で役に立つ心豊かな学生を育成する。プレゼンテーション能力の向上を目指し、総合的な学士力を養成する。また、総合演習における集大成である卒業研究・制作では、総合演習Ⅱにおいて完成するべく、テーマの設定や資料収集等を積極的に行う。 【到達目標】 １．総合的知識と豊かな人間性・奉仕の精神を備え、自立心と礼儀を身につける。 ２．臨床実習における看護実践を通して、進路を明確化し具体化できる。 ３．看護学における問題解決学習（SDG’S）に取り組むことができる。
授業の概要	講義内容を①建学の精神と実践教育、②学士力育成、③進路・資格取得、④地域貢献、⑤心身の健康の５つのプログラムから構成し、建学の理念や教育方針にそって、ボランティア活動、環境美化活動、挨拶等の礼儀作法といった自立的実践能力を学習すると共に、身だしなみ等の生活指導、学習指導及び進路指導並びに学生生活全般にかかわる個別相談に対する助言・指導を行う。さらに総合的な学士力を養成することにより進路を明確にし、具体化させる。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	○
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	建学の精神と実践教育プログラム①　総合演習ガイダンス 【key words】 建学の精神、総合演習Ⅰ授業概要、3年次目標、年間計画 【授業概要】 3学年オリエンテーション、学長訓話、学部長講話、各委員会より、総合演習Ⅰ授業の目的・到達目標・内容について 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 生活基礎調査シート、環境調査票、自己目標等の提出物を期限内に提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間約60程度
	第２回	建学の精神と実践教育プログラム② 【key words】 クラス運営、委員会運営、就学ポートフォーリオ、3年次国家試験対策 【授業概要】 就学ポートフォリオの確認と履修登録、3年次委員会活動、国家試験対策の内容等。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 就学ポートフォリオの提出 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間約60程度
	第３回	建学の精神と実践教育プログラム③ 【key words】 各論臨床実習、看護職の倫理綱領、問題解決型学習、GW 【授業概要】

		各論臨床実習に向けての倫理教育　問題解決型学習 【教科書ページ・参考文献】 配付資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に配布されて実習要項に目をとおし、実習に向けた自身の準備を整える。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間約60程度
	第４回	学士力育成プログラム① 【key words】 看護学　SDG7S　問題解決学習 【授業概要】 看護学におけるSDG7S　問題解決学習1-1 【教科書ページ・参考文献】 配付資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間約60程度
	第５回	学士力育成プログラム② 【key words】 看護学　SDG7S　問題解決学習 【授業概要】 看護学におけるSDG7S　問題解決学習1-2 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間約60程度
	第６回	進路・資格取得プログラム① 【key words】 国家試験、ガイダンス 【授業概要】 国家試験に向けてのガイダンス 【教科書ページ・参考文献】 配付資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間約60程度
	第７回	心身の健康プログラム① 【key words】 交流　リフレッシュ 【授業概要】 親睦スポーツへの参加 【教科書ページ・参考文献】 配付資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間約60程度
	第８回	進路・資格取得プログラム② 【key words】 看護師国家試験、自己の進路 【授業概要】 メディカコンクール基礎学力判断チェックリスト 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間約60程度
	第９回	進路・資格取得プログラム③ 【key words】 インターンシップ、自己の進路 【授業概要】 インターンシップに向けての就職ガイダンス 【教科書ページ・参考文献】 配付資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間約60程度
	第１０回	進路・資格取得プログラム④ 【key words】 自己の進路 【授業概要】 課題に対する論文作成の詳細講義を受ける。 【教科書ページ・参考文献】 配付資料

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間約60程度 第１１回　学士力育成プログラム③ 【key words】 看護研究、研究発表 【授業概要】 4年生看護研究発表会への参加 【教科書ページ・参考文献】 配付資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各種提出物を期限内に提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間約60程度 第１２回　地域貢献プログラム① 【key words】 地域貢献、活動報告会 【授業概要】 SDG’S活動報告会（昌賢祭） 【教科書ページ・参考文献】 配付資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間約60程度 第１３回　進路取得プログラム④ 【key words】 キャリアデザイン、自己の進路の決定、GW 【授業概要】 後期就職マナー面接試験、問題解決型学習、自己の進路に向けた情報共有 【教科書ページ・参考文献】 配付資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間約60程度 第１４回　進路取得プログラム⑤ 【key words】 就活対策、国家試験対策、ピア活動（4年生との交流） 【授業概要】 4年生先輩からの就活・国家試験対策支援 【教科書ページ・参考文献】 配付資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 作文模試をとおして、自らの課題を明確にし課題解決のための手立てを探る。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間約60程度 第１５回　建学の精神と実践教育プログラム④ 【key words】 建学の精神、1年間の総括、自己点検・自己評価、就学ポートフォリオ 【授業概要】 総合演習Ⅰの総括 【教科書ページ・参考文献】 配付資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間約60程度
受講生に関わる情報および受講のルール	［受講に関わる情報］ 1 総合演習は、本学の人間教育の要である。そのことに深く留意して取り組むこと。 2 私語は慎み、出欠席の状況や受講態度等本学の学生にふさわしい態度で臨むこと。 3 全体オリエンテーション等の学校行事は必ず出席すること(貢献度が評価となる)。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード及ぶスレット等による学生への掲示
授業外時間にかかわる情報	論理的思考力を身に付けるには、日々の生活を疑問を持って送ることが重要となる。授業で学んだことを生活の中で実践することが大切である。学修その他の活動に積極的に取り組み、提出物等の作成に当たっては予習復習を行うこと。授業への参加前のスレットの内容確認、授業後の課題の提出を期限を守り提出する。
オフィスアワー	授業終了後の30分間
評価方法	提出物、演習・授業への取り組みを総合して評価する。
教科書	「成有一徳」鈴木利定・中田勝、中央法規、2002年
参考書	「知のナヴィゲーター」くろしお出版
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している

	具体的な実務経験の内容 　授業を担当する教員は、各専門領域の看護学の実務経験を要している。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 総合演習Ⅱ　　授業コード：10006

英文科目名称： Comprehensive Exercise 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	４年次	1単位(30)	必修
担当教員			
第4学年担任			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業の目的]　　本学の建学の精神・教育目標に基づき、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、総合演習Ⅰで身に付けた基礎学士力や問題解決能力を基盤にして、資格取得に向けての高度な専門的知識の修得とプレゼンテーション能力の育成を目指すことを目的とする。また、礼儀、環境美化活動、ボランティア、進路決定等に自主的に取り組み、実習を通じ身に付いた実践力をさらに高め「仁愛」の精神を持つ自立した社会人になるためのスキルアップを図る。 [到達目標] ①総合的知識と豊かな人間性・奉仕の精神を備え、自立心と礼儀を身につける。 ②問題解決能力を基盤にして、資格取得に向けての高度な専門的知識の修得を目指す。 ③看護研究を通して、卒業後のキャリアラダーを考えることができる。
授業の概要	授業を①建学の精神と実践教育、②学習統合、③進路・資格取得、④地域貢献、⑤心身の健康の５つのプログラムから構成し、建学の理念や教育方針にそって、ボランティア活動、環境美化活動、挨拶等の礼儀作法といった自律的実践能力を学習すると共に、身だしなみ等の生活指導、学習指導及び進路指導並びに学生生活全般にかかわる個別相談に対する助言・指導を行う。さらに総合的な学士力を養成することにより進路を明確にし具体化させる。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	◎

授業計画	第１回	建学の精神と実践教育プログラム①　春期オリエンテーション　学長、学部長の訓示、各委員会より連絡　総合演習Ⅱについて 【key words】 オリエンテーション、目標、年間計画 【授業概要】 ・科目オリエンテーションを行う。 ・4年次の年間計画の説明を行い、各自1年間の目標を立案する。 ・修学ポートフォリオの意義と方法を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 2者面談までに3年次までの振り返りを行い、4年次の目標を考えておくこと。また、各自1年間の目標を立案し、資料に記入しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２回	進路・資格取得プログラム　就職活動に向けて個別相談（担任面談） 【key words】 就職試験、面接マナー、履歴書 【授業概要】 面談を通して就職への意欲の確認等を行う。 面接試験のロールプレイを行い、実際の面接試験の場を理解し、就職試験に備える。 就職に向けての課題学習レポートを記載する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 2者面談で得たアドバイスを基に、自身の進路について考えておくこと。また、エントリー期限や必要書類等の就職先の情報を調べておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分

	第３回	進路・資格取得プログラム　就職に向けて（面接マナー、履歴書の書き方、就職に向けての課題学習等） 【key words】 就職試験、面接マナー、履歴書、就職課題 【授業概要】 履歴書の書き方や面接試験等についての説明を行う。 面接試験のロールプレイを行い、実際の面接試験の場を理解し、就職試験に備える。 就職に向けての課題学習レポートを記載する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 就職を希望する病院等を検討し、就職試験についても調べておくこと。 進路の手引きを読んでおくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第４回	建学の精神と実践プログラム　環境美化活動の意義と低学年への意識づけ 【key words】 環境美化活動、学年合同 【授業概要】 1年生への環境美化活動指導を通じて、自身の環境美化活動への取り組みを振り返り、効果的な環境美化活動について1年生へ指導する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 環境美化活動について振り返りをしておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第５回	進路・資格取得プログラム　看護師国家試験ガイダンス 【key words】 看護師国家試験、ガイダンス 【授業概要】 さわ研究所講師から看護師国家試験の概要の説明を受ける。 国家試験合格に向けての勉強の仕方について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 看護師国家試験模擬試験受験に向けて過去問題を解いておく。 【予習復習に必要な想定時間】 120分
	第６回	進路・資格取得プログラム　就職活動における対策（小論文対策、自己PR、5年後・10年後の自分の姿をレポート） 【key words】 就職試験、小論文、履歴書、就職課題 【授業概要】 小論文作成を通して、就職試験で求められる小論文作成スキルを向上し、就職試験に備える。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 就職を希望する病院等を検討し、就職試験で出題された小論文テーマについて調べておくこと。 進路の手引きを読んでおくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第７回	心身の健康プログラム　健康と体力（親睦スポーツ大会） 【key words】 健康、スポーツ大会 【授業概要】 ・種目ごとにチーム対抗試合を行うことで、チームで協力してスポーツに取り組む意義を学ぶ。 ・スポーツを通した心身の健康の維持・増進を考える機会とする。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 チームごとに練習して臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第８回	進路・資格取得プログラム　社会人としての基礎知識に関する講話 【key words】 社会保障制度、社会人、講話 【授業概要】 社会人としての労働・社会保障の基礎知識について社会保険労務士から講話をいただく。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 社会保障制度について調べておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第９回	学習統合プログラム　卒業生講話 【key words】 環境美化活動、グループワーク、全学年合同

【授業概要】
卒業生を講師に招き、就職、国家試験に向けた学習方法、試験当日の心構えについて講話をいただく。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
社会人となった時の場面を想定して講話の内容の振り返りを行っておくこと。国家試験を受ける際の準備や学習に活かす。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１０回　進路・資格取得プログラム　国家試験受験の手続き・準備等について(願書作成)
【key words】
国家試験、受験、手続き、願書
【授業概要】
・国家試験受験の手続きや願書作成について説明する。
・願書用の写真撮影を行う。

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
願書作成の準備をしておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１１回　建学の精神と実践教育プログラム　環境美化活動の実践のまとめ
【key words】
環境美化活動、グループ清掃活動、実践、振り返り
【授業概要】
4年間の環境美化活動を通して、身に付いた考え方や自身の変化を振り返り、自己の環境美化活動についての考えをまとめる。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
4年間の環境美化活動への取り組み方について振り返っておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１２回　地域貢献プログラム　昌賢祭
【key words】
建学の精神　地域貢献　昌賢祭
【授業概要】
昌賢祭に参加し、地域についての理解を深める。
公開講座への参加を通して、自己研鑽を図る。

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
昌賢祭実行委員会の指示の下、準備運営へ協力する
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１３回　進路・資格取得プログラム　国家試験受験の手続き・準備等について(願書作成)
【key words】
国家試験、受験、手続き、願書
【授業概要】
・国家試験受験の手続きや願書作成について説明する。
・願書用の写真撮影を行う。

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
願書作成の準備をしておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１４回　進路、資格取得プログラム　国家試験受験に向けた準備について
【key words】
国家試験受験に向けた心構え
【授業概要】
・国家試験受験に向けた旅程や受験説明を行い、国試受験に向けた心身の準備について理解する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
配布資料によく目を通し、受験前日から当日のイメージを作っておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１５回　学習統合プログラム②　年度末オリエンテーション　１年間の総括：自己点検・自己評価、修学ポートフォリオ
【key words】
年度末、オリエンテーション、総括、自己点検、自己評価
【授業概要】
・修学ポートフォリオへの入力を行い、1年間の自己点検と自己評価を行う。
・国家試験対策の振り返りを行う。
【教科書ページ・参考文献】

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 国家試験受験を終え、国試対策や1年間の活動の振り返りをしておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	・総合演習は本学の人間教育の要である。そのことに深く留意して取り組むこと。 ・私語は慎み、出欠席の状況や受講態度等本学の学生にふさわしい態度で臨むこと。 ・総合演習Ⅱの内容及び各種オリエンテーション、大学行事・模擬試験には必ず出席すること。 出欠状況についても評価の対象となる。 ・3分の2以上の出席日数がないと単位が認められない。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	その他
授業外時間にかかわる情報	論理的思考力を身に付けるには、日々の生活を疑問を持って送ることが重要となる。授業で学んだことを生活の中で実践することが大切である。自主的に学習する姿勢が大切であり、レポートの作成等に関する時間は、授業時間外での自己学習が必要である。卒業後の進路決定等に向けて主体的に取り組むとともに、報告・連絡・相談を徹底する。資格取得に向けて主体的・計画的に取り組むことが必要である。
オフィスアワー	水曜日，金曜日（12：００～１３：００） 担任に事前メールをして予約を取ることが望ましい。
評価方法	課題達成状況及び演習への取り組み、出欠状況を総合して評価する。
教科書	鈴木利定・中田勝(著)『咸有一徳』中央法規、2002年 進路の手引き
参考書	講義の中で適宜提示する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： ヘルスカウンセリングの原理と方法　　授業コード：10012

英文科目名称： Principles and methods of health counseling

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年次	1単位(15)	選択
担当教員			
石井　秀貴			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	(授業目的) 学校臨床におけるヘルスカウンセリングの意味を理解し基本的な臨床技術を身につける。 (到達目標) ①教育臨床におけるヘルスカウンセリングの意義が説明できる。 ②教育臨床におけるヘルスカウンセリングの技術的な枠組みが説明できる。 ③心の健康問題と身体症状との関連が説明できる。 ④心的要因が背景にある児童生徒の事例について支援計画を立てることができる。 ⑤支援計画に基づき、ロールプレイで実演することができる。
授業の概要	これまでに学んだ精神保健、看護学、解剖性折学、疾病論の知識に加え、新たにヘルスカウンセリングの方法を生かしながら、健康相談活動のプロセスに基づいて、心的要因が背景にある児童生徒の事例について支援計画を立て実演することを最終目標とする。養護教諭やカウンセラー経験のある授業者がTTやオムニバスで講義と演習を行う。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	◎
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	◎
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	◎

授業計画	第１回	心身の健康課題と学校臨床での支援体制づくり 【key words】 【授業概要】 ○発達段階別の健康課題の特徴と理解 ○心の健康問題と身体症状との関連 ○健康相談の進め方と支援体制づくり 【教科書ページ・参考文献】 「教職員のための子供の健康相談・保健指導の手引」（文科省，平成4年3月）「学校における子どもの心のケア」（文科省，平成26年3月） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 参考になる文献や資料を提示するので、授業後読んでおくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習2時間、復習2時間
	第２回	健康相談活動の基本的な理解 【key words】 【授業概要】 ○健康相談活動の定義、目的、学校教育と健康相談活動 ○養護教諭の職務と保健室の機能を生かした健康相談活動 【教科書ページ・参考文献】 「教職員のための子供の健康相談・保健指導の手引」（文科省，平成4年3月）「学校における子どもの心のケア」（文科省，平成26年3月） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 予習2時間、復習2時間
	第３回	カウンセリングの 基本技法 【key words】 【授業概要】

	○傾聴、受容、共感、明確化（演習） 【教科書ページ・参考文献】 「教職員のための子供の健康相談・保健指導の手引」（文科省，平成4年3月）「学校における子どもの心のケア」（文科省，平成26年3月） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 予習3時間、復習1時間
第４回	子どものアセスメントにカウンセリングを活かす 【key words】 【授業概要】 ○養護教諭が行うヘルスアセスメントの実践 【教科書ページ・参考文献】 「教職員のための子供の健康相談・保健指導の手引」（文科省，平成4年3月）「学校における子どもの心のケア」（文科省，平成26年3月） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 予習3時間、復習1時間
第５回	メンタルヘルスの課題 【key words】 【授業概要】 ○心の健康問題と精神疾患 ○関係機関との連携の仕方 【教科書ページ・参考文献】 「教職員のための子供の健康相談・保健指導の手引」（文科省，平成4年3月）「学校における子どもの心のケア」（文科省，平成26年3月） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 予習3時間、復習1時間
第６回	事例検討と支援計画 【key words】 【授業概要】 ○支援計画の目的・方法、事例検討会の在り方 【教科書ページ・参考文献】 「教職員のための子供の健康相談・保健指導の手引」（文科省，平成4年3月）「学校における子どもの心のケア」（文科省，平成26年3月） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 予習2時間、復習2時間
第７回	メンタルヘルスの課題解決にカウンセリングの技法を活かす 【key words】 【授業概要】 ○個別の支援計画とカウンセリング　　（ロールプレイのシナリオ作りと演習） 【教科書ページ・参考文献】 「教職員のための子供の健康相談・保健指導の手引」（文科省，平成4年3月）「学校における子どもの心のケア」（文科省，平成26年3月） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 予習2時間、復習2時間
第８回	カウンセリングの技法を健康相談活動に活かす 【key words】 【授業概要】 ○ヘルスカウンセリングの実際（ロールプレイ発表） 【教科書ページ・参考文献】 「教職員のための子供の健康相談・保健指導の手引」（文科省，平成4年3月）「学校における子どもの心のケア」（文科省，平成26年3月） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 予習1時間、復習3時間
受講生に関わる情報および受講のルール	知識定着を小テストで確認していく。事例に対する思考力・判断力を深める内容はグループ学修で深め合う。カウンセリング実践力とヘルスアセスメントの技術は、ロールプレイのシナリオ作りと演習で体験的に学ぶ。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカードで振り返る
授業外時間にかかわる情報	フィジカルアセスメントを基礎とするので関連する科目を復習すること。 アクティブラーニングを用いたグループ学修を学生主体で行うのでふさわしい受講態度で臨むこと。

オフィスアワー	授業時間の前後
評価方法	授業時間内のレポート（30%）小テスト（50%）　実技演習（20%）
教科書	「教職員のための子供の健康相談・保健指導の手引」（文科省，平成4年3月）
参考書	「学校における子どもの心のケア」（文科省，平成26年3月）
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 教育臨床での養護教諭の実績と公認心理師、発達心理士等、教育相談の専門知識を有している。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 文学論　　授業コード：10013

英文科目名称： Theory of literature

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年次	1単位(15)	選択
担当教員			
中里　昌之			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業の目的] 知的援助技術としての文学療法の理論と技術を学び、文化的援助力やより高いリテラシーを身につける。 ［到達目標］ ①　文学の意味と価値が説明できる。 ②　各種の文学療法（読書ノート、読書会、俳句会）を実施し、評価できる。 ③　読書方法論としての日本文学の読みの仕方が理解できる。
授業の概要	各種の文学療法の講義と演習を通して、文学の意味と価値への理解を深めるとともに、新しい視野の拡大をはかる。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	◎
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	◎
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	◎
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	◎

授業計画	第１回	科目オリエンテーション（授業計画・授業方法・評価方法等）、読書論、読書ノート作成法 【key words】 文学療法、読書論、読書ノート、読書評価、リテラシー 【授業概要】 授業計画の全体像について説明し、読書ノートの作成の仕方を学習する。さらに課題レポート(1)を作成 【教科書ページ・参考文献】 オリジナルプリント①②を使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 最近の読書生活をふりかえるとともに読書ノートの作成にとりかかる。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２回	文学とは何か―論語、常陸風土記、万葉集、竹取物語、古今和歌集、伊勢物語、おくの細道― 【key words】 文学発生論、落魄、漂泊、美意識 【授業概要】 文学発生の根源にあるものや日本文学の特質について探求する。 【教科書ページ・参考文献】 オリジナルプリント③を使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 読書ノートの作成状況を確認する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第３回	読書会演習（1）　読書会の構造とプログラム―意味、形態、主題― 【key words】 一座建立、情報、インテリジェンス、自己批評、文学批評、社会批評 【授業概要】 読書会の意味、形態、主題などを学び、その構造を明らかにする。 さらに、読書会のプログラムを把握し、役割分担を決める。 【教科書ページ・参考文献】 オリジナルプリント④を使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 読書会演習の対象（採用テクスト）を読みこみ、問題を発見する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分

	第４回　読書会演習（2）　読書会の実施ー記録と評価ー 【key words】 採用テクスト、問題提起（報告）、意見交換、意見集約、記録、評価 【授業概要】 読書会を実施し、その記録と評価を行う。さらに課題レポート（2）を作成 【教科書ページ・参考文献】 オリジナルプリント⑤を使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 読書会の意味と価値について考えを整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第５回　日本の古典の読み方ー日本書紀、西行、平家物語、方丈記、おくの細道ー 【key words】 史料操作、儒教文化、末法思想、死生観、自己回復、古道 【授業概要】 読みの原理について学び、日本の文化の諸相は日本の古典にどう表現されているかを明らかにする。さらに、課題レポート（3）を作成 【教科書ページ・参考文献】 オリジナルプリント⑥⑦を使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 中国文化が日本の古典へ及ぼした影響について調べる。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第６回　日本の近代文芸を読むー鴎外、漱石、鬼城、朔太郎、有流ー 【key words】 近代的自我、客観批評、在俗述志、統合失調的文体、自己凍結 【授業概要】 日本の近代は、日本の近代文芸にどう表現されているかについて学ぶ。さらに、課題レポート（4）を作成 【教科書ページ・参考文献】 オリジナルプリント⑧を使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 日本の古典と近代文芸の〈読み〉の性格について検討する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第７回　俳句会演習（1）　俳句の歴史・作句法・鑑賞の仕方・俳句創作 【key words】 俳句、俳諧、連歌、唱和性、季語、定型、客観写生、主観直叙 【授業概要】 俳句の歴史や作句法や鑑賞の仕方を学び、俳句創作を試みる。（作品提出） 【教科書ページ・参考文献】 オリジナルプリント⑨を使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 自作の俳句のモチーフや季節とのかかわりについて考える。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第８回　俳句演習（2）　俳句会の実施ー点検と評価ー 【key words】 遊び、当季雑詠、挨拶、季霊、共生、精神再生効果、自己回復 【授業概要】 俳句会を実施し、その点検と評価を行う。さらに課題レポート（5）を作成 【教科書ページ・参考文献】 オリジナルプリント⑩を使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 俳句会は、自己発見と自己回復をもたらす回生の場であることを考察する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講生に関わる情報] ・新しいテクニカル・スキルやヒューマン・スキル等の獲得を目指して努力する。 ・授業を楽しむ。 [受講のルール] ・出席重視。向上心と問題意識を持って授業に取り組むこと。 ・授業に支障を来たすような行為は厳に慎しむこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	・コメントカード方式 ・課題レポート（ワークシート活用）

授業外時間にかかわる情報	・読書ノートの作成 ・授業テーマに関連した書を読み、読書人としての生活スタイルを確立する。
オフィスアワー	授業時に指示する。
評価方法	定期試験（レポート）が60%、提出物が40%の総合評価による。定期試験レポートの評価基準：①課題（テーマ）が適切にまとめられている。（60%）②文章表現が適切である。（20%）③オリジナリティーがある。（20%）
教科書	・オリジナルプリントや関係資料を配付する。
参考書	・講義の中で適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： チームケア入門Ⅱ　　授業コード： 20016

英文科目名称： Introduction to team care 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年次	1単位(15)	必修
担当教員			
川田　智美　他			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	ねらい「包括的視点で対象者を捉え、多職種による円滑なケアが展開できるための基礎的知識・技術・態度について学び多職種連携のあり方を修得する」 目的：事例検討を通してチームケアの実践につながる演習を行うことができる。 １．事例検討を通して、職種毎に課題を明確化し、自らできること、やるべきことを列挙できる。 ２．事例検討を通して、多職種の特徴・連携の必要性、連携上の留意点を理解することができる。 ３．多職種連携・チームケアのあり方・今後の課題に気づくことができる。
授業の概要	保健医療福祉の動向に伴い、多様なニーズを必要とする対象者が増加しており保健医療福祉教育専門職に求められることも多様化している。対象者のケアの目標を達成するためには、多職種間の連携が不可欠となる。保健医療福祉教育職種が連携を取り合うことの意義・必要性と多様なチームケアの在り方について学習する。群馬医療福祉大学の福祉・医療総合大学の特色を生かし、学部・短大の枠を超えて3学部1学科合同チームによる「チームケア教育」を行う。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	◎

授業計画	第１回	″科目のオリエンテーション　　福祉・教育・リハビリ・看護職の機能と役割・チームケアの目的、多職種連携 【key words】 チームケア・多職種連携・福祉・教育・リハビリ・看護職の各機能 ″ 【授業概要】 科目のオリエンテーション　　福祉・教育・リハビリ・看護職の機能と役割・チームケアの目的、多職種連携の基本、社会福祉・リハビリテーション・看護各職種の特徴 【教科書ページ・参考文献】 関連資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 チームケア入門Ⅱ資料集にある地域特性他の課題を実施する 【予習復習に必要な想定時間】 1，2回合わせて120分程度
	第２回	担当事例に関する調べ学習　自職種の特徴を踏まえ何ができるかをまとめる 【key words】 リハビリ・福祉職・看護職の役割、多職種連携 【授業概要】 ・自己紹介 ・調べ学習の情報交換により、内容を深める、担当事例に関する調べ学習の情報交換をし、自職種の特徴を踏ま え何ができるかをまとめる。 ・5～8回までの計画を立て、次回までしてくることの確認をする。 【教科書ページ・参考文献】 チームケア入門Ⅱ資料集 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・5～8回までの計画を立て、次回までしてくることの確認をする。 【予習復習に必要な想定時間】 1，2回合わせて120分程度
	第３回	担当事例に関して自職種の特徴を踏まえ、事例の問題点を挙げ、自職種ができることやるべきことをまとめる 【key words】

	課題解決・アセスメント・計画立案・地域特性 【授業概要】 担当事例に関する調べ学習（地域特性含む）をもとに各学部ごと、アセスメント、課題解決の計画を立案する 看護学部グループ間の情報交換をし、内容を深める。 【教科書ページ・参考文献】 チームケア入門Ⅱ資料集 【課題・予習・復習・授業準備指示】 グループごとのアセスメント、計画立案について確認をする。 【予習復習に必要な想定時間】 3，4回合わせて120分程度
第４回	事例について各学部毎に課題（問題点）を明確化し、自分の職種ができることやるべきことを職種ごとに明らかにする 【key words】 課題（問題点）を明確化・計画立案、ジェノグラム・自職種の役割 【授業概要】 事例について各学部毎に課題（問題点）を明確化し、自分の職種ができることやるべきことを明らかにするための合同討議・報告準備。 【教科書ページ・参考文献】 チームケア入門Ⅱ資料集 【課題・予習・復習・授業準備指示】 グループごとのアセスメント、計画立案について確認をする。 【予習復習に必要な想定時間】 3，4回合わせて120分程度
第５回	事例について各学部毎に課題（問題点）を明確化し、自分の職種ができることやるべきことを職種ごとに明らかにする。 【key words】 課題（問題点）を明確化・計画立案、自職種の役割 【授業概要】 事例について各学部毎に課題（問題点）を明確化し、自分の職種ができることやるべきことを明らかにする合同討議・報告準備 【教科書ページ・参考文献】 チームケア入門Ⅱ資料集 【課題・予習・復習・授業準備指示】 合同グループごとのアセスメント、計画立案について確認をする 【予習復習に必要な想定時間】 5，6，7，8回合わせて240分程度
第６回	明確化した課題（問題点）について自分の職種ができることやるべきことについて全学部による報告会 【key words】 福祉・リハビリ・看護各職種の役割、アセスメントの視点 【授業概要】 明確化した事例の各学部の課題（問題点）について自分の職種ができることやるべきことについて全学部で報告、共有する。 【教科書ページ・参考文献】 チームケア入門Ⅱ資料集 【課題・予習・復習・授業準備指示】 合同グループごとのアセスメント、計画立案について確認をする 【予習復習に必要な想定時間】 5，6，7，8回合わせて240分程度
第７回	明確化した課題（問題点）について自分の職種ができることやるべきことについて全学部での報告会 【key words】 福祉・リハビリ・看護各職種の役割、アセスメントの視点 【授業概要】 明確化した事例の各学部の課題（問題点）について自分の職種ができることやるべきことについて全学部で報告、共有する。 【教科書ページ・参考文献】 チームケア入門Ⅱ資料集 【課題・予習・復習・授業準備指示】 合同グループごとのアセスメント、計画立案について共有する 【予習復習に必要な想定時間】 5，6，7，8回合わせて240分程度
第８回	事例に関する自職種・多職種の役割、チームケアにおける多職種連携のあり方について考える チームケア教育の一連について振り返り、 【key words】 学習過程を評価・振り返り・自己の課題 【授業概要】 事例検討による一連の学習過程を評価・考察する。その上で、チームケア教育への関心・自己の課題に気付き課題を達成するための方法を考えることができる。 【教科書ページ・参考文献】 チームケア入門Ⅱ資料集 【課題・予習・復習・授業準備指示】 チームケア教育終了後の自己評価、リフレクションペーパー、授業評価 【予習復習に必要な想定時間】 5，6，7，8回合わせて240分程度
受講生に関わる情報および受講のルール	①予習：事前に配布された資料を読み、授業に臨むこと 指示された事例を整理し、授業時活用する。 ②復習：授業で配布したプリント・資料を読み返す。 ［受講のルール］ ①積極に授業に取り組むこと ②レポート等の課題について、提出期限を厳守すること

	③授業の学びを必ず記載すること（記載することで表現力を養うものである）
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式又はICT利用
授業外時間にかかわる情報	関連文献、新聞などに関心を持ち情報収集することを期待する。
オフィスアワー	授業時間終了後18時まで。
評価方法	演習課題に対するポートフォリオ100％ ※提出期限を遵守する。 ※授業の出席時間を満たしていない場合、ポートフォリオは評価対象外となる。
教科書	鷹野和美著：チームケア論　ぱる出版，2008.
参考書	1. 川島みどり：チーム医療と看護、看護の科学社,2014 2. 小松秀樹：地域包括ケアの課題と未来、ロハス・メディカル、2015 3. 嶋崎謙二：看護白書、平成26年版、日本看護協会
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 経済学　　授業コード： 10018

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年次	1単位(15)	選択
担当教員			
白石　憲一			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 経済学の基礎を学習していないと、毎日報道される経済関係のニュースに対して自分なりの的確な見解を持つことは難しい。この授業ではマクロ経済学の基礎的な力を養成することを目標とする。 【到達目標】 学生がマクロ経済学の基礎を理解し、毎日起きる経済事象について自分なりの意見を持つことを到達目標とする。
授業の概要	マクロ経済学の基礎理論について概観していく。あわせて現実の経済データを用いて、経済の実態についても講義をしていく。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　イントロダクション
【key words】
経済学
【授業概要】
授業の概要について理解する。
【教科書ページ・参考文献】
21頁～240頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを確認する。
【予習復習に必要な想定時間】
4時間

第２回　GDP
【key words】
ＧＤＰ、三面等価の原則
【授業概要】
GDPのデータの作成方法、データの読み方について説明する。
【教科書ページ・参考文献】
「国民経済計算」（内閣府）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
「国民経済計算」（内閣府）の統計数値を確認する。
【予習復習に必要な想定時間】
4時間

第３回　経済成長
【key words】
ソロー、労働、資本、技術進歩
【授業概要】
新古典派の経済成長理論について学習する。

【教科書ページ・参考文献】
「入門マクロ経済学」（日本評論社）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
経済成長率の統計を確認する。
【予習復習に必要な想定時間】
4時間

第４回　格差

	【key words】 ジニ係数 【授業概要】 ジニ係数の解釈の方法について学び、さらに格差拡大の要因とその影響について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 「格差と成長」（OECD） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ジニ係数の統計数値を確認する。 【予習復習に必要な想定時間】 4時間 第５回　幸福の経済学 【key words】 幸福、相対所得仮説 【授業概要】 相対所得仮説と幸福感の関係について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 「幸福の政治経済学」（ダイヤモンド社） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 幸福感に関係する統計を確認する。 【予習復習に必要な想定時間】 4時間 第６回　ストック経済学 【key words】 株価 【授業概要】 株価データの見方、キャピタルゲインの計算方法について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 「入門マクロ経済学」（日本評論社） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 日本の株価を新聞で確認する。 【予習復習に必要な想定時間】 4時間 第７回　金融 【key words】 貨幣ストック、金利、貨幣需要 【授業概要】 貨幣ストックの統計、金利・貨幣需要の決定要因について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 21頁～240頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 金融に関係する統計数値を確認する。 【予習復習に必要な想定時間】 4時間 第８回　財政政策・金融政策 【key words】 乗数、金融政策 【授業概要】 乗数の計算方法について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 21頁～240頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 財政政策・金融政策の種類を調べる。 【予習復習に必要な想定時間】 4時間
受講生に関わる情報および受講のルール	新聞やニュース等で経済情勢について問題意識を持ち、授業で学んだ内容と関連づけていく姿勢が求められる。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	必要とされる予備知識については、教科書を通読することが望まれる。授業で学習した内容は、教科書だけではなく、 さまざまな文献やHP 等を参照して復習すると、理解がより深まる。
オフィスアワー	授業終了後30 分。
評価方法	試験（ 60%）、授業中の課題（ 40%）を総合して評価する。
教科書	井堀利広「大学4年間の経済学が10時間でざっと学べる」（KADOKAWA）2015
参考書	中谷巌「入門マクロ経済学」（日本評論社）2007
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素

	□PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 住環境福祉論　　授業コード： 10021

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年次	1単位(15)	選択
担当教員			
村山　明彦			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】高齢者・障害者が地域で生活する基盤となる住環境はどうあるべきかを理解する。また住環境整備の方法を学ぶことで、実際に問題解決を提案出来る能力を養うことを目的とする。 【到達目標】①住環境整備がなされたときの利点を理解し、その必要性を説明することができる。 ②多職種との連携の意義を理解し、その必要性を説明することができる。 ③生活行為別に住環境整備の提案を行うことができる。
授業の概要	高齢者や障害者が地域で生活する基盤となる住環境はどうあるべきかを理解するための科目である。また、住環境整備（福祉用具を含む）の方法を学ぶことで、実際に問題解決を提案できる能力を養うことを目的とする。 看護師・保健師・養護教諭などを志す者が、地域で生活する高齢者や障害者に対し、その生活を維持・向上させるという視点を持って関わることは重要である。住みやすい住環境とは何か、どのように生活に介入するすべきかを、教員からの一方通行でなく、双方向で考えていきたい。これは多職種連携にも求められるスキルの一つである。 座学中心の授業だが、身体機能や認知機能を維持・向上させるという視点を育むための運動プログラムの紹介も適宜行う。住みやすい環境を検討するには、知識だけでなく実践力も求められるからである。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画

第１回　科目オリエンテーション、少子高齢社会の現状と課題

【key words】
福祉住環境の考え方、少子高齢社会の現状と課題
【授業概要】
少子高齢化地域で生活する高齢者や障害者に対し、生活を改善するという視点を持って関わる事は重要である。
住みやすい住環境とは何か、どのように生活を改善すべきかを考える。
以下の内容を参照して予習・復習することを推奨する。
一般社団法人日本老年医学会ホームページ
https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/
国立社会保障・人口問題研究所ホームページ
http://www.ipss.go.jp/
【教科書ページ・参考文献】
酒井郁子，金城利雄，深堀浩樹　編集：リハビリテーション看護改訂第3版　障害のある人の可能性とともに歩む．南江堂
【課題・予習・復習・授業準備指示】
上記のkeywordsや文献およびURLを参考に予習することが望ましい。
【予習復習に必要な想定時間】
90分（予習とは別にシラバスの内容を把握したうえで授業に臨むこと）

第２回　日本における生活環境の特徴と課題

【key words】
日本の高齢化の特徴、尺貫法、和式の生活様式
【授業概要】
日本における生活環境の特徴と課題について理解する。
以下の内容を参照して予習・復習することを推奨する。
福祉住環境コーディネーター検定試験公式サイト

		https://www.kentei.org/fukushi/ 国土交通省ホームページ https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/index.html 【教科書ページ・参考文献】 酒井郁子，金城利雄，深堀浩樹　編集：リハビリテーション看護改訂第3版　障害のある人の可能性とともに歩む．南江堂 【課題・予習・復習・授業準備指示】 上記のkeywordsや文献およびURLを参考に予習することが望ましい。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分・復習60分
	第３回	福祉住環境整備に関する法的制度 【key words】 高齢者住まい法、介護保険制度、福祉用具、障害者総合支援法 【授業概要】 生活環境整備に関する法的制度について理解する。 以下の内容を参照して予習・復習することを推奨する。 福祉住環境コーディネーター検定試験公式サイト https://www.kentei.org/fukushi/ 国土交通省ホームページ https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/index.html 【教科書ページ・参考文献】 酒井郁子，金城利雄，深堀浩樹　編集：リハビリテーション看護改訂第3版　障害のある人の可能性とともに歩む．南江堂 【課題・予習・復習・授業準備指示】 上記のkeywordsや文献およびURLを参考に予習することが望ましい。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分・復習60分
	第４回	バリアフリーとユニバーサルデザイン 【key words】 バリアフリー、ユニバーサルデザイン、生活動線、チームアプローチ 【授業概要】 バリアフリーとユニバーサルデザインの概要を学び、福祉住環境整備に必要なポイントを理解する。 以下の内容を参照して予習・復習することを推奨する。 福祉住環境コーディネーター検定試験公式サイト https://www.kentei.org/fukushi/ 国土交通省ホームページ https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/index.html 【教科書ページ・参考文献】 酒井郁子，金城利雄，深堀浩樹　編集：リハビリテーション看護改訂第3版　障害のある人の可能性とともに歩む．南江堂 【課題・予習・復習・授業準備指示】 上記のkeywordsや文献およびURLを参考に予習することが望ましい。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分・復習60分
	第５回	高齢者の健康と自立 【key words】 介護予防、ヘルスプロモーション、サルコペニア、フレイル、転倒予防 【授業概要】 介護予防、ヘルスプロモーションの概要を学び、福祉住環境整備に必要なポイントを理解する。 以下の内容を参照して予習・復習することを推奨する。 日本転倒予防学会ホームページ　http://www.tentouyobou.jp/ 日本骨粗鬆症学会ホームページ　http://www.josteo.com/ja/index.html 日本サルコペニア・フレイル学会ホームページ http://jssf.umin.jp/ 日本リハビリテーション栄養学会ホームページ https://sites.google.com/site/jsrhnt/home 【教科書ページ・参考文献】 酒井郁子，金城利雄，深堀浩樹　編集：リハビリテーション看護改訂第3版　障害のある人の可能性とともに歩む．南江堂 【課題・予習・復習・授業準備指示】 上記のkeywordsや文献およびURLを参考に予習することが望ましい。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分・復習60分
	第６回	認知機能障害のとらえ方 【key words】 認知機能障害、認知症予防、認知症、認知症の行動・心理症状、非薬物療法 【授業概要】 加齢による認知機能の変化の概要を学び、福祉住環境整備に必要なポイントを理解する。 以下の内容を参照して予習・復習することを推奨する。 一般社団法人日本老年医学会ホームページ https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/ 国立研究開発法人国立長寿医療研究センターホームページ http://www.ncgg.go.jp/ 公益社団法人日本老年精神医学会ホームページ http://www.rounen.org/ 日本認知症学会ホームページ http://dementia.umin.jp/ 【教科書ページ・参考文献】 酒井郁子，金城利雄，深堀浩樹　編集：リハビリテーション看護改訂第3版　障害のある人の可能性とともに歩む．南江堂 【課題・予習・復習・授業準備指示】 上記のkeywordsや文献およびURLを参考に予習することが望ましい。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分・復習60分

	第７回　福祉住環境整備と地域包括ケアシステム 【key words】 地域包括ケアシステム、自助、互助、共助、公助 【授業概要】 地域包括ケアシステムの概要を学び、福祉住環境整備に必要なポイントを理解する。 以下の内容を参照して予習・復習することを推奨する。 厚生労働省　地域包括ケアシステム http://www.mhlw.go. jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiikihoukatsu/ 群馬県　地域包括ケア推進室 http://www.pref.gunma.jp/07/bf0100003.html 【教科書ページ・参考文献】 酒井郁子，金城利雄，深堀浩樹　編集：リハビリテーション看護改訂第3版　障害のある人の可能性とともに歩む．南江堂 【課題・予習・復習・授業準備指示】 上記のkeywordsや文献およびURLを参考に予習することが望ましい。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分・復習60分 第８回　生活行為別にみた安全・安心・快適な住まい～ 【key words】 ウィメンズヘルス・メンズヘルス、トイレ、浴室、脱衣室 【授業概要】 ウィメンズヘルス・メンズヘルスの概要を学び、福祉住環境整備に必要なポイントを理解する。 以下の内容を参照して予習・復習することを推奨する。 一般社団法人日本老年医学会ホームページ https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/ 日本理学療法士学会 ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法部門ホームページ http://jspt.japanpt.or.jp/jsptwmh/ 【教科書ページ・参考文献】 酒井郁子，金城利雄，深堀浩樹　編集：リハビリテーション看護改訂第3版　障害のある人の可能性とともに歩む．南江堂 【課題・予習・復習・授業準備指示】 上記のkeywordsや文献およびURLを参考に予習することが望ましい。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分・復習60分
受講生に関わる情報および受講のルール	①対面・遠隔どちらでも対応できる授業構成としている。 ②授業で使用するスライド等の資料は、全て電子媒体にて事前に配布する。授業当日までにプリントアウトもしくは、電子媒体を閲覧できる環境（PC・タブレット・スマートフォンなど）を整えておくこと。 ③グループワークやディスカッションを通じて、双方向型の授業を展開する予定である。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	スレッド（Webポータル）
授業外時間にかかわる情報	初回オリエンテーション時に詳細を伝える。 また予習や課題の実施を前提に授業を進める。
オフィスアワー	授業終了後30分は対応可能である。
評価方法	授業内課題40％　レポート60％
教科書	酒井郁子，金城利雄，深堀浩樹　編集：リハビリテーション看護改訂第3版　障害のある人の可能性とともに歩む．南江堂
参考書	石垣和子，上野まり　編集：在宅看護論改訂第2版　自分らしい生活の継続をめざして．南江堂 東京商工会議所編：福祉住環境コーディネーター検定試験　2級公式テキスト＜改訂6版＞ 東京商工会議所編：福祉住環境コーディネーター検定試験　3級公式テキスト＜改訂6版＞
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 介護保険領域で常勤として11年間、非常勤として7年間の実務経験を有する。 特に、地域（施設・在宅）でのリハビリテーションを数多く実践してきた。 また、各種のメディアや医療専門職向けの講習において、介護予防やヘルプロモーションに関する講話を定期的に行っている。 専門理学療法士（基礎・地域・予防・支援工学理学療法）、介護支援専門員、サルコペニア・フレイル指導士などの資格を有する。 日本転倒予防学会（理事）、日本精神・心理領域理学療法研究会（評議員）、ぐんま認知症アカデミー（幹事・書記）、健康と福祉の研究会（世話人）なども務める。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等）

	■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 教育と学習の原理　　授業コード：10025

英文科目名称： Principles of education and learning

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年次	2単位(30)	選択
担当教員			
片山　哲也			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 教育と学習の基礎理論を学び、その基本的理念、歴史、思想を理解し、教育とは何かその概念をつかむ。 【到達目標】 ①教育の理念、歴史、思想を理解する。 ②教育の課題に取り組み、学習成果あるいは解決案をまとめる。 ③課題解決の学習を通して学んだ成果を発表または報告する。
授業の概要	教育とは何か学習とは何か、人間にはなぜ教育が必要なのか、教育および学校はどのように変遷してきたか、学習意欲はどうしたら高まるか。等々、学校・地域社会・家庭の教育機能を考えながら、日常生活の中で見過ごしている教育の諸問題を検討し、今後の教育のあり方について学習を深める。さらに教育に携わる教師《養護教師）・親・社会人としての資質向上に資する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	オリエンテーション（授業概要、評価方法等）、教育の可能性 【key words】 参加型授業、課題解決型授業、全員発表、評価方法　人間とは何か　学ぶ能力と教える能力 【授業概要】 この授業の進め方や学習環境・人間関係理解の重要性、この授業における各自の参加方法、評価方法等授業の全体像をつかむ。 【教科書ページ・参考文献】 第１章　教育とは何か　1節　人間への問いと教育への問い　2節　学ぶことと教えること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業後に、感想、質問等を書く 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第２回	教育とは何か 【key words】 発達developmentと教育education、発達への肋成的介入としての教育、教育と教育にあらざるもの、教育することへの自覚 【授業概要】 教科書第1章　3節、4節について、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。今回は担当教師の示範的な授業作りとし、次回からは学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 第１章　教育とは何か　3節　発達への助成的介入　4節　教育と教化と形成 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自の課題をキーワードノートの提示準備を家庭学習とする。授業後に感想・意見・質問を書く 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第３回	学校とは何か　1 【key words】 「学校」とはどういう場か、なぜ「学校」が必要になったのか、中世の学校、近代への準備：近世の学校、「近代公教育」とは 【授業概要】 教科書第2章　1節、2節について、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授

		業参加によって、理解を深める。今回からは学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 第２章　学校とは何か　1節　学校の登場　2節　近代学校の性格 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自の課題をキーワードノートの提示準備を家庭学習とする。授業後に感想・意見・質問を書く 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第４回	学校とは何か　2 【key words】 学校の成立：古代律令制度国家の学校、中世の学校：宗教との結合、近代学校への準備：幕末維新期の教育機関、日本における近代公教育制度の成立とその性格 【授業概要】 教科書第3章　1節、2節について、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。今回からは学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 第3章　学校とは何か2　1節　近代以前の日本の学校　　2節　日本の「近代化」と学校教育 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自の課題をキーワードノートの提示準備を家庭学習とする。近代以前の学校、近代化の時代の学校について振り返り、授業後に感想・意見・質問を書く 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第５回	学校とは何か　2　＆　こころとからだを育てる　1 【key words】 戦後教育改革と戦後新教育、東西対立の激化と戦後教育改革の修正、高度経済成長と教育爆発、発達論と教育計画論の関係 【授業概要】 教科書第3章　3節、第4章　1節について、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 第３章　学校とは何か2　3節　新たな出発、その後の展開　第4章こころとからだを育てる　1節　こころとからだを育てる計画 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自の課題をキーワードノートの提示準備を家庭学習とする。新たな出発、その後の展開、こころとからだを育てる計画について振り返り、授業後に感想・意見・質問を書く 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第６回	こころとからだを育てる　2 【key words】 認識の発達：広がる世界、学力を問い直す、2つの国際的な学力調査、「身につける」という考え方 【授業概要】 教科書第4章こころとからだを育てる　2節　学力とは何か　3節　身体文化と教育について、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 第4章こころとからだを育てる　2節　学力とは何か　3節　身体文化と教育、こころとからだの関係、 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自の課題をキーワードノートの提示準備を家庭学習とする。学力とは何か　身体文化と教育についてについて振り返り、授業後に感想・意見・質問を書く 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第７回	こころとからだを育てる　3 【key words】 道徳教育への関心のつよまり、道徳の本質と道徳教育、道徳的判断を支える価値の問題、新しい道徳教育を求めて、フォーマル・ラングージとパブリック・ラングージ 【授業概要】 教科書第4章　こころとからだを育てる　4節　道徳性の発達と教育　5節　教育における言葉と文化について、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 第4章　こころとからだを育てる　4節　道徳性の発達と教育　5節　教育における言葉と文化について、 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自の課題をキーワードノートの提示準備を家庭学習とする。道徳性の発達と教育　、教育における言葉と文化について振り返り、授業後に感想・意見・質問を書く 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第８回	よりよく学び、教えるために　1 【key words】 勉強はつまらないものなのか、学ぶ歓びを味わうために、学校教育の構想と計画、教科書と授業、学習訓練：生活訓練と思考訓練、学習形態と授業 【授業概要】 教科書第5章　よりよく学び、教えるために　1節　学習することの意味　2節　授業を改革するためにについて、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 第5章　よりよく学び、教えるために　1節　学習することの意味　2節　授業を改革するために 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自の課題をキーワードノートの提示準備を家庭学習とする。学習することの意味　授業を改革

	するためにについて振り返り、授業後に感想・意見・質問を書く 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
第９回	よりよく学び、教えるために　2　　教育評価とは何か　1 【key words】 学校行事の創造、表現活動の可能性、心をひらくということ、教育評価の本質、教育評価の機能、教育目標と教育評価の関係、心をひらくということ 【授業概要】 教科書第5章　よりよく学び、教えるために　3節　学校教育の可能性　第6章　教育評価とは何か　1節教育評価とは何かについて、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 第5章　よりよく学び、教えるために　3節　学校教育の可能性　第6章　教育評価とは何か　1節　教育評価とは何か 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自の課題をキーワードノートの提示準備を家庭学習とする。学校教育の可能性、教育評価とは何か　　について振り返り、授業後に感想・意見・質問を書く 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
第１０回	教育評価とは何か　2　授業の可能性・学校の可能性　1 【key words】 年齢主義と課程主義，履修主義と修得主義、受験と学力偏差値、選抜試験と資格試験、学校の既成概念，授業の既成概念、授業の成立 【授業概要】 教科書第6章　教育評価とは何か　2節　修了の認定と入学試験　第7章　授業の可能性・学校の可能性　1節授業を作る　について、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 第6章　教育評価とは何か　2節　修了の認定と入学試験　第7章　授業の可能性・学校の可能性　1節授業を作る 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自の課題をキーワードノートの提示準備を家庭学習とする。修了の認定と入学試験　授業を作る　　について振り返り、授業後に感想・意見・質問を書く 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
第１１回	授業の可能性・学校の可能性　2 【key words】 子どもが変わる授業、生活と教育を結ぶ：子どもたちの力、科学と教育を結ぶ：小さな科学者たち、授業における生活と科学の結合、総合的な学習の時間、 【授業概要】 教科書第7章　授業の可能性・学校の可能性　2節　学ぶことは変わること　3節　学校をつくるについて、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 第7章　授業の可能性・学校の可能性　2節　学ぶことは変わること　3節　学校をつくる 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自の課題をキーワードノートの提示準備を家庭学習とする。学ぶことは変わること　学校をつくるについて振り返り、授業後に感想・意見・質問を書く 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
第１２回	教師の仕事　1 【key words】 教師が育つ場、教師の資格と資質、教師に求められる力・学生時代に学ぶこと、教師の資質と能力、教師の力量：子どもが「みえる」ということ 【授業概要】 教科書第8章　教師の仕事　1節　教師とは何か　2節　教師の力量とは何かについて、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 第8章　教師の仕事　1節　教師とは何か　2節　教師の力量とは何か 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自の課題をキーワードノートの提示準備を家庭学習とする。教師とは何か　教師の力量とは何かについて振り返り、授業後に感想・意見・質問を書く 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
第１３回	教師の仕事　2　青年期と教育　1 【key words】 仕事の核にあるもの、授業づくりの２つの視点、教えることと学ぶこと、豊かな学習活動をつくる、青年とは何か 【授業概要】 教科書第8章　教師の仕事　3節　授業をつくる教師　第9章　1節　青年とは何かについて、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 第8章　教師の仕事　3節　授業をつくる教師　第9章　青年期の教育　1節　青年とは何か 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自の課題をキーワードノートの提示準備を家庭学習とする。授業をつくる教師　青年とは何かについて、について振り返り、授業後に感想・意見・質問を書く 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分

	第１４回　青年期と教育　2 【key words】 現代の青年、青年と社会参加、アイデンティティの確立、青年の自分探し、社会を見る眼、経験から科学へ、青年期における総合的な学習の意義 【授業概要】 教科書第9章青年期と教育　2節　現代の青年と社会参加　3節　青年期の課題と教育について、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 第9章青年期と教育　2節　現代の青年と社会参加　3節　青年期の課題と教育 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自の課題をキーワードノートの提示準備を家庭学習とする。現代の青年と社会参加　青年期の課題と教育について、振り返り、授業後に感想・意見・質問を書く 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分 第１５回　社会教育と生涯学習 【key words】 社会教育、生涯教育・生涯学習、生涯学習とネットワーク、公民館と住民の学習、地球市民としての生涯学習 【授業概要】 教科書第10章　社会教育と生涯学習　1節　人は学び続ける　2節　生涯学習と町づくり　3節　地球市民として生きるために、について、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 第10章　社会教育と生涯学習　1節　人は学び続ける　2節　生涯学習と町づくり　3節　地球市民として生きるために 【課題・予習・復習・授業準備指示】 15回の授業のまとめ、感想 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
受講生に関わる情報および受講のルール	筆記試験の他に、課題発表があり評価の対象とします。(課題発表＝プレゼンは反転学習の理論を活用したものです。各自の発表課題については、事前にまとめ、授業時にはそれを全員にプリント配布します。) 毎回、毎時レポートを授業内に記述提出してもらいます。 アクティブラーニングの手法としてグループ討議や課題発表を取り入れて授業を進めます。授業は受け身の聴講方式は極力少なくします。受講生の皆さんの参加型、主体的学習を大きな柱とします。授業を自分たちで作り、自ら学習する姿勢で臨んでください。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	毎時レポートに質問記述欄を設ける。 質問への回答と課題や感想の優れたものはプリントし配布することとする。（フィードバック）このフィードバックは解答者の評価と意欲に直結し、授業効果を高めてくれる事を期待している。
授業外時間にかかわる情報	毎時レポート《コメントカード方式で課題について記述》は授業内作成。課題発表《パワーポイントもしくは紙面資料作成》は授業時間外（反転学習）で行うことが必要になる。
オフィスアワー	授業終了後３０分
評価方法	筆記試験（客観、論述）４０％、毎時レポート及び発表４０％、授業への参加度２０％
教科書	やさしい教育原理　田島一・中野新之祐・福田須美子・狩野浩二　著　有斐閣
参考書	テキストおよび授業の中で紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 小学校・中学校教員として15年年間、教育行政13年《県教委青少年課課長補佐・市学校教育課長を含む》小学校中学校管理職10年、市教育研究所長2年、群馬大学非常勤講師7年等 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 教育心理学　　授業コード： 10026

英文科目名称： Educational psychology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年次	1単位(15)	必修
担当教員			
片山　哲也			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 重要な教育心理学的な概念の学習を通して、教育人としての必須課題と解決策ををつかむ。 【到達目標】 ①発達、評価、学習、意欲、障害、カウンセリング等の基本的概念を習得する。 ②教育心理学の基本的知見を学び、心理的な見方・考え方を理解する。 ③各自への課題設定を紙面資料作成し発表する。
授業の概要	発達課題、学習意欲、学級集団、困難を抱えるこども、カウンセリングの方法等々のテーマについて教育心理学的な観方、解決方法を学習する。さらに学習した内容を使って課題解決に取り組み成果を発表または報告する。、

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	○
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	授業案内および　評価方法、課題設定 【key words】 発達、評価、学習、教材、自己紹介、学習環境環境、短期記憶の容量、短期記憶と長期記憶、短期記憶から長期記憶へ 【授業概要】 ガイダンス及び教育心理学の理解が教育現場でどのように生かされるか。 教科書：第1章　記憶力がいいとはどういうことか　1節　短期記憶　2節　長期記憶と意味づけ　3節　忘却についてまとめキーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。今回は担当教師の示範的な授業作りとし、次回からは学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 教科書：第1章　記憶力がいいとはどういうことか　1節　短期記憶　2節　長期記憶と意味づけ　3節　忘却 【課題・予習・復習・授業準備指示】 自分が取り組む課題を選択、検討する。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第２回	学ぶことと考えること 【key words】 宣言的知識、素朴概念、手続き的知識、ルールとバグ、アルゴリズム、ヒューリステイクス、問題解決を阻むもの、メタ認知 【授業概要】 教科書：第２章　学ぶことと考えること　1節　知識　2節　問題解決についてまとめ、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。今回からは学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 教科書：第２章　学ぶことと考えること　1節　知識　2節　問題解決 【課題・予習・復習・授業準備指示】 メタ認知について自分の体験を含めてその概念や認識をまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第３回	ほめることの大切さ 【key words】 古典的条件づけ　学習された行動の消去　道具的条件づけ　動機づけ　モデリング　観察学習　自己調整モデル 【授業概要】

		教科書第3章　ほめることの大切さ　1節古典的条件づけによる学習　2節道具的条件づけによる学習　3節観察による学習　4節自己強化による学習についてまとめ、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 教科書第3章　ほめることの大切さ　1節古典的条件づけによる学習　2節道具的条件づけによる学習　3節観察による学習　4節自己強化による学習 【課題・予習・復習・授業準備指示】 褒められたことで記憶に残ることなるべくたくさん思い起こし、まとめる 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第４回	「やる気」を考える 【key words】 能力が明らかになること、学習性無力感、内的一外的統制、自己効力、努力と能力、外的報酬の阻害効果、学習の目標、 【授業概要】 教科書第4章「やる気」を考える　1節期待一価値モデル　2節統制感　3節　原因の考え方　4節　内発的動機づけについてまとめ、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 教科書第4章「やる気」を考える　1節　期待一価値モデル　2節　統制感　3節　原因の考え方　4節　内発的動機づけ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 自己体験からやる気が出た経験は何かまとめる 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第５回	学級という社会 【key words】 学級集団の特殊性、教師期待効果、教師期待効果が生じるのはなぜか、リーダーとしての教師の影響力、学級の学習目標による学級雰囲気、学級の自律一統制の観点による学級雰囲気 【授業概要】 教科書第5章学級という社会　1節学級集団の特殊性　2節教師一生徒関係　3節学級雰囲気　4節生徒の人間関係　5節生徒関係を理解する方法についてまとめ、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 教科書第5章　学級という社会　1節学級集団の特殊性　2節教師一生徒関係　3節学級雰囲気　4節生徒の人間関係　5節生徒関係を理解する方法 【課題・予習・復習・授業準備指示】 楽しかったクラスの時代の心理、苦しかったクラスの時代を自己の体験からまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０－１２０分
	第６回	人格発達の基礎 【key words】 口唇期　肛門期　男根期　潜伏期と性器期　発達段階と性格　青年期以前の段階　青年期とそれ以後の時期　母子のきずな　自我同一性地位 【授業概要】 教科書10章　人格発達の基礎　1節 フロイトの発達段階　2節 エリクソンの発達段階　　3節母子のきずな 4節　自我同一性についてまとめ、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 教科書10章　人格発達の基礎　1節 フロイトの発達段階　2節 エリクソンの発達段階　　3節母子のきずな 4節　自我同一性 【課題・予習・復習・授業準備指示】 絆が生まれた時、自己の体験を踏まえまとめる 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第７回	困難を抱える子どもたち 【key words】 福祉的視点から　医学的視点から　アセスメン　　知的障害　自閉症　注意欠如・多動性障害　学習障害 【授業概要】 第11章　困難を抱える子どもたち　1節　発達障害とは　2節　主な発達障害についてまとめ、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 教科書　第11章　困難を抱える子どもたち　1節　発達障害とは　2節　主な発達障害 【課題・予習・復習・授業準備指示】 特別支援学校の障害別役割を調べまとめる 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分

	第８回　　カウンセリングとは 【key words】 クライアント中心療法、治療的人格（パーソナリティ）変化のための必要十分条件、必要十分条件の持つ意味、行動療法とは、系統的脱感作法、オペラント条件づけ療法、エリスの論理療法、ベックの認知療法、 【授業概要】 教科書第12章カウンセリングとは　1節　クライアント中心療法　2節　行動療法　3節　認知療法　についてまとめ、キーワードの提示と説明からノートを作成するアクティブな授業参加によって、理解を深める。学生が各自の課題《教科書項目》のキーワード提示と発表を行う 【教科書ページ・参考文献】 教科書第12章カウンセリングとは　1節　クライアント中心療法　2節　行動療法　3節　認知療法 【課題・予習・復習・授業準備指示】 グリッドとは何か、レジリエンスとは何かを調べまとめる 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
受講生に関わる情報および受講のルール	筆記試験の他にレポート提出、課題発表があり評価の対象になる。毎回、概要感想質問・課題用紙は授業後に毎回記述し定期的に提出すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	その他（概要感想質問・課題用紙（A4版））これで出された質問、優れた意見はフィードバックし回答や考え方を共有する。
授業外時間にかかわる情報	毎時レポートおよび課題発表資料（紙面発表）作成は授業時間外で行うことも必要になる。これは反転学習の理論を活用し、学習効果を高めるために行う。
オフィスアワー	授業終了後３０分
評価方法	授業終了後にレポート提出（40%）毎時の課題レポート及び発表４０％、授業への参加度（感想意見記述内容２０％
教科書	やさしい教育心理学　鎌原雅彦・竹網誠一郎　著　有斐閣
参考書	テキストおよび授業の中で紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 小学校・中学校教員として15年年間、教育行政13年《県教委青少年課課長補佐・市学校教育課長を含む》小学校中学校管理職10年、市教育研究所長2年、群馬大学非常勤講師7年等 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 教育方法論　　授業コード： 10027

英文科目名称： Educational methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年次	2単位(30)	選択
担当教員			
中津瀬　隆			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 ・教育の方法について探求する。 ・教育のよりよりあり方を実践的に探る。 【到達目標】 ・教育方法についての学びを深め、教師としての実践に活かすことができるようになる。 ・教育方法に関する基礎的概念を習得することができる。 ・発表や討論を経験することにより、表現力をきたえるとともに他者の考えを知り、豊かな発想につなげることができる。
授業の概要	教育方法の意義と内容を学習・研究し、実践に役立てる。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	◎
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　・オリエンテーション（講義方法、内容と評価）・授業について（教室と学び）
【key words】
講義方法と内容、評価、授業（教育と学び）
【授業概要】
・講義の受け方等、授業のスタートにあたっての留意事項の確認
・教育者としての自覚（教育の方法、佐藤学より）
【教科書ページ・参考文献】
授業で配布した資料・テキスト「新しい時代の教育方法」
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教室の風景・坊ちゃん（私の教師像記述コメント）、自己アピール（記述）、フィンランドの教育、学級を経営する（子どもと一緒につくる）を熟読する。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第２回　・変化する教室というところ（転換する学校・世界と日本の教室・21世紀の教室）
【key words】
転換する学校、世界と日本の教育、21世紀の教室

【授業概要】
・変換する教室について考察する。
・「坊ちゃん」から教師像を探る
・発表第1回「教育事情」
【教科書ページ・参考文献】
教育事情について発表と討論を評価する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で配布した資料・テキスト
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第３回　・授業の形（考えるという行為の意味）
【key words】
考える、模倣的様式、変容的様式、コメニウス、ソクラテス、メノン
【授業概要】
具体的に模倣的様式と変容的様式から考え、日本の学校文化を見る。教育事情の発表、討論、評価を行う。
【教科書ページ・参考文献】

		授業で配布した資料・テキスト 【課題・予習・復習・授業準備指示】 私が薦めるこの1冊「高校生ワーキングプア」（NHK）「明治乙女物語」（文春）） 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第４回	・授業の歴史（日本）（近代学校と授業の成立・新教育の展開と学びの改革・戦後新教育と授業の改革） 【key words】 一斉教授法、森有礼、聖職者教師像、国民教育、教師専門職論 【授業概要】 ・教師はその時代において歴史性を背負いながら存在している。 ・現代の教師はどのような時代性をもって教育に当たっているのかを考察する。 ・教育事情の発表 【教科書ページ・参考文献】 授業で配布した資料・テキストP179-199 【課題・予習・復習・授業準備指示】 哲学について、時代の中の教師を熟読する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第５回	・教育の技術（教育技術の特質とは・集団づくりの意義と方法） 【key words】 近代学校、学制、被抑出書、新教育、戦後新教育、アメリカ教育使節団、試案、齋藤喜博、島小教育 【授業概要】 ・近代学校と授業の成立、新教育の展開と学びの改革、戦後新教育と授業の改革について考察する。 ・教育事情の発表、考察、討論、評価を行う。 【教科書ページ・参考文献】 授業で配布した資料・テキスト 【課題・予習・復習・授業準備指示】 配布された資料を熟読する。学事奨励に関する被抑出書を熟読して理解する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第６回	・授業のデザイン（授業の組織・授業の構造・授業をデザインし創造する） 【key words】 教育技術、普遍性と個別性、集団作り 【授業概要】 ・教育における技能と技術、普遍性と個別性、教育技術の創造性を考察する。 ・集団作りの意義と方法について教育的意義を考える。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料、テキスト 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教育方法の歴史を熟読する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第７回	・授業をデザインして創造する（授業の主題・授業の省察と反省） 【key words】 授業の組織、授業の構造、教育をデザインし創造する。 【授業概要】 授業をデザインするためにその組織（授業づくりの過程）、構造（教師の活動）、創造（授業のデザインと実践のプロセス）から考察する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料、テキスト 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教育方法の歴史（近代以前、近代以後）を熟読する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第８回	・学習指導案の意義と作成手順・授業(教育）目標づくりとは（構造・種類と性格） 【key words】 デザイン、主題、過程の組織、個への対応、個と個のすり合わせ、省察と反省 【授業概要】 ・教師はカリキュラムの単元の内容と、生徒の興味や関心を考慮しながら授業をデザインすることについて考察する。 ・教育事情の発表 【教科書ページ・参考文献】 配布資料・テキスト 【課題・予習・復習・授業準備指示】 学級を経営する「ベテランの実践を学ぼう」 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第９回	・教材について・授業の展開・教師の姿勢と心構え 【key words】 学習指導案、授業（教育）目標づくり 【授業概要】 ・学習指導案の意義、記載の構成要素、作業手順について考察する。 ・学習指導案の作成に不可欠な授業目標づくりを考える。 ・教育事情の発表 【教科書ページ・参考文献】 配布資料・テキスト 【課題・予習・復習・授業準備指示】

・日本教育の最大の問題点・・・田原総一郎
・指導要録（小・中・高）
・教師に必要な資質５
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１０回　・仮説実験授業・発問のある授業・教師の表現（伝え方）
【key words】
教職員の職務、教育法規・教育行政、教職の含むと分限・懲戒

【授業概要】
・教師としてあるべき姿を関係法規を中心に考察する。
・教育事情の発表
【教科書ページ・参考文献】
配布資料・テキスト
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教育法規、教育行政の戦後70年

【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１１回　・授業における説明の役割と方法・学習集団の意義と方法・違いを認め合い補い合う
【key words】
教材研究、教材解釈、授業構成、齋藤善博、教師の姿勢・心構え

【授業概要】
・展開のある授業について教材の作成・利用、そして斎藤善博の「教育学のすすめ」によって考察する。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料・テキスト
【課題・予習・復習・授業準備指示】
学習指導要領の改訂、教師の姿勢、心構え
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１２回　・体験的学習の意義と課題・練習の意義と方法・自分のキャラクターを分析する
【key words】
仮説ー討論ー検証、板倉聖宣「科学教育の内容と方法」、発問
【授業概要】
・「仮説実験授業」から授業の展開、授業書、討論の重要性について考察する。さらには授業づくりの核となる発問づくりについて考える。
・教育事情の発表
【教科書ページ・参考文献】
配布資料、テキスト
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教師の表現ー伝え方の極意ー
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１３回　・近代教育思想・教育方法と学習指導
【key words】
ルソー、ペスタロッチ、カント、デューイ、教育方法とは
【授業概要】
・近代教育学者が提唱する教育方法を知って、現代の教育について考察する。さらには、教育方法とが卯kh数指導の関係について学習指導要領によって考察する。
・教育事情の発表
【教科書ページ・参考文献】
配布資料・テキスト
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教育制度と学校、学習指導要領を熟読する。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１４回　・欧米の近代授業理論と受容（一斉授業と開発授業）
【key words】
一斉授業、開発授業、ヘルバルト学派、経験主義的学習指導法、新しい学力観
【授業概要】
・日本教育の明治期の教授法から大正・昭和期に影響を及ぼした教授法と新学力観について考察する。
・教育事情の発表
【教科書ページ・参考文献】
配布資料・テキスト
【課題・予習・復習・授業準備指示】
学習指導要領の改訂、授業時数、教科書制度、デジタル教科書と教科書制度
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１５回　・学習指導と教授理論（指導の原理・方法・発達と学習心理）
【key words】
学習指導、稲富栄次郎、問題解釈学習、デューイ、系統学習、砂沢喜代次、プログラム学習、発見学習、レディネス、ピアジェ、ヴィゴツキー
【授業概要】
今回の一連の授業から学んだことは何か。一連の授業を振り返り、要点を整理する。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料・テキスト
【課題・予習・復習・授業準備指示】
子どもの貧困対策と主学援助、外国人児童・生徒の教育
【予習復習に必要な想定時間】

	90分
受講生に関わる情報および受講のルール	・意欲的な学習態度であること。 ・教師としての在り方について、常に意識を持って学生生活をおこなえること。 ・授業で配布する資料はファイルして保管すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	教育をとりまく社会状況、現場状況、教育改革等に関する情報の事象をとらえ、それを分析・考察し討論することによって客観的に検証・考察する。
オフィスアワー	授業終了から12時まで　または授業終了から17時まで
評価方法	提出物（レポート）、討論・発表内容と態度、定期試験による評価。いずれも60%を超えていること。
教科書	田中耕治・鶴田清司　新しい時代の教育方法　有斐閣
参考書	授業の中で紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 県立高等学校の教師として38年間教育に携わった。その経験をもとに、教育関係講座（科目）を担当し教授している。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 教職概論　　授業コード： 10029

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年次	2単位(30)	選択
担当教員			
塚本　忠男			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業の目的] 教育状況の変化に伴い教育の改革が推進される中、教師には変化への対応が迫られ、さらに児童生徒同志、児童生徒と教師の人間関係の構築能力が求められる。授業づくり、生徒指導を中心とした教師の仕事、教えるということ、そして教師としてのあるべき姿、教職の意義、教師の制度的役割を理解しながら自らの教師像をつくっていくことができる。 [到達目標] ①教育職員としての在るべき姿を理解し、自らの教師像をつくることができる。 ②教育職員関連法規を理解し、遵守しようとする態度を養うことができる。 ③教師に必要な資質を理解し、自らその涵養に努める態度を養うことができる。 ④より良い教師を目指して、職域の人間関係づくりや積極的実践研究必要性が考えられ、実行しようとする意識が涵養できる。
授業の概要	・　求められる教師像について研究し理解し、知力とともに実践力を養う

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	○
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画	第１回	オリエンテーション（授業計画・内容、授業形態、授業方法、評価について） 【key words】 授業について（授業の受け方等） 【授業概要】 ・初回の授業に授業の受け方について学生と相互に授業を創り出すことについて確認する。その他、授業計画・内容、授業形態、授業方法、評価について説明確認する。 ・2人1組で教育の現状をとらえ、どのようでなければならないのか考察し発表する（発表と討論と評価） 【教科書ページ・参考文献】 教師作成の資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・教育に関して（教育情報） ・教職の意義（教職とは何か）、専門家としての教師（社会から期待されている仕事・他の職業との違い） 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２回	専門家としての教師、教職という仕事の性格、情動的実践としての教職について考察する。 【key words】 教職・情動的実践 【授業概要】 ・専門家としての教師について考察する。 ・教師の仕事の性格、情動的実践としての教職について考察する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料（教師に対する揺るぎない信頼を確立する　－教師の質の向上－　文部科学省） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 上毛新聞「ニッポンの人づくり1～7」

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第３回　教師として子どもの心に寄り添う、子どもの言葉を受け取るという教育実践について考察する。

【key words】
子どもに寄り添う、子どもの心を受け取る

【授業概要】
・子どもの心に寄り添うとは、子どもの言葉を受け取るために子どもに接する際の心構え
・教育事情・課題等レポート発表と討論

【教科書ページ・参考文献】
自作資料配布、上毛新聞「ニッポンの人づくり」―哲学する、世界が変わる―（対話を通じ思考を深める・発言よりも傾聴を重視・多様な意見を踏まえ討論・選択科目になる「倫理」等）

【課題・予習・復習・授業準備指示】
配布資料を熟読する。難解な語句を調べる。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第４回　「子どもを育む」「守りの器を作る」について実践的に考察する。

【key words】
陥りやすい罠・守りの器

【授業概要】
・教師がカウンセラーになる難しさ。罠に陥らない為には。教師のメンタルヘルスの問題について実践をとらえて考察する。
・教育事情・課題等レポート発表と討論

【教科書ページ・参考文献】
教師作成配布資料　上毛新聞「オピニオン２１－実践を重ね個に向き合う－」

【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回授業「教育実習から新任教師へ」（資料）を読む。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第５回　「教育実習から新任教師へ」について実践例を通して考察する。

【key words】
教育実習・新任教師

【授業概要】
・教育実習の経験はどのようなものか「衝撃」と「感動」について考察する。実習を修了して新任教師の実践を通した体験について具体的に考察する。
・「教師に５つの資質が必要」について考える。
・教育事情・課題レポート発表と討論

【教科書ページ・参考文献】
教師作成配布資料、教師には５つの資質が必要（堀裕嗣）

【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回授業の配布資料を熟読し、難解な語句は調べておく。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第６回　・学習指導ー子どもとのふれあいを求めてー　・教師力をアップする（よりよい自分であるために・よりよい授業をするために）について実践例をもとに考察する。

【key words】
学習指導、教師力をアップする。

【授業概要】
・教壇に立つ心構え、教師力アップ（よりよい自分であるために・よりよい授業をするために）を考える。
・教育事情・課題レポート発表と討論

【教科書ページ・参考文献】
教師作成資料、学習指導・教師力アップ・教育者としてのあり方

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本時配布資料を読む。
教職員の不祥事、労働基本権と職員団体、学校の規則と子どもの権利他

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第７回　「同僚とともに学校を創る」「時代の中の教師」について考察する。

【key words】
同僚と創る学校、時代を生きた教師

【授業概要】

・同僚と学校の仕事を分担したり、授業のことについて意見を交わしたり、児童・生徒のことについて心配しながら同僚と一緒に仕事をする。
・時代の中の教師、現代の教師はどのような時代性を背負って生きているのか。
・教育事情・課題レポートの発表と評価

【教科書ページ・参考文献】
教師作成配布資料
同僚とともに学校を創る・時代の中の教師

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本時配布の資料を熟読する。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第８回　第7回講義から本時の講義によって、学校における同僚性、教師文化を形成するものについて考察する。

【key words】
同僚生、教師文化、人間関係

【授業概要】
・教育活動の過程を共有して協働で何かを創り出していく営みが共同性の絆を強くすることについて考察する。不可欠なのが職場の人間関係であり、どのようにつくり出すのか。
・教育事情・課題レポート発表と評価

【教科書ページ・参考文献】
前回授業で配布した資料

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本時配布資料（「授業をつくる」）を読解しておく

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第９回　「授業をつくる」について実践から考察する。

【key words】
3年B組金八先生

【授業概要】
・授業実践を読み解き、授業をどのように作るかを考察する。
・授業の構成、授業を構成してるもの
・教育事情・課題レポート発表と評価

【教科書ページ・参考文献】
先時配布資料「授業をつくる」

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本時使用の資料の読解を進めておく

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１０回　「授業をつくる」から「授業をデザイン」することについて考察する。

【key words】
授業のデザイン

【授業概要】
・第9回講義から本時。授業はテーマを巡って展開されるコミュニケーションを通して、参加者間で認識が共有される過程であると考えられる。授業の過程における教師の仕事を考える。
・教育事情・課題レポートの発表・討論・評価

【教科書ページ・参考文献】
前回講義で配布した資料

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本時配布資料「授業のデザイン」を読解する。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１１回　「授業のデザイン」をテーマを設定する・コミュニケーションを組織するから考察する。

【key words】
テーマを設定、コミュニケーションを組織

【授業概要】
・第10回講義から本時。「授業のデザイン」について考察する。「願い」を明確化する、子どもの事実から考える、子どもや学校を取り巻く環境を踏まえる、ことからコミュニケーションを組織することについて考察する。
・教育事情・課題レポートの発表・討論・評価

【教科書ページ・参考文献】
前回講義配布資料を使う

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本時配布資料「授業のデザイン」を読解する。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１２回　「授業のデザイン」を認識を共有することから考察する。

【key words】
授業のデザイン

【授業概要】
・授業のデザインを「認識を共有する」ことから考える。子どもの論理につきあう、課題解決を方向付ける、子どもの発話を学級で共有する、そして授業デザインを支える教師の知識と思考

	について考察する。 ・教育事情・課題レポートの発表・討論・評価を行う 【教科書ページ・参考文献】 前回講義で配布した資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本時配布資料「教師の役割と仕事」を読解する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１３回　「授業デザイン」を支える教師の知識と思考についてを考察する。 【key words】 知識と思考 【授業概要】 ・ここまでは授業をデザインするという教師の仕事について見てきた。この教師の仕事はどのような知識に支えられているのか。そして教師はその知識をどのように身につけて成長していくのか考察する。 ・教育事情・課題レポートの発表・討論・評価を行う。 【教科書ページ・参考文献】 前回講義で配布した資料、本時配布「授業のデザイン」 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本時配布「教師の役割と仕事」を読解する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１４回　教育の役割と仕事について考察する。 【key words】 法的役割、役割意識、生涯学習社会 【授業概要】 ・教師の法的役割と役割意識、教師の仕事の特徴と内容、教師の仕事の実際、生涯学習社会における教師への期待について考察する。 ・教育事情・課題レポートの発表・討論・評価を行う。 【教科書ページ・参考文献】 前回講義で配布した資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本時配布資料「教育実習の意識と心得」を読解する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１５回　・教育実習の意義と心得について考察する　・ここまでの授業内容について総括する。 【key words】 教育実習、総括 【授業概要】 ・「教育実習の意義と心得」について、実習の意義と方法、実習の実際、学習指導案の作成を中心に考察する。 ・教育事情・課題レポートの発表・討論・評価を行う。 ・授業アンケートを行う。 【教科書ページ・参考文献】 前回の講義で配布した資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本時配布資料 ・「新しい時代の教職入門」秋田喜代美・佐藤学著より 「未来に備える教師はどのようであればよいのか」 ・教育者の名言　斎藤喜博（群馬県の生まれ。「島小教育」の著者） 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	・　意欲的な学習態度であること ・　積極的に自己表現ができること ・　授業中の迷惑行為（遅刻・居眠り、私語、メール作成等）は厳禁する
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	・　教職に関する教育現場での社会的問題について検証し、自らの考えを論ずることで、教師としての在り方を考察する。
オフィスアワー	・　月、火、木曜日の９時～１７時　授業のない時間帯
評価方法	・　提出物１０％、発表（内容、方法、態度）２０％、定期試験７０％によって評価
教科書	・　新しい時代の教職入門 改訂版（有斐閣アルマ）　秋田 喜代美、 佐藤 学
参考書	・　授業において紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/	授業担当教員

リテラシー教育	□実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 教育課程論　　授業コード： 10030

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年次	1単位(15)	選択
担当教員			
塚本　忠男			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業の目的] 教育課程の制度と内容が理解でき、児童・生徒の発達課題に応える教育課程のあり方について考察する。また、「確かな学力」とは何かについて研究し、教育課程の編成について考えを深める。 [到達目標] ①教育に関する法令を把握することができる。 ②教育という営みの必然性が理解できる。 ③教育課程が設置される理由が理解できる。 ④カリキュラムと教育課程の関係を理解し、積極的な編成のための思考を養うことができる。 ⑤学習指導要領を理解し、教育課程における教育方法の諸課題を考察することができる。
授業の概要	・　教育課程編成の意義と教育の目的及び目標について学習し研究し実践に役立てる

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	オリエンテーション（授業計画・授業方法と授業内容、評価方法等説明） 【key words】 講義の受け方 【授業概要】 授業の計画・授業の方法と授業内容・評価方法などについて説明する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・次回授業の配布資料に目を通し、難解な単語（専門用語等）について事前に調べておく ・教育について興味関心を持ち、教育の現状を考えて分析して検証したことについて発表を行う。（2人1組） 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２回	教育課程編成の意義・教育課程の概念と意味について考察する 【key words】 教育課程編成の意義・教育目的及び目標 【授業概要】 教育課程の性質、なぜ教育課程の編成が必要なのか、教育の目的、目標が具体的に生かされる教育課程の編成 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回講義の配布資料を熟読し、教育に関する専門的な単語や法令等を事前に調べる。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第３回	教育と言う営みの必然性、教育課程が設置された理由、カリキュラムと教育課程について考察する。

【key words】
教育とは、なぜ教育課程が必要なのか、学習指導要領、カリキュラムと教育課程

【授業概要】
教育とは（教育の必然性）、教育課程の方式、カリキュラムと教育課程の関係、学習指導要領の性格

【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・次回講義資料を熟読し、難解な単語や法的規定について調べておく。
・本時発表の内容を復習し、全体討論を整理して自己の考えをまとめておく。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第４回　教育課程の概念と意味（公的カリキュラムと潜在的カリキュラム）、学習指導要領の特徴と変遷について考察する

【key words】
公的カリキュラムと潜在的カリキュラム、学習指導要領の特徴と変遷

【授業概要】
・教育課程の性質について教育活動における公的・潜在的カリキュラムによって理解を深める。
・学習指導要領の歴史的変遷をとらえて教育課程の変化を理解する。

【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・次回講義資料を熟読して難解なところを調べて理解しておく。
・本時の発表について再度全体の討論を整理し、自論を総括する。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第５回　教育課程編成の教育目的および目標、改正教育基本法における教育の目的と目標、改正学校教育法と同施行規則における教育課程の目的と目標

【key words】
教育基本法、学校教育法、学校教育法施行規則と教育課程
【授業概要】
教育基本法、学校教育法、同施行規則と学習指導要領の関係、学習指導要領と教育方法について法令を解釈して教育課程について考察する。

【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回講義資料を熟読して難解な部分について調べて理解する。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第６回　カリキュラムの構造と類型・教科カリキュラムと経験カリキュラム他について学びを深める

【key words】
カリキュラムの構造と類型、教科・相関・融合・統合・広域・コア・経験カリキュラム

【授業概要】
「カリキュラム」の構造と類型を知る、「カリキュラム」を教科・相関・融合・統合・広域・コア・経験カリキュラムによってとらえる。

【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本時配布の次回講義資料を熟読し、難解な部分をまとめ調べておく。さらには次回授業で質問事項をまとめておく。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第７回　今なぜ「教育課程」なのかについて考察する

【key words】
教育課程、学力問題
【授業概要】
教育課程という問い、学力問題と教育課程（学力水準・学力格差・学力構造・学習意欲）をとらえながら教育課程の性格について考察する。

【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回講義資料を熟読して難解部分を調べ、質問事項をまとめておく。次回授業で質問できるようにする。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第８回　教育課程の歴史的展開と教育方法について考察する。

【key words】
教育課程の歴史、教育方法

	【授業概要】 ・教育目的と教育方法（方法と目的の関係・教育方法の基礎）、教育方法の歴史（教育方法の歴史を近代以前と近代以降に分けて概観する）を見ながら、教育課程の考察をする。 ・授業アンケートの実施（授業を振り返り総括する） 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本時で授業終了。この講義全体を通して確認しておくべきことをまとめる。この授業を受講しての感想の発表（全員）、授業アンケートの実施 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	・　意欲的な学習態度であること ・　教師としてのあるべき姿をイメージし、日常生活の中での実践をとおして意識を養うことに努める。 ・　授業中の迷惑行為（遅刻、居眠り、私語、メール作成等）は厳禁
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	・　教育に関わる社会状況や学校現場での取り組み情報を収集し、教育問題・課題の解決のための学校のあるべき姿を具体的にイメージして考察すること。
オフィスアワー	・　月、火、木曜日の９時～１７時　授業のない時間帯
評価方法	・　レポート提出１０％、筆記試験７０％、発表（内容、方法、態度）２０％
教科書	・　新しい時代の教育課程 第3版（有斐閣アルマ）　田中 耕治、水原 克敏、三石 初雄、西岡 加名恵
参考書	・　授業において紹介
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 生徒指導論　　授業コード： 10032

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年次	2単位(30)	選択
担当教員			
片山　哲也			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	［授業の目的］ 　将来養護教諭として学校で生徒を指導する側に立つ事を想定して、生徒指導の基本理念を身につけて児童生徒理解が出来るようにし、かつ生徒指導が実践できる資質能力をつける。 ［到達目標］ ①生徒指導の意義と原理について理解できる。 ②生徒指導と教科、道徳、特別活動、総合等との関係、地域や関係機関との連携等について理解する。 ③いじめ、不登校、非行問題等児童・生徒の問題と今日的な保護者あり方などについての課題と対応策について理解したり、養護教諭としての関わり方について理解する。 ④Ｃ＆Ｓアンケートや発達障害スクリーニングテスト、構造的グループエンカウンターやロールレタリング等の実技を伴う生徒指導技術の知識を得る。
授業の概要	（１）授業形態は講義とグループ学習で行う。講義は基本理念を、グループ学習は学生が学ぶ意味を持つことが出来るようにするため演習的な課題解決学習とする。 （２）生徒指導の教育課程との関係や地域連携など具体的事例を多く取り入れ実践的資質の向上を図る学習とする。 （３）現在学校で行われているアンケートやテストなど具体的技術を実践し、活用方法を身に付ける学習とする。 （４）生徒指導は人間教育であることを理解し、学生自身の自己指導能力を高める学習とする。 （５）第８回は全員参加方式のシンポジウム形式による意見交換、情報交換、質疑により教育実習前の準備学習とする。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回　生徒指導の意義と原理、Ｃ＆Ｓ質問紙調査の意義と実践 【key words】 生徒指導の意義と原理 【授業概要】 生徒指導論オリエンテーション、（指導計画とレポートについて）、生徒指導提要第１章「生徒指導の意義と原理」第１節「生徒指導の意義と課題」第２節「教育課程における生徒指導の位置づけ」、アイスブレーキング、グループ作り、 【教科書ページ・参考文献】 生徒指導提要第１章「生徒指導の意義と原理」第１節「生徒指導の意義と課題」第２節「教育課程における生徒指導の位置づけ」 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２回　生徒指導の意義と原理、Ｃ＆Ｓ質問紙調査の意義と実践 【key words】 学級の雰囲気と自己肯定感（C&Ｓ）アンケート 【授業概要】 生徒指導提要第１章「生徒指導の意義と原理」第３節「生徒指導の前提」第４節「集団指導.個別指導」第５節「学校運営と生徒指導」、 「学級の雰囲気と自己肯定感（C&Ｓ）アンケート実践１、質問紙調査、C&Sの意義と活用方法、第3回授業課題提示（生徒指導提要第２章から）〞 【教科書ページ・参考文献】

		生徒指導提要第１章「生徒指導の意義と原理」第３節「生徒指導の前提」第４節「集団指導. 個別指導」第５節「学校運営と生徒指導」、 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第３回	生徒指導の歴史、教育課程と生徒指導 【key words】 教育課程と生徒指導 【授業概要】 生徒指導の歴史（郷中教育・子ども・若者白書から学ぶ）、生徒指導提要第２章「教育課程と生徒指導」第１節「教科における生徒指導」第２節「道徳教育における生徒指導」について課題発表（アクティブラーニングの手法として各自の課題をプレゼンテーションする。）と講義、 【教科書ページ・参考文献】 生徒指導提要第２章「教育課程と生徒指導」第１節「教科における生徒指導」第２節「道徳教育における生徒指導」 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第４回	Ｃ＆Ｓの集計と結果の考察、教育課程と生徒指導Ⅱ 【key words】 教育課程と生徒指導 【授業概要】 ″Ｃ＆Ｓアンケートの実践２（集計）,生徒指導提要第２章「教育課程と生徒指導」第３節「総合的な時間における生徒指導」、第４節「特別活動における生徒指導」課題発表(アクティブラーニングの手法として各自の課題をプレゼンテーションする。）と講義 第5回授業課題提示（生徒指導提要第３章から）″ 【教科書ページ・参考文献】 生徒指導提要第２章４節後半　第３章１節　「児童生徒の心理と生徒指導 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第５回	生徒指導のための児童生徒理解、スクリーニングテストの方法 【key words】 児童生徒理解の基本 【授業概要】 ″生徒指導提要第３章「児童生徒の心理と児童生徒理解」第１節「児童生徒理解の基本」、第２節「児童期の心理と発達」、第３節「青年期の心理と発達」、課題発表(アクティブラーニングの手法として各自の課題をプレゼンテーションする。）と講義 発達障害を理解するスクリーニングテストの方法、″ 【教科書ページ・参考文献】 生徒指導提要第３章２節　「生徒指導のための児童生徒理解 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第６回	生徒指導のための児童生徒理解、ロールレタリングの手法、 【key words】 児童生徒理解の資料 【授業概要】 ″生徒指導提要第３章「児童生徒の心理と児童生徒理解」、第４節「児童生徒理解の資料とその収集」、課題発表(アクティブラーニングの手法として各自の課題をプレゼンテーションする。）と講義 ロールレタリングの手法、ロールレタリング１、 第７・８回授業の課題提示（生徒指導提要第４章から）″ 【教科書ページ・参考文献】 ①生徒指導提要第３章「青年期の心理と発達 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第７回	生徒指導のための学校の指導体制について課題発表と講義、 【key words】 学校における生徒指導体制 【授業概要】 生徒指導提要第４章「学校における生徒指導体制」第１節生徒指導体制の基本的な考え方」第２節「組織と生徒指導主事」第３節「年間指導計画」について課題発表(アクティブラーニングの手法として各自の課題をプレゼンテーションする。）と講義、 【教科書ページ・参考文献】 生徒指導提要第３章４節「生徒指導の為の資料収集」第４章１，２節「生徒指導のための学校の指導体制」 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第８回	生徒指導のための学校の指導体制について課題発表と講義、ロールレタリングⅡ

【key words】
学校における生徒指導体制２
【授業概要】
生徒指導提要第４章「学校における生徒指導体制」第４節「生徒指導のための教育研修」第５節「資料の保管活用」第６節「全校指導体制の確率」第７節「生徒指導の評価と改善」、課題発表(アクティブラーニングの手法として各自の課題をプレゼンテーションする。）と講義、ロールレタリングⅡ

【教科書ページ・参考文献】
生徒指導提要第４章３，４，５，６，７節「生徒指導のための指導体制
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第９回　生徒指導のための教育相談、教育相談事例研究

【key words】
教育相談
【授業概要】
生徒指導提要第５章「教育相談」第１節「教育相談の意義」、第２節「教育相談体制の構築」、第３節「教育相談の進め方」課題発表(アクティブラーニングの手法として各自の課題をプレゼンテーションする。）と講義（実践事例２件）、

【教科書ページ・参考文献】
生徒指導提要第５章１，２，３節「教育相談」
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１０回　教育相談の連携、構造的グループエンカウンターの手法

【key words】
教育相談２
【授業概要】
〃生徒指導提要第５章「教育相談」、第４節「スクールカウンセラー、専門機関との連携」、構造的グループエンカウンター、課題発表(アクティブラーニングの手法として各自の課題をプレゼンテーションする。）と講義、ロールレタリング３、
第１１回授業の課題提示（生徒指導提要第６章Ⅰから）〃

【教科書ページ・参考文献】
生徒指導提要第５章「教育相談」３，４節
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１１回　生徒指導の進め方Ⅰ―①、自己指導能力

【key words】
生徒指導の進め方Ⅰ
【授業概要】
生徒指導提要第６章生徒指導の進め方Ⅰ「児童生徒全体への指導」第１節「組織的対応と連携」第２節「教職員の役割」、第３節「守秘義務と説明責任」課題発表(アクティブラーニングの手法として各自の課題をプレゼンテーションする。）と講義、自己指導能力（基本的生活習慣、特に食生活）レポート、

【教科書ページ・参考文献】
生徒指導提要第６章Ⅰ　１，２，３，４，節「生徒指導の進め方
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１２回　生徒指導の進め方Ⅰ―②、スクリーニングテストの手法

【key words】
発達障害スクリーニングテスト実践
【授業概要】
〃生徒指導提要第６章第４節「学級担任の指導」発達障害スクリーニングテスト実践と各種検査について、
C&S実習２回目質問紙調査、　　第１３回授業の課題提示（生徒指導提要第６章Ⅱ）〃

【教科書ページ・参考文献】
生徒指導提要第６章Ⅰ　４，５，６，７，節「生徒指導の進め方Ⅰ
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１３回　生徒指導の進め方Ⅰ-③　基本的な生活習慣

【key words】
基本的な生活習慣
【授業概要】
〃生徒指導提要第６章、第５節「基本的な生活習慣」、第６節「校内規律に関する指導の基本」６章Ⅱ第６節「いじめ問題」課題発表(アクティブラーニングの手法として各自の課題をプレゼンテーションする。）と講義

【教科書ページ・参考文献】

	生徒指導提要第６章Ⅱ１～４節　生徒指導の進め方Ⅱ個別の課題 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　生徒指導の進め方Ⅰ-④、児童生徒の安全、いじめ問題 【key words】 生徒会の主体的活動 【授業概要】 ″生徒指導提要第６章Ⅰ、第７節「児童生徒の安全に関わる問題」第６章Ⅱ、第６節「いじめ問題」課題発表と講義 特にいじめ問題（東中ガッチュウレンジャー）への生徒会の主体的活動,第２回C&S調査の結果と考察、佐野有美酸の詩と歌″ 【教科書ページ・参考文献】 ①生徒指導提要第６章Ⅱ５～１３節、個別の課題をかかえる児童生徒の指導 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　養護教諭としての心構え、シンポジウム形式で討論又は協議 【key words】 シンポジウム（全員が３課題のうちの一件についてシンポジストとして発言 【授業概要】 ″養護教諭として教育実習をするに当たって意欲的な取り組みができるよう、不安や課題を出し合うことにより、前向きな意欲付けを目的とした意見交換(アクティブラーニングの手法としてグループ討議）を行う。 授業評価、感想、試験の予備情報等″ シンポジウム（全員が３課題のうちの一件についてシンポジストとして発言）課題１、児童生徒の命、いじめの根絶　課題２、教育実習への不安と期待　課題３、若者の未来づくり　C＆S第２回の集計結果 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	［受講生にかかわる情報］ ・授業の中でグループでの課題発表を行います。第2回より１4回の間で必ず１回は実施します。 ［受講のルール］ ・発表、手紙、実習などを多く取り入れた授業です。積極的に授業参加して下さい。 ・生徒指導をする教師には人間的資質の高さが必要です。講義を通じて人間力向上を目指して下さい。 ・相互に（講師と受講者）尊敬しあえる人間関係を築き、学べる事に感謝して、社会に出る心構えを作りましょう ・テキスト「生徒指導提要」は一括購入し第1回授業で手交（改定版利用の場合は授業始めに説明）
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式、コメントカードには毎時の課題について答えるスペースに、課題につい意見論述すること。 この意見や質問も含めて、回答や優れた意見についてはプリントしてフィードバックして共有することとする。
授業外時間にかかわる情報	いじめ、自死事件、不登校、ニート、ＳＮＳ等情報関連、特別支援教育などの新聞記事を積極的にスクラップしておくこと。 各自1～2回割り振られた課題（テキストから）についてプレゼンを行う、そのための資料作成は事前に行うもので、反転学習の理論を活用し実践するものである。
オフィスアワー	質問等はコメントカードで受け付ける他、授業終了後に講師室にて受付ます。
評価方法	①試験（論述）５０％　②レポート２０％　③個人発表３０％
教科書	「生徒指導提要」　著作・出版　文部科学省　３００円（送料10円含む） 令和4年秋には改訂される事が報じられており、授業開始に発表がされれば最新の改定版を使用する。
参考書	子供・若者白書（内閣府）　入手方法等は１回目講義にて指示します（内閣府がオープン資料としてインターネット公開しているのでそれを活用）
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 小学校教諭１５年、中学校社会科教諭４年、小中学校管理職１０年、市教育委員会学校教育課長３年、県教育委員会青少年行政６年、市教育研究所長２年（嘱託）など実務経験に基づき、学生には教師としての基本的資質と指導力の育成に当たることを授業の重要課題とする。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育

	□情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 ■その他 その他の具体的内容 教育リソース活用の一環として、子供・若者白書（内閣府）　入手方法等は１回目講義にて指示します（内閣府がオープン資料としてインターネット公開しているのでそれを活用）

講義科目名称： 教育相談論　　授業コード：10033

英文科目名称： Theories of educationalcounseling

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年次	2単位(30)	選択
担当教員			
豊島　幸子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	授業目的　　教育分野に関わる心理的支援の実践について理解する。 到達目標 ①生徒指導や教育相談の課題に対して専門的な知識と技術を得ようとする。 ②様々な教育的課題について深く探求して子どもを理解しようとする。 ③教育実習において養護教諭として実践的な教育相談ができる。
授業の概要	学童期から思春期、青年期に至るまでに生じるさまざまな学校の内外の生徒指導（特に生徒指導や教育相談）上の諸問題を取り上げ、それらの理解と教育心理学的な立場からの具体的な援助の方法を概説する。また、それらの援助方法の基盤となる教育相談の背景にある理論、法令等、倫理的問題についても概説する。また、学校教育実習に向かうための実践力との統合を図り、養護教諭としての使命感や責任感に裏付けられた確実な実践的対応力を身に付ける。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	△
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	◎
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	◎
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	◎
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	△

授業計画	第１回　オリエンテーション　／　生徒指導 【key words】 【授業概要】 オリエンテーション、生徒指導の定義、総合的・実践的・個別的な生徒指導、予防・早期発見・介入、開発的生徒指導、予防的生徒指導、治療的生徒指導 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２回　実技演習（生徒指導対応）と振り返り 【key words】 【授業概要】 学校教育に関する時事的課題を取り上げ、課題に対する問題解決志向を個別に深め、グループ討議や対応場面のロールプレイでより思考・表現・判断力を深め合う。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第３回　教育相談の体制と法律 【key words】 【授業概要】 生徒指導の組織、生徒指導主事、学級経営、協働的生徒指導体制、全体計画、チーム援助、年間指導計画、問題行動への対応、危機管理、サポートチーム、少年法 支援に関わる法律・法令・条約、倫理の基本、倫理綱領、現場での倫理的問題、専門職としての成長と倫理問題

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第４回　実技演習（保護者対応）と振り返り

【key words】

【授業概要】
学校教育に関する時事的課題を取り上げ、課題に対する問題解決志向を個別に深め、グループ討議や対応場面のロールプレイでより思考・表現・判断力を深め合う。

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第５回　教育相談の意義と内容

【key words】

【授業概要】
養護教諭・教師とスクールカウンセラー等の活動、教育相談の意義、教育相談担当の役割、教育相談体制、生徒理解、教育相談技法、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの運用、関係機関等との行動連携、教育相談研修、個人情報保護

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第６回　実技演習（保護者対応）

【key words】

【授業概要】
学校教育に関する時事的課題を取り上げ、課題に対する問題解決志向を個別に深め、グループ討議や対応場面のロールプレイでより思考・表現・判断力を深め合う。

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第７回　生徒指導・教育相談における心理学的諸理論

【key words】

【授業概要】
不登校対応、代表的心理学的アプローチとその異同、諸問題を理解する枠組み、行動観察の方法

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第８回　実技演習（不登校対応）

【key words】

【授業概要】
学校教育に関する時事的課題を取り上げ、課題に対する問題解決志向を個別に深め、グループ討議や対応場面のロールプレイでより思考・表現・判断力を深め合う。

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第９回　発達障害と特別支援教育

【key words】

【授業概要】
学校における支援（特別支援教育の考え方）、障害の理解と支援の基本

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１０回　実技演習（発達特性への個別対応）

【key words】

【授業概要】
学校教育に関する時事的課題を取り上げ、課題に対する問題解決志向を個別に深め、グループ討議や対応場面のロールプレイでより思考・表現・判断力を深め合う。

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

	【予習復習に必要な想定時間】 第１１回　学童期における支援 【key words】 【授業概要】 移行支援、いじめ、不登校、子どもの貧困、児童虐待、放課後支援、学童保育 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回　実技演習（教育福祉の対応） 【key words】 【授業概要】 学校教育に関する時事的課題を取り上げ、課題に対する問題解決志向を個別に深め、グループ討議や対応場面のロールプレイでより思考・表現・判断力を深め合う。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　中・高生における支援 【key words】 【授業概要】 いじめ、家庭内暴力、リストカット、摂食障害、性別違和 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　実技演習（いじめ対応） 【key words】 【授業概要】 学校教育に関する時事的課題を取り上げ、課題に対する問題解決志向を個別に深め、グループ討議や対応場面のロールプレイでより思考・表現・判断力を深め合う。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　実技演習（危機管理の対応） 【key words】 【授業概要】 学校教育に関する時事的課題を取り上げ、課題に対する問題解決志向を個別に深め、グループ討議や対応場面のロールプレイでより思考・表現・判断力を深め合う。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	演習やケース研究では積極的に授業に臨む 復習として授業内容の振り返りの課題を毎回行う
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード方式
授業外時間にかかわる情報	適宜
オフィスアワー	授業のある曜日　昼・放課後
評価方法	＜評価方法＞　毎回の復習小テスト70%　　第14回・15回の実技演習（ロールプレイ）30%　（総合評価は60%超えていること）
教科書	配布資料による
参考書	講義中に適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 当該授業内容に関する実務の経験を有する教員等がその実務経験を活かして講義等を行う科目である。

	アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 教職実践演習　　授業コード： 10034

英文科目名称： Teaching practice seminar

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	４年次	2単位(30)	選択
担当教員			
豊島　幸子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	(授業の目的) 大学4年間で学んだ教職に関する知識と養護に関する学びの統合を図り、現場に立つ養護教諭として求められる実践的資質・能力が身についているかどうか、自己の到達点を自覚し、その足りない部分を生涯にわたって学び続ける力をつける。 (到達目標) ①教育実習での体験と授業の中での知識や演習との統合を図り理解を深めることができる。 ②教育実習校の養護教諭としての使命感や責任感に裏付けられた確実な実践的対応力や指導力を保健室経営計画に記述し発表することができる。
授業の概要	教育実習を通して経験したこと、学修したことを省察したり共有したりする機会とする。グループワークを中心に、実際の学校教育の場を想定した授業となるように、実務経験のある教員のオムニバスの構成となる。 毎回授業の振り返りをスレッドにアップすること。 8回の授業をポートフォーリオでまとめていくこと。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	◎
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	◎
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	◎
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	◎

授業計画	第1回第2回　子どもを理解するということ（教育実習の振り返り） 【key words】 【授業概要】 ○教育実習日誌を読み返し、プロセスレコードから「子どもを理解するということ」についてグループ討議する。 ○実習校の保健室経営計画を作成する 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第３・4回　教職に求められる資質能力 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第５・６回　発達特性のある子への理解と支援 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】

	【予習復習に必要な想定時間】 第７・８回　学校における危機管理対応 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第9・10回　教育方法と技術 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第11・12回　生徒指導・キャリア教育・教育相談と 養護教諭 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第13・14回　組織的な学校保健活動の展開 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第15回　保健室経営計画発表 【key words】 【授業概要】 応 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	予習の課題は授業前までに済ませておく。 グループ演習は積極的に臨む。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ポートフォーリオと毎回のコメントカード
授業外時間にかかわる情報	授業終了後に授業の意見および感想について300字以上をスレッドにアップすること。
オフィスアワー	授業終了後の時間
評価方法	①授業内容の理解および意見・感想50%　②ポートフォーリオ50%
教科書	講義資料は授業途中に配布する。
参考書	講義の中で紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 実務経験のある教員のオムニバスの構成となる。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育

	■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 教育総合実習Ⅰ　　授業コード：10035

英文科目名称： Comprehensive educational training1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	４年次	2単位(90)	選択
担当教員			
豊島　幸子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 「養護実習」をより効果的に行うための事前指導と事後指導を行う。養護教諭としての実践能力を高めるために、養護教諭の仕事を体験し、養護教諭の役割・機能を体験を通してまとめる。 【到達目標】 (1)学童・生徒の健康問題を知ることができる。 (2)養護教諭および保健室の役割、機能を理解し説明することができる。 (3)事前指導をとおして、養護実習における目的や方法、心構えを理解することができる。 (4)事後指導において、学生同士が学びを発表し、実習での学びを共有することができる。
授業の概要	養護実習を有意義なものにするために各教科で学習した内容を再度事前指導で要点を押さえ学習し、事後指導では養護実習の体験を振り返り養護教諭の役割及び保健室の機能についてまとめる。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　科目オリエンテーション

【key words】
科目オリエンテーション、授業計画、実習の意義と目的
【授業概要】
オリエンテーション。授業内容と計画を説明する。
教育総合実習実習の目標と目的について説明し、教育者としての自覚を深める。

【教科書ページ・参考文献】
配付資料、教育総合実習要項
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で配布される資料を熟読し復習する。
授業後に学習内容の振り返りレポートや書類などを所定の期限までに提出すること。
【予習復習に必要な想定時間】
所要時間60分程度

第2回　実習内容Ⅰ

【key words】
実習の概要、実習校事前打ち合わせ

【授業概要】
教育総合実習を履修するにあたっての留意点と実習の概要について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
配付資料、教育総合実習要項
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で配布される資料を熟読し復習する。
授業後に学習内容の振り返りレポートや書類などを所定の期限までに提出すること。
【予習復習に必要な想定時間】
所要時間60分程度

第3回　実習内容Ⅱ

【key words】
実習校の概要、健康課題
【授業概要】
実習校および実習地域についての理解を深めるとともに、児童生徒の健康課題を探る。
【教科書ページ・参考文献】
配付資料、教育総合実習要項
【課題・予習・復習・授業準備指示】

		授業で配布される資料を熟読し復習する。 授業後に学習内容の振り返りレポートや書類などを所定の期限までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第4回	実習内容Ⅲ 【key words】 学校保健活動、養護教諭の職務、学校保健計画、学校環境衛生、定期健康診断、救急処置 【授業概要】 学校保健活動のすすめ方、学校保健計画の作成、学校環境衛生について解説する。 養護教諭の職務について理解し、定期健康診断、救急処置、児童生徒への対応について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 配付資料、教育総合実習要項 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で配布される資料を熟読し復習する。 授業後に学習内容の振り返りレポートや書類などを所定の期限までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第5回	実習内容Ⅳ 【key words】 学習指導案、模擬授業 【授業概要】 学習指導案細案の作成と模擬授業の準備を行う。 【教科書ページ・参考文献】 配付資料、教育総合実習要項 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で配布される資料を熟読し復習する。 授業後に学習内容の振り返りレポートや書類などを所定の期限までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第6回	実習内容Ⅴ 【key words】 学習指導案、模擬授業 【授業概要】 作成した学習指導案に基づいて模擬授業の準備を実施し、自己および他者による相互評価を行う(1回目)。 【教科書ページ・参考文献】 配付資料、教育総合実習要項 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で配布される資料を熟読し復習する。 授業後に学習内容の振り返りレポートや書類などを所定の期限までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第7回	実習内容Ⅵ 【key words】 学習指導案、模擬授業 【授業概要】 作成した学習指導案に基づいて模擬授業の準備を実施し、自己および他者による相互評価を行う(2回目)。 【教科書ページ・参考文献】 配付資料、教育総合実習要項 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で配布される資料を熟読し復習する。 授業後に学習内容の振り返りレポートや書類などを所定の期限までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第8回	実習直前指導 【key words】 実習日誌、学校職員としての心構え 【授業概要】 実習日誌の記入方法、礼儀、実習における態度、言葉遣い、学校職員としての心構え、諸注意等について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 配付資料、教育総合実習要項 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で配布される資料を熟読し復習する。 授業後に学習内容の振り返りレポートや書類などを所定の期限までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第9回	実習評価Ⅰ 【key words】 実習に対する自己評価、実習結果報告 【授業概要】 実習に対する自己評価、実習後の感想、実習日誌を活用した結果報告をまとめさせる。 【教科書ページ・参考文献】 配付資料、教育総合実習要項 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で配布される資料を熟読し復習する。 授業後に学習内容の振り返りレポートや書類などを所定の期限までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第10回	実習評価Ⅱ

	【key words】 事例検討、発表 【授業概要】 実習で学んだ事例をまとめ、テーマごとのグループに分かれてディスカッションを行う。 【教科書ページ・参考文献】 配付資料、教育総合実習要項 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で配布される資料を熟読し復習する。 授業後に学習内容の振り返りレポートや書類などを所定の期限までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
第11回	今後の学習の課題Ⅰ 【key words】 実習報告会 【授業概要】 実習報告会での発表と、自己および他者からの相互評価を行う（1回目）。 【教科書ページ・参考文献】 配付資料、教育総合実習要項 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で配布される資料を熟読し復習する。 授業後に学習内容の振り返りレポートや書類などを所定の期限までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
第12回	今後の学習の課題Ⅱ 【key words】 実習報告会 【授業概要】 実習報告会での発表と、自己および他者からの相互評価を行う（2回目）。 【教科書ページ・参考文献】 配付資料、教育総合実習要項 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で配布される資料を熟読し復習する。 授業後に学習内容の振り返りレポートや書類などを所定の期限までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
第13回	今後の学習の課題Ⅲ 【key words】 実習報告会 【授業概要】 実習報告会での発表と、自己および他者からの相互評価を行う（3回目）。 【教科書ページ・参考文献】 配付資料、教育総合実習要項 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で配布される資料を熟読し復習する。 授業後に学習内容の振り返りレポートや書類などを所定の期限までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
第14回	今後の学習の課題Ⅳ 【key words】 実習報告会 【授業概要】 実習報告会での発表と、自己および他者からの相互評価を行う（4回目）。 【教科書ページ・参考文献】 配付資料、教育総合実習要項 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で配布される資料を熟読し復習する。 授業後に学習内容の振り返りレポートや書類などを所定の期限までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
第15回	まとめ 【key words】 目指す養護教諭像、まとめと評価 【授業概要】 目指す養護教諭像、求められる養護教諭像について考える。 教育総合実習のまとめと評価を行う。 【教科書ページ・参考文献】 配付資料、教育総合実習要項 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で配布される資料を熟読し復習する。 授業後に学習内容の振り返りレポートや書類などを所定の期限までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
受講生に関わる情報および受講のルール	(1)実習要件 3年次までに養護教諭１種免許状取得に係る科目の単位認定を満たしていること。 (2)基本姿勢 実習校の教職員は、後継者を育てるために、多忙な時間を割いて実習生の教育・指導に当たっていただいている。このことを十分に理解し、感謝して、謙虚な姿勢で実習に臨む。また、一人一人が群馬医療福祉大学看護学部を代表しているという自覚をもって行動する。 (3)実習校の教職員に対して 実習校の教職員に対しては、自分は指導を受ける立場にあることを念頭において接する。一つ一つの動作や、言葉使いにも細心の注意を払う必要がある。

	(4)教師としての自覚と責任 実習生は、大学においては「学生」であっても、児童生徒と接する場面においては、人生の先輩であるとともに、指導者として、一人前の「先生」としてみられる。実習中は「教師」としての自覚をもち、それに見合った責任を果たすことが求められる。体罰は厳禁である。教師としての「守秘義務」があることは最も重要な確認事項である。 (5)「学ぶもの」としての自覚 実習生は、「学ぶもの」としての自覚をもち、教職員や児童生徒を「師」として関わる。授業・休み時間・清掃・学校行事など、学校に関わるすべてに関心を示し、課題意識を持って積極的に関わり、多くのことを吸収する。 (6)実習のピア支援 一緒に実習する仲間は、学習活動や情報交換において協力し、相談相手として機能するなど、充実した実習になるように支えあう。（リーダーは、実習生のまとめ役として、挨拶や諸連絡の窓口になる。）
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード方式
授業外時間にかかわる情報	授業で配布される資料を熟読し復習する。（所要時間60分程度） 授業後に学習内容の振り返りレポートや書類などを所定の期限までに提出すること。 実習先自治体の教育方針や実習校の概要等を事前に理解して実習に臨むこと。
オフィスアワー	授業前後45分
評価方法	(1)評価項目：以下の項目を基に総合的に評価する。 ①実習内容、実習目的・目標に対する理解状況 ②実習に向けた態度 ③実習記録・レポート提出についての理解度 (2)評価手順と方法 ①自己評価：実習終了時に学生が自己の評価を行う。 ②提出物：実習終了時に評価票・記録・レポートを提出する。 レポート・記録60%、発表・討論20%、提出物20% 総合評価はレポート・記録、発表・討議、提出物を総合して60%を超えていることが前提となる。
教科書	学校保健・安全実務研究会編：新訂版　学校保健実務必携《第４次改訂版》、第一法規、2017 采女智津江　編：新養護概説(第10版)、少年写真新聞社 教育総合実習要項
参考書	児童生徒の健康診断マニュアル、日本学校保健会、2016 保健室経営計画の手引、日本学校保健会、2015 保健主事のための実務ハンドブック：文部科学省、2011 学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育、文部科学省、2012 学校環境衛生マニュアル「学校環境衛生基準」の理論と実践、日本学校保健会、2018
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 長野県で養護教諭として実務経験のある教員が科目を担当する。その経験を活かし、学校教職員としての資質や自覚、実習生としての態度、礼儀等について指導するとともに、実習が滞りなく進められるよう支援する。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 教育総合実習Ⅱ（養護実習）　　授業コード：10036

英文科目名称： Comprehensive educational training2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	４年次	2単位(90)	選択
担当教員			
豊島　幸子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 大学教育で習得した一般教養・教職教養および養護に関する専門的知識・技術を学校教育の場で実際に適用あるいは応用するとともに、実習の経験に基づいて理論的裏付けを確認する。また、学校教育に影響を及ぼす社会的事象や生活環境の変化等を理解して、現代的課題に応える教育者としての自覚を高める。 【到達目標】 (1)児童生徒の発育や発達段階について学習した内容を、学校教育の場で確認することができる。 (2)児童生徒の教育に必要な、養護教諭の専門的技術や能力を身に付けることができる。 (3)教室での学習活動の状況と、保健室に来室する児童生徒の実態を比較して、児童生徒の発達段階における特徴を理解することができる。 (4)学校の組織や運営を理解した上で、保健室経営に参画するすることができる。また、学校保健の視点を通して、各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間等を体験する。 (5)養護教諭と学級担任や他の教職員との連携や協働のあり方を理解することができる。 (6)学校における救急体制を確認し、校内・校外での連携のあり方を養護教諭の体験した救急体制に関わる事例等の資料や講話を通して理解することができる。
授業の概要	養護実習をとおして学校保健、養護教諭の職務について具体的に学ぶことが主たる目的ではあるが、学校における教職員の役割や学級内外での児童生徒の様子もよく観察し、学びを深める。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	○
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回　　各学校での実習 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	(1)実習要件 3年次までに養護教諭１種免許状取得に係る科目の単位認定を満たしていること。 (2)基本姿勢 実習校の教職員は、後継者を育てるために、多忙な時間を割いて実習生の教育・指導に当たっていただいている。このことを十分に理解し、感謝して、謙虚な姿勢で実習に臨む。また、一人一人が群馬医療福祉大学看護学部を代表しているという自覚をもって行動する。 (3)実習校の教職員に対して 実習校の教職員に対しては、自分は指導を受ける立場にあることを念頭において接する。一つ一つの動作や、言葉使いにも細心の注意を払う必要がある。 (4)教師としての自覚と責任 実習生は、大学においては「学生」であっても、児童生徒と接する場面においては、人生の先輩であるとともに、指導者として、一人前の「先生」としてみられる。実習中は「教師」としての自覚をもち、それに見合った責任を果たすことが求められる。体罰は厳禁である。教師としての「守秘義務」があることは最も重要な確認事項である。 (5)「学ぶもの」としての自覚

	実習生は、「学ぶもの」としての自覚をもち、教職員や児童生徒を「師」として関わる。授業・休み時間・清掃・学校行事など、学校に関わるすべてに関心を示し、課題意識を持って積極的に関わり、多くのことを吸収する。 (6)実習のピア支援 一緒に実習する仲間は、学習活動や情報交換において協力し、相談相手として機能するなど、充実した実習になるように支えあう。（リーダーは、実習生のまとめ役として、挨拶や諸連絡の窓口になる。）
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	実習巡回とZOOMで定期ミーティング
授業外時間にかかわる情報	実習先自治体の教育方針や実習校の概要等を事前に理解して実習に臨むこと。 実習日誌や振り返りレポート等は所定の期限までに提出すること。
オフィスアワー	適宜
評価方法	(1)評価項目：以下の項目を基に総合的に評価する。 ①出席状況 ②実習内容、実習目的・目標に対する達成状況 ③実習態度 ④実習記録・レポート (2)評価手順と方法 ①自己評価：実習終了時に学生が自己の評価を行う。 ②提出物：実習終了時に評価票・記録・レポートを提出する。 ③上記評価票により、Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄの４段階で総合的に評価する。
教科書	学校保健実務必携《第４次改訂版》、第一法規、2017
参考書	児童生徒の健康診断マニュアル、日本学校保健会、2016 保健室経営計画の手引、日本学校保健会、2015 保健主事のための実務ハンドブック：文部科学省、2011 学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育、文部科学省、2012 学校環境衛生マニュアル「学校環境衛生基準」の理論と実践、日本学校保健会、2018
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 養護教諭として実務経験のある教員が科目を担当する。学校教職員としての資質や自覚、実習生としての態度・礼儀等について事前指導するとともに実習評価項目が達成できるよう巡回指導する。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 教育社会学　　授業コード： 10038

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年次	2単位(30)	選択
担当教員			
片山　哲也			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業の目的] 　将来養護教諭として学校で児童生徒を指導するに当たって、必要な資質を身につけることを目的とする。その必要な資質として教育社会学の側面から学校、家庭、地域社会、関係機関などの教育機能や課題を理解し、社会、文化、経済など社会の諸機能との相互の関係をつかむ。そして未来社会を作る教育のあり方を創造する養護教諭の資質能力をつける。 ［到達目標］ ①教育社会学を学ぶ意義がわかる。 ②学校と家庭・地域との連携による教育機能の連携を考え、その効果を理解する。 ③喫緊の学校課題、学校安全への対応や食育、防災教育等の現状と今後の方策を考える。 ④社会が持つ様々な教育機能を明らかにし、コミュニティースクールとの連携を考える。 ⑤青少年を取り巻く教育問題をとらえ、その対応策について自己の考え方を探求する。
授業の概要	＊授業形態は講義で現状分析し、グループ討議で今後のあり方を考える、という形式を取りながら、各自が積極的な授業参加を図る。そのための課題1～10回は教育の現代的課題を1テーマずつ提示する。１１回以降はテキスト（こども若者白書内閣府作成）をグループや個人で分析し授業者の立場で課題発表する（その際は反転学習の理論を踏襲し各自の発表課題は事前に作成し、当日はプリント配布する。）

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	教育社会学を学ぶ意義 【key words】 授業方法、授業計画 【授業概要】 オリエンテーション（授業方法、授業計画、）教育社会学を学ぶ意義、各自の成育に関わった社会環境を洗い出し本授業の意義を確かめる。（説明、講義、課題探求） 【教科書ページ・参考文献】 作成資料提示 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	教育の機能 【key words】 学校の機能、家庭の教育機能、地域社会の教育機能 【授業概要】 教育がいかにあるか（学校の機能、家庭の教育機能、地域社会の教育機能を確かめ、3機能の連携を考える）講義 教育がいかにあるべきか（今日の授業から教育のどんな側面が見えるか）グループ討議、グループ発表（アクティブラーニング） 【教科書ページ・参考文献】 作成資料提示 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第３回	特色ある教育活動 【key words】 学校の機能、特色ある教育活動 【授業概要】

		教育がいかにあるか（学校の機能、特色ある教育活動、スクールオブザイヤー最優秀・優秀校の実践を知る。）講義、 教育はいかにあるべきか（教育活動に必要なものは何か）グループ討議・発表（アクティブラーニング） 【教科書ページ・参考文献】 作成資料提示 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第４回	社会教育の意義 【key words】 社会教育が担う活動 【授業概要】 教育がいかにあるか（社会教育が担う活動を知る、少年の船、おいっきり冒険隊のＶＴＲ、プログラム。社会教育団体の活動）講義 教育がいかにあるべきか（コミュニティースクールとの連携を考える）グループ討議・発表（アクティブラーニング） 【教科書ページ・参考文献】 作成資料提示 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第５回	生涯学習時代、民間の教育機能 【key words】 生涯学習時代の意味するもの 【授業概要】 教育がいかにあるか（生涯学習時代の意味するもの、地域社会の教育機能、草刈り十字軍、山村留学、通学合宿、農業学校、自然塾等）講義 教育がいかにあるべきか　（体験活動は何をもたらすか、）グループ討議、発表（アクティブラーニング） 【教科書ページ・参考文献】 作成資料提示 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第６回	社会が求める教育機能 【key words】 学校安全への対応 【授業概要】 教育がいかにあるか（喫緊の学校課題である学校安全への対応、さらに食育、防災、消費者、キャリア、伝統文化、情報、シティズンシップ、人権教育等の現状・課題）講義。 教育がいかにあるべきか（学校と社会はどう連携できるか）グループ討議・発表（アクティブラーニング） 【教科書ページ・参考文献】 作成資料提示 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第７回	人類が求めるめる教育機能 【key words】 人類が求めるめる教育機能 【授業概要】 教育がいかにあるか（人類が求めるめる教育機能、ユニセフ、ユネスコ、ＥＳＤ、ネルソン・マンデラ、マララ・ユフザイ）講義 教育がいかにあるべきか（学校は社会の要請にどう応えるか）グループ討議・発表（アクティブラーニング） 【教科書ページ・参考文献】 作成資料提示 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第８回	学校以外の教育機能 【key words】 社会教育施設等の教育的機能 【授業概要】 教育がいかにあるか（行政の子育て支援や青少年育成、図書館、博物館、美術館、青少年施設等の教育的機能）講義 教育がいかにあるべきか（これから必要な子どもや青少年のための施設等）グループ討議・発表（アクティブラーニング） 【教科書ページ・参考文献】 作成資料提示 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第９回	特別支援教育 【key words】 特別支援教育 【授業概要】 教育がいかにあるか（特別支援教育を知る、学校、施策、民間の活動）　１つの教育技術「エコグラム」に挑戦、 教育がいかにあるべきか（特別支援教育にどう関われるか）グループ討議、発表（アクティブラーニング）

【教科書ページ・参考文献】
作成資料提示
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１０回　青少年の現状１
【key words】
青少年の現状
【授業概要】
教育がいかにあるか（子供・若者白書特集と２部第１章の統計資料から青少年の現状をつかむ）グループ発表、
教育がいかにあるべきか（白書の現状から問題をつかみ今後の姿を想定する）グループ発表（アクティブラーニング）
【教科書ページ・参考文献】
子供・若者白書、作成資料提示
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１１回　青少年の現状２
【key words】
青少年の現状
【授業概要】
教育がいかにあるか（子供・若者白書２部、第２章２，３，４節の統計資料から青少年の現状をつかむ）グループ発表、
教育がいかにあるべきか（白書の現状から問題をつかみ今後の姿を想定する）グループ発表（アクティブラーニング）
【教科書ページ・参考文献】
子供・若者白書、作成資料提示
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１２回　青少年の現状３
【key words】
青少年の現状
【授業概要】
教育がいかにあるか（子供・若者白書２部、第３章１節の統計資料等から青少年の現状をつかむ）グループ発表、
教育がいかにあるべきか（白書の現状から問題をつかみ今後の姿を想定する）グループ発表（アクティブラーニング）
【教科書ページ・参考文献】
子供・若者白書、作成資料提示
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１３回　青少年の現状４
【key words】
青少年の現状
【授業概要】
教育がいかにあるか（子供・若者白書２部、第３章２節の資料から青少年の現状をつかむ）グループ発表、
教育がいかにあるべきか（白書の施策から課題をつかみ今後のあり方を探求する）グループ発表（アクティブラーニング）
【教科書ページ・参考文献】
子供・若者白書、作成資料提示
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１４回　青少年の現状５
【key words】
青少年の現状
【授業概要】
教育がいかにあるか（子供・若者白書２部第４章１，２節の資料から青少年の現状をつかむ）グループ発表、　教育がいかにあるべきか（白書の施策から課題をつかみ今後のあり方を探求する）グループ発表（アクティブラーニング）
【教科書ページ・参考文献】
子供・若者白書、作成資料提示
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１５回　青少年の現状６
【key words】
青少年の現状
【授業概要】
教育がいかにあるか（子供・若者白書２部第４章３，４，５，６，節の資料から青少年の現状をつかむ）グループ発表、
教育がいかにあるべきか（白書の施策から課題をつかみ今後のあり方を探求する）グループ発表（アクティブラーニング）
【教科書ページ・参考文献】
子供・若者白書、作成資料提示
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

受講生に関わる情報および受講のルール	＊各自授業中に行うアイスブレーキングを１つ考えておき、急な指名に答えられるようにしておくこと。＊教育に関する様々なニュースを日々確認しておくこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式、コメントカードには本日の課題の項目を作り、それに多sる質問や優れた意見はプリントしてフィードバックし、内容意見の共通理解を図る。
授業外時間にかかわる情報	＊各自授業中に行うアイスブレーキングを１つ考えておき、急な指名に答えられるようにしておくこと。＊教育に関する様々なニュースを日々確認しておくこと。
オフィスアワー	コメントカードにて受付ます。授業後講師室にて質問受け付けます。メールでもよし。
評価方法	①試験（論述）５０％　②レポート（授業プレゼン資料）３０％　③授業の討議資料２０％
教科書	「子供・若者白書」内閣府を使用します。事前購入は不要、授業中に詳細連絡します。
参考書	小学校指導要領、中学校指導要領　　水谷修著「約束」「ありがとう」
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 小学校教諭１５年、中学校社会科教諭４年、小中学校管理職１０年、市教育委員会学校教育課長３年、県教育委員会青少年行政６年、市教育研究所長２年（嘱託）など実務経験に基づき、学生には教師としての基本的資質と指導力の育成に当たることを授業の重要課題とする。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 医療英会話　　授業コード： 10041

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年次	1単位(30)	選択
担当教員			
森　佳江			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 看護現場で患者やスタッフと意志疎通をはかることができるようになる。 【到達目標】 ①看護現場で使用頻度の高い単語・語いを聞きとれ、発音することができる。 ②会話に必要な基本的な文法を理解し、応用できる。 ③覚えた表現を応用して様々な場面での会話に対応できるようになる。
授業の概要	病院内の様々な場面での会話例を聞き取り、正しく発音し、意味を理解する。 相手の言うことを即座に正確に聞きとる練習をする。 臨床場面で必要な専門用語やよく使う表現を学び、情報を適切に相手に伝えることができるようにする。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　Asking Basic Question　：　基本的な質問をする

【key words】
Nice to meet you.　What do you do?　How are your classes?
【授業概要】
自己紹介の仕方を学ぶ。 Be動詞、一般動詞の使い方を確認しながら、相手に基本的な質問をする仕方を学ぶ。疑問詞を使った疑問文の応答を学ぶ。
文法：ｂｅ動詞、一般動詞
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ６～Ｐ１１
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書　p.8 Grammar Exercise 2（自分について答える）
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第２回　A Patient's First Visit.　患者の情報を聞き出す

【key words】
What's your nationality? What's your date of birth? How old are you? What's your problem today?
【授業概要】
初診の患者が訪れたときに使う表現をいくつかの事例で学ぶ。　患者の情報を聞き出す応答の仕方を疑問詞の復習をしながら学ぶ。
文法：疑問詞と受け答え
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ１２～Ｐ１７
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書　p.16 - p.17 Practice 6（表を埋める質問の仕方を考える）
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第３回　Where's Internal Medicine?　病院内を案内する

【key words】
Go straight up the hall.　Take the elevator to the 4th fioor.
Turn right.　Go to orthopedics.
【授業概要】
病院内で患者に正確な道案内ができるように案内のための表現、位置の表し方を学ぶ。　診療科名を発音練習し、覚えて会話の中で使えるようにする。
文法：命令形

【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ１８～Ｐ２５
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書　p.22 - p.23 のKey Expressionsを復習し、p.25 Practice 4 をやる。
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第４回　自己紹介 / 基本的な質問の仕方 / 病院内の案内
【key words】
Are you ～ ?　Do you ～ ?　5W1Hの疑問詞
【授業概要】
Unit 1 ～ Unit 3 で扱った内容の中で重要な表現の練習をする。　病院内の案内の仕方を ROLE PLAY で身につける。　診療科名を確認する。
文法：動詞の使い方、疑問詞の復習
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ６～Ｐ２５
【課題・予習・復習・授業準備指示】
指示した表現、単語を確実に覚える。
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第５回　Admission to the Hospital.　入院患者に病院の説明をする
【key words】
Would you ～ ?　Can I ～ ?　Shall I ～ ?　Yes, please.　No, thank you.
【授業概要】
入院患者に入院時の注意事項、設備の利用時間、使用方法等を説明する表現を学ぶ。　「時」につく前置詞の使い方を学ぶ。 病室内、設備等の単語を発音し覚える。
文法：前置詞
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ３０～Ｐ３６
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書　p.33 Practice 2 をやる。(動詞と前置詞の組み合わせを考える)
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第６回　Giving Information.　病院の規則を説明する
【key words】
If you need (want,　feel,　have) .　Since you can't ～ .　Before (After) your ～ .
【授業概要】
病院の規則を説明する表現を学ぶ。　If,　When,　Before,　After などの接続詞を使って「節」を作る練習をする。　可算名詞と不可算名詞、量を表わす表現を学ぶ。
文法：可算名詞・不可算名詞、量を表す表現
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ３７～Ｐ４５
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書　p.43 Practice 2 (不可算名詞の数え方)
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第７回　Symptoms　患者から症状を聞き出す
【key words】
I have a cold.　I feel tired.　My arm hurts.　What's your problem today?
【授業概要】
患者にどんな症状があり、どれくらいの期間続いているのか、また症状の起こる頻度、回数などを尋ねる表現を学ぶ。　have,　feel,　hurt を使って症状を述べる練習をする。
文法：ｈａｖｅの使い方
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ４６～Ｐ５４
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書　p.53 Practice 5 (症状の言い方)
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第８回　症状の述べ方 / 症状の聞き方 / 病気、痛みに関する単語
【key words】
sickness,　cold,　aches and pains,　stomach and internal problems
【授業概要】
先週に引き続き患者から症状を聞き出す表現を学ぶ。　病気、痛み、トラブルに関する単語を学ぶ。
文法：頻出基本動詞、前置詞、名詞
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ４６～Ｐ５４
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書　p.55 Crossword　:　Symptoms
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第９回　Injuries and Emergencies　緊急外来での会話
【key words】
What happened to ～ ?　Can you hear me?　How did you hurt ～ ?
【授業概要】
緊急外来での事例をいくつか想定して対応に必要な表現を学ぶ。　状況の説明に必要な「過去形」を学ぶ。 体の部位を表わす単語を発音し使えるようにする。
文法：過去形
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ５８～Ｐ６５
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書　p.64 Practice 6 (事故が起きてから入院までの話の完成)

【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第１０回　How are you　feeling?　現在の症状を聞き出す
【key words】
How are you feeling?　Are you OK?　Are you still ～ ing?
【授業概要】
朝の病棟ラウンドのときによく使う表現を学ぶ。　現在進行形を使って現在の状況を説明する練習をする。　内臓器官を表わす単語を発音し使えるようにする。
文法：進行形
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ６６～Ｐ７５
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書　p.75 Practice 9 (医師と看護師がしていることを、現在進行形を使って文を作る)
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第１１回　A Patient Medical History　患者の病歴を尋ねる
【key words】
Have you ever had ～ ?　Have you ever suffered from ～ ?
How long have you had ～ ?
【授業概要】
患者の病歴を尋ねる時に必要な表現を学ぶ。　現在完了形、過去完了形の使い方を確認し「時制」を理解できるようにする。　主要な病気を表わす単語を発音し使えるようにする。
文法：時を表す表現
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ７６～Ｐ８４
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書　p.85 Crossword　:　Parts of the Body
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第１２回　Medicine　処方された薬について説明する
【key words】
What is the medicine for?　What are the side effects?　How often do you ～?
【授業概要】
薬の用法の説明に必要な表現と「頻度」の聞き方と答え方を学ぶ。　説明をする時によく使う助動詞を学ぶ。　「薬袋」に必要事項が書けるように薬の種類を表す単語を発音し使えるようにする。
文法：頻度の副詞
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ８８～Ｐ９５
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第１３回　I'm Going to Give You an IV.　様々な処置の説明をする
【key words】
Would you please ～ ?　I'm going to ～ .　Your operation is scheduled ～ .
【授業概要】
採血やリハビリなどの説明、手術の手続き、手術前後の注意事項を説明するために使う表現を学ぶ。未来形を使って予定を述べる練習をする。
文法：未来形

【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ９７～Ｐ１０１
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書　p.100 Practice 1 (will,　be going to の練習)
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第１４回　Congratulations!　妊娠、出産前後の注意事項を知らせる
【key words】
What's the expected date of delivery?　You'll be having a normal birth.
Which one is my baby?
【授業概要】
妊娠、出産に関する診療、入院、分娩時によく使う表現を学ぶ。　現在進行形を使って状況を説明する練習をする。　代名詞の使い方を学ぶ。
文法：代名詞
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ１０４～Ｐ１１２
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書　p.100 - p.111 Practice 4　(現在進行形を使って看護師の予定を書く)
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第１５回　患者と看護師の会話
【key words】
意思の疎通
【授業概要】
Unit1 ～ Unit12 で学んだ重要表現を Appendix1 ～12 を使って練習する。　医療系単語を種類別に整理し確認する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ１１６～Ｐ１２７
【課題・予習・復習・授業準備指示】
配布プリント(医療系単語)を覚える。
【予習復習に必要な想定時間】

	６０分～１２０分
受講生に関わる情報および受講のルール	音声重視の授業です。会話練習、発音練習は大きな声を出して積極的に取り組むこと。 会話の基礎になる文法の復習は各自しっかり行うこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	テキストの該当ページの予習（会話の部分のCDを聞く）をして授業に臨むこと。 授業終了後は復習しておくこと。
オフィスアワー	授業終了後30分間
評価方法	期末筆記試験（客観、論述）85%　学習確認小テスト15%
教科書	Speaking of Nursing　　南雲堂
参考書	講義の中で適宜紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 韓国語　　授業コード： 10042

英文科目名称： Korean

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	２単位(30)	選択
担当教員			
金　敬淑			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 はじめて韓国語を学ぶ学生を対象としているため、韓国語の基礎を身につけることを目的とする。 【到達目標】 文字の仕組みと発音練習からはじまる。読み書きを中心に習得しながら基礎的文法知識へと進み、その知識をいかして簡単な会話をいくつかできるようになることを目指す。 １）　ハングル文字が読める・書ける。（お店の看板やメニューが読める水準） ２）　教科書にある文章（10課～11課の会話テキスト）を全て読める。 ３）　あいさつをはじめ、ごく簡単な単文が書ける・言える。
授業の概要	テキストに従っての講義と練習問題、小テスト。 基本を学ぶため、ゆっくり授業を進める。発音や教材を読むときは受講生に大きな声を出して練習することを求める。 外国語学習には根気と努力が欠かせないので、学んだことをしっかりマスターし次へと進むため授業のはじめに適宜10分程度の小テストを行う。10回程度の小テストを予定しているが、教材の本文および練習問題から出題されるので難しくはない。期末試験は実施しない。 学生自身が聞き取り能力の現在地を確認するため、1回映像資料（映画など）を視聴する。 外国語能力とコミュニケーション能力は必ず比例するとは言い難い。韓国語を学ぶ過程において隣国の社会や文化にも触れながら、背景が異なる他者とのコミュニケーションを能動的に行える素養も身につく授業になればと思う。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	オリエンテーション、ハングルについて 【key words】 ハングル・語順、・仕組み・特徴 【授業概要】 ハングルの歴史、韓国語の使用人口、仕組みや特徴を日本語との類似点などもからめて説明する。 【教科書ページ・参考文献】 p14～17、配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ハングルの仕組みを体感できるように、P17を手本に声を出しながら「김(kim)밥(pap)（海苔巻き）」をハングルで10回書いてみる。 【予習復習に必要な想定時間】 10分
	第２回	基本の母音 【key words】 基本母音10個・仕組み・発音 【授業概要】 基本母音10個の仕組みと書き順、発音を説明。授業中に順番通り10個を全て諳(そら)んじて書けるようにする。基本母音体操（歌と体で覚える） 【教科書ページ・参考文献】 p20～24 【課題・予習・復習・授業準備指示】 基本母音をランダムに読めるように準備する。 小テストの準備：P23　3番「発音しながら書いてみよう」 単語５つ（意味と書取り）

【予習復習に必要な想定時間】
30分

第３回　基本子音①

【key words】
基本子音14個・仕組み・発音
【授業概要】
※第２回授業の復習小テスト（10分）
基本子音14個の仕組みと書き順、発音を説明。授業中に順番通り14個を全て諳んじて書けるようにする。

【教科書ページ・参考文献】
ｐ26～43
【課題・予習・復習・授業準備指示】
基本子音をランダムに読めるように準備する。
小テストの準備：提示した単語10個(意味と書取り)

【予習復習に必要な想定時間】
30分～60分

第４回　基本子音②

【key words】
濃音子音５個・平音/激音/濃音の発音＆聞き分け
【授業概要】
※第３回授業の復習小テスト（10分）
基本子音14個に濃音子音５個を含め、平音・激音・濃音の発音を説明、発音と聞き取りのコツを習得する。

【教科書ページ・参考文献】
ｐ44～49
【課題・予習・復習・授業準備指示】
平穏・激音・濃音の発音の区別がつくように練習する。
小テストの準備：P45、P47の単語の意味と書取り（10個出題）

【予習復習に必要な想定時間】
30分～60分

第５回　合成母音字

【key words】
合成母音字11個・仕組み・発音パターン
【授業概要】
※第4回授業の復習小テスト（10分）
合成母音字11個の仕組みと書き順、発音を説明。読み方のコツを習得する。

【教科書ページ・参考文献】
ｐ50～57
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P57、P51、P53、P55の「発音しながら書いてみよう」：３列書き込み。
小テストの準備：P51、P53、P55の単語の意味と書取り（10個出題）
【予習復習に必要な想定時間】
30分～60分

第６回　パッチム

【key words】
パッチム・７つの発音
【授業概要】
※第5回授業の復習小テスト（10分）
パッチムとは何か、その仕組みと有声音パッチム7つの発音を説明。発音のコツを習得する。
【教科書ページ・参考文献】
ｐ58～61　配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P60、P61「発音しながら書いて覚えよう」：2列書き込み。
小テストの準備：P60、P61の単語の意味と書取り（10個出題）

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第７回　二重パッチム

【key words】
二重パッチム・発音パターン
【授業概要】
※第6回授業の復習小テスト（10分）
二重パッチムの読み方のルール、仕組みと有声音パッチム7つの発音を説明。発音のコツを習得する。
子音字の名称を覚える。

【教科書ページ・参考文献】
ｐ62～65　配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P63「発音しながら書いて覚えよう」：2列書き込み。
小テストの準備：P62（指定単語）、63の単語の意味と書取り（10個出題）
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第８回　発音を滑らかにするためのいくつかのルール

【key words】
有声音化・連音化・弱化・鼻音化、・激音化、・濃音化

		【授業概要】 ※第7回授業の復習小テスト（10分） 有声音化、連音化、弱化、鼻音化、激音化、濃音化といった発音の法則を説明して、実際に何度も読んでみる。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ66～70　付録ｐ204～207 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P67,P69 発音しながら2回ずつ書いてくる。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～90分
	第９回	第10課(1)　私は○○です。○○さんは○○（職業/日本人　など）ですか？ 【key words】 私（人称代名詞）・～は・～です/ですか？・職業/国の名前 【授業概要】 ※第８回授業の課題チェック（P67,P69の単語を順番に発音） ①　　人称代名詞 ②　　～は　　은/는 ③　　丁寧な語尾（体言）～です。/ですか？　　-입니다./입니까? これらを説明し、練習ドリルをいくつか解いたあと オリジナル例文を作って声を出して練習する。 【教科書ページ・参考文献】 P75～P80 【課題・予習・復習・授業準備指示】 小テストの準備:練習ドリル1、3から出題。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１０回	第10課(2)　私は ○○○といいます。 【key words】 紹介の表現「～といいます」 【授業概要】 ※第9回授業の復習小テスト（10分） ①　　紹介の表現　～といいます。 -라고 합니다. ②　　은/는　-입니다./입니까?も含めて オリジナル例文を作って声を出して練習する。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ76～p80 【課題・予習・復習・授業準備指示】 小テストの準備：練習ドリル６から出題。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～90分
	第１１回	第11課(1)　これは○○ですか？　それは○○です。 【key words】 指示代名詞・身の回りの物・韓国人の名前 【授業概要】 ※第10回授業の復習小テスト（10分） ①　　指示代名詞　これ・それ・あれ・どれ/ここ・そこ・あそこ・どこ ②　　身の回りの単語　(P89) ③　　韓国人の名前　（好きな俳優・歌手の名前を書いて正確に発音し、「この人は○○○さんです」のフレーズを言ってみる） これらを説明し、練習ドリルをいくつか解いたあと オリジナル例文を作って声を出して練習する。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ83～85 【課題・予習・復習・授業準備指示】 小テストの準備:指示代名詞８個、練習ドリル１から出題。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１２回	第11課(2)　○○も、○○ではありません 【key words】 ～も・～ではありません・単語（野菜、果物、動物） 【授業概要】 ※第11回授業の復習小テスト（10分） ①　　助詞　○○も　-도 ②　　○○ではありません。　　-가/이 아닙니다. ③　　野菜の名前・果物の名前・動物の名前を覚える（クイズ） 文法を説明し、練習ドリルをいくつか解いたあと オリジナル例文を作って声を出して練習する。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ86～88 【課題・予習・復習・授業準備指示】 小テストの準備：練習ドリル６から出題。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１３回	映像資料の視聴 【key words】 聞き取れた韓国語 【授業概要】 ※第12回授業の復習小テスト（10分）

	学生自身が聞き取り能力の現在地を確認するため、映像資料を視聴する。 【教科書ページ・参考文献】 映像資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 映像資料で聞き取れた韓国語（単語でも文章でも）を３つ以上書く。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１４回　韓国語の入力練習・韓国語で歌をうたう 【key words】 ハングルキーボード・アリラン 【授業概要】 ※第13回授業の課題チェック：聞き取れた韓国語発表。 ①　　パソコンのキーボード配列と入力の仕方を説明する。 ②「아리랑（アリラン）」を書き取り、歌う。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ102 【課題・予習・復習・授業準備指示】 「アリラン」を覚える 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１５回　総復習 【key words】 楽しいハングルの記憶を刻みましょう 【授業概要】 発音・文法・習得した簡単なフレーズ（あいさつ）の総復習をする。 ※「アリラン」合唱♪ 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 せっかく覚えた言葉が錆びてしまわないように、受講生同士会ったときは韓国語で挨拶をしてみてください。 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	初回の授業から必ず教科書を持参してください。１回から８回までの授業を欠席すると、その後の授業についてこられなくなるおそれがあるので注意すること。 鉛筆（シャープペンシル）、消しゴム、赤色ボールペン、書き取り練習用のノートを必ず持参して授業に参加してください。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	第３回授業から小テストがあります。採点済みのテスト用紙は毎回返却しますので、復習に役立ててください。 ノートを１冊用意してください。教科書の空きスペースには限りがありますので、ノートに何度も書きながら練習してください。
オフィスアワー	授業の15分前、授業後の15分は対応可能。
評価方法	小テスト70%、講義参加態度30%とする。 70%以上の出席をもって単位履修資格者とみなす。 30分以上の遅刻は欠席であり、3回遅刻は1回欠席扱いとする。 総合点200点以上を合格とする。
教科書	李 昌圭 著　『 韓国語へ旅しよう （初級） 』　　朝日出版社
参考書	授業内で適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用

	□ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 疾病・治療論各論Ⅳ　　授業コード： 10056

英文科目名称： Specialized seminar on disease and treatment 4

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年次	1単位(30)	必修
担当教員			
村上博和　野島照雄　松本吉郎　　笹澤武史　　井田翔太			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 生体機能に影響を及ぼす要因を理解し、主要な健康障害とその診断、治療に関する知識を学び、健康障害や検査、治療に伴う人間の身体的・精神的反応を理解し看護につなげることができる。 【到達目標】 ①感覚器系（眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科）の健康障害と人間の反応について概説できる。 ②精神神経系の健康障害と人間の反応について概説できる。 ③歯科領域の疾患と人間の反応について概説できる。
授業の概要	感覚器領域（眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科）ならびに精神神経系と歯科領域の疾患の症状・検査・診断方法・主な治療について学習する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

5/10　精神疾患と治療１:精神疾患の基礎知識

【key words】
脳と心　脳の機能障害　主な精神疾患　精神医学
【授業概要】
精神疾患の特徴　精神障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライド、資料と教科書を活用して講義にて学習する。また、精神医学について理解する。
120-137ｐ

【教科書ページ・参考文献】
120-137ｐ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
脳の機能と構造を予習する。
授業後は配布資料と教科書を再度読む
【予習復習に必要な想定時間】
2時間

5/18　精神疾患と治療2：疾患、治療が生活に及ぼす影響

【key words】
知的障害、パーソナリティ障害、自閉スペクトラム
【授業概要】
精神疾患の特徴　精神障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライド、資料と教科書を活用して講義にて学習する。精神疾患・治療が生活に及ぼす影響から看護を考える。
【教科書ページ・参考文献】
157-169ｐ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業後は教科書、配布資料を再度読む。
疾患の看護について教科書で確認し疾患とつなげながら読む。

【予習復習に必要な想定時間】
2時間

5/19　精神疾患の理解と治療3：疾患、治療が生活に及ぼす影響

【key words】
不安障害(神経症) 適応障害　心身症・身体表現性障害
【授業概要】
精神疾患の特徴　精神障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知

		識・技能をスライド、資料と教科書を活用して講義にて学習する。精神疾患・治療が生活に及ぼす影響から看護を考える。、疾患の回復過程から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 146-157 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業後は配布資料と教科書を読む 疾患の看護について教科書で確認し疾患とつなげながら読む 授業後は配布資料と教科書を読む 疾患の看護について教科書で確認し疾患とつなげながら読 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	5/24	精神疾患の理解と治療4：疾患、治療が生活に及ぼす影響 【key words】 統合失調症 【授業概要】 精神疾患の特徴　精神障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライド、資料と教科書を活用して講義にて学習する。精神疾患・治療が生活に及ぼす影響から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 138-142 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業後は配布資料と教科書を読む 疾患の看護について教科書で確認し疾患とつなげながら読む。 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	5/25	疾患の理解と治療5：疾患、治療が生活に及ぼす影響 【key words】 躁うつ病 【授業概要】 精神疾患の特徴　精神障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライド、資料と教科書を活用して講義にて学習する。精神疾患・治療が生活に及ぼす影響から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 143-146 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業後は配布資料と教科書を読む 疾患の看護について教科書で確認し疾患とつなげながら読む。 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	5/31	精神疾患の理解と治療6：疾患、治療が生活に及ぼす影響 【key words】 依存症　器質性精神障害　てんかん 【授業概要】 神疾患の特徴　精神障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライド、資料と教科書を活用して講義にて学習する。精神疾患・治療が生活に及ぼす影響から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 129-137 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業後は配布資料と教科書を読む 疾患の看護について教科書で確認し疾患とつなげながら読む。 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	7/14	精神疾患の理解と治療7：疾患、治療が生活に及ぼす影響 【key words】 アルコール依存症、薬物依存と中毒 【授業概要】 精神疾患の特徴　精神障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライド、資料と教科書を活用して講義にて学習する。精神疾患・治療が生活に及ぼす影響から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 274-282 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業後は配布資料と教科書を読む 疾患の看護について教科書で確認し疾患とつなげながら読む。 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	5/20	耳疾患と治療、生活に及ぼす影響 【key words】 耳鼻構造と機能　伝音　感音　難聴 【授業概要】 耳疾患、機能の障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライドと教科書を活用して講義にて学習する。また、聴覚機能、疾患の回復過程から看護を考える。

		【教科書ページ・参考文献】 1-50ｐ　106-134ｐ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 耳の構造を予習する。 授業後は看護につなげられるよう教科書178-213ｐを読む 【予習復習に必要な想定時間】 3時間
	5/20	鼻疾患と治療、生活に及ぼす影響 【key words】 鼻疾患　アレルギー性鼻炎　副鼻腔炎 【授業概要】 鼻疾患、機能の障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライドと教科書を活用して講義にて学習する。また、臭覚機能、疾患の回復過程から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 50-53ｐ　134-146ｐ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 鼻の構造を予習する。授業後は看護につなげられるよう教科書214-220ｐを読む 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	6/3	口腔・咽頭疾患と治療、生活に及ぼす影響 【key words】 口腔　咽頭　唾液腺　主な疾患　嚥下障害 【授業概要】 口腔咽頭疾患、機能の障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライドと教科書を活用して講義にて学習する。また、味覚機能、嚥下機能の低下、疾患の回復過程から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 口腔、咽頭の構造を予習する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業後は教科書、配布資料を再度読む。 疾患の看護について教科書で確認し疾患とつなげながら読む。 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	4/17	皮膚疾患と治療、生活に及ぼす影響 【key words】 皮膚の構造　病態生理　皮膚炎、湿疹、感染性疾患 【授業概要】 皮膚疾患、皮膚の障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライドと教科書を活用して講義にて学習する。また、感覚機能・嚥下機能の低下、疾患の回復過程から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 1-156ｐ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 皮膚の構造を予習する。 授業後は看護につなげられるよう教科書160-223ｐを読む 【予習復習に必要な想定時間】 ２時間
	4/17	皮膚疾患と治療、生活に及ぼす影響 【key words】 皮膚悪性腫瘍、褥瘡 【授業概要】 皮膚疾患、皮膚の機能障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライドと教科書を活用して講義にて学習する。また、感覚機能・嚥下機能の低下、疾患の回復過程から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 80-156ｐ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業後は看護につなげられるよう教科書228-266ｐを読む 【予習復習に必要な想定時間】 ２時間
	7/5	授業後は看護につなげられるよう教科書228-266ｐを読む 【key words】 齲蝕、歯周病、歯肉炎、保存治療、補綴治療 【授業概要】 歯・口腔疾患、機能の障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライドと教科書を活用して講義にて学習する。また、摂食（咀嚼・嚥下）機能、疾患の回復過程から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 17-159ｐ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 歯・口腔の構造機能を予習する。 授業後は看護につなげられるよう教科書162-274ｐを読む 【予習復習に必要な想定時間】 ２時間
	4/17	眼疾患と治療、生活に及ぼす影響 【key words】 眼の構造　遠視、近視、老視、白内障 【授業概要】 眼の構造と視機能の障害、疾患が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な

		知識・技能をスライドと教科書を活用して講義にて学習する。また、視覚機能、疾患の回復過程から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 1-107ｐ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 眼の構造を予習する。 授業後は看護につなげられるよう教科書122-201を読む 【予習復習に必要な想定時間】 ２時間
	4/17	眼疾患と治療、生活に及ぼす影響 【key words】 緑内障、感染性疾患他 【授業概要】 視機能の障害、疾患が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライドと教科書を活用して講義にて学習する。また、視覚機能、疾患の回復過程から看護を考える。 過去の国家試験問題の概説を行う。 【教科書ページ・参考文献】 112-119ｐ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業後は看護につなげられるよう教科書186-203ｐを読む 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は厳禁とする。静粛に講義を聴くこと。私語を注意して止めないものは、退席とする。人体構造機能学について十分復習し授業に臨むこと。授業は、人体構造学の知識が習得できていることを前提に、ハイスピードで進行する。	
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式	
授業外時間にかかわる情報	テキストで予習・復習をすること。	
オフィスアワー	各講師の授業終了後30分	
評価方法	受講態度　試験実施　提出物	
教科書	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　眼、系統看護学講座　専門分野Ⅱ　耳鼻、系統看護学講座　専門分野Ⅱ　皮膚 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　歯・口腔：医学書院 精神看護学Ⅰ「精神保健学」、精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」：ヌーベルヒロカワ	
参考書	授業内で適宜紹介する。	
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 村上博和：内科医として40年以上勤務。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容	

講義科目名称： 疾病・治療論各論Ⅴ　　授業コード： 10057

英文科目名称： Specialized seminar on disease and treatment 5

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年次	1単位(30)	必修
担当教員			
林博　多田真和　武田憲子　平田陽一郎			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 生体機能に影響を及ぼす要因を理解し、主要な健康障害とその診断、治療に関する知識を学び、健康障害や検査、治療に伴う人間の身体的・精神的反応を理解し、看護につなげることができる。 【授業目標】 ①女性生殖器系の健康障害と人間の反応について概説できる。 ②小児特有の健康障害と人間の反応について概説できる。 ③高齢者特有の健康障害と人間の反応について概説できる。
授業の概要	1.　生殖器系疾患の病態生理と治療について学ぶ。 2.　小児期にある子どもおよび高齢者に特有な疾患を取り上げ、各疾患の概念、病態生理、分類、疫学、発症、原因、誘因、症状、経過、検査、診断、治療法、予後等について教授する。これらの疾患の治療に伴う看護を考える基礎知識とする。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　ガイダンス、生殖器系疾患の理解と治療1
6/21

【key words】
女性生殖器、乳房、子宮筋腫、子宮がん
【授業概要】
上記の女性生殖器疾患の病態生理・検査・診断・治療について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
P22-36
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを熟読し、予習復習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分程度

第２回　生殖器系疾患の理解と治療2
6/21

【key words】
妊娠の成立、性周期ホルモン、卵巣のう腫、卵巣がん
【授業概要】
上記の女性生殖器疾患の病態生理・検査・診断・治療について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
P28-36
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを熟読し、予習復習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分程度

第３回 7/5　生殖器系疾患の理解と治療3

【key words】
月経異常、月経随伴症状、更年期障害、乳がん
【授業概要】
上記の女性生殖器疾患の病態生理・検査・診断・治療について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
P164-171
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを熟読し、予習復習する。
【予習復習に必要な想定時間】

		60分程度
	第４回 7/5	生殖器系疾患の理解と治療4 【key words】 不妊症、不育症、性感染症 【授業概要】 上記の女性生殖器疾患の病態生理・検査・診断・治療について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 P171-196 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを熟読し、予習復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第５回 5/9	小児の代表的疾患①：先天性代謝異常、代謝・内分泌疾患 【key words】 ダウン症候群、新生児マススクリーニング対象疾患、１型・２型糖尿病 【授業概要】 上記の小児の代表疾患の病態生理・検査・診断・治療について概説する。 【教科書ページ・参考文献】 第１章～第４章　P6-102 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各章の末頁にあるゼミナール復習と課題について予習復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第６回 5/9	小児の代表的疾患②：免疫・アレルギー疾患、感染症、呼吸器疾患 【key words】 アレルギー、気管支喘息、急性乳幼児下痢症、麻疹、風疹、突発性発疹、水稲、帯状疱疹、手足口病、流行性耳下腺炎、急性灰白髄炎、日本脳炎、インフルエンザ、細気管支炎、マイコプラズマ肺炎 【授業概要】 上記の小児の代表疾患の病態生理・検査・診断・治療について概説する。 【教科書ページ・参考文献】 第５章～第７章　P104-186 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各章の末頁にあるゼミナール復習と課題について予習復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第７回 5/9	小児の代表的疾患③：循環器疾患 【key words】 先天性心疾患（心室中隔欠損症、心房中隔欠損症、卵円孔開存症、ファロー四徴症） 後天性心疾患（川崎病、リウマチ性弁膜症） 【授業概要】 上記の小児の代表疾患の病態生理・検査・診断・治療について概説する。 【教科書ページ・参考文献】 第８章　P188-221 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各章の末頁にあるゼミナール復習と課題について予習復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第８回 5/9	小児の代表的疾患④：消化器疾患 【key words】 口唇・口蓋裂、肥厚性幽門狭窄症、腸閉塞、腸重積、ヒルシュスプルング病、鎖肛、急性虫垂炎、ヘルニア、胆道閉鎖症 【授業概要】 上記の小児の代表疾患の病態生理・検査・診断・治療について概説する。 【教科書ページ・参考文献】 第９章　P225-276 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各章の末頁にあるゼミナール復習と課題について予習復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第９回 6/24	小児の代表的疾患⑤：血液疾患、悪性新生物 【key words】 血友病、血管性紫斑病、突発性血小板減少性紫斑病、神経芽腫、ウィルムス腫瘍、急性リンパ性白血病、脳腫瘍 【授業概要】 上記の小児の代表疾患の病態生理・検査・診断・治療について概説する。 【教科書ページ・参考文献】 第10章～第11章　P278-330 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各章の末頁にあるゼミナール復習と課題について予習復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第１０回 6/24	小児の代表的疾患⑥：腎・泌尿器疾患、神経疾患、運動器・骨格器疾患 【key words】 ネフローゼ症候群、髄膜炎、てんかん、水頭症、熱性けいれん、脳性まひ、進行性筋ジストロフィー、二分脊髄症 【授業概要】 上記の小児の代表疾患の病態生理・検査・診断・治療について概説する。

	【教科書ページ・参考文献】 第12章～第14章　P332-430 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各章の末頁にあるゼミナール復習と課題について予習復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度 第１１回　小児の代表的疾患⑦：皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉科疾患 6/24 【key words】 色素性母斑、熱傷、アトロピン点眼、結膜炎、斜視、中耳炎、口蓋扁桃肥大 【授業概要】 上記の小児の代表疾患の病態生理・検査・診断・治療について概説する。 【教科書ページ・参考文献】 第15章～第17章　P432-480 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各章の末頁にあるゼミナール復習と課題について予習復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度 第１２回　老年特有の疾患の理解と治療1 6/23 【key words】 老化、老年看護、超高齢社会 【授業概要】 老年特有の疾患の病態生理・検査・診断・治療について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 P1-45 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の講義内容の復習及び興味を抱いた部分について自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度 第１３回　老年特有の疾患の理解と治療2： 6/23 【key words】 老年症候群 【授業概要】 老年特有の疾患の病態生理・検査・診断・治療について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 P47-92 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の講義内容の復習及び興味を抱いた部分について自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度 第１４回　老年特有の疾患の理解と治療3 7/7 【key words】 高齢者総合機能評価、肺炎、脳血管障害 【授業概要】 老年特有の疾患の病態生理・検査・診断・治療について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 P93-202 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の講義内容の復習及び興味を抱いた部分について自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度 第１５回　老年特有の疾患の理解と治療4： 7/7 【key words】 認知症 【授業概要】 老年特有の疾患の病態生理・検査・診断・治療について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 P202-318 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の講義内容の復習及び興味を抱いた部分について自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は厳禁とする。静粛に講義を聴くこと。私語を注意して止めないものは、退席とする。人体構造機能学について十分復習し授業に臨むこと。授業は、人体構造学の知識が習得できていることを前提に、ハイスピードで進行する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	テキストで予習・復習をすること。
オフィスアワー	各講師の授業終了後３０分
評価方法	筆記試験100％（生殖器25点、小児50点、老年25点）
教科書	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　女性生殖器、系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児臨床看護各論 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護病態・疾患論：医学書院
参考書	授業内で適宜紹介する。

実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 疫学・保健統計の基礎　　授業コード： 10064

英文科目名称： Basics of epidemiology and health statistics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年次	2単位(30)	必修
担当教員			
世喜　利彦			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 疫学とは人間集団における健康状態とそれに関連する要因の分布を明らかにする学問であり，その原因が確立していなくても，疫学データにより疾病の予防が可能であることを本講座で理解する。 【到達目標】 １．　疫学とは何か，その目的と日本における疫学研究の現状を理解する。 ２．　疾病予防において疫学はどんな役割をしているのか理解する。 ３．　疫学研究方法について知り，理解する。 ４．　恒常的に実施されているサーベイランスを理解する。 ５．　臨床現場における疫学の応用について学ぶ。 ６．　疫学に必要な統計について学ぶ。 ７．　疫学研究を倫理的に進めるポイントを理解する。 ８．　疫学の社会への応用について学ぶ。
授業の概要	・疫学の概念と歴史、・疾病頻度の測定、・既存のデータについて、・疫学研究方法、・ 偏りと交絡 ・因果関係について、・スクリーニングについて、・サーベイランスと疾病登録と臨床疫学 ・疾患の疫学　・統計学基礎

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	○
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	△
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	△

授業計画	第１回　　疫学の概念と歴史 【key words】 ジョン・スノー，コレラ高木兼寛，脚気，森林太郎， 【授業概要】 授業オリエンテーションを含む。疫学とは、どのような学問であるか、そして、その概念と歴史についてお話します。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：疫学・保健統計学（標準保健師講座 別巻2)［ 第3版 ］ 牧村清子 著　医学書院　2020年版 p2～6，毎回授業で使用するスライドの縮小コピーを配布します。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「疫学の概念と歴史」の部分を事前に読んでわからない部分をマークして、講義中に集中聴講して理解に努める。　復習：配布した「疫学（1）課題」の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 疫学は最低30分の予習で授業前に必ず一度は予定範囲を読み、不明の部分をマークし授業でその部分を集中聴講する。復習(30分以上)は授業後の帰宅日に行い、課題の回答を記載して次回授業に提出する。 第２回　　疾病頻度の指標 【key words】 比・割合・率の違い，有病率，相対頻度，罹患率，死亡率、相対危険(度) 【授業概要】 疾病の頻度を表現する指標について、上記のキーワードの意義を理解し、計算方法を習得しま

		す。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：疫学・保健統計学（標準保健師講座 別巻2）牧村清子 著　医学書院 p8～13，毎回授業で使用するスライドの縮小コピーを配布します。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「疾病頻度の指標」の部分を事前に読んでわからない部分をマークして、講義中に集中聴講して理解に努める。　復習：配布した「疫学（2）課題」の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 疫学は最低30分の予習で授業前に必ず一度は予定範囲を読み、不明の部分をマークし授業でその部分を集中聴講する。復習(30分以上)は授業後の帰宅日に行い、課題の回答を記載して次回授業に提出する。
	第３回	曝露効果の指標、保健統計調査 【key words】 オッズ比，寄与危険(度)，寄与危険割合、調査統計，業務統計，標本統計，全数統計，国勢調査等 【授業概要】 曝露効果の指標について、上記のキーワードの意義を理解し、その後の研究方法との関連を習得します。 【教科書ページ・参考文献】 疫学・保健統計学（標準保健師講座 別巻2）p14～16,p156～63．また、毎回授業で使用するスライドの縮小コピーを配布します。参考文献無し。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：「暴露効果の指標、保健統計調査」の部分を事前に読み、わからない部分をマークして、講義中に集中聴講して理解に努める。　復習：配布した「疫学（3）課題」の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 疫学は最低30分の予習で授業前に必ず一度は予定範囲を読み、不明の部分をマークし授業でその部分を集中聴講する。復習(30分以上)は授業後の帰宅日に行い、課題の回答を記載して次回授業に提出する。
	第４回	疫学研究方法（１） 【key words】 観察研究，記述研究，分析研究，生態学的研究，横断研究，コホート研究 【授業概要】 疫学の研究方法について、上記のキーワードにあるそれぞれの研究方法について、第１回目として、その意義を理解し、どのような場合に対して適した方法を採用するのか習得します。 【教科書ページ・参考文献】 疫学・保健統計学（標準保健師講座 別巻2）p25～33,また、毎回授業で使用するスライドの縮小コピーを配布します。参考文献無し。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「疫学研究方法（１）」の部分を事前に読んでわからない部分をマークして、講義中に集中聴講して理解に努める。　復習：配布した「疫学（3）課題」の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 疫学は最低30分の予習で授業前に必ず一度は予定範囲を読み、不明の部分をマークし授業でその部分を集中聴講する。復習(30分以上)は授業後の帰宅日に行い、課題の回答を記載して次回授業に提出する。
	第５回	疫学研究方法（２） 【key words】 症例対照研究，介入研究，無作為割り付け試験，一重盲検法，二重盲検法 【授業概要】 疫学の最強と言われる研究方法、その他について、第２回目として、その意義を理解し、どのような場合に対して、適した方法を採用するのか習得します。 【教科書ページ・参考文献】 疫学・保健統計学（標準保健師講座 別巻2）p34～36．また、毎回授業で使用するスライドの縮小コピーを配布します。参考文献無し。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「疫学研究方法（２）」の部分を事前に読んでわからない部分をマークして、講義中に集中聴講して理解に努める。　復習：配布した「疫学（5）課題」の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 疫学は最低30分の予習で授業前に必ず一度は予定範囲を読み、不明の部分をマークし授業でその部分を集中聴講する。復習(30分以上)は授業後の帰宅日に行い、課題の回答を記載して次回授業に提出する。
	第６回	疫学研究方法（３） 【key words】 疫学研究法の比較(長所・短所) 【授業概要】 これまでに学習してきた、疫学研究方法の長所・短所について学習し、それぞれの場合に最適な研究方法を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 授業で使用するスライド及び、縮小コピーを配布します。参考文献無し。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「疫学研究方法（３）」の部分を事前に読んでわからない部分をマークして、講義中に集中聴講して理解に努める。　復習：配布した「疫学（6）課題」の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 疫学は，最低30分の予習で授業前に必ず一度は予定範囲を読み、不明の部分をマークし、授業でその部分を集中聴講する。復習(30分以上)は授業日に行い、配布した課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。
	第７回	誤差・偏り（バイアス） 【key words】

		偶然誤差，系統誤差，選択の偏り、情報の偏り，精度，妥当性 【授業概要】 誤差には、偶然誤差と系統誤差があり、偏り（バイアス）には、選択の偏りと情報の偏りがあることを学習する。 【教科書ページ・参考文献】 疫学・保健統計学（標準保健師講座 別巻2）p41～44. また、毎回授業で使用するスライドの縮小コピーを配布します。参考文献無し。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「誤差・偏り（バイアス）」の部分を事前に読んでわからない部分をマークして、講義中に集中聴講して理解に努める。　復習：配布した「疫学（7）課題」の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 疫学は，最低30分の予習で授業前に必ず一度は予定範囲を読み、不明の部分をマークし、授業でその部分を集中聴講する。復習(30分以上)は授業日に行い、配布した課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。
	第８回	偏りと交絡 【key words】 交絡因子，危険因子，中間過程 【授業概要】 暴露と疾病発生の関係において、真の因果関係とは異なった危険の推定をもたらす第３の要因のことを交絡因子というが、その概念と制御方法を学習する。 【教科書ページ・参考文献】 疫学・保健統計学（標準保健師講座 別巻2）p45～50. また、毎回授業で使用するスライドの縮小コピーを配布します。参考文献無し。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「偏りと交絡」の部分を事前に読んでわからない部分をマークして、講義中に集中聴講して理解に努める。　復習：配布した「疫学（8）課題」の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 疫学は，最低30分の予習で授業前に必ず一度は予定範囲を読み、不明の部分をマークし、授業でその部分を集中聴講する。復習(30分以上)は授業日に行い、配布した課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。
	第９回	因果関係について 【key words】 原因，結果，必文条件要条件，十分条件，必要十分条件 【授業概要】 要因と疾病との関係が統計学的に有意水準に達していても、疫学的な基準を満たさなければ因果関係があるとはいえない。因果関係の立証の条件について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 疫学・保健統計学（標準保健師講座 別巻2）p51～54. また、毎回授業で使用するスライドの縮小コピーを配布します。参考文献無し。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「因果関係について」の部分を事前に読んでわからない部分をマークして、講義中に集中聴講して理解に努める。　復習：配布した「疫学（9）課題」の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 疫学は，最低30分の予習で授業前に必ず一度は予定範囲を読み、不明の部分をマークし、授業でその部分を集中聴講する。復習(30分以上)は授業日に行い、配布した課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。
	第１０回	スクリーニングについて 【key words】 感度，特異度，ROC曲線，陽性反応的中度，リードタイムバイアス，レングスバイアス，セルフセレクションバイアス 【授業概要】 スクリーニング検査が適応できるための条件とその評価のための指標（感度（敏感度），特異度，ROC曲線）を学習する。 【教科書ページ・参考文献】 疫学・保健統計学（標準保健師講座 別巻2）p60～64. また、毎回授業で使用するスライドの縮小コピーを配布します。参考文献無し。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「スクリーニングについて　」の部分を事前に読んでわからない部分をマークして、講義中に集中聴講して理解に努める。　復習：配布した「疫学（10）課題」の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 疫学は，最低30分の予習で授業前に必ず一度は予定範囲を読み、不明の部分をマークし、授業でその部分を集中聴講する。復習(30分以上)は授業日に行い、配布した課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。
	第１１回	サーベイランス，　疾病登録と臨床疫学 【key words】 疾病サーベイランス，　公衆衛生サーベイランス，感染症サーベイランス，5類感染症，疾病登録，CDC 【授業概要】 サーベイランスとは、疾病の予防と管理を目的とし、疾病を継続的に監視し、疾病対策の企画・実施、必要なデータを収集、分析、解釈し、その結果を迅速かつ定期的に還元することを学習する。 【教科書ページ・参考文献】 疫学・保健統計学（標準保健師講座 別巻2）p66～72. また、毎回授業で使用するスライドの縮小コピーを配布します。参考文献無し。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：「サーベイランス,疾病登録と臨床疫学」の部分を事前に読み、不明な部分をマークして、講義中に集中聴講して理解に努める。　復習：配布した「疫学（11）課題」の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】

	疫学は，最低30分の予習で授業前に必ず一度は予定範囲を読み、不明の部分をマークし、授業でその部分を集中聴講する。復習(30分以上)は授業日に行い、配布した課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。 第１２回　保健統計学の基礎 【key words】 統計分析，推定，標準偏差，信頼区間，検定，帰無仮説，対立仮説，有意水準，ｐ値，独立性の検定（χ(カイ) ２乗検定) 【授業概要】 統計学は集団の特徴を数値で把握し活用するための学問で、健康に関連するものが保健統計学であり、疫学と保健統計学は一連のものである。その保健統計学の統計分析の基礎について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 疫学・保健統計学（標準保健師講座 別巻2）p66～95. また、毎回授業で使用するスライドの縮小コピーを配布します。参考文献無し。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「保健統計学の基礎」の部分を事前に読んでわからない部分をマークして、講義中に集中聴講して理解に努める。　復習：配布した「疫学（12）課題」の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 疫学は，最低30分の予習で授業前に必ず一度は予定範囲を読み、不明の部分をマークし、授業でその部分を集中聴講する。復習(30分以上)は授業日に行い、配布した課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。 第１３回　標準化 【key words】 年齢調整死亡率,直接法，間接法，標準化死亡比 【授業概要】 人口動態統計には、出生・死亡・死産・婚姻・離婚の５要素があり、それぞれの指標がある。その中で、合計特殊出生率、年齢調整死亡率（直接法）、標準化死亡比（SMR）（関節法）等について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 疫学・保健統計学（標準保健師講座 別巻2）p66～95. また、毎回授業で使用するスライドの縮小コピーを配布します。参考文献無し。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「標準化」の部分を事前に読んでわからない部分をマークして、講義中に集中聴講して理解に努める。　復習：配布した「疫学（13）課題」の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 疫学は，最低30分の予習で授業前に必ず一度は予定範囲を読み、不明の部分をマークし、授業でその部分を集中聴講する。復習(30分以上)は授業日に行い、配布した課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。 第１４回　主な疾患の疫学（１） 【key words】 母子保健の疫学，がんの疫学，心血管疾患の疫学，脳血管の疫学，糖尿病の疫学， 【授業概要】 上記に記載した主な疾患の疫学について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 疫学・保健統計学（標準保健師講座 別巻2）p66～95. また、毎回授業で使用するスライドの縮小コピーを配布します。参考文献無し。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「疫学の概念と歴史」の部分を事前に読んでわからない部分をマークして、講義中に集中聴講して理解に努める。　復習：配布した「疫学（14）課題」の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 疫学は，最低30分の予習で授業前に必ず一度は予定範囲を読み、不明の部分をマークし、授業でその部分を集中聴講する。復習(30分以上)は授業日に行い、配布した課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。 第１５回　主な疾病の疫学（２） 【key words】 難病の疫学，精神疾患の疫学，感染症の疫学，重要疾患・生活習慣の疫学 【授業概要】 上記に記載した主な疾患の疫学について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 疫学・保健統計学（標準保健師講座 別巻2）p41～44. また、毎回授業で使用するスライドの縮小コピーを配布します。参考文献無し。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「主な疾患の疫学（１）」の部分を事前に読んでわからない部分をマークして、講義中に集中聴講して理解に努める。　復習：配布した「疫学（15）課題」の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 疫学は，最低30分の予習で授業前に必ず一度は予定範囲を読み、不明の部分をマークし、授業でその部分を集中聴講する。復習(30分以上)は授業日に行い、配布した課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。
受講生に関わる情報および受講のルール	授業は，パワーポイント（アニメーションも使用）で作成したスライドを使用して実施する。 授業で配布した授業画像プリント及び教科書を用いて授業内容を振り返り、授業後に毎回配布した「疫学課題」の各問題の回答を記載して、次回の授業に提出する。 また,当該授業科目の重要課題について作成したものを，最終授業の数週間前に配布する。試験直後に，正解および，そのねらいについては説明する予定。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	不明な点，理解できない点があれば，遠慮せず，質問すること。

授業外時間にかかわる情報	疫学は，最低30分間の予習の中であらかじめ，授業前に必ず一度は予定範囲を読んでおき、わからない部分をマークし、 授業でその部分を集中聴講する。また、復習(1時間以上)は，その日のうちに行い。授業で配布した授業画像プリント及 び教科書を用いて授業内容を振り返り、授業後に毎回配布した「疫学課題」の各問題の回答を記載して、次回の授業に提 出する
オフィスアワー	授業終了直後に質問するか、メールで質問を受ける。　e-mail address:　toseki@jobu.ac.jp
評価方法	定期試験 100% を判断基準にして評価する。ただし、毎回配布した「疫学課題」の回答の提出者に対して、定期試験の獲得点数が合格点を下回った場合には、１０点を加え、合格を判断する。
教科書	疫学・保健統計学（標準保健師講座 別巻2）　第3版　牧村清子 著，医学書院 2022年版
参考書	毎回、授業スライドのカラー縮小版を配布します。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 研究機関における研究員（基礎医学領域）としての勤務経験を活かして講義を行う。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 看護関連法規　　授業コード： 10066

英文科目名称： Nursing-related laws and regulations

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年次	1単位(15)	必修
担当教員			
源内　和子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【目的】看護職の役割と機能に関わる身分・業務に関する法令を理解すると共に保健・医療・福祉に関する法規との関連を把握するための基礎知識を修得する. 【目標】 1.看護職の法的身分. 看護師の業務に関する法令の基礎について理解する 2.看護領域の法令と保健・医療・福祉に関する法規の関連を理解する 3.看護職の業務、法的責任の自覚を持ち、法的側面から対象の健康問題の解決･回避を目指す重要性を理解する。
授業の概要	看護職として活動するにあたって必要な法規について、保健・医療・福祉などの関連領域を含めて理解を深める。日々行われる看護活動と看護関連法規は密接な関連があることを一連の学習を通して自覚を持ち、法的側面から対象の健康問題の解決･回避を目指す重要性を理解する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	◎
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画	第１回　１．法の概念 【key words】 法の概念　権利と義務 【授業概要】 １．法の概念 －法に関する基本的な考え方 －人間の権利やその擁護を保障する法的背景 【教科書ページ・参考文献】 P2～ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容を復習する 【予習復習に必要な想定時間】 ２時間程度 第２回　２．看護法 【key words】 保健師助産師看護師法　目的　定義　業務　身分　役割 【授業概要】 ２．看護法 －看護職に直接関係する法律（１） ・保健師助産師看護師法の概要について理解する 【教科書ページ・参考文献】 ｐ20～ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 特に看護職の業務について、授業内容を復習する 【予習復習に必要な想定時間】 ２時間程度 第３回　３．看護法 【key words】 看護師等の人材確保促進に関する法律　背景　目的　定義 【授業概要】 ３．看護法（ｐ47～） －看護職に直接関係する法律（２）

・看護師等の人材確保促進に関する法律

【教科書ページ・参考文献】
p47～
【課題・予習・復習・授業準備指示】
看護師等の人材確保促進に関する法律
【予習復習に必要な想定時間】

第４回　４．医事法
【key words】
医療施設の定義　医療施設等の規定

【授業概要】
４．医事法（p52～、p74～）
－医療施設に関連する法律
・医療法
－医療職種に関する法律
・医師法など他職種の資格

【教科書ページ・参考文献】
p52～、p74～
【課題・予習・復習・授業準備指示】
医療法の内容をまとめて提出する　授業で詳細は指示

【予習復習に必要な想定時間】
２時間程度

第５回　５．医事法、６．保健衛生法
【key words】
移植医療　医療を支える法律
【授業概要】
５．医事法
－医療を支える法律
・移植医療に関する法・緊急時に関する法
６．保健衛生法
－疾病予防・健康増進に関連する法律
・健康増進法、地域保健法・自殺対策基本法
・がん対策基本法・感染症に関する法律

【教科書ページ・参考文献】
p107～、p120～
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
２時間程度

第６回　７．労働法と社会基盤整理
【key words】
労働法　社会基盤
【授業概要】
７．労働法と社会基盤整理
－労働に関する法律
・労働基準法
・雇用保険法、育児休業など

【教科書ページ・参考文献】
p234～
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第７回　８．薬務法、９．社会保険法・福祉法
【key words】

【授業概要】
８．薬務法（p180～、p191～）
－医薬品に関連する法律
・薬害被害者の救済・麻薬・毒物などの法
９．社会保険法・福祉法
－医療保険、福祉等に関連する法律
・健康保険法、国民健康保険法、生活保護法など

【教科書ページ・参考文献】
２時間程度
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容を復習する
【予習復習に必要な想定時間】

第８回　10．環境保全に関する法律　まとめ
【key words】
廃棄物　感染性　バイオハザードマーク
【授業概要】
10．環境保全に関する法律
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
・授業内容の振り返りを行い、重要ポイントを想起し学修内容のまとめを行う
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

	【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・予習復習は必ず行う、テーマに関しては主体的に学び参加する。 ・課題は必ず行って授業に参加する。 ・グループワークは積極的に参加する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	授業時間内及び終了後の質問時間の活用、コメントカードの利用
授業外時間にかかわる情報	・シラバスの内容に関心を持ち事前学習に取り組むことを期待する
オフィスアワー	在室時を利用する
評価方法	1．筆記試験（80%）　2．学修課題（20%）
教科書	系統看護学講座　専門基礎分野「健康支援と社会保障制度」　④看護関係法令　医学書院　2022年版
参考書	・必要に応じて、授業で紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 日々行われる看護活動と看護関連法規は密接な関連があることについて、これまでの看護活動の場や看護基礎教育に携わる中で研修、実践を積んできた。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 医療と倫理　　授業コード：10069

英文科目名称： Healthcare and ethics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年次	1単位(15)	必修
担当教員			
村上　博和			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	古くは古代ギリシャのヒポクラテスにまで辿ることのできる医の倫理は、日本においては医道として認識されており、１年次で履修した「哲学」においてその基盤はできていると確信する。本講義では、近年の医学における急速な進歩に伴う新たな医療行為に伴って生じる倫理的問題について学習し、将来の諸君の取るべき立場について考えを固めることを目的とする。自分が、自分の両親や子供が講義で提示されるような状況になった場合に迷うことなく決断し行動することができることを到達目標とする。
授業の概要	まず、医療の歴史を顧みてその中で生まれてきた倫理的問題を理解する。その後各分野における近年の医療や情報科学の進歩に伴う新たな医療倫理上の問題点を提示し、学生諸君に考えてもらう。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	◎
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	◎
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	○
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	△
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	◎

授業計画	第１回	医学の歴史的変遷1 【key words】 医学史、看護学史 【授業概要】 ①医学・医療の発展 ②看護学の発展 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	医学の歴史的変遷２ 【key words】 医学史、看護学史 【授業概要】 ①医学・医療の発展 ②看護学の発展 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第３回	医療における倫理１ 【key words】 医学、医療、倫理、医療倫理、自由と自己決定、個人情報、守秘義務、インフォームドコンセント、研究倫理 【授業概要】 ①医学とは何か？医療とは？医道とは？人間の生命を考える ②倫理とは ③医療倫理学 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第４回	医療における倫理２

	【key words】 医学、医療、倫理、医療倫理、自由と自己決定、個人情報、守秘義務、インフォームドコンセント、研究倫理 【授業概要】 ①医学とは何か？医療とは？医道とは？人間の生命を考える ②倫理とは ③医療倫理学 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読し、出席をする。教科書の事例を解いてみる。その日の授業で学んだことの要点をまとめておく 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第５回　脳死、臓器移植の現状と倫理 【key words】 脳死、臓器移植、生体移植、脳死移植、免疫抑制剤、臓器移植法、改正臓器移植法、移植コーディネーター、 【授業概要】 ①脳死の判定 ②臓器移植の現状と倫理：外科学、免疫学の進歩によって可能となった臓器移植により生じる倫理的問題を学習する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第６回　遺伝子医療の現状と倫理 【key words】 遺伝子、遺伝子治療、体内遺伝子治療、体外遺伝子治療、ベクター 【授業概要】 ①分子生物学の進歩により可能となった遺伝子治療の方法 ②遺伝子治療の歴史と現状 ③遺伝子治療の課題と倫理 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読し、出席をする。教科書の事例を解いてみる。その日の授業で学んだことの要点をまとめておく 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第７回　終末期医療 【key words】 緩和ケア、緩和医療、ホスピス、がん疼痛、鎮痛薬、オピオイド 【授業概要】 ①緩和ケアの定義、歴史 ②がん患者の緩和ケア、ホスピス、日本の現状 ③がん疼痛の機序、分類、評価、治療法 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読し、出席をする。教科書の事例を解いてみる。その日の授業で学んだことの要点をまとめておく。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第８回　生殖医療と出生前診断 【key words】 生殖医療、不妊治療、人工授精、体外受精、エンブリオロジスト、出生前診断、確定的診断、非確定的診断、性ホルモン 【授業概要】 ①生殖医療の定義と種類、不妊治療 ②人工授精と体外受精の違いと方法 ③出生前診断の種類と方法 ④出生前診断に関する倫理的問題 【教科書ページ・参考文献】 p. 275 - p. 286 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの該当部分を熟読した上で授業に臨んで下さい。授業では、重要なポイントを解説します。授業終了後に重要ポイントを復習し、知識を確かなものとして下さい。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
受講生に関わる情報および受講のルール	私語厳禁。注意をしても私語をやめない者は、退出させる。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	報道（新聞、テレビ、ネット）などで話題になる医療の進歩に伴う諸問題は、現在の諸君にとっては経験したことがなく、身近な問題でない場合がほとんどであろう。しかし、自分が講義中に提示されるような立場に立った場合に、どのような決断をし行動がとれるかが定まっていなければ、将来現場出ても患者さんを救うことはできない。答えは１つでなく正解がない場合もあるが、常に自分が同じ対場に立った場合にどのような行動をとるかを授業中、授業後の復習において考えをまとめること。

オフィスアワー	授業終了後３０分
評価方法	全講義完了ののちに行う筆記試験により判定する
教科書	現代医学概論第3版　柳澤信夫著　医歯薬出版
参考書	授業内で適宜紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 村上博和：内科医として40年以上勤務。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 看護と医療過誤　　授業コード： 10070

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年次	1単位(15)	必修
担当教員			
源内　和子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業目的】 　医療安全に対する知識を理論と根拠を踏まえ理解し、　医療事故防止についての意識を高めることができる。 【到達目標】 　①医療安全の基本的な知識を理解し実践現場に役立たせることができる。 　②看護業務の範囲と責任について説明できる。 　③ヒューマンエラーの知識を活かした事故防止策について説明できる。 　④事故報告の意味と必要性について説明できる。
授業の概要	①医療安全における基本的な知識、および看護職の責務と役割について学習する。 ②医療現場における危険の予知と回避、および事故防止などの安全対策の理論と方法を学習する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	△

授業計画		
	第１回	科目のオリエンテーション　　医療安全と看護の理念　事故防止の考え方 【key words】 医療安全　事故防止　システム　ヒューマンエラー 【授業概要】 科目のオリエンテーション　　医療安全と看護の理念　事故防止の考え方について学ぶ 授業で学ぶ意義は何か？患者と医療従事者を守るために業務上の危険を認識・判断できるようになること！ まず，患者の病態や背景を理解することが最も重要。次いで、医療安全に対して、理解して医療行為やケアを行うこと。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：P2～P7　医学書院　系統看護学講座「医療安全」看護の統合と実践②序章、第1章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 指示された教科書範囲をよく読んで授業に臨む 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２回	事故発生のメカニズムとリスクマネジメント 【key words】 事故分析　リスクマネジメント　ヒヤリハット 【授業概要】 医療事故はなぜ起こるのか、どんな時に起こるのか、考える。看護の現場は、診療の補助業務と療養上の世話がある。してはならない事をした事故と、するべきことをしなかった事故がある。 また現場では不可抗力の事故もおこりうることを理解する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：P10～36　医学書院　系統看護学講座「医療安全」看護の統合と実践②序章、第1章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで授業に臨む 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第３回	診療の補助の事故防止（Ｉ）患者に投与する業務の事故防止 【key words】 看護業務　診療の補助　してはならないこと 【授業概要】 医療事故を防止するための組織的にどのような取り組みがなされているかを考える。 診療の補助業務ではしてはならない事をした事故と、するべきことをしなかった事故がある。

	看護の視点、患者の視点で事故について考えられること。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：P38～P106医学書院　系統看護学講座「医療安全」看護の統合と実践②第2章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで授業に臨む 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第４回　診療の補助の事故防止（Ⅱ）継続中の危険な医療行為の観察・管理における事故防止 【key words】 看護業務　診療の補助　してはならないこと 【授業概要】 してはならないことをする、するべきことをするためにどうすればよいか考える。 チューブ類の管理、ドレーン管理について考える。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：P106～P118　医学書院　系統看護学講座「医療安全」看護の統合と実践②第2章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで授業に臨む 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第５回　看護における医療事故と安全対策　療養上の世話の事故防止 【key words】 看護業務　療養上の世話　転倒・転落事故と摂食中の窒息・誤嚥事故、異食事故 【授業概要】 ・療養上の世話における2群の事故の発生要因のとらえ方と、事故防止の考え方の違いを理解する ・患者の背景によってどのような事故の危険性があるかを知る ・発生の多い転倒・転落事故と摂食中の窒息・誤嚥事故、異食事故、及び入浴中の事故の防止について具体的に学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 教科書：P120～P160　医学書院　系統看護学講座「医療安全」看護の統合と実践②第3章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで授業に臨む 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第６回　医療安全とコミュニケーション　学生間で、前回までの講義の振り返りを行い、学生間の共有を図る。 【key words】 医療安全　チーム医療　コミュニケーション 【授業概要】 事故防止を未然に防止するために、医療職間・医療職と患者間との適切なコミュニケーションの仕方を理解する。 医療安全対策のステップアップを目指して、良好なチームワークを意識しながら、病院職員が一丸となり医療安全文化の醸成を目指すことが必要であることを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：P162～P188　医学書院　系統看護学講座「医療安全」看護の統合と実践②第4章、第5章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで授業に臨む 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第７回　医療事故後の対応　医療コンフリクト・マネージメントについて　組織的な安全管理体制への取り組み 【key words】 コンフリクト・マネジメント　組織的　医療安全対策の展望 【授業概要】 コンフリクトマネジメントとは 組織運営においてネガティブに評価されがちなこうした状況を、組織の活性化や成長の機会と捉え、積極的に受け入れて問題解決を図ろうとする考え方について学ぶ。また、コンフリクトはどうして起こるのかを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：P224～P246　医学書院　系統看護学講座「医療安全」看護の統合と実践②第8章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 参考資料等で「コンフリクト」の概念について予習する 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第８回　危険予知（KYT)による医療安全（トレーニング）発表 【key words】 危険予知（KYT）　リスクセンス 【授業概要】 どんな危険が潜んでいるでしょうか、KYT（危険予知訓練）を行う。 事例をもとに皆で話し合う。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：医学書院　系統看護学講座「医療安全」看護の統合と実践②河村治子編集：医療安全ワークブック　医学書院 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁。 ・欠席や遅刻をする場合は必ず担当者に連絡をすること。

毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカードQRコード
授業外時間にかかわる情報	・看護に関する法律用語は事前学習をして授業に臨むと理解しやすい。分からない部分は授業の中で解決するよう努力すること。
オフィスアワー	授業終了後から18：00まで
評価方法	筆記試験80%、レポートの提出20%、その他グループワークや授業への取り組み、出席状況等加味する 総合評価は筆記試験、レポート等合わせて６０％を超えていることが前提となる。
教科書	1　川村治子編集：系統看護学講座　看護の統合と実践②「医療安全」医学書院 2　河村治子編集：医療安全ワークブック　医学書院
参考書	１．杉山良子編著：ナースのための危険予知トレーニングテキスト，MCメディカ出版，2013. ２．長野展久著：看護自己の舞台裏　22事例から徹底的に学ぼう，医学書院，2016. ３．石井トク著：医療事故 看護の法と倫理の視点から，MCメディカ出版，2013.
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 看護管理者として医療安全に関与してきた アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： リハビリテーションの基礎　　授業コード：10072

英文科目名称： Basics of rehabilitation

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年次	1単位(15)	選択
担当教員			
柴　ひとみ、栁井　明子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 リハビリテーションの理念について理解するとともに、理学療法および作業療法を中心としたリハビリテーション専門職についても理解することで、看護との関係について考え、多職種連携の必要性についても理解することを目的とする。 【到達目標】 ①リハビリテーションとは何か、その定義を理解して説明ができる。 ②理学療法について興味を持ち、職業内容について理解して説明ができる。 ③作業療法について興味を持ち、職業内容について理解して説明ができる。
授業の概要	本講義では、医療医療分野におけるリハビリテーションについて理学療法および作業療法の分野から説明を行う。リハビリテーションは常にチーム医療として実施されるため、看護との関わりや、リハビリテーション専門職としての役割をわかりやすく説明する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	リハビリテーションの定義と目的・障害の捉え方（ICF） 【key words】 リハビリテーション、障害、ICF分類 【授業概要】 リハビリテーションの定義と目的を理解し、医療・福祉分野で用いられているICF分類に基づいた障害の捉え方を学ぶ。 授業内で小テストを実施する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	理学療法とは　～理学療法の定義と治療手段について学ぶ～ 【key words】 リハビリテーション、理学療法 【授業概要】 理学療法の定義と治療手段について学ぶ 授業内で小テストを実施する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第３回	作業療法とは　～作業療法の定義と専門領域について学ぶ～ 【key words】 リハビリテーション、作業療法 【授業概要】 作業療法の定義と専門領域について学ぶ。 授業内で小テストを実施する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】

	第４回　作業療法とは　～作業療法の具体的な関わりについて学ぶ～ 【key words】 リハビリテーション、作業療法 【授業概要】 作業療法の具体的な関わりについて学ぶ。 授業内で小テストを実施する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第５回　理学療法の実際①（本町キャンパスにて） 【key words】 リハビリテーション、理学療法、看護 【授業概要】 理学療法の主な治療手段として挙げられる運動療法、物理療法、義肢装具療法等について、実技を通して理解する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第６回　理学療法の実際①（本町キャンパスにて） 【key words】 リハビリテーション、理学療法、看護 【授業概要】 理学療法の主な治療手段として挙げられる運動療法、物理療法、義肢装具療法等について、実技を通して理解する。 授業内で小テストを実施する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第７回　作業療法の実際①（本町キャンパスにて） 【key words】 リハビリテーション、作業療法、看護 【授業概要】 作業療法の主な治療手段として挙げられる日常生活活動の練習、義肢装具療法、福祉用具や環境面へのアプローチ等について、実技を通して理解する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第８回　作業療法の実際②（本町キャンパスにて） 【key words】 リハビリテーション、作業療法、看護 【授業概要】 作業療法の主な治療手段として挙げられる日常生活活動の練習、義肢装具療法、福祉用具や環境面へのアプローチ等について、実技を通して理解する。 授業内で小テストを実施する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になるような行為（私語、携帯電話の使用など）は厳禁です。 学生者としての態度、自ら考え学ぶための学習方法とその習慣について、大学生としての基本的な姿勢についてしっかり築きあげていって下さい。受講にあたり、以下の授業時間外学習を進めて下さい。 なお、5～8回目はリハビリテーション学部で開講されます。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	受講にあたって事前に、日本理学療法士協会のホームページ（http://www.japanpt.or.jp/）と、日本作業療法士協会のホームページ（http://www.jaot.or.jp/）を閲覧し、理学療法士と作業療法士の仕事内容について理解を深めておくこと。
オフィスアワー	授業終了後30分
評価方法	授業内小テスト50%･提出課題（リハビリテーションと看護について、文献を引用しつつ自身の考えを述べること。レポートA4　表紙を含めて2枚）：50%
教科書	指定なし
参考書	栢森良二(著)：学生のためのリハビリテーション医学概論-第2版-，医歯薬出版，2015. 鈴木憲雄（著）：人間作業モデルで読み解く作業療法，シービーアール，2017. 山口晴保・山口智晴（編）：認知症の本人・家族の困りごとを解決する医療・介護連携の秘訣．協同医書出版社．2017
実務者経験/アク	

ティブラーニング/ リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 保健医療福祉政策論　　授業コード： 10073

英文科目名称： Policy of health medical welfare

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年次	2単位(30)	選択
担当教員			
久保　裕樹　羽田　紘人			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 我が国における保健医療福祉政策の骨子としくみについて理解し、諸施策が国民の生活をどのように支えているのかを学ぶ。 我が国の国民動態から保健医療福祉政策がどのような歴史的変遷を辿ったのかを踏まえながら、我が国が現在抱えている社会保障に関わる諸問題について熟考し、論議を展開できる。 【到達目標】 保健医療福祉に関わる主要な諸政策について、概要を理解できる。 国民生活において、社会保障はどのような機能を果たしているかを理解できる。 人口統計をはじめとする国民動態統計から、今後の日本の社会保障がどのような社会的ニーズを満たすべきかを推論できる。 現状の社会保障のしくみとなりたちを踏まえた上で、今後の社会保障のあり方について自分なりの考えを持ち、伝えることができる。 グループ討議とプレゼンテーションを通して、学びを他者に伝え共有し、チームとして目標達成するスキルを身につける。
授業の概要	人々の生活と福祉を護る諸制度の仕組みを、歴史的な流れ及び世論の動向で概説し、看護活動の実践に向けて、適用するための方法を教授する。また、保健医療福祉制度の課題と制度の変化の現状についても論究する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画	第１回	総論① 保健医療福祉政策とは何か/なぜ看護職は政策を学ぶ必要があるのか （久保)20200410 【key words】 保健医療福祉政策 【授業概要】 保健医療福祉政策の概要を学びます。 看護職にとって、政策の必要性について学びます。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	各論① 保健医療福祉と住民・医療従事者との関連性/地域包括ケアの観点から （久保)20200410 【key words】 地域包括ケア 【授業概要】 国の重要な社会保障政策の考え方である地域包括ケアについて学びます。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第３回	総論② 社会保障の理念・役割・意義 （久保） 20200410 【key words】 社会保障 【授業概要】 社会保障とは何かについて学びます。 【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第４回　グループワーク・課題設計（久保）20200410

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第５回　総論③：保健医療福祉制度の関係性（各医療機関・福祉機関の役割、各職種の役割と連携）（佐藤）20200415

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第６回　総論④：国・都道府県・市区町村の保健医療福祉制度（佐藤）20200415

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第７回　各論② 社会保険制度の成り立ちとしくみ 医療保険制度と介護保険制度（久保)20200417

【key words】
社会保険　医療保険　介護保険
【授業概要】
社会保険のうち、看護職に関係の深い医療保険と介護保険について学びます。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第８回　各論③ 診療報酬とは（久保）20200417

【key words】
診療報酬
【授業概要】
診療報酬について、看護職の立場から学びます。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第９回　各論④ 地域医療構想とは（久保）20200417

【key words】
地域医療構想
【授業概要】
地域医療構想について、看護職の立場から学びます。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１０回　総論⑤ 保健医療福祉制度の変遷・改革（法改正・省庁通知・ガイドライン）（佐藤）20200422

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１１回　各論⑤ 我が国の保険医療福祉政策の課題（人口動向・高齢化・地方格差など）（佐藤)20200422

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回　総論⑥ 保険医療福祉行政の仕組みと法体系（佐藤)20200429 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　各論⑥ 保険医療福祉政策の現状（佐藤）20200429 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　プレゼンテーション・課題解決発表①（久保)20200429 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　プレゼンテーション・課題解決発表②（久保)20200429 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	人々の病気、健康問題は医療・保健・福祉分野にとどまらず国及び地方、世界の政治、経済、社会情勢などと密接に関連しているので、常に新聞、テレビ等のニュース、記事を収集し自らの問題の所在、方策を考える習慣を身につける。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	「受講生に関わる情報および受講のルール」を参照。
オフィスアワー	E-mailでの質問等は随時対応する
評価方法	出席状況、課題グループワークの参加、課題グループワークプレゼンテーション、課題レポートにより評価する。 グループワーク課題「看護職としてテーマに対して何ができるか？」 テーマ①地域包括ケア②医療介護連携③保健師と医療機関連携④医療福祉制度の課題
教科書	なし
参考書	「看護職者のための政策過程入門―制度を変えると看護が変わる」日本看護協会出版会 「【経営感覚】と【看護の心】を両立させる！組織づくりとマネジメントの鉄則：経営に貢献できる」　メディカ出版
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 本学の同講義は5回目の担当教員である。アクティブラーニングの要素を取り込んだ授業構成となっている。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育

	■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 基礎看護学実習Ⅱ　　授業コード：10086

英文科目名称： Practices of basic nursing 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年次	2単位(90)	必修
担当教員			
小林洋子　上田葉子　　他			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【目的】患者の健康上のニーズを把握し、看護過程展開を通して、基礎的な看護実践能力を養う。 【目標】 １．受け持ち患者と援助的関係を築くことができる。 ２．V. ヘンダーソンの看護論を用いて、対象の健康上のニーズを把握できる。 ３．患者に合わせた日常生活援助を科学的根拠に基づいて立案できる。 ４．安全・安楽を考慮し、患者の反応をとらえて実施できる。 ５．実施した看護援助や患者の反応を具体的に記述できる。 ６．実施した結果をもとに看護計画を評価できる。 ７．実施した援助内容及び結果を正確に報告できる。 ８．看護者として倫理的な態度を習得できる。
授業の概要	・原則として受け持ち患者を1人担当して行う。受け持ち患者への援助は、担当看護師または担当教員と一緒に行い、実 施した内容については、担当看護師に報告する。毎日カンファレンスを計画的に実施し、患者理解や患者に応じた援 助の実施に繋がるよう意見交換を行う。 １．実習時期　前半グループ：令和4年11月28日（月）～令和4年12月9日（金） 後半グループ：令和4年12月12日（月）～令和4年12月23日（金） ２．実習単位及び時間数　２単位　90時間

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	△
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回 実習要項参照
受講生に関わる情報および受講のルール	・看護者として必要な態度や身だしなみを整えたうえで実習に臨むこと。 ・時間厳守と、報告・相談・連絡を怠らないこと。 ・体調管理に留意し、実習に対して積極的に行動すること。 ・実習共通要綱、実習要項を熟読すること。 《履修要件］ 基礎看護学実習Ⅰの単位修得 看護学概論Ⅰ・Ⅱの単位修得 看護方法論Ⅰ・Ⅱの単位修得 基礎看護援助技術Ⅰ～Ⅴの単位修得
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	・実習要項に準じる
授業外時間にかかわる情報	１．受持ち患者に関わる解剖生理、病態・検査・治療、看護について自己学習を行い、受持ち患者の理解を深める。 ２．実習記録は観察結果と自己の考えを整理し、他者にわかるように記載し、期日に提出する。 ３．実習中に不明なことや疑問点が生じた場合は、確認し、解決して実習を進める。
オフィスアワー	・詳細は実習要項による
評価方法	・基礎看護学実習Ⅱ実習要項に記載してある評価表に基づき、目標達成度、実習態度、提出された実習記録等によって 評価する。評価は60%を超えていること。

教科書	・看護学概論・基礎看護技術Ⅰ・Ⅱテキスト・看護の基本となるもの・看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践
参考書	・実習習要項に準じる
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 精神看護援助論Ⅱ　　授業コード： 10089

英文科目名称： Theories of mental nursing assistance 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年次	1単位(30)	必修
担当教員			
佐藤　るみ子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 精神症状によって影響される健康や生活をアセスメントし、健全な精神活動・生活行動に向けて、対象への自律の看護支援とその思考過程を理解する。また、自己理解・他者理解を通して、患者と看護師関係におけるコミュニケーションスキルを学び、自己活用の能力を高める。 【到達目標】 1）精神看護に活用する援助理論を説明することができる。 2）精神症状、治療が日常生活に及ぼす影響をセルフケア理論から記述することができる。 3）精神障がい者の健康面を引き出す援助を考案できる。 4）セルフケアモデルに基づき対象の全体像を把握し看護計画を立案できる。 5）グループ演習を通して、多角的視点から対象を捉えることができる。
授業の概要	本講義では、講義と演習を組み合わせて、精神看護における援助理論を学び展開を通して習得する。また、精神疾患の代表的な統合失調症の事例に対する看護プロセスを理論をもとに個人ワークした後、グループ演習を通して、多角的な視点でアセスメント、看護計画の立案を行い、対象の全体像を捉えることができるよう学習する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	◎
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	◎

授業計画	第１回	オリエンテーション・治療と看護 (1) リラクセーション(呼吸法・漸進的筋弛緩法) 【key words】 リラクセーション、心理的支援、呼吸法、漸進的筋弛緩法、自律訓練法 【授業概要】 科目の位置づけとシラバスを説明する。心理的支援であるリラクセーションの意味と種類を知り、リラクセーションが及ぼす心理的効果を体得する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P94-97 参考文献　精神看護学(2)精神看護の展開　第5版，医学書院，2018.P8-29 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題は授業資料と教科書を読むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第2回	ケアの人間関係：観察と記録・再構成(プロセスレコード) 【key words】 精神科看護、看護記録、観察、再構成 【授業概要】 精神科における観察の視点と方法、記録の実際を学ぶ。また、既習のケアの人間関係論を想起し、自己の観察、自己洞察の意義とその方法を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P19-22 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題は授業資料と教科書を読むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第3回	ケアの人間関係：観察と記録・再構成(プロセスレコード) 【key words】 精神科看護、看護記録、観察、再構成 【授業概要】

		精神科における観察の視点とその方法、記録の実際を体験する。また、お互いが対話したことを再構成し、コミュニケーションにおける自己の傾向を知り、自己洞察の実際を体得する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P19-22 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題は授業資料と教科書を読むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第4回	治療と看護（２）心理教育・認知行動療法・ＳＳＴ 【key words】 心理教育、認知行動療法、SST 【授業概要】 精神障がい者のリカバリーについて理解する。また、その支援の一つである認知行動療法のSSTの理論と方法を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P110-117 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題は授業資料と教科書を読むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第5回	治療と看護（２）心理教育・認知行動療法・ＳＳＴ 【key words】 心理教育、認知行動療法、SST 【授業概要】 SSTの理論と方法を、実際に体験する。SSTを実際に精神障がい者、家族、学校で幅広く行っている外部講師による講義、指導を受け、実際に体験をする。コミュニケーションを通した社会的技能訓練により、ストレス対処、レジリエンス、エンパワメントを引き出す。その効果を実際に体得する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P110-117 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題は授業資料と教科書を読むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第6回	治療と看護（３）援助的コミュニケーション(ヘルスカウンセリングの実際) 【key words】 援助的コミュニケーション、ヘルスカウンセリング 【授業概要】 看護においてカウンセリングを学ぶ意味を理解し、カウンセリング技法とコミュニケーション技法を活用した援助的コミュニケーションについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P10-16 参考文献　精神看護学(2)精神看護の展開　第5版，医学書院，2018.P8-29 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題は授業資料と教科書を読むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第7回	治療と看護（３）援助的コミュニケーション(ヘルスカウンセリングの実際) 【key words】 援助的コミュニケーション、ヘルスカウンセリング 【授業概要】 援助的コミュニケーションの実際を体験し、その効果を体得する。その過程で、精神看護師の基本的姿勢を知る。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P10-16 参考文献　精神看護学(2)精神看護の展開　第5版，医学書院，2018.P8-29 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題は授業資料と教科書を読むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第8回	ストレングスモデル・リカバリー・レジリエンス 【key words】 精神障がい者、ストレングスモデル、リカバリー、レジリエンス 【授業概要】 精神障がい者のリカバリーへの支援方法の視点であるストレングスモデルと対象を理解する為の方法論を学び、その人らしさを大切にする自律性の回復への援助とその方法を知る。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P54～58 参考文献　精神看護学(2)精神看護の展開　第5版，医学書院，2018.P72～76 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題は授業資料と教科書を読むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第9回	精神看護に用いる看護モデル：セルフケアモデル(オレム・アンダーウッド) 【key words】 精神科看護、看護過程、セルフケア理論とモデル 【授業概要】 オレムアンダーウッドによるセルフケアモデルから人間行動、および、生活行動を捉える視点から、自律性の回復に向けた精神科看護援助の方法を学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P23-33
田中美恵子編集：精神看護学第２版　学生－患者のストーリーで綴る実習展開，医歯薬出版株式会社，2015.

【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題は授業資料と教科書を読むこと。
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第10回　精神科看護プロセス（対象の捉え方）

【key words】
精神科看護、セルフケア理論、看護プロセス、看護アセスメント
【授業概要】
精神科看護における看護の視点をセルフケア理論から学び、アセスメントの視点を理解する。
統合失調症の急性期または慢性期の事例を、セルフケアモデルに基づいて情報を整理しアセスメントを記録する。関連する既習学習を想起、確認し対象を身体的・精神的・社会的側面から捉える。

【教科書ページ・参考文献】
精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P33-53
田中美恵子編集：精神看護学第２版　学生－患者のストーリーで綴る実習展開，医歯薬出版株式会社2015.

【課題・予習・復習・授業準備指示】
指定の事例情報を記録用紙に記入する。
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第11回　精神科看護プロセス（情報とアセスメント）

【key words】
精神科看護、セルフケア理論、看護プロセス、看護アセスメント
【授業概要】
精神科看護における看護の視点をセルフケア理論から学び、アセスメントの視点を理解する。
統合失調症の急性期または慢性期の事例を、セルフケアモデルに基づいて情報を整理しアセスメントを記録する。関連する既習学習を想起、確認し対象を身体的・精神的・社会的側面から捉える。

【教科書ページ・参考文献】
精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P33-53
田中美恵子編集：精神看護学第２版　学生－患者のストーリーで綴る実習展開，医歯薬出版株式会社，2015.

【課題・予習・復習・授業準備指示】
指定の事例情報を記録用紙に記入する。
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第12回　精神科看護プロセス（多角的視点とアセスメント）

【key words】
精神科看護、セルフケア理論、看護プロセス
【授業概要】
統合失調症の急性期または慢性期の事例について、グループカンファレンスを通して、アセスメントを深め、多角的に対象を捉える。
【教科書ページ・参考文献】
精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P33-53
田中美恵子編集：精神看護学第２版　学生－患者のストーリーで綴る実習展開，医歯薬出版株式会社，2015.
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事例の情報・アセスメントの追加修正をする。
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第13回　精神科看護プロセス（多角的視点と全体像）

【key words】
精神科看護、セルフケア理論、看護プロセス
【授業概要】
統合失調症の急性期または慢性期の事例について、グループカンファレンスを通して、アセスメントを深め、多角的に対象を捉えるとともに、全体像を把握する。
【教科書ページ・参考文献】
精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P33-53
田中美恵子編集：精神看護学第２版　学生－患者のストーリーで綴る実習展開，医歯薬出版株式会社，2015.

【課題・予習・復習・授業準備指示】
事例のアセスメント、全体像を記入する。
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第14回　精神科看護プロセス（多角的視点と計画）

【key words】
精神科看護、セルフケア理論、看護プロセス
【授業概要】
統合失調症の急性期または慢性期の事例について、グループカンファレンスを通して、事例対象の全体像の把握からケアプランを立案する。
【教科書ページ・参考文献】
精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P33～53
田中美恵子編集：精神看護学第２版　学生－患者のストーリーで綴る実習展開，医歯薬出版株式

	会社，2015. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事例の全体像、ケアプランの立案をする。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第15回　精神科看護の統合的な視点（発表：全体像と計画） 【key words】 精神科看護、セルフケア理論、看護プロセス 【授業概要】 統合失調症の急性期または慢性期の事例の看護プロセスとケアプランを発表し、質疑応答による意見交換を通して、さらに、多角的に対象を捉え、精神科看護の視点を深める。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P33-53 田中美恵子編集：精神看護学第２版　学生－患者のストーリーで綴る実習展開，医歯薬出版株式会社，2015. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事例のアセスメント、全体像、ケアプランの追加修正を行い、指定の時間・場所に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
受講生に関わる情報および受講のルール	精神医療・精神看護に関連する科目、精神看護学概論や精神看護援助論Ⅰで得た知識を繋げて学習する。 予習・復習を行い、知識を整理し、自己の新たな課題を見出すことができるよう能動的に学習する。 授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語・スマートフォン通話）は厳禁である。 グループディスカッションを積極的に行い対象のアセスメントを深められるようにお互い助け合う。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	授業後は、その日の資料内容を確認する。短時間でも行うこと。
オフィスアワー	授業についての質問は授業終了後1時間受け付ける。
評価方法	定期試験、課題レポートの総合評価で60%以上を単位認定とする。
教科書	川野雅資編集：精神看護学Ⅰ「精神保健看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019. 川野雅資編集：精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019. 田中美恵子編集：精神看護学第２版　学生－患者のストーリーで綴る実習展開，医歯薬出版株式会社，2015.
参考書	授業内で適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 精神科病院・精神科デイケア精神科専門訪問看護の臨床実践を有し、教育活動実践者でもある。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 精神看護学実習　　授業コード： 10090

英文科目名称： Practices of mental nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	３年次	3単位(90)	必修
担当教員			
佐藤　るみ子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	精神看護学概論・援助論Ⅰ・Ⅱ、さらにこれまでの基礎学習の知識、技術を統合し、精神障がいにより日常生活に支障をきたしている人とその家族との関係性を築きながら、個別性に応じた看護の展開を実践する。また、精神障がい者が、その人らしく地域で生活するための地域精神保健活動の現状から、精神看護の役割と課題を明確にする。 【到達目標】 1)対象の発達課題と対象を取り巻く環境から対象を理解することができる。 2)対象の健康と生活について身体・心理・社会的側面からアセスメントすることができる。 3)対象の目標達成に向けた個別的な看護計画を立案・実施・評価することができる。 4)保健医療福祉行政における地域包括の視点から看護の役割・機能について説明できる。 5)対象ー看護師関係における治療的関わりから看護の役割意義を説明できる。
授業の概要	【実習時間・場所】 １）実習期間：令和4年年5月9日～令和4年11月25日中の2週間(1クール) ２）実習時間：8：30～16：00 ３）実習場所：精神科病院・地域活動支援センター・就労継続支援B型 【実習方法】 １）学生グループは１つの看護チームとし、病院実習は学生は一人の対象者を受け持ち看護過程の展開を行う。 ２）１週目：対象との関係形成を築きながら対象の全体像を理解し、日常生活の自律に向けた援助をアセスメントする。 ２週目：対人関係における自己の特徴を理解し援助的コミュニケーションを図る。立案した看護計画を実施・評価・修正する。 詳細は、実習事前オリエンテーションで説明する。配布する実習要項を参照する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	○
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	◎
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	○
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	1日目	精神科病院、病棟オリエンテーション、対象との出会い 【key words】 精神病院、治療的環境、コミュニケーション、関係性 【授業概要】 臨床指導者より、精神科病院、病棟オリエンテーションを受け、他科との違いから精神病院の構造と特徴を知り、治療的環境の意味を考える。また、違和感から倫理性を高めることにつなげる。 コミュニケーションを交わした後、グループ間で受け持ち対象を選定し、お互いが知り合う。 カンファレンスは、困ったこと気づきや感じたことを共有し、感情コントロールの場とする。 【教科書ページ・参考文献】 既習の精神科看護実習に関連する教科書、参考図書、文献、授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習記録、実習事前学習の追加、プロセスレコードの記述 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	2日目	各自の行動計画に沿った実習展開、 【key words】 自己理解、他者理解、セルフケア、疾患と治療、コミュニケーション、関係性 【授業概要】 対象との関係性を築きながら対象の行動の意味を考えていく。また、対象の疾患と症状、治療、健康面、強み、を知り、疾患、治療が生活に及ぼす影響、対象の生活のしづらさをセルフケアの視点から把握する。

		カンファレンスは、困ったことに加え、プロセスレコードの検討から自己洞察して自己の傾向を知り、対象とのかかわりにつなげる。 【教科書ページ・参考文献】 既習の精神科看護実習に関連する教科書、参考図書、文献、授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習記録、実習事前学習の追加、プロセスレコードの記述 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	3日目	各自の行動計画に沿った実習展開 【key words】 ＊コミュニケーション、疾患と症状、ストレングス、セルフケア、対象理解（病院実習） ＊地域精神保健活動、就労・社会資源と支援、ストレングス、医療福祉行政の連携（施設実習） 【授業概要】 対象と行動を観察しながら行動のみと関わりの意味を考えていく。対象の疾患と症状、健康面、強みを知る。 症状、治療が生活に及ぼす影響、対象の生活のしづらさをセルフケア行動から把握する カンファレンスは、困ったことに加え、プロセスレコードの検討から自己洞察して自己の傾向を知り、対象とのかかわりに繋げる。（病院実習） 地域支援活動、または、地域就労継続支援B型の施設に参加し生活支援と就労支援の実際を知る。体験を通して、地域で生活する精神障がい者の生活状況と生活のしづらさや強みを知る。さらに現在の保健・医療・福祉・社会・行政などの連携の実際から支援の必要性と課題を考える。（施設実習） 【教科書ページ・参考文献】 既習の精神科看護実習に関連する教科書、参考図書、文献、授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習記録、実習事前学習の追加 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	4日目	各自の行動計画に沿った実習展開 【key words】 自己理解、他者理解、セルフケア、疾患と治療、コミュニケーション、関係性、看護の方向性 【授業概要】 対象との関係性を築きながら対象の行動の意味を考えていく。また、対象の疾患と症状、治療、健康面、強み、を知り、疾患、治療が生活に及ぼす影響、対象の生活のしづらさをセルフケアの視点から把握する。受け持ち対象の希望と目標を主とした看護の方向性について臨床指導者に相談確認する。 カンファレンスは、困ったこと相談したいことを主にディスカッションする。 【教科書ページ・参考文献】 既習の精神科看護実習に関連する教科書、参考図書、文献、授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習記録、実習事前学習の追加 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	5日目	SSTの実際と各自の行動計画に沿う学内実習 【key words】 SST、実習記録整理、対象の全体像 【授業概要】 SSTを実際に行い効果を体感する。 臨地での学びを既習学習とつなげ、対象の現象をセルフケアモデルの視点からアセスメントして対象者の理解を深める。実習記録を進め対象の全体像を把握する。情報を統合して看護目標を考え立案する。 【教科書ページ・参考文献】 既習の精神科看護実習に関連する教科書、参考図書、文献、授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習記録、実習事前学習の追加 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	6日目	各自の行動計画に沿った実習展開 【key words】 関係性、看護プロセスの実践 【授業概要】 1週目の関わりを基に患者-看護師関係の関係性を築きながら、対象と一緒に対象の目標を考え、対象の反応から対象にとってのよりよい看護を考える。また、自分の関わり、感情の変化を振り返り精神科看護の役割・課題を考える。 カンファレンスは、困ったこと相談したいことを主にケースの検討する。 【教科書ページ・参考文献】 既習の精神科看護実習に関連する教科書、参考図書、文献、授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習記録、実習事前学習の追加 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	7日目	各自の行動計画に沿った実習展開 【key words】 関係性、看護プロセスの実践 【授業概要】 患者-看護師関係の関係性を築きながら、対象と一緒に対象の目標に向けて看護プロセスを実践し、対象の反応から対象にとってのよりよい看護を考える。また、自分の関わり、感情の変化を振り返り精神科看護の役割・課題を考える。 カンファレンスは、困ったこと相談したいことを主にケースの検討する。 【教科書ページ・参考文献】 既習の精神科看護実習に関連する教科書、参考図書、文献、授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】

	実習記録、実習事前学習の追加 【予習復習に必要な想定時間】 ２時間 ８日目　各自の行動計画に沿った実習展開 【key words】 ＊関係性、看護プロセスの実践（病院実習） ＊地域精神保健活動、就労・社会資源と支援、ストレングス、医療福祉行政の連携（施設実習） 【授業概要】 患者-看護師関係の関係性を築きながら、対象と一緒に対象の目標に向けて看護プロセスを実践し、対象の反応から対象にとってのよりよい看護を考える。また、自分の関わり、感情の変化を振り返り精神科看護の役割・課題を考える。（病院実習） 地域支援活動、または、地域就労継続支援B型の施設に参加し生活支援と就労支援の実際を知る。体験を通して、地域で生活する精神障がい者の生活状況と生活のしづらさや強みを知る。さらに現在の保健・医療・福祉・社会・行政などの連携の実際から支援の必要性と課題を考える。（施設実習） 【教科書ページ・参考文献】 既習の精神科看護実習に関連する教科書、参考図書、文献、授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習記録、実習事前学習の追加 【予習復習に必要な想定時間】 ２時間 ９日目　各自の行動計画に沿った実習展開 【key words】 関係性、看護プロセスの実践、学びの共有 【授業概要】 患者-看護師関係の関係性の終結。対象と一緒に対象の目標に向けての達成、セルフケア行動を肯定的に振り返えり強みを認め伝える。さらに対象の反応から対象にとってのよりよい看護を考える。また、自分の関わり、感情の変化を振り返り精神科看護の役割・課題を考える。 最終カンファレンスでは、実習を通しての学びや感想を共有する。 【教科書ページ・参考文献】 既習の精神科看護実習に関連する教科書、参考図書、文献、授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習記録、実習事前学習の追加 【予習復習に必要な想定時間】 ２時間 最終日　合同カンファレンスと各自の行動計画に沿う学内実習 【key words】 合同カンファレンス、学びの共有、実習まとめ 【授業概要】 合同カンファレンスを行い、2週間の実習を振り返り学びを共有する。 担当指導教員との面接では、受け持ち対象の看護支援の継続を意識してサマリーを口頭で伝える。 精神科看護の実践から深められた看護観を伝え、実習記録を整理し提出する。 【教科書ページ・参考文献】 既習の精神科看護実習に関連する教科書、参考図書、文献、授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習記録、実習事前学習の追加 【予習復習に必要な想定時間】 １時間
受講生に関わる情報および受講のルール	事前に実習場所の交通・所要時間等を確認しておく。 健康自己管理を行い、感染症予防行動を厳守する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	担当教員がその都度個別に関わり確認する。
授業外時間にかかわる情報	実習後はその日の疑問や理解不足な点を調べて次の実習に備える。
オフィスアワー	毎週金曜日　16：00 - 18：00
評価方法	１）実習時間の5分の4以上の出席が評価の前提である。 ２）実習担当教員が評価を行い、科目責任者が単位の認定を行う。 ３）実習評価表に基づき、個人面接などの結果を総合的に判断して行う。 ４）単位認定基準については、看護学臨地実習共通要綱「実習の評価について」を参照。
教科書	川野雅資編集：精神看護学Ⅰ「精神保健看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019. 川野雅資編集：精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.
参考書	田中美恵子編集；精神看護学第２版　学生－患者のストーリーで綴る実習展開，医歯薬出版株式会社，2015. 授業資料
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 精神科病院・精神科デイケア精神科専門訪問看護の臨床実践を有し、教育活動実践者でもある。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク

	□アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 母性看護学概論　　授業コード： 10091

英文科目名称： Introduction to maternal nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年次	1単位(30)	必修
担当教員			
小野　智佐子　　上田　恵			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業の目的] 母性看護の目的や対象の理解を行い、社会のニーズに即した看護の役割機能について考察することができる。　　[到達目標] １．母性看護の対象について理解することができる。 ２．母性を取り巻く環境や社会制度について理解することができる。 ３．ウィメンズヘルスの立場からリプロダクティブヘルス/ライツについての理解を高める。 ４．母性看護の現状と今後の展望を考えることができる。
授業の概要	「母性とは、現に子どもを産み育てているもののほか、将来子どもを産み育てるべき存在及び過去にその役目を果たしたもの」というWHOの定義の視点から、各ライフステージにおける母性について理解する。また、各期にある母性を取りまく制度・環境についても理解を深める。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画		
	第１回	母性看護学概論および母性看護学領域の授業についてのガイダンス、母性看護の基盤となる概念 【key words】 母性、母性看護の目的、概念、ヘルスプロモーション、エンパワメント、ウエルネス、セルフケア 【授業概要】 ・科目の位置づけとシラバスの説明。 ・母性とは何かを幅広く考え、母性看護学における母性の捉え方について理解を深める。 ・母性看護の実践を支える概念を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を予習して臨むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第２回	リプロダクティブヘルスに関する概念①　リプロダクティブヘルス/ライツ 【key words】 セクシュアリティ、リプロダクティブヘルス/ライツ、思春期の健康問題、性の多様性 【授業概要】 ・リプロダクティブヘルス/ライツについて理解し、母性看護を含む今後のヘルスケアの課題を学ぶ。 ・思春期の健康問題に関する世界の動きを理解する。 ・セクシュアリティ、性の多様性、性の健康の概念を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書 【課題・予習・復習・授業準備指示】 リプロダクティブヘルス/ライツについて予習を行って臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第３回	リプロダクティブヘルスに関する概念②　ヒトの発生、性分化、性意識 【key words】 性染色体、性分化、性意識、性同一性障害 【授業概要】 ・ヒトの発生、性分化、性分化疾患について理解する。 ・性意識の発達、性同一性障害を理解する。 【教科書ページ・参考文献】

		教科書 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を予習して臨むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第４回	リプロダクティブヘルスに関する動向 【key words】 母子保健統計、家族形成 【授業概要】 ・人口動態統計の母子保健統計に関する出生・死産・周産期死亡・新生児死亡・妊産婦死亡について社会の変化を関連させて理解する。 ・家族形成に関する統計を社会の変化に関連させて理解する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書 【課題・予習・復習・授業準備指示】 母子保健統計に関する用語を調べておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第５回	リプロダクティブヘルスに関する法律や施策と支援①　子どもと女性の保護、子育て支援 【key words】 母子保健法、労働基準法、母子保健施策、少子化対策、健やか親子21、子育て世代包括支援センター 【授業概要】 ・子どもと女性の保護に関する児童福祉法、母子保健法、母体保護法について理解する。 ・働く女性に関連する労働基準法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法について理解する。 ・安心して子育てができるための諸制度を理解し、必要な看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 教科書 【課題・予習・復習・授業準備指示】 乳幼児虐待のハイリスク要因について予習を行っておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第６回	リプロダクティブヘルスに関する法律や施策と支援②　暴力・虐待防止、周産期医療システム 【key words】 DV、性暴力、児童虐待、周産期医療システム 【授業概要】 ・ドメスティック・バイオレンス（DV)被害や性暴力が女性の健康に及ぼす影響を理解する。 ・医療におけるDVや性暴力被害女性のケアや支援を理解する。 ・児童虐待のリスクアセスメントと支援について理解する。 ・周産期医療システムに関する施策や医療体制を理解する。 ・次回のグループワークの説明を行う。 【教科書ページ・参考文献】 教科書 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回のグループワークに向けて提示された課題について、これまでの授業の内容も踏まえて個人シートに記入しておくこと。また、第1～第6回までの復習を行い、次回の小テストに備えること。 【予習復習に必要な想定時間】 90～120分
	第７回	周産期に関連した社会的な課題①　個人シートを基にしたグループワーク 【key words】 周産期、課題、個人シート、グループワーク 【授業概要】 周産期に関連した課題について多角的な視点で検討する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書 【課題・予習・復習・授業準備指示】 グループワークで出された意見を各自で振り返り、次回に行うグループとしての意見の集約に向けて準備する。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第８回	グループワーク・発表準備 【key words】 周産期、課題、グループワーク 【授業概要】 ・グループの意見を集約し、発表の準備を行う。 【教科書ページ・参考文献】 教科書 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回までに発表資料を作成しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 120～180分
	第９回	周産期に関連した課題　発表とまとめ 【key words】 周産期、課題、グループ発表 【授業概要】 ・課題テーマごとにグループ発表を行う。 ・各グループの発表を視聴することで、周産期における社会的な課題の現状と必要な看護・支援を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書

【課題・予習・復習・授業準備指示】
資料を完成させ、発表の準備をしておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第１０回　女性のライフサイクルに伴う変化

【key words】
生殖器、ホルモン、二次性徴、性周期、妊娠のメカニズム
【授業概要】
・生殖器の解剖・機能を理解する。
・女性のライフサイクルに与えるホルモンの影響について理解する。
・女性の二次性徴について理解する。
・女性の性周期について理解する。
・妊娠のメカニズムを理解する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書
【課題・予習・復習・授業準備指示】
人体構造機能学の生殖器系を復習しておくこと。
性周期とホルモンは国家試験に頻出しているので、予習・復習を行い知識の定着を図ること。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１１回　生殖における健康問題と看護

【key words】
月経異常、性感染症
【授業概要】
・月経異常の症状を学び、セルフケアの必要性を理解する。
・性感染症とその影響について学び、必要な看護を理解する。
・避妊法とそれぞれの特徴について理解する。
・B型肝炎に関する正しい知識を得、感染拡大防止の必要性について理解する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書予習しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
30～60分

第１２回　加齢とホルモン

【key words】
ライフサイクル、更年期、老年期、健康問題
【授業概要】
更年期にある女性の心理的、社会的、身体的特性を理解する。
更年期女性の健康問題を学び、必要な看護を理解する。
老年期にある女性の特性を理解する。
老年期女性の健康問題を学ぶ、必要な看護を理解する。

【教科書ページ・参考文献】
教科書
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を予習して臨むこと。
更年期障害の女性に処方されるHRT(ホルモン補充療法) の薬理作用について調べておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
30～60分

第１３回　不妊カップルへの支援

【key words】
不妊症、カップル、不妊治療、自己決定、グループディスカッション
【授業概要】
・妊孕制に関わる不妊という健康問題の特徴について理解する。
・不妊症の定義および不妊症の原因・検査・治療について理解する。
・不妊カップルの心理・社会的反応を理解する。
・不妊治療を受けているカップルの自己決定を支える看護について理解する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書
【課題・予習・復習・授業準備指示】
母性看護領域にある倫理的問題について事前に学習して臨むこと。小テスト、リフレクション課題あり。

【予習復習に必要な想定時間】
30～60分

第１４回　リプロダクティブヘルスに関する倫理

【key words】
倫理原則、倫理的課題、人工妊娠中絶、出生前診断、生殖補助医療、グループディスカッション
【授業概要】
・看護における倫理原則について理解する。
・看護者の倫理綱領理解し、母性看護における行動指針を確認する。
・看護を行うにあたっての倫理的概念を理解する。
・人工妊娠中絶・出生前診断・生殖補助医療の現況と倫理的・法的・社会的課題について理解する。
・事例を通して母性看護における倫理的課題についてグループディスカッションを行い、倫理的課題への取り組み方を理解する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書
【課題・予習・復習・授業準備指示】
母性看護領域にある倫理的問題について事前に学習して臨むこと。事例pp199-212を事前に熟読のこと。小テスト、リフレクション課題あり。
【予習復習に必要な想定時間】

	30～60分 第１５回　周産期の死を体験した家族の理解と看護 【key words】 喪失、悲嘆、喪の仕事、グリーフケア 【授業概要】 周産期の死を体験した女性や家族の心理プロセスを理解し、周産期の死を体験した女性や家族のケアについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 母性看護学各論 【課題・予習・復習・授業準備指示】 危機理論について学習しておく。 【予習復習に必要な想定時間】 120分
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講のルール] 授業計画を確認し、事前に教科書は読んでから授業に臨むこと。母性看護に関する社会の事象や政策などに関心を持ち、常に情報収集を行い、自分としての考えや意見を持って授業に臨むこと。他の受講生の迷惑になる私語や携帯電話の使用は厳禁。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式（アプリも検討中）
授業外時間にかかわる情報	母性看護は女性の一生についての心身の変化、またそれに関わるパートナーと新生児の健康、さらには母子保健に関わる政策、法律など幅が広く学習量が多く、国家試験でも点数の獲得が難しい科目です。法律や政策などは細部まで授業の中で行うのは困難であるため予習が必要です。まとめての学習は難しいので、授業ごとに予習復習を行い知識が定着するようにして下さい。
オフィスアワー	金曜日16:00～17:30
評価方法	課題レポート3本にて総合評価する。　レポートの内容については、オリエンテーション時、中間、最終の時期に提示する。
教科書	ナーシング・グラフィカ母性看護学①　概論・リプロダクティブヘルスと看護　メディカ出版 森恵美他：系統看護学講座専門分野Ⅱ　母性看護学各論　　医学書院
参考書	国民衛生の動向　厚生統計協会　2022/2023
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院の周産期センター母性病棟にて主任助産師として、早期母子接触および母子関係の支援に力を注いでまいりました。これまでの経験を活かし、実りある授業に努めたいと考えております。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 母性看護援助論Ⅰ　　授業コード：10092

英文科目名称： Theories of maternal nursing assistance 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年次	1単位(30)	必修
担当教員			
上田　恵，小野　智佐子他			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業目的] 周産期にある女性及び新生児の身体的、心理的変化について理解する。また、それらを取り巻く家族への看護を理解する。 [到達目標] ①妊娠期、分娩期、産褥期にある女性に起こる生理的な身体の変化や心理的特徴についての基本的知識を得る。② 新生児の身体特徴や生理についての基本的知識を得る。 ③母子関係や愛着の形成について理解できる。 ④妊婦、産婦、褥婦及び新生児と家族に必要な看護が理解できる。
授業の概要	周産期にある女性の身体に起こる生理的変化や心理的変化、新生児の特徴や母子関係について理解し、家族を含めた看護援助について学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	○
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　科目オリエンテーション、妊娠期の身体的特性

【key words】
妊娠、胎児、生殖器、ホルモン

【授業概要】
妊娠期にある女性に起こる生理的な身体の変化について基本的な知識を得る。
【教科書ページ・参考文献】
教科書①pp62-78
【課題・予習・復習・授業準備指示】
人体構造機能学の女性生殖器を復習して臨む。
【予習復習に必要な想定時間】
30～60分

第２回　妊娠期の心理・社会的特性

【key words】
ストレス、アンビバレンス、親役割
【授業概要】
・妊娠期にある女性に起こる心理的特徴と社会的特徴について基本的な知識を得る。
・妊娠期の社会的特性を知る。
・妊婦と家族及び会について考えることができる。
【教科書ページ・参考文献】
教科書①pp82-91
【課題・予習・復習・授業準備指示】
第1回の内容を復習して臨む。
【予習復習に必要な想定時間】
30～60分

第３回　妊婦と胎児のアセスメント

【key words】
妊婦健康診査、ヘルスアセスメント
【授業概要】
・妊娠の診断方法について学ぶ。
・妊娠期に行う検査とその目的が理解できる。
・妊娠期の正常な経過について学ぶ。
・胎児の発育と健康状態の診断方法を知り、妊婦と胎児の診断とアセスメントについて理解でき

		る。 【教科書ページ・参考文献】 教科書①pp92-132 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書①pp87-125をよく読んで予習して臨む 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第４回	妊婦と家族の看護 【key words】 日常生活動作、マイナートラブル、母親学級、バースプラン 【授業概要】 ・日常生活における健康管理・保健指導の必要性を根拠を含めて理解できる。 ・親になるための準備教育について学び、必要性と内容について考えることができる。 ・家族役割について考えることができる。 【教科書ページ・参考文献】 教科書①pp133-180 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書①pp126-176をよく読んで予習して臨む 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第５回	分娩の要素、分娩の経過 【key words】 分娩の三要素、分娩各期 【授業概要】 ・分娩の3要素、胎児と子宮および骨盤との関係、分娩の機序について理解できる。 ・正常分娩の生理と経過について（胎児の健康状態含む）理解できる。 【教科書ページ・参考文献】 教科書①pp184-211 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書①pp176-205をよく読んで予習して臨む 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第６回	産婦・胎児・家族のアセスメント、産婦と家族の看護 【key words】 産痛緩和法、リラクゼーション、呼吸法 【授業概要】 ・分娩各期の産婦・胎児・家族のアセスメントを学ぶ。 ・安全、安楽な分娩、出産体験が肯定的になるための看護について学ぶ。 ・分娩経過に伴う看護、産痛緩和および産婦とその家族への看護について考えることができる。 【教科書ページ・参考文献】 教科書①pp211-259 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書①pp205-251をよく読んで予習して臨む 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第７回	分娩の進行に伴う産婦・胎児のリスク 【key words】 破水、帝王切開、胎児機能不全、出血、分娩誘発 【授業概要】 ・分娩各期の母体と胎児へのリスクについて学ぶ。 ・和痛・無痛分娩のメリット、デメリットについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書①ｐｐ423-488 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第1回～第7回までの授業内容を復習し、次回に行う小テストに向けて備えること。 【予習復習に必要な想定時間】 120分
	第８回	妊娠期、分娩期のまとめ 【key words】 妊娠、分娩 【授業概要】 ・妊娠期～分娩期までの継続的な経過のアセスメントと看護の必要性が理解できる。 ・母児の相互作用について考えることができる。 ・妊娠期～分娩期そして産褥期へとつながっていくことが理解できる。 ・小テストを実施する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書①pp62-259、pp380-488 【課題・予習・復習・授業準備指示】 小テストの結果を振り返り、妊娠・分娩に関する知識の定着を図る。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第９回	産褥期における身体的、心理社会的変化 【key words】 退行性変化、進行性変化、心理社会的変化、愛着形成、家族の心理的変化 【授業概要】 ・産褥期における退行性変化・進行性変化の過程と全身の変化を理解できる。 ・産褥期における母親への適応過程やマタニティブルーズの特徴を理解し、母子の愛着が形成される過程を学ぶ。 ・児出生後の父親や兄弟の心理的変化を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書①pp322-333 【課題・予習・復習・授業準備指示】

		教科書①pp308-320をよく読んで予習して臨む 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第１０回	褥婦のアセスメント 【key words】 産褥経過の診断、退行性変化・進行性変化の観察項目、心身の健康状態のアセスメント、セルフケア 【授業概要】 ・退行性変化や進行性変化などの産褥経過の診断について学ぶ。 ・看護に必要な褥婦の健康状態のアセスメントの視点について学ぶ。 ・褥婦に生じる心身の変化や日常生活活動の内容を理解し、褥婦のセルフケアの状態を把握することの必要性を学ぶ。 ・児出生後の家族の変化に応じた看護について少人数のグループでディスカッションする。 【教科書ページ・参考文献】 教科書①pp334-345 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書①pp320-331をよく読んで予習して臨む 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第１１回	褥婦と家族の看護 【key words】 セルフケア、身体の回復、母乳育児、児との関係、家族関係 【授業概要】 ・褥婦の身体機能の回復および進行性変化を促す看護について学ぶ。 ・児との関係確立への看護について学ぶ。 ・育児に関わる看護について学ぶ。 ・家族メンバーが増えることによる家族関係再構築への看護について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書①pp345-364 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書①pp345-364をよく読んで予習して臨む 次回小テストを行うので、第9回から第11回までの資料を復習して臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 120分
	第１２回	施設退院後の看護、産褥期のまとめ 【key words】 育児不安、育児支援、ソーシャルサポート 【授業概要】 ・母親の育児不安が産後1か月以内が多いことを踏まえ、施設退院後の育児支援の重要性について理解する。 ・ソーシャルサポートの内容と必要性について学ぶ ・産褥期の小テストを実施する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書①pp367-377 【課題・予習・復習・授業準備指示】 小テストの結果を振り返り、産褥期に関する知識の定着を図る 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第１３回	新生児の生理 【key words】 新生児、子宮外適応現象、生理的変化 【授業概要】 ・新生児の定義について理解する。 ・胎児から新生児への生理的変化、新生児の身体的な特徴について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書①pp262-281 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書①pp254-270をよく読んで予習して臨む 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第１４回	新生児のアセスメント 【key words】 ハイリスク児、評価、出生直後、健康状態のアセスメント 【授業概要】 ・新生児の診断、発育の評価について学ぶ。 ・新生児の健康状態のアセスメントに必要な情報、収集技術、アセスメントの視点を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書①pp281-304 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書①pp270-293をよく読んで予習して臨む 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第１５回	新生児の看護 【key words】 出生直後の看護、出生から退院までの看護 【授業概要】 ・アセスメントに基き、新生児のニーズを把握して看護を行う必要性を理解する。 ・出生直後の看護、および出生後から退院時までの看護について学ぶ。 ・新生児と母親・家族関係に留意した看護の必要性を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書①pp305-320 【課題・予習・復習・授業準備指示】

	新生児のフィジカルアセスメントについて復習して臨む。 定期試験に向けて、これまでの授業内容の復習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 180分
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講のルール] 妊娠期、分娩期、産褥期、新生児の生理的変化とアセスメント、各期の看護ケアなど学ぶ範囲が広いため、授業計画を参考に教科書を読んでから授業に臨むこと。他の受講生の迷惑になる私語や携帯電話の使用は厳禁。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	母性看護援助論は妊娠期、分娩期、産褥期、新生児と生理的に変化していく過程の身体的特徴、また新生児の身体的特徴、母子関係などと幅が広く学習量が多い為、国家試験でも点数の獲得が難しい科目です。まとめての学習は難しいので、授業ごとに予習復習を行い知識が定着するようにして下さい。
オフィスアワー	講義終了から当日の18時まで。または金曜日の17：30～18：00。
評価方法	筆記試験（定期試験）80%、小テスト20%で総合的に評価を行う。合わせて60%を超えることが前提となる。 小テスト欠席の場合、その分の点数はつかない。ただし、病気などでやむなく欠席となった場合（学生ハンドブックにある追試験受験資格に該当する）には、レポート提出によって小テストの代わりとする。
教科書	①森恵美他著：系統看護学講座　専門分野Ⅱ　母性看護学各論　医学書院　最新版
参考書	①横尾京子他：ナーシンググラフィカ母性看護実践の基本　母性看護学１　メディカ出版 ②横尾京子他：ナーシンググラフィカ母性看護技術　母性看護学２　メディカ出版
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院周産期医療センターおよび総合病院にて、助産師としての経験を活かした母性看護学の授業をいたします。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 母性看護援助論Ⅱ　　授業コード：10093

英文科目名称： Theories of maternal nursing assistance 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年次	1単位(30)	必修
担当教員			
上田　恵、小野智恵子　他			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業目的] 周産期における母子および家族の心身の変化、健康ニーズ、適応過程に応じた看護過程の展開方法を理解できる。 母性看護に必要な基本的技術の原理と根拠を明確にし、実施することができる。 [到達目標] ①母性看護における看護過程の特徴について理解できる。 ②妊産褥婦および胎児・新生児の経過を根拠に基づきアセスメントできる。 ③ウエルネスの視点から看護診断・看護目標が挙げられ、個別性のある看護計画の立案ができる。 ④褥婦および家族の特性をふまえた保健指導を立案できる。 ⑤妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期に必要な援助技術について理解し、実施できる。
授業の概要	母性看護援助論Ⅰを踏まえて、母性看護に必要な観察・援助技術を学ぶ。また、妊婦・産婦・褥婦・新生児各々の特性を踏まえ、効果的に看護を展開するための方法（看護過程）を学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	○
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画	第１回	科目オリエンテーション/母性看護における看護過程 【key words】 看護過程、ウエルネス 【授業概要】 ・科目の位置づけとシラバスの説明。 ・看護過程の基本的な考え方と母性看護における看護過程・ウエルネス看護診断の考え方についての説明。 【教科書ページ・参考文献】 教科書①　参考書③ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 母性看護における看護過程について復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２回	妊娠期の情報収集とアセスメント 【key words】 妊婦健康診査、事例、アセスメント 【授業概要】 ・妊娠期の事例を用いて、情報を基に妊娠経過についてアセスメントを行う。 ・妊婦健康診査における観察項目や情報収集の内容を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書① 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回の授業までに妊婦健診の外来記録のアセスメントを完成させること。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第３回	分娩期の情報収集とアセスメント 【key words】 産婦、事例、アセスメント 【授業概要】 産婦の事例の情報を分娩記録に記入し、分娩の経過をアセスメントする。

【教科書ページ・参考文献】
教科書①
【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回の授業までに分娩経過記録のアセスメントを完成させること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第４回　産褥期の観察項目とアセスメント
【key words】
褥婦、アセスメント、ウエルネス

【授業概要】
事例を用いて、褥婦をケアするために必要な観察項目を理解し、産褥1日目の褥婦の状態についてアセスメントを行う。
【教科書ページ・参考文献】
教科書①
【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回の授業までに、事例（褥婦）の日々の記録のアセスメントを完成させること。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第５回　新生児期の観察項目とアセスメント
【key words】
褥婦（新生児）、アセスメント、ウエルネス

【授業概要】
事例を用いて新生児をケアするための観察項目を理解し、生後3日目の新生児のアセスメントを行う。
【教科書ページ・参考文献】
教科書①
【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回の授業までに、事例（新生児）の日々の記録のアセスメントを完成させること。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第６回　産褥期・新生児期の看護過程：ウエルネスの視点に基づいたアセスメント
【key words】
褥婦、新生児、看護過程、ウエルネス

【授業概要】
ウエルネスの母性看護過程を基に事例のアセスメントを行う。
【教科書ページ・参考文献】
教科書　①
【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回の授業までに事例の看護過程の記録を進めておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第７回　産褥期・新生児期の看護過程：看護診断、看護計画、診断の統合
【key words】
褥婦、新生児、看護過程、ウエルネス

【授業概要】
ウエルネスの母性看護過程を基に事例のアセスメントを行い、看護診断を挙げ、看護計画の立案を行う。
【教科書ページ・参考文献】
教科書　①
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事例の看護過程の記録を完成させ、期日までに提出すること。
【予習復習に必要な想定時間】
180分

第８回　産褥期・新生児期の看護過程：看護診断、看護計画、診断の統合
【key words】

褥婦、新生児、看護過程、ウエルネス

【授業概要】
ウエルネスの母性看護過程を基に事例のアセスメントを行い、看護診断を挙げ、看護計画の立案を行う。
【教科書ページ・参考文献】
教科書①
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事例の看護過程の記録を完成させ、期日までに提出すること。
【予習復習に必要な想定時間】
180分

第９回　母性看護に必要な看護技術：看護技術の実施目的と意義、看護技術の方法
【key words】
・妊婦健診時の観察項目、新生児期・産褥期の看護技術の実施目的と意義、留意点について学ぶ。
・褥婦、新生児、観察方法、看護技術

【授業概要】
・褥婦及び新生児の健康状態の観察項目と方法、新生児の清潔ケアの方法について学ぶ。
・DVDを視聴し、母性看護に必要な看護技術の方法について理解する。
・妊婦健診に関わる技術、沐浴についてのレポートを作成する。
【教科書ページ・参考文献】

		教科書② 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・妊婦、新生児、褥婦の観察項目と基準値について復習しておくこと。 ・次回の演習時に看護技術のレポートを提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１０回	母性看護に必要な看護技術：妊娠期・産褥期 【key words】 【授業概要】 。 【教科書ページ・参考文献】 教科書② 【課題・予習・復習・授業準備指示】 準備：ユニフォームを着用し、髪を束ね、爪を切っておくこと。　第9回、第10回の講義内容を復習しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１１回	母性看護に必要な看護技術：妊娠期・産褥期 【key words】 妊婦健康診査、褥婦、看護技術 【授業概要】 妊婦健康診査における計測と観察、産褥期の子宮復古や乳房の観察について演習を行う 【教科書ページ・参考文献】 教科書② 【課題・予習・復習・授業準備指示】 準備：ユニフォームを着用し、髪を束ね、爪を切っておくこと。　第9回、第10回の講義内容を復習しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１２回	母性看護に必要な看護技術：新生児期 【key words】 妊婦健康診査、新生児、褥婦、看護技術 【授業概要】 新生児のバイタルサイン測定と全身の観察、沐浴について演習を行う。 【教科書ページ・参考文献】 教科書② 【課題・予習・復習・授業準備指示】 準備：ユニフォームを着用し、髪を束ね、爪を切っておく。 演習の復習をしておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 9 3 0分
	第１３回	母性看護における保健指導：産褥期の特徴を踏まえた保健指導 【key words】 産褥期、保健指導、グループワーク、パンフレット 【授業概要】 ・母性看護における保健指導の意義・目的・方法について理解する。 ・グループに分かれて保健指導のテーマについて検討する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書② 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回の授業までにグループ毎にパンフレット作成のための参考文献や資料を準備しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1
	第１４回	母性看護における保健指導：保健指導パンフレットの作成（グループワーク） 【key words】 各テーマに応じた保健指導のパンフレット作成のためにグループワークを行う。 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 次回の授業までに保健指導のパンフレットを作成し、発表できるようにしておくこと。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 時間内に発表でき、分かりやすい指導が行えるように練習しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１５回	母性看護における保健指導：グループ発表とまとめ 【key words】 保健指導、発表 【授業概要】 グループ毎にパンフレットをＯＨＰで写し、保健指導を発表（実演）する。教員からの講評を行う。 【教科書ページ・参考文献】 発表資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】

	時間内に発表でき、分かりやすい指導が行えるように練習しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
受講生に関わる情報および受講のルール	技術演習の時はユニホームの着用、髪を束ねる、爪を切るなどの準備を行う。準備が出来ていないものは受講できない。また、A，Bクラスを分け演習を行うため、計画表を見て忘れ物をしないように注意する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式、その他（周産期各期のアセスメントや看護の過程の展開は、課題毎に内容を確認し、質問等にも応じていく）
授業外時間にかかわる情報	援助論Ⅱは、実習に出る為に大切な授業となる。講義形式の授業ではないので、自ら進んで学習に取り組む事が必要になる為、疑問点は教員に質問し、学習を進める。レポート提出が多くあるため、空き時間を上手に活用し、期限を守って提出を行うこと。
オフィスアワー	授業終了後から当日の18：00。または木曜日の17：30～18：00。
評価方法	妊娠期・分娩期のアセスメント、産褥期の看護過程のレポート　40%、褥婦への保健指導パンフレットの作成と発表　30%、演習への取り組み、母性看護技術演習のレポート、実技チェック30%、 総合評価はレポート、パンフレットの作成と発表、技術チェックを合わせて評価する。
教科書	①森恵美他：系統看護学講座　専門分野Ⅱ　母性看護学各論　母性看護学２　医学書院　最新版 ②荒木奈緒他：ナーシング・グラフィカ母性看護学③　母性看護技術　第5版第1刷　メディカ出版
参考書	①大田操：ウエルネス看護診断に基づく母性看護過程 ②平澤美恵子他：母性看護技術　アドバンス　初版2刷　インターメディカ
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 助産師として総合病院や産婦人科医院に勤務した経験をもとに母性看護について講じます。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 母性看護学実習　　授業コード： 10095

英文科目名称： Practices of maternal nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	３年次	2単位(90)	必修
担当教員			
小野　智佐子、上田　恵、星野　奏栄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	［実習の目的］ 妊娠・分娩・産褥各期にある女性と新生児及びその家族の特徴を理解し、ウェルネスの観点から妊娠および出産に関わる健康の維持増進や健康上の課題を解決するための基礎的実践力と看護職としての態度・姿勢を養う。 ［到達目標］ 1）妊婦、産婦、褥婦および新生児の生理的な経過と特徴を踏まえ、母子および家族を総合的に理解できる。 2）妊娠・分娩・産褥・新生児期にある対象に対して、ウェルネスの観点から看護を展開できる。 ①妊娠・分娩・産褥・新生児期にある対象をウェルネスの観点からアセスメントし、看護上の課題を明確にできる。 ②看護上の課題を解決するための看護計画を立案できる。 ③看護計画を実施し、評価できる。 3）対象を支える家族への支援の必要性を理解できる。 4）周産期にある母子をとりまく環境や社会資源の活用方法を知り、母子の継続看護の必要性について考えることができる。 5）母性看護の対象を通して、倫理的観点に基づいた状況判断や実践、および倫理的責任課題について理解できる。 6）母性看護学実習を通して、自己の親性観（母性・父性観）を深めることができる。 7）母性看護の役割や看護の本質を考察し、自己の課題を明確にできる。
授業の概要	母性看護学実習を医療機関等において2週間実施する。既修の知識・技術を臨床の現場で、臨床実習指導者および実習担当教員のもとで実施する。周産期にある母子の心身の特徴を理解し、対象に必要な看護援助を実践する。その際は受け持ち母子の身体的・心理的・社会的状況についての情報収集とアセスメント、ウエルネスの看護診断、看護計画の立案といった看護過程の展開を行う。さらに、実習を通して母性看護の役割や本質を考察し、自己の課題を明らかにする。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回 母性看護学実習を医療機関等において2週間実施する。既修の知識・技術を臨床の現場で、臨床実習指導者および実習担当教員のもとで実施する。周産期にある母子の心身の特徴を理解し、対象に必要な看護援助を実践する。その際は受け持ち母子の身体的・心理的・社会的状況についての情報収集とアセスメント、ウエルネスの看護診断、看護計画の立案といった看護過程の展開を行う。さらに、実習を通して母性看護の役割や本質を考察し、自己の課題を明らかにする。
受講生に関わる情報および受講のルール	1. 実習要項を熟読し実習に臨む。 2. 欠席しないよう体調管理をして実習に臨む。 3. 既修学習内容を復習して実習に臨む。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	臨地実習中および学内実習日に実習指導教員が質問に応じ、学習状況などを確認する。
授業外時間にかかわる情報	自己の心身のコントロールをし、感染症予防行動を厳守する。 事前に実習場所の交通・所要時間を確認しておく。
オフィスアワー	実習終了後30分および学内日の13：00～17：30
評価方法	1. 実習時間の5分の4以上の出席が評価の前提である。 2. 実習目標の到達度として保健指導課題の実施、受け持ちの看護展開記録、事前学習および提出を

	求められたレポートの期日内提出などにより評価を行う。 3．実習要項参照。
教科書	①森恵美他：系統看護学講座　専門分野Ⅱ　母性看護学各論　母性看護学２　医学書院　最新版
参考書	①大田操：ウエルネス看護診断に基づく母性看護過程　医歯薬出版 ②立岡弓子他：写真とＣＤでわかる　周産期ケア・マニュアル　改訂版　医学芸術社
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 周産期センター母性病棟において、主任助産師として勤務した15年間の経験を活かし、学修効果の高い実習指導を行っていく。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 小児看護学概論　　授業コード： 20276

英文科目名称： Introduction to nursing for infants

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年次	1単位(30)	必修
担当教員			
上松　恵子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 　小児看護学概論は、小児看護学の学習基盤（導入）として、小児看護を実践する上で必要な基礎的知識や考え方を学び、小児観を育むことを目的とする。 〔到達目標〕 ①小児看護における対象理解に必要な基礎的知識を得る。 ②子どもと家族と社会の繋がりを理解し、子どもの成長発達や健康をサポートする看護の役割について理解できる。
授業の概要	現代の子どもと家族の概況をとらえ、小児の健康と小児各期の成長発達の特徴及び小児とその家族に対する支援・看護の役割機能について教授する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画

第１回　科目オリエンテーション、小児看護の特徴と理念、子ども観の変遷、小児看護の歴史

【key words】
小児看護の対象、小児看護の目標と役割、子ども観、小児看護の歴史、
【授業概要】
・シラバスに基づき、授業の進め方とその内容、評価の方法について説明をする。
・当該科目の目標と看護学部DPとの関連について説明をする。
・小児看護の特徴と理念及び小児看護の歴史的変遷について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
①医学書院　第１章

【課題・予習・復習・授業準備指示】
小児に関連する人体構造機能学を復習し、小児の成長発達と関連させて自己学習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第２回　小児保健統計と関係法規

【key words】
出生率、乳児死亡率、保健統計、関係法規
【授業概要】
・小児保健統計と関係法規について学ぶ。
・小児保健統計から小児保健に関する動向を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
①医学書院　第１章
参考文献：国民衛生の動向
【課題・予習・復習・授業準備指示】
小児の保健統計について自己学習し、わが国の小児保健の現状をまとめる。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第３回　子どもの権利と倫理

【key words】
子どもの権利、児童憲章、児童福祉法、倫理、虐待
【授業概要】
・子どもの権利と倫理、子どもの権利に関する条約や虐待防止法等について学ぶ。

・子どもの権利と倫理について、看護専門職者としての視点から考える。
【教科書ページ・参考文献】
①医学書院　第１章

【課題・予習・復習・授業準備指示】
わが国における子ども虐待の状況を調べ、自己学習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第４回　子どもの安全と事故防止
【key words】
安全、事故防止、チャイルドビジョン（幼児視界体験）
【授業概要】
・小児各期に起こりやすい事故について、成長発達の視点で考え、子どもの安全（事故防止）について学ぶ。
・チャイルドビジョン（幼児視界体験）を活用し、子どもの視点で安全について体験学習する。
【教科書ページ・参考文献】
①医学書院
【課題・予習・復習・授業準備指示】
小児の医療事故について、インターネットや新聞等で調べる。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第５回　子どもと家族を取り巻く社会と健康管理
【key words】
児童福祉、母子保健、小児慢性特定疾患治療研究事業、予防接種、学校保健、特別支援教育
【授業概要】
・子どもと家族を取り巻く社会について学ぶ。
・児童福祉、母子保健、予防接種、学校保健、特別支援教育等に関する法規と医療費支援及び看護支援につ　いて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
①医学書院

【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読んで講義に臨む。興味のある部分について自己学習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第６回　成長発達に役立つ基礎的理論
【key words】
小児期、成長発達、発達理論、発達課題

【授業概要】
・小児期における成長発達に関する代表的な理論（ピアジェ理論、エリクソン理論、ハビィーガースト理論、ボウルビィー愛着形成理論）について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
①医学書院
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読んで講義に臨む。興味のある部分について自己学習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第７回　小児各期の成長発達に役立つ基礎的知識：新生児期と乳児期
【key words】
成長・発達の特徴、新生児期、乳児期
【授業概要】
・小児看護学における発達論及び成長・発達の特徴について学ぶ。
・小児期の発達区分や成長発達の一般原則、成長発達に影響する因子を学ぶ。
・子どもが育つ過程の個人差を理解し、総合的にとらえる視点を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
①医学書院

【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読んで講義に臨む。興味のある部分について自己学習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第８回　幼児期の成長発達
【key words】
幼児期の特徴、成長発達
【授業概要】
・幼児期における成長発達の特徴（形態的、身体生理、知的・運動機能、情緒・社会的機能）とそのプロセスについて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
①医学書院

【課題・予習・復習・授業準備指示】
興味のある部分について自己学習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第９回　小児各期の成長発達に役立つ基礎的知識：学童期の成長発達・成長発達の評価
【key words】
学童期の特徴、成長発達　、

【授業概要】
・学童期における成長発達の特徴（形態的、身体生理、感覚機能、運動伊機能、知的機能、コ

		ミュニケーション機能、情緒・社会的機能）とそのプロセスについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ①医学書院 【課題・予習・復習・授業準備指示】 興味のある部分について自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１０回	思春期の成長発達 【key words】 思春期の特徴、成長発達 【授業概要】 ・思春期における成長発達の特徴（形態的、身体生理、知的・情緒的・社会的機能）とそのプロセスについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ①医学書院 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで講義に臨む。興味のある部分について自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１１回	子どもの虐待 【key words】 虐待 【授業概要】 ・子どもの虐待に関する健康問題と社会的背景の特徴、対策、看護について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ①医学書院 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで講義に臨む。興味のある部分について自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１２回	乳幼児の健康問題と社会的背景 【key words】 乳幼児の健康問題、不適応行動 、予防接種 【授業概要】 ・乳幼児の健康問題と社会的背景について学ぶ。 ・乳幼児に起こりやすい健康問題を取り挙げ、解決するための看護支援について考える。 【教科書ページ・参考文献】 ①医学書院 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで講義に臨む。興味のある部分について自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１３回	学童・思春期の健康問題と社会的背景 【key words】 健康問題（心の問題、肥満、やせ、飲酒、喫煙、性に関する健康問題）、薬物乱用、健康教育 【授業概要】 ・学童・思春期の健康問題と社会的背景について学ぶ。 ・学童・思春期の健康問題を取り挙げ、解決するための健康教育について考える。 【教科書ページ・参考文献】 ①医学書院 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで講義に臨む。興味のある部分について自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１４回	保健医療チームにおける小児看護活動と他種職との連携(小児在宅看護、災害看護含む) 【key words】 保健医療チーム、小児在宅看護、災害看護、他種職との連携、小児専門看護師 【授業概要】 ・わが国における保健医療チームにおける小児看護活動と他種職との連携について学ぶ。 ・小児在宅看護の現状と支援、小児看護の役割について考察する。 ・災害を受けた子どもと家族に対する支援ついて考える。 【教科書ページ・参考文献】 ①医学書院 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト②ARコンテンツ「小児看護専門看護師とは」の動画を視聴する。 興味のある部分について自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１５回	トピックス：子ども対する医療と看護 【key words】 子ども、小児看護 【授業概要】 自己の子ども観および小児看護観について考察する。

	【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 概論で学んだ内容から、小児看護に関する自分の考え（子ども観および小児看護観）をまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
受講生に関わる情報および受講のルール	・小児看護学概論（必修）は、小児看護学学習のための基盤となる科目であり、看護師国家試験出題基準に含まれる。 ・配布資料及びグループ・自己学習を含むに関する資料等はポートフォリオとして整理し、小児看護学の講義・演習・実習に活用できるようにする。 ・シラバスを確認し、予習復習（テキストARコンテンツ動画視聴含む）をして授業に臨むようにしてください。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカードで確認
授業外時間にかかわる情報	・周辺で見かける子どもたちや親子の様子を観察し、その行動の特徴やコミュニケーションの状況などを分析してみてください。
オフィスアワー	在室時
評価方法	課題レポート20%、定期試験80%により、総合的に評価する。
教科書	①奈良間美保他著　系統看護学講座　専門Ⅱ　小児看護学〔1〕　小児看護学概論・小児臨床看護総論　医学書院 ②中野綾美他著
参考書	国民衛生の動向
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 看護師として小児看護の臨床経験があり、小児看護学領域の教育・研究を行っている教員が担当する。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 小児看護援助論Ⅰ　　授業コード： 10097

英文科目名称： Theories of nursing assistance for infants 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年次	1単位(30)	必修
担当教員			
上松恵子　木戸美佐子　　原田和美			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 小児各期の成長発達並びに自立に向けた日常生活支援、子どもの安全、フィジカルアセスメント等、小児看護を実践する上で必要な基礎的知識を学び、アセスメントに基づく小児看護の実践ができる能力を養うことを目的とする。 〔到達目標〕 ①健康な乳幼児・学童・思春期の日常生活習慣の自立過程と援助方法を理解できる。 ②小児各期の健康問題と、それに対する保健指導・健康教育を理解できる。 ③小児のフィジカルアセスメントの基礎的知識を理解し、観察技法を身につける。 ④小児各期の不慮の事故と安全教育について理解できる。
授業の概要	健康な小児の成長発達を促すための援助方法、さらに、正常な成長発達を阻害する要因とその予防についての保健指導を学ぶ。また、フィジカルアセスメント等のモデルを使用した演習を取り入れて教授する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	○
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	ガイダンス 【key words】 子どもと家族 【授業概要】 科目オリエンテーション　目的・進め方 【教科書ページ・参考文献】 医学書院① 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。 配布資料を活用し、授業内容を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分
	第２回	小児期にある健康な子どもと健康障害を持つ子どもの日常生活習慣の発達過程と支援【１】：環境 【key words】 生活環境、病院の環境、遊び、学習環境、睡眠・休息環境、感染予防、事故防止 【授業概要】 小児期にある健康な子どもと健康障害を持つ子どもの日常生活習慣の発達過程と支援【１】：環境 【教科書ページ・参考文献】 医学書院① 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。 配布資料を活用し、授業内容を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分
	第３回	小児期にある健康な子どもと健康障害を持つ子どもの日常生活習慣の発達過程と支援【１】：食

		事と栄養 【key words】 母乳栄養、人工栄養、自律授乳、離乳食、経管栄養 【授業概要】 小児期にある健康な子どもと健康障害を持つ子どもの日常生活習慣の発達過程と支援【１】：食事と栄養 【教科書ページ・参考文献】 医学書院① 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。 配布資料を活用し、授業内容を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分
	第４回	小児期にある健康な子どもと健康障害を持つ子どもの日常生活習慣の発達過程と支援【３】：排泄 【key words】 自立過程、トイレット・トレーニング、ストーマケア 【授業概要】 小児期にある健康な子どもと健康障害を持つ子どもの日常生活習慣の発達過程と支援【３】：排泄 【教科書ページ・参考文献】 医学書院①P 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。 配布資料を活用し、授業内容を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分
	第５回	小児期にある健康な子どもと健康障害を持つ子どもの日常生活習慣の発達過程と支援【４】：清潔と衣生活 【key words】 沐浴、口腔ケア、自立過程 【授業概要】 小児期にある健康な子どもと健康障害を持つ子どもの日常生活習慣の発達過程と支援【４】：清潔と衣生活 【教科書ページ・参考文献】 医学書院①P 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。 配布資料を活用し、授業内容を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分
	第６回	小児期にある健康な子どもと健康障害を持つ子どもの日常生活習慣の発達過程と支援【５】：睡眠と休息 【key words】 レム睡眠・ノンレム睡眠、乳幼児突然死症候群、乳幼児揺さぶられ症候群 【授業概要】 小児期にある健康な子どもと健康障害を持つ子どもの日常生活習慣の発達過程と支援【５】：睡眠と休息 【教科書ページ・参考文献】 医学書院①P 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。 配布資料を活用し、授業内容を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分
	第７回	小児期にある健康な子どもと健康障害を持つ子どもの日常生活習慣の発達過程と支援【５】：遊びと活動① 【key words】 プレパレーション 【授業概要】 子どもの権利、インフォームドコンセントとインフォームドアセント、プレパレーションの意義と方法 【教科書ページ・参考文献】 医学書院①P204 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。 配布資料を活用し、授業内容を整理する。

【予習復習に必要な想定時間】
60-120分

第８回　小児期にある健康な子どもと健康障害を持つ子どもの日常生活習慣の発達過程と支援【５】：遊びと活動②
【key words】
遊び

【授業概要】
遊びに関する基礎的知識、プレパレーションへの活用

【教科書ページ・参考文献】
医学書院p24

【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。
配布資料を活用し、授業内容を整理する。

【予習復習に必要な想定時間】
60-120分

第９回　プレパレーション
【key words】
プレパレーション、ディストラクション、処置後の遊び

【授業概要】
【演習】発達段階を踏まえ、遊びを取り入れたプレパレ-ションの計画立案

【教科書ページ・参考文献】
医学書院①P
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。
配布資料を活用し、授業内容を整理する。
【予習復習に必要な想定時間】
60-120分

第１０回　子どものフィジカルアセスメント：身体的アセスメント
【key words】
問診、視診、触診、打診、聴診
【授業概要】
子どものフィジカルアセスメント：身体的アセスメント

【教科書ページ・参考文献】
医学書院①p299-339
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。
配布資料を活用し、授業内容を整理する。
【予習復習に必要な想定時間】
60-120分

第１１回　子どものアセスメントに必要な技術：コミュニケーション　、バイタルサイン、身体計測
【key words】
コミュニケーション、観察
【授業概要】
子どものアセスメントに必要な技術：コミュニケーション　、バイタルサイン、身体計測

【教科書ページ・参考文献】
医学書院①　　根拠と事故防止からみた小児看護技術

【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。
配布資料を活用し、授業内容を整理する。
【予習復習に必要な想定時間】
60-120分

第１２回　子どもの示す主な症状とその看護【１】　痛み、発熱、脱水、けいれん、出血
【key words】
痛み、発熱、脱水、けいれん、出血
【授業概要】
子どもの示す主な症状とその看護【１】　痛み、発熱、脱水、けいれん、出血
【教科書ページ・参考文献】
医学書院①
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。
配布資料を活用し、授業内容を整理する。
【予習復習に必要な想定時間】
60-120分

第１３回　子どもの示す主な症状とその看護【２】　呼吸困難、嘔吐、下痢、浮腫
【key words】
呼吸困難、嘔吐、下痢、浮腫
【授業概要】
子どもの示す主な症状とその看護【２】　呼吸困難、嘔吐、下痢、浮腫

	【教科書ページ・参考文献】 医学書院① 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。 配布資料を活用し、授業内容を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分 第１４回　子どものアセスメント　・バイタルサイン測定、身体計測 【key words】 フィジカルアセスメント、バイタルサイン、身体計測 【授業概要】 〔演習〕子どものアセスメント　・バイタルサイン測定、身体計測 【教科書ページ・参考文献】 医学書院①　根拠と事故防止からみた小児看護技術 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。 配布資料を活用し、授業内容を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分 第１５回　子どものアセスメント　・バイタルサイン測定、身体計測 【key words】 アセスメント　・バイタルサイン測定、身体計測 【授業概要】 〔演習〕子どものアセスメント　・バイタルサイン測定、身体計測 【教科書ページ・参考文献】 医学書院①　　根拠と事故防止からみた小児看護技術 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。 配布資料を活用し、授業内容を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分
受講生に関わる情報および受講のルール	・配布資料及びグループ・自己学習を含むに関する資料等はポートフォリオとして整理し、小児看護学の講義・演習・ 実習に活用できるようにする。 ・実習室で演習する際は、ユニホームを必ず着用すること。事前学習をし授業に臨んむようにしてください。 ・演習を欠席した場合、再演習を申し出ること。未演習のまま単位を修得することはできない。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	口頭
授業外時間にかかわる情報	・人体構造機能学、小児看護学概論の学習と関連させて復習・予習し履修すること。
オフィスアワー	月～水・金の２限
評価方法	・課題レポート30%、定期試験70%により総合的に評価する。
教科書	①奈良間美保他：系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学[1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論，医学書院. ②山本恵子監修「写真でわかる小児看護技術」インターメディカ
参考書	随時紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 小児看護における臨床経験を有する教員であり、小児看護学領域の教育・研究を行っている。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用

	■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 小児看護援助論Ⅱ　　授業コード：10098

英文科目名称： Theories of nursing assistance for infants 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年次	1単位(30)	必修
担当教員			
上松恵子　木戸美佐子　　原田和美			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 　健康障害を抱える子どもの発達段階、健康状態（疾患、疾患・治療に起因する症状、病期、治療・検査・処置など）に応じた看護を実践する上で必要な基本的知識・技術を学ぶ。 〔到達目標〕 ①小児期に生じやすい健康障害の経過、症状、治療及び健康問題が子どもと家族に及ぼす影響を統合的に理解できる。 ②健康障害を抱える子どもと家族の特徴的な看護問題とその看護を理解できる。 ③子どもの発達段階、健康状態に応じた看護を実践する上で基本となる小児看護技術を身につける。
授業の概要	健康障害を抱える子どもの健康の回復・維持・増進、健全な成長・発達を目指すことが小児看護の役割である。 本科目では、 視聴覚教材、看護教育用シミュレータを活用することによってイメージ化を図り、健康障害を抱える子どもと家族に特徴的な看護問題と看護援助方法について教授する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	○
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	科目オリエンテーション　/【健康障害をもつ子どもと家族の看護】 【key words】 病気・入院　子どもの理解　家族　ストレス 【授業概要】 発達段階別の子どもの、病気の理解や、病気や入院が家族に及ぼす影響を学習する。 【教科書ページ・参考文献】 医学書院 小児看護学1（概論・総論）p202-215 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。 配布資料を活用し、授業内容を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分
	第２回	【循環器疾患をもった子どもと家族の看護】 【key words】 ファロー四徴症　川崎病 【授業概要】 子どもの循環器の主な疾患、循環器疾患（ファロー四徴症・川崎病）を持った子どもと家族の看護 【教科書ページ・参考文献】 医学書院 小児看護学2（各論）　p190-ｐ222 【課題・予習・復習・授業準備指示】 循環器の解剖・生理、疾患論Ⅴ、テキスト該当範囲を事前に読み不明な用語等を調べて授業に臨む。 配布資料を活用し、授業内容を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分

	第３回	【免疫疾患をもった子どもと家族の看護】 【key words】 気管支喘息　アトピー性皮膚炎 【授業概要】 子どもの免疫・アレルギーの主な疾患、免疫・アレルギー疾患（アトピー性皮膚炎・気管支喘息）を持った子どもと家族の看護 【教科書ページ・参考文献】 医学書院　小児看護学2（各論）p106-p138 【課題・予習・復習・授業準備指示】 疾患論Ⅴ、皮膚・呼吸器の解剖・生理、テキスト該当範囲を事前に読み不明な用語等を調べて授業に臨む。 配布資料を活用し、授業内容を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分
	第４回	【先天性疾患をもった子どもと家族の看護】 【key words】 染色体異常　ダウン症候群 【授業概要】 先天異常の主な疾患、疾患（染色体異常・ダウン症候群）を持った子どもと家族の看護 【教科書ページ・参考文献】 医学書院　小児看護学2（各論）　p2-p15 【課題・予習・復習・授業準備指示】 疾患論Ⅴ、小児看護学概論新生児、テキスト該当範囲を事前に読み不明な用語等を調べて授業に臨む。 配布資料を活用し、授業内容を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分
	第５回	【腎・代謝性疾患をもった子どもと家族の看護】 【key words】 ネフローゼ症候群　糖尿病 【授業概要】 子どもの腎・泌尿器、代謝性の主な疾患、腎・泌尿器、代謝性疾患（ネフローゼ症候群・糖尿病）をもった子どもと家族の看護 【教科書ページ・参考文献】 医学書院 小児看護学2（各論） p 66-p85・ p 338-378 【課題・予習・復習・授業準備指示】 腎・泌尿器の解剖・生理、疾患論Ⅴ、テキスト該当範囲を事前に読み不明な用語等を調べて授業に臨む。 配布資料を活用し、授業内容を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分
	第６回	【悪性新生物・造血器疾患をもった子どもと家族の看護】 【key words】 小児がん・白血病 【授業概要】 子どもの悪性新生物・造血器の主な疾患、小児がん・白血病をもった子どもと家族の看護 【教科書ページ・参考文献】 医学書院 小児看護学2（各論） p 282-p300・ p 302-336 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。 配布資料を活用し、授業内容を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分
	第７回	【ハイリスクな新生児と家族の看護】 【key words】 低出生体重児、呼吸窮迫症候群、肺サーファクタント、カンガルーケア 【授業概要】 ハイリスク新生児の主な疾患、低出生体重児と家族へ看護 【教科書ページ・参考文献】 医学書院　小児看護学2（各論） p 29-p37 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。 配布資料を活用し、授業内容を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分
	第８回	【障害を抱える子どもと家族の看護】 【key words】 重症心身障害児（者） 【授業概要】 重症心身障害児（者）とは、障害を抱える子どもと家族への看護 【教科書ページ・参考文献】 医学書院　小児看護学1（概論・総論） p 479-p492・小児看護学2（各論） p 403-p407

【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。
配布資料を活用し、授業内容を整理する。
【予習復習に必要な想定時間】
60-120分

第９回　手術をうける子どもと家族の看護
【key words】
緊急手術、計画手術、子どもの意思決定、プレパレーション、術後急性期、術後回復期
【授業概要】
周手術期の子どもと家族の看護

【教科書ページ・参考文献】
医学書院 小児看護学1（概論・総論）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。
配布資料を活用し、授業内容を整理する。
【予習復習に必要な想定時間】
60-120分

第１０回　【看護過程】① 子どもの看護過程
【key words】
小児看護　看護過程

【授業概要】
事例紹介　進め方
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
看護過程の考え方の基本を復習しておく

【予習復習に必要な想定時間】
60-120分

第１１回　【看護過程】② アセスメント
【key words】
看護過程　アセスメント

【授業概要】

身体的側面、成長・発達の側面、社会的側面の３側面の統合

【教科書ページ・参考文献】
発達段階からみた小児看護過程
【課題・予習・復習・授業準備指示】

病態生理が理解できるよう事例に関する解剖・生理学を復習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60-120分

第１２回　【看護過程】③　関連図の作成：個人ワーク
【key words】

全体関連図
【授業概要】
個人ワークで関連図の作成
【教科書ページ・参考文献】
発達段階からみた小児看護過程

【課題・予習・復習・授業準備指示】
病態関連図から書き方を復習する
【予習復習に必要な想定時間】
60-120分

第１３回　【看護過程】④　関連図の作成：グループワーク
【key words】
全体関連図
【授業概要】

個人ワークで作成した関連図に基づきグループワークを行い作成する。

【教科書ページ・参考文献】
医学書院
【課題・予習・復習・授業準備指示】

病態関連図から、成長・発達（精神的）の側面・社会的側面まで図式化し生理しておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60-120分

第１４回　【看護過程】⑤　関連図の発表
【key words】
全体関連図　看護上の問題点　優先順位
【授業概要】

グループワークで話し合った内容で発表し、看護上の問題点、優先順位についても意見交換をする。
【教科書ページ・参考文献】

	医学書院 【課題・予習・復習・授業準備指示】 配布資料 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分 第１５回　【看護過程】⑥　看護計画立案 【key words】 看護計画　看護目標　評価日 【授業概要】 看護目標を設定し、看護計画を立案する。 【教科書ページ・参考文献】 発達段階からみた小児看護過程 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト該当範囲を事前に読み、不明な用語等を調べて授業に臨む。 配布資料を活用し、授業内容を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ・上記「履修要件」に記載した科目において学習した知識・技術を十分復習するとともに、予習を必ず行うこと。 ・演習時には白衣を着用し、身だしなみを整え授業に臨むこと。 〔受講のルール〕 ・小児看護学概論、小児看護援助論Ⅰで学習したことを復習・関連させながら学習をすすめる。 ・授業中に提示された課題は必ず提出すること。また、提出期限は厳守すること。 ・実習室で演習を行う際は、ユニホームを必ず着用すること。 ・演習を欠席した場合、再演習を申しでること。未演習のまま単位を修得することはできない。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	口頭・必要時、コメントカード
授業外時間にかかわる情報	・授業計画にある学習内容について、教科書を精読し予習した上で授業に臨むとともに、わからない部分を授業にて解決 するよう努めること。 ・授業の進行過程において、各自ポートフォリオを作成すること。 ・授業中に提示された課題には必ず取り組むこと。
オフィスアワー	火曜日２限
評価方法	筆記試験70%、技術演習および課題レポート30%で総合評価する。
教科書	①奈良間美保他：系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学[1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論，医学書院.　②奈良間美保他：系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学[2] 小児臨床看護各論，医学書院　③山元恵子編集：写真でわかる小児看護技術アドバンス，インターメディカ
参考書	根拠と事故防止からみた小児看護技術、随時、紹介。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 小児看護の臨床経験があり、小児看護学領域の教育・研究を行っている教員が担当する。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 小児看護援助論Ⅲ　　授業コード：10099

英文科目名称： Theories of nursing assistance for infants 3

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年次	1単位(15)	必修
担当教員			
木戸美佐子　　原田和美			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 健康障害を抱える子どもの発達段階、健康状態（疾患、疾患・治療に起因する症状、病期、治療・検査・処置など）、個別性に応じた看護過程を展開する方法を学ぶ。 〔到達目標〕 ①健康障害を抱える子どもの特徴をふまえ、看護過程の基本的考え方を理解できる。 ②健康障害を抱える子どもの健康問題とその支援の必要性をアセスメントできる。 ③健康障害を抱える子どもの個別的な看護計画を立案できる。
授業の概要	健康障害を抱える子どもの健康の回復・維持・増進、健全な成長・発達を目指すことが小児看護の役割である。そのためには、子どもの発達段階、健康状態、個別性に応じた看護を展開することが必要不可欠である。本科目では、様々な発達段階にある、疾患を抱える子どもと家族のモデル事例への看護過程の展開を試行することを通じ、子どもの特徴をふまえた看護過程の実際（情報収集、アセスメント、関連図の作成、看護問題と目標設定、具体策の立案、評価の設定）を教授する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	○
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	○
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	オリエンテーション、看護過程① 【key words】 看護過程 【授業概要】 科目オリエンテーション/講義スケジュール、予習・復習、授業評価などについて説明 【教科書ページ・参考文献】 授業資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習として不足している情報の整理をし、次回アセスメントが出来るようにテキストを精読する。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０～１２０分
	第２回	看護過程②アセスメント 【key words】 アセスメント 【授業概要】 事例の情報を整理し、個々でアセスメンの記入をする 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回に向けて情報の整理をしアセスメントを見直し追加・修正する 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第３回	看護過程③アセスメント 【key words】 【授業概要】

	事例の情報を整理し、個々でアセスメント・関連図の記入をする 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 GWに向けて情報の整理をしアセスメント・関連図を見直し追加・修正する 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分 第４回　看護過程④関連図 【key words】 看護過程、、関連図 【授業概要】 個々で関連図を作成 発表内容、発表者を決定する 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 グループの発表を聞いて自分の関連図と比較し修正・加筆する。次回、発表に向けて関連図を仕上げる 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分 第５回　看護過程⑤関連図 【key words】 【授業概要】 ＧＷで個々の意見を述べながら、関連図を仕上げる 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 他のグループの発表を聞いて自分の関連図と比較し修正・加筆する 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分 第６回　看護過程⑥関連図発表 【key words】 【授業概要】 ＧＷで行った関連図の発表 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分 第７回　看護過程⑦看護問題、看護目標、看護計画 【key words】 【授業概要】 個人ワークによる看護問題の明確化、看護目標の設定、看護計画の立案 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分 第８回　看護過程⑧看護計画、評価日の設定 【key words】 看護過程　看護計画 【授業概要】 個人ワークで看護計画の立案、評価日の設定 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ・小児看護学の既習科目において学習した知識・技術を活用して、モデル事例の看護過程の展開を行う。 〔受講のルール〕 ・小児看護学実習につながる重要な科目であるため、積極的に授業に臨むこと。 ・ポートフォリオを持参し、活用しながら課題に取り組むこと。 ・授業中に提示された看護過程の課題の提出期限は厳守すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	口頭で確認
授業外時間にかかわる情報	・授業計画にある学習内容について、教科書を精読し予習した上で授業に臨むこと。 ・授業中に提示された看護過程の課題には必ず取り組むこと。 ・わからない部分を授業にて解決するよう努力すること。

オフィスアワー	授業終了後～1時間
評価方法	課題レポート（モデル事例の看護過程展開の提出）90%、グループワーク参加度および発表10%により総合的に評価する。
教科書	系統看護学講座 専門Ⅱ　小児臨床看護各論 医学書院,2022
参考書	・山口桂子他編：エビデンスに基づく小児看護ケア関連図、中央法規，2017 ・茎津智子編：発達段階を考えたアセスメントに基づく看護過程，医歯薬出版，2012
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 小児看護の臨床経験を有し、小児看護学領域の教育・研究を行っている教員が担当する。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 小児看護学実習　　授業コード： 10100

英文科目名称： Practices of nursing for infants

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	３年次	2単位(90)	必修
担当教員			
坂田徳生　木戸　美佐子　原田和美			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	様々な健康状態、発達段階にある子どもとその家族を統合的に理解し、健康の回復および維持・増進を目指した個別性を考慮した看護を実践するための基礎的能力を養うとともに、小児看護の役割・機能を学ぶ。 到達目標は小児看護学実習要項参照
授業の概要	小児看護学実習要項を参照

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	○
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	◎
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回 実習要項参照
受講生に関わる情報および受講のルール	１．実習オリエンテーションは必ず受講すること。 ２．事前学習課題をしっかり学習し、実習に臨むこと。 ３．看護学生としての身だしなみ、言動、行動等、マナーに心がけること。 ＊小児看護学実習要項を参照
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	１．質問等は朝の打ち合わせ（行動計画発表）及び各学生指導時、カンファレンス終了後の時間を活用する。 ２．事前学習課題は、実習初日及び適宜、学習状況（理解）を確認する。
授業外時間にかかわる情報	１．１日のまとめと明日の行動計画立案（学習内容）及び看護過程を学習して実習に臨む。
オフィスアワー	実習担当教員が対応する。
評価方法	小児看護学実習の一般目標及び目標を評価基準として、各施設実習（病棟実習、幼稚園実習、障がい児看護実習）、学内実習、カンファレンスにおける参加態度、記録物および

	小児看護学実習の一般目標および行動目標を評価基準として、各施設（病棟実習、幼稚園実習、障がい児看護実習）、学内演習、カンファレンスにおける参加態度、記録物およびレポートの記載内容により、単位認定教員が評価、判定する。
教科書	医学書院：小児看護学概論・小児臨床看護総論、小児臨床看護各論 ナーシンググラフィカ：小児看護技術
参考書	各自、参考書を持参する。 適時紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 小児看護の臨床経験を有し、小児看護学領域の教育・研究を行っている教員が担当する。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用

	□ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 成人看護援助論 Ⅰ　　授業コード：10102

英文科目名称： Theories of nursing assistance for adults 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年次	1単位(30)	必修
担当教員			
大山真貴子，川田智美、佐藤充子，中山洋子，佐竹明美ほか			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 成人期にある人で慢性疾患を有し，その慢性期及び回復期にある人の健康障害と看護実践における基本的な医学及び基本的な知識を学修する。 〔到達目標〕 ①慢性疾病患者を対象として，疾病コントロールに必要なセルフケアの原則とその方法を説明できる。 ②日常生活の再獲得に必要な知識や技術の原理原則と看護援助の方法を説明できる。 ③慢性疾患の慢性期および回復期にある人とその家族の置かれた状況を理解し，説明できる。
授業の概要	慢性疾患とともに生きる人への看護について，健康障害が生活にもたらす影響を理解し，セルフケアやエンパワメントを促す看護について学修する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	○
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画

第１回　科目オリエンテーション　慢性期にある対象の理解

【key words】
成人期　慢性期　対象
【授業概要】
科目オリエンテーション
・今後の授業の進め方とおおよその内容、評価の方法について説明をする。
・当該科目の目標と看護学部DPとの関連について説明をする。
慢性疾患の特徴・慢性期にある患者の特徴について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料、
成人看護学　慢性期看護　南光堂
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読んで講義に臨む。
成人看護概論で学習した慢性期にある対象への看護、慢性疾患、自己効力感などのワードを復習して授業に臨む。
【予習復習に必要な想定時間】
30分～60分

第２回　呼吸機能に障害のある対象への看護　慢性疾患看護　1

【key words】
ＣＯＰＤ　病態生理　症状　検査　治療
【授業概要】
慢性的な経過として特徴的な疾患である呼吸器に障害のある患者について取り上げ、呼吸器に生じる障害と疾患及び症状、検査・治療について学習する。また、患者の身体的・心理的・社会的特徴と日常生活に及ぼす影響等について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料、授業シラバス
成人看護学　慢性期看護　南光堂
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読んで講義に臨む。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第３回　慢性疾患看護　２呼吸機能に障害のある対象への看護　慢性呼吸器疾患(COPD) の患者の看護

【key words】
ＣＯＰＤ　看護　セルフケア
【授業概要】

		第2回慢性呼吸器疾患（ＣＯＰＤ）の患者の理解での授業内容を踏まえ、慢性呼吸器疾患（ＣＯＰＤ）の患者に必要なセルフケアや日常生活援助の方法について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 成人看護学　慢性期看護　南光堂 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで講義に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第４回	慢性疾患看護 3　関節リウマチとともに生きる人への看護 【key words】 看護，関節リウマチ，自己免疫性疾患 【授業概要】 自己免疫性疾患の基礎知識 関節リウマチの病態生理、症状、検査、治療について 安静・食事・薬物療法の管理と日常生活における教育的支援と援助について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 成人看護学　慢性期看護　南光堂 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで講義に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
	第５回	慢性疾患看護　4　肝臓疾患のある人への看護 【key words】 肝硬変　看護　セルフケア 【授業概要】 肝機能の基礎知識肝硬変の病態生理、症状、検査、治療について 安静・食事・薬物療法の管理と日常生活における教育的支援と援助について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 成人看護学　慢性期看護　南光堂 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで講義に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
	第６回	慢性疾患看護　5　腎臓病とともに生きる人への看護　① 【key words】 腎不全　セルフケア 【授業概要】 慢性腎炎、腎不全の病態生理、症状、検査、治療について 治療の推進、生活の改善、セルフケアの援助について学習する 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 成人看護学　慢性期看護　南光堂 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで講義に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
	第７回	慢性疾患看護　6　腎臓病とともに生きる人への看護　② 【key words】 急性腎不全，慢性心不全　看護　セルフケア 【授業概要】 腎疾患の理解と生活制限について，病態生理と診断，治療，看護を，学ぶ 慢性腎炎、腎不全の病態生理、症状、検査、治療について 治療の推進、生活の改善、セルフケアの援助について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 成人看護学　慢性期看護　南光堂 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで講義に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第８回	慢性疾患看護　7　高血圧症の人への看護 【key words】 本態性高血圧，塩分，生活習慣 【授業概要】 血圧調整と腎機能について理解し，高血圧のメカニズムと生活障害について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 成人看護学　慢性期看護　南光堂 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで講義に臨む。 授業中に提示された課題について、テキストを読んでまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第９回	セミクリティカル　回復期　心疾患　1 【key words】 慢性心不全　不整脈疾患

【授業概要】
心不全に至る経過と心機能について，検査・診断，治療方法を学ぶ
成人看護学援助論Ⅲの事例紹介
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
成人看護学　慢性期看護　南光堂
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読んで講義に臨む。
授業中に提示された課題について、テキストを読んでまとめる。
演習後、事後レポートに取り組む。

【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１０回　セミクリティカル　回復期　心疾患　2
【key words】
心疾患，弁膜症
【授業概要】
心臓の構造，心臓弁膜症について学ぶ
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
成人看護学　慢性期看護　南光堂
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読んで講義に臨む。
授業中に提示された課題について、テキストを読んでまとめる。
演習後、事後レポートに取り組む。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１１回　慢性疾患看護　８　神経難病とともに生きる人への看護
【key words】
神経難病，　ALS，　意思決定
【授業概要】
神経難病の初期症状から診断までの長い道のりと診断後の心理的葛藤
障害された神経と筋肉の関係を学ぶ
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
成人看護学　慢性期看護　南光堂
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読んで講義に臨む。
授業中に提示された課題について、テキストを読んでまとめる。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１２回　慢性疾患看護　9　糖尿病とともに生きる人への看護
【key words】
糖尿病，セルフケア
【授業概要】
生活習慣病と糖尿病の関係を理解する。
肥満，脂質異常症と食生活の関係を理解する。

【教科書ページ・参考文献】
配布資料
成人看護学　慢性期看護　南光堂

【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読んで講義に臨む。
【予習復習に必要な想定時間】
９0分

第１３回　慢性疾患看護　10　糖尿病で合併症発症した人への看護
【key words】
糖尿病，合併症，看護
【授業概要】
糖尿病合併症に関する，病態と診断，治療，看護を学ぶ
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
成人看護学　慢性期看護　南光堂
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読んで講義に臨む。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１４回　慢性疾患看護　11 内分泌・自己免疫系に障害のある人への看護
【key words】
内分泌疾患　看護　セルフケア
【授業概要】
内分泌疾患（視床下部－下垂体疾患：ACTH産生腫瘍（クッシング病）・尿崩症／甲状腺疾患：慢性甲状腺炎・バセドウ病・甲状腺機能低下症・甲状腺腫瘍／副甲状腺疾患：原発性副甲状腺機能亢進症／副腎疾患：原発性アルドステロン症・原発性副腎皮質機能低下症・褐色細胞腫）の病態の特徴・症状及び検査・治療・看護のポイントについて学習する。
甲状腺疾患：バセドウ病の患者の看護を中心に安静・食事・薬物療法の管理と日常生活における教育的支援と援助について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
成人看護学　慢性期看護　南光堂
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読んで講義に臨む。

	【予習復習に必要な想定時間】 90分 第１５回　まとめのテストと解説 【key words】 慢性疾患看護 【授業概要】 これまでの14回分で修得した知識の確認テスト及びその解説を行う 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 成人看護学　慢性期看護　南光堂 【課題・予習・復習・授業準備指示】 これまでの配布資料及びテキストをまとめておくこと 【予習復習に必要な想定時間】 210分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ・この科目は成人看護学実習ⅠおよびⅡの履修要件となっている。 ・人体構造機能学、疾病治療論、成人看護学概論の学習の上に成り立つ科目であるためこれらの科目を習得していることが望ましい。 ・演習時には新たにオリエンテーションをするので確認して臨むこと。 〔受講のルール〕 ・事前に授業概要及びシラバスを必ず確認し、自己の達成目標を明確にした上で、積極的に授業に臨むこと。 ・授業時に課題を提示することがある。課題の未実施や実施した課題を授業時に持参しなかった場合には、演習などの授業に参加できないことがあるので十分注意すること。 ・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁。また、授業中にスライドを撮影することや授業内容の録音についても固く禁ずる。 ・オンライン授業の場合は、事前にWeb掲示板を必ず確認し、提示された授業資料の印刷および教科書、ネット環境の準備をして授業に臨むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード方式またはICT利用
授業外時間にかかわる情報	・授業概要に示されている予習・復習を行い授業に臨むこと。また、授業内で提示された課題には計画的に取り組み、提出期限を守って提出すること。 ・教科書及び授業に必要な資料等は事前に確認し、授業時に持参すること。
オフィスアワー	各回、原則授業終了後から放課後18時までとする。但し、ｵﾑﾆﾊﾞｽ形式の授業であるため、学内教員のオフィスアワーについては、研究室に提示されている時間に準ずる。
評価方法	筆記試験（客観・論述）80%、技術演習、課題レポート等20% 総合評価は筆記試験、技術演習、課題レポート等を合わせて60を超えていることが前提となる。 ＊課題レポートの未提出及び提出期限の遅れは減点の対象とする。その他、技術演習、課題レポートの評価基準の詳細は、課題提示時に別途説明する。
教科書	成人看護学　慢性期看護　南光堂 成人看護学　リハビリテーション看護　南光堂 成人看護学　成人看護技術　南光堂 看護データブック 看護診断ハンドブック第12版
参考書	講義の中で適宜提示する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院又は総合病院で、看護師として慢性疾患患者の看護に従事した経験を有する教員が授業を担当する。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 成人看護援助論Ⅱ　　授業コード： 10103

英文科目名称： Theories of nursing assistance for adults 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年次	1単位(30)	必修
担当教員			
大山真貴子，中山洋子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 　成人の急性期（周術期あるいはクリティカルな状態）にある対象を理解し、健康特性にあわせた看護実践能力を身につける。 〔到達目標〕 ①　手術を受け身体の一部を喪失した患者の看護を実践できる能力を身に付ける。 ②　生体侵襲を受ける患者に必要な基本的援助技術を習得する。 ③　クリティカルな状態にある患者に必要な基本的援助技術を習得する。 ④　検査に必要な成人援助技術について習得する。
授業の概要	成人看護に必要な援助技術の理論と実際を学習する。 基礎看護技術論をベースに対象特性、疾病特性を加味した援助技術を学習する。 手術を受ける患者と家族への看護方法、救急時のケアなどについて、対象特性や疾病特性および援助の根拠とともに学習し、演習を通し看護実践能力の向上を目指す。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画	第１回	科目オリエンテーション　急性期・周手術期看護の概要 【key words】 周手術期 【授業概要】 周術期看護についての基礎知識、手術侵襲と生体の反応を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 成人看護学　急性期Ⅰ　概論・周手術期看護 看護データブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで講義に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
	第２回	周手術期看護　1　周手術期の考え方，ペイシェントセイフティ　手術療法（手術新修と麻酔） 【key words】 全身麻酔と手術療法 周手術期 【授業概要】 手術室の看護について、特に手術過程に応じた看護を学習する。 外科的侵襲からの回復過程を学ぶ。 生体侵襲と生体反応を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 成人看護学　急性期Ⅰ　概論・周手術期看護 看護データブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで講義に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
	第３回	周手術期看護　2　手術を受ける患者への看護　術後合併症 【key words】

		術前・術中・術後看護　術後合併症 【授業概要】 術前から術直までの看護を学ぶ 術後合併症を理解し，ケア方法を学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 成人看護学　急性期Ⅰ　概論・周手術期看護 看護データブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで授業に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
	第４回	周手術期看護　３　消化器疾患　①　胃がん手術を受ける患者への看護 【key words】 消化器疾患，胃がん，ダンピング症候群 【授業概要】 胃がん手術を受ける患者への術前からの看護介入を学ぶ 術直後の観察と回復過程を学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 成人看護学　急性期Ⅰ　概論・周手術期看護 看護データブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで講義に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
	第５回	周手術期間後　４　消化器疾患　② 大腸がんで手術を受ける患者への看護 【key words】 大腸がん，人工肛門 【授業概要】 手術を受ける患者の具体的なケアを学習する。 人工肛門造設術を受ける患者の心理的葛藤を学ぶ。 手術を受ける患者の看護について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 成人看護学　急性期Ⅰ　概論・周手術期看護 看護データブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで講義に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
	第６回	周手術期看護　５　変形性疾患（膝関節置換術） 【key words】 変形性膝関節症，リハビリテーション， 【授業概要】 変形性膝関節症で手術を受ける人の背景を理解する。 手術決定までのリハビリテーションと術後の日常生活の再構築 【教科書ページ・参考文献】 成人看護学　急性期Ⅰ　概論・周手術期看護 看護データブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで講義に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
	第７回	クリティカル看護　１　集中治療室における看護・急変時の対応 【key words】 危機理論，先端医療と患者の身体適応，夜間せん妄　ICU症候群，救急医療 【授業概要】 救急医療と施設海洋を学ぶ 重症集中ケアに必要な理論 危機状態にある患者・家族へのケアを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 成人看護学　急性期Ⅰ救急・クリティカル看護 看護データブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで講義に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
	第８回	クリティカル看護　２　　急性心筋梗塞，狭心症，重症心不全患者への看護 【key words】 急性心筋梗塞，心疾患，PTCA，　心臓カテーテル検査法 【授業概要】 心臓血管後患者に必要な観察の視点と看護について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 成人看護学　急性期Ⅰ救急・クリティカル看護 看護データブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読み、事前課題を学習して演習に臨む 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
	第９回	クリティカル看護　３　心臓リハビリテーション

【key words】
心機能，リハビリテーション，運動
【授業概要】
心筋梗塞や心不全患者に対する心臓リハビリテーションを学ぶ
【教科書ページ・参考文献】
成人看護学　急性期Ⅰ救急・クリティカル看護
看護データブック
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読み、事前課題を学習して演習に臨む
【予習復習に必要な想定時間】
30分～60分

第１０回　クリティカル看護　4　脳血管疾患を発症した人への看護
【key words】
中枢神経，末梢神経，　脳の構造と理解，高次脳機能
【授業概要】
脳神経の構造と機能を学ぶ
麻痺の種類を学び，早期からリハビリテーションの必要性を学ぶ
【教科書ページ・参考文献】
成人看護学　急性期Ⅰ救急・クリティカル看護
看護データブック
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読んで講義に臨む。
【予習復習に必要な想定時間】
30分～60分

第１１回　クリティカル看護　5　脳卒中① くも膜下出血患者への看護
【key words】
くも膜下出血　クリッピング術　脳圧亢進症状
【授業概要】
くも膜下出血の診断と治療について学ぶ。
術後患者への看護を学ぶ。
術後合併症の早期発見とその対応について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
成人看護学　急性期Ⅰ救急・クリティカル看護
看護データブック
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読んで講義に臨む。
【予習復習に必要な想定時間】
30分～60分

第１２回　クリティカル看護　6　脳卒中②　脳梗塞・脳出血を発症した患者への看護
【key words】
SCU，脳圧亢進症状，痙攣，意識障害
【授業概要】
脳梗塞と脳卒中の発症と初期症状の違いを学ぶ
失語症と構音障害
失行と失認，高次脳機能障害への看護
【教科書ページ・参考文献】
成人看護学　急性期Ⅰ救急・クリティカル看護
看護データブック
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読んで講義に臨む。
【予習復習に必要な想定時間】
30分～60分

第１３回　クリティカル看護　7　高エネルギー障害を受けた人への看護　外傷看護
【key words】
集中治療室　　クリティカルケア　家族ケア
【授業概要】
急激な症状の悪化や外傷によって集中的な治療が必要な人への看護について学ぶ
患者の心理的葛藤と家族支援
治療への意思決定支援（看護倫理）
重症集中看護師の心理葛藤と現状
【教科書ページ・参考文献】
成人看護学　急性期Ⅰ救急・クリティカル看護
看護データブック
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読んで講義に臨む。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１４回　クリティカル看護 8
【key words】
脳卒中リハビリテーション，チーム医療，高次脳機能障害
【授業概要】
本講義は，高次脳機能障害をもつ人の心身の理解と客観的な指標に基づいた支援方法について学ぶ
【教科書ページ・参考文献】
成人看護学　急性期Ⅰ救急・クリティカル看護
看護データブック
【課題・予習・復習・授業準備指示】
成人看護学　リハビリテーション看護　南光堂
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１５回　まとめのテストとその解説
【key words】

	周手術期看護，急性期看護，クリティカル看護 【授業概要】 周術期およびクリティカルな状態にある患者に必要な知識全般を確認テストを行い，その解説をする 【教科書ページ・参考文献】 成人看護学　急性期Ⅰ救急・クリティカル看護 看護データブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 これまでの講義をまとめ，知識を確認しておき臨む 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ・この科目は成人看護学実習ⅠおよびⅡの履修要件となっている。 ・人体構造機能学、疾病治療論、成人看護学概論の学習の上に成り立つ科目であるためこれらの科目を習得していることが望ましい。 ・演習時には新たにオリエンテーションをするので確認して臨むことと 〔受講のルール〕 ・事前に、授業概要及びシラバスを必ず確認し、その授業での自己の達成目標を明確にしたうえで、積極的に授業に臨むこと。 ・この授業内では、従来のコメントカードに代わり、「シャトルカード」を使用する。活用の目的、記載方法については科目オリエンテーション時に説明する。 ・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁。 ・演習前は、必ず事前課題を済ませてから臨む。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	QRコード方式あるいはコメントカード
授業外時間にかかわる情報	授業計画に示されている文献は必ず確認し、理解をして授業に臨むこと。わからない部分を授業にて解決するよう努力すること。
オフィスアワー	各回、授業終了後から放課後18時までとする。
評価方法	筆記試験（客観・論述）８０％、技術演習、課題レポート等２０％ 総合評価は筆記試験、技術演習等合わせて６０％を超えていることが前提となる。
教科書	成人看護学　急性期Ⅰ（概論・周手術期看護）南江堂, 成人看護学　急性期Ⅱ（救急看護・クリティカル）南江堂 成人看護学　成人看護技術　南光堂 成人看護学　成人看護技術 看護データブック　医学書院 看護診断ハンドブック　医学書院
参考書	講義の中で適宜提示する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 特に、成人領域の周術期や急性期看護の実践経験を要している。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 成人看護援助論Ⅲ　　授業コード： 10104

英文科目名称： Theories of nursing assistance for adults 3

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年次	1単位(30)	必修
担当教員			
佐藤充子，大山真貴子，川田智美、中山洋子，佐竹明美			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕急性・慢性・回復期にある患者への看護援助を理解できる 〔到達目標〕 ①提示した事例を看護の視点でまとめ，全体像を把握できる。 ②看護過程の一連のプロセスから，看護上の問題または共同問題を明確にできる。 ③導かれた看護問題に優先順位をつけることができる。 ④看護問題に基づき，目標設定ができる。 ⑤看護計画を立案し，対象に必要な看護ケアを実技演習で実践できる ⑥看護過程における評価の方法について学ぶ。
授業の概要	成人期にある人の事例を提示する。この事例について，看護過程の展開を通して，対象の全体像を把握（発達段階，障害された臓器，健康障害の段階，対象に必要な看護）する。最終的に，立案した看護計画（対象の個別性を考慮した）に基づき適切な看護技術を提供した看護ケアを学生同士でロールプレイ（看護師役・患者役）演習を実践する。この実践体験から，対象の置かれた状況を疑似体験し，対象に共感することから立場の変換を体験して，感情体験と実践能力を培う。更に成人看護学実習に反映させ習得していく基礎知識を身につ

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	○
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	○
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	○
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画	第１回	科目オリエンテーション　周手術期にある人への看護　1　（演習：グループワーク） 【key words】 周手術期医療，周手術期看護，看護過程 【授業概要】 本講義は事前課題として看護過程を展開し，看護問題の優先順位と各看護問題に基づいた看護目標を立案することを目指す。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 記載の参考文献等を参照のこと 【課題・予習・復習・授業準備指示】 看護過程の展開（情報のまとめ，分析・解釈・統合，看護問題抽出まで）を終えている 事前に準備した自分の資料はグループで立案した内容に基づき青字で修正すること。 事後課題をしてくること 【予習復習に必要な想定時間】 210分
	第２回	周手術期にある人への看護　2（演習：グループワーク） 【key words】 看護過程の展開，援助計画，個別的看護 【授業概要】 本講義は，前回の授業に続いて，グループメンバーと討議しながら行う。前回，立案した看護目標に基づき，援助計画を立案する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 記載の参考文献等を参照のこと 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に準備した自分の資料はグループで立案した内容に基づき修正すること。 演習後，修正箇所がある場合は青字で修正すること

事後課題をしてくること
【予習復習に必要な想定時間】
第1，2回合わせて90分

第３回　周手術期にある人への看護　3（演習：グループワーク）
【key words】
看護過程の展開，援助計画，個別的看護演習
【授業概要】
本講義は具体的な援助計画を詳細に立てる。患者の状況をイメージして，患者のシナリオと看護師役のシナリオを作成，必要物品を考える。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
記載の参考文献等を参照のこと
【課題・予習・復習・授業準備指示】
グループと共有した内容について，自分の資料を修正しておくこと。
2回目で決定した看護問題から看護目標を立案し，援助計画を用意しておくこと。

【予習復習に必要な想定時間】
210分（5と合わせて）

第４回　周手術期にある人への看護　4 （実技演習）
【key words】
ロールプレイ，成人看護技術，自己評価，他者評価，自己省察
【授業概要】
本講義は，3回目までに立案した看護過程に基づき，3回目で作成した患者役と看護師役は作成したシナリオに基づきロールプレイを行う。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
記載の参考文献等を参照のこと
【課題・予習・復習・授業準備指示】
患者の置かれた状況をイメージして，患者役に徹するためシナリオを覚えてくる。また，看護師役として原理原則に基づき，対象の個別性を考慮した看護技術を提供できるように準備学習をすること

【予習復習に必要な想定時間】
210分（４と合わせて）

第５回　周手術期にある人への看護　5 （実技演習）
【key words】
ロールプレイ，成人看護技術，自己評価，他者評価，自己省察
【授業概要】
4.５回を通して，患者の置かれた状況を体験し，立場の変換に必要な思考プロセスを学修する。
看護師として自己評価ができ，他者からの評価も参考にして自己省察できることを目指す。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
記載の参考文献等を参照のこと
【課題・予習・復習・授業準備指示】
患者の置かれた状況をイメージして，患者役に徹するためシナリオを覚えてくる。
看護師役として原理原則に基づき，対象の個別性を考慮した看護技術を提供できるように準備学習しておくこと
【予習復習に必要な想定時間】
第4，5回合わせて120分

第６回　慢性疾患を持ちながら生活する人への看護１（演習：グループワーク）
【key words】
COPD患者の看護、看護過程の展開，看護上の問題、優先順位

【授業概要】
成人Ⅰで提示したCOPD患者の事例について、看護過程を展開する。
個人ワークで抽出した看護上の問題について、グループで話し合う。
グループとして抽出する看護上の問題を選定し、その優先順位を決定する。

【教科書ページ・参考文献】
配布資料
成人Ⅰ第2,3回授業資料
その他、記載の参考文献等を参照のこと

【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：成人Ⅰで提示したCOPD患者の事例について、看護過程を展開し、個人ワークで看護上の問題まで抽出した上で、授業に臨む。
【予習復習に必要な想定時間】
180分（成人Ⅰ2コマ分の復習含む）

第７回　慢性疾患を持ちながら生活する人への看護２（演習：グループワーク）
【key words】
COPD患者の看護、看護過程の展開，目標、看護計画
【授業概要】
第6回で抽出した看護上の問題について、目標、看護計画を立案する。

【教科書ページ・参考文献】
配布資料
成人Ⅰ第2,3回授業資料
その他、記載の参考文献等を参照のこと

【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：目標・看護計画の立案方法について復習し、授業に臨む。
復習：目標、看護計画を立案した上で、次回授業に臨む。

【予習復習に必要な想定時間】
第7，8回合わせて120分

第８回　慢性疾患を持ちながら生活する人への看護３（演習：グループワーク）

【key words】
COPD患者の看護、看護過程の展開，目標、看護計画、援助計画（シナリオ）
【授業概要】
第7回で立案した看護計画を実践するための、具体的な援助計画（シナリオ）作成する。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
成人Ⅰ第2,3回授業資料
その他、記載の参考文献等を参照のこと

【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：援助計画（シナリオ）を作成した上で、次回授業に臨む。
【予習復習に必要な想定時間】
第7，8回合わせて120分

第９回　慢性疾患を持ちながら生活する人への看護４（実技演習）

【key words】
看護計画の実施,ロールプレイ，成人看護技術，自己評価，他者評価，自己省察
【授業概要】
6～8回までに立案した看護計画及び援助計画（シナリオ）に基づき，患者役と看護師役に分かれてロールプレイを行う。
観察役を設定し、行われた看護実践について他者評価を行う。

【教科書ページ・参考文献】
第6～8回看護過程学習資料
成人Ⅰ第2,3回授業資料
その他、記載の参考文献等を参照のこと

【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：援助計画（シナリオ）を読み込み、覚えてくる。
立案した看護計画・援助計画（シナリオ）に沿って、看護実践ができるよう患者・看護師役のイメージトレーニングをした上で、演習に臨む。

【予習復習に必要な想定時間】
第9,10回合わせて120分

第１０回　慢性疾患を持ちながら生活する人への看護５（実技演習）

【key words】
看護計画の実施,ロールプレイ，成人看護技術，自己評価，他者評価，自己省察
【授業概要】
9,10回を通して，患者、看護師、観察役、それぞれの役割を通しての気づきを話し合う。
看護師役を通して行った看護実践について自己評価し、他者からの評価も参考に自己省察する。

【教科書ページ・参考文献】
第6～8回看護過程学習資料
成人Ⅰ第2,3回授業資料
その他、記載の参考文献等を参照のこと

【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：援助計画（シナリオ）を読み込み、覚えてくる。
立案した看護計画・援助計画（シナリオ）に沿って、看護実践ができるよう患者・看護師役のイメージトレーニングをした上で、演習に臨む。

【予習復習に必要な想定時間】
第9,10回合わせて120分

第１１回　リハビリテーション期にある人への看護　1　（演習：グループワーク）

【key words】
リハビリテーション期看護（心不全・腎不全）、看護過程展開、看護上の問題
【授業概要】
成人看護援助論Ⅰで提示した事例（心不全・腎不全）の事前課題として、看護過程を展開する。
個人マークで看護問題の優先順位と各看護問題に基づいた看護目標、援助計画も立案する。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料、成人Ⅰ（第6・7・9・10資料）
記載の参考文献等を参照のこと
【課題・予習・復習・授業準備指示】
看護過程の展開（情報のまとめ，分析・解釈・統合，看護問題抽出まで）を終えている
事前に準備した個人の資料はグループで立案した内容に基づき青字で修正すること。
事後課題をしてくること
【予習復習に必要な想定時間】
180分（成人Ⅰの復習2コマ）

第１２回　リハビリテーション期にある人への看護　2　（演習：グループワーク）

【key words】
看護過程の展開，看護上の問題、援助計画，個別的看護
【授業概要】
第11回の授業に続いて，グループメンバーと討議しながら行う。前回，立案した看護目標に基づき，援助計画を立案する。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
記載の参考文献等を参照のこと
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事前に準備した自分の資料はグループで立案した内容に基づき修正すること。
演習後，修正箇所がある場合は青字で修正すること

	事後課題をしてくること 【予習復習に必要な想定時間】 第11，12回合わせて120分 第１３回　リハビリテーション期にある人への看護　3 （演習：グループワーク） 【key words】 看護過程の展開，援助計画，個別的看護演習 【授業概要】 本講義は具体的な援助計画を詳細に立てる。事例患者の状況をイメージして，看護師役として食事指導援助（シナリオ）を作成，必要物品を考える。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 記載の参考文献等を参照のこと 【課題・予習・復習・授業準備指示】 グループと共有した内容について，自分の資料を修正しておくこと。 12回目で決定した看護問題から看護目標を立案し，援助計画を用意しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 第11，12回合わせて120分 第１４回　リハビリテーション期にある人への看護　4（実技演習：塩味演習・食事指導） 【key words】 塩味演習・食事指導，自己評価，自己省察 【授業概要】 本講義は，11・12・13回目までに立案した看護過程に基づき，13回目で作成した患者役と看護師役は作成したシナリオに基づき患者へ食事指導を行う。塩味演習を通して体験する。自己省察する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 記載の参考文献等を参照のこと 【課題・予習・復習・授業準備指示】 心不全、腎不全の事例を踏まえて、患者への食事指導をすることができるように準備する。 【予習復習に必要な想定時間】 第14と15回を合わせて120分 第１５回　リハビリテーション期にある人への看護　5（実技演習：塩味演習・食事指導） 【key words】 塩味演習・食事指導，自己評価，自己省察 【授業概要】 本講義は，11・12・13回目までに立案した看護過程に基づき，13回目で作成した患者役と看護師役は作成したシナリオに基づき患者へ食事指導を行う。塩味演習を通して体験する。自己省察する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 記載の参考文献等を参照のこと 【課題・予習・復習・授業準備指示】 心不全、腎不全事例を踏まえて、患者への食事指導をすることができるように準備する。 【予習復習に必要な想定時間】 第14と15回を合わせて120分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ・この科目は成人看護学実習ⅠおよびⅡの履修要件となる科目である。 ・人体構造機能学、疾病治療論、成人看護学概論の学習の上に成り立つ科目であるためこれらの科目を習得していることが望ましい。 ・この科目は、学生自らが講義で学習した既習の知識を活用し、実際に看護過程を展開することによって、授業の目的・到達目標を達成することを目標としている。そのため、既習学習の復習を十分に行い授業に臨むことが必要である。 ・ゼミ形式演習及びグループワークについては、新たにオリエンテーションをするので確認して臨むこと。 〔受講のルール〕 ・この科目では、講義で学習した内容を踏まえ、次回授業までの課題を提示する。提示された課題には必ず取り組み、次回授業に臨むこと。 ・課題の未実施や実施した課題を授業時に持参しなかった場合には、ゼミ形式演習やグループワークなどの授業に参加できないことがあるので十分注意すること。 ・課題に取り組む上で、自らでは解決が困難な疑問点が生じた場合には、科目責任者及び成人看護学領域担当者に確認する。（各教員のオフィスアワーは研究室前に提示） ・事前に授業概要及びシラバスを必ず確認し、自己の達成目標を明確にした上で授業に臨むこと。また、事前に学習した課題内容の理解を深めるため積極的に授業に参加すること。 ・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁。また、授業中にスライドを撮影することや授業内容の録音についても固く禁ずる。 ・オンライン授業の場合は、事前にweb掲示版を必ず確認し、提示された授業資料の印刷および教科書、ネット環境の準備をして授業に臨むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカードおよびICT方式
授業外時間にかかわる情報	・授業概要及び授業資料は事前に確認し、授業に臨むこと。また、授業を理解する上で必要と考えられる参考書は自ら持参すること。 ・授業内で提示された課題には計画的に取り組み、提出期限を守って提出すること。 ・課題に取り組む上で、自らでは解決が困難な疑問点が生じた場合には、科目責任者及び成人看護学領域担当者に確認し、自ら解決するよう努めること。（各教員のオフィスアワーについては研究室前に提示）
オフィスアワー	各回、原則授業終了後から放課後18時までとする。但し、学内教員のオフィスアワーについては、研究室に提示されている時間に準ずる。

評価方法	演習参加におけるグループ貢献度20%，事前課題10%，事後課題レポート・演習への取り組み70% 課題提出期日を過ぎた場合，減点対象とする。 ＊課題レポートの未提出及び提出期限の遅れは減点の対象とする。その他、課題レポート・演習への取り組みに関する詳細な評価基準は、授業時に別途説明する。
教科書	成人看護援助論１及びⅡの授業時に事例を配布する。 授業資料（この授業資料は、成人看護学実習Ⅰ・Ⅱにおいても使用する。必ず毎回ファイリングして授業時には持参すること） 成人看護学　急性期看護　Ⅰ　概論・周手術期看護，急性期看護　Ⅱ　クリティカル看護，リハビリテーション看護，慢性期看護，成人看護技術　南光堂 2)リンダJ．カルペニート＝モイエ著，新道幸恵監：看護診断ハンドブック第11版　医学書院
参考書	基礎から学ぶ看護過程と看護診断、ロザリンダ・アルファロ-ルフィーヴァ著江本愛子監訳　医学書院 これなら使える看護診断　江川隆子編集　医学書院　　江川隆子編：ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断　NOUVELLE　HIROKAWA 他講義の中で適宜提示する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 看護師として大学病院又は総合病院での実務経験がある教員が授業を担当する。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 成人看護援助論Ⅳ　　授業コード： 10105

英文科目名称： Theories of nursing assistance for adults 4

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年次	1単位(30)	必修
担当教員			
川田智美　佐竹明美　ほか			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 がん医療を理解し、がんと診断された人およびその家族に必要な看護について修得する。 緩和ケアを受ける対象の特徴と看護について修得する。 〔到達目標〕 1. がん医療の概要と看護について理解できる。 2. がん治療期（薬物療法・放射線療法）の看護の特徴について説明できる。 3. 緩和ケアの概念について説明できる。 4. 緩和ケアを必要とする対象と看護の特徴について説明できる。 5. 終末期で緩和ケアを受ける対象への倫理的課題について述べることができる。
授業の概要	日本人の死因第1位である「がん」を取り巻く医療と看護について学習する。 白血病、肺がんの特徴を踏まえ、がん治療（化学療法・放射線療法）に伴う看護について学習する。 緩和ケアを受ける対象への看護を展開するために必要な理論や方法論について学習する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	○
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	◎
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画		
	第１回	A.がん看護　概要1　がんの疫学とがん対策 【key words】 がん　悪性腫瘍　がんの疫学　がん対策 【授業概要】 科目オリエンテーション がんとは がんの疫学（罹患率、死亡率、生存率の動向） がん対策について 【教科書ページ・参考文献】 参考図書　看護学テキストNice がん看護 南江堂 第Ⅱ章① P12-23 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前にシラバスに目を通し、授業時には印刷して持参すること 提示された参考文献、授業資料に目を通し、授業に臨む 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
	第２回	A.がん看護　概要2　がんの病態と集学的治療 【key words】 がん　病態　集学的治療 【授業概要】 がんの病態・原因と発生機序 がん予防 臨床経過と治療 がんの集学的治療について 【教科書ページ・参考文献】 参考図書　看護学テキストNice がん看護 南江堂 第Ⅱ章② P24-57 【課題・予習・復習・授業準備指示】 提示された参考文献、授業資料に目を通し、授業に臨む 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分

	第３回	A.がん看護　概要3　がん患者の特徴と援助 【key words】 がん患者 【授業概要】 がんの臨床経過について 診断期からエンドオブライフ期における患者の特徴と援助 【教科書ページ・参考文献】 参考図書　看護学テキストNice がん看護 南江堂 第Ⅲ章①1 P74-91 【課題・予習・復習・授業準備指示】 提示された参考文献、授業資料に目を通し、授業に臨む 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
	第４回	A.がん看護　がん治療期の看護1　薬物療法を受ける患者への看護（白血病の患者の看護,造血幹細胞移植含む） 【key words】 白血病　診断・検査　化学療法　造血幹細胞移植 【授業概要】 急性白血病の病態生理・検査・治療（化学療法） 輸血について 【教科書ページ・参考文献】 慢性期看護 南江堂　第Ⅳ章⑤5 P197-209⑦7 P221-231　第Ⅴ-6章②2 P426-434 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　血液・造血器　成人看護学④　第1～4章C造血器腫瘍, 第5章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 疾患に関する既習講義を復習しておく。 テキストを読み、分からない言葉を調べた上で講義に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
	第５回	A.がん看護　がん治療期の看護2　放射線療法を受ける患者への看護（肺がんの患者の看護） 【key words】 肺悪性腫瘍　化学療法　放射線療法　看護 【授業概要】 肺悪性腫瘍の病態生理・症状・診断・検査 治療（化学療法　放射線療法） 肺がん患者の看護（化学療法・放射線療法を受ける患者の看護） 【教科書ページ・参考文献】 慢性期看護 南江堂　第Ⅳ章⑥6 P210-220　第Ⅴ-1章③3 P269-275 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　呼吸器　成人看護学②　第6章E-⑧肺がん患者の看護 P345-354 【課題・予習・復習・授業準備指示】 疾患に関する既習講義を復習しておく。 テキストを読み、分からない言葉を調べた上で講義に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
	第６回	B.緩和ケア　　緩和ケアの概要と対象理解 【key words】 緩和ケア　全人的苦痛 【授業概要】 緩和ケアの定義・理念・歴史について 緩和ケアを受ける対象の理解 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　緩和ケア　　医学書院　第1,6章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読み、分からない言葉を調べた上で講義に臨む。また新聞などの緩和ケアや死に関する情報に目を向けておく。 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
	第７回	B.緩和ケア　　緩和ケアにおけるチームアプローチ 【key words】 緩和ケア　チームアプローチ 【授業概要】 緩和ケアにおけるチームアプローチの意義 緩和ケアにおける看護師の役割と求められる専門性 緩和ケアにおけるチームアプローチの実際（事例を通して学ぶ） 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　緩和ケア　　医学書院　第2, 3章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読み、分からない言葉を調べた上で講義に臨む。また新聞などの緩和ケアや死に関する情報に目を向けておく。 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
	第８回	B.緩和ケア　　がん患者への緩和ケア 【key words】 緩和ケア　がん　全人的苦痛　全人的ケア 【授業概要】 全人的苦痛（身体・心理・社会的苦痛・スピリチュアルペイン）の特徴 全人的ケア（身体・心理・社会的苦痛・スピリチュアルペイン）に対するケア 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　緩和ケア　　医学書院　第5章　第6章B-① P173-181

【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読み、分からない言葉を調べた上で講義に臨む。
【予習復習に必要な想定時間】
30分～60分

第９回　B.緩和ケア　心不全の患者への緩和ケア
【key words】
緩和ケア　心不全　全人的苦痛　全人的ケア
【授業概要】
心不全患者への緩和ケア（背景・概要）
心不全の特徴
緩和ケアを必要とする病態とアセスメント
心不全患者への緩和ケアの特徴（アドバンスケアプランニング）

【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　緩和ケア　　医学書院　第5章　第6章B-② P181-188
【課題・予習・復習・授業準備指示】
疾患に関する既習講義を復習しておく。
テキストを読み、分からない言葉を調べた上で講義に臨む。
【予習復習に必要な想定時間】
30分～60分

第１０回　B.緩和ケア　腎不全の患者への緩和ケア
【key words】
緩和ケア　腎不全　全人的苦痛　全人的ケア
【授業概要】
腎不全の概要（末期腎不全を中心に）
緩和ケアを必要とする病態とアセスメント
腎不全患者への緩和ケアの特徴
【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　緩和ケア　　医学書院　第5章　第6章B-⑥ P210-217
【課題・予習・復習・授業準備指示】
疾患に関する既習講義を復習しておく。
テキストを読み、分からない言葉を調べた上で講義に臨む。

【予習復習に必要な想定時間】
30分～60分

第１１回　B.緩和ケア　　臨死期のケアと家族ケア
【key words】
家族看護　チームアプローチ　遺族ケア　エンゼルケア
【授業概要】
家族の定義と家族ケアの在り方
臨死期のケア　エンゼルケア
遺族ケア

【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　緩和ケア　　医学書院　第7、8章
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読み、分からない言葉を調べた上で講義に臨む。
【予習復習に必要な想定時間】
30分～60分

第１２回　B.緩和ケア　　緩和ケアにおける倫理的課題について
【key words】
緩和ケア　終末期　看護　倫理的課題　　ディベート
【授業概要】
倫理的課題とは何か（講義）
ディベート演習オリエンテーション
【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　緩和ケア　　医学書院　第4章
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを読み、分からない言葉を調べた上で講義に臨む。
【予習復習に必要な想定時間】
30分～60分

第１３回　B.緩和ケア　　緩和ケアにおける倫理的課題について
【key words】
緩和ケア　終末期　看護　倫理的課題　　ディベート
【授業概要】
緩和ケアにおける倫理的課題について事例を通して学習する。（GW）
緩和ケアにおける倫理的課題についてディベートを行う。

【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　緩和ケア　　医学書院　第4章
【課題・予習・復習・授業準備指示】
演習資料を熟読し、事前学習を行った上で授業に参加する。
【予習復習に必要な想定時間】
第13，14回合わせて180分

第１４回　B.緩和ケア　　緩和ケアにおける倫理的課題について
【key words】
緩和ケア　終末期　看護　倫理的課題　　ディベート
【授業概要】
終末期における倫理的課題について事例を通して学習する。（GW）
終末期における倫理的課題についてディベートを行う。

	【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　緩和ケア　　医学書院　第4章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 演習資料を熟読し、事前学習を行った上で授業に参加する。 演習終了後、事後レポート課題に取り組み、緩和ケアにおける倫理的課題についての理解を深める。 【予習復習に必要な想定時間】 第13, 14回合わせて180分 第１５回　　まとめ 【key words】 がん　がん看護　薬物療法　放射線療法　緩和ケア 【授業概要】 第1～14回までの講義・演習における学習内容の要点を確認する 【教科書ページ・参考文献】 第1～14回までの授業資料および教科書 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業資料・テキストを確認して講義に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30分～60分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ・この科目は成人看護学実習ⅠおよびⅡの履修要件となっている。 ・人体構造機能学、疾病治療論、成人看護学概論の学習の上に成り立つ科目であるためこれらの科目を習得していることが望ましい。 ・演習時には新たにオリエンテーションをするので確認して臨むことと 〔受講のルール〕 ・事前に授業概要及びシラバスを必ず確認し、自己の達成目標を明確にした上で、積極的に授業に臨むこと。 ・授業時に課題を提示することがある。課題の未実施や実施した課題を授業時に持参しなかった場合には、演習などの授業に参加できないことがあるので十分注意すること。 ・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁。また、授業中にスライドを撮影することや授業内容の録音についても固く禁ずる。 ・オンライン授業の場合は、事前にWeb掲示板を必ず確認し、提示された授業資料の印刷および教科書、ネット環境の準備をして授業に臨むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード方式またはICT利用
授業外時間にかかわる情報	・授業概要に示されている予習・復習を行い授業に臨むこと。また、授業内で提示された課題には計画的に取り組み、提出期限を守って提出すること。 ・教科書及び授業に必要な資料等は事前に確認し、授業時に持参すること。
オフィスアワー	各回、原則授業終了後から放課後18時までとする。但し、ｵﾑﾆﾊﾞｽ形式の授業であるため、学内教員のオフィスアワーについては、研究室に提示されている時間に準ずる。
評価方法	筆記試験（客観・論述）80%、演習、課題レポート等20%で評価する。 総合評価は筆記試験、演習、課題レポート等合わせて60%を超えていることが前提となる。 ＊課題レポートの未提出及び提出期限の遅れは減点の対象とする。その他、演習、課題レポートの評価基準の詳細は、課題提示時に別途説明する。
教科書	1）第1～3回までの講義は、下記参考書に基づくオリジナル授業資料を用いる。 2）看護学テキストNice成人看護学 慢性期看護　病気とともに生活する人を支える 南江堂（第4,5,15回） 3）系統看護学講座成人看護学［４］ 血液・造血器　医学書院（第4,15回） 4）系統看護学講座成人看護学［２］ 呼吸器　医学書院（第5,15回） 5）系統看護学講座　緩和ケア、医学書院（第6回～15回）
参考書	1）看護学テキストNiceがん看護　様々な発達段階・治療経過にあるがん患者を支える　南江堂（第1～3回） 2）がん看護学第2版　臨床に活かすがん看護の基礎と実践　NOUVELLE HIROKAWA その他、講義の中で適宜提示する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院又は総合病院で、看護師としてがん患者の看護に従事した経験を有する教員が授業を担当する。また、第7回は緩和ケア認定看護師、第11回はがん看護専門看護師資格を有する看護師による講義を展開する。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等）

	■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 成人看護学実習Ⅰ　　授業コード：10107

英文科目名称： Practices of nursing for adults 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	３年次	2単位(90)	必修
担当教員			
川田　智美　佐藤　充子　佐竹　明美　他			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	１．実習目的 　回復期・慢性期にある対象の、自己効力を意識したセルフマネジメントに働きかけ、機能回復及びセルフケア再獲得のための援 助を展開できる。また、緩和ケアを受ける対象及び家族が抱える苦痛を緩和し、QOLを高めるための看護について学ぶ。 ２．実習目標 １）回復期・慢性期にある対象の特徴を踏まえ、健康障害が日常生活に及ぼす影響について理解できる。 ２）対象の特徴を踏まえ、看護診断を用いて必要な看護の方向性が導き出せる。 ３）生涯にわたりセルフケアを必要とする対象及び家族に対し、セルフケア確立に向けての介入ができる。 ４）緩和ケアを受ける対象の全人的苦痛を理解し、対象及び家族に対して心身の安楽に向けた介入が出来る。 ５）継続看護の必要性を理解し、他職種との連携における看護師の役割について理解できる。
授業の概要	成人看護学実習要項を参照のこと

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	○
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回　　成人看護学実習Ⅰ 【key words】 成人看護学実習要項を参照のこと 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	1. 実習履修資格者 ・人体構造機能学Ⅰ-Ⅴ、疾病治療論各論Ⅰ-Ⅴ、成人看護学概論・成人看護援助論Ⅰ-Ⅴ及び基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱの単位を修得している者 2. 実習時期及び実習日数・時間 1）時　期：2023 年　5月～11月 2）日　数：2週間 3）時　間：90時間（2単位）　指定された病院（別途指示）で１グループ５～６名で実習を行う。 3.実習上の注意 1）実習要項　オリエンテーション用紙参照　（別途配布） 2）個人衛生に留意し、実習に支障をきたさない事。 3）既習学習内容を復習し、看護技術を十分練習した上で実習に臨む。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	原則、臨地実習時間及び学内実習時間内に実習担当教員に相談し、指導を受けること。
授業外時間にかかわる情報	実習に臨むにあたり、既習知識の復習及び事前学習は必須である。また、実習に関わる課題や実習記録を記載する上で必要な自己学習の時間は、各自で確保する必要がある。
オフィスアワー	原則、臨地実習時間及び学内実習時間内に実習担当教員に相談し、指導を受けること。

評価方法	１．4/5以上の出席をもって評価対象とする。提出期限以降の提出を認めない。 ２．実習評価表に基づいて評価する(実習要項参照）。
教科書	成人看護概論、成人看護援助論Ⅰ、Ⅲ、Ⅴの授業で使用した教科書及び授業資料等
参考書	上記、教科書及び実習期間中に実習担当教員より提示された参考書等
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 看護師として大学病院又は総合病院で実務経験のある教員が実習指導を担当する。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 成人看護学実習Ⅱ　　授業コード： 10108

英文科目名称： Practices of nursing for adults 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	３年次	4単位(180)	必修
担当教員			
大山真貴子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【目的】 健康の危機状況にある対象の特徴を理解し、全身状態の改善と合併症予防に努め、苦痛の緩和・早期回復に向けての看護ができる。 【実習目標】 １）急性期にある対象及び家族の特徴が理解できる。 ２）身体侵襲を伴う治療を必要とする対象の特徴を踏まえ、看護診断を用いて必要な看護の方向性を導き出せる。 ３）周手術期にある対象の看護ができる。 （１）手術を受ける対象の身体的・精神的準備について理解し、術前の看護が実践できる。 （２）手術中の安全管理と看護の役割が述べられる。 （３）手術後の回復過程を過ごす対象に必要な看護が実践できる。 （４）生活の再構築に取り組む対象及び家族への看護が述べられる。 （５）手術を受けた対象への継続看護の必要性が述べられる。 ４）生命の危機状態にある対象（救急外来・救急病棟・集中治療室など）において、必要な医療や看護の特徴が理解できる。
授業の概要	成人看護学実習要綱を参照のこと

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	◎

授業計画	第１回　　成人看護学実習Ⅱ　成人看護学実習要項を参照のこと 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	1. 実習履修資格者 ・人体構造機能学Ⅰ-Ⅴ、疾病治療論各論Ⅰ-Ⅴ、成人看護学概論・成人看護援助論Ⅰ-Ⅴ及び基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱの単位を修得している者 2. 実習時期及び実習日数・時間 1）時　期：2023年　5月～11月 2）日　数：4週間 3）時　間：180時間（4単位）　指定された病院（別途指示）で１グループ５～６名で実習を行う。 うち、学内実習　90時間 3.実習上の注意 1）実習要綱　オリエンテーション用紙参照　（別途配布） 2）個人衛生に留意し、実習に支障をきたさない事。 3）既習学習内容を復習し、看護技術を十分練習した上で実習に臨む。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	原則、臨地実習時間及び学内実習時間内に実習担当教員に相談し、指導を受けること。

授業外時間にかかわる情報	実習に臨むにあたり、既習知識の復習及び事前学習は必須である。また、実習に関わる課題や実習記録を記載する上で必要な自己学習の時間は、各自で確保する必要がある。
オフィスアワー	原則、臨地実習時間及び学内実習時間内に実習担当教員に相談し、指導を受けること。
評価方法	1.4/5以上の出席をもって評価対象とする。提出期限以降の提出を認めない。 2.実習評価表に基づいて評価する（実習要綱参照）。
教科書	成人看護概論、成人看護援助論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの授業で使用した教科書及び授業資料等
参考書	上記の教科書以外に受け持ち患者の関連疾患看護の参考書や教員から指示された参考書等
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 高齢者看護援助論Ⅰ　　授業コード： 10110

英文科目名称： Elderly nursing assistance theory 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年次	1単位(30)	必修
担当教員			
中島　朋子　平出　恵子　劔持　貴史			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[目的] 高齢者の生活に与える加齢変化を把握するために、高齢者を支援するため基礎知識を習得することができる。 [到達目標] ①加齢現象に伴って生じる高齢者の脆弱性を理解することができる。 ②高齢者に特徴的な症状のアセスメント方法がわかる。 ③高齢者のフィジカルアセスメントが実践できる。 ④高齢者の看護過程展開に用いる生活行動モデルが理解できる。 ⑤老年期にある対象の特徴を理解し、紙上事例を用いて生活機能の観点からアセスメントができる。
授業の概要	高齢者の生活に影響を与える加齢変化を理解し、高齢者看護を実践する上で必要な基礎知識を学び、アセスメントに基づく看護実践能力を身につける。加齢による身体の構造と機能の変化について理解を深め、高齢者の生活に影響を与える身体症状に関するアセスメント方法を学ぶ。日常生活を支える基本的活動及び食事・排泄・清潔ケア等に基づいた看護援助方法を学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	○
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　科目オリエンテーション　/　高齢者のヘルスアセスメント

【key words】
ヘルスアセスメント、フィジカルアセスメント、高齢者総合機能評価(CGA)、アセスメントツール
【授業概要】
高齢者看護に必要なヘルスアセスメントを学ぶ。
アセスメントツール(基本的・手段的ADL、MMSE, HDS-R)の概要を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学P86～94
同上　老年看護病態・疾患論P124～132
写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンスP218-227

【課題・予習・復習・授業準備指示】
シラバスを手元に準備する。
講義内容の復習をする。

【予習復習に必要な想定時間】
1時間程度

第２回　身体の加齢変化とアセスメント/呼吸器系

【key words】
呼吸器系の構造と機能　呼吸のフィジカルアセスメント、副雑音
【授業概要】
加齢による呼吸器系の構造と機能の変化を学ぶ。
呼吸の観察項目、アセスメント方法(視診・聴診)がわかる。
【教科書ページ・参考文献】
医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学P104-107
写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンスP81-100

【課題・予習・復習・授業準備指示】
呼吸器系の解剖生理を確認し講義に臨む。
講義内容の復習をする。

【予習復習に必要な想定時間】
1時間程度

第３回　身体の加齢変化とアセスメント/　循環系(心臓・血管)

【key words】
循環系の構造と機能　循環系のフィジカルアセスメント
【授業概要】
加齢による循環系の構造と機能の変化を学ぶ。
循環系(心臓・血管)の観察項目、アセスメント方法(視診・聴診)がわかる。
【教科書ページ・参考文献】
医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学P102-104
写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンスP57-77

【課題・予習・復習・授業準備指示】
循環系の解剖生理を確認し講義に臨む。
講義内容の復習をする。

【予習復習に必要な想定時間】
1時間程度

第４回　身体の加齢変化とアセスメント/消化器系

【key words】
消化器系の構造と機能　消化器のフィジカルアセスメント
【授業概要】
加齢による消化器系の構造と機能の変化を学ぶ。
消化器の観察項目、アセスメント方法がわかる。
【教科書ページ・参考文献】
医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学P107-108、P146-161
写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンスP177-205

【課題・予習・復習・授業準備指示】
消化器系の解剖生理を確認し講義に臨む。
講義内容の復習をする。

【予習復習に必要な想定時間】
1時間程度

第５回　身体の加齢変化とアセスメント/腎・泌尿器・生殖器系

【key words】
腎・泌尿生殖器系の構造と機能　腎・泌尿器・生殖器のフィジカルアセスメント
【授業概要】
加齢による腎・泌尿生殖器系の構造と機能の変化を学ぶ。
腎・泌尿器・生殖器系の観察項目、アセスメント方法がわかる。
【教科書ページ・参考文献】
医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学P110-111、P161-172
写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンスP200-201
【課題・予習・復習・授業準備指示】
腎・泌尿生殖器系の解剖生理を確認し講義に臨む。
講義内容の復習をする。

【予習復習に必要な想定時間】
1時間程度

第６回　身体の加齢変化とアセスメント/　皮膚とその付属器

【key words】
皮膚とその付属器の構造と機能　皮膚とその付属器のフィジカルアセスメント
【授業概要】
加齢による皮膚とその付属器の構造と機能の変化を学ぶ。
皮膚とその付属器の観察項目、アセスメント方法がわかる。
【教科書ページ・参考文献】
医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学P94-97,P173-174,P248-254
写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンスP163-167

【課題・予習・復習・授業準備指示】
皮膚とその付属器の解剖生理を確認し講義に臨む。
講義内容の復習をする。

【予習復習に必要な想定時間】
1時間程度

第７回　身体の加齢変化とアセスメント/運動器系

【key words】
運動器系の構造と機能　運動器のフィジカルアセスメント　フレイル　サルコペニア
ロコモティブシンドローム
【授業概要】
加齢による運動器系の構造と機能の変化を学ぶ。
運動器系(骨格・筋肉)の観察項目、アセスメント方法がわかる。
高齢者の歩行の特徴を学び、歩行時のアセスメントができる。
フレイル・サルコペニア・ロコモティブシンドロームについて学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】

		医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学P111-119、P122-146 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンスP132-160 【課題・予習・復習・授業準備指示】 運動器系の解剖生理を確認し講義に臨む。 講義内容の復習をする。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間程度
	第８回	身体の加齢変化とアセスメント/内分泌系 【key words】 内分泌系の構造と機能　内分泌系のフィジカルアセスメント 【授業概要】 内分泌系の構造と機能の変化を学ぶ。 内分泌系の観察項目、アセスメント方法がわかる。 【教科書ページ・参考文献】 医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学P109-110 【課題・予習・復習・授業準備指示】 内分泌系の解剖生理を確認し講義に臨む。 講義内容の復習をする。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間程度
	第９回	加齢による変化とアセスメント/　視聴覚とそのほかの感覚器 【key words】 視聴覚とそのほかの感覚器の構造と機能　感覚器(視覚・聴覚・味覚・嗅覚・平衡覚)のフィジカルアセスメント 【授業概要】 加齢による感覚器系の構造と機能の変化を学ぶ。感覚器(視覚・聴覚・嗅覚・味覚・嗅覚・平衡覚)の観察項目、アセスメント方法がわかる 【教科書ページ・参考文献】 医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学P97-102 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンスP102-127 【課題・予習・復習・授業準備指示】 視聴覚とそのほかの感覚器の解剖生理を確認し講義に臨む。 講義内容の復習をする。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間程度
	第１０回	高齢者に多い症状と看護/発熱・痛み・かゆみ 【key words】 高齢者に多い身体症状　　症状に対する観察ポイント　看護の視点 【授業概要】 高齢者に多い身体症状(発熱・痛み・掻痒)の定義、メカニズム、臨床的特徴からアセスメントする。 発熱や痛み、かゆみ出現時の観察ポイント、看護の視点がわかる。 【教科書ページ・参考文献】 医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学P226-238 【課題・予習・復習・授業準備指示】 高齢者に多い身体症状(発熱・痛み・かゆみ)を確認し、講義に臨む。 講義内容の復習をする。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間程度
	第１１回	高齢者に多い症状と看護/脱水・嘔吐・浮腫 【key words】 高齢者に多い身体症状　　症状に対する観察ポイント　看護の視点 【授業概要】 高齢者に多い身体症状(脱水・嘔吐・浮腫)の定義、メカニズム、臨床的特徴からアセスメントする。 脱水・嘔吐・浮腫出現時の観察ポイント、看護の視点がわかる。 【教科書ページ・参考文献】 医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学Ｐ238-246 【課題・予習・復習・授業準備指示】 高齢者に多い身体症状(脱水・嘔吐・浮腫)を確認し、講義に臨む。 講義内容の復習をする。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間程度
	第１２回	高齢者に多い症状と看護／倦怠感・便秘・下痢 【key words】 高齢者に多い身体症状　　症状に対する観察ポイント　看護の視点 【授業概要】 高齢者に多い身体症状(倦怠感・便秘・下痢)の定義、メカニズム、臨床的特徴からアセスメントする。 倦怠感・便秘・下痢出現時の観察ポイント、看護の視点がわかる。 【教科書ページ・参考文献】 医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学 P246-248 【課題・予習・復習・授業準備指示】

	高齢者に多い身体症状(倦怠感・便秘・嘔吐)を確認し、講義に臨む。 講義内容の復習をする。課題(個人ワーク):事例を読んでアセスメントし必要な観察項目を記入する。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第１３回　高齢者の『食べたい』を支えるケア　講義・演習　外部講師(摂食・嚥下認定看護師) 【key words】 食事介助　摂食嚥下障害 【授業概要】 嚥下のメカニズムを基に、演習を通して食事介助の方法について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 資料を配布する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 摂食嚥下機能のアセスメントについて復習しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第１４回　認知症高齢者を支えるケア　外部講師 【key words】 認知症　BPSD 【授業概要】 認知症の世界とはどのようなものなのだろうか？ 認知症を抱える高齢者は特別なわけではない。 認知症について正しい理解をすることで、認知症を抱える高齢者の置かれた状況が理解できるようになる。 【教科書ページ・参考文献】 医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学P282-316 【課題・予習・復習・授業準備指示】 認知症高齢者を支えるケアについて教科書を読んでおく。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間程度 第１５回　高齢者のフィジカルアセスメント事例展開　/　まとめ 【key words】 高齢者のフィジカルアセスメント　グループワーク 【授業概要】 グループ発表し、共有する。 講義全体の総括及び試験内容・方法について説明 【教科書ページ・参考文献】 医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学P86-120、P226-254 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント　アドバンスP218-227 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題(個人ワーク等)とグループ発表資料提出 【予習復習に必要な想定時間】 1時間程度
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講生に関わる情報] ・課題レポートについては、授業時に提示します。 [受講のルール] ・授業計画内容を必ず確認し、欠席・遅刻のないように臨んでください。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	授業に示されるキーワードは、教科書や授業時に配布された資料を活用し復習をしましょう。
オフィスアワー	金曜日　17：30～18：00
評価方法	筆記試験（客観・論述）70%、課題レポート等30%で総合評価する。 総合評価は筆記試験・課題レポートの合計点60%を超えることが大前提である。
教科書	医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学、老年看護病態・疾患論
参考書	老年看護学関連出版物、随時資料を提示
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育

	■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 高齢者看護援助論Ⅱ　　授業コード： 10111

英文科目名称： Elderly nursing assistance theory 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年次	1単位(30)	必修
担当教員			
剱持　貴史　平出　恵子　中嶋　朋子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業の目的] Ⅰ高齢者看護学概論および高齢者看護援助論Ⅰの知識をもとに、高齢者看護の援助方法について理解する。 Ⅱ慢性疾患や健康障害を併せもつ高齢者の特徴を捉え、「もてる力」を引き出すための看護援助の視点および生活機能に基づく看護過程の展開技術、看護実践力を修得する。 [授業の到達目標] Ⅰ-①生理的加齢現象が高齢者の生命や生活に及ぼす影響を考え、日常生活を整える看護の基本的知識を修得することができる。 Ⅰ-②健康障害を併せもつ高齢者の疾患・症状をアセスメントし、具体的な看護について述べることができる。 Ⅰ-③高齢者のQOLを高めるべく健康逸脱からの回復と終末期を支える看護を総合的に展開できる看護援助方法について述べることができる。 Ⅱ-①高齢者の看護過程展開に用いる生活行動モデルについて述べることができる。 Ⅱ-②老年期にある対象の特徴を理解し、生活機能の観点からアセスメントできる。 Ⅱ-③高齢者が望む生活や状態を見据えた目標志向型思考の看護展開ができる。 Ⅱ-④事例患者を通して、その人の「もてる力」を活かした高齢者に必要な看護援助の方法が記述できる。
授業の概要	高齢者看護学概論および高齢者看護援助論Ⅰの知識をもとに、高齢者看護の援助について理解する。具体的には、これまで学んだ日常生活を支える基本的活動および食事・排泄・清潔ケア等に基づいて、老年期の生理的加齢現象や疾患をもつ高齢者の生命や生活に及ぼす影響を踏まえながら、日常生活を整える看護について学びを深める。さらに、健康障害を併せもつ高齢者の疾患・症状の特徴を理解し、高齢者のQOLを高めるべく、健康逸脱からの回復と終末期を支える看護を総合的に展開できる看護援助方法について学ぶ。 高齢者の「もてる力」を引き出す生活機能重視の看護を学習し、生活行動モデルによる看護過程の考え方を理解する。また、その人らしく生活を営むことができるよう、事例を通して目標志向型思考に合わせた看護の焦点を抽出し、高齢者とその家族の望む生活をめざした看護過程の展開技術を学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画	第１回	科目オリエンテーション／高齢者に特徴的な疾患と看護 【key words】 パーキンソン病 【授業概要】 シラバスを基にシラバス説明を行う。パーキンソン病の事例を基にパーキンソン病についての理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　p267～269 【課題・予習・復習・授業準備指示】 パーキンソン病について学習済みの内容を復習しておくこと。 講義終了後にミニテストを行う。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第２回	高齢者の栄養を支えるケア 【key words】

		脱水予防　サルコペニア 【授業概要】 高齢者は脱水を起こしやすい。 なぜ高齢者が脱水を起こしやすいのか、その理由を解説する。 また、高齢者が脱水になる前にどう援助すればいいのかを事例を基に考えていく。 高齢者は栄養状態も悪化しやすく、改善させるのが困難である。 そうした場合の援助方法について事例を基に考えていく。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　p 238～241 【課題・予習・復習・授業準備指示】 栄養状態のアセスメントについて復習しておくこと。 講義終了後にミニテストを行う。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第３回	高齢者の『尊厳』を守る排泄ケア 【key words】 失禁ケア　便秘 【授業概要】 「下の世話になりたくない」という高齢者は多い。 失禁が起こると高齢者の尊厳は損なわれる。 また、失禁は高齢者の生活にも影響を及ぼす。 失禁をなくす援助について事例を基に考えていく。 高齢者では便秘に悩んでいる人も多い。 便秘を改善するためのケアについて考えていく。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　p 161～171 【課題・予習・復習・授業準備指示】 高齢者看護援助論Ⅰで学習した排泄のアセスメントについて復習しておくこと。 講義終了後にミニテストを行う。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第４回	高齢者の『安全』を守るケア 【key words】 リスクマネジメント　環境整備（転倒転落）　医療安全・災害看護　抑制 【授業概要】 高齢者は予期しない危険に巻き込まれることがある。 特に、認知症を抱える高齢者にとっては日常生活が大きなリスクとなることがある。 危険を回避することで、かえって高齢者の行動を制限してしまうこともあるため、リスクマネジメントとそのバランスについて考えを深めていく。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　p 122～146 【課題・予習・復習・授業準備指示】 高齢者の加齢に伴う変化とそのアセスメントについて学習しておくこと。 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　p 86～120 講義終了後にミニテストを行う。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第５回	高齢者へのコミュニケーションケア 【key words】 コミュニケーション　ユマニチュード　バリデーション　ライフストーリー 【授業概要】 高齢者とのコミュニケーションが難しいと感じることがあるかもしれない。 老年期はこれまでの人生を見つめ直す時期であり、それがコミュニケーションにも反映される。 それに加え、加齢による変化もコミュニケーションに影響を及ぼすことがさらにコミュニケーションを難しくする。 また、認知機能が低下している高齢者は孤独を感じることも多く、その心情を理解したコミュニケーションが不可欠である。 この授業では単なる意思疎通だけではなく、コミュニケーションによる高齢者のケアについて深めていく。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　p 198～213 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ワークシートを記載し、期限までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第６回	事例展開①　情報の整理（プロフィールシート）とアセスメント（①身体、②心理、③社会） 【key words】 生活行動モデル、老年看護過程事例展開、アセスメント 【授業概要】 事前に指定された動画で学習したアセスメントツールを基に、事例に対するプロフィールシートおよびアセスメントシート（①身体、②心理、③社会）を作成する。 作成したプロフィールシートおよびアセスメントシート（①身体、②心理、③社会）は次回の授業前までに提出すること。 【教科書ページ・参考文献】 資料 「生活機能からみた老年看護過程」第4版 p 2-51

		系統看護学講座　老年看護学　医学書院　p408～420 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業の予習として、全員が指定された動画を視聴すること。 授業前に視聴しないと、授業中の課題に取り組むことができないため、留意すること。 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	第７回	事例展開②　情報の整理とアセスメント（④睡眠・休息、⑤覚醒・活動、⑥食事） 【key words】 生活行動モデル、老年看護過程事例展開、アセスメント 【授業概要】 各自で作成したプロフィールシート、アセスメントシート（①身体、②心理、③社会）を元に、グループまたはペアでディスカッションを行う。 ディスカッション後、アセスメントの視点を基に、事例に対するアセスメントを進める。 事例展開する中で生じた疑問があれば、質問する。 作成したアセスメントシート（④睡眠・休息、⑤覚醒・活動、⑥食事）は次回の授業前までに提出すること。 【教科書ページ・参考文献】 資料 「生活機能からみた老年看護過程」第4版ｐ2-51 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　p408～420 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業の予習として、全員が指定された動画を視聴すること。 授業前に視聴しないと、授業中の課題に取り組むことができないため、留意すること。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第８回	事例展開③　情報の整理とアセスメント（⑦排泄、⑧身じたく、⑨コミュニケーション） 【key words】 生活行動モデル、老年看護過程事例展開、アセスメント 【授業概要】 各自で作成したアセスメントシート（④睡眠・休息、⑤覚醒・活動、⑥食事）を基に、グループまたはペアでディスカッションを行う。 ディスカッション後、アセスメントの視点を基に、事例に対するアセスメントを進める。 事例展開する中で生じた疑問があれば、質問する。 アセスメントシート（⑦排泄、⑧身じたく、⑨コミュニケーション）を作成し、次回の授業前までに提出すること。 【教科書ページ・参考文献】 資料 「生活機能からみた老年看護過程」第4版ｐ2-51 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　p408～420 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業の予習として、全員が指定された動画を視聴すること。 授業前に視聴しないと、授業中の課題に取り組むことができないため、留意すること。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第９回	事例展開④　病態・生活機能関連図・看護の焦点リストの作成 【key words】 アセスメント　ディスカッション　病態・生活関連図、看護の焦点 【授業概要】 各自で作成したアセスメントシート（⑦排泄、⑧身じたく、⑨コミュニケーション）を基に、グループまたはペアでディスカッションを行う。 その後、病態・生活機能関連図および看護の焦点リストの作成を行う。 病態・生活機能関連図および看護の焦点リストを作成し、次回の授業前までに提出すること。 また、認知機能が低下している高齢者は孤独を感じることも多く、その心情を理解したコミュニケーションが不可欠である。 この授業では単なる意思疎通だけではなく、コミュニケーションによる高齢者のケアについて深めていく。 【教科書ページ・参考文献】 資料 「生活機能からみた老年看護過程」第4版ｐ2-51 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　p408～420 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業の予習として、全員が指定された動画を視聴すること。 授業前に視聴しないと、授業中の課題に取り組むことができないため、留意すること。 【予習復習に必要な想定時間】 5時間
	第１０回	事例展開⑤　看護目標の設定/看護計画の立案 【key words】 看護計画、もてる力 【授業概要】 各自で作成した病態・生活機能関連図・看護の焦点リストを基に、グループまたはペアでディス

		カッションを行う。 その後、看護目標の設定および看護計画の立案を行う。 看護計画用紙を作成し、次回の授業前までに提出すること 【教科書ページ・参考文献】 資料 「生活機能からみた老年看護過程」第4版ｐ2-51 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　p408～420 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業の予習として、全員が指定された動画を視聴すること。 授業前に視聴しないと、授業中の課題に取り組むことができないため、留意すること。 【予習復習に必要な想定時間】 3時間
	第１１回	認知機能に障害がある高齢者のケア　音楽療法①　講義　外部講師（音楽療法士） 【key words】 音楽療法 【授業概要】 音楽療法の効果について、講義を行い、講師による音楽療法を体感する。 また、音楽療法が自分にとってどのような効果を与えたか考察していく。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　ｐ267～278 資料を配布する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 フェイスタオルを1枚持参すること 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第１２回	認知機能に障害がある高齢者のケア　音楽療法②　演習　外部講師（音楽療法士） 【key words】 音楽療法 【授業概要】 講師が持参した楽器を学生も一緒になって、演奏し、音楽療法を体感する。 音楽療法の効果を感じ、音楽療法について考察する。 【教科書ページ・参考文献】 資料を配布する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 資料を基に復習を行う。 配布されたアンケートに記入し提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第１３回	高齢者の『身じたく』を整え、社会性を高めるケア　講義・技術演習 【key words】 整容　髭剃り　メイクセラピー　スキンケア　口腔ケア 【授業概要】 何日か入浴しなかった経験はあるだろか？ 肌はべたつき、不快な感覚になったのではないだろうか？ 男性の高齢者にとっては髭剃りが身だしなみの習慣として根付いている方は多い。 また、女性の高齢者の方では化粧が習慣となっていることも多い。 身じたくをすることで、人は社会とつながろうと思うため、身じたく対するケアは欠かせない。 そうした身じたくを通した社会性を高めるケアについて考えていく。 また、高齢者では皮膚の乾燥や掻痒が問題となることも多い。 スキンケアを通した、高齢者のケアについて考えていく。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　ｐ172～185 【課題・予習・復習・授業準備指示】 基礎看護学で学習した清潔のケア技術について復習しておくこと。 リフレクションシートを期限までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	第１４回	高齢者の『活動』と『休息』を支えるケア　講義・技術演習 【key words】 ポジショニング、褥瘡、廃用症候群予防 【授業概要】 自分で動けない高齢者にとっては、ベッド上が主な生活の場となることも少なくない。それによって褥瘡が発生することがある。 自分の踵や腰に大きな傷があることを想像してもらいたい。 きっと痛みによって、何かをする気にもならないだろう。 褥瘡発生により高齢者のQOLは著しく低下する。 褥瘡発生には複雑な要因が絡み合い、高齢者の場合、一度褥瘡が発生すると改善、治癒させることが難しい。 そのため、褥瘡を予防することが最も重要である。 ではどのようにすれば褥瘡を予防できるのだろうか？ 高齢者の尊厳と快適性を追求したポジショニングについて考えていく。 皆さんは寝過ぎた時に、身体の節々が痛くなった経験はないだろうか？ 身体を動かさないでいると、痛みを生じるが、さらに動かさないままでいると、関節の拘縮が起こり、曲げたままの手足を伸ばすことができなくなってしまう。

	いちど拘縮した手足を元に戻すのも困難である。 では、どのようにすれば拘縮を防げるのだろうか？ この授業では講義および技術演習を通して、こうした問いに対して答えられることを目指す。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　p 142～146 【課題・予習・復習・授業準備指示】 これまで学習した加齢による変化について復習しておくこと。 リフレクションシートを期限までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 2時間 第１５回　高齢者の『心地よさ』を支えるケア　講義・技術演習 【key words】 ハンドマッサージ　疼痛緩和 【授業概要】 病院や施設で過ごす高齢者の方にとっての休息や安楽とは何だろうか？ 心地いいと感じてもらうことは、日々の生活に安らぎをもたらす。 この授業ではハンドマッサージに焦点を当て、アロマテラピーの効果と併せて心地よさを考えていく。 【教科書ページ・参考文献】 資料を配布する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 基礎看護学で学んだ技術（足浴・手浴）について、併せて学習しておく。 リフレクションシートを期限までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講に関わる情報〕 ・本科目は高齢者看護学実習Ⅰ・Ⅱの履修要件となっている。 ・高齢者に特徴的な疾患・症状についてのアセスメントと看護を学ぶため、高齢者看護学概論および高齢者看護援助論Ⅰ、疾患の病態生理・治療と基礎看護学での生活援助の知識や演習内容の復習が必要である。 ・反転授業形式を取るため、指定された動画視聴等の予習を必ず行うこと。 ・高齢者看護過程の演習では、疾患・病態・生活機能を多角的に捉えながら循環する5つの過程について段階を踏み学習していくため、欠席がないよう体調管理に万全を期すこと。 〔受講のルール〕 ・シラバスを必ず確認し、予習復習をして授業に臨むこと。反転授業では予習をしていない場合、授業に遅れをとる場合がある。 ・疑問や不明点については積極的に質問する。 ・他の学生の迷惑になる行為（私語、許可のない携帯電話の使用）は厳禁 ・看護過程の授業ではPC等を忘れず持参すること ・デジタルデータでの提出物は剽窃チェックを行う。一致率が高い場合には再試験または再提出となることがある。 ①講義資料は教科書を予習・復習するためのものであるので授業前後に活用する。 ②課題レポートやワークシートに関しては決められた期限内に提出すること。 ③毎回の講義は学習テーマが異なるため欠席しないようする。 ④出席時間を守る、挨拶をもって授業に臨むことを忘れずに。 ⑤遅刻早退の場合は担当教員に理由を申し出る。申し出のない場合は欠席とする。 ⑥演習は白衣、ナースシューズを着用。頭髪・爪・化粧は「演習室使用時の心構え」に準じない場合は受講を認めない。事前に指定がある場合は指定のジャージ、ポロシャツを着用する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	グーグルフォームにより授業当日に回答する。 出欠確認となることもあるため、毎回必ず提出すること。
授業外時間にかかわる情報	授業に示されるキーワードは教科書や配布された資料を活用し復習をしましょう。
オフィスアワー	毎週金曜日17：00～18：00
評価方法	講義後のミニテスト、ワークシート、リフレクションシート、看護過程の合計70%、定期試験30%で総合評価する。 総合評価においては、ミニテスト、ワークシート、リフレクションシート、看護過程、定期試験の合計が60%を超えることが単位認定及び評価となる。
教科書	・系統看護学講座　老年看護学 ・系統看護学講座　老年看護　病態・疾患論 ・「生活機能からみた老年看護過程」第4版 ・講義資料を配布
参考書	老年看護学関連出版物、随時資料を提示。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 病院における高齢者看護の実践 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート

	■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 高齢者看護援助論Ⅲ　　授業コード：10112

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年次	1単位(15)	必修
担当教員			
劔持貴史　平出恵子　角田幸恵			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 慢性疾患や健康障害を併せもつ高齢者の特徴を捉え、「もてる力」を引き出すための看護援助の視点および生活機能に基づく看護過程の展開技術、看護実践力を修得する。 〔授業の到達目標〕 ①高齢者の看護過程展開に用いる生活行動モデルについて述べることができる。 ②老年期にある対象の特徴を理解し、生活機能の観点からアセスメントできる。 ③高齢者が望む生活や状態を見据えた目標志向型思考の看護展開ができる。 ④事例患者を通して、その人の「もてる力」を活かした高齢者に必要な看護援助の方法が記述できる。
授業の概要	本科目では、高齢者の「もてる力」を引き出す生活機能重視の看護を学習し、生活行動モデルによる看護過程の考え方を理解する。また、その人らしく生活を営むことができるよう、事例を通して目標志向型思考に合わせた看護の焦点を抽出し、高齢者とその家族の望む生活をめざした看護過程の展開技術を学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	○
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画	第１回	事例展開①　情報の整理（プロフィールシート） 【key words】 生活行動モデル、老年看護過程事例展開、アセスメント 【授業概要】 シラバス説明を行う。 事前に指定された動画で学習したアセスメントツールを基に、事例に対するプロフィールシートを作成する。 作成したプロフィールシートは第３回の授業前までに提出すること。 【教科書ページ・参考文献】 資料 「生活機能からみた老年看護過程」第4版ｐ2-51 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　p408～420 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業の予習として、全員が指定された動画を視聴すること。 授業前に視聴しないと、授業中の課題に取り組むことができないため、留意すること。 【予習復習に必要な想定時間】 3時間
	第２回	事例展開②　情報の整理（①身体、②心理、③社会） 【key words】 生活行動モデル、老年看護過程事例展開、アセスメント 【授業概要】 事前に指定された動画で学習したアセスメントツールを基に、事例に対するアセスメントシート（①身体、②心理、③社会）を作成する。 作成したアセスメントシートは第３回の授業前日までに提出すること。 【教科書ページ・参考文献】 資料 「生活機能からみた老年看護過程」第4版ｐ2-51 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　p408～420

		【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業の予習として、全員が指定された動画を視聴すること。 授業前に視聴しないと、授業中の課題に取り組むことができないため、留意すること。 【予習復習に必要な想定時間】 5時間
	第３回	事例展開③　情報の整理とアセスメント（④睡眠・休息、⑤覚醒・活動） 【key words】 生活行動モデル、老年看護過程事例展開、アセスメント 【授業概要】 各自で作成したプロフィールシート、アセスメントシート（①身体、②心理、③社会）を元に、グループまたはペアでディスカッションを行う。 ディスカッション後、アセスメントの視点を基に、事例に対するアセスメントを進める。事例展開する中で生じた疑問があれば、質問する。 作成したアセスメントシート（④睡眠・休息、⑤覚醒・活動）は第5回の授業前日までに提出すること。 【教科書ページ・参考文献】 資料 「生活機能からみた老年看護過程」第4版ｐ2-51 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　p408～420 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業の予習として、全員が指定された動画を視聴すること。 授業前に視聴しないと、授業中の課題に取り組むことができないため、留意すること。 【予習復習に必要な想定時間】 3時間
	第４回	事例展開④　情報の整理とアセスメント（⑥食事、⑦排泄） 【key words】 生活行動モデル、老年看護過程事例展開、アセスメント 【授業概要】 アセスメントの視点を基に、事例に対するアセスメントを進める。事例展開する中で生じた疑問があれば、質問する。 アセスメントシートを作成し、次回の授業前までに提出すること。 【教科書ページ・参考文献】 資料 「生活機能からみた老年看護過程」第4版ｐ2-51 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　p408～420 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業の予習として、全員が指定された動画を視聴すること。 授業前に視聴しないと、授業中の課題に取り組むことができないため、留意すること。 【予習復習に必要な想定時間】 ５時間
	第５回	事例展開⑤　情報の整理とアセスメント（⑧身じたく、⑨コミュニケーション） 【key words】 生活行動モデル、老年看護過程事例展開、アセスメント 【授業概要】 各自で作成したアセスメントシート（④睡眠・休息、⑤覚醒・活動、⑥食事、⑦排泄）を基に、グループまたはペアでディスカッションを行う。 ディスカッション後、アセスメントの視点を基に、事例に対するアセスメントを進める。事例展開する中で生じた疑問があれば、質問する。 アセスメントシートを作成し、第7回授業前日までに提出すること。 【教科書ページ・参考文献】 資料 「生活機能からみた老年看護過程」第4版ｐ2-51 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　p408～420 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業の予習として、全員が指定された動画を視聴すること。 授業前に視聴しないと、授業中の課題に取り組むことができないため、留意すること。 【予習復習に必要な想定時間】 5時間
	第６回	事例展開⑥ 病態・生活機能関連図・看護の焦点リストの作成 【key words】 アセスメント ディスカッション 病態・生活関連図、看護の焦点、共有、 【授業概要】 病態・生活機能関連図および看護の焦点リストの作成を行う。 病態・生活機能関連図および看護の焦点リストを作成し、第7回の授業前日までに提出すること。 【教科書ページ・参考文献】 資料 「生活機能からみた老年看護過程」第4版ｐ2-51 系統看護学講座　老年看護学　医学書院　p408～420 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業の予習として、全員が指定された動画を視聴すること。 授業前に視聴しないと、授業中の課題に取り組むことができないため、留意すること。 【予習復習に必要な想定時間】 5時間
	第７回	事例展開⑦ 看護目標の設定/看護計画の立案 【key words】

	看護計画、もてる力 【授業概要】 各自で作成したアセスメント（⑧身じたく、⑨コミュニケーション）および病態・生活機能関連図・看護の焦点リストを基に、グループまたはペアでディスカッションを行う。 その後、看護目標の設定および看護計画の立案を行う。 看護計画用紙を作成し、指定された日時までに提出すること。 【教科書ページ・参考文献】 資料 「生活機能からみた老年看護過程」第4版ｐ2-51 系統看護学講座 老年看護学 医学書院 p408～420 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業の予習として、全員が指定された動画を視聴すること。 授業前に視聴しないと、授業中の課題に取り組むことができないため、留意すること。 【予習復習に必要な想定時間】 3時間
	第８回　看護過程演習まとめ 【key words】 看護計画、グループワーク、ディスカッション 【授業概要】 これまで作成した看護過程の展開全体についてグループまたはペアでディスカッションし、老年看護過程の参考書と照らし合わせ、自身の看護過程の展開を振り返る。 【教科書ページ・参考文献】 資料 「生活機能からみた老年看護過程」第4版ｐ2-51 系統看護学講座 老年看護学 医学書院 p408～420 【課題・予習・復習・授業準備指示】 看護過程の展開を仕上げ、期日までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 5時間
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講に関わる情報〕 ・本科目は高齢者看護学実習Ⅰ・Ⅱの履修要件となっている。 ・反転授業形式を取るため、指定された動画視聴等の予習を必ず行うこと。 ・高齢者看護過程の演習では、疾患・病態・生活機能を多角的に捉えながら循環する5つの過程について段階を踏み学習していくため、欠席がないよう体調管理に万全を期すこと。 〔受講のルール〕 ・シラバスを必ず確認し、予習をして授業に臨むこと。予習をしていない場合、授業に遅れをとる場合がある。 ・疑問や不明点については積極的に質問する。 ・他の学生の迷惑になる行為（私語、許可のない携帯電話の使用）は厳禁。 ・グループワークでは、全員参加で活発な意見交換ができるように、個人の演習記録を整理して臨むこと。 ・PC等を忘れず持参すること ・本科目はデジタルデータでの提出が主となる。剽窃チェックをした上で一致率が高い場合には再試験または再提出となることがある。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	グーグルフォームによりコメントカードを提出する
授業外時間にかかわる情報	・高齢者看護学概論および高齢者援助論Ⅰ・Ⅱについて復習しておく。 ・個人ワークシートを時間外にも進める。
オフィスアワー	金曜日17：00～18：00
評価方法	・看護過程展開の個人ワークシート80%/授業への参加状況および提出物の提出状況20%
教科書	系統看護学講座　老年看護学　医学書院 系統看護学講座　老年看護学　病態・疾患論　医学書院
参考書	・生活機能からみた老年看護過程　第４版　医学書院,2020
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 病院における高齢者看護の実践 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等）

	■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 高齢者看護学実習Ⅰ(老人保健施設等)　　授業コード：10113

英文科目名称： Practices of nursing for elderly people 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	３年次	2単位(90)	必修
担当教員			
平出　恵子　角田　幸恵　劔持　貴史			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 多様化する高齢者の生活の場を理解し、他職種と協働して高齢者の健康生活を支えるために必要な看護を実践する能力を養う。 〔到達目標〕 ①多様化する高齢者の生活の場が理解できる。 ②高齢者の身体的・精神的・社会的特徴とライフステージが理解できる。 ③認知症高齢者とのコミュニケーション方法について理解できる。 ④他職種との連携を通して施設における看護師の役割・機能について理解する。 ⑤高齢者の人権を尊重する態度を養い、高齢者観を深めることができる。
授業の概要	老人保健施設及び老人福祉施設でそれぞれ１週間ずつ（計２週間）、各施設において実習を行う。 １．実習期間及び実習時間 期　間：前期実習　2023年5月8日（月）～ 2023年7月14日（金） 後期実習　2023年10月2日（月）～ 2023年11月3日（金） 時　間：8:30～16:00（原則） ※実習施設の時間に準じて実習していく 2．実習単位及び時間数 高齢者看護学実習Ⅰ:2単位　90時間 3．履修要件 以下の単位を修得している者が、高齢者看護学実習に臨むことができる。 1)人体構造機能学Ⅰ～Ⅴ 2)疾病・治療論各論Ⅰ～Ⅴ 3)基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ 4)高齢者看護学概論 5)高齢者看護援助論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	◎
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	○
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回　　実習要項参照 第２回 第３回 第４回 第５回 第６回 第７回 第8回

	第9回 第10回
受講生に関わる情報および受講のルール	実習要項（共通・高齢者看護学実習）、オリエンテーション用紙を参照し遵守すること。 ①入所者及び通所者のプライバシーを守るために個人情報の取り扱いには特に注意する。 ②遅刻・欠席の場合はグループリーダー、担当教員、大学に必ず8時30分までに連絡する。 ③事前に連絡ができない場合は大学事務局に必ず連絡する。 ④実習時間外には実習施設へ出入りしない。 ⑤学生単独での援助は絶対に行わない。 ⑥事故の危険がある場合、直ちに近くにいる職員に報告する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	実習要項参照
授業外時間にかかわる情報	授業中に指示する
オフィスアワー	実習要項参照
評価方法	1）実習目的の到達度を中心に以下の視点で総合的に評価する。 ①実習場面②実習へのとりくみ③実習記録、事前・事後レポート 2）担当教員の意見・指導者・スタッフの意見を参考とし、高齢者看護領域の会議において最終判定する。 3）成績評価は１００点満点とし60点以上を合格とする。 4）所定の実習時間の5分の4に満たない場合は、成績評価及び単位認定を受けられない。 5）記録などの提出遅れは、成績評価に影響する。 ６)実習評価の結果、合格した者は所定の単位を習得できる。
教科書	系統的看護学講座専門分野Ⅱ　老年看護学　第9版　第3刷　医学書院 生活機能から見た　老年看護過程＋病態・生活機能関連図　第3版　第2刷　医学書院（2017）
参考書	系統看護学講座専門分野Ⅱ　老年看護病態・疾患論（医学書院）
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 高齢者看護学実習Ⅱ(医療施設等)　　授業コード：10114

英文科目名称： Practices of nursing for elderly people 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	３年次	2単位(90)	必修
担当教員			
剱持　貴史　平出　恵子　中嶋　朋子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 医療施設における多様で個別的な健康障害をもつ高齢者とその家族を総合的に理解し、対象のもてる力を活かしながら、健康の回復・維持・増進を図る看護を実践するための基礎的能力を養う。 〔到達目標〕 ①高齢者の健康障害と特性、個別性、治療を踏まえ、対象および家族のもてる力を活かした看護過程の展開ができる。 ②保健・医療・福祉チームメンバーとの連携を通して、期待される看護師の役割が理解できる。 ③高齢者および家族が必要としている社会資源が理解できる。 ④地域に向けた、継続看護の必要性が理解できる。 ⑤高齢者の人権を尊重する態度と高齢者観を深め、今後の自己の課題を明確にできる。
授業の概要	1. 実習期間及び実習時間 実習期間： 実習要項参照 時　間：8:300～16:00（原則） ※実習施設の時間に準じて実習していく 2. 実習単位及び時間数 高齢者看護学実習Ⅱ:2単位　90時間 3. 履修要件 以下の単位を修得している者が、高齢者看護学実習に臨むことができる。 1)人体構造機能学Ⅰ～Ⅴ 2)疾病・治療論各論Ⅰ～Ⅴ 3)看護基礎実習Ⅰ・Ⅱ 4)高齢者看護学概論 5)高齢者看護援助論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	○
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回　　実習要項参照 第２回 第３回 第４回 第５回 第６回 第７回 第８回

	第９回 第１０回
受講生に関わる情報および受講のルール	実習要項（共通・高齢者看護学実習）、オリエンテーション用紙を参照し遵守すること。 ①入所者及び通所者のプライバシーを守るために個人情報の取り扱いには特に注意する。 ②遅刻・欠席の場合はグループリーダー、担当教員、大学に必ず8時30分までに連絡する。 ③事前に連絡ができない場合は大学事務局に必ず連絡する。 ④実習時間外には実習施設へ出入りしない。 ⑤学生単独での援助は絶対に行わない。 ⑥事故の危険がある場合、直ちに近くにいる職員に報告する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	実習要項参照
授業外時間にかかわる情報	授業中に指示する。
オフィスアワー	実習要項参照
評価方法	1）実習目的の到達度を中心に以下の視点で総合的に評価する。 ①実習場面②実習へのとりくみ③実習記録、事前・事後レポート 2）担当教員の意見・指導者・スタッフの意見を参考とし、高齢者看護領域の会議において最終判定する。 3）成績評価は１００点満点とし60点以上を合格とする。 4）所定の実習時間の5分の4に満たない場合は、成績評価及び単位認定を受けられない。 5）記録などの提出遅れは、成績評価に影響する。 ６）実習評価の結果、合格した者は所定の単位を習得できる。
教科書	系統的看護学講座専門分野Ⅱ　老年看護学　第9版　第5刷　医学書院（2018） 生活機能から見た　老年看護過程＋病態・生活機能関連図　第4版　第1刷　医学書院（2020）
参考書	系統看護学講座専門分野Ⅱ　老年看護病態・疾患論（医学書院）
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 在宅看護学実習　　授業コード： 10118

英文科目名称： Practices of home nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	３年次	2単位(90)	必修
担当教員			
塚越　八重子　　矢内つや子　　篠原百合子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕健康上の問題を持ちながら家庭で生活する対象を理解し、看護の実際を学ぶ。 1. 自宅あるいは自宅以外の居宅（グループホーム、ケアハウス、有料老人ホームなど）における療養者とその家族の多様な生活を理解できる。 2. 在宅の看護過程を理解できる。 3. 訪問看護師として倫理的配慮のもとに看護を提供する意義を理解できる。 4. 在宅療養・外来通院治療時における（退院支援部門含む）における在宅療養支援の重要性を理解できる。 5. 訪問看護ステーションの特徴・機能が理解できる。 6. 在宅ケアサービス及び関係機関・関係職種の関わりを理解できる。 7. 看護者としての自己の役割を理解できる。
授業の概要	健康上の問題を持ちながら家庭で生活する対象を理解するために、群馬県内訪問看護ステーションにおける看護師との同行訪問を通じて、自宅あるいは自宅以外の居宅（グループホーム、ケアハウス、有料老人ホームなど）における療養者とその家族の多様な生活をする人々への看護の実際を学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回　　別紙実習要項参照
受講生に関わる情報および受講のルール	1)在宅看護論実習では生活の場や保健福祉行政機関等、様々な住民がいる場につくため、施設の内外を問わず言動には十分注意し、不用意に対象者の話をしない等、社会人として責任ある態度で臨むこと。 2)訪問看護では対象者・家族がホスト、看護師がゲストという立場である。常に対象者・家族の了解と協力を得るよう務め、言葉づかいや身だしなみに注意を払うこと。 3)訪問看護ステーションから提供された情報や実習記録等、個人のプライバシーに関わる記録物については取り扱いに十分注意し、放置・紛失しないこと。 4)服装・身だしなみは他家を訪問するマナーに見合ったもの、看護行為の提供に支障のないものに心掛けること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	その都度、適切に対応する。
授業外時間にかかわる情報	当日のまとめと考察、翌日の体験内容について調べ学習をして臨む。
オフィスアワー	実習日の14 - 16時。
評価方法	①出席状況。 ②実習内容:実習目的･目標に対する達成状況。 ③実習態度。 ④実習記録･レポート。

	※実習時間の4/5以上の出席を要する。
教科書	教科書:臺　有桂他編：ナーシンググラフィカ 在宅看護論①　地域療養を支えるケア.メディカ出版.2019. 臺　有桂他編：ナーシンググラフィカ 在宅看護論②　在宅療養を支える技術.メディカ出版.2018.
参考書	参考書：正野逸子・本田影子編著：関連図で理解する在宅看護過程.メヂカルフレンド社出版.2018.
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 総合病院病棟や訪問看護ステーション勤務、介護支援専門員資格を有し、在宅看護学に関する研修会、勉強会、研究を行っている。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 公衆衛生看護学原論　　授業コード： 10122

英文科目名称： Principles of nursing in public health

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年次	1単位(15)	選択
担当教員			
大野　佳子　　橋本　いずみ			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 公衆衛生看護の基盤となる専門職の実践について考え、学ぶ。 【到達目標】 ①公衆衛生看護の定義を理解する。 ②公衆衛生看護の倫理について理解する。
授業の概要	公衆衛生看護活動の基盤となる基本理念と専門職の道徳的側面について理解する。公衆衛生看護の対象の多様性について学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	◎
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	△

授業計画

第１回　科目オリエンテーション　公衆衛生看護とは①

【key words】
講義の受け方、公衆衛生看護、基本的人権、公衆衛生看護の定義
【授業概要】
１）講義の受け方、予習・復習、評価方法について説明する。
２）公衆衛生看護の定義について学ぶ。
３）社会の人々の健康を守るということについて考える。
４）小テスト
【教科書ページ・参考文献】
教科書： 公衆衛生看護学.Jp. 第５版データ更新版　インターメディカル. p.4-13
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：事前課題について考え、まとめておく。
復習：教科書を読みなおし、要点をまとめる。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第２回　公衆衛生看護とは②

【key words】
公衆衛生看護、基本的人権、公衆衛生看護の定義
【授業概要】
１）公衆衛生看護の定義について学ぶ。
２）社会の人々の健康を守るということについて考える。
３）小テスト
【教科書ページ・参考文献】
教科書：公衆衛生看護学.Jp.第５版データ更新版 インターメディカル.　p.4-13
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の該当ページをよく読む。
課題：教科書を読みなおし、要点をまとめる。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第３回　公衆衛生看護の対象①

【key words】
公衆衛生看護の対象　公衆衛生看護の機能　社会的決定要因
【授業概要】
１）公衆衛生看護の対象、公衆衛生看護の3機能について理解する。
２）小テスト
【教科書ページ・参考文献】
教科書：公衆衛生看護学.Jp.第５版データ更新版 インターメディカル. p.103-117
【課題・予習・復習・授業準備指示】

	予習：教科書の該当ページをよく読む。 課題：教科書を読みなおし、要点をまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第４回　公衆衛生看護の対象② 【key words】 公衆衛生看護の対象　公衆衛生看護の機能　社会的決定要因 【授業概要】 １）健康に及ぼす社会的決定要因について理解する。 ２）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 教科書：公衆衛生看護学.Jp.第５版データ更新版 インターメディカル.p.61-100 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当ページをよく読む。 課題：教科書を読みなおし、要点をまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第５回　公衆衛生看護の倫理 【key words】 公衆衛生看護の倫理、保健師活動　看護師の倫理綱領 【授業概要】 １）公衆衛生看護における倫理について理解する。 ２）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 教科書：公衆衛生看護学.Jp. 第５版データ更新版　インターメディカル.　p.529-533 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当ページをよく読む。 復習：配布資料を復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第６回　保健師のコンピテンシー 【key words】 保健師のコンピテンシー　保健師の基本的能力　保健師の専門的能力 【授業概要】 １）コンピテンシーについて理解し、保健師に求められる能力について学ぶ。 ２）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 教科書：公衆衛生看護学.Jp.第５版データ更新版 インターメディカル. p.528-549 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当ページをよく読む。 復習：配布資料を復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第７回　公衆衛生看護の歴史 【key words】 公衆衛生看護の歴史 【授業概要】 １）公衆衛生看護の歴史を知り、社会情勢ともに変遷する公衆衛生看護と保健師の役割と共に、変わることの無い公衆衛生看護と保健師の在り方について学ぶ。 ２）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 教科書：公衆衛生看護学.Jp. 第５版データ更新版　インターメディカル.　p.22-38 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当ページをよく読む。 復習：配布資料を復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第８回　試験 【key words】 【授業概要】 これまでの学びを確認するとともに深める。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：公衆衛生看護学.Jp.第５版データ更新版　インターメディカル. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当ページをよく読む。 復習：教科書を読みなおし、要点をまとめる。配布資料を復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講のルール〕 ・授業シラバスを必ず確認し、積極的に授業に臨むこと。 ・携帯電話は机上に置かないこと。 ・レポート等の課題について、提出期限を厳守すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	授業に関わる事柄について予習をして授業に臨むこと。 終了した授業に関しては必ず復習をすること。
オフィスアワー	授業開始日に提示する。

評価方法	筆記試験（客観的）70%、レポート課題等　30%
教科書	荒賀直子・後閑容子編：公衆衛生看護学.Jp. 第５版データ更新版　インターメディカル.
参考書	保健の科学実戦シリーズ　行政看護学　講談社 国民衛生の動向　2022/2023　厚生労働統計協会 授業中適宜紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 公衆衛生看護活動論Ⅰ　　授業コード： 10123

英文科目名称： Theories of nursing activity in public health 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年次	2単位(30)	選択
担当教員			
橋本　いずみ　　大野　佳子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 １．公衆衛生看護活動における対人支援活動を展開するために健康診査の概念を学び、保健分野に応じた健康診査について理解する。 ２．地域組織活動を展開するために地域組織活動に関わる概念、地域ケアシステムの構築の概念とネットワーク化について理解する。 〔到達目標〕 ①健康診査の仕組みと目的、対象、技術を理解する。 ②乳幼児健康診査の意義と仕組み、特に３歳児健康診査について説明できる。 ③３歳児健康診査を受診する児の事例のアセスメントを行い、健康上の課題を考えることができる。 ④３歳児健康診査の実際を演じ学ぶことができる。 ⑤特定健康診査・特定保健指導の意義と仕組みを説明できる。 ⑥行動変容ステージに応じた特定保健指導を考え計画することができる。 ⑦地域組織活動とは何か説明できる。 ⑧地域組織活動における保健師の役割と用いられる概念について説明できる。 ⑨当事者組織と地域組織活動の実際について具体的に述べることができる。 ⑩地域ケアシステムについて説明できる。 ⑪地域ケアシステムにおける保健師の役割を述べることができる。 ⑫ネットワークの形成とケースマネジメントについて述べることができる。
授業の概要	・健康診査の学習 ・３歳健康診査を受診する３歳児の事例のアセスメント ・３歳児健康診査の実際、問診、身体計測、診察、保健指導における保健師の役割の実際（グループ演習） ・特定健康診査・特定保健指導の実際、事例展開、初回指導計画 ・地域組織活動、地域ケアシステムについての学習 ・授業各回終了時の小テスト

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	△
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	科目オリエンテーション、健康診査の仕組みと目的、対象、技術を理解する。 【key words】 健康診査 【授業概要】 １）講義計画、講義の受け方、予習・復習、評価方法について説明する。 ２）健康診査についての講義を行う。 ３）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：シラバスの確認、授業の目的と到達目標の確認、授業内容の予習。教科書該当ページの予習を行う。 課題：授業開始前課題「乳幼児健診時期における標準的な発達状況（シート）」行い、提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分

	第２回	健康診査の仕組みと目的、対象、技術を理解する。 【key words】 健康診査 【授業概要】 １）健康診査についての講義 ２）次回までに行う課題「3歳児健康診査事業概要（シート）」の提示 ３）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：第1回授業と同様 課題：第1回授業と同様 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第３回	乳幼児健康診査の意義と仕組み、特に3歳児健康診査について説明できる 【key words】 乳幼児健康診査、3歳児健康診査 【授業概要】 １）乳幼児健康診査、３歳児健康診査についての講義 ２）3歳児健康診査事業概要の説明（事前課題をもとに） ３）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：健康診査について教科書該当ページの予習学習をする。 課題：3歳児健康診査の事業概要を授業開始前の課題とし、提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第４回	乳幼児健康診査の意義と仕組み、特に3歳児健康診査について説明できる 【key words】 乳幼児健康診査、３歳児健康診査、アセスメント 【授業概要】 １）乳幼児健康診査、３歳児健康診査についての講義 ２）3歳児健康診査事業概要の説明（事前課題をもとに） ３）3歳児健康診査を受診する児の事例紹介とアセスメント ４）次回の課題「3歳児健康診査受診事例のアセスメント」の提示 ５）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：健康診査について教科書該当ページの予習学習をする。 復習：3歳児健康診査の事業概要の復習 課題：3歳児健康診査受診事例のアセスメントを次回までに仕上げる。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第５回	３歳児健康診査を受診する児事例のアセスメント、健康上の課題を述べることができる 【key words】 ３歳児健康診査、乳幼児の発育・発達、アセスメント、健康課題、健診後の支援 【授業概要】 １）３歳児健康診査を受ける児の事例のアセスメントと健康課題を考える。 ２）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：３歳児健康診査について、健康診査後の課題に対する支援の実際について予習学習する。 課題：３歳児健康診査を受診する児のアセスメントを行い健康上の課題を考えシートを仕上げて授業に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第６回	３歳児健康診査を受診する児事例のアセスメント、健康上の課題を述べることができる 【key words】 ３歳児健康診査、健康診査従事者、健康診査での保健師の役割 【授業概要】 １）３歳児健康診査を受ける児の事例のアセスメントと健康課題を考える。 ２）次回（7-８回目）の演習説明 ３）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-54 【課題・予習・復習・授業準備指示】

		予習：３歳児健康診査について、健康診査後の課題に対する支援の実際について予習学習する。：
		【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第７回	３歳児健康診査の実際を学ぶことができる 【key words】 ３歳児健康診査、健康診査従事者、健康診査での保健師の役割 【授業概要】 １）演習にて3歳児健康診査を受診する児の事例をグループで体験する。 ２）問診、計測・診察、保健指導の場面の保健師、母親役などを演じ、3歳児健康診査の実際を学ぶ。 ３）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：３歳児健康診査の、問診、計測・診察、保健指導における保健師の役割を予習学習する。 授業準備：次回演習で、事例が3歳児健康診査を受ける場面を想像し、各役割に沿って演じる準備をしておく。
		【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第８回	３歳児健康診査の実際を学ぶことができる 【key words】 ３歳児健康診査、健康診査従事者、健康診査での保健師の役割 【授業概要】 １）演習にて3歳児健康診査を受診する児の事例をグループで体験する。 ２）問診、計測・診察、保健指導の場面の保健師、母親役などを演じ、3歳児健康診査の実際を学ぶ。 ３）演習の自己評価、他者評価を行う。 ４）次回までの課題「特定健康診査・特定保健指導の仕組み」の提示を行う。 ５）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：３歳児健康診査の、問診、計測・診察、保健指導における保健師の役割を予習学習する。 授業準備：次回演習で、事例が3歳児健康診査を受ける場面を想像し、各役割に沿って演じる準備をしておく。
		【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第９回	3歳児健康診査演習の振り返り、まとめ 【key words】 ３歳児健康診査、健康診査従事者、健康診査での保健師の役割 【授業概要】 １）3歳児健康診査の演習で演じた保健師の役割を振り返って確認し学習する。保健師が健康診査に従事する姿勢をや態度について意見を出し合い学習する。3歳児健康審査に来所する養育者の気持ちや心情を話し合い学習する。 ２）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：特定健康診査、特定保健指導について 復習：第1回～4回講義内容 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第１０回	特定健康診査・特定保健指導の意義と仕組みを理解することができる 【key words】 特定健康診査・特定保健指導、階層化、行動変容ステージ 【授業概要】 １）課題「特定健康診査・特定保健指導の仕組み」をもとに、講義形式で行う。 ２）特定健康診査事例の提示を行う。 ３）特定健康診査の事例をアセスメントする。 ４）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：特定健康診査、特定保健指導について 課題：「特定健康診査・特定保健指導の仕組み」 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第１１回	行動変容ステージに応じた特定保健指導を考え計画することができる 【key words】 特定健康診査、特定保健指導、階層化、行動変容ステージ 【授業概要】

	１）特定健康診査事例を階層化し、特定保健指導パターンを選択する。 ２）行動変容ステージに応じた特定保健指導のアプローチを取り入れて、保健指導計画を立案する。 ３）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：行動変容ステージについて学習する 課題：第10回提示事例の特定保健指導計画を各自しあげる 【予習復習に必要な想定時間】 90分
第１２回	行動変容ステージに応じた特定保健指導を考え計画することができる 【key words】 特定健康診査、特定保健指導 【授業概要】 １）各自が立案した保健指導計画を事例ごとに紹介し、それらを合わせて事例ごと１計画を作成する。 ２）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：特定健康診査・特定保健指導について、階層化、行動変容ステージについて 【予習復習に必要な想定時間】 90分
第１３回	地区組織活動、地域ケアシステム 【key words】 地域組織、自治体、ボランティア組織、エンパワーメント 【授業概要】 １）地区組織活動の実際を学ぶ ２）地域組織活動における保健師の役割について理解を深める。 ３）地域ケアシステムの概念を理解する。 ４）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　医学書院 p.208-261 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書 p.208～261をよく読む。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
第１４回	地区組織活動、地域ケアシステム 【key words】 地域組織活動における保健師の役割、地域包括ケアシステムづくり支援 【授業概要】 １）地区組織活動の実際を学ぶ ２）地域組織活動における保健師の役割について理解を深める。 ３）地域ケアシステムの概念を理解する。 ４）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　医学書院 p.208-261 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書 p.208～261をよく読む。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
第１５回	行動変容ステージに応じた特定保健指導を考え計画し発表する 【key words】 特定健康診査、特定保健指導 【授業概要】 １）計画発表 ２）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：1-14回の講義内容や資料、演習内容やまとめの内容を復習して授業に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ①演習時の服装は、普段着で良いが、保健師としてふさわしい身だしなみとする。 ②学習前に事前資料に必ず目を通し、事前学習、事前課題の提出期限を把握しておくこと。 ③授業・演習へは積極的な姿勢で臨むこと。 〔受講のルール〕 ①授業シラバスを必ず確認し、積極的に授業に臨むこと。

	②指示のあった授業資料は授業開始までに印刷をしておくこと。 ③授業に必要なもの以外は机上に置かない。 ④原則カメラをオンにして受講する。（zoom授業の場合） ⑤呼名時に反応がない場合は、途中退席とみなし欠席とする。（zoom授業の場合） ⑥出欠確認は授業開始時の入室又は呼名確認と授業後のコメントシートの提出の両方とする（zoom授業の場合）。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	３歳児健康診査事例のアセスメント、特定保健指導事例展開においてはグループまたはペアにて内容を共有し、協力し合いながら時間外も有効的に活用すること。
オフィスアワー	授業開始日に提示する。
評価方法	①定期試験60％ ②事前課題・課題20％ ③演習20％
教科書	・標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　医学書院 ・最新　保健学講座5　公衆衛生看護管理論　メヂカルフレンド社
参考書	・標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護活動　医学書院 ・公衆衛生看護学jp第5版データ更新版　インターメディカル ・保健の実践科学シリーズ　行政看護学　講談社 ・国民衛生の動向　2022／2023　厚生労働統計協会
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 公衆衛生看護活動論Ⅱ　　授業コード： 10124

英文科目名称： Theories of nursing activity in public health 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年次	2単位(30)	選択
担当教員			
橋本　いずみ　　大野　佳子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的・到達目標〕 　地域を構成する人々の心身の健康、疾病、障害の予防、発生、回復、改善の過程のアセスメント及び健康課題の明確化について理解するとともに、人々が主体的に健康問題を解決できるよう地域の特性を踏まえ適切な接近方法・技術の選択及び支援方法を理解する。 〔到達目標〕 １．対人支援に有効な理論の概要を述べられる。 ２．「個」「家族」への援助技術である家庭訪問の目的、対象、展開方法の概要を述べられる。 ３．家庭訪問のプロセスを理解し、対象把握、優先度、接近技法・技術を使って学内において模擬的に展開することができる。 ４．健康相談の対象、方法が述べられる。 ５．健康相談、個人に対する健康教育に関する理論を使って学内において模擬的な健康相談を実施することができる。 ６．ライフステージ毎の対象者の発達課題、健康課題を理解し、保健指導に必要な基礎知識を述べられる。
授業の概要	①保健指導、家庭訪問の目的、対象、プロセスについて学ぶ。 ②保健指導を模擬的に実施する。 ③家庭訪問を模擬的に実施する。 ④授業終了時には各回小テストを実施する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　科目オリエンテーション　保健行動理論

【key words】
ヘルスプロモーション　ＱＯＬ　自己決定　自立　問題解決型　目標達成型

【授業概要】
①対人支援の重要な視点として、健康の社会的決定要因を理解する。
②対象者に対し健康を全人的に捉え潜在能力・主体性を重視すること理解し具体的な支援方法を学ぶ。
③対人支援計画の立案の方法と手順を理解する。
③対人支援としての保健指導、家庭訪問を理解する。
④カウンセリング、コーチングの技法の概要を理解する。
⑤小テスト

【教科書ページ・参考文献】
教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　3章
参考書：国民衛生の動向

【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読して臨むこと。配布資料を整理するためのＡ４ファイルを持参し、授業内容の整理し復習する。

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第２回　対人保健活動の基本　【演習】対人支援の実際　面接技術

【key words】
面接　コミュニケーション　　聴き手　言語　非言語

【授業概要】
①地域住民の様々な生活を捉えるための多様な知識と考え方を学ぶ。
②基本的面接技術を理解する。

		③健康問題への支援について、対象に即した支援方法を学ぶ。 ④保健指導のプロセスを理解し、実際の流れをイメージできる。 ⑤小テスト ⑤家庭訪問のプロセスを理解し、実際の流れをイメージできる。、 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　4章 参考書：国民衛生の動向 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読して臨むこと。授業後は資料・ノートを整理し学んだこと自分で説明できるようにする。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分
	第３回	健康課題アセスメント　健康相談　【演習】保健指導計画の作成 【key words】 保健指導　アセスメント　健康問題　　優先順位　行動変容 【授業概要】 ①健康相談がどのような目的・対象に行われいるのか理解する。 ②保健師が行う保健指導の特徴を捉える。 ③保健指導の方法と対象者の選定基準など具体的実施方法を理解する。 ④事例の保健指導案を作成する。 ⑤小テスト 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　4章 参考書：国民衛生の動向 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読して臨むこと。授業後は資料・ノートを整理し学んだこと自分で説明できるようにする。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分 ６０分
	第４回	【演習】保健指導案の作成① 【key words】 家族の健康問題課題　主体性　自己決定　行動変容　習慣化 【授業概要】 ①事例から作成した保健指導案の演習を行う。 ②学生が2人一組となり、保健師役と指導受ける側役で、指導案の実際の保健指導を行う。 ③保健指導の流れ、保健指導におけるコミュニケーションの特徴を学ぶ。 ④小テスト 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　4章 参考書：公衆衛生看護学　ＪＰ　ｐ６１－７１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読して臨むこと。授業後は資料・ノートを整理し学んだこと自分で説明できるようにする。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
	第５回	【演習】保健指導案の作成② 【key words】 メタボリックシンドローム　動機づけ支援　積極的支援 【授業概要】 ①健康問題を抱えた身近な家族等に、同意を得て、保健指導の対象者として選定する。 ②健康問題について、基本的知識を整理し、どのような保健指導が適切かを考え、指導ポイントを絞る。 ③保健指導の指導案を作成する。 ④保健指導に必要なリーフレットを作成す。 ⑤小テスト 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　4章 参考書：公衆衛生看護学　ＪＰ　ｐ６１－７１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 保健指導に必要な知識の習得 保健指導対象者の理解を深める 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
	第６回	【演習】保健指導案・指導用リーフレットの作成 【key words】 メタボリックシンドローム　動機づけ支援　積極的支援 【授業概要】 ①保健指導の指導案を作成する。 ②保健指導用リーフレット（A4を1枚程度）の作成 ③小テスト 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　4章 参考書：公衆衛生看護学　ＪＰ　ｐ６１－７１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 保健指導案の作成 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分 ９０分
	第７回	家庭訪問による支援の展開　DVD視聴 【key words】 保健医療福祉制度　ライフサイクル　家族の発達課題　家族　家庭訪問　法的根拠

【授業概要】
①対人支援における家庭訪問の機能・役割・特徴を理解する。
②家庭訪問のプロセスを理解し、家庭訪問場面をイメージすることができる。
③事例の健康問題を理解する。
④小テスト

【教科書ページ・参考文献】
教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　ｐ１３４―１４２　ｐ２６４－２７３
参考書：公衆衛生看護学　ＪＰ　ｐ５７－８９
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読して臨むこと。授業後は資料・ノートを整理し学んだこと自分で説明できるようにする。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第８回　【演習】家庭訪問事例　新生児の測定（頭囲、胸囲、身長、体重）
【key words】
アセスメント　健康課題　保健指導　行動変容
【授業概要】
①グループになり新生児の測定（頭囲、胸囲、身長、体重）を行う。
②測定した数値の評価、児の発達・発育を理解する。
③グループワークで、保健指導を行う上で、重要なこと、必要なことなど話し合う。
④保健師の求められる役割、人間性などについて話し合う。
⑤小テスト
【教科書ページ・参考文献】
教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　ｐ１３４―１４２　ｐ２６４－２７３
参考書：公衆衛生看護学　ＪＰ　ｐ５７－８９
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読して臨むこと。授業後は資料・ノートを整理し学んだこと自分で説明できるようにする。。
【予習復習に必要な想定時間】
９０分

第９回　【演習】家庭訪問による支援緒展開　　家庭訪問計画・指導案の作成①
【key words】
家庭訪問　プライバシー　困難事例
【授業概要】
①家庭訪問の特徴を捉え、個人、家族への支援としての、家庭訪問の機能・役割を理解する。
②家庭訪問のプロセスについて、対象把握から、実施評価までの流れを理解する。
③困難事例や受け入れ拒否などのケースについて、基本的な対応について学ぶ。
④小テスト
【教科書ページ・参考文献】
教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　ｐ１３４－１６３

【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読して臨むこと。授業後は資料・ノートを整理し学んだこと自分で説明できるようにする。
【予習復習に必要な想定時間】
９０分

第１０回　【演習】家庭訪問計画・指導案の作成②
【key words】
新生児訪問
【授業概要】
①新生児初回家庭訪問の事例の、訪問計画保健師役、母親役になり家庭訪問を行う場面を見ながら、家庭訪の流れを理解する。
②家庭訪問の実際をイメージしながら、保健師役になって家庭訪問した時の動きができるようにする。
③小テスト

【教科書ページ・参考文献】
教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　ｐ１３４－１６３

【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読して臨むこと。授業後は資料・ノートを整理し学んだこと自分で説明できるようにする。
【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第１１回　【演習】家庭訪問　①
【key words】
新生児訪問
【授業概要】
①教員が母親役になり、学生が保健師役となり、指導案に沿って保健指導を行う。（ロールプレイ）
②保健師役として指導を行った自己評価を行う。
③家庭訪問における流れと保健師の役割を理解する。
④小テスト

【教科書ページ・参考文献】
教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　ｐ１３４－１６３

【課題・予習・復習・授業準備指示】
９０分
【予習復習に必要な想定時間】

	６０分 第１２回　【演習】家庭訪問　② 【key words】 新生児訪問 【授業概要】 ①教員が母親役になり、学生が保健師役となり、指導案に沿って保健指導を行う。（ロールプレイ） ②保健師役として指導を行った自己評価を行う。 ③家庭訪問における流れと保健師の役割を理解する。 ④小テスト 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　ｐ１３４－１６３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 配布資料を熟読する。授業後は資料、ノートを整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分 第１３回　【演習】家庭訪問　③ 【key words】 家庭訪問　気遣い　困難事例 【授業概要】 ①家庭訪問の個々の学びを、グループワークで共有し理解を深める。 ②各グループから発表する。 ③グループワークや発表から、家庭訪問の個々の学びのまとめを行う。 ④小テスト 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　ｐ１３４－１６３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 これまでの学習資料等を確認する。授業後は資料、ノートを整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分 第１４回　【演習】　保健指導　まとめ 【key words】 保健指導　家族の健康　保健師の役割　主体性　行動変容 【授業概要】 ①家族への保健指導を保健指導計画・指導案により保健指導を行う。 ②保健指導を行っての、家族からの評価、自己評価を行う。 ③グループワークにより、評価を共有し、保健師の求められる役割、人間性などについて話し合う。 ④小テスト 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　ｐ１３４－１６３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 これまでの学習資料等を確認する。授業後は資料、ノートを整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分 第１５回　家庭訪問（結核、精神、幼児発達）事例から訪問の基礎を学ぶ 【key words】 家庭訪問　当事者　主体的　地域生活 【授業概要】 ①グループになり事例検討を行う。 ②家庭訪問計画を立て、グループ内で計画の実効性を確認する。 ③学生二人が、訪問対象者と保健師になり、ロールプレイを行う。 ④見学の学生は評価し、ディスカッションで評価のまとめを行う。 ⑤小テスト 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　Ｐ２０８－２３７ 参考書：国民衛生の動向 【課題・予習・復習・授業準備指示】 学習全体を振り返り、学習した内容を整理し、知識を定着させる。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ①予習をして臨むこと。 ②演習時の服装は、普段着又は大学指定ジャージとエプロンとする。 ③自身や家族･身近な人々の健康や保健行動に関心をもって受講する。 ④教科書･プリント等は毎回持参すること。 〔受講のルール〕 ①授業シラバスを必ず確認し、積極的に授業に臨むこと。 ②私語・携帯電話・スマートフォンの使用を禁ずる。携帯電話・スマートフォンは許可がない場合は机上に置かない。 ③レポート等の課題について、提出期限を厳守すること。 ④授業の学びを必ず記載すること（振り返り用紙）。記載することで思考を深める。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	振り返り用紙及びミニレポート。
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。

オフィスアワー	授業開始日に提示する。
評価方法	①筆記試験（客観・論述）60%、 ②実技試験（演習課題・演習に関するレポート）40%、内訳は以下に示す。 ・家庭訪問演習課題 20% ・保健指導演習課題 10% ・ミニレポート及び演習に臨む態度 10% 注：総合評価は筆記試験、実技試験合わせて60%を超えていることが前提となる。
教科書	教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術　医学書院　2020　、国民衛生の動向　2022/2023　厚生労働統計協会
参考書	参考書：中谷芳美：標準保健師講座対象別公衆衛生看護活動．医学書院． 参考書：松本千明：健康行動理論（実践編）．医歯薬出版株式会社．2014 参考書：金子仁子　保健の科学実践シリーズ　行政看護学　講談社 参考書：中野綾美：ナーシンググラフィカ小児看護学（１）小児の発達と看護．メディカ出版．2013
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 公衆衛生看護活動論Ⅲ　　授業コード： 10125

英文科目名称： Theories of nursing activity in public health 3

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年次	2単位(30)	選択
担当教員			
橋本　いずみ　　大野　佳子　　前田　惠子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 公衆衛生看護活動の基盤となる地域診断の実際を学び、地域特性に応じた看護展開（健康教育）について学ぶ。 〔到達目標〕 （Ｉ）地域診断の概念とその過程を理解し説明することが出来る。 （２）実習市町村の健康情報を用いて地域診断のモデルに基づく情報を収集し、整理分類出来る。 （３）既存の健康情報の情報整理から、実習市町村の健康問題を考え、挙げることが出来る。 （４）実習市町村の地域マップの作成と地区踏査計画の立案を行い、地域を観察する視点を持つことが出来る。 （５）健康教育の歴史的変遷と意義を理解することが出来る。 （６）健康教育の目的・目標と対象、技術、方法について学習し理解することが出来る。 （７）実習市町村の健康問題に対し、健康教育の企画書・指導案を作成をすることが出来る。 （８）実習市町村の健康問題に対し、健康教育教材・シナリオを作成することが出来る。
授業の概要	健康情報（国、県、市町村の資料）を使い、地域診断の演習を行う。 地域診断から読み取れた健康問題から、健康教育を企画し指導案・教材を作成する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	○
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	◎
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	科目オリエンテーション　【講義】地域診断① 【key words】 地域診断、情報収集、地域アセスメント、コミュニティ・アズ・パートナーモデル 【授業概要】 ①授業全体（15回）の説明（各回の流れ、学習成果物、評価方法） ②地域診断（講義） ・地域とは何か、地域診断の対象と過程について（管理論復習含む） ・コミュニティーアズパートナーモデルの2つの要素と「コアとなる人々」「8つのサブシステム」 ・地域の情報収集とアセスメントのための方法と具体的手法 ・健康情報として活用できる情報や資料の学習 【教科書ページ・参考文献】 最新保健学講座５　公衆衛生看護学管理論　第４版　メヂカルフレンド社　p.1-37 公衆衛生看護学p第5版データ更新版　インタ－メディカル　p.102-111 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：公衆衛生看護管理論資料「地域診断」部分の復習、確認 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第２回	【演習】地域診断②（情報収集） 【key words】 地域診断、コミュニティアズパートナーモデル、コミュニティコア、健康情報 【授業概要】 ①実習市町村の健康情報の検索、確認（各自） ②「地域診断シート」への記載方法の説明 ③健康情報の内容を、様式1-1に記載し始める（各自） ④小テスト 【教科書ページ・参考文献】 最新保健学講座５　公衆衛生看護学管理論　第４版　メヂカルフレンド社　p.38-59 公衆衛生看護学p第5版データ更新版　インタ－メディカル　p.109-111 【課題・予習・復習・授業準備指示】

		課題：演習内容の復習と自己学習 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第３回	【演習】地域診断③（情報収集、気づいた点（アセスメント）） 【key words】 地域診断、コミュニティアズパートナーモデル、コミュニティコア、サブシステム、健康情報 【授業概要】 ①様式1-1の「気づいた点（アセスメント）」を進める（各自） ②健康情報を、様式1-2に記載し始める（各自） 【教科書ページ・参考文献】 最新保健学講座５　公衆衛生看護学管理論　第４版　メヂカルフレンド社　p.38-59 公衆衛生看護学p第5版データ更新版　インタ－メディカル　p.103-116 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：演習内容の復習と自己学習 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第４回	【演習】地域診断④（情報収集、気づいた点（アセスメント）） 【key words】 地域診断、コミュニティアズパートナーモデル、サブシステム、健康情報 【授業概要】 ①健康情報を、様式1-2に記載し始める（各自） ②様式1-2の「気づいた点（アセスメント）」を進める（各自） ③小テスト 【教科書ページ・参考文献】 最新保健学講座５　公衆衛生看護学管理論　第４版　メヂカルフレンド社　p.38-59 公衆衛生看護学p第5版データ更新版　インタ－メディカル　p.103-116 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：演習内容の復習と自己学習 様式1-1，1-2　途中提出（ポータルサイトレポート提出　4/21　23：59まで） 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第５回	【演習】地域診断⑤（気づいた点（アセスメント）） 【key words】 地域診断、コミュニティアズパートナーモデル、サブシステム、健康情報 【授業概要】 ①様式1-2の「気づいた点（アセスメント）」を進める（各自） 【教科書ページ・参考文献】 最新保健学講座５　公衆衛生看護学管理論　第４版　メヂカルフレンド社　p.38-59 公衆衛生看護学p第5版データ更新版　インタ－メディカル　p.115-119 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：演習内容の復習と自己学習 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第６回	【演習】地域診断⑥（健康問題を挙げる） 【key words】 地域診断、コミュニティアズパートナーモデル、健康問題 【授業概要】 ①実習市町村の考えられる健康問題を複数様式1-3に挙げる（各自） ②小テスト 【教科書ページ・参考文献】 最新保健学講座５　公衆衛生看護学管理論　第４版　メヂカルフレンド社　p.38-59 公衆衛生看護学p第5版データ更新版　インタ－メディカル　p.115-119 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：演習内容の復習と自己学習 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第７回	【演習】地域診断⑦（地域マップ、地区踏査計画書作成） 【key words】 地域診断、地区踏査、地域マップ 【授業概要】 ①実習市町村の地域マップを様式1-5に作成する（各自） ②実習市町村の地区踏査計画を様式1-4を用いて作成する（各自） 【教科書ページ・参考文献】 最新保健学講座５　公衆衛生看護学管理論　第４版　メヂカルフレンド社　p.40-50 公衆衛生看護学p第5版データ更新版　インタ－メディカル　p.111-113 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：演習内容の自己学習 課題提出：地域診断シート（様式1-1～5）、地域マップ、地区踏査計画書の完成版提出（ポータルサイトレポート提出　4/28　23：59まで） 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第８回	【講義】健康教育① 【key words】 健康教育、パラダイム 【授業概要】 ①健康教育について（講義） ・パラダイムの変化と定義 ・目的・目標と対象、技術、方法 ・健康教育の展開過程の学習 ②小テスト 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　医学書院　p.168-184

【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：授業内容の復習
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第９回　【演習】健康教育②（企画書作成）
【key words】
健康教育、企画書
【授業概要】
①健康教育企画書の作成（各自）

【教科書ページ・参考文献】
標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　医学書院　p.185-206
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：演習内容の復習、自己学習
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１０回　【演習】健康教育③（企画書作成）
【key words】
健康教育、企画書
【授業概要】
①健康教育企画書の作成（各自）
②小テスト
【教科書ページ・参考文献】
標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　医学書院　p.185-206
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：演習内容の復習、自己学習
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１１回　【演習】健康教育④（指導案の作成）
【key words】
健康教育、指導案
【授業概要】
①健康教育の指導案作成（各自）
【教科書ページ・参考文献】
標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　医学書院　p.185-206
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：演内容の復習、自己学習
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１２回　【講義】健康教育⑤（指導案の作成）
【key words】
健康教育、指導案
【授業概要】
①健康教育の指導案作成（各自）
②小テスト
【教科書ページ・参考文献】
標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　医学書院　p.185-206
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：演習内容の復習、自己学習
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１３回　【演習】健康教育⑥（教材作成）
【key words】
健康教育、指導案、媒体、教材
【授業概要】
①健康教育教材作成（各自）
【教科書ページ・参考文献】
標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　医学書院　p.185-206
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：演習内容の復習と自己学習
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１４回　【演習】健康教育⑦（シナリオ作成）
【key words】
健康課教育、シナリオ
【授業概要】
②健康教育教材作成（各自）
②小テスト
【教科書ページ・参考文献】
標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　医学書院　p.185-206
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：演習内容の復習と自己学習
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１５回　【演習】健康教育⑧、授業全体のまとめ
【key words】
健康教育、地域診断、公衆衛生看護学実習
【授業概要】
①授業のまとめ（地域診断と健康教育、今後の実習に向けて）
＊授業評価アンケートの実施協力依頼
【教科書ページ・参考文献】
最新保健学講座５　公衆衛生看護学管理論　第４版　メヂカルフレンド社

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題提出：健康教育様式2-1・2、教材　ポータルサイトレポート提出　5/16（火）23：59まで） 【予習復習に必要な想定時間】 90分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ①事前課題及び予習をして臨むこと。 ②自身や家族･身近な人々の健康や保健行動に関心をもって受講する。 ③教科書･プリント等は毎回手元に置き、演習に臨む。 〔受講のルール〕 ①授業シラバスを必ず確認し積極的に授業に臨むこと。 ②レポート等の課題について、提出期限を厳守すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	演習課題提出、授業毎のリアクリョンペーパー
授業外時間にかかわる情報	授業後30分
オフィスアワー	授業開始日に提示する。
評価方法	①演習課題　60% ・地域診断　20%、地域マップ・地区踏査計画　10%、健康教育　20% ②演習への取り組み 20% ・提出期日を守れているか、演習に向かう姿勢、忘れ物の有無 ③確認テスト　20%
教科書	・標準保健師講座2　公衆衛生看護技術　第５版　医学書院 ・最新保健学講座５　　公衆衛生看護学管理論　第４版　メヂカルフレンド社
参考書	・公衆衛生看護学jp. 第５版データ更新版　インターメディカル ・保健の実践科学シリーズ　行政看護学　講談社 ・国民衛生の動向2022/2023　厚生労働統計協会
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 公衆衛生看護管理論　　授業コード：10126

英文科目名称： Theories of Nursing Management in Public Health

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年次	1単位(15)	選択
担当教員			
大野　佳子　前田　惠子　　橋本　いずみ			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　公衆衛生看護活動の円滑な推進と質の向上のために、管理の目的と機能、根拠に基づく方法と公衆衛生看護の役割を学ぶ。 【到達目標】 1．公衆衛生看護管理の目的と方法（健康危機管理を含む8管理）について、その概要を説明できる。 2．公衆衛生看護管理の実際について、地方自治体の活動事例を用いて説明できる。 3．公衆衛生看護活動における実践事例を用いて起こり得る健康危機について予測し、予防的に関わる姿勢と方法を説明できる。
授業の概要	基礎的知識の講義と公衆衛生看護管理の具体例を通して、概念と方法を理解する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	△
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	○
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	科目オリエンテーション　公衆衛生看護管理の目的と概要 【key words】 公衆衛生看護管理　看護管理　保健師の専門性　事例管理 【授業概要】 １）授業の全体像を理解する。公衆衛生における看護管理とはどのようなものか説明する。 ２）公衆衛生看護における看護管理の目的と機能について、保健師による管理を学習し、管理の在り方を理解する。 ３）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 教科書：最新　保健学講座５　公衆衛生看護管理論　第５版　メヂカルフレンド社　　p116―118 参考書：実践の科学シリーズ 行政看護学. 講談社, 2017　p77~102 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読し授業に臨むこと 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
	第２回	公衆衛生看護管理の機能と要素：地区管理と地域診断１ 【key words】 地区管理、地域診断、保健計画、ＰＤＣＡサイクル 【授業概要】 １）地区管理とは ２）地区管理の具体的活動事例 ３）小テスト 【教科書ページ・参考文献】 教科書：最新　保健学講座５　公衆衛生看護管理論　第５版　メヂカルフレンド社　ｐ２―６０ 参考書：実践の科学シリーズ 行政看護学. 講談社, 2017　Ｐ２５~４２ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読し授業に臨むこと 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
	第３回	公衆衛生看護管理の機能と要素：地区管理と地域診断２

【key words】
地域アセスメント　コミュニティ・アズ・パートナーモデル　PDCAサイクル
【授業概要】
１）地域アセスメントとPDCAサイクル
２）地域診断に用いるモデルと地区管理（藤岡市のWeb検索を含む）
３）小テスト

【教科書ページ・参考文献】
教科書：最新　保健学講座５　公衆衛生看護管理論　第５版　メヂカルフレンド社　Ｐ２―６０
参考書：実践の科学シリーズ 行政看護学. 講談社, 2017　Ｐ２５~４２

【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読し授業に臨むこと
【予習復習に必要な想定時間】
９０分

第４回　公衆衛生看護管理の機能と要素：事業・業務管理
【key words】
地域のニーズ　上位計画　下位計画　業務分担と地区分担
【授業概要】
保健師は所属する組織内において母子保健や老人保健、感染症、精神保健福祉等の事業を所掌し、地域のニーズや課題が解決されるように事業を企画、実施（進捗状況の把握）、評価し、各種事業の総体が地域の課題解決を達成するようにマネジメントする（PDCAサイクル）。

【教科書ページ・参考文献】
教科書：公衆衛生看護管理論　第５版　メヂカルフレンド社　P131―134
参考書：公衆衛生看護学概論. 医学書院, ｐ202ー203、公衆衛生看護学. jp. インターメディカル ｐ516－517
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読し授業に臨むこと
【予習復習に必要な想定時間】
９０分
６０分

第５回　公衆衛生看護管理の機能と要素：予算管理　情報管理
【key words】
災害　健康危機　災害対策基本法　予防活動
【授業概要】
予算編成→執行・記録→分析・評価→是正
　　(PDCAサイクル)
予算の３機能：計画機能・調整機能・コントロール機能
予算編成のプロセス　情報管理の実際
・小テスト
【教科書ページ・参考文献】
教科書：公衆衛生看護管理論メヂカルフレンド社ｐ134―137、122ー127、参考書：公衆衛生看護学概論. 医学書院ｐ196－199、199ー20ほか
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読し授業に臨むこと
【予習復習に必要な想定時間】
９０分

第６回　公衆衛生看護管理の機能と要素：組織運営管理　人事管理・人材育成
【key words】
　部署ごとの組織体制　指揮・命令系統　人員配置　現任訓練（OJT, OffJT）
【授業概要】
組織運営管理と人事管理・人材育成のあり方と実際について学ぶ。
・小テスト
【教科書ページ・参考文献】
教科書：公衆衛生看護管理論メヂカルフレンド社　ｐ128―131、138－148、参考書：公衆衛生看護学概論医学書院, 2019ｐ189ー191、191－196ほか
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読し授業に臨むこと
【予習復習に必要な想定時間】
９０分

第７回　健康危機管理とは、平常時の活動と備え
【key words】
　災害　健康危機　災害対策基本法　予防活動
【授業概要】
１）感染症対策の第一線機関である保健所の役割や業務について理解する。
２）感染症発生時の一連の流れ、疫学調査について理解する。健康危機である、感染症に集団発生や大災害発生時における保健師活動について理解する。東日本大震災発生時から現在の保健師活動の実際を理解する。
３）小テスト
【教科書ページ・参考文献】
教科書：公衆衛生看護管理論　メヂカルフレンド社　　ｐ166―199
参考書：公衆衛生看護学概論. 医学書院, 2019　ｐ232－236、公衆衛生看護学. jp. インターメディカル, ｐ423ー430
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読し授業に臨むこと
【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第８回　健康危機管理の実際と倫理的課題
【key words】
フェーズ　平常時　発生時　回復期　ヘルスケア倫理
【授業概要】
　健康危機管理の実際とフェーズごとの支援の方法および倫理的課題、感染症対策など多岐にわ

	たる健康危機管理を学ぶ。 ・小テスト 【教科書ページ・参考文献】 教科書：公衆衛生看護管理論　メヂカルフレンド社　　p 166―199 参考書：公衆衛生看護学概論．医学書院，p 232－236　公衆衛生看護学. jp. インターメディカル，p 423―430 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読して授業の臨むこと。授業後、これまでの資料・ノートを通して知識を整理し理解を深める。 【予習復習に必要な想定時間】 １２０分
受講生に関わる情報および受講のルール	予習・復習を習慣づけること。 教科書・配布プリントは毎回持参すること。 授業中の私語、携帯電話の使用は禁止する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	参考書を図書館等で自主的に入手し、授業を深く学べるよう自己研鑽すること
オフィスアワー	毎週火曜日２限
評価方法	定期試験70%　授業への取り組み状況等（予習・復習、授業参加度等）30%
教科書	最新保健学講座　公衆衛生看護管理論 第４版　メヂカルフレンド社
参考書	公衆衛生看護学. jp　第５版データ更新版　インターメディカル 保健の科学実戦シリーズ　行政看護学　講談社 最新保健講座5 公衆衛生看護管理論．メヂカルフレンド社，2015 標準保健師講座 公衆衛生看護学概論．医学書院，2019 国民衛生の動向　2022／2023
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 行政保健師経験10年以上 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 産業保健論　　授業コード： 10127

英文科目名称： Theories of occupational health

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年次	1単位(15)	必修
担当教員			
泉　理恵			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 産業の場で働く人々が、健康と労働の調和を図り、幸福な生活を送るための看護の役割及び支援の方法を理解できる。 【到達目標】 １．産業保健活動の理念と目的が説明できる。 ２．我が国の労働衛生に関する現状から健康課題が説明できる。 ３．我が国の労働衛生管理体制と対策が説明できる。 ４．産業における健康課題と看護の役割及び支援の方法が説明できる。
授業の概要	産業保健の目的を理解し、近年の労働衛生に関する現状から健康課題を明らかにする方法を学習する。労働衛生に関わる法律、施策から衛生管理体制を理解し、看護の役割と具体的な支援活動を学習する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画		
	第１回	オリエンテーション、産業保健・産業看護の考え方と我が国における変遷 【key words】 産業保健、労働衛生、産業看護 【授業概要】 産業保健及び看護の定義及び我が国の歴史、変遷の概要について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P447～450、作成資料及びレジュメ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前に教科書の該当部分を読んでおくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行う。 【予習復習に必要な想定時間】 40分
	第２回	産業保健活動を推進するための体制 【key words】 労働衛生行政、産業保健活動体制、労働衛生マネジメントシステム 【授業概要】 労働衛生に関する行政、法律および事業場内外資源、事業場外機関、労働衛生マネジメントシステムについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P451～456、作成資料及びレジュメ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前に教科書の該当部分を読んでおくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行う。 【予習復習に必要な想定時間】 40分
	第３回	産業保健の現状と課題 【key words】 労働災害、健康課題、特殊健診 【授業概要】 産業保健の現状を把握し、労働災害、健康課題、特殊健診について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P450、国民衛生の動向2022-2023、作成資料及びレジュメ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前に教科書の該当部分を読んでおくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行う。 【予習復習に必要な想定時間】

	40分 第４回　産業保健活動の基本、職業性疾病と予防対策における産業看護の役割 【key words】 総括管理、作業管理、作業環境管理、健康管理、労働衛生教育、職業性疾病 【授業概要】 産業保健活動の３管理５分野、職業性疾病とその予防活動について学ぶ。作業管理、作業環境管理については視覚教材を用いて理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P456～461、作成資料及びレジュメ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前に教科書の該当部分を読んでおくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行う。 【予習復習に必要な想定時間】 40分 第５回　作業関連疾患と予防対策、産業看護活動の実際①　過重労働対策、メンタルヘルス対策 【key words】 作業関連疾患、長時間労働者、メンタルヘルスケア 【授業概要】 作業関連疾患、長時間労働者、メンタルヘルスケア対策に関する産業看護活動の実際を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P458～459、作成資料及びレジュメ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前に教科書の該当部分を読んでおくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行う。 【予習復習に必要な想定時間】 40分 第６回　産業看護活動の実際②　VDT作業による健康影響への対策、職場巡視 【key words】 VDT作業、職場巡視 【授業概要】 VDT作業による健康障害、職場巡視に関する産業看護活動の実際を学ぶ。職場巡視については視覚教材を用いて理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P461～463、作成資料及びレジュメ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前に教科書の該当部分を読んでおくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行う。 【予習復習に必要な想定時間】 40分 第７回　産業保健活動の実際③　多様化する労働者への対応、地域・職域連携活動 【key words】 高齢労働者、障害者、両立支援、母性保護、地域・職域連携活動 【授業概要】 高齢労働者、障害者、治療と仕事の両立支援、母性保護の対策及び地域・職域連携活動に関する産業看護活動の実際を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P464～468、作成資料及びレジュメ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前に教科書の該当部分を読んでおくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行う。 【予習復習に必要な想定時間】 40分 第８回　ケーススタディ（海外派遣労働者に対する産業保健活動） 【key words】 健康課題・海外派遣労働者・産業医と産業看護職の役割・産業医との連携 【授業概要】 事例を提示し、産業看護職の関わりについて考察する。個人ワークで進める。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P450～456、P458～459、作成資料及びレジュメ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前に教科書の該当部分を読んでおくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行う。 【予習復習に必要な想定時間】 40分
受講生に関わる情報および受講のルール	毎回の授業では、コメントカードにより内容の理解を判断するため、学んだ内容と考察を記載することを求める。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	毎回の授業で提示された授業資料及び教科書にて該当箇所を復習をする。コメントカードの考察には、授業の復習で理解している内容が基盤となっていることが重要。
オフィスアワー	授業前後20分は対応可能
評価方法	定期試験（90%）、コメントカードによる各回での考察（10%）
教科書	公衆衛生看護学.JP：第5版データ更新版　インターメディカル. 国民衛生の動向2022/2023　厚生労働統計協会.
参考書	公衆衛生が見える2022-2023 メディックメディア
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容

	事業場の保健師として産業保健活動に従事した。r慢性疾患管理、メンタルヘルス活動、両立支援、障害者雇用、新入職員研修や各種健康診断の運営、支店の健康管理活動支援を行った。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 養護概説　　授業コード： 10128

英文科目名称： General seminar on nursing care

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年次	2単位(30)	選択
担当教員			
豊島　幸子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 養護教諭の職務の変遷と歴史的経緯および、学校教育における養護教諭の役割について理解する。 【到達目標】 (1)学校における保健管理・保健教育の内容と養護教諭の役割を理解することができる。 (2)子どもの現代的課題について情報収集ができる。 (3)養護教諭の専門性について説明することができる。
授業の概要	【授業の概要】 学校教育の場で、養護教諭の職務が円滑に進められるように、具体的で実践的な内容を基に次の講義を行う。養護教諭の職務の変遷と歴史的経緯および、学校教育における養護教諭の役割。学校における保健管理・保健教育の内容と養護教諭の役割。保健室の役割と保健室経営計画。養護教諭の関連職種・関連機関との連携方法。子どもの現代的課題について情報の収集。以上の学習を踏まえて、養護教諭の専門性について先行研究を確認しながら検討を行う。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	○
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	科目オリエンテーション・養護教諭の概念と職務の変遷 【key words】 養護教諭、歴史、職務 【授業概要】 科目の位置づけとシラバスの説明。 第1章養護教諭 養護教諭の歴史を知る。 法律における養護教諭に関する規定を知る。 養護教諭の職務の変遷と養護教諭に求められる資質について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 采女智津江 編：新養護概説(第11版) 少年写真新聞社、2019 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 養護教諭の歴史、法律における養護教諭に関する規定等授業復習をする。 出身小・中・高等学校の教育目標を学校のホームページ等で調べる。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第２回	学校教育における養護教諭の役割１ 【key words】 学校保健、養護教諭、職務、役割 【授業概要】 第2章学校教育と学校保健 課題で調べた、出身校の教育目標などと関連させながら、学校教育と学校保健について理解する。 養護教諭の職務内容に関し学び、これからの学校保健に求められている養護教諭の役割について理解する。 養護教諭が行う啓発活動の一つ「保健だより」について理解しする。 復習をプリントについての質問等をうけ、講義内容の理解を促す。 【教科書ページ・参考文献】 采女智津江 編：新養護概説(第11版) 少年写真新聞社、2019 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】

		養護教諭の歴史、職務内容等について前回の授業の復習をプリントで行う。 課題「保健だより」作成について提示。子どもの健康的課題とその対応について、教科書及び、文部科学省のＨＰで調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第３回	学校教育における養護教諭の役割２ 【key words】 養護教諭、職務、役割、 【授業概要】 第3章子どもの現代的な健康課題とその対応 第4章養護教諭の職務 学校教育法、保健体育審議会答申（昭和４７年・平成９年）中央教育審議会答申（平成２０年１月）及び学校保健安全法等から、養護教諭の主な職務、役割を考察する。 子どもの現代的な健康課題について、調べたことを発表し、その対応について考える。 養護教諭に必要なコミュニケーションスキルについて考える。 復習をプリントについての質問等をうけ、講義内容の理解を促す。 【教科書ページ・参考文献】 采女智津江 編：新養護概説(第11版) 少年写真新聞社、2019 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 中央教育審議会答申（平成２０年１月）内容を文部科学省ホームページから調べておく。 前回の授業の復習をプリントで行う。 小・中・高等学校での保健室利用時の様子を振り返る。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第４回	保健管理１　救急処置と健康観察 【key words】 保健管理、救急処置、健康観察 【授業概要】 第5章保健管理　救急処置・健康観察 小・中・高等学校における、保健管理、救急処置について、事例を通して学ぶ。学校における救急体制、救急処置のプロセスについて学び、養護教諭、保健室の役割について理解する。また、保健管理として、学校生活全般における健康観察の重要性について理解し、健康観察を実施する上での留意点等について学ぶ。 健康観察について理解する。 復習をプリントについての質問等をうけ、講義内容の理解を促す。 【教科書ページ・参考文献】 采女智津江 編：新養護概説(第11版) 少年写真新聞社、2019 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回の授業の復習をプリントで行う。 保健管理について、学校保健の領域の中の位置付けについて理解しておく。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第５回	保健管理2　健康診断と疾病管理 【key words】 健康管理、健康診断、疾病管理 【授業概要】 第5章保健管理　健康診断・疾病管理 学校保健の中核となる健康診断について理解する。法的根拠、目的と役割、健康診断の実際等を学ぶ。また学校、学校歯科医等の連携について学ぶ。 学校における疾病管理の目的と疾病管理における養護教諭の役割を理解する。事例を通して、疾病管理の実際を学ぶ。（糖尿病・心疾患・腎疾患・食物アレルギー等。学校生活管理指導表の活用） 復習をプリントについての質問等をうけ、講義内容の理解を促す。 【教科書ページ・参考文献】 采女智津江 編：新養護概説(第11版) 少年写真新聞社、2019 配布資料 日本学校保健会　編：児童生徒の健康診断マニュアル（改訂版） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回の授業の復習をプリントで行う。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第６回	保健管理3　学校環境衛生 【key words】 学校における保健管理、学校環境衛生 【授業概要】 第5章保健管理　学校環境衛生 各自作成した「保健だより」発表。 保健管理　学校環境衛生についてについて理解する。（目的、基準、活動等）学校薬剤師との連携を含め学ぶ。 復習をプリントについての質問等をうけ、講義内容の理解を促す。 【教科書ページ・参考文献】 采女智津江 編：新養護概説(第11版) 少年写真新聞社、2019 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 学校環境衛生基準について定められている基準を覚える。 前回の授業の復習をプリントで行う。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第７回	保健教育１　教科における保健教育 【key words】

		教科保健（保健学習）・保健指導 【授業概要】 第6章保健教育　教科保健 各自作成した「保健だより」発表。 保健教育の領域とそれぞれの特質を理解する。 教科保健（保健学習）・保健指導の領域を理解する。 保健教育における養護教諭の役割を理解し、保健学習に参画するときの、教員との連携について学ぶ。 思春期の健康教育について学ぶ。 復習をプリントについての質問等をうけ、講義内容の理解を促す。 【教科書ページ・参考文献】 采女智津江 編：新養護概説(第11版) 少年写真新聞社、2019 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回の授業の復習をプリントで行う。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第８回	保健教育２　特別活動などにおける保健指導 【key words】 保健教育、特別活動、保健指導 【授業概要】 第6章保健教育　特別活動における保健の指導 各自作成した「保健だより」発表。 保健教育の領域と、それぞれの特質を理解する。教育課程に基づく教科保健をはじめとする関連教科等での学習と、特別活動等における保健指導及び保健管理に伴う保健指導があることを理解する。 保健教育、保健指導における、養護教諭の役割を理解する。 思春期の保健教育、保健指導について学ぶ。 復習をプリントについての質問等をうけ、講義内容の理解を促す。 【教科書ページ・参考文献】 采女智津江 編：新養護概説(第11版) 少年写真新聞社、2019 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回の授業の復習をプリントで行う。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第９回	保健室の機能と役割 【key words】 保健室の機能、役割、健康相談、保健室経営 【授業概要】 第11章保健室経営 各自作成した「保健だより」発表。 保健室の機能と役割について理解する。 保健室経営、計画について学び、保健室経営における養護教諭の役割について学ぶ。 保健室に訪れる児童生徒の事例をあげながら、保健室における対応について学ぶ。 復習をプリントについての質問等をうけ、講義内容の理解を促す。 【教科書ページ・参考文献】 采女智津江 編：新養護概説(第11版) 少年写真新聞社、2019 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回の授業の復習をプリントで行う。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第１０回	保健室経営における具体的な計画と実践 【key words】 保健室経営 【授業概要】 第11章保健室経営 各自作成した「保健だより」発表。 保健室の機能と保健室経営について、養護教諭の職務や保健室の機能を十分考慮した上で、効果的な計画を　立てることが重要であることを学ぶ。授業担当者が小学校、中学校、高等学校で実践した事例を基に、計画の立案、実施、評価、改善のマネジメントサイクルについて学ぶ。 養護教諭をめざすものとして、自己理解を図る。 復習をプリントについての質問等をうけ、講義内容の理解を促す。 【教科書ページ・参考文献】 采女智津江 編：新養護概説(第11版) 少年写真新聞社、2019 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回の授業の復習をプリントで行う。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第１１回	学校保健に関わる組織活動 【key words】 学校保健、組織、連携 【授業概要】 第12章保健組織活動 各自作成した「保健だより」発表。 学校における組織活動の主となる学校保健委員会の実施にあたっての手順とポイントについて概説する。ま　た、保健主事は、学校保健委員会の運営や学校保健活動にかかわる組織が円滑に活動できるよう調整にあた　る役割をもち、養護教諭の協力のもとに学校保健計画の策定の中心となることを理解する。生徒保健委員会の活動の様子等を例に挙げながら、実際の活動について学ぶ。 復習をプリントについての質問等をうけ、講義内容の理解を促す。

	【教科書ページ・参考文献】 采女智津江 編：新養護概説(第11版) 少年写真新聞社、2019 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回の授業の復習をプリントで行う。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第１２回　子どもの現代的な課題と対策 【key words】 健康課題、対応、対策 【授業概要】 第3章子どもの現代的な健康課題とその対応・第7章健康相談・第8章精神保健・第9章子どもの心のケア 各自作成した「保健だより」発表。 子どもの健康問題の推移について学ぶ。 子どもの現代的な健康課題とその対応について理解する。 養護教諭としてどのように対応支援していくのか、事例をあげながら学ぶ。 復習をプリントについての質問等をうけ、講義内容の理解を促す。 【教科書ページ・参考文献】 采女智津江 編：新養護概説(第11版) 少年写真新聞社、2019 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回の授業の復習をプリントで行う。 文部科学省のホームページで「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」等 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第１３回　学校における教育相談の基本的な考え方 【key words】 教育相談、信頼関係、アセスメント 【授業概要】 第10章学校における教育相談 学校における教育相談の基本的な考え方を理解する。また、学校におけるカウンセリングは、子どもとの信　頼関係の中で、子どもの内面や周囲の人々との関係性をアセスメントしながら、学校生活の中で出会う問題　を解決しようとするものであることを理解する。小学校、中学校、高等学校を通して、養護教諭との関わりの中で、支えられた内容について振り返る。 カウンセリングスキルについてグループワーク・ペアワークで学ぶ。 復習をプリントについての質問等をうけ、講義内容の理解を促す。 【教科書ページ・参考文献】 采女智津江 編：新養護概説(第11版) 少年写真新聞社、2019 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回の授業の復習をプリントで行う。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第１４回　学校における安全管理と危機管理 【key words】 学校、安全管理、危機管理 【授業概要】 第13章安全管理と危機管理 各自作成した「保健だより」発表。 学校における危機管理の意義と基本的な考え方について理解する。危機管理の進め方について、事前の危機管理（リスク・マネジメント）と事後の危機管理（クライシス・マネジメン　ト）の二つの側面について事例をあげながら学ぶ。 復習をプリントについての質問等をうけ、講義内容の理解を促す。 【教科書ページ・参考文献】 采女智津江 編：新養護概説(第11版) 少年写真新聞社、2019 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回の授業の復習をプリントで行う。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
	第１５回　養護教諭の専門性と研修の姿勢　　まとめ 【key words】 養護教諭、専門性、研修、自己の省察 【授業概要】 第14章調査・研究・プレゼンテーションの進め方 各自作成した「保健だより」発表。 養護教諭としての職業倫理について理解し、自己研鑽に努める姿勢について学ぶ。 復習をプリントについての質問等をうけ、講義内容の理解を促す。 【教科書ページ・参考文献】 采女智津江 編：新養護概説(第11版) 少年写真新聞社、2019 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回の授業の復習をプリントで行う。15回の授業資料等を見直し復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
受講生に関わる情報および受講のルール	【受講のルール】 ・授業シラバスを必ず確認し、積極的に授業に臨むこと。 ・授業時間内でグループで準備・作業する時間があるので、互いに協力し計画的に取り組むこと。 ・授業を受ける際、課題に取り組む際には、基礎演習Ⅰ・Ⅱ及び総合演習Ⅰにおいて学習した内容（授業に臨む姿勢、ノートの取り方、レポート・論文の書き方、グループワークのあり方など）を活

	用すること。 ・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁とする。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード方式
授業外時間にかかわる情報	【授業外時間】 ・予習段階での疑問点などは文献を検索し、さらに疑問点が残る場合は積極的に質問を行う姿勢で授業に臨むこと。また、教科書や当日の記録などを基に復習を行うこと。
オフィスアワー	授業前後45分間
評価方法	筆記試験　80%、課題レポート20% 総合評価は筆記試験、レポート評価ともに60%を超えていること
教科書	後日公表
参考書	学校保健・安全実務研究会：新訂版　学校保健実務必携《第4次改定版》、第一法規、　2017 日本学校保健会　編：児童生徒の健康診断マニュアル（平成27年度改訂版）、2016
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 実際の学校教育臨床を想定した授業となるように、実務経験のある養護教諭が担当する。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 学校保健活動論Ⅰ　　授業コード：10129

英文科目名称： Theories of school health activity1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年次	1単位(15)	必修
担当教員			
黒岩　初美			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	1. 学校保健の目的・意義と変遷について理解し説明できる 2. 学校保健の関連法規について理解し説明できる 3. 学校保健の構造と関わる組織について考え、説明できる 4. ヘルスプロモーションの理念に基づいた学校保健活動の推進について理解する 5. 学校保健の今日的課題を見つけ、説明できる
授業の概要	学校保健の中核的役割を担う養護教諭並びに保健師や看護師の基礎教養となる。学校保健の目的・意義を理解し、保健管理・安全、保健教育、組織活動、ヘルスプロモーションの理念に基づいた学校保健の推進等について、法的根拠を踏まえながら概説する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	○
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　オリエンテーション「学校保健」

【key words】

【授業概要】

学校保健概説（学校保健の目的、領域構造、関連法規・学校関係職員）と
調べ学習（学校保健の3領域、学校保健関係職員について）

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第２回　学校保健経営

【key words】

【授業概要】
学校保健計画と学校安全計画　―　ヘルスプロモーションの概念を取り入れた学校保健活動の展開
ワークシートの活用（学校保健計画の作成）
調べ学習（学校におけるヘルスプロモーションについて）

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第３回　子どもの現代的健康課題

【key words】

【授業概要】
グループワーク（子どもの現代的な健康課題の実態と支援について

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

	【予習復習に必要な想定時間】 第４回　学校保健活動①　健康観察と健康診断 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第５回　学校保健活動②　健康相談 【key words】 【授業概要】 ワークシートの活用（学校における健康相談事例の検討） 調べ学習（健康相談と保健管理、保健教育、保健指導との関連について） 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度 第６回　学校保健活動③　保健教育、保健指導 【key words】 【授業概要】 グループワーク（効果的な保健教育の方法について） 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第７回　学校保健活動④　学校環境衛生、感染症予防 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第８回　まとめ保健教育、保健指導、 小テスト 【key words】 【授業概要】 保健だよりを作成 これまでの学習の振り返り･まとめをし、小テストを行う 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講のルール〕 ・授業シラバスを必ず確認し、積極的に授業に臨むこと。 ・授業時間内でグループで準備・作業する時間があるので、互いに協力し計画的に取り組むこと。 ・授業を受ける際、課題に取り組む際には、基礎演習Ⅰ・Ⅱ及び総合演習Ⅰにおいて学習した内容（授業に臨む姿勢、ノートの取り方、レポート・論文の書き方、グループワークのあり方など）を活用すること。 ・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁とする。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード方式
授業外時間にかかわる情報	授業内で課題を課すことがある。返却するので、参考資料等も含めて振り返りをし、学習内容の理解に役立てること。 児童生徒の健康課題や教育に関する時事問題に関心を持って臨むことで学びが深まります。
オフィスアワー	授業前後45分
評価方法	授業の取り組み40%、課題提出30%、小テスト30%とし、60点以上で単位認定とする。
教科書	「新版 学校保健－チームとしての学校で取り組むヘルスプロモーション－」東山書房
参考書	児童生徒の健康診断マニュアル、日本学校保健会、2016 保健室経営計画の手引、日本学校保健会、2015 保健主事のための実務ハンドブック、文部科学省、2011 学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育、文部科学省、2012 学校環境衛生マニュアル「学校環境衛生基準」の理論と実践、日本学校保健会、2018

	医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎、松本千明、医歯薬出版、2011
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 学校保健活動論Ⅱ　　授業コード：10130

英文科目名称： Theories of school health activity2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年次	1単位(15)	選択
担当教員			
石井　秀貴			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	(授業の目的) 保健教育の法的根拠と体系を理解して実践する力を養うことを目的とする。 達成目標) （１）学習指導要領を理解して、教科「保健」における学習内容を説明できる。養護教諭その他の職員による保健指導の目的と対象、およびそのプロセスが説明できる。 （２）保健指導の各論「エイズ」「喫煙・飲酒・薬物乱用」「がん」「歯と口の健康づくり」「食育」のポイントを説明できる。 （３）保健教育のための学習指導案の作成ができる。 （４）学習指導案に基づき模擬授業が実践できる。
授業の概要	学校保健の中の『保健教育』を取り出して、小・中・高それぞれの学習指導要領の内容を確実に理解する。合わせて、学校保健安全法9条に規定されている「保健指導」を実践していくにあたり、「性」「エイズ」「喫煙・飲酒・薬物乱用」「がん」「歯と口の健康づくり」「食育」について、文科省が示しているマニュアルについて理解を深める。 また、学習指導案作りのポイントを学び、オリジナルな健康課題について指導案を作成しも模擬授業を実践する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	○
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回　オリエンテーション「学校保健活動論Ⅱ」 【key words】 保健教育 【授業概要】 【授業概要】 科目オリエンテーション （１）保健教育の法的根拠と目的 （２） 学習指導要領の理解 （３） 保健教育の体系 （４） 教科「保健」における学習内容 【教科書ページ・参考文献】 『学校保健実務必携』の　第3篇「学校における保健教育」 「改訂『生きる力』を育む保健教育の手引」（文科省ホームページ） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習のための小テスト 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度 第２回　学習指導要領と指導案 【key words】 学習指導案 【授業概要】 (１)学習指導案作りのポイント （２）指導技術と板書

【教科書ページ・参考文献】
復習のための小テスト
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習段階での疑問点などは文献を検索し、さらに疑問点が残る場合は積極的に質問を行う姿勢で授業に臨むこと。また、教科書や当日の記録などを基に復習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
所要時間60分程度

第３回　保健教育における保健指導①

【key words】
保健指導
【授業概要】
養護教諭その他の職員による保健指導
（1） 法的根拠・目的・対象、プロセスと留意点
（2） 各論「エイズ」「喫煙・飲酒・薬物乱用」

【教科書ページ・参考文献】
『学校保健実務必携』の「第3篇　学校における保健教育
「改訂『生きる力』を育む保健教育の手引」（文科省ホームページ）

【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習のための小テスト
【予習復習に必要な想定時間】
所要時間60分程度

第４回　学校保健における健康課題②

【key words】
保健指導
【授業概要】
「がん」「歯と口の健康づくり」「食育」
【教科書ページ・参考文献】
『学校保健実務必携』の「第3篇　学校における保健教育
「改訂『生きる力』を育む保健教育の手引」（文科省ホームページ）

【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習のための小テスト
【予習復習に必要な想定時間】
所要時間60分程度

第５回　保健教育模擬授業の実践①

【key words】
模擬授業
【授業概要】
学校保健活動論Ⅰで健康課題にしたテーマをもとに授業指導案を作成し一人一人が既習したことに基づき模擬授業を実施する。模擬授業の発表後に相互評価を行い学習指導案を再検討する。

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業者は20分の授業を板書計画と指導案を提出して臨む。終了後、実施後の感想を動画と一緒に提出する。児童生徒役は授業終了後、模擬授業実施者に対して評価項目に沿って他者評価する。
【予習復習に必要な想定時間】
所要時間60分程度

第６回　保健教育模擬授業の実践②

【key words】
模擬授業
【授業概要】
学校保健活動論Ⅰで健康課題にしたテーマをもとに授業指導案を作成し一人一人が既習したことに基づき模擬授業を実施する。模擬授業の発表後に相互評価を行い学習指導案を再検討する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業者は20分の授業を板書計画と指導案を提出して臨む。終了後、実施後の感想を動画と一緒に提出する。児童生徒役は授業終了後、模擬授業実施者に対して評価項目に沿って他者評価する。
【予習復習に必要な想定時間】
所要時間60分程度

第７回　保健教育模擬授業の実践③

【key words】
模擬授業
【授業概要】
学校保健活動論Ⅰで健康課題にしたテーマをもとに授業指導案を作成し一人一人が既習したことに基づき模擬授業を実施する。模擬授業の発表後に相互評価を行い学習指導案を再検討する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業者は20分の授業を板書計画と指導案を提出して臨む。終了後、実施後の感想を動画と一緒に提出する。
児童生徒役は授業終了後、模擬授業実施者に対して評価項目に沿って他者評価する。
【予習復習に必要な想定時間】
所要時間60分程度

	第８回　　保健教育模擬授業の実践④ 【key words】 模擬授業 【授業概要】 学校保健活動論Ⅰで健康課題にしたテーマをもとに授業指導案を作成し一人一人が既習したことに基づき模擬授業を実施する。模擬授業の発表後に相互評価を行い学習指導案を再検討する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業者は20分の授業を板書計画と指導案を提出して臨む。終了後、実施後の感想を動画と一緒に提出する。児童生徒役は授業終了後、模擬授業実施者に対して評価項目に沿って他者評価する。 【予習復習に必要な想定時間】 所要時間60分程度
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講のルール〕 ・授業シラバスを必ず確認し積極的に授業に臨むこと。 ・授業時間内でグループ検討する時間があるので、互いに協力し積極的に取り組むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード方式
授業外時間にかかわる情報	知識習得のため小テストは次時までに行ってくる。指導案および模擬授業は評価項目に留意して計画実践する。
オフィスアワー	授業前後45分
評価方法	指導案レポート30%　保健模擬授業40%　　筆記試験30%
教科書	後日紹介
参考書	『学校保健実務必携』の　第3篇「学校における保健教育」 「改訂『生きる力』を育む保健教育の手引」（文科省ホームページ）
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 保健教育実践の豊富な養護教諭経験者が担当する アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 公衆衛生看護学実習Ⅰ(保健所・保健センター)　　授業コード： 10131

英文科目名称： Practices of nursing in public health 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	４年次	3単位(135)	選択
担当教員			
大野　佳子　　橋本　いずみ			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業の目的] 地域の健康課題とその地域で展開されている公衆衛生看護の実際を知り、行政を活動の場とする保健師の活動方法及び役割を学ぶ。 [到達目標] ①公衆衛生行政（特に一般衛生行政）の組織と機能、そこでの保健師活動がわかる。 ②実習地域の健康課題と保健事業との関連について理解できる。 ③個人・家族・集団・地域社会に対する公衆衛生看護の展開方法がわかる。 ④個人・家族・集団を対象とした保健活動を実践し、評価することができる。 ⑤保健・医療・福祉・教育・産業の連携によって地域住民の健康問題解決を図る意義と方法がわかる。 ⑥保健師の倫理的実践について考察し、行動規範の向上を目指す。
授業の概要	臨地実習要項参照 ■実習時期及び実習日数・時間 実習時期：令和5年8月21日（月）～10月6日（金）3週間 2クール 実習日数・実習時間：15日間（135時間）（3単位） 実習施設：群馬県内の保健所/保健福祉事務所、市町村保健センター

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	○
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	△
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	＊＊＊＊　臨地実習要項参照 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	■実習履修資格者 (1) 保健師課程履修を許可されていること。 (2) 施設・病棟統合実習を除く３年次までの看護学臨地実習の単位を全て修得していること。 (3) 3年次までの保健師必修科目の単位を全て修得していること。 (4) 4年次前期の保健師必修科目の単位認定の資格要件を満たしていること。 以上 (1) ～ (4) の条件をすべて満たしていること。 ■実習上の注意 ・臨地実習要項「公衆衛生看護学実習Ⅰ」にそって実習を行う。 ・社会人としての責任ある振る舞いを要求される。 ・制服もしくは指示された服装で実習すること。 ・靴はローヒールで音のしないものであること。

	・髪は他の実習と同様にまとめる。アクセサリーはつけない。 ・実習中は名札を着用する。 ・事前学習をしないで実習することはできない。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	臨地実習要項参照
授業外時間にかかわる情報	臨地実習要項、実習オリエンテーション資料参照
オフィスアワー	臨地実習要項参照
評価方法	公衆衛生看護学実習Ⅰの目標を評価基準として、実習内容、実習中の態度、課題、記録物、出席状況等を基に総合的に評価する。 詳細は臨地実習要項を参照のこと。
教科書	公衆衛生看護活動論で使用した教科書
参考書	公衆衛生看護活動論で使用した参考書
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健実習）　　授業コード：10132

英文科目名称： Practices of nursing in public health 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	４年次	1単位(45)	選択
担当教員			
橋本　いずみ　　大野　佳子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 学 ［目的］ 学校保健活動および養護教諭の活動の実際から、学校における生活支援と健康支援を学ぶ。 ［到達目標］ 1)学校における健康に関する活動の意義とそのしくみについて理解できる。 2)学校保健活動における学校安全活動の実際を理解できる。 3)児童生徒の発育・発達に対する理解を深め、健康課題に応じた保健指導を考えることができる。 4)特別な支援を必要とする児童生徒の置かれている状況と支援の実際を理解できる。 5)学校と地域保健との連携について考えることができる。 6)児童・生徒の健康問題を知る。
授業の概要	実習時期：2023（令和5）年8月21日～10月6日の期間内 実習日数・実習時間：1週間（45時間）事前指導2日、事後指導1日間 実習施設：藤岡市内の公立学校 ＊実習方法の詳細は「令和5年度　臨地実習要項　公衆衛生看護学実習Ⅱ」に提示する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	○
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	△
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	以下の要件をすべて満たしている者が、公衆衛生看護学実習Ⅱに臨むことができる。 1)保健師教育課程履修を許可されていること。 2)施設・病棟統合実習を除く３年次までの看護学臨地実習の単位を全て修得していること。 3)３年次までの保健師必修科目の単位を全て修得していること。 4)４年次前期の保健師必修科目の単位認定の資格要件を満たしていること ■実習上の注意 ・臨地実習要項「公衆衛生看護学実習Ⅲ」にそって実習を行う。 ・社会人としての責任ある振る舞いを要求される。 ・制服もしくは指示された服装で実習すること。 ・靴はローヒールで音のしないものであること。 ・髪は他の実習と同様にまとめる。アクセサリーはつけない。 ・実習中は名札を着用する。 ・事前学習をしないで実習することはできない。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	学生と教員間の連絡・報告により確認を行う。

授業外時間にかかわる情報	事前学習及び準備を十分に行い、学校での実習に取り組むこと。
オフィスアワー	随時
評価方法	公衆衛生看護学実習Ⅱの目標を評価基準として、実習内容、実習中の態度、課題、記録物、出席状況等を基に総合的に評価する。 詳細は臨地実習要項を参照のこと。
教科書	臨地実習要項 配布資料、これまでの教科書
参考書	・公衆衛生看護学.Jp.第５版データ更新版　インターメディカル. ・標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　第４版　医学書院 ・保健の実践科学シリーズ　行政看護学　講談社
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健実習)　　授業コード：10133

英文科目名称： Practices of nursing in public health 3

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	４年次	1単位(45)	選択
担当教員			
橋本　いずみ　　大野　佳子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[実習の目的] 産業保健における看護職の保健活動の実際を学び、労働環境と働く人々の健康課題を理解し、働く人々の包括的健康支援を考える。 [実習目標] 1.産業保健活動が行われる場を理解する。 2.職域における保健・看護活動の特徴を理解する。 3.働く人々の健康を支える労働衛生管理体制を理解する。 4.働く人々の健康をアセスメントし、働く人々の健康課題を理解する。
授業の概要	臨地実習要項　公衆衛生看護学実習Ⅲ参照 ■実習時期及び実習日数・時間 実習時期：令和5年8月21日（月）～ 10月6日（金）内 実習日数：5日間 実習時間：45時間 実習施設：県内の事業所等 ※実習方法の詳細は「臨地実習要項　公衆衛生看護学実習Ⅲ」に提示する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	○
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	△
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	＊＊＊＊　　臨地実習要項参照
受講生に関わる情報および受講のルール	■実習履修資格者 （1）保健師課程履修を許可されていること。 （2）施設・病棟統合実習を除く３年次までの看護学臨地実習の単位を全て修得していること。 （3）3年次までの保健師必修科目の単位を全て修得していること。 （4）4年次前期の保健師必修科目の単位認定の資格要件を満たしていること。 以上（１）～（４）の条件をすべて満たしていること。 ■実習上の注意 ・臨地実習要項「公衆衛生看護学実習Ⅲ」にそって実習を行う。 ・社会人としての責任ある振る舞いを要求される。 ・制服もしくは指示された服装で実習すること。 ・靴はローヒールで音のしないものであること。 ・髪は他の実習と同様にまとめる。アクセサリーはつけない。 ・実習中は名札を着用する。 ・事前学習をしないで実習することはできない。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	臨地実習要項参照
授業外時間にかかわる情報	臨地実習要項、実習オリエンテーション資料参照

オフィスアワー	臨地実習要項参照
評価方法	1）評価項目：以下の項目を基に総合的に評価する。 ①出席状況。 ②実習内容、実習目的・目標に対する達成状況。 ③実習態度。 ④実習記録・レポート。 ⑤事前課題、事後課題。 ①～⑤を総合的に評価する。 ※実習時間の4/5以上の出席を要する。 2）評価手順と方法 ①自己評価：実習終了時に学生が自己の評価を行う。 ②提出物：実習終了後に評価表・記録・レポートを提出する。 ③上記評価等により、Ｓ、Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄの5段階で総合的に評価する。 詳細は臨地実習要項を参照のこと。
教科書	詳細は実習オリエンテーションにおいて提示する。
参考書	詳細は実習オリエンテーションにおいて提示する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 施設・病棟統合実習　　授業コード： 10134

英文科目名称： Practices of facilities and ward integration

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	４年次	2単位(90)	必修
担当教員			
看護学部専任教員			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【目的】 あらゆる健康段階における対象とその家族への看護活動のあり方を学び、保健・医療・福祉チームにおける看護専門職の役割と責任を理解し、総合的な看護実践能力を高めるための知識・技術・態度を習得する。 【目標】 １．施設および病院組織における看護の機能と役割を理解する。 1) 看護部・病棟の組織と役割について説明できる。 2) 看護部・病棟の組織としての医療安全管理について説明できる。 3) 医療・看護倫理の重要性について考えられる。 4) 病棟看護管理者の役割について説明できる。 ２．チーム医療における看護職間・多職種との協働・連携について理解する。 1) 患者に関わる多職種の役割を説明できる。 2) チーム医療における多職種との連携の必要性を説明できる。 3) リーダーシップ、メンバーシップについて説明できる 4) 看護活動におけるマネジメントの必要性について説明できる。 ３．地域包括ケアシステムにおける看護活動のあり方を理解する。 1) 退院支援における地域包括ケアシステムの必要性について説明できる。 2) 社会資源の活用や在宅生活に向けての退院支援・調整における看護師の役割を説明できる。 3) 医療・看護・保健・福祉・行政の支援ネットワークの必要性を説明できる。 ４．看護専門職を目指す者として、看護活動する上での自己の課題を明確にする。 1) 事前学習を行い自己の学習目標を明確にできる。 2) 実習や自己学習に主体的に取り組むことが出来る。 3) グループメンバーの一員として協働・協力・連携を図ることができる。 4) 他者の意見を聴き、自己の意見を伝え、学びを深められる。 5) 実習の学びを通して自己の課題を記述できる。
授業の概要	施設・病棟統合実習要項に準ずる。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	◎

授業計画	第１回
受講生に関わる情報および受講のルール	以下の要件をすべて満たしている者が、施設・病棟統合実習に臨むことができる。 臨床看護学実習Ⅰ・Ⅱ、高齢者看護学実習Ⅰ・Ⅱ、精神看護学実習、在宅看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習、看護活動におけるメンバー・リーダーシップの単位を修得している者
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	原則、臨地実習時間及び学内実習時間内に実習担当教員に相談し、指導を受けること。
授業外時間にかかわる情報	実習に臨むにあたり、既習知識の復習及び事前学習は必須である。4月から事前学習に臨む事。事前学習の時間確保について、その他実習に関わる課題や実習記録を記載する上で必要な自己学習の時間は、各自で確保する必要がある。

オフィスアワー	原則、臨地実習時間及び学内実習時間内に実習担当教員に相談し、指導を受けること。 事前学習についての時間確保は、担当教員の指示を受けることもある。
評価方法	1）実習時間の5分の4以上の出席を単位認定の条件とする。 2）出席状況・実習への取り組み・実習記録・レポート等の記載内容を評価対象とし、評価基準に基づいて総合的に評価する。
教科書	臨床看護学実習Ⅰ・Ⅱ、高齢者看護学実習Ⅰ・Ⅱ、精神看護学実習、在宅看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習に使用した全ての教科書、系統看護学講座看護の統合と実践①「看護管理」系統看護学講座看護の統合と実践②「医療安全」
参考書	上記の教科書以外で教員から指示された参考書
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 看護現場の実践経験者による指導 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 看護管理論　　授業コード： 10135

英文科目名称： Member leadership in nursing activities

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	３年次	1単位(15)	必修
担当教員			
源内　和子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業の目的] 看護活動の場において展開される看護マネジメントの基礎と原則を習得し、将来看護活動の場で活用できるための基礎を学ぶ。 [到達目標] ①看護マネジメントの基礎と原則について理解できる。 ②看護活動におけるメンバーシップ・リーダーシップについて理解できる。 ③実習体験を通して気付いた自己のメンバーシップ・リーダーシップの傾向を理解する。
授業の概要	看護の機能するあらゆる場における看護マネジメントの基本ならびに看護管理者の役割機能及び、メンバーシップ・リーダーシップの役割について、講義・グループワーク等の方法を用いて理解を深める。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画	第1回	1.マネジメントとは・看護におけるマネジメント　2.サービスとは・医療サービス　3.看護マネジメントの考え方の変遷 【key words】 マネジメント、看護マネジメント、医療サービス 【授業概要】 ・マネジメントの基本的な考え方や看護マネジメントの考え方を学ぶ。 ・サービスの基本特性を理解して、医療サービスの特徴を把握す ・看護マネジメントの変遷を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　統合分野　看護管理　看護の統合と実践①P2～P62 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで、講義に臨む。マネジメントに関する文献等を読みまとめて臨む 復習：授業計画を再度読み授業全体のイメージをつかむ 【予習復習に必要な想定時間】 130～60分
	第2回	1.組織目標達成のマネジメント　2.チーム医療・他職種との協働　3.協働のためのマネジメント 【key words】 組織、チーム医療、協働 【授業概要】 ・組織構造と組織原則について学ぶ。 ・チーム医療の具体例を通して、他職種との協働のあり方を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　統合分野　看護管理　看護の統合と実践①P78～P135 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで、講義に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第3回	1.病院・看護部組織　2.看護部門の職務と看護単位　3.看護ケア提供システムと看護基準・手順 【key words】 病院・看護部組織、職務、看護ケア提供システム 【授業概要】 ・病院・看護部組織の構造と特徴を理解する ・看護管理職の職務について学ぶ。 ・看護ケア提供システムの特徴を理解する。 【教科書ページ・参考文献】

		系統看護学講座　統合分野　看護管理　看護の統合と実践①P78～P135 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで、講義に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第4回	1.キャリアマネジメント2.タイムマネジメント3.ストレスマネジメント 【key words】 キャリアマネジメント、タイムマネジメント、ストレスマネジメント 【授業概要】 ・看護職として社会で仕事をしていくためのキャリアマネジメントについて理解する ・事故のキャリア形成について考察する ・タイムマネジメントの要素について学び、具体的なタイムマネジメントの方法を理解する。 ・ストレスマネジメントについて理解する 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　統合分野　看護管理　看護の統合と実践①P64～P76 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを読んで、講義に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第5回	多様なチームケアの事象を通じて、チームケアにおける看護の役割を考える（GW） 【key words】 チーム医療、看護の役割、他職種との連携、 【授業概要】 グループワーク①1.チーム医療における他職種との連携、看護の役割 2.入院からの経過を追った具体的事例を通し、医療にかかわる様々な職種の役割と連携、看護の役割についてグループワークする。 3. 多様な事象におけるチーム医療について話し合い看護の役割がどのように果たされていたか明らかにする。責任と役割は何か、グループで討議する。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　統合分野　看護管理　看護の統合と実践① 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・グループワークでは積極的に発言できるよう意見をもって臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第6回	多様なチームケアの事象を通じて、チームケアにおける看護の役割を考える（GW） 【key words】 チーム医療、看護の役割、他職種との連携 【授業概要】 グループワーク②「多様なチームケアの事象を通じて、チームケアにおける看護の役割を考える」 チーム医療とは何か、又チーム医療における看護職の責任と役割は何か、グループで討議した結果を発表する。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　統合分野　看護管理　看護の統合と実践① 【課題・予習・復習・授業準備指示】 グループの発表者を決め発表内容の準備をする。発表会の司会者を決め活発な質疑応答ができるようにする。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第7回	これまでの実習体験を通して、多様なチームケアにおける看護の役割・自己のメンバーシップ、リーダーシップの傾向を考える、メンバーシップ、リーダーシップの理解を深めどのように 発揮するか考える（GW） 【key words】 メンバーシップ、リーダーシップ 【授業概要】 1. 実習体験を通し、自己のメンバーシップ、リーダーシップの傾向をグループワークで話し合う。 2. 講義で学んだ知識をふまえ、今後メンバーシップ・リーダーシップをとる場合どう発揮していくか考える 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　統合分野　看護管理　看護の統合と実践① 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・今までの実習の中でどのようにメンバーシップ、リーダーシップをとってきたか振り返りを行う。 ・第4回授業内容を復習しグループワークでに意見をもって臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第8回	これまでの実習体験を通して、多様なチームケアにおける看護の役割・自己のメンバーシップ、リーダーシップの傾向を考える、よいメンバーシップ、リーダーシップを発揮するにはどのようにしたらよいか考える（GW） 【key words】 メンバーシップ、リーダーシップ 【授業概要】 1. グループワークの結果の発表を聞き自己のメンバーシップ、リーダーシップの傾向を理解する。 2. メンバーシップ、リーダーシップの発揮の仕方について具体的な方法を見出す。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　統合分野　看護管理　看護の統合と実践① 【課題・予習・復習・授業準備指示】 グループの発表者を決め発表内容の準備をする。発表会の司会者を決め活発な質疑応答ができるようにする。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分

受講生に関わる情報および受講のルール	・グループワークや発表等いずれにもメンバーシップ・リーダーシップの学びを活用しながら進めていく。 ・グループワークは、積極的に参加されることを期待する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	QRコード方式
授業外時間にかかわる情報	・「看護管理」に関する情報（実習体験・新聞記事等）を積極的に収集する。 ・3学年の領域実習は、リーダーシップ・メンバーシップを積極的に学ぶ機会ととらえること。 ・疑問な点は自分で調べ、授業で問題解決するように努力すること。
オフィスアワー	授業終了日18時まで
評価方法	筆記試験（80%）、課題レポート（20%）。授業態度、出席状況により総合的に評価する。
教科書	上泉和子他：系統看護学講座：看護の統合と実践①看護管理　医学書院、2018
参考書	①P・Fドラッカー著：マネジメントー基本と原則、ダイヤモンド社、2013 ②森田一寿編著：医療福祉マネジメントの実際、日本図書刊行会、2004 ③井部俊子編著：実践家のリーダーシップー現場が変わる、看護が変わるー、ライフサポート社、2009 ④高橋みなみ著：リーダー論、講談社、2015
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 看護実践者として37年の経験を積んできた。その間20年余は看護管理や医療安全管理に関与してきた。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： クリティカルケア特論　　授業コード：10138

英文科目名称： Special seminar on critical care

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年次	1単位(15)	選択
担当教員			
大山真貴子，中山洋子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 生命の危機的状況にある救命救急医療の場において、将来適切な看護を行えるようになるための知識を修得することを目的とします。 〔到達目標〕 目の前で生じている生命の危機的状況に対し、これまでに学んだ医学、医療の知識を基に問題点を明らかにし、その病態生理をふまえた上で解決策が立てられ、クリティカルケアが実践できるようになることを目標とします。
授業の概要	クリティカルケア看護の特性、取り巻く環境を理解した上で、クリティカルな状況にある方へのアセスメントの意義、目的、方法およびその実際を学習します。その上で、クリティカルな状況にある方の主要病態の特徴とケア、過大侵襲を伴う手術患者さんの特徴とケア、クリティカルケア看護に必要な看護技術等について学びます。さらに、クリティカルケア看護を実践するにあたっての倫理、チーム医療体制およびその実践に必要なマネジメントについても学びます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	○
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	○
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　オリエンテーション、クリティカルケア看護とは

【key words】
クリティカルケア看護の特性、クリティカルケアを必要とする患者・家族の特徴
【授業概要】
はじめにあたりオリエンテーションを行います。クリティカルケア看護師に求められる能力、クリティカルケアの場の種類と特性、さらに、クリティカルケアを必要とする患者さんの特徴と問題点、危機的状況にあるご家族の特徴につき解説します。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
ご自身で選択した参考書の該当部分を熟読した上で授業に臨んで下さい。授業では、重要なポイントを解説します。授業終了後に重要ポイントを復習し、知識を確かなものとして下さい。
【予習復習に必要な想定時間】
30－60分

第２回　クリティカルな患者のアセスメント

【key words】
アセスメントの意義・目的、アセスメントの方法、系統別アセスメントの実際、小児のアセスメント、高齢者のアセスメント
【授業概要】
アセスメントの意義、目的、方法、そして呼吸器系、循環器系、脳神経系の系統別アセスメントの実際を学びます。さらに、今後重要性が増す高齢者に対するアセスメントの実際を解説します。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
ご自身で選択した参考書の該当部分を熟読した上で授業に臨んで下さい。授業では、重要なポイントを解説します。授業終了後に重要ポイントを復習し、知識を確かなものとして下さい。
【予習復習に必要な想定時間】
60－90分

第３回　クリティカルな患者の主要病態の特徴とケア　（Ｉ）

【key words】
過大侵襲、栄養障害、栄養管理、呼吸障害とケア、循環障害とケア、脳神経系障害とケア

	【授業概要】 過大侵襲を受けた方に生じている生体反応、栄養障害と栄養管理、呼吸障害とケア、循環障害とケア、脳神経系障害とケアについて解説します。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ご自身で選択した参考書の該当部分を熟読した上で授業に臨んで下さい。授業では、重要なポイントを解説します。授業終了後に重要ポイントを復習し、知識を確かなものとして下さい。 【予習復習に必要な想定時間】 60－90分
第４回	クリティカルな患者の主要病態の特徴とケア （ II ） 【key words】 凝固・線溶系障害とケア、多臓器障害とケア、重症感染症とケア、創傷とケア、精神障害とケア 【授業概要】 クリティカルな状態の方に生じている凝固・線溶系障害とケア、多臓器障害とケア、重症感染症とケア、創傷とケア、さらに精神障害とケアについて学びます。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ご自身で選択した参考書の該当部分を熟読した上で授業に臨んで下さい。授業では、重要なポイントを解説します。授業終了後に重要ポイントを復習し、知識を確かなものとして下さい。 【予習復習に必要な想定時間】 60－90分
第５回	過大侵襲に伴う手術患者の特徴とケア 【key words】 外科的侵襲、生体反応、手術後に必要な看護 【授業概要】 外科的侵襲が生体に与える影響について解説します。その上で、手術後に必要な看護について学びます。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ご自身で選択した参考書の該当部分を熟読した上で授業に臨んで下さい。授業では、重要なポイントを解説します。授業終了後に重要ポイントを復習し、知識を確かなものとして下さい。 【予習復習に必要な想定時間】 60－90分
第６回	クリティカルケア看護に必要な看護技術 【key words】 心肺蘇生法、呼吸管理、体液・循環管理、栄養・代謝管理、体温管理、感染予防対策、スキンケア、口腔ケア、体位変換、疼痛ケア、廃用症候群の予防、摂食・嚥下促進、危篤状態にある患者・家族へのケア 【授業概要】 クリティカルな状態にある方に対して必要な看護技術について学びます。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ご自身で選択した参考書の該当部分を熟読した上で授業に臨んで下さい。授業では、重要なポイントを解説します。授業終了後に重要ポイントを復習し、知識を確かなものとして下さい。 【予習復習に必要な想定時間】 60－90分
第７回	クリティカルケアの看護実践を支える枠組み、クリティカルケア看護の実践に必要なマネジメント 【key words】 クリティカルケア看護と倫理、クリティカルケア看護とチーム医療、クリティカルケア看護と看護管理、クリティカルケア看護と安全管理 【授業概要】 患者の権利と擁護、身体拘束、インフォームドコンセント、人格の尊重、リビングウィルとDNAR、尊厳死について解説します。また、クリティカルケア看護におけるチーム医療の特殊性、チーム医療におけるコミュニケーションについて学びます。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ご自身で選択した参考書の該当部分を熟読した上で授業に臨んで下さい。授業では、重要なポイントを解説します。授業終了後に重要ポイントを復習し、知識を確かなものとして下さい。 【予習復習に必要な想定時間】 60－90分
第８回	まとめ 【key words】 【授業概要】 これまでに学んできたクリティカルケア看護を、国家試験の関連部分を解くことで理解をより確かなものとします。同時に、定期試験対策、ひいては国家試験対策となるよう配意します。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 これまでに学んできた内容で、理解しにくい点、いまだ自身が修得できていない点を明確にして授業に臨んで下さい。 【予習復習に必要な想定時間】 90－120分
受講生に関わる情報および受講のルール	1. 将来の医療従事者として、だれからも信頼されるような真摯な姿勢で授業に臨んでください。 2. 指定した課題は内容及び指定した書式以外は受け取りません。 3. 課題提出で期日を過ぎた場合，原点対象です。

毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	クリティカルケアは実践的な学問であり、実際にクリティカルケアを実践できるようになるには相応の経験を積むことが必要です。現状においては、、充分な予習（参考書の読み込み等）を行い、これまで学んできた知識を整理し、自身がクリティカルな場面に直面していることをイメージし、その上で生じる多くの疑問点や理解しにくい部分を、授業中および授業後の発展的学習等により解決していくことが重要です。
オフィスアワー	事前に連絡してください。
評価方法	全8回において課題を提出します。その課題提出を順守してください。成績は課題学習で提出されたもので評価します。
教科書	特に指定致しません。
参考書	授業の中で適宜紹介します。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 特定機能病院で看護者として実践歴のある教員が担当します。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 家族援助論　　授業コード： 10139

英文科目名称： Theories of family support

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年次	1単位(15)	選択
担当教員			
浅川　茂実			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療従事者に必要なソーシャルワークについて学び、実践できるようになることを目的とする。 【到達目標】 ①ソーシャルワークの意義と目的について理解する。 ②援助技術の原理原則について理解する。 ③基本的な援助技法を身につける。
授業の概要	講義や演習を通して、医療従事者に必要な社会福祉の知識や援助技術の実際について学ぶ。援助技術は「人の生活を支える」重要な技術であり、そのために必要な支援の方法を考える。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	○
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　科目オリエンテーション、　自己紹介カード
【key words】
【keywords】
授業の進め方　自己紹介

【授業概要】
【授業概要】
授業計画について説明する　予習・復習について説明する　評価方法について説明する
コミュニケーションの第一歩である自己紹介について考察する
【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
自己紹介カードを作る
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】
自分を知ってもらうための印象に残る自己紹介を考える
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第２回　コミュニケーションとは
【key words】
【keywords】
家族　　家族支援
【授業概要】
【授業概要】
通常個々の生活の背景には、家族などの関係を無視することができない。この家族とは何かについて考察する。
【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
授業内で配布予定
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】
家族について調べておこう
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第３回　対人援助技術の原則
【key words】
【keywords】

		アセスメントについて 【授業概要】 【授業概要】 対象を知ることは問題解決の主要な視点となる。そのアセスメントについて説明をします 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】 資料を配布します 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備】 アセスメントについて調べてくる 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第４回	コミュニケーションスキルを磨こう 【key words】 【keywords】 ソーシャルワーカー　バイスティック 【授業概要】 【授業概要】 場面にあわせた援助の原理原則について学ぶ バイスティックの７原則について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】 資料を配布します 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備】 イスティックについて事前に調べておくこと ソーシャルワーカーとしての原理原則がボランティアや実習の場面でどのように役立つのかを実践の場で確認する 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第５回	障害児者への対応 【key words】 【keywords】 障害があるということ 【授業概要】 【授業概要】 障害について理解を進める。障害者の権利条約をもとに社会モデル、生活モデルの説明を行う。 障がいの概念をもとに自分を基準とした価値について考察する 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】 資料を配布する 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備】 自分と他者との関係について考えてくる 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第６回	尊厳死・安楽死について 【key words】 【keywords】 尊厳死　安楽死　価値　死ぬ権利　生きる権利 【授業概要】 【授業概要】 資料をもとにグループ討議を実施する 評価試験内容についての詳細を説明します 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】 資料配付 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備】 人と自分との関係性や価値について考える 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第７回	コンセンサス 【key words】 【keywords】 計画と同意 【授業概要】 【授業概要】 すべての事は同意を得ることから、あるいは同意を得るためにおこなわれる。同意を得る事は非常に難しく、互いの価値観をどのように解釈していくのか、支援者側はどのように介入すべきかを考える必要がある。演習では、互いの価値観を共有することの難しさを考える。 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】 資料を配布します 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備】 同意について考えてみよう 【予習復習に必要な想定時間】

	60分 第８回　援助の基本原則　まとめ 【key words】 【keywords】 バイスティックの７原則　家族 【授業概要】 【授業概要】 評価の方法について再度説明 ソーシャルワーカーとしての原理原則について復習 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】 評価のためのレポートの作成について 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備】 レポート試験の準備をしよう 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	対人援助サービスに携わる者としての視点で授業に参加すること。 8 回の授業なので、欠席が3 回以上になると単位認定はできなくなるので注意すること。 演習には積極的に参加すること。授業の流れに反した行動を取る場合には履修しないこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	２回に１回の割合でレポート課題を出す
オフィスアワー	授業後20分間
評価方法	筆記試験（レポート試験）80％と授業中に出すレポート課題等の提出物20％により評価する。レポート試験の採点基準詳細については試験時に指示する。
教科書	授業中に指示する。
参考書	授業内で適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 看護研究概論　　授業コード： 10140

英文科目名称： Introduction to nursing research

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年次	1単位(15)	必修
担当教員			
櫻井清美			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	＜目的＞ 　看護研究の意義、目的、看護実践としての看護研究の特徴やあり方について理解し、看護研究を実施するために必要な基礎的能力を習得する。 ＜目標＞ １．看護研究の特徴（定義、種類、方法、一連の過程）を理解できる。 ２．看護研究における倫理的配慮の重要性を理解し、研究対象者の人権を擁護するために必要不可欠な研究者としての態度や行動を考察できる。 ３．上記１・２の学習を通じ、実践科学としての看護研究の意義、あり方について考察できる。 ４．看護研究に研究的・主体的態度で臨むことの重要性を理解するとともに、看護研究を実施するための 　自らの課題を明確にできる。
授業の概要	看護実践の質の向上、看護学の発展、看護専門職の専門性を発展させる上で、看護研究は必要不可欠である。本科目では、看護研究の意義や目的、看護研究における倫理、実践科学としての看護研究のあり方について論及し、看護研究を行う上で必要な知識を教授するとともに、看護学の初学者として看護研究とどのように関わっていく必要性があるのかについて考える機会とする。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	◎

授業計画	第１回	科目オリエンテーション 研究とは、看護研究の必要性、研究課題 【key words】 看護研究、意義、看護学、実践科学 【授業概要】 臨地実習で実践した援助を振り返り、自身の看護の疑問や看護観を考える。研究が特別なものでなく、日ごろから考えたり援助してきたことが、対象者への貢献になることを実感してほしい。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P9-22 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読し、自身の看護についての考えも思い起こして授業に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間
	第２回	看護研究の種類と特徴、事例研究の必要性 リサーチクエスチョン、文献レビュー 【key words】 研究の種類・特徴、事例研究 【授業概要】 なにげない看護への疑問や、対象者へのより良い看護を追求することが看護研究につながることを理解してほしい。また、難しいことでなく、自分自身のこととして看護研究をとらえてほしい。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P23-32 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読し、自身の看護についての考えも思い起こして授業に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間
	第３回	看護研究における倫理① 倫理上の原則、擁護されるべき権利

		【key words】 倫理指針、倫理の原則、アドボカシー(擁護)、倫理的配慮 【授業概要】 看護研究において重要な倫理的な原則を学び、対象者を擁護する必要性を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P125-138 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読し、看護研究を行う時には対象を擁護する必要性があることを考えて授業に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間
	第４回	看護研究における倫理② 対象者に対する倫理、研究倫理審査委員会 【key words】 研究倫理、研究計画書、研究倫理審査、研究説明書、同意書 【授業概要】 看護研究を行うにあたって、倫理的な手順を踏む必要性や具体的な内容について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P125-138 【課題・予習・復習・授業準備指示】 看護研究において参考にできる倫理的内容や手順について、あらかじめ確認して授業に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間
	第５回	看護研究の種類(研究デザイン)①量的研究 【key words】 量的研究、実態調査研究、相関研究、実験研究 【授業概要】 看護研究の種類として、量的研究と質的研究があることを学ぶ。また、量的研究の具体的な研究方法を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P23-32 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読し、数値で表される研究結果の利点・不足点をあらかじめ考えて授業に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間
	第６回	看護研究の種類(研究デザイン)②質的研究 【key words】 質的研究、事例研究、質的帰納的研究、内容分析、グラウンデッドセオリー 【授業概要】 量的研究の具体的な研究方法を学ぶ。また、研究者によって、分析や考察に偏り（個人差）がでてしまう可能性を考える。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P23-32 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読し、質的データから読み取れる研究結果の利点・不足点をあらかじめ考えて授業に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間
	第７回	看護研究における文献検討 意義、読み方（クリティーク）、文献整理 【key words】 文献検討、読み方（クリティーク）、文献の整理、活用 【授業概要】 文献検討の具体的な方法をまなぶ。また、クリティークを学生自身が行い、文献の適切な読み方の実際を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P23-32、33-50 【課題・予習・復習・授業準備指示】 文献収集の仕方やクリティークの方法について、あらかじめ教科書を熟読し授業に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間
	第８回	看護研究トピックス 研究の進め方　総括 【key words】 EBN（Evidence Based Nursing）、研究課題 【授業概要】 なぜ、EBN（Evidence Based Nursing）が大切なのか考えることができる。また、自身の看護学実習の体験から、看護研究となる内容があるか自問自答し学ぶ。総括として、看護研究の必要性がわかり、自身で取り組む意義があることがわかってほしい。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P51-90 【課題・予習・復習・授業準備指示】 8回までの配布資料や教科書を概観し、自身の看護観を検討し授業に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間
受講生に関わる情報および受講のルール	・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語、スマホの使用など）は厳禁です。 ・課題の提出期限は必ず厳守すること。	

毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ＱＲコード、コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	授業に関連する教科書のページを熟読し、自らの研究疑問をもって主体的に参加してほしい。看護研究に興味をもって文献検索なども行い、自身の看護観を深められると良い。
オフィスアワー	授業終了後１時間
評価方法	１．レポート試験80％ ２．授業中レポート20％ 上記１から２を合わせて60％を超えること。
教科書	坂下玲子ら：系統看護学講座別巻　看護研究．2023，医学書院
参考書	１．川村佐和子編：ナーシンググラフィカ　看護研究．2021，メディカ出版 ２．黒田裕子：黒田裕子の看護研究Step by Step．2015，医学書院 ３．小笠原知枝編著：これからの看護研究．ヌーベルヒロカワ ４．早川和生編著：看護研究の進め方論文の書き方．医学書院 ５．南裕子編著：看護における研究．看護協会出版会 その他、適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 病院での手術室および脳神経外科での看護実践の経験があり、看護学の教育・研究を行っている教員が担当する。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 看護研究方法論　　授業コード： 10141

英文科目名称： Nursing research methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年次	1単位(30)	必修
担当教員			
大山真貴子，佐藤るみ子，櫻井清美			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 看護専門職を目指す者として、看護研究方法論の基礎を学び、研究疑問を科学的に探究する能力を養う。 〔到達目標〕 ①看護研究に関する基本的な知識、研究方法、研究の倫理について理解できる。 ②研究計画書を作成し、各自の研究テーマに基づく論文作成（看護研究セミナー）に活用できる。
授業の概要	看護研究の基礎となる研究プロセスと研究方法を学ぶ。研究計画書の書き方、データ収集・分析の方法、研究の倫理的配慮、文献クリティーク、論文のまとめ方、研究発表の仕方について教授する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画

第１回　科目オリエンテーション　看護研究プロセスの概要　文献検討の意義　文献検索の方法

【key words】
オリエンテーション、研究プロセス、文献検討
【授業概要】
今後の授業の進め方とおおよその内容、評価の方法について理解する。
特に、当該科目の目標と看護学部DPとの関連について理解する。
自らの興味関心のある研究テーマを設定、文献検索を行い、各自研究をすすめる。
【教科書ページ・参考文献】
①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P2-63
②川村佐和子編集：ナーシング・グラフィカ　看護研究　MCメディカ出版　2019
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト及び研究に関する文献を読み、自己学習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第２回　文献講読とクリティーク

【key words】
文献講読、クリティーク
【授業概要】
文献（研究論文）を読みながら、文献の読み方及びクリティークの方法について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P215-220
②川村佐和子編集：ナーシング・グラフィカ　看護研究　MCメディカ出版　2019
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト及び研究に関する文献を読み、自己学習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第３回　研究と倫理

【key words】
看護研究、研究倫理
【授業概要】
看護研究における研究倫理について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P19-30
③日本看護協会編：看護に活かす基準・指針・ガイドライン集　2018　日本看護協会出版会
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト及び研究に関する文献を読み、自己学習する。

【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第４回　研究課題と研究デザイン　　研究デザインの種類と特徴、概念枠組み
【key words】
看護研究、研究デザイン、概念枠組み
【授業概要】
看護研究における研究デザイン、概念枠組みについて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P80-117
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト及び研究に関する文献を読み、自己学習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第５回　量的研究　　量的研究のデータ収集と分析
【key words】
看護研究、量的研究、データ収集
【授業概要】
看護研究における量的研究のデータ収集と分析について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P136-204
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト及び研究に関する文献を読み、自己学習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第６回　量的研究　　質問紙調査票の作成
【key words】
看護研究、量的研究、質問紙調査
【授業概要】
看護研究における質問紙調査票の作成について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P153-158
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト及び研究に関する文献を読み、自己学習する。
【予習復習に必要な想定時間】
660分～120分

第７回　質的研究　　質的研究のデータ収集と分析　　事例研究と事例検討
【key words】
看護研究、質的研究、データ収集、データ分析
【授業概要】
看護研究における質的研究の特徴と質的研究のデータ収集と分析について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P222-240
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト及び研究に関する文献を読み、自己学習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第８回　論文のまとめ方①　研究論文の構成要素
【key words】
看護研究、論文作成、論文の構成
【授業概要】
看護研究における論文の構成及びその要素について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P212-214
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト及び研究に関する文献を読み、自己学習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第９回　論文のまとめ方②　論文・抄録の書き方（ガイドライン）
【key words】
看護研究、データ分析
【授業概要】
看護研究における論文・抄録の書き方（ガイドライン）について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P212-214
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト及び研究に関する文献を読み、自己学習する。
ガイドラインの配布資料をよく読む。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第１０回　論文発表の仕方、プレゼンテーション
【key words】
看護研究、研究発表、プレゼンテーション
【授業概要】
看護研究における研究発表及びプレゼンテーションの基本について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P210-212
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第１１回　研究計画書の作成①【演習】研究テーマの設定、研究動機、関連文献の講読

	【key words】 看護研究、研究計画書 【授業概要】 研究計画書の作成に必要な構成要素について学ぶ。各自研究計画書の作成に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 ①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P120-134 【課題・予習・復習・授業準備指示】 研究に関する文献を読み、研究計画書の作成をすすめる。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分 第１２回　研究計画書の作成②【演習】研究目的・研究方法 【key words】 看護研究、論文作成、抄録作成 【授業概要】 各自研究計画書の作成に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 ①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P120-134 【課題・予習・復習・授業準備指示】 研究に関する文献を読み、研究計画書の作成をすすめる。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分 第１３回　研究計画書の作成③【演習】倫理的配慮 【key words】 研究倫理、倫理的配慮 【授業概要】 各自研究計画書の作成に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 研究に関する文献を読み、研究計画書の作成をすすめる。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P23-30, 120-134 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分 第１４回　研究計画書の作成④【演習】研究計画書のまとめ、文献引用 【key words】 看護研究、研究計画書 【授業概要】 各自研究計画書の作成に取り組む。 研究計画書を完成させる。 【教科書ページ・参考文献】 ①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　全頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 研究に関する文献を読み、研究計画書の作成をすすめる。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分 第１５回　総括 【key words】 看護研究、研究計画書 【授業概要】 各自研究計画書の作成に取り組む。 研究計画書を完成させる。 【教科書ページ・参考文献】 ①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　全頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 研究に関する文献を読み、研究計画書の作成をすすめる。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
受講生に関わる情報および受講のルール	自己の研究課題に対し主体的に取り組み、研究計画書を作成し、4年次の論文作成（看護研究セミナー）につなげる。 興味関心のある事項及び研究疑問について文献を読む。 看護研究に関する参考書を活用する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	自己の研究課題に関連する研究論文を読み、文献学習を積極的に行うこと。
オフィスアワー	授業終了後～1 時間　　水曜日12：30～13：30
評価方法	筆記試験（客観・論述）50％課題学習・提出物50％%により総合的に評価する
教科書	①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018 ②川村佐和子編集：ナーシング・グラフィカ　看護研究　MCメディカ出版　2019 ③日本看護協会編：看護に活かす基準・指針・ガイドライン集　2018　日本看護協会出版会
参考書	随時紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容

	各看護学領域の教育・研究を行っている教員が担当する。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 看護研究セミナー　　授業コード： 10142

英文科目名称： Nursing research seminar

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	４年次	1単位(30)	必修
担当教員			
小野智佐子、看護学部専任教員			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 　必修科目「看護研究概論」「看護研究方法論」での学習内容を活用し、自己の研究テーマに基づき看護研究の一連の過程を実施することを通じ、看護研究を実施するために必要な基礎的能力を習得する。 〔到達目標〕 ①看護研究として取り組みたい研究課題を明確化し、研究テーマを決定できる。 ②自己の研究テーマ、研究目的に基づき、研究計画書の作成ができる。 ③研究計画書に基づき、データ収集・分析を実施し、基礎的知識を得る。 ④研究結果を論述し、考察することができる。⑤実施した一連の過程を研究論文の形式に則って論述できる。 ⑥実施した一連の看護研究の過程を研究発表の方法に則って発表できる。 ⑦看護研究の過程を通して、看護研究に必要な基礎的知識と研究的態度を身につける。
授業の概要	看護実践の質の向上、看護学の発展、看護専門職の専門性を発展させる上で、看護研究は必要不可欠である。　本科目では、一年から三年次のボランティア活動、看護実習での実践活動から抽出した看護問題、各々の研究疑問を研究テーマとし、担当教員の指導を受けながら、文献検討、研究テーマの吟味・決定、研究計画書の作成、データー収集・分析、論文及び抄録作成、研究成果の発表などの看護研究の一連のプロセスを実際に経験し学習する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	◎

授業計画	第１回　科目オリエンテーション／研究テーマの決定 【key words】 オリエンテーション、研究テーマ、EBN、量的研究、質的研究 【授業概要】 今後の授業の進め方とおおよその内容、評価の方法について理解する。 特に、当該科目の目標と看護学部DPとの関連について理解する。 自らの興味関心のある研究テーマを設定、文献検索を行い、各自研究をすすめる。 担当指導教員を決定する。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究概論、看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分 第２回　研究計画書の作成 【key words】 研究計画書、研究倫理、EBN、量的研究、質的研究 【授業概要】 各自研究計画書の作成に取り組む。 研究計画書に基づき、各自の研究をすすめる。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究概論、看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。

【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第３回　研究データの収集の実践
【key words】
看護研究、データ収集
【授業概要】
自己の研究テーマにおける研究データの収集に取り組む。
【教科書ページ・参考文献】
看護研究概論、看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。
担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第４回　研究データの整理
【key words】
看護研究、データ収集、データの整理
【授業概要】
自己の研究テーマにおける研究データ収集の整理に取り組む。
【教科書ページ・参考文献】
看護研究概論、看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。
担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第５回　研究データの分析
【key words】
看護研究、データ分析
【授業概要】
自己の研究テーマにおける研究データの分析に取り組む。
【教科書ページ・参考文献】
看護研究概論、看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。
担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第６回　研究データの分析結果の文章化
【key words】
研究データ、分析結果、文章化
【授業概要】
収集した研究データの結果を文章化し、論文作成に繋げる。
【教科書ページ・参考文献】
看護研究概論、看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。
担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第７回　研究論文の作成[1]緒言、研究目的
【key words】
看護研究、論文作成
【授業概要】
論文作成の手引きに基づき、各自論文作成に取り組む。
【教科書ページ・参考文献】
看護研究概論、看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。
担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第８回　研究論文の作成[2]研究方法
【key words】
研究論文、研究方法
【授業概要】
論文作成の手引きに基づき、各自論文作成に取り組む。
【教科書ページ・参考文献】
看護研究概論、看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。
担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第９回　研究論文の作成[3]研究結果
【key words】
研究論文、研究結果
【授業概要】
論文作成の手引きに基づき、各自論文作成に取り組む
【教科書ページ・参考文献】
看護研究概論、看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

		テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１０回	研究論文の作成[4]考察、結論 【key words】 研究論文、考察、結論 【授業概要】 論文作成の手引きに基づき、各自論文作成に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究概論、看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１１回	研究論文の抄録作成 【key words】 看護研究、論文作成、抄録作成 【授業概要】 作成した各自論文について、ガイドラインに沿って抄録作成に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究概論、看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１２回	研究発表会の準備[1]：発表原稿の作成 【key words】 研究発表、発表原稿の作成 【授業概要】 研究発表するための発表原稿及びパワーポイント（研究発表用）を作成する。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究概論、看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１３回	研究発表会の準備[2]：予行演習、プレゼンテーション 【key words】 看護研究、発表準備、プレゼンテーション 【授業概要】 研究発表の準備として、パワーポイントを用いた発表の予行演習を行う。 必要に応じて、修正を行う。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究概論、看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１４回	研究成果の発表 【key words】 研究発表、研究成果、プレゼンテーション 【授業概要】 学内研究発表会において、研究発表を行う。 質疑応答を行い、研究に対する理解を深め、自己課題を明確にする。 （研究発表会に２年生及び３年生が参加する） 【教科書ページ・参考文献】 看護研究概論、看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１５回	総括　研究のまとめ 【key words】 グループワーク、看護専門職者としての態度 【授業概要】 これまでの研究のプロセスを通して学んだこと及び看護専門職者としての態度について、自身の考えをまとめる。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究概論、看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 論文作成及び研究発表までの過程を振り返り、グループワーク（討議）に活かす。 看護専門職者としての基礎的研究能力について考察する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
受講生に関わる情報および受講のルール		〔受講に関わる情報〕 ・上記「授業計画」はあくまでも目安であるため、学生は、主体的に担当教員の指導を求め、その指

	導に基づき課題 に取り組む。 〔受講のルール〕 ・指導教員にアポイントメントをとり、指導を必ず受けること。 ・担当教員から提示された課題には主体的に取り組み、提出期限は必ず厳守すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード、その他（アンケート）
授業外時間にかかわる情報	・担当教員から提示された課題には真剣に取り組むこと。 ・わからない部分を授業にて解決するよう努力すること。
オフィスアワー	火曜日16：30～17：30　・各指導担当教員と相談の上、日時を決定し指導を受ける
評価方法	研究論文及び抄録、研究成果の発表（プレゼンテーション）、研究に取り組む姿勢について、看護研究セミナー評価表に基づき、単位認定教員が評価、判定する。
教科書	①南裕子：看護における研究，日本看護協会出版会. ②日本看護協会編：看護に活かす基準・指針・ガイドライン集　日本看護協会出版会
参考書	随時紹介
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 学位を有し、各看護学専門領域の教育・研究を行っている教員が担当・研究指導する。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 哲学　　授業コード： 20001

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年次	1単位(30)	必修
担当教員			
鈴木　利定			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 「人間とは何か」我々はこれまで幾度となくこの問いかけを繰り返してきた。中国の思想家たちは、この問いにどのように解答しているのか。そしてそれぞれの解答に対して自分自身はどう思うのかを自らとうてみる学問をねらいとしている。 【到達目標】 教科書「成有一徳」を熟読し、本学の「建学の精神」「教育理念」を理解し、それについての自分の考えを述べることができること。 ①人への思いやりの心を育む。 ②人間としての道徳や、礼儀を身につける。 ③「論語」から紐解く人の在り方とは何かを知る。
授業の概要	孔子は人間にいかに生くべきかという問いについて、人間によるべき新しい「道」をどのように考えたか。仁と礼について、特に最近は礼儀をわきまえないという声もある。つまり「形式的な礼など無用だ。真心さえ持っていればそれでよいので は虚礼廃止だ。」ということもあるが、孔子の説いた礼をもとに現代における礼のあり方を学ぶ。プラトンと同じく孔子は、理想国家を説くことにより政治のあり方を説いた。孔子の説いた政治道徳の現代にあてはまることを学ぶ。老子･荘子は孔子と並ぶ中国の代表的な思想家である。両社は全く相反する傾向すら持っている。この両者の思想を比較し、学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回 科目オリエンテーション/論語序説「史記」孔子出家で孔子の履歴を知る。学ぶことの意義、孝弟について、文を学ぶことは人倫の大きなる者について、信と義について。君子と貧しきものの生き方。学問について。 第２回 政とは如何なるべきか。志学より従心までの心持。孝と敬と。人物の観察法。身を正すこと。内省。志の大切さ。道に志す。性善論。信の大切さ。 第３回 教育論、礼に反する儀式について。僭し泰れに旅したこと。祭りと祭神について。射にみる古道について。 第４回 大学の道についての孔子の説明。大学辛句（右経一章） 明徳を明らかにするを釈く。民を新に釈く。（右伝の三章、右伝の二章） 第５回 至善に止まるを釈く。本末を釈く。（右伝の三章、右伝の四章） 心を正しくして身を脩めて、家を斉う。（右伝の七章、右伝の八章） 第６回 家を斉へて国を治むるを釈く。（右伝の十章） 朱子の中庸に対する解説であり、孔子の孫子思が道学のその伝を失わんことを優えて作るより説きおこす。（中庸章句序） 第７回 道に対する知者、愚者、賢者、不肖のかかわりを論ずる。（右章第四章、五章、六章） 第８回 顔回が中庸をえらび人生に処したことを論ずる。（右第七、八、九章） 第９回

	国に道あると無きとに関せず節操を持つべきを子略に示す。（右第十、十一章） 第１０回 孔子が憂いが無いのは文王だけだろうと語った理由を論ず。（右第十九章） 第１１回 よく民を治めるには、誠は天の道なるを知るに有るを論ず。（右第二十章） 第１２回 孔子の思想が「人間中心」であり、「ヒューマニズム」であるといわれるのはなぜかを学ぶ。 第１３回 孟子の人間観と筍子の人間観は孔子を中心とした仁と礼のいずれかの強調からきたものである。孟子、筍子はそれぞれを重視するものか、仁を重視するものかを考える。「四端の心」について学ぶ。 第１４回 老荘思想においては、人間をどのようにとらえるか。又、儒教の人間観に対してどのような批判をしているかを学ぶ。 第１５回 老荘思想と儒教のどちらの人間観により自己の思想を築いていくのかを学ぶ。
受講生に関わる情報および受講のルール	成績評価は、筆記試験･レポート･出席状況を鑑み、総合的に評価する。出欠席状況を重視し、出席常なる学生には、それ相当の評価をする。欠席・遅刻は事前に必ず連絡すること。理由なき無断の欠席、遅刻が多い者は成績評価を受ける資格を失うことがある。欠席の虚偽申告（代返等）をした者は、それまでの出席も欠席とみなされ、単位が認められない。講義中のノート筆記は必ず行い、質問に対して的確な解答ができるよう努める。私語は厳禁。注意を促し、場合によっては退出を命ずる。再試は1回のみ。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	テキストの予習・復習をすること。
オフィスアワー	授業終了後30分間
評価方法	成績評価は、筆記試験･レポート･出席状況を鑑み、総合的に評価する。筆記試験・レポートの評価に加え、授業への積極的な参加態度やコメントカードの提出等も評価に加味する。
教科書	鈴木利定著「儒教哲学の研究－修正版」（明治書院）・成有一徳（中央法規）
参考書	講義の中で適宜紹介していく。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 法学（日本国憲法を含む）　　授業コード： 20002

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年次	2単位(30)	選択
担当教員			
篠原　章			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 現代社会では、人は法の保護と規制のもとで生活している。 わが国の基本法である憲法、民法、刑法を中心に医療過誤を含め、判例等を参考にして、法的な考え方を学び、問題解　決能力を身に付ける。 ［到達目標］ ①社会生活をしていく上での基本的法律を理解する。 ②法的思考、考え方を身につける。 ③医療従事者としての問題解決能力を身につける。
授業の概要	法の特質を学び、憲法の基本原理、統治機構、人権保障の具体的事例を取り上げる。また、生活に直接かかわる民法、刑法の理解を深めるとともに、医療過誤、国際法等についても触れる。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　オリエンテーション　　法と社会生活・道徳・目的

【key words】
法的安定性　平均的正義と配分的正義　権利義務　権利意識と順法精神

【授業概要】
個人の生活を守るために、また社会の動きを正しく理解するために法学を学ぶことを説明。社会生活を営む上での行為規範、法と道徳などを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：ｐ　230～241
参考文献；「法の常識」渡辺洋三編．有斐閣　「近代法の常識」伊藤正己．有信堂

【課題・予習・復習・授業準備指示】
法の意義について理解を深めること。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第２回　法と裁判、裁判の基準、法の解釈

【key words】
裁判規範　行為規範　民事・刑事・行政事件　裁判員制度　調停　自由心証主義　挙証責任　条理　公法・私法

【授業概要】
具体的事件を担当する国の機関としての裁判所が、どのように処理するのかを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：ｐ　8～13
参考文献：「裁判法」兼子一・竹下守夫．有斐閣　　［法社会学」川島武宜．岩波書店

【課題・予習・復習・授業準備指示】
裁判の基準や法の解釈の基礎を理解すること。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第３回　日本国憲法（基本原理・統治機構１）

【key words】
民主主義　社会契約説　自由主義（三権分立）　象徴　国事行為

【授業概要】
国民の人権を守るために、憲法は統治機構と人権保障の両面から規定していることを説明。民主主義、自由主義等について触れ、象徴としての天皇制について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：p　14～19
参考文献：「憲法」芦部信．岩波書店　「憲法判例百選Ⅱ」有斐閣

【課題・予習・復習・授業準備指示】
民主主義、自由主義を理解すること。天皇制の意義を確認しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第４回　日本国憲法（統治機構２）
【key words】
代表機関　最高機関　中枢機関 憲法の番人　司法権の独立　財政民主主義　地方治自治の本旨
【授業概要】
国会、内閣、裁判所の地位と権限、財政、地方自治制度　憲法改正について学ぶ。また話題となっている選挙制度改革についても学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：p　28～31、
参考文献：「憲法」佐藤功．学陽書房　「憲法判例百選Ⅱ」有斐閣

【課題・予習・復習・授業準備指示】
最近話題となっている憲法改正についての問題点を考えること。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第５回　日本国憲法（人権保障１）
【key words】
自然権思想　個人の尊厳　比較衡量

【授業概要】
人権保障の意義と歴史を説明し、代表的な事件を取り上げて判決内容を検証
【教科書ページ・参考文献】
教科書：p　20～23
参考文献：「憲法判例百選Ⅰ」有斐閣

【課題・予習・復習・授業準備指示】
配付物に記載された事件内容と判旨を確認し、自分の考え方をまとめること。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第６回　日本国憲法（人権保障２）
【key words】
自由権　生存権　個人尊重　プライバシー権　知る権利

【授業概要】
人権に関する代表的な具体的事件を取り上げて判決内容を検証
【教科書ページ・参考文献】
教科書：p　22～28
参考文献：「：憲法判例百選Ⅰ」有斐閣

【課題・予習・復習・授業準備指示】
配付物に掲載された事件内容と判旨を確認し、自分の考え方をまとめること。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第７回　民法（総則・物権）
【key words】
法律行為　後見　公序良俗　　時効　除斥期間　所有権　占有権　用益物権　担保物権

【授業概要】
民法は私人間における社会の構成原理と行動規範範である。総則はいわゆる一般条項で包括的な内容を有し、公共の福祉に適合、信義誠実、権利の乱用の禁止の３原則のもとに、個人の尊厳と両性の本質的平等に基づき解釈適用されることについて説明
【教科書ページ・参考文献】
教科書：p　31～39、42～47
参考文献：」星野英一著「民法講義（総論）、有斐閣　「民法判例百選Ⅰ」有斐閣

【課題・予習・復習・授業準備指示】
民法総則・物権は、重要かつ内容が多いので教科書と条文を照らし合わせること。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第８回　民法（債権）
【key words】
契約、事務管理、不当利得、不法行為

【授業概要】
債権は、人の責任を追及する権能で、特定の人に対して特定の給付を要求しうる法的地位を意味する。発生原因の契約、事務管理、不当利得、不法行為等について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：p　48～49，50～61
参考文献：「民法（財産法）」星野英一．放送大学教育振興会　「民法判例百選Ⅱ」有斐閣

「民法Ⅲ」内田貴．東京大学出版会

【課題・予習・復習・授業準備指示】
債権総論は内容を教科書と各条文で照らし合わせること。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第９回　民法（親族）

【key words】
血族　姻族　婚姻　離婚　養子縁組

【授業概要】
親族は人の身分関係基本となるものを規定していて，これらを説明する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：ｐ　68～77
参考文献：「民法（家族法）」星野英一．放送大学教育振興会　「家族法判例百選」有斐閣

【課題・予習・復習・授業準備指示】
家族法は身近な問題を扱うので、自分自身の場合を考えること。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１０回　民法（相続）

【key words】
相続分　遺産分割　限定承認　遺留分

【授業概要】
遺産の承継、帰属をめぐって利害対立する法律関係の調整を説明する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：ｐ　78～85
参考文献：「民法8，9」遠藤浩ほか．有斐閣
「民法講座7親族・相続」星野英一編集．有斐閣

【課題・予習・復習・授業準備指示】
相続人、相続分を具体的事例から考えること。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１１回　刑法（総論）

【key words】
罪刑法定主義　正犯　教唆犯　幇助犯　構成要件該当性　未必の故意

【授業概要】
刑法は犯罪と刑罰を定める法律である。その目的は人の生命等を守り社会を維持することにある。ここでは歴史、思想、犯罪成立要件等を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：ｐ　86～95
参考文献；「プレップ刑法」：町野朔．弘文堂　「基礎から学ぶ刑事法」井田良．有斐閣
「刑法判例百選Ⅰ」有斐閣

【課題・予習・復習・授業準備指示】
罪刑法定主義の内容、犯罪の成立要件を整理すること。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１２回　刑法（各論）

【key words】
個人法益、社会法益、国家法益

【授業概要】
刑法は保護法益を個人法益、社会法益、国家法益に分け、その罪を学ぶ。また新しい犯罪類型についても説明
【教科書ページ・参考文献】
教科書：ｐ　96～103
参考文献：「刑法」山口厚．有斐閣　「刑法判例百選Ⅱ」有斐閣

【課題・予習・復習・授業準備指示】
身近な問題としての個人法益に対する罪を中心に復習すること。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１３回　労働法、社会保障法

【key words】
労働基準　労働協約　雇用機会均等　公益通報　プライバシー　生活保護

【授業概要】
働く者にとって密接に関係してくる労働法、雇用関係法、労使関係法、社会保険法、公的扶助法等を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：ｐ　158～177、176～193
参考文献：「労働法」菅野和夫．弘文堂　「社会保障法入門」　西村健一郎．有斐閣
「労働法刑法判例百選」有斐閣

【課題・予習・復習・授業準備指示】
自分自身が将来、看護師として働いていくための法律の基礎知識を得ること。情報の保護という面から法の意義を考えること。

	【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１４回　医療と法 【key words】 過失　重過失　業務上過失致死罪　業務上過失致傷罪 【授業概要】 病院等の医療過誤について発生した具体的事件を検証。また安楽死と違法性について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：　p　62～63 【課題・予習・復習・授業準備指示】 看護師業務中に事故を起こさないようにする。起きたときの対応を身に付けること。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１５回　国際社会と法 【key words】 国際慣習法　一般国際法　国際連合憲章　国際司法裁判所 【授業概要】 国際法がどのように成立したか。どのような特色を持つか。国内法と国際法の関係、国際人道法の適用等について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：ｐ　194～211 参考文献：「国際条約集」奥脇直也ほか．有斐閣　国際法学会編「国際関係法辞典」有斐閣 【課題・予習・復習・授業準備指示】 近年、日本を含め領土問題等は国際法に基づく紛争解決が望ましいといわれる。歴史も踏まえどのように解決するか考えること。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	・板書、口述の内容はノートに整理しておくこと。 ・レポートは必ず提出すること。 ・欠席が５回を超えると定期試験の受験資格を失う。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	予習復習は、予習を重点に行うこと。 法律問題の新聞・テレビ等に関心を持つこと。
オフィスアワー	授業後30分
評価方法	定期試験、レポートを総合的に評価する。　（目安）　定期試験７０％、レポート３０％
教科書	［日本の法」緒方桂子等編　日本評論社
参考書	小六法（小型版）で有斐閣「ポケット六法」」。　担当者配付の「新しい人権の判例」　、他は授業中に紹介
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 基礎演習Ⅰ　　授業コード： 20003

英文科目名称： Basic Exercise1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	１年次	1 単位（30）	必修
担当教員			
第1学年担任			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 本学の建学の精神・教養目的に基づき、高校と大学の相違を、さまざまな観点から学び、円滑な移行を目指して初年次教育をおこなう。特に基礎演習Ⅰにおいては、礼儀、挨拶、ボランティア活動、環境美化活動を理解し、積極的に取り組み、人間としての基礎的教養力と自律的実践能力を養う。基礎演習の導入として、高校のリメディアル教育、学問への動機づけ、コミュニケーション能力など、学習成果を保証するための学習方法や技術を総合的に学ぶ。 【到達目標】 １．礼儀・挨拶・ボランティア活動・環境美化活動を理解し、主体性をもち取り組むことができる。 ２．学習の基礎的能力として、聞く力をもち学習スキルを身につけることができる。 ３．自己の心身の状態を把握し、健康管理ができる。
授業の概要	講義内容を、①建学の精神と実践教育②学習統合③進路・資格取得④地域貢献⑤心身の健康の５つのプログラムから構成し、建学の精神に則り、礼儀・挨拶、ボランティア活動、環境美化活動等に関する人間としての基礎的教養力と自律的実践能力を学習する。また、基礎的学習スキルを身につけることにより、読書力、問題解決能力、コミュニケーション能力を高め、学士力の基礎を確立する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	◎
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　建学の精神と実践教育プログラム　大学生活への適応（学習面・生活面）

【key words】
建学の精神、基礎演習Ⅰ、授業概要、クラス運営、オリエンテーション
【授業概要】
本学における建学の精神、基礎演習Ⅰ、クラス運営についてオリエンテーションを行う。また大学生活が円滑に過ごせるように担任の紹介、クラス運営について、各委員会について説明を行う。
【教科書ページ・参考文献】
学生生活HANDBOOK 履修の手引き
【課題・予習・復習・授業準備指示】
基礎演習Ⅰ専用の個人ファイルを準備する。履修の手引きを熟読し講義にのぞむこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第２回　建学の精神と実践教育プログラム　大学生活への適応（学習面・生活面）

【key words】
建学の精神、環境美化活動、ピア活動、自治活動
【授業概要】
本学における、自治活動、環境美化活動について説明を行う。さらに上級生より環境美化活動における、方法を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
学生生活HANDBOOK、環境美化活動配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
環境美化掃除担当箇所の確認をクラスごとに行う。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第３回　進路、資格取得プログラム　4年間のカリキュラムと履修計画

【key words】
看護学部ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー、シラバス、GPA、履修要件、履修登録
【授業概要】

		看護学部ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー、、教育課程についての説明を行う。資格取得するための、履修要件、履修計画を作成できるように説明を行う。 【教科書ページ・参考文献】 履修の手引き 【課題・予習・復習・授業準備指示】 履修計画を作成し、指定された期日までに履修登録を行う。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第４回	学士力育成プログラム　情報リテラシーの基本 【key words】 情報リテラシー、メールの仕方、WEB活用、レポート登録 【授業概要】 大学におけるWEBポータル活用をはじめ、大学におけるあらゆる情報を、自己の目的に適合するための方法を説明する。また情報を扱う際の、情報モラルの基本を学ぶ。また、レポートの作成方法、WEBポータルにおけるレポート登録の方法を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 配布資料、事前課題、事後課題については講義で説明する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第５回	学士力育成プログラム　大学での授業の受け方 【key words】 スタディ・スキルズ、学生、タイム・マネジメント、ノート・テイキング 【授業概要】 シラバスの見方について、教務カリキュラム委員長より講義を受ける。講義における事前課題・事後課題等大学における授業の受け方を学ぶ。高校と大学の学び方の違いについて、グループで意見交換を行い、大学での授業の受け方を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 上村和美：大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ第5版、くろしお出版、2019　第1章、第2章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 配付資料、事前課題、事後課題については講義で説明する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第６回	心身の健康プログラム 【key words】 心身の健康　咸有一徳　セルフモニタリング 【授業概要】 昌賢学園の全人教育についての講義をうけ、大学生活における生活態度などの姿勢を学ぶ。また、自己の健康状態に目をむけ、心身の健康を保つようにセルフモニタリングの方法を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 鈴木利定、中田勝：昌賢学園の全人教育「咸有一徳」中央法規 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第７回	進路、資格取得プログラム　就学ポートフォリオ 【key words】 キャリアデザイン、就学ポートフォリオ、学生生活 【授業概要】 将来の自己実現にむけて、キャリアデザインについて、就学ポートフォリオの活用方法について説明を行う。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料、学生生活HANDBOOK 【課題・予習・復習・授業準備指示】 就学ポートフォリオ入力 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第８回	建学の精神と実践教育プログラム　接遇（基本編） 【key words】 挨拶、態度、接遇 【授業概要】 専門職としての基本的挨拶・態度・接遇を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 配付資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事後課題は授業で説明する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第９回	学士力育成プログラム　国家試験対策ガイダンス 【key words】 看護師保健師国家試験対策、学習方法 【授業概要】 外部講師による国家試験の仕組み、動向についての講義を受ける。1学年における具体的な学習方法について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 配付資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 国家試験対策ファイルを個人で準備する。個人学習計画の作成 【予習復習に必要な想定時間】

	60分 第１０回　学士力育成プログラム　効果的なアカデミックライディング 【key words】 わかりやすい文章、表現 【授業概要】 わかりやすい文を書くための説明を行う。文章を作成し、わかりやすい文を書くためのポイントを学習する。 【教科書ページ・参考文献】 上村和美：大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ第5版、くろしお出版、2019　第9章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題レポート 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１１回　建学の精神と実践教育プログラム　専門職としての倫理 【key words】 倫理綱領、専門職、個人情報、研究倫理 【授業概要】 看護職としての、研究倫理への理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 配付資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１２回　地域貢献活動　昌賢祭において学習成果発表 【key words】 プレゼンテーション、企画、運営 【授業概要】 本学における昌賢祭の在り方について説明する。地域貢献活動として学生主体で、企画、運営し課題に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 学習成果発表準備 【予習復習に必要な想定時間】 120分 第１３回　地域貢献活動　昌賢祭において学習成果発表 【key words】 プレゼンテーション、企画、運営 【授業概要】 地域貢献活動として学生主体で、企画、運営し課題に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 学習成果発表準備 【予習復習に必要な想定時間】 120分 第１４回　地域貢献活動　昌賢祭において学習成果発表 【key words】 プレゼンテーション、企画、運営 【授業概要】 地域貢献活動として学生主体で、企画、運営し課題に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 学習成果発表 【予習復習に必要な想定時間】 120分 第１５回　建学の精神と実践教育プログラム　1年次の振り返り 【key words】 建学の精神、1年間の総括（学習成果の自己点検、自己評価）、就学ポートフォリオ 【授業概要】 1年次における1年間の振りかえりを行い、自己省察し次年度に向けて自己の課題を明確にする。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 1年次の振り返り課題レポート提出、環境美化活動課題レポート提出、学習計画表提出、就学ポートフォリオの入力 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 1　基礎演習Ⅰは本学の人間教育の要である。そのことに深く留意して取り組むこと。 2　私語は慎み、出欠席の状況や受講態度等本学の学生にふさわしい態度で臨むこと。 3　全体オリエンテーション等の学校行事は、建学の精神と実践教育プログラムに含まれるので必ず出席すること。 〔受講のルール〕 1　授業シラバスを必ず確認し、積極的に授業に臨むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状	コメントカード方式

況の確認方法	
授業外時間にかかわる情報	課題等に関する資料作成、プレゼンテーション等における準備に要する時間は、授業時間外の活動である。授業時間外にかかる活動も重要とすること。
オフィスアワー	各回、授業終了後30分
評価方法	評価対象項目はオリエンテーション時に説明する。また評価対象項目と基礎演習Ⅰの取り組みについて総合的に評価する。
教科書	鈴木利定、中田勝：昌賢学園の全人教育「咸有一徳」中央法規 上村和美：大学生からのスタディ・スキルズ　知へのステップ第5版，くろしお出版，2019.
参考書	授業の中で適宜紹介していく。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 教育経験の豊富な教員が各クラスを受け持ち、大学生活や学習を支援する。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： ボランティアと自己省察　　授業コード： 20007

英文科目名称： Volunteer activities and self-reflection

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	１年次	1単位(30)	必修
担当教員			
中山洋子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業目的] 地域社会の様々な課題に対しボランティア活動を通し触れることで、人と関わる経験から幅広い視点・視野・協調性・行動力を培うことを目的とする。 〔到達目標〕 ①大学近隣で実践される様々な団体・機関の活動について社会の仕組み、社会資源を理解し説明することができる。 ②地域の課題について調査分析、解決方法の提案、企画化の手順を経験し主体的にボランティア活動をすることができる。 ③医療従事者としての基本的態度を学び、地域社会や学生同士の交流から、豊かな感情を備えた人間育成を図るために自己を見つめながら自己省察することができる。 ④グループワークやプレゼンテーションのプロセスや留意点を学び実践することができる。
授業の概要	ディプロマポリシーである『真心（思いやり・いつくしむ心）を育て、人の道を行う（正しい行い）「仁」を建学の精神とし、人格的な資質を育むとともに、社会的常識、おそびそれらに支えられた豊かな教養に醸成された人間性を身に着ける』基礎を育むものとして、前期・後期を通した通年科目で講義を実施する。 学生にとって身近な大学近隣地域の社会福祉・教育の現場をフィールドとし、前期は地域の社会福祉や教育の現場で行われている実践や活動について学ぶ。後期には各自の興味関心に応じたグループを組み、課題解決に向けた企画の提案をして実践活動を行う。 また地域の実践の場における取組への参加をすることで、医療従事者を目指す学生として社会的常識やマナーを学びながら、豊かな感情を備えた人間育成を図るために自己を見つめながら自己省察していく。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	○
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	○
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	◎
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	科目オリエンテーション/ボランティア活動とは/本学・本学部におけるボランティアの位置づけ 【key words】 建学の精神　ボランティア活動　専門職　サービス・ラーニング 【授業概要】 建学の精神を基にボランティア活動する意義を学習する。 本学におけるボランティアの位置づけを学習し、これまでのボランティア活動の経験や興味関心があるボランティア分野に目を向けることができるように動機付けをする。 【教科書ページ・参考文献】 ボランティアハンドブック　ボランティア活動簿 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ノートを1冊用意し、事後課題としてこれまでのボランティア活動の経験や関心のある活動分野について口頭で発表できるようにまとめておく。配布された個人目標シートに記載する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２回	地域で行われているボランティア活動と社会福祉行政～高齢者や障害者を対象とした活動の実際～ 【key words】 地域社会　ボランティア活動　社会福祉施設、高齢者、障害者 【授業概要】 高齢者や障害者を対象とした地域で実際に行われているボランティア活動の実際を学び、地域社会の課題について見出したり、社会資源の繋がりを知る。

		【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事後課題：ノートに高齢者や障害者を対象とした活動について調べ学習を行う。地域における課題を見つける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第３回	地域で行われているボランティア活動と社会福祉行政～子どもを対象とした活動の実際～ 【key words】 地域社会　ボランティア活動　児童福祉施設、子ども、特別支援学校 【授業概要】 児童、子どもを対象とした地域で実際に行われているボランティア活動の実際を学び、地域社会の課題について見出したり、社会資源の繋がりを知る。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事後課題：ノートに幼児教育、児童福祉領域における活動について調べ学習を行う。地域における課題を見つける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第４回	地域で行われているボランティア活動と社会福祉行政～災害支援活動の実際～ 【key words】 災害ボランティア活動　社会福祉協議会　ボランティアセンター　ボランティアコーディネーター 【授業概要】 災害時における支援活動の実際について学び、災害時ボランティア活動のニーズ、活動を行ううえでの課題について見出したり、備えについて考えることができる。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事後課題：ノートに災害時支援活動について調べ学習を行う。災害時被災地におけるボランティア活動のニーズや課題を見つける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第５回	ボランティア活動準備①～グループ編成～ 【key words】 課題解決　SDG’S　ボランティア活動 【授業概要】 第1回目～第4回目の講義をもとに様々な分野でのボランティア活動を振り返る。その中で自分の興味関心がある分野やこれから取り組みたい活動について言語化し仲間と共有する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前課題：講義、事後課題でまとめたノートをもとに印象に残っている活動、関心がある課題についてグループ発表ができるように準備する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第６回	ボランティア活動準備②～ボランティア活動計画立案～ 【key words】 情報収集　調べ学習　課題解決　ボランティア活動　企画立案 【授業概要】 自分の興味関心がある分野やこれから取り組みたい活動についてグループ分けをおこない、更に活動の実際を検討する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事後課題：活動計画について担当教員に報告する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第７回	ボランティア活動準備③～ボランティア活動計画立案～ 【key words】 情報収集　ボランティア活動　企画立案 【授業概要】 グループごとに活動について情報収集、調べ学習、企画立案を行い担当教員と打ち合わせを行う。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 活動計画について担当教員に報告を行う。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第８回	ボランティア活動準備④～ボランティア活動計画立案～ 【key words】 情報収集　ボランティア活動　企画立案 【授業概要】 グループごとに活動について情報収集、調べ学習、企画立案を行い担当教員と打ち合わせを行い具体的な日程の調整、必要物品等の確認を行う。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 活動計画について担当教員に報告を行う。 【予習復習に必要な想定時間】

	60分
	第９回　地域でのボランティア実践活動① 【key words】 地域社会　ボランティア実践　　社会活動　地域貢献 【授業概要】 企画書をもとにグループごとに実践活動を行う。担当教員の助言・指導をもとに学外における実践活動を行う。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 必要な情報を集め、精査し実践に活かせるようにまとめる 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１０回　地域でのボランティア実践活動② 【key words】 地域社会　ボランティア実践　社会活動　地域貢献 【授業概要】 企画書をもとにグループごとに実践活動を行う。担当教員の助言・指導をもとに学外における実践活動を行う。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 必要な情報を集め、精査し実践に活かせるようにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１１回　地域でのボランティア実践活動③ 【key words】 地域社会　ボランティア実践　社会活用　地域貢献 【授業概要】 企画書をもとにグループごとに実践活動を行う。担当教員の助言・指導をもとに学外における実践活動を行う。 【教科書ページ・参考文献】 ボランティアハンドブック　ボランティア活動簿 【課題・予習・復習・授業準備指示】 必要な情報を集め、精査し実践に活かせるようにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１２回　地域でのボランティア実践活動④ 【key words】 地域社会　ボランティア実践　社会資源　社会活動　地域貢献 【授業概要】 企画書をもとにグループごとに実践活動を行う。担当教員の助言・指導をもとに学外における実践活動を行う。 【教科書ページ・参考文献】 ボランティアハンドブック　ボランティア活動簿 【課題・予習・復習・授業準備指示】 必要な情報を集め、精査し実践に活かせるようにまとめる 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第１３回　地域でのボランティア実践活動振り返り／お礼状等の作成 【key words】 社会人基礎力　お礼状　自己省察 【授業概要】 ボランティア活動を通しての自己省察を発表し、グループで学びを共有する。最終発表会にむけてプレゼン用資料をまとめる。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事後課題：プレゼンテーション用資料作成 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１４回　ボランティア活動実践報告会 【key words】 ボランティア活動　　自己省察　プレゼンテーション 【授業概要】 ボランティア活動実践報告会に参加し、他者意見を聞き自己の学びを深める。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 グループメンバーと話し合った内容を、自身のボランティア実践に活かせるようにまとめる 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第１５回　ボランティア活動実践報告会　1年間の振り返り 【key words】 ボランティア活動　　自己省察 【授業概要】 1年間の振り返りまとめ 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 発表会で発言された多くの意見を自分の実践に活かせるように振り返る

	【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	[個人で準備するもの] A4ファイル、個人ノートを用意する。 〔受講のルール〕 この科目は、ボランティア活動を通して自分自身がどのように成長したかまとめていく作業があります。自主的、積極的なボランティア活動の実践が前提となっています。自他の安全に配慮し、ボランティア参加方法について十分理解し、先方とトラブルのないように配慮してください。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	プレゼンテーション等における資料準備にかかる時間は、授業時間外とする。企画実施におけるボランティア活動については、授業時間外を必要とする場合がある。
オフィスアワー	授業終了後30分まで
評価方法	ボランティア企画実践活動50%、講義内課題、資料準備等50%の取り組みで総合的に判断する。
教科書	鈴木利定監修　ボランティア活動ハンドブック　学校法人昌賢学園 群馬医療福祉大学　ボランティア活動記録簿　学校法人昌賢学園
参考書	授業内で適宜紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 災害ボランティア活動等を経験し、地域社会貢献の実務経験を有している。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 論語　　授業コード： 20008

英文科目名称： Analects of Confucius

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年次	1単位(30)	必修
担当教員			
岡野　康幸			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 ・本学の特色は建学の精神に「仁」を据えていることである。仁とは他者を自分のように感じる心である。仁の精神を学ぶことにより、自己陶冶や他者への配慮といった、人格の絶えまざる向上を目指すものである。社会を担う人間にはある程度の社会倫理が要求される。“noblesse oblige ”本講義では『論語』を通じて人としてどのように生きるべきか、を考察していく。 【到達目標】 ・論語の内容を建学の精神との関りで他者に説明できる。 ・論語に出てくる術語を使用して自己の意見を説明できる。
授業の概要	・各時代の知識人がどのように『論語』を理解したか具体例を挙げ解説していく。論語という古典を用いて、「考える（思想）」とは何かを考察する。「己が思索するとはどういうことか?」を受講生に問います。 ・孔子の発言、あるいは弟子や当時の貴族との対話から、孔子が人間世界の那辺に興味関心を抱き、どう分析していたのか、当時の社会情勢を絡めて説明する。そのことにより、孔子の考えていたことが我々にも共通する関心事であることが窺えるでしょう。 ・講義の後半より（７回目）、『論語』をより深く理解するために、副本として中島敦「弟子」を併用して読んでいきます。（副本はこちらで用意します）中島が理解した『論語』と原『論語』を比較し、論語の持つ解釈の幅を実感してください。 ・内容理解を深めるために、講義した個所を100字から200字程度でまとめる練習をしていきます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　科目オリエンテーション　諸注意　論語概説

【key words】
論語　孔子　儒学
【授業概要】
受講の際の注意点を最初に説明します。本学の建学の精神は『論語』で述べられている「仁」です。「仁」の理解を深めることで、人間そのものの理解を深めていきます。その前に『論語』の来歴や孔子の人物について概説します。一つの書籍や人物が途絶えることなく、二千年以上読み継がれてきた所以を考えてみましょう。
【教科書ページ・参考文献】
P151、P152
【課題・予習・復習・授業準備指示】
図書館にある『大漢和辞典』で孔子を調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
10分

第２回　孔子の政治思想Ｉ

【key words】
徳治主義　修己治人
【授業概要】
孔子を祖とする「儒家」の政治思想は、一言で表すと「徳治主義」になります。徳治主義とは、為政者が自己の身を正し、道徳性を高め、そのことにより周囲を感化・教導することが可能であると考える思想です。弟子たちや当時の貴族が孔子に政事（政治上の事柄）について尋ねています。孔子は政治をどのように考えていたのか。また-これは現在にも繋がりますが-政治と道徳の関係をどのように捉えていたのか考察していきましょう。
【教科書ページ・参考文献】
プリントを配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】

		図書館にある『大漢和辞典』で儒家を調べておいてください。 【予習復習に必要な想定時間】 10分
	第３回	孔子の政治思想Ⅱ 【key words】 正名 【授業概要】 孔子の政治思想を語る上で見逃せない言葉が一つあります。それが「正名」です。正名とは名実（名前と実態）がともなっているかどうかを図る思想です。名実の均衡がとれていないと国が乱れる原因になると孔子は考えています。この名実の考えは今の我々にも受け継がれていますし、哲学的問題としても議論がなされています。このことについて考察していきます。 【教科書ページ・参考文献】 P86 【課題・予習・復習・授業準備指示】 図書館にある『大漢和辞典』で正名・五倫・五常を調べておいてください。 【予習復習に必要な想定時間】 10分
	第４回	孔子の倫理思想Ⅰ 【key words】 孝　父母　身体 【授業概要】 芥川龍之介は「人生の悲劇の第一幕は親子となったことにはじまっている」（『侏儒の言葉』）と言っています。芥川の真意がどこにあるかは別として、人間は生れた瞬間に親子という関係が自然・必然的に発生します。この親子関係の情愛を重視したのが孔子です。孔子は親（父母）と子の関係をどのように考えていたのか考察していきます。 【教科書ページ・参考文献】 P1、P6、P7 【課題・予習・復習・授業準備指示】 図書館にある『大漢和辞典』で惻隠・羞悪・辞譲・是非・四端を調べておいてください。 【予習復習に必要な想定時間】 15分
	第５回	孔子の倫理思想Ⅱ 【key words】 仁 【授業概要】 孔子思想の中心をなすものは「仁」です。『論語』の中で仁について言及している箇所は６０以上ありますが、定義づけはなされていません。孔子自身によって場面場面でさまざまな意味合いが付されています。ここでは孔子自身によって「仁」がどのように展開されていったのか考察していきます。 【教科書ページ・参考文献】 P19 【課題・予習・復習・授業準備指示】 図書館にある『大漢和辞典』で仁・義・礼・智・信・を調べておいてください。 【予習復習に必要な想定時間】 10分
	第６回	孔子の学問観 【key words】 学　習　文献 【授業概要】 「学びて時に之を習ふ、亦説ばしからずや。」これは『論語』開巻第一章の言葉であり、誰もが聞いたことのある言葉でしょう。儒家における「学」の重視は、まさに孔子から始まります。孔子にとって、「学」にはどのような意味が込められていたのでしょうか。また我々が学ぶ意義についても考察していきます。 【教科書ページ・参考文献】 P1、P8 【課題・予習・復習・授業準備指示】 図書館にある『大漢和辞典』で学・習を調べておいてください。 【予習復習に必要な想定時間】 10分
	第７回	孔子とカント 【key words】 孔子　カント　正直　嘘 【授業概要】 孔子の言う「正直」は今の我々が考える「正直」とは少し異なります。そして、西洋哲学史において燦然たる地位を築いているイマヌエ・ルカントはいついかなる時も嘘をついてはいけないと言います。「嘘は方便」という言葉が代表するように、時には嘘も許容されると考えますが、カントはそれは違うと言います。孔子やカントは我々が考える一般的なものからどうして違っているのか解説します。そして二人の思考方法を通じて東西思想の相違を概説します。 【教科書ページ・参考文献】 配布プリント 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ブリタニカオンラインジャパンで「カント」を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 15分
	第８回	孔子とその後継者たち―医療との関りで― 【key words】 孟子　陸贄　貝原益軒 【授業概要】 「医は仁術」という言葉をキーワードに、孔子の思想の中心をなす「仁」が医療とどのように結びつき、そして展開していったのかを概説する。 【教科書ページ・参考文献】 配布プリント。

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 ブリタニカオンラインジャパンで「孟子」「貝原益軒」を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 15分 第９回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１０回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１１回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・ただ授業を聞くといった受け身の姿勢ではなく、「学ぶ意義」を自身に問いかけながら、積極的に参加してください。 ・周囲の迷惑になるので私語は慎んでください。 ・本人の責に帰す遅刻早退は認めません。 ・不明な用語に当たったら、辞典類で調べてください。 ・臨機応変の対応ができるよう、15回の講義中に教卓で１人１分で発表をしてもらいます。 ・この講義では毎回受講生にも、講義内容について意見を表明したり、学生同士で議論してもらいま

	す。また課題について自分で調べてもらいます。要するにアクティブラーニングを促します。 ・自分は何ができるのか。自問自答してみてください。それが倫理観の形成に繋がります。 ・日頃より古典をはじめとした人文学に親しみ、読書の習慣を習得すること。人生において読書の習慣が身につくか否かの最後の4年間になります。学生時代に読書が習慣化されなかったならば、多分一生涯読書の習慣が身につくことはないでしょう。したがって、読書に関する課題や発表を課します。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	・論語を代表とする古典に親しみ、古人の思考に触れ、人文学に於ける学問様式を理解するよう努めてください。 ・授業計画に示されている章は必ず一読して授業に臨んでください。また不明の部分は授業中に理解できるよう積極的な姿勢で臨んでください。
オフィスアワー	講義終了後
評価方法	期末試験70%、課題提出15%、発表内容15%
教科書	鈴木利定監修・中田勝編著『注解　書き下し　論語全文〈付・原文〉』明治書院、平成16年10月
参考書	宇野哲人『論語新釈』講談社学術文庫、1980年1月。金谷治『論語』新訂版、岩波文庫、1999年11月。他は講義中に適宜紹介する。中島敦『山月記・李陵』岩波文庫、1994年7月（この中に「弟子」が収録されています）
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 人間の心理　　授業コード： 20009

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年次	1単位(15)	必修
担当教員			
橋本　広信			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 ヒトの心を成立させている機能や基本的なメカニズムを理解し、人間を理解する視野を広げる。 【到達目標】 ①知覚と認知などヒトが環境を知る基本的メカニズムを学び、ヒトが感じ生きている個別の世界を想像する基礎知識を得る。 ②学習や記憶、感情など、ヒトの人格を成り立たせる基本的な仕組みを学ぶことで、それぞれの人の生き方や生活世界の内的基盤をイメージすることができる。 ③生涯にわたる発達の流れを把握することで、人がどのように生き、どのような課題と出会うかについてイメージすることができる。 ④専門職として出会う「患者の心理」に関連する事柄を学ぶことで、今後の学習への姿勢や意欲を高め、患者理解の基礎体験を作ることができる。
授業の概要	広範囲にわたる心理学の知識や人間に対する見方を学習し、人の心理や行動、人間関係の理解に関する知的基盤を養う。 心理学は臨床心理学など、応用的心理学の基礎となる科目であり、精神医学などその他の科目とも連動する内容となっている。他の心理学や、人間そのものの理解のためにも、積極的に学習に臨んでほしい。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	科目オリエンテーション：「なぜヒトの目は、顔の前に二つついているのか？」進化と環境を知る働き 【key words】 進化、自然淘汰、感覚、適刺激、刺激閾、弁別閾、順応、知覚の体制化、図と地、プレグナンツの法則、錯視、奥行き知覚、ファイ現象、自動運動、知覚的防衛、知覚に基づく問題　等 【授業概要】 ・8回の授業全体の流れを解説します。コメントの仕方などを解説したら、すぐに授業に入ります。初回は、人を他の生物と比較しながら、なぜヒトの心が複雑なのかを大きな視点で理解していきます。そして、最初の学習テーマとして、感覚や知覚・認知という外界の情報をいかに理解するかという点に焦点を当てながら、ヒトが生きている環境と、人が選んだ生き方とはどのようなものなのかを考えていきます。 【教科書ページ・参考文献】 教科書2-14ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 「進化」や「錯覚」について、ウェブサイトなどで調べ、授業後、それぞれが学習したことを深めておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習1時間、復習3時間
	第２回	ヒトはいかにして環境や新たな状況に対応できるようになるのか？：学習のメカニズム 【key words】 ・レスポンデント条件付け（パブロフ）、強化、般化、分化、消去、オペラント条件付け（スキナー）、報酬と罰、強化、強化子、観察学習（バンデューラ）、洞察学習（ケーラー）、機械の学習 【授業概要】 生まれながらにヒトには多くのできる（本能的）行動があるが、それらはやがて意識的な行動に置き換わっていきます。すなわち、ヒトの多くの行動は本能的なものから、生後にどこかで「学習」されたものに変化をしていくということです。なぜそうしたことが必要なのか。行動の変化

		が起きる基本的な学習のメカニズムを学びながら、ヒトがそうした高い学習の能力を備えている意味を考えていきます。 【教科書ページ・参考文献】 教科書16-20ページ、山﨑明夫（2016）『にほんごがこんなふうにみえたのよ！』（㈱ＱＯＬサービス） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 生後に獲得した行動として思い浮かぶものを書き出しておくこと。また、仮に「脳出血」で倒れた後、徐々に回復できたとして、どのような行動ができなくなるかについて、調べておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習3時間、復習1時間
	第３回	ヒトはなぜ目の前のことだけに生きられないのか？：記憶のメカニズムとその混乱 【key words】 記銘・保持・想起、感覚記憶、短期記憶、長期記憶、サブリミナル効果、作動記憶（ワーキングメモリ）、意味記憶、エピソード記憶、手続き記憶、忘却、健忘、デジャヴュ、認知症検査、気分一致効果　等 【授業概要】 学習や経験したことが保持をされることで、ヒトは目の前の出来事を越えて判断をしたり予想を立てることができるようになります。こうした力を支える記憶のメカニズムの基礎をまず理解します。また、記憶がどのように内外の状況に影響を受けるのか。また、記憶が失われたり損なわれてしまうとどのようなことが起こるのか。記憶が果たしている役割や機能を知ることで、人という生き物の独自性を考えていきます。 【教科書ページ・参考文献】 教科書21-26ページ、ジュリア・ショウ（2016）『脳はなぜ都合よく記憶するのか』（講談社） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 記憶の混乱に関する映画や小説を探し、積極的に目を通しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習3時間、復習1時間
	第４回	ヒトの心はなぜ動くのか？（そして、時に動かなくなるのか？）：動機づけと感情の心理学 【key words】 マズロー、自己効力感、学習性無力感、コンフリクト、フラストレーション、ストレス、ストレス・コーピング、感情労働、バーンアウト、防衛機制（適応規制） 【授業概要】 ヒトの心は常に周りの人や何らかの刺激に対して反応し、動き続けていきます。なぜ、勝手に心は動いてしまうのか。ここでは、まず一定の方向に人を動かす動機づけのメカニズムや種類を学び、人に備わる感情の役割について考えていきます。また、特に負の感情が強く働く状態について理解し、感情に溺れないための人特有のメカニズムである「防衛機制」を学びます。 【教科書ページ・参考文献】 教科書28-52ページ、ディラン・エヴァンズ（2005）『感情』（岩波書店） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 範囲が広いので、あらかじめ教科書の該当箇所を熟読しておくこと。また、「自分が感情的になりやすい場面」について書き出しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習3時間、復習1時間
	第５回	考える力をもつことは、ヒトに何をもたらすのか？思考の心理学 【key words】 創世記（アダムとイブ）、素朴理論、ブラジルのキャンディ売り、思考、知識、概念、集中的思考、拡散的思考、アルゴリズム、ヒューリスティック、確証バイアス、ディープラーニング、 【授業概要】 ヒトは本能的・感覚・感情的に目の前の状況に反応しながら生きるのみではありません。自ら状況の中にある情報に注目し、考え、原因を推理したり、状況を打破したりする方法を生み出すことさえすることができます。このように物事を認識したり、推理・判断をする基礎となる思考のメカニズムについてまず理解していきます。さらに、そうした思考の力があるがために、かえって誤った行動に導いたりするのはなぜなのか。ある意味でそうした「人らしさ」の源の一つである思考について、考えていきます。 【教科書ページ・参考文献】 教科書82-92ページ、「花売りの少年の物語」三宅芳雄・三宅なほみ（2014）『新訂　教育心理学概論』（放送大学振興会） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 もし人が学校などで学習をするような機会をまったくもたないとしたら、その人は将来どのような生活を送ることになるかを想像して、箇条書きにしておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習2時間、復習2時間
	第６回	ヒトを、個性ある「人」にするのはなんだろう？　知能とパーソナリティの個人差の心理学 【key words】 知能、知能モデル、知能検査、ＩＱ、ＥＱ、知的障害、パーソナリティ、パーソナリティ検査、代表的人格モデル、対話的自己、代表的パーソナリティ検査、パーソナリティ障害 【授業概要】 ヒトは他の動物には見られない高度な知的能力（知能）を使って、状況にうまく対応しながら生きています。この知能を構成する要素は人によって同じではなく、個性があると考えられています。同じように、他のヒトや環境に対してある程度一貫した対処の仕方や行動のパターンを人それぞれにもっていると考えられます。それは、パーソナリティとして、人を個性ある人として一定の状態に保ちます。知能とパーソナリティという大きなテーマについて、短時間で考えていきます。 【教科書ページ・参考文献】 教科書68-80、54-66ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 「知能」検査について、あらかじめどのような検査があるか、調べておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習2時間、復習2時間
	第７回	ヒトとして、心が健康であるとは？　精神的健康のと発達の心理学 【key words】 抑うつ、不安、抑うつ尺度、ストレス尺度、不安症、物質関連障害、心身症、エリクソンのライフサイクル論

	【授業概要】 ヒトは身体が健康でも、社会的に安定していても、心が健康に機能しないために苦悩の中にとらわれてしまうことがあります。そうした苦悩を深く理解するためには、それが発達上どのような意味をもつのか、というライフサイクルの考え方をベースに捉え直す必要が出てきます。ここでは、エリクソンのライフサイクル論の概要を学び、苦悩する心から逃げず、自分と向き合う心を応援する、臨床心理学の基本的な視点について、学んでいきます。 【教科書ページ・参考文献】 教科書150-164ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 精神疾患にはどのようなものがあるか、調べておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習2時間、復習2時間
	第８回　患者と家族の心の支援：看護師として、病をもつ人の心にいかに寄り添うか 【key words】 自助グループ、対話による支援、病への態度、お迎え現象、臨床の心理学 【授業概要】 ここまで、ヒトの時間的な変化である「発達」を扱うことができなかった。人は誕生から死の瞬間まで留まることなく変化し続ける。講義の締めくくりとして、長いライフサイクルの途上で多くの人が出会う、心身を苦しめる病と心の問題ついて考えたい。可能であれば、実際に病を得たことにより、深く医療と関わる経験をされた方などにお越しいただき、「患者と家族の心の支援」について、ともに考えていきたい。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 「病むこと」は、人生にどのような影響を及ぼすかについて、あらかじめそれぞれが考えを整理しておくこと。患者当事者が出版している「手記」や「闘病記」について調べ、１冊は読んでおくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習4時間
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ・医療・福祉職を目指す者にとって、「ヒト」とは何かという人間観の基礎教養を培う科目に位置づけられる。 ・国家試験に関連する知識の土台となる教養を学ぶ科目ともなるので、紹介する図書などをもとに、さらに主体的な学習を展開していくことを期待する。 〔受講のルール〕 ・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語、スマホなどの使用）は退席を命じる。その場合は欠席扱いとする。ただし、授業によってはスマホなどを利用する場合もあるので、指示に従って行動すること。教養科目であり、人間理解を深めるための授業なので、明るく積極的な受講態度で臨んでもらいたい。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	資料を配布する予定の学習システムの掲示板（スレッド）にコメントを返信する形で、授業に対する感想などを書き残しておくこと。出席の確認にも使うので、全員、授業終了後速やかにコメントをしてください。（疑問・質問に限らず、聞いてみたい伝えてみたいことはなんでも書いてよい）。
授業外時間にかかわる情報	・多くの用語が出てくるので、概要に基づき教科書中の該当部分を予習しておくこと。 ・シラバスに基づいて、授業時に使用したり紹介する図書や映画などを積極的に学習すること。
オフィスアワー	金曜日：授業終了後に声をかけてください（非常勤講師室でもよい）。メールでもコメント以外の質問など随時受け付けます。hashimoto@shoken-gakuen.ac.jp
評価方法	・総合評価は、前期末の筆記試験の得点80点満点。小レポート12点満点、毎回のコメント8点（各1点）、合計100点となるよう調整。以下の基準で総合評価を出す。総合得点60～69点：C 70～79点：B 80～89点：A（全体の35%以下）、90点以上：S（全体の15%以下）。
教科書	・二宮克美編著『ベーシック心理学　第2版』（医歯薬出版、2016）
参考書	・鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃編『心理学（第５版　補訂版）』（東京大学出版会、2020）　他適宜指示をする
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援

	□その他 その他の具体的内容 zoomを使う場合がある。その場合はzoomならではの機能を生かした取り組みも行う予定。

講義科目名称： 芸術論　　授業コード： 20014

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年次	1単位(8)	選択
担当教員			
多胡　宏			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業の目的] ①豊かな社会生活や職業生活を送るには、芸術（アート）によって「感性」や「美意識」などを育む必要があることを理解する。 ②学習や鑑賞、ミニアート活動などをとおして、アートには患者やその家族、スタッフなど人々を明るくしたり元気にしたりする力があることを理解する。 [到達目標] ①自己や他者の「感性」や「美意識」に気づき、その多様性を認めることができる。 ②アートには患者やその家族、スタッフなど人々を明るくしたり元気にしたりする力があることに気づく。 ③身近な材料や用具を使いベッドサイドにおけるミニアート活動ができる。
授業の概要	芸術（アート）は多様であり難解な面があるといわれる。しかし、近年アートに対する関心が高く、アートを学ぶ職業人や社会人が増えているといわれる。グローバル化と共に変化が速くて複雑な社会となり、「論理」や「理性」だけでは有効な判断ができなくなったともいわれる。そのような社会を生きていくためにアートで培われる「感性」や「美意識」が注目されている。本授業ではアートに関する基本的学習や鑑賞、ミニアート活動などをとおして、自己や他者の「感性」や「美意識」に気づき、その多様性を互いに認める機会を積み重ねる。また、身近な材料・用具を使ったミニアート活動により、制作や活動の楽しさを体験する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	△
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回　オリエンテーション　なぜ今、アートが必要とされているのか 【key words】 【授業概要】 講義及びベッドサイドで生かせるミニアート活動１(○○さんらしい色をつくる) 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２回　美術の歴史、現代とアート 【key words】 【授業概要】 講義及びベッドサイドで生かせるミニアート活動２(キュビズム風自画像を描こう) 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第３回　看護・介護とアート 【key words】 【授業概要】 講義及びベッドサイドで生かせるミニアート活動３(割りばしバズーカを作ろう) 【教科書ページ・参考文献】

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第４回　障がい児・者とアート 【key words】 【授業概要】 講義及びベッドサイドで生かせるミニアート活動４(厚紙でぶんぶんゴマを作ろう) 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第５回　災害とアート 【key words】 【授業概要】 講義及びベッドサイドで生かせるミニアート活動５(ペットボトル空気砲を作ろう) 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第６回　地域社会とアート 【key words】 【授業概要】 講義及びベッドサイドで生かせるミニアート活動６(バブルで描こう) 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第７回　サブカルチャーとアート 【key words】 【授業概要】 講義及びベッドサイドで生かせるミニアート活動７(触ることが見えるフロッタージュ) 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第８回　アートの対話型鑑賞 【key words】 【授業概要】 対話型鑑賞(キュビズム風自画像)、これまでの授業の振り返り 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	［受講生に関わる情報］ ・講義及びディスカッション、グループワークなど約60分、ミニアート活動約30分を予定する。ミニアート活動では制作もあるので、汚れてもよい服装で受講すること。 ・ミニアート活動における材料・用具などの準備はその都度指示する。 ・簡易清掃は当番制で行い、机拭き、床掃き等を行う。 【受講のルール】 ・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になったりする行為（私語・携帯電話・スマートフォン利用）は慎むこと。 ・ミニアート活動後、用具の整理やゴミ等の後始末をきちんと行うこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ポートフォリオに記入し、毎回講義終了後に提出する。ミニアート活動で作品を制作した場合には作品または画像を提出する。
授業外時間にかかわる情報	芸術（アート）に関係するイベントや展覧会等に行き、経験や知識を広めること。
オフィスアワー	授業終了後３０分
評価方法	記入して提出したポートフォリオの評価６０％、ディスカッション、グループワーク等での態度や発言の評価３０％、ミニアート活動の作品（コンセプト、仕上がりの丁寧さ）の評価１０％で総合評価する。
教科書	特に設けないが授業の中で参考図書として紹介する。
参考書	授業時に随時紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容

	群馬大学共同教育学部での小学校教諭免許取得授業(図画工作)、特別支援学校での図画工作・美術科授業、介護支援施設・福祉作業所等でのアートサポーター及びアートアドバイザー アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： チームケア入門Ⅰ　　授業コード：20015

英文科目名称： Introduction to team care 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年次	1単位(15)	必修
担当教員			
桐生由美子　１学年担任			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 他学部・学科との学生間の交流を通して、多職種の連携の必要性について気づくことができる。 【到達目標】 1)自己の職種について他者に伝えることができる。 2)他職種の基本的な役割について述べることができる。 3)ケアチームとして一連の取り組みのまとめ、報告、自己の評価ができる。 4)他職種との連携について関心が持てる。
授業の概要	保健医療福祉の動向に伴い、多様なニーズを必要とする対象者が増加しており保健医療福祉教育専門職に求められることも多様化している。対象者のケアの目標を達成するためには、多職種間の連携が不可欠となる。保健医療福祉教育職種が連携を取り合うことの意義・必要性と多様なチームケアの在り方について学習する。群馬医療福祉大学の福祉・医療総合大学の特色を生かし、4学部・短期大学１学科合同チームによる、「チームケア」について学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	○
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	１．科目のオリエンテーション　　２．なぜ、いま連携なのか　チームケアの目的・意義、背景、多職種の種類とその役割、連携の目的・意義。 【key words】 多職種、連携、チームケア 【授業概要】 なぜ、いま連携なのか。チームケアの目的・意義、背景、多職種の種類とその役割、連携の目的・意義を明確にする。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：多職種連携やチームケアについてまとめている論文をメディカルオンライン等を用いて調べ、要点にラインを引いたうえで持参すること。 復習：ポートフォリオの作成。 【予習復習に必要な想定時間】 60～90分
	第２回	チームケアを担う人々を理解する。自己の職種役割についてまとめる。 【key words】 多職種、連携、チームケア、職種理解 【授業概要】 チームケアを担う人々を理解する。自己の職種役割（法制度、職種内容、活躍する場等）についてまとめる。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：自己の職種をまとめるうえで必要な文献や資料を準備すること。

		復習：自己の職種についてまとまておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～90分
	第３回	チームケア・チーム医療を担う人々を理解する。簡単な事例をとおして、チームケアにおける自職種の役割について各学部のグループで討議する。 【key words】 多職種、連携、チームケア、自職種の役割、事例検討 【授業概要】 チームケア・チーム医療を担う人々を理解する。簡単な事例（小児・高齢者）をとおして、チームケアにおける自職種・他職種の役割について各学部のグループで討議する。 今回は、事例の疾患の特徴などをまとめる。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：ポートフォリオの作成。 課題：事例の疾患の特徴などをまとめておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 90～120分
	第４回	チームケア・チーム医療を担う人々を理解する。簡単な事例をとおして、チームケアにおける自職種の役割について各学部のグループで討議する。 【key words】 多職種、連携、チームケア、グループワーク、自職種の役割、事例検討 【授業概要】 チームケア・チーム医療を担う人々を理解する。簡単な事例（小児・高齢者）をとおして、チームケアにおける自職種・他職種の役割について各学部のグループで討議する。 今回は、事例に対する自己が目指す職種の支援内容をまとめる。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：文献や本等を用いて、事例に対する支援内容を調べておくこと。 復習：ポートフォリオの作成。 【予習復習に必要な想定時間】 60～90分
	第５回	チームケア・チーム医療を担う人々を理解する。簡単な事例をとおして、チームケアにおける自職種の役割について各学部のグループで討議する。 【key words】 多職種、連携、チームケア、ディスカッション、自職種の役割、事例検討 【授業概要】 チームケア・チーム医療を担う人々を理解する。簡単な事例（小児・高齢者）をとおして、チームケアにおける自職種・他職種の役割について各学部のグループで討議する。 今回は、学部内において事例に対する自己が目指す職種の支援内容を発表することで、グループ間の情報共有を図る。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：ポートフォリオの作成。 課題：事例に対する支援内容をまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】
	第６回	チームケアにおける多職種の役割、連携方法についての合同討議【合同演習：前橋キャンパス】 【key words】 多職種、連携、チームケア 【授業概要】 チームケアにおける多職種の役割を理解するために、多職種の仕事内容を知る。そのうえで、共通する内容や異なる内容を挙げる。チームケアにおける多職種の役割を理解したうえで、事例（小児・高齢者）に対する支援内容を話し合う。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：自己の職種に関する発表や事例に対して行う支援内容の発表の準備をすること。 復習：自己の職種と多職種の共通点や異なる点について整理しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～90分
	第７回	チームケアにおける多職種の役割、連携方法についての合同討議【合同演習：前橋キャンパス】 【key words】 多職種、連携、チームケア、ディスカッション、発表 【授業概要】 また、事例（小児・高齢者）に対する各職種の支援内容について、共通する項目を挙げる。その後、連携を行う意義について考え、意見をまとめる。 連携を行う意義についてまとめた意見を発表し、共有する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：事例に対する支援内容について共通項目をまとめておく。 他のグループの発表内容も含め、連携の意義について整理しておくこと。 ポートフォリオの作成。 【予習復習に必要な想定時間】 60～90分 第８回　学習成果をリフレクションする。一連の学習過程を評価・考察し自己の課題に気付くことができる。 【key words】 多職種、連携、チームケア 【授業概要】 学習成果をリフレクションする。一連の学習過程を評価・考察し自己の課題に気付くことができる。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：合同グループワークで学んだ事をポートフォリオでまとめる。 後日、ポートフォリオを提出すること（期限については授業内で提示する） 【予習復習に必要な想定時間】 60～90分
受講生に関わる情報および受講のルール	【受講生に関わる情報】 ①予習：指示された事前学習課題を整理し、授業時活用する。 ②復習：授業で配布したプリント・資料を読み返す。 【受講のルール】 ①積極的に取り組むこと。 ②レポート等の課題について、提出期限を厳守する。 ③授業の学びを必ず記載すること。記載することで表現力を養うものである。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式、ICT利用（WEBフォームやメールなど）、その他（ポートフォリオなど）
授業外時間にかかわる情報	・授業概要に示されている予習復習を行い授業に臨むこと。また、授業内で提示された課題には積極的に取り組み、提出期限を守って提出すること。 ・必要な資料は事前に確認し授業時に持参する。
オフィスアワー	各回、原則授業終了後から18時までとする。
評価方法	①グループワークでの取り組み50%　②ポートフォリオ評価50%
教科書	資料配布
参考書	1. 鷹野和美著：チームケア論.ぱる出版, 2008. 2. 小松秀樹：地域包括ケアの課題と未来.ロハス・メディカル, 2015.
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 総合病院で看護師として、多職種連携を図り患者・家族の看護を行ってきた。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 化学　　授業コード： 20019

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年次	1単位(15)	選択
担当教員			
猪熊　仁			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 物質についての知識を得るとともに、科学的な見方や考え方を身につけることを目的とする。 【到達目標】 ①さまざまな物質について構成や状態、性質の違いを表現することや説明することができる。 ②化学反応の種類や表し方を説明し、量的な関係について計算することができる。 ③今後の生化学・医学・薬理学等の学習にあたって必要な、化学の基本的知識を得る。
授業の概要	私たちのまわりのあらゆる物質は原子からできている。その原子がどのような仕組みで結びついて物質が構成されているかを最初に学ぶ。次に、化学反応に伴う量的な扱い方及び基本的な化学反応の種類を学ぶ。最後に有機化合物の構造、性質を学ぶことで将来の他分野への基礎とする。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　はじめに　１　物質の構成

【key words】
自然科学、化学、元素、原子、単体、化合物、周期表、有効数字、陽子、中性子、電子、原子番号、質量数、電子殻、電子配置、最外殻電子、価電子、希ガス

【授業概要】
「自然科学」及び「化学」とは何か。「元素・原子」と「単体・化合物」について。原子量測定の歴史について。「元素」の「周期表」について。化学で使う数字のルール（物理量と単位、有効数字）について。「原子」のモデル、「陽子・中性子・電子」、「原子番号」と「質量数」について。「電子」の運動、「電子殻」と「電子配置」について。「希ガス」について。以上のことを説明する。練習問題を解く。

【教科書ページ・参考文献】
教科書pp１－１５

【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業であつかえなかったプリントの練習問題を解いておくこと（以下毎回同じ）。用語とその意味をまとめておくこと（以下毎回同じ）。第１章章末問題及び第２章章末問題①～⑤を復習すること。

【予習復習に必要な想定時間】
９０分

第２回　２　化学結合

【key words】
分子、イオン結合、閉殻、組成式、共有結合、電子式、共有電子対、不対電子、構造式、共有結合の結晶、金属結合、自由電子

【授業概要】
「イオン結合」について。「組成式」の書き方について。「共有結合」について。「分子式・電子式・構造式」について。「分子」の立体構造について。「金属結合」について。以上のことを説明し、それぞれの結合での物質の性質の違いをまとめる。練習問題を解く。

【教科書ページ・参考文献】
教科書pp１６－２３　pp２９－３０

【課題・予習・復習・授業準備指示】
代表的なイオン、組成式の書き方と名称、構造式の書き方と分子の形について復習しておくこと。第３章章末問題を復習すること。

【予習復習に必要な想定時間】
９０分

第３回　３　物質量と化学反応式

【key words】
原子量、同位体、相対質量、分子量、式量、物質量(mol)、アボガドロ定数、アボガドロの法

		則、（気体の）標準状態、化学変化、化学反応式、量的関係、反応物、生成物、標準状態 【授業概要】 「原子量・分子量・式量、物質量(mol）」の意味と求めかたについて。「化学反応式」が意味することについて。「化学反応式」の書き方及び「化学反応式」を用いて質量や気体の体積を求めることについて。以上のことを説明し、例題を解説する。練習問題を解く。 【教科書ページ・参考文献】 教科書pp２４－２８　pp３１－３５　p４０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第４章章末問題を復習すること。第５章章末問題①～⑤を復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
	第４回	４　物質の状態 【key words】 溶液、質量パーセント濃度、モル濃度、蒸気圧、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧、ボイル・シャルルの法則、気体の状態方程式 【授業概要】 「溶液」の「濃度」について。「気液平衡」と「蒸気圧」について。「水溶液の性質（沸点上昇・凝固点降下・浸透圧）」について。気体について成り立っている法則について。以上のことを説明する。練習問題を解く。 【教科書ページ・参考文献】 教科書pp３６５－３７　pp７９－８５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第９章章末問題⑤～⑦を復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
	第５回	５　酸と塩基 【key words】 酸、塩基、価数、電離度、水のイオン積、ｐＨ（水素イオン指数）、強酸、弱酸、強塩基、弱塩基、中和滴定、塩、指示薬、緩衝液 【授業概要】 「酸」と「塩基」の定義について。「酸」と「塩基」の「価数」と強弱について。「水素イオン濃度」と「ｐＨ」の意味、及びその求め方について。「中和反応」とその量的関係について。「塩」の性質について。「緩衝液」について。以上のことを説明する。練習問題を解く。 【教科書ページ・参考文献】 教科書pp４１－５１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 酸・塩基の定義及び代表的な酸・塩基を覚えること。ｐＨの計算ができるようになること。第６章章末問題(④e～ｇを除く）を復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
	第６回	６　酸化と還元　　７　化学反応と熱 【key words】 酸化、還元、酸化数、酸化剤、還元剤、熱化学方程式、発熱反応、吸熱反応、燃焼熱、生成熱、エネルギー図、ヘスの法則、結合エネルギー 【授業概要】 「酸化」と「還元」の定義と「酸化数」の求め方について。「酸化剤」と「還元剤」の反応と「半反応式」のつくり方について。「熱化学方程式」について。「反応熱」の種類について。「ヘスの法則（総熱量保存の法則）」とその応用について。「結合エネルギー」について。以上のことを説明する。練習問題を解く。 【教科書ページ・参考文献】 教科書pp５２－５５　pp６３－７１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 酸化数の求め方、酸化還元反応の仕組み、熱化学方程式の書き方、ヘスの法則を利用した計算について復習しておくこと。第７章章末問題①～③を復習すること。第８章章末問題①～③を復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
	第７回	８　化学平衡　　９　有機化合物(1) 【key words】 活性化エネルギー、可逆反応、化学平衡、平衡定数、電離平衡、緩衝液、酵素、平衡移動の原理（ルシャトリエの原理）、炭化水素、官能基、異性体 【授業概要】 化学反応の速さの表し方と速さが変わる条件について。「化学平衡」の意味と「平衡移動の原理（ルシャトリエの原理）」について。有機化合物の特徴と分類について。以上のことを説明をする。練習問題を解く。 【教科書ページ・参考文献】 教科書pp７２－７８　pp８５－８７ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 官能基や異性体についてまとめをするとともに、覚えておくこと。　第９章章末問題①～②を復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
	第８回	10　有機化合物(2)　　おわりに 【key words】 脂肪族化合物、数詞、アルカン、アルケン、アルキン、アルコール、エーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、エステル 【授業概要】 「脂肪族化合物（アルカン、アルケン、アルキン、アルコール、エーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、エステル）」の構造や性質・反応について説明する。最終回であるので第１回～第８回の授業についての質問を受ける。 【教科書ページ・参考文献】 教科書pp８８－１０６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】

	授業で解説した用語とその意味、法則の名称と内容をまとめておくこと。また、化学反応式を書くことや計算問題などもできるようにしておくこと。第10章章末問題①～④及び第11章章末問題①～③を復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ・教科書を用いて、予習復習を必ず行うこと。 〔受講のルール〕 ・授業シラバスを必ず確認し積極的に授業に臨むこと。 ・教科書を使用して、板書も行うが、中心は講師の話である。説明をよく聞いて理解に努めること。 ・授業中に理解が不十分なことがあった場合はいつでも質問してよい。授業時間内に質問できなかった場合は、コメントカードに書くか授業後に質問すること。わからないことをそのままにしておかないこと。 ・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語、携帯電話の使用）は禁止する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	予習では教科書を読むとともに、用語の意味を確認すること。復習では授業の内容を筋道をたどって理解できたかを確認すること。その際、授業で扱った問題を自分でもう一度解き直し、教科書の章末問題を解いておくこと。また、覚えなくてはならないことは確実に覚えておくこと。
オフィスアワー	・授業終了後３０分間　　・コメントカードに書いた質問については次の授業の最初に答える。
評価方法	筆記試験　７０％、レポート　３０％
教科書	松岡雅忠：まるわかり！基礎化学　改定２版．南山堂，2021
参考書	0
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 生活科学　　授業コード： 20024

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年次	1単位(30)	選択
担当教員			
篠原　しづか			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	［授業の目的］ 幸福な家庭生活を運営できるようになることを目的とする。 ［到達目標］ 衣生活、食生活、住生活、健康生活、環境問題を科学的な視点から学び、快適な生活ができるようにするとともに、精神的 にも、家庭経済的にも豊かで安定した日常生活が送れるようになる。
授業の概要	家庭生活を営む上に必要な衣食住と健康について、科学的視点からの理解と選択ができるようにする。また精神の研鑽も大切なので、古典、童話、歌劇、小説、心学などに触れ、人としての心と科学の両立を目指す。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	○
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　オリエンテーション　：生活とは

【key words】
生活の目的、理念、範囲、斎家論

【授業概要】
健全な日常生活運営のために必要な理念を石田梅巌の斎家論,儒教経典の大学「修身齋家治国平天下」の言葉を用い生活科学の目的を解く。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：「序にかえて」
参考書：岩波思想体系「石門心学」・岩波書店

【課題・予習・復習・授業準備指示】
日常生活の重要性を理解する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第２回　日常生活の理解と結婚

【key words】
家庭の役割　結婚　未婚　離婚　愛があれば結婚できるか

【授業概要】
思想家アンドレ―モロアと女流作家宇野千代等のコメントを参考に結婚を多方面から考察し、幸福な結婚、家庭生活の土台となるべき基本条件を説明する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
結婚生活は男性と女性が互いに忍耐し合い、許し合いの連続の中で、いかに生きるべきかを求め暮らすことを理解する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第３回　家庭生活の経営、家庭経済、老後の設計と消費者問題

【key words】
家族　家庭経営・経済生活　生活設計　高齢期の生活

【授業概要】
家庭経営の理想を達成するためには経済と精神の均衡が保たれることが大切である。

二宮尊徳の報徳仕法にみる家庭経済の在り方を中心に説明し、老後の設計や消費者問題についても詳説する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：
参考書：「二宮翁夜話」福住正兄著・岩波文庫

【課題・予習・復習・授業準備指示】
家庭生活安定のための経済の在り方を理解する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第４回　食生活と食文化
【key words】
食事　食文化　行事食

【授業概要】
家族が食卓を囲み食事をすることは、家族愛、健康、食文化（日本の伝統文化）伝達の上で重要であることを説明。幸福な家庭運営のためには、季節の行事食や祭り料理の意義あることを解説する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：p37～60
【課題・予習・復習・授業準備指示】
日本の伝統文化と食生活は、切り離せない重要なものであることを理解する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第５回　食生活：内臓助成の食生活
【key words】
生命維持　内臓助成　寿命生活

【授業概要】
身体臓器は自律神経が深く係わるために、日々の食生活が大切である。そのため内臓助成を考慮した食生活と食の安全を説明する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：p61～78、103～116
参考書：

【課題・予習・復習・授業準備指示】
健康な生活を送るためには内臓助成が大切であることを理解する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第６回　衣生活：被服の役割と機能、皮膚衛生　不感蒸泄
【key words】
被服の役割　皮膚の構造と生理　不感蒸泄の計測

【授業概要】
第2の被服と言われる皮膚の構造と機能を理解するため、学生個々の1日の不感蒸泄を計測し、その値をもとに肌着着用の重要性と洗濯の必要性を説明する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書　ｐ１～26、189～199 参考書：【新しい被服衛生」中橋美智子・吉田敬一著、南江堂
「衣服簡易実験法」日下部信幸著、家政教育社
【課題・予習・復習・授業準備指示】
5分で1日の不感蒸泄を測定し生活の中の科学を理解する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第７回　衣生活:被服素材の絹、綿から化学繊維、新素材
【key words】
繊維の種類と性質　新素材と衣生活

【授業概要】
「繭と生糸とは日本一」この歴史ある絹からカロ―ザスのナイロンやポリエステル、ユニクロのハイテク繊維のヒートテックなど新保温素材の繊維の実験を行い、検証し、時代に対応した衣生活を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：　p8～26
参考書：

【課題・予習・復習・授業準備指示】
新保温素材の保温力を確認し、衣服を選定することを理解する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第８回　衣生活：衣服の洗濯史(古代～酵素洗剤)
【key words】
石油系合成洗剤　酵素洗剤　洗濯法

【授業概要】
古事記「国生み」に見る洗濯から新洗剤による洗濯を説明。環境に優しい酵素洗剤プロテアーゼの分解力を簡易実験を通して検証する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：p27～35、117～126
参考書：「古事記」倉野憲司著・岩波文庫　全訳註「古事記」次田真幸著・講談社学術文庫
「家政学実習」大谷陽子編、建帛社

【課題・予習・復習・授業準備指示】
酵素入り洗剤の洗浄力の比較をして、新しい洗剤の効果を考える。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第９回　衣生活：衣服の管理（タンスにゴンの防虫剤から薫衣香まで）

【key words】
漂白　しみ抜き　手入れと保存

【授業概要】
衣服の汚れ除去、漂白、しみ抜きの実験をする。衣服の手入れとしての虫干しと防虫剤の使用法、環境に配慮した日本古来の防虫法・防虫剤（天然）を説明する。

【教科書ページ・参考文献】
教科書：P34～35、136～139
参考書：日本古典文学大系「日本書紀」・岩波書店「日本書紀」（１）（２）坂本太郎著・岩波文庫　参考書：「被服生理学」奥山春彦・水梨サワ子監修、相川書房

【課題・予習・復習・授業準備指示】
衣服管理の奥深さを考察する。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１０回　住生活：快適な住環境、埃とダニ・カビ

【key words】
快適な住環境通風　換気　太陽エネルギー　埃とダニ・カビ

【授業概要】
快適な住まいを教室内の微気候を測定し検証する。換気と掃除の重要性とカビダニの住生活に及ぼす影響を説明。また太陽エネルギーの効果についても説明する。

【教科書ページ・参考文献】
教科書　p79～95、103～110、167～170　参考書「ダニ類その分類生態」佐々学著、東京大学出版会　「太陽エネルギーの基礎と応用」村井潔三著、オーム社　「衛生学実習」三浦悌二等編、南山堂

【課題・予習・復習・授業準備指示】
住環境のあり方を考える。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１１回　住生活：ハウスクリーニングの実際

【key words】
清潔な住生活と掃除　暮らしと環境

【授業概要】
清潔な住生活のための「ときめくハウスクリーニングの実際」を実証する。また環境保全に向けての対応について説明する。

【教科書ページ・参考文献】
教科書：P103～110、126～135、140～166
参考書：「環境衛生と産業衛生」原島進著、光生舘「女子教養の公衆衛生」三浦悌二・中村泉著南山堂

【課題・予習・復習・授業準備指示】
魔法のホイップクリームの効果を実証する。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１２回　健康生活：着衣着火等衣生活の危険

【key words】
被服の燃焼（有毒ガス、火傷）

【授業概要】
着衣着火の危険性について学び、起毛繊維の表面フラッシュ現象や化学繊維の有毒ガスによる死亡者の多いこと等を説明。実際に石油系の繊維の燃焼実験を行い衣生活の危険とその対応について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
教科書：
参考書：「新しい被服衛生」中橋美智子・吉田敬一著、南江堂
「消防白書」消防庁、大蔵省印刷局

【課題・予習・復習・授業準備指示】
実際の燃焼試験を通して危険性を考える。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１３回　健康生活：入浴と入浴剤の効果

【key words】
温浴剤　平均皮膚温

【授業概要】
入浴は健康に重要な効果がある。薬用温浴剤使用の場合の皮膚の状況、皮膚温、深部温、各層水分量、血圧など、さら湯と温浴剤入りで比較検討する。さらに各種民間薬草による入浴剤、特に蓬やハトムギの効果について説明する。

【教科書ページ・参考文献】
教科書：p190～199
参考書：

【課題・予習・復習・授業準備指示】
身近な温浴剤の効果を知り、実生活に活かす。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

	第１４回　健康生活：皮膚障害と静電気，柔軟加工剤の効果 【key words】 皮膚障害　静電気　衣服圧　衣服帯電列 【授業概要】 衣服の繊維やその加工剤による皮膚障害が多い。なかでも冬期湿度低下の乾燥期おける衣服着脱時の静電気の放電が原因による障害は多い。その対応と柔軟加工剤の効果にについて説明する。同時に被服圧の障害と対策についても説明する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：P190～199　参考書：「新しい被服衛生」中橋美智子・吉田敬一著、南江堂 【課題・予習・復習・授業準備指示】 皮膚障害防止のため今後の生活を考える。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１５回　まとめ：生活を統合する 【key words】 衣、食、住、家庭経済及び健康生活 【授業概要】 幸福な家庭生活運営のための衣、食、住、家庭経済及び健康生活をふりかえる。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 幸せな生活を送れるように考察する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	・授業内容を実生活にも活かすこと。 ・板書以外にも各自メモを取り「生活の中の雑学」も身に付けるように心掛けること。 ・５回を超える欠席は、定期試験の受験資格を失う。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	復習を重点に学習すること。学んだことを実生活に活かすこと。
オフィスアワー	授業前３０分
評価方法	試験６０％、授業の中の課題４０％で総合して評価する
教科書	「生活科学概論」　建帛社
参考書	授業中に配布する資料
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 基礎英語　　授業コード： 20039

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年次	1単位(30)	必修
担当教員			
森　佳江			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療の現場で看護師として必要な英語を「読み、聞き、話せる」ことを目的とする。 【到達目標】 ①英文の情報を早く正確に理解できる。 ②英語表現に必要な基本的な文法を理解し応用できる。 ③授業で身につけた「単語、表現」を使って日常会話が行える。
授業の概要	医療関連の記事の読解練習をしながら読解に必要な文法、表現、医療系単語を学ぶ。 看護現場で使用頻度の高い会話練習をする。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　科目オリエンテーション / 大学での友達との会話

【key words】
What worries ～ ？ Why not ～ ？
【授業概要】
日常の様々な場面で使う基本的な言い方を練習する。 命令文の使い方をまとめる。 Medical Words（医療関係の職業）を発音し覚える。 簡単なResume、履歴書を英語で書けるようにする。
Grammer：命令文　 Words：医療関係の職業
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ７～Ｐ１２
【課題・予習・復習・授業準備指示】
p.10 Words & Phrases、 p.11 Medical Words を確認しておく。
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第２回　ガン治療の副作用について考える

【key words】
be動詞、have(has) / cancer、 radiation、symptoms
【授業概要】
医療現場でよく使われる表現をbe動詞、haveを中心に学ぶ。 ガン治療に関する英文を読みながら、修飾語の働きを学ぶ。 Medical Words(身体、外側)を発音し覚える。 測定の単位を確認する。
Grammer:be/have動詞　 Words:身体（外側）
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ１３～Ｐ１８
【課題・予習・復習・授業準備指示】
p.17 Medical Words を使って今日学んだ会話練習をする。
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第３回　健康診断で使われる表現

【key words】
I feel nauseous、/ pain、 blood pressure、weigh
【授業概要】
身体の不調、変調を知らせるときに使う表現を学ぶ。 現在分詞の使い方を進行形、形容詞を中心に確認する。 Medical Words(骨、筋肉)を発音し覚える。 お見舞いのカードを英語で書けるようにする。
Grammer:現在分詞　 Words:身体（骨、筋肉）
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ１９～Ｐ２４

【課題・予習・復習・授業準備指示】
お見舞いのカード(A Get Well Card)を完成させる。
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第４回　脳の働きについて情報を読みとる
【key words】
brain、 left side、 right side
【授業概要】
脳の働きについて述べた英文を読み、各段落ごとの要旨をまとめる練習をする。　疑問詞の使い方をwhichを中心に確認する。Medical Words(内臓)を発音し、簡単な例文と共に覚える。　食品成分表を読めるようにする。　Grammer:疑問詞　Words:身体（内臓）
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ２５～Ｐ３０
【課題・予習・復習・授業準備指示】
家にある輸入食材の裏の食品成分表を書きとり、訳してみる。
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第５回　応急手当の手順、基本を理解する。
【key words】
first aid、 bleeding、 breathing、 depression、 movement
【授業概要】
応急手当についての箇条書きの英文を正しく読めるようにする。　名詞の形(単数形、複数形)の使い方を確認する。　Medical Words(病院の科の名称)を発音し、覚える。　救急処置の行動を英語で言えるようにする。　Grammer:名詞の形　Words:病院の科の名称
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ３１～Ｐ３６
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書　p.36 健康アンケートの解答を作ってくる。
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第６回　LGBTとは何かを読みとる
【key words】
gender、 identity / hear of、 stand for、 refer to、 point out
【授業概要】
LGBTについての英文を題材にして関係代名詞のある文の訳し方の練習をする。　診察の時に使う会話練習をする。　Medical Words(病院関連)を発音し、病院内での場所を教える会話を学ぶ。
Grammer:句動詞　Words:病院関連
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ３７～Ｐ４１
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書 p.42 五感クイズに答える。
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第７回　虐待についての知識を得る
【key words】
abused、 punish、 force、 watch out、 on purpose
【授業概要】
段落のつながりを考えながら英文を読み「虐待とはどういうことか」をまとめる。　動名詞の使い方を確認する。　Medical Ｗｏｒｄｓ（痛み)を発音し、簡単な例文で会話練習する。
Grammer:動名詞　Words:痛みなど
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ４３～Ｐ４７
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書 p.48 精神障害の度合いをチェツクする質問項目に答える。　次回小テスト
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第８回　血液型と輸血の関係を知る / 学習確認小テスト
【key words】
blood type、 receive、 recipient、 plasma、 universal donor
【授業概要】
血液型と献血、輸血について述べた英文を読みながら、SVO、SVOCの文を学ぶ。　Medical Words(病気①)を発音し、p.53の「患者と看護師の会話」の中で練習する。
Grammer:文型　Words:病気①
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ４９～Ｐ５３
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書 p.54　英語でドナーカードに記入する練習をする。
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

第９回　健康なライフスタイルとはどういうものかを考える
【key words】
heredity、 accelerate、 moderation、 overweight、 obesity、 diabetes mellitus
【授業概要】
「健康なライフスタイルとは」の英文をKey Wordに注目して読んでいく。　日常生活で使う数字の読み方を学ぶ。　関係代名詞の使い方を確認する。　Medical Words(病気②)を発音しp.59の「友人との会話」の中で練習する。　Grammer:関係代名詞　Words:病気②
【教科書ページ・参考文献】
教科書：Ｐ５５～Ｐ５９
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書 p.60 Depression Self-Checkの解答をする。
【予習復習に必要な想定時間】
６０分～９０分

	第１０回　国ごとに治療の仕方は違うのか、考える 【key words】 emergency room、 immediately、 embarrassed、 dismayed、 family doctor 【授業概要】 現在完了、過去完了による時間の流れを考えながら英文を読んでいく。　完了形の使い方を確認する。 Medical Words(病気③)を発音し、p.65の「病室での看護師との会話」の中で練習する。 Grammer:現在完了と過去完了　　Words:病気③ 【教科書ページ・参考文献】 教科書：Ｐ６１～Ｐ６５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書 p.66 Invitation Card を作る。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～９０分 第１１回　cure(治癒)という語の意味について考える 【key words】 cure、 treat、 medication、 therapy、 get rid of、 come up with 【授業概要】 接続詞thatの様々な使われ方に注意しながら英文を読んでいく。　認知症初期症状チェックリストを訳してみる。　Medical Words(病気④)を発音し、覚える。 Grammer:thatの様々な用法　　Words:病気④ 【教科書ページ・参考文献】 教科書：Ｐ６７～Ｐ７２ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書 p.53、p.59、p.65、p.71、の病気に関する単語(1)～(4)を復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～９０分 第１２回　「やせていること」と「健康であること」の違いを読みとる 【key words】 carbohydrates、 Body Mass Index、 anorexic、 sustainable 【授業概要】 現在、過去、未来の動詞の形で時間の関係を理解しながら英文を読んでいく。　p.78「健康のための心がけ」を英語で言えるようにする。　Medical Words(治癒、手術)を発音し、p.77の会話で練習する。 Grammer:時制　　Words:治療、手術 【教科書ページ・参考文献】 教科書：Ｐ７３～Ｐ７８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書 p.78英文 Outfitted for Health を完成させる。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～９０分 第１３回　乳ガンの自己検診の手順を読みとる 【key words】 breast self-examination、survival rate、make an appointment 【授業概要】 乳ガンの自己検診の手順を前置詞(句)を中心に読みまとめる。　様々な前置詞の使い方を学ぶ。病院内での道順の尋ね方と答え方の会話を練習する。　Madical Words(薬剤関連)を発音し覚える。 Grammer:前置詞　　Words:薬剤関連 【教科書ページ・参考文献】 教科書：Ｐ７９～Ｐ８３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 p.35 病院の科の名称の単語を復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～９０分 第１４回　外国人看護師に日本語はどのくらい必要かを考える 【key words】 an aging society、 caregiver、elderly、 patients、 nursing license 【授業概要】 p.86の英文で、くり返される単語に注目して文の意味を推測し、全体を理解する練習をする。　受動態の働きを確認する。　p.89入院に関する会話練習をする。　Medical Words(医療関係の道具)を発音し覚える。　Grammer:受動態　　Words:医療関係の道具 【教科書ページ・参考文献】 教科書：Ｐ８５～Ｐ８９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書 p.90 How to use AEDを解答する。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～９０分 第１５回　看護師に必要な英語表現、英単語 【key words】 How are you feeling today ? 【授業概要】 Unit1 ～ 14の医療系英単語、重要表現を復習する。　よく使う会話表現を練習する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：Ｐ７～Ｐ９０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 今日まとめた医療系英単語、重要表現、会話表現を使えるようにする。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～１２０分
受講生に関わる情報および受講のルール	読解の基礎になる医療系単語の復習は各自じっかり行うこと。 会話練習、発音練習、音読の時は大きな声を出して積極的に取り組むこと。

毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	あらかじめ授業予定の範囲のListeningをしてくること。 授業終了後は復習をしておくこと。
オフィスアワー	授業終了後30分間
評価方法	期末筆記試験（客観、論述）85%　学習確認小テスト15%
教科書	Take Care ！　三修社
参考書	授業内で適宜紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 医療英語　　授業コード： 20040

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年次	1単位(30)	選択
担当教員			
森　佳江			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 共通語としての英語を使って看護現場で意思疎通ができるように、聴く、話す、読む、書くの技能を向上させる。 【到達目標】 ①相手の訴えが聴き取れる。 ②伝えるべきことを過不足なく伝えられる。 ③英文記事から必要な情報を早く正確に把握する。 ④医学用語の短縮形や単語の特殊な構成を学び、新出用語や単語の意味を類推することができる。
授業の概要	読解を行う場合でも音読を重視する。 看護現場で使用頻度の高い医療系単語・構文を学び、会話練習をする。 医学系の記事・論文を文法事項の確認をしながら読んでいく。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	科目オリエンテーション／診療科の名前／受診受付 【key words】 First Visit to a Hospital 語幹　接尾辞 【授業概要】 １５回の授業の流れを理解し、各回の位置付けを確認する。初診の患者を案内する際の語いや表現を学ぶ。 基礎英語で学んだ診療科名の名称を確認する。医学用語の成り立ちをそれぞれが特別な意味を持つ語幹と接尾辞を学ぶことによって理解する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１～Ｐ５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P5 Hospital Department Designations に答える。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～１２０分
	第２回	登録票・診察申込書の記入／英文読解：患者とのコミュニケーション 【key words】 How to Fill in a Registration Form Would you～?　May I ask～?　What kind of～? 【授業概要】 日本語が読めない患者が来訪した時を想定して、登録票・診察申込書の記入の仕方を学ぶ。 anti-, hyper-, mal- といった（抗,反、過剰、悪,不良）の接頭辞と語幹の組み合わせで成り立っている単語を学ぶ。患者とのコミュニケーションについての英文を読む。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ６～Ｐ９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P10　登録票/診療申込書　を記入してくる。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～１２０分
	第３回	生活習慣を尋ねる／体の部位① 【key words】 Let's Ask about Daily Activities. I'd like to ask you about～ . 【授業概要】

		患者の症状を尋ねるときの応答練習を、特に生活習慣を中心に聞く練習をする。脳、神経に関する医学用語を学ぶ。体の部位（頭部）の単語を確認する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１１～Ｐ１５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P15 Human body 1 頭部　の図を完成する。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～１２０分
	第４回	症状について尋ねる／体の部位② 【key words】 What seems to be the problem?　How long have you been～?　How do you feel now? 【授業概要】 患者の症状を尋ねるときの応答練習をする。現在完了形の使い方を確認をして、実際の会話の中で使えるようにする。消化器系に関する医学用語を学ぶ。体の部位（人体）の単語を確認する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１６～Ｐ２０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P16 Human body 2　人体　の図を完成する。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～１２０分
	第５回	測定の際の表現／医学用語の構成Ⅰ 【key words】 Medical Checkup Let me check～.　Let's check～.　/　blood pressure, thermometer 【授業概要】 脈拍・血圧・体重などを測定するときに使う表現・単語を学ぶ　。循環器・血液系に関する医学用語を学ぶ。 臓器の単語を確認する。患者とのコミュニケーションに関する英文を読む。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２１～Ｐ２５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P25 Human body 3 臓器　の図を完成する。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～１２０分
	第６回	検査の際の表現／体の部位③／病院のスタッフ 【key words】 We need to take～.　Take a deep breath and exhale. urine sample, blood sample, suger level, protein 【授業概要】 血液・尿検査などをするときに使う表現・単語を学ぶ。呼吸器系に関する医学用語を学ぶ。病院のスタッフの英語での名称を発音し覚える。分数・少数の英語での表し方を確認する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２６～Ｐ３０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P30 Hospital Staff Designations を記入する。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～１２０分
	第７回	検査結果の説明に必要な表現／英文読解：糖尿病① 【key words】 Let me explain～　How often～?　You are suffering from ～. diagnosis, cholesterol, diabetes 【授業概要】 検査結果を説明するときに使う表現・単語を学ぶ。糖尿病についての英文を読み、糖尿病のtype1とtype2の説明が日本語でできるようにする。骨格・筋肉系に関する医学用語を学ぶ。疑問詞を使った疑問文の確認をする。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ３１～Ｐ３４ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P33の英文の聞き取りをする。（音声ダウンロード） 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～１２０分
	第８回	症状についてより詳しく尋ねる／英文読解：糖尿病② 【key words】 How is your～?　That's quite normal. appetite, indigestion, constipated, diarrhea 【授業概要】 患者の症状を詳しく尋ねるときに使う表現・単語を学ぶ。肥満に関する英文を読み、肥満の医学的な意味を日本語で説明できるようにする。泌尿器・生殖器系に関する医学用語を学ぶ。また、病気の様々な症状を英語で表現してみる。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ３６～Ｐ４０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P40 Patient Symptoms に記入する。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～１２０分
	第９回	痛みを細かく表現する／医学用語の構成Ⅱ 【key words】 Let's Ask　More about Mr ～'s Symptoms normal range, serious disease, hepatitis, associated with～ 【授業概要】 痛みについて、どのような痛みかを詳しく尋ねるときに使う表現・単語を学ぶ。肥満と肥満指数の定義に関する英文を読み、肥満指数の定義を理解する。耳鼻・咽喉系に関する医学用語を学

	ぶ。また痛みの英語での表現の仕方を練習をする。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ４１～Ｐ４５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P45 Descriptions of pain に記入する。 次回小テスト 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～１２０分
第１０回	薬の働きについての説明／医学英語によく使われる動詞 【key words】 Explaining Blood Test Results gastritis, inflammation, fiberscope, recommend～, 【授業概要】 薬の働きについて説明をするときに使う表現・単語を学ぶ。皮膚・関節系に関する医学用語を学ぶ。症状や痛み、検査に関する表現をするときによく使う動詞（take,have,feelなど）を確認する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ４６～Ｐ５０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P50 Medication Ⅰを復習し、単語を覚える。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～１２０分
第１１回	薬の服用の仕方の説明／英文読解：脳卒中① 【key words】 How to Take Medicine Take one tablet three times a day after meals. / antibiotics, tablet, packet 【授業概要】 薬の服用の仕方を教えるときに使う表現・単語を学ぶ。脳卒中に関する英文を読み、脳卒中とは何かを理解する。リンパ・免疫系に関する医学用語を学ぶ。また薬の服用の様々例を提示して英文を作る練習をする。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ５１～Ｐ５４ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 基礎英語で学んだ「薬の服用の仕方」の復習をする。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～１２０分
第１２回	症状の起きた原因を尋ねる／英文読解：脳卒中② 【key words】 What seems to be the problem? I feel like～. Have you had ～? dizzy, vomiting, slight headache 【授業概要】 患者にその症状の起きた原因を尋ねるときに使う表現・単語を学ぶ。前回に続き脳卒中に関する英文を読み、脳卒中を確認する方法を読みとれるようにする。内分泌系に関する医学用語を学ぶ。看護師の日常携行品の英語での名称を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ５６～Ｐ６０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P60 Nursing Care Instruments Ⅰで看護師の日常携行品の名称を覚える。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～１２０分
第１３回	ＭＲＩ検査の説明／英文読解：脳卒中③ 【key words】 We can take a close look at～. Please lie down here. Take a deep breath. test results, relax 【授業概要】 ＭＲＩ検査をするための準備・方法などを説明をする表現・単語を学ぶ。前々回に続き脳卒中に関する英文を読み、脳卒中のリスクを減らすために何をすればよいかを読みとる。細胞・組織系に関する医学用語を学ぶ。 治療・処置に必要な道具用品の英語での名称を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ６１～Ｐ６５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P65 Nursing Care Instruments Ⅱ を記入する。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～１２０分
第１４回	手術前後の説明／病気の名称 【key words】 Recommending an Operation operation, bleeding, catheter, neurosurgeon 【授業概要】 手術前の検査や手術後の注意事項などを説明するときに使う表現・単語を学ぶ。代表的な病気の名称を、基礎英語で学んだ単語の復習をしながら覚える。腹部系に関する医学用語を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ６６～Ｐ７０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P70 Medical Condition and Illnesses に書かれている病気の名称を覚える。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分～１２０分
第１５回	まとめ Unit 1～ Unit 15 【key words】 Communication, Useful expression, Medical terms

	【授業概要】 Unit１から Unit１５の会話を振り返り、看護師に要求される会話技能を確認する。 重要なMedical terms の復習をする。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１～Ｐ７５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 試験に向けて、指摘した重要事項を確認しておく。 【予習復習に必要な想定時間】 １２０分～１５０分
受講生に関わる情報および受講のルール	教科書の音声ファイルダウンロードを活用し、聴き取りの自主訓練を心がけること。 会話練習・発声練習は大きな声をだして積極的に取り組むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	授業で出てきた英単語・構文を復習しておくこと。
オフィスアワー	授業終了後３０分間
評価方法	期末筆記試験（客観・論述）85%　学習確認小テスト15%
教科書	First Aid ！ (Kinseido)
参考書	授業内で適宜紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： スポーツ科学原理　　授業コード： 20042

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年次	1単位(15)	必修
担当教員			
櫻井　秀雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】日常生活を通じたスポーツ知識を学び、心身ともに健康で豊かな生涯を送ることのできる基礎的教養を身につける。【到達目標】①ライフステージにある自己の心身の諸機能の特質とその発達の仕組みを理解する。②諸機能の合理的･教育的な形成方法を学び、自らの健康を保持･増進していくための基本的なスポーツ方法論を修得する。③スポーツを通じて自分自身の健康的･社会的な自己信頼性を高めていくとともに、将来にわたって家庭や職場や地域社会での健康的な生活を設計し実践していくための基礎的な力量を身につける。
授業の概要	身体･運動･スポーツに関する諸学問の成果を学ぶとともに、健康に関する社会的な諸問題を捉え、健康と運動の科学的原理についての研究成果を学ぶ。それによって健康と運動の価値と重要性について理解を深め、自分自身のよりよい健康つくりの内容と方法を習得するとともに、生活実践の中にその知識を活かして自己形成の健康的な基盤を整えることを学ぶ。。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	△
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	◎
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　科目オリエンテーション　（ スポーツとは：スポーツの概念と歴史、文化としてのスポーツ ）

【key words】
スポーツ　健康　文化
【授業概要】
「スポーツとは何か」の定義及び現代スポーツの考え方を理解する。特に「スポーツの文化性」に基づく、スポーツ観やスポーツ規範（スポーツマンシップ、フェアプレーほか）の重要性について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
スタートコーチ養成テキスト（日本スポーツ協会編）p56～69
【課題・予習・復習・授業準備指示】
スポーツ文化の（資料）を熟読して現代スポーツとの関連を学ぶ。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第２回　スポーツと体力・健康づくり　（ トレーニング論 ：体力とは、トレーニングの進め方、トレーニングの種類）

【key words】
体力　トレーニング
【授業概要】
スポーツに求められる「体力像」の概念を知り、体力の諸要素を高めるために行うトレーニング全般について学習する。その実践に求められる基礎知識および、トレーニングの形態別・体力要素別の分類に基づきそれぞれの効果を正しく認識する。
【教科書ページ・参考文献】
スタートコーチ養成テキスト（日本スポーツ協会編）p74～86
【課題・予習・復習・授業準備指示】
スポーツと体力・健康づくりの（資料）を熟読して日常生活での関連を学ぶ。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第３回　スポーツと基礎的医学　（スポーツに必要な医学的基礎 ：スポーツと健康、スポーツ活動中に多いケガや病気、救急処置 ）

【key words】
スポーツ　健康　医療　救急措置
【授業概要】
スポーツ活動と健康との密接なかかわりをはじめ、活動中に多いケガや病気の理解と対処法、救急時の処置など、スポーツ医学に関する知識を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】

	スタートコーチ養成テキスト（日本スポーツ協会編）p96～122 【課題・予習・復習・授業準備指示】 スポーツ医学（資料）を熟読して現代スポーツとの関連を学ぶ。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第４回　スポーツと栄養　（スポーツと栄養） 【key words】 スポーツ　健康　栄養　食育 【授業概要】 健康の保持・増進、さらにはスポーツ活動・運動を支える栄養摂取について基本的な知識を得る。併せて正しい食習慣が健康的なスポーツライフをマネジメントするうえでの第一歩であることを学習する。 【教科書ページ・参考文献】 スタートコーチ養成テキスト（日本スポーツ協会編）p124～146 【課題・予習・復習・授業準備指示】 スポーツと医学の（資料）を熟読して日常生活との関連を学ぶ。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第５回　スポーツと社会福祉（障がい者スポーツ：意義と原則、障がいの理解、全国障がい者スポーツ大会） 【key words】 スポーツ基本法　障害者福祉法　障がい者スポーツ 【授業概要】 スポーツ基本法や障害者福祉法を学び、行政施策と社会福祉方策を理解する。そのなかで障がい者スポーツがどのような歴史を変遷しながら今日に至っているか理解する。また全国障がい者スポーツ大会のＤＶＤを鑑賞しながら現代の福祉スポーツの状況を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 障がい者スポーツ指導教本（日本障がい者スポーツ協会編）ｐ1～136 【課題・予習・復習・授業準備指示】 スポーツと社会福祉の（資料）を熟読して地域社会との関連を学ぶ。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第６回　スポーツと発育･発達（ジュニア期のスポーツ：発育･発達期の心身の特徴、ケガや病気、プログラムの作成） 【key words】 スポーツ　発育・発達　スキャモン発達曲線 【授業概要】 子どもの発育・発達特性を知り、スポーツ活動・運動が子供の心身に与えるさまざまな影響とケガや病気を正しく理解する。そのうえで発育ステージに応じたプログラムつくりを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 スタートコーチ養成テキスト（日本スポーツ協会編）p148～168 【課題・予習・復習・授業準備指示】 スポーツと発達・発育の（資料）を熟読して、ジュニア期のスポーツの関連を学ぶ。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第７回　スポーツと地域振興（スポーツ振興施策：スポーツ基本法、総合型地域スポーツクラブの意義と必要性） 【key words】 スポーツ基本法　スポーツ行政　総合型地域スポーツクラブ 【授業概要】 期に、地方自治体等の行政とスポーツ振興方策とのかかわりに現状についての認識を深める。そのうえで、地域住民主体の総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団についてのかかわり方を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 スタートコーチ養成テキスト（日本スポーツ協会編）p170～186 【課題・予習・復習・授業準備指示】 スポーツと地域振興の（資料）を熟読して、地域の総合型地域スポーツクラブを理解する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第８回　スポーツと指導者の役割（スポーツ指導者とは：倫理観、心構えと視点、アスリートの発掘・育成の重要性） 【key words】 スポーツ　指導　倫理　トップアスリート育成 【授業概要】 スポーツ指導者が社会に求められる背景と役割を理解する。日本スポーツ界の現状と目指すべき方向性を正しく理解し、「スポーツ科学」や「トップアスリートの育成」など指導を実践するうえで、もっとも基本となるフィールドを理解する。 【教科書ページ・参考文献】 スタートコーチ養成テキスト（日本スポーツ協会編）p34～54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 スポーツと指導者の役割の（資料）を熟読して、将来医療福祉現場で支援者としての心構えを学ぶ。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	【情報】 ・授業は資料プリント・ＰＰで実施する。出席を常とし積極的に授業に参加すること。 ・授業の、資料配布とコメントはスレッドを使用する。 【受講のルール】 ・遅刻、授業中の私語、携帯電話等の使用は禁止する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状	コメントカード方式（対面授業）スレッドでコメント（web授業）

況の確認方法	
授業外時間にかかわる情報	日常生活の中に自分に適応したスポーツを取り入れ、積極的に身体活動を実践して、安定した豊かな生活を送る。
オフィスアワー	曜日・時間は講義初日に周知する。講師室　時間帯が合わないときは連絡をいただく。
評価方法	筆記試験（レポート）７０％、学習意欲３０％　（受講態度・積極性等）を総合評価する
教科書	資料プリントで対応
参考書	日本スポーツ協会編　スタートコーチ養成テキスト（日本スポーツ協会）　令和２年
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 公立学校教員（保健体育）２１年、管理職６年、群馬県教育委員会指導部体育課指導主事（学校体育、生涯スポーツ指導）４年、群馬県スポーツ振興事業団健康スポーツ課指導主事（県内市町村の健康スポーツ普及指導）、群馬県教育委員会スポーツ振興課課長補佐（県内市町村の健康スポーツ指導）２年、群馬県知事部局（障害福祉・社会福祉・保健福祉）、群馬県社会福祉事業団・群馬県立ふれあいスポーツプラザ次長・指導課長（高齢者・障がい者の健康・スポーツ指導）５年、群馬県教育委員会教育長表彰（保健体育）現在、群馬県障がい者スポーツ指導者協議会会長、群馬県体操協会顧問、等 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： スポーツ演習　　授業コード： 20045

英文科目名称： Sports exercises

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年次	1単位(30)	選択
担当教員			
長津　一博			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	目標： 明るく豊かな人生を送るために生涯にわたって実施できる運動やスポーツの楽しさと必要性を体験を通して学習する。 到達目標： 幼児から高齢者・障がい者までの、健康・体力・興味・関心など様々な要求に応じた運動やスポーツが、日常生活の中で継続的に行えるような状態を創り出しせるようになる。
授業の概要	各種運動の実践を通して身体統御の方法を身につけ、チームの一員、仲間としての自覚をもち、社会生活のなかで規則やルールを守り、精神力や体力を養い、人間関係の円滑化を図れるようになる。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	△
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	△
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	○
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	△
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画

第１回　オリエンテーション（ 班づくり　A、Ｂ２班に分ける ・ コミュニケーションゲーム ）

【key words】
授業概要についての説明、班編成及び軽レクリエーション
【授業概要】
演習選択者が多数の場合，Ａ・Ｂの２班に分け、さらに４つのグループづくりを行い、各班のリーダー選出。
全体でコミュニケーション・ゲームを実施。
科目の位置付けとシラバスの説明。
近年スポーツの概念は広くなったことを理解することで、今後の授業に興味・関心を持たせる。
また身体におよぼす影響について学習する。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第２回　A班バレーボール　・　B班 ソフトボール　①

【key words】
A班バレーボール　B班ソフトボール
【授業概要】
グループとして活動開始、各自のグループへの関わり方を学び、種目のルールを守り、楽しんで行けるようにする。
出席確認・ウォーミングアップ・基礎練習・後対戦ゲーム

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第３回　A班バレーボール　・　B班ソフトボール　②

【key words】
A班バレーボール　B班ソフトボール
【授業概要】
グループこどに楽しくコミュニケーションをとり対戦相手への敬意を忘れないこと。
出席確認・ウォーミングアップ・基礎練習・後対戦ゲーム

【教科書ページ・参考文献】

		適宜、授業中に紹介する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第４回	A班バレーボール　・　B班 ソフトボール　③ 【key words】 A班バレーボール　B班ソフトボール 【授業概要】 Ａ班：バレーボールのサーブの試験を実施。 Ｂ班：復習及び応用を実践しゲームにつなげる。 出席確認・ウォーミングアップ・基礎練習・後対戦ゲーム 【教科書ページ・参考文献】 適宜、授業中に紹介する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第５回	A班ソフトボール　・　Ｂ班バレーボール　① 【key words】 A班ソフトボール　・　Ｂ班バレーボール 【授業概要】 種目を交代する。慣れていないので怪我に注意することを促す。またどのようにしたら上手くできるのかグループこどに話し合う。 出席確認・ウォーミングアップ・基礎練習・後対戦ゲーム 【教科書ページ・参考文献】 適宜、授業中に紹介する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第６回	A班ソフトボール　・　Ｂ班バレーボール　② 【key words】 A班ソフトボール　・　Ｂ班バレーボール 【授業概要】 グループごとに楽しくコミュニケーションをとり対戦相手への敬意を忘れないこと。 出席確認・ウォーミングアップ・基礎練習・後対戦ゲーム 【教科書ページ・参考文献】 適宜、授業中に紹介する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第７回	A班ソフトボール　・　Ｂ班バレーボール　③ 【key words】 A班ソフトボール　・　Ｂ班バレーボール 【授業概要】 Ａ班：復習及び応用を実践しゲームにつなげる。 Ｂ班：バレーボールサーブの試験 出席確認・ウォーミングアップ・基礎練習・後対戦ゲーム 【教科書ページ・参考文献】 適宜、授業中に紹介する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第８回	A班バスケットボール　・　Ｂ班フットサル　① 【key words】 A班バスケットボール　・　Ｂ班フットサル 【授業概要】 種目を交代する。慣れていないので怪我に注意することを促す。またどのようにしたら上手くできるのかグループこどに話し合う。 出席確認・ウォーミングアップ・基礎練習・後対戦ゲーム 【教科書ページ・参考文献】 適宜、授業中に紹介する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第９回	A班バスケットボール　・　Ｂ班フットサル　② 【key words】 A班バスケットボール　・　Ｂ班フットサル 【授業概要】 Ａ班：フリースローの試験のため練習時間を有効に使う。 Ｂ班：復習及び応用を実践しゲームにつなげる。 Ａ・Ｂ班とも一人ひとりの動きを確認しあう。

出席確認・ウォーミングアップ・基礎練習・後対戦ゲーム

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１０回　A班バスケットボール　・　B班フットサル　③
【key words】
A班バスケットボール　・　B班フットサル
【授業概要】
Ａ班：バスケットボールフリースローの試験実施。
Ｂ班：復習及び応用を実践しゲームにつなげる。
出席確認・ウォーミングアップ・基礎練習・後対戦ゲーム

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１１回　A班フットサル　・　B班バスケットボール　①
【key words】
A班フットサル　・　B班バスケットボール
【授業概要】
種目を交代する。慣れていないので怪我に注意することを促す。またどのようにしたら上手くできるのかグループこどに話し合う。
出席確認・ウォーミングアップ・基礎練習・後対戦ゲーム

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１２回　A班フットサル　・　B班バスケットボール　②
【key words】
A班フットサル　・　B班バスケットボール
【授業概要】
グループでの楽しくコミュニケーションをとり対戦相手への敬意を忘れないこと。
出席確認・ウォーミングアップ・基礎練習・後対戦ゲーム

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１３回　A班フットサル　・　B班バスケットボール　③
【key words】
A班フットサル　・　B班バスケットボール
【授業概要】
Ｂ班：バスケットボールフリースローの試験実施。
Ａ班：復習及び応用を実践しゲームにつなげる。
出席確認・ウォーミングアップ・基礎練習・後対戦ゲーム

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１４回　成果発表　種目別実践　①
【key words】
種目別実践
【授業概要】
授業の総括を行うとともに集団で行うスポーツの理解を深め実践につなげる。
仲間意識が強くなり、熟達したグループの成果の発表を行う。
出席確認・ウォーミングアップ後、授業の成果発表と交流の場を実施
自分自身の成長をふりかえり確認し評価する。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１５回　成果発表　種目別実践　②
【key words】

	総括及び種目別実践 【授業概要】 授業の総括を行うとともに集団で行うスポーツを行う上で対象者にあわせた支援を考え援助につなげる。 仲間意識が強くなり、熟達したグループの成果の発表を行う。 出席確認・ウォーミングアップ後、授業の成果発表と交流の場を実施 自分自身の成長をふりかえり確認し評価する。 【教科書ページ・参考文献】 適宜、授業中に紹介する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
受講生に関わる情報および受講のルール	目標： 明るく豊かな人生を送るために生涯にわたって実施できる運動やスポーツの楽しさと必要性を体験を通して学習する。 到達目標： 幼児から高齢者・障がい者までの、健康・体力・興味・関心など様々な要求に応じた運動やスポーツが、日常生活の中で継続的に行えるような状態を創り出しせるようになる。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	その他（授業終了後に口頭確認）
授業外時間にかかわる情報	日常生活の中に自分に合った、スポーツを取り入れ継続する。そのためには生活時間を有効に工夫し、積極的に身体活動を、実践することを期待する。
オフィスアワー	授業の前３０分もしくは授業後の午前中は対応可能
評価方法	学習した種目のレポート　　８０％　　学習意欲　２０％　（グループ内での関わり方等）
教科書	必要に応じて紹介する。
参考書	必要に応じて照会する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 【実務経験】高等学校において非常勤講師(保健体育)として2年間勤務した経験を有する。 高校教育の実務経験を活かし、現場で活きる知識、技術について実技演習を通し講じる。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 ■その他 その他の具体的内容 【アクティブラーニングについて】本授業はスポーツの専門家としてトップレベルの関与を目指すものではなく、介護福祉士及び医療事務として子どもから高齢者、または障がい者に携わるものが非常に多く、その福祉現場での対応力を身につけられることが求められている。このことからスポーツ及びレクリエーション実技では、多様なスポーツそのものを楽しむことを基本にしつつ、高校から大学教育への移行を進め、現場での対象者に対応ができる知識や技術を能動的に学んでいくことを重視している。

講義科目名称： 生化学　　授業コード： 20059

英文科目名称： Biochemistry

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年次	1単位(30)	必修
担当教員			
大和田　恭子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 看護の対象となる人間を理解するための基礎的な知識として、生化学を理解する。 【到達目標】 生化学を看護の視点で系統的に捉えることができる。 看護の対象者について生化学的に述べることができる。
授業の概要	1. 看護の視点で生化学を理解できるようにする。 2. 日常生活を送る上で、人体がどのような成分から構成され，機能しているかを理解できるようにする。 3. 正常な人体について理解し、疾病によって人体が受ける変化を学習するための土台となるようにする。 4. 看護に応用できるような抽出眼を養えるようにする。 5. 自己学習で振り返り、繰り返し学習することで知識を身につける。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画		
	第１回	ガイダンス・生化学を学ぶための知識 【key words】 生化学，元素，細胞膜，原核細胞，真核細胞，細胞小器官 【授業概要】 看護学部の専門基礎科目として，何のために生化学を学ぶのか。授業がどのように進められ，どのように予習復習したらよいのか，などガイダンスを行います。 さらに，生化学を学ぶための基礎知識として，生体を構成する元素や分子，細胞の構造と機能について高校の復習を兼ねて学びます。生化学を通じて，ヒトが健康状態を維持しているしくみや，関連の代謝異常に基づく疾病などについても知ることも目的としています。 【教科書ページ・参考文献】 第１章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書をよく読み，章末の復習と課題に取り組むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第２回	代謝の基礎の酵素・補酵素 【key words】 代謝，同化，異化，ATP，酵素，アイソザイム，補因子，ビタミン 【授業概要】 代謝とエネルギーについてその概略を理解したうえで，そこで触媒となる酵素について学びます。さらに種々の酵素反応に必要とされる補酵素について学習し，それとかかわりが深く，看護・栄養学の観点からも重要なビタミンについて理解を深めます。 【教科書ページ・参考文献】 第２章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書をよく読み，章末の復習と課題に取り組むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第３回	糖質の構造の機能 【key words】

		糖質，単糖，異性体（エナンチオマー，ジアステレオマー，エピマー，アノマー），二糖（ラクトース，スクロース），多糖（デンプン，グリコーゲン，セルロース，複合多糖） 【授業概要】 生体の主なエネルギー源として，また構造体としても重要な糖質の化学について学びます。異性体など化学的にやや詳細な内容を含み，戸惑うこともあると思いますが，今後，生化学を学ぶ上で必須となるポイントを授業内でお伝えします。 【教科書ページ・参考文献】 第３章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書をよく読み，章末の復習と課題に取り組むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第４回	糖質代謝（1） 【key words】 消化，アミラーゼ，吸収，血糖調節，インスリン，解糖系，クエン酸回路，電子伝達系 【授業概要】 糖質の代謝は，生物が効率よくエネルギーを得ようとして獲得した優れたシステムです。消化・吸収からグリコーゲンの代謝まで学びますが，中心となるのはグルコースの分解です。解糖系から好気的代謝でのクエン酸回路，電子伝達系を経てATPが効率よく得られることについて，その前半部分を学びます。細部まで理解するとたいへん深い内容ですが，全体の流れや収支と生体における意義を理解することも大切です。 【教科書ページ・参考文献】 第４章前半 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書をよく読み，該当する章末の復習と課題に取り組むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第５回	糖質代謝（2）・脂質の構造と機能（1） 【key words】 クエン酸回路，電子伝達系，NADH，ATP，グリコーゲン，血糖調節，インスリン，ペントースリン酸経路，糖新生，脂質，飽和脂肪酸，不飽和脂肪酸，中性脂肪 【授業概要】 前回に引き続き，グルコースの分解の後半，好気的代謝でのクエン酸回路，電子伝達系を経てATPが効率よく産生される過程について，（細部よりも）全体の流れや意義について理解を深めます。その他の糖質関連代謝にも触れるとともに，健康・医療にもかかわりの深いグリコーゲンの合成・分解と血糖調節について学びます。 後半は，脂肪酸や中性脂肪など，生体構成上も物質の運搬上も重要な脂質について学びます。 【教科書ページ・参考文献】 第４章後半～第５章前半 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書をよく読み，該当する章末の復習と課題に取り組むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第６回	脂質の構造と機能（2）・脂質代謝 【key words】 中性脂肪，リン脂質，コレステロール，リポタンパク質，中性脂肪，β酸化，ケトン体 【授業概要】 前回に引き続き、脂質の構造と機能について脂質の構造と機能について学びます。さらに、エネルギーの獲得や貯蔵物質の生合成上重要な，脂質の代謝はについて学ぶとともに，それと関連する遺伝疾患についても触れます。 【教科書ページ・参考文献】 第５章後半～第６章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書をよく読み，該当する章末の復習と課題に取り組むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第７回	タンパク質の構造と機能 【key words】 タンパク質，アミノ酸，ペプチド結合，一次構造，高次構造 【授業概要】 タンパク質を構成するアミノ酸について学ぶとともに，タンパク質の一次構造や高次構造について学びます 【教科書ページ・参考文献】 第７章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書をよく読み，章末の復習と課題に取り組むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第８回	タンパク質代謝 【key words】 タンパク質の消化，プロテアーゼ，アミノ酸の吸収，アミノ酸の分解，尿素回路 【授業概要】 タンパク質の消化と吸収について理解するとともに，アミノ酸の分解と合成について触れます。代謝異常と関連する疾病についても学びます。 【教科書ページ・参考文献】 第８章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書をよく読み，章末の復習と課題に取り組むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第９回	ポルフィリン代謝と異物代謝

【key words】
ポルフィリン，ヘム，異物代謝，シトクロムP450，水酸化反応，抱合反応，活性酸素
【授業概要】
ポルフィリンやシトクロムP450は，一般には馴染みのない言葉ですが，赤血球中の酸素を運搬するタンパク質や，肝臓で医薬品など異物を代謝する際の重要な酵素タンパク質の中心成分として重要です。この回はこれらについて学びます。
【教科書ページ・参考文献】
第９章
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書をよく読み，章末の復習と課題に取り組むこと。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１０回　遺伝子と核酸

【key words】
遺伝子，DNA，セントラルドグマ，染色体，メンデル，ヌクレオチド，二重らせん構造，相補性，RNA
【授業概要】
遺伝子の本体としてのDNAをその構造と機能について，理解を確認するとともに，メンデル遺伝学や細胞の染色体などとも関連付けて理解を深めます。
【教科書ページ・参考文献】
第10章
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書をよく読み，章末の復習と課題に取り組むこと。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１１回　遺伝子の複製・修復・組換え

【key words】
（DNAの）複製，修復，遺伝子変異，組換え，ゲノム編集，遺伝子多型
【授業概要】
DNAの複製についてしっかりと理解した上で，その修復や組換え，関連する疾患や遺伝子多型についてもその概略を理解します。
【教科書ページ・参考文献】
第11章
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書をよく読み，章末の復習と課題に取り組むこと。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１２回　遺伝子の発現（1）転写

【key words】
転写，mRNA，ポリメラーゼ，転写因子，RNAスプライシング，イントロン，エキソン，RNA干渉，オペロン調節，エピジェネティック制御
【授業概要】
セントラルドグマについて復習するとともに，前半部分にあたる転写について，その過程や発現調節について理解を深めます。
【教科書ページ・参考文献】
第12章
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書をよく読み，章末の復習と課題に取り組むこと。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１３回　遺伝子の発現（2）翻訳と翻訳語修飾

【key words】
翻訳，コドン，tRNA，リボソーム，シャペロン，翻訳後修飾
【授業概要】
セントラルドグマの後半にあたる翻訳について，その過程を詳しく学習するとともに，翻訳後修飾についても学びます。
【教科書ページ・参考文献】
第13章
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書をよく読み，章末の復習と課題に取り組むこと。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１４回　シグナル伝達

【key words】
シグナル伝達，リガンド，受容体，Gタンパク質，セカンドメッセンジャー，cAMP，IP3，タンパク質リン酸化，ホルモン，ホメオスタシス
【授業概要】
細胞のシグナル分子に対する受容から応答のしくみについて学びます。種々のホルモンの受容と応答の観点から重要なだけでなく，多くの医薬品の作用点でもあるこれらのしくみは，看護系の基礎としてもしっかり理解しておきたいことです。
【教科書ページ・参考文献】
第14章
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書をよく読み，章末の復習と課題に取り組むこと。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１５回　がん

【key words】
腫瘍，がん化，転移，細胞周期，がん遺伝子，がん抑制遺伝子，化学療法，分子標的薬
【授業概要】
がんにも様々な種類や発生のメカニズムがあります。細胞周期や遺伝子との関係も明らかになりつつあり，それら知見に基づいたがんの治療も日進月歩です。生化学の最終回として，がんの発

	生・抑制のメカニズムと治療法や今後の可能性について学びつつ，まとめに替えます。 【教科書ページ・参考文献】 第15章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書をよく読み，章末の復習と課題に取り組むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
受講生に関わる情報および受講のルール	原則として毎回，講義に主体的に参加し，ノートやメモをとること。 教科書で予習・復習をすること（章末問題（ゼミナール）なども活用する）。 授業中に生じた疑問はそのままにせず，調べる，質問するなどの行動に移すこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	小課題（レポートの提出または小テストに解答する）
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	授業終了後30分
評価方法	出席状況や授業態度，提出物と定期テスト（筆記試験）で総合的に評価する。
教科書	畠山鎮次：系統看護学講座　専門基礎分野　生化学　人体の構造と機能②　第14版　医学書院
参考書	なし
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 栄養学　　授業コード： 20060

英文科目名称： Nutrition

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年次	1単位（３０）	必修
担当教員			
木村　順子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 看護業務に必要な栄養学の基礎知識について学び、臨床現場で実践できるスキルを身につける。並びに食に関する知識を修得し、健全な食生活を実践できることを目指す。 【到達目標】 ・栄養素の種類とはたらき、食物の消化、吸収、代謝について理解する。 ・エネルギー代謝について理解し、エネルギー消費量の計算ができる。 ・日本人の食事摂取基準について理解する。 ・栄養ケア・マネジメントの基礎的事項、栄養状態を評価・判定するための方法を学ぶ。 ・ライフステージ別における栄養について理解する。 ・栄養補給法の種類と特徴を学ぶ。 ・各種疾患、症状別食事療法の基本を学ぶ。 ・自分に必要なエネルギー・栄養素の摂取量を知り適切に摂取できるようにする。
授業の概要	栄養学は食物（栄養素）を適切に摂取することで、健康的なライフスタイルを送れるよう、食の科学を追求し、それを実践するための学問である。人間栄養学と看護、栄養素の種類と働き、食物の消化と栄養素の吸収・代謝、エネルギー代謝、食事と食品、栄養ケア・マネジメント、栄養状態の評価・判定、ライフステージと栄養、臨床栄養、健康づりと食生活について学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	△
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回　科目オリエンテーション　人間栄養学と看護　栄養素の種類とはたらき 【key words】 栄養、栄養素、時間栄養学、糖質、脂質、タンパク質 【授業概要】 シラバスの説明。栄養学の歴史、食事療法の進歩と医療制度、食事における看護師の役割、チーム医療、　糖質、脂質、タンパク質について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：第１章　Ｐ２～１６　　第２章　Ｐ１７～２７　　食品成分表２０２３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を読む。復習：配付資料を読みポイントをチェックする。 授業準備：食品成分表２０２３ 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分 第２回　栄養素の種類とはたらき 【key words】 ビタミン、ミネラル、食物繊維 【授業概要】 ビタミン、ミネラル、食物繊維の種類と働き、水の分布、働き、出納について学ぶ。 復習問題第１回に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：第２章　Ｐ２７～４３　　食品成分表２０２３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を読む。復習：配付資料を読みポイントをチェックする。 復習問題第１回を仕上げる。　授業準備：食品成分表２０２３

【予習復習に必要な想定時間】
９０分

第３回　食物の消化と栄養素の吸収・代謝

【key words】
消化酵素、分解する物質、分解産物、三大栄養素の吸収、消化吸収率、血糖コントロール、リポタンパク質
【授業概要】
食物の消化、栄養素の吸収、血漿成分（血糖、血漿脂質、血漿中のアミノ酸・タンパク質）について学ぶ。復習問題第１回一部解答。

【教科書ページ・参考文献】
教科書：第３章　Ｐ４５～６２
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の該当箇所を読む。　復習：配付資料を読みポイントをチェックする。

【予習復習に必要な想定時間】
９０分

第４回　食物の消化と栄養素の吸収・代謝

【key words】
代謝、サーカディアンリズム、ケトン体、尿素、ビリルビン、尿酸
【授業概要】
栄養素の代謝（周期的な生理機能の変動、核酸代謝、肝臓のはたらき）代謝産物の排泄について学ぶ。　　復習問題第２回に取り組む。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：第３章　Ｐ６２～７２　　参考文献；時間栄養学の最新エビデンス；医歯薬出版２０２０・３
時間栄養学UPDATE；医歯薬出版２０２３・２
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の該当箇所を読む。　復習：配付資料を読みポイントをチェックする。
復習問題第２回を仕上げる。

【予習復習に必要な想定時間】
９０分

第５回　エネルギー代謝

【key words】
エネルギー、ジュール、エネルギー代謝、呼吸比、基礎代謝量、推定エネルギー必要量、メッツ
【授業概要】
食品のエネルギー、体内のエネルギー、エネルギー代謝、基礎代謝量、安静時代謝、活動代謝、メッツについて学ぶ。　課題１：適正体重・基礎代謝量等の算出。復習問題第２回一部解答。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：第４章　７３～９０　　参考文献：健康運動指導士基礎講座テキスト；太陽美術；２０１３
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の該当箇所を読む。復習：配付資料を読みポイントをチェックする。課題１を仕上げる。　授業準備：計算機

【予習復習に必要な想定時間】
９０分

第６回　食事と食品

【key words】
食事摂取基準２０２０、食事バランスガイド　日本食品標準成分表
【授業概要】
食事摂取基準２０２０年版、食品群とその分類、食事バランスガイド、日本食品標準成分表、保健機能食品、特別用途食品、調理の種類について学ぶ。課題２：食品成分表の活用、復習問題第３回に取り組む。

【教科書ページ・参考文献】
教科書：第５章：Ｐ９１～１１２　付録　Ｐ２５３～２６１
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の該当箇所を読む。復習：配付資料を読みポイントをチェックする。　課題２・復習問題　第３回を仕上げる。授業準備：計算機・食品成分表２０２３
授業準備：計算機・食品成分表２０２２

【予習復習に必要な想定時間】
９０分

第７回　栄養ケア・マネジメント　栄養状態の評価・判定

【key words】
ＮＣＭ，ＰＤＣＡサイクル、ＢＭＩ，血清アルブミン、ＲＴＰ、eＧＦＲ，ＭＮＡ－ＳＦ
【授業概要】
栄養ケア・マネジメント、臨床検査、臨床診査、食事調査、栄養状態の総合評価について学ぶ。
課題３：食物摂取状況調査　復習問題第３回一部解答　復習問題第４回に取り組む
【教科書ページ・参考文献】
教科書：第６章　Ｐ１１３～１３０　　第７章：１３１～１５０
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の該当箇所を読む。　復習：配付資料を読みポイントをチェックする。
課題３・復習問題第４回を仕上げる。
授業準備：計算機

【予習復習に必要な想定時間】
９０分

第８回　ライフステージと栄養

【key words】

		乳汁栄養法、離乳食、摂食障害、保健指導対象者の選定と階層化、栄養に関わる問題 【授業概要】 乳児期・幼児期・学童期・思春期・青年期・成人期の栄養摂取の要点・栄養に関わる問題について学ぶ。　復習問題第４回一部解答。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：第８章Ｐ１５１～１６８　参考文献：授乳・離乳の支援ガイド；臨床栄養；医歯薬出版２０１９・９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を読む。　復習：配付資料を読みポイントをチェックする。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
	第９回	ライフステージと栄養 【key words】 フレイル、サルコペニア、ＰＥＭ、栄養に関わる問題 【授業概要】 妊娠期・授乳期・更年期・高齢期における栄養、高齢期の栄養摂取の要点・栄養に関わる問題について学ぶ。復習問題第５回に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：第８章Ｐ１５１～１８６　参考文献：妊婦の栄養管理・栄養指導；臨床栄養；医歯薬出版２０１９・１１、サルコペニア・フレイルUPDATE；臨床栄養；医歯薬出版２０１９・５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を読む。　復習：配付資料を読みポイントをチェックする。 復習問題第５回を仕上げる。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
	第１０回	臨床栄養 【key words】 食事箋、ＴＰＮ、ＰＰＮ、ＥＤ，経腸栄養製品・投与経路、メタボリックシンドローム、食事療法 【授業概要】 チームで取り組む栄養管理、病院食、栄養補給、経腸栄養製品の種類使用時の注意点・投与経路、静脈栄養剤、疾患・症状別食事療法（やせ、肥満、メタボリックシンドローム）について学ぶ。　復習問題第５回一部解答。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：第９章Ｐ１８７～２０８　参考文献：中村丁次、別巻栄養食事療法；医学書院　日本肥満学会、肥満症診療ガイドライン２０１６；ライフサイエンス出版 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を読む。　復習：配付資料を読みポイントをチェックする。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
	第１１回	臨床栄養 【key words】 修正項目、分割食、嚥下障害、クローン病・スライド方式、食事療法 【授業概要】 疾患・症状別食事療法（高血圧症、動脈硬化、虚血性心疾患、心不全、脳血管障害、胃炎、胃・十二指腸潰瘍、腸炎）について学ぶ。復習問題第６回に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：第９章Ｐ２０８～２１２　参考文献：中村丁次、別巻栄養食事療法；医学書院　高血圧治療ガイドライン２０１９；ライフサイエンス出版、高血圧UPDATE；臨床栄養；医歯薬出版；２０２１・３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を読む。　復習：配付資料を読みポイントをチェックする。 復習問題第６回を仕上げる。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
	第１２回	臨床栄養 【key words】 ＧＩ、目標体重、エネルギー係数、糖尿病食事療法のための食品交換表、食事療法 【授業概要】 疾患・症状別食事療法（肝臓、胆嚢、膵臓疾患、下痢、便秘、糖尿病の食事療法）について学ぶ。　課題４：糖尿病食事療法のための食品交換表の活用　復習問題第６回一部解答 【教科書ページ・参考文献】 教科書：第９章Ｐ２１２～２１７　参考文献：中村丁次、別巻栄養食事療法；医学書院 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を読む。　復習：配付資料を読みポイントをチェックする。 課題４を仕上げる。授業準備：糖尿病食事療法のための食品交換表・計算機 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
	第１３回	臨床栄養 【key words】 プリン体、ＣＫＤ、GFR、食物アレルゲン、食事療法 【授業概要】 疾患・症状別食事療法（脂質異常症、高尿酸血症・痛風、腎臓疾患、貧血、食物アレルギー患者の食事療法について学ぶ。　復習問題第７回に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：第９章Ｐ２１７～２２４　参考文献：中村丁次、別巻栄養食事療法；医学書院　腎臓病食品交換表第８版；医歯薬出版、今井孝成他、食物アレルギーの栄養指導；医歯薬出版２０１８

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を読む。　復習：配付資料を読みポイントをチェックする。 復習問題第７回を仕上げる。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分 第１４回　臨床栄養 【key words】 摂食・嚥下障害、食事の姿勢 【授業概要】 骨粗鬆症、摂食・嚥下障害患者の食事療法、治療を要する小児の栄養管理、術前・術後における栄養管理、がんの食事療法について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：第９章Ｐ２２４～２３６　参考文献：中村丁次、別巻栄養食事療法；医学書院　嚥下調整食のいまとこれから；臨床栄養；医歯薬出版；２０２２・１、復習問題第７回一部解答、第８回に取り組む 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を読む。　復習：配付資料を読みポイントをチェックする。 復習問題第８回を仕上げる。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分 第１５回　健康づくりと食生活 【key words】 健康日本２１、健康増進法、食育基本法、食品表示 【授業概要】 食生活の変遷と栄養の問題、生活習慣病の予防、健康日本２１，健康増進法、食育基本法、食品表示について学ぶ。　復習問題第８回一部解答。　復習問題キーポイント。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：第１０章：Ｐ２３７～２５１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を読む。　復習：配付資料を読みポイントをチェックする。 復習問題キーポイントの箇所を確認。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
受講生に関わる情報および受講のルール	・他の教科との関連を理解する。 ・私語･携帯電話の使用等、受講生の迷惑になる行動は慎む。 ・毎回、授業の資料を配付するので、教科書の該当箇所と配付資料を読む。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	・配付の授業資料・復習問題のポイントをチェックする。 ・配付の復習問題に取り組む。 ・提示された４課題に取り組む
オフィスアワー	授業終了後の２０分間、コメントカードに質問を記載。
評価方法	定期試験（７０％）及び課題提出（３０％）をもとに総合評価する。
教科書	著者代表　中村丁次　系統看護学講座専門基礎分野　栄養学　人体の構造と機能３　：医学書院
参考書	監修　香川明夫　八訂食品成分表２０２３：女子栄養大学出版部　糖尿病食事療法のための食品交換表第７版：文光堂
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用

	■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 病理学　　授業コード： 20061

英文科目名称： pathology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年次	1単位(15)	必修
担当教員			
前島　俊孝			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 病理学的な用語の定義、様々な疾患の発生機序や病態について学び、理解することを目的とする。 【到達目標】 ・病理学関連の用語を理解し、正しく説明できる。 ・基本的な疾患の病態について説明できる。
授業の概要	細胞傷害、循環障害、先天異常、炎症、免疫、腫瘍、代謝異常などを学び、様々な疾病の成り立ち・病態が理解できるよう解説する。病理学の内容は、将来医療スタッフとして働いていく上で必要不可欠な知識であり、その理解なしには医学書を読むことも不可能である。覚えることが多いが、できるだけ考えることを重視した講義を行う。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	オリエンテーション 【key words】 【授業概要】 解剖学、病理学病理学の位置づけ。講義の予定、内容の説明、注意事項など。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 病理学と解剖学、両方の教科書を用意すること 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	解剖学の復習 【key words】 上皮、細胞増殖能 【授業概要】 病理学を学習する上で必要不可欠な解剖学の知識の再確認。特に、上皮組織を取り上げ、復習する。 細胞増殖能からみた、各種細胞の特徴について学習し、様々な疾患との関連を意識する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書（病理学）: p.31、解剖学の教科書 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当する部分を読んで復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第３回	病因 【key words】 病因、内因、外因 【授業概要】 様々な疾患の原因について、また、細胞死に関する用語を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書: p.27-31 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当する部分を読んで復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分

	第４回　細胞傷害 【key words】 壊死、アポトーシス、萎縮、過形成、肥大、化生、再生、低形成、無形成 【授業概要】 細胞傷害に関する用語を理解し、説明できるようにする。 【教科書ページ・参考文献】 教科書: p.50-52 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当する部分を読んで復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第５回　循環障害　1 【key words】 出血、血栓、塞栓、梗塞、虚血、充血、うっ血、側副血行 【授業概要】 循環障害とは。循環障害に関する用語を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書: p.65-71 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当する部分を読んで復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第６回　循環障害　2 【key words】 浮腫、ショック 【授業概要】 循環障害に関する用語を理解し、説明できるようにする。 また、スライドで、循環障害性の疾患について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書: p.71-75 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当する部分を読んで復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第７回　炎症 【key words】 炎症性細胞、急性炎症、慢性炎症、肉芽組織、肉芽腫 【授業概要】 炎症の定義、様々な炎症の種類について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書: p.76-87 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当する部分を読んで復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第８回　免疫、アレルギー 【key words】 免疫細胞、I型～V型アレルギー 【授業概要】 免疫機能、アレルギー反応について理解する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書: p.88-101 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当する部分を読んで復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第９回　腫瘍　1 【key words】 良性腫瘍、悪性腫瘍、がん、癌腫、肉腫 【授業概要】 腫瘍の定義、分類について理解する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書: p.118-121 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当する部分を読んで復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第１０回　腫瘍　2 【key words】 リンパ行性転移、血行性転移、播種性転移 【授業概要】 腫瘍発生の原因や、転移様式を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書: p.118-134 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当する部分を読んで復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第１１回　腫瘍　3 【key words】

	腫瘍の診断、検査、治療 【授業概要】 腫瘍の診断、治療の流れを理解する。スライドを用いて、腫瘍の肉眼、顕微鏡像を観察する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書: p.118-134 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当する部分を読んで復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分 第１２回　代謝異常、糖尿病 【key words】 血糖、インスリン、１型糖尿病、２型糖尿病、診断、合併症、治療 【授業概要】 代謝異常、特に糖尿病について学習し、疾患の重要性を理解する。 また、課題を与えるので、レポート作成に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 教科書: p.317-323 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当する部分を読んで復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分 第１３回　先天異常 【key words】 染色体異常、遺伝 【授業概要】 主な染色体異常、遺伝性疾患について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書: p.53-64 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当する部分を読んで復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分 第１４回　感染症 【key words】 HIV、AIDS、結核、日和見感染 【授業概要】 特徴的な感染症をいくつか取り上げて、感染症について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書: p.97-100, 103-117, 201-205 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当する部分を読んで復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分 第１５回　まとめ 【key words】 補足、講義のまとめ、試験について 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・夏休み中に、学習した範囲の解剖学の復習をして、病理学の講義に臨んで欲しい。 ・机の隣同士2～3人で相談し、毎時間、病理学と解剖学の教科書を各1冊は用意すること。 ・病理学の講義では授業中の質問に対して「わからない」は禁句である。試験ではないので、教科書等で調べたり、周りの学生と相談するなどして何らかの答えを導き出すように。 ・時間厳守であるが、もし遅刻した場合やトイレ等で退室する際などは、授業の妨げとならないよう静かに行動すること。 ・新聞やテレビなどのニュース、特に医療・医学に関する内容に興味を持つ。 ・読書の習慣を身につける。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	講義を受けることで、教科書を理解して読むことが可能となるはずである。講義で扱った範囲の教科書を読み復習する習慣をつけておくと、試験直前に勉強を0から始めるような状況にならずにすむ。
オフィスアワー	講義の前後
評価方法	筆記試験（客観・論述）80%、レポート20%
教科書	堤 寛： 新訂版　クイックマスター 病理学　第2版, サイオ出版, 2018
参考書	解剖学の教科書（病理学の講義でも使用する）
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 病理診断科の医師として急性期病院に勤務。医療機関での実務経験をふまえ講義を行っている。 アクティブラーニング要素

	□PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 基礎看護援助技術Ⅰ　　授業コード： 20078

英文科目名称： Basic skills of nursing assistance1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年次	1単位(30)	必修
担当教員			
桐生由美子　櫻井 清美　小林 洋子　上田 葉子　髙島 由紀子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 共通基本技術の基本的知識・技術を修得できる。 【到達目標】 １．看護技術とは何かについて説明できる。 ２．関係構築のためのコミュニケーションの基本的な方法を理解し、それを実践できる。 ３．感染成立の条件および院内感染防止の基本を理解し、標準予防策が実践できる。 ４．姿勢の基本知識、ボディメカニクスの原理を理解し、体位変換、移乗・移送の援助技術が修得できる ５．体位保持の意義を理解し、さまざまな体位保持の援助技術が修得できる ６．看護の対象の個別性に合わせた看護技術活用の必要性を理解し、個別的な看護について考えることができる。
授業の概要	看護を実践するために必要な看護技術の概念とその基本構造について学ぶ。また、全ての看護技術に共通する技術として「コミュニケーション」「感染予防」「ボディメカニクス」については講義だけでなく、演習（体験学習）を通して知識と技術が統合できるよう展開する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	科目オリエンテーション 【key words】 看護技術、演習方法、実習室の使用方法 【授業概要】 ・看護技術の特性について学修し、看護における技術とは何かを踏まえた上で看護技術のサイエンスとアートについて学ぶ。 ・実習室の使用方法と演習時の態度・注意点についての説明を受ける。 【教科書ページ・参考文献】 統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅰ　pp2-15 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・「実習室使用の手引き」を読み、演習時に必要な物品を準備する。 ・授業資料と教科書を基に復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２回	コミュニケーション 【key words】 コミュニケーション、コミュニケーションの構成要素、コミュニケーション成立過程 【授業概要】 ・コミュニケーションの特徴と、医療におけるコミュニケーションの重要性について学ぶ ・コミュニケーションの構成要素と成立過程について学ぶ。 ・コミュニケーションの基本的な方法について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅰ　pp18-62 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・予習として教科書を読んでおく。

・授業資料と教科書を基に復習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第３回　コミュニケーション　＜演習/協同学習＞
【key words】
コミュニケーション、傾聴、共感的理解、情報収集
【授業概要】
・コミュニケーションの基本的な方法を実践する。
・実践後に振り返り学びを深める。
【教科書ページ・参考文献】
統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅰ　pp18-62
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・演習/協同学習で体験したことをまとめる。
・コミュニケーションに関する国家試験問題を解き、知識の確認をする。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第４回　感染防止の技術　感染防止の基礎知識・標準予防策
【key words】
感染成立、院内感染、標準予防策
【授業概要】
・感染成立の条件および院内感染の基本および看護師が感染防止のための実践を行うことの重要性について学ぶ。
・標準予防策について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅰ　pp64-81
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・予習として教科書を読んでおく。
・授業資料と教科書を基に復習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第５回　感染防止の技術　＜演習：衛生的手洗い・個人防護具＞
【key words】
衛生的手洗い、個人防護具
【授業概要】
手指を清潔に保つための方法と、感染予防技術の原則を踏また適切な防護具の使用方法を実践する。
【教科書ページ・参考文献】
統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅰ　pp64-81　　配布資料

【課題・予習・復習・授業準備指示】
・指定された教科書のweb動画を視聴し具体的にイメージしておく。
・演習で体験したことをまとめる。
・感染防止に関する国家試験問題を解き、知識の確認をする。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第６回　活動・休息援助技術（体位・体位変換・褥瘡）　苦痛の緩和・安楽確保の技術（体位保持）
【key words】
基本的活動の基礎知識、ボディメカニクス、体位、体位変換、体位保持、褥瘡
【授業概要】
・姿勢の基礎知識、ボデイメカニクスの原理について学ぶ。
・さまざまな体位とその目的と体位変換の援助について学ぶ。
・体位保持（ポジショニング）の意義、さまざまな体位保持の援助について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅱ　pp104-124、152-156
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・予習として教科書を読んでおく。
・授業資料と教科書を基に復習する
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第７回　活動と休息援助技術（移乗・移送）
【key words】
歩行・移動、移乗・移送、車椅子、ストレッチャー
【授業概要】
・姿勢の維持や体位変換を自力で行えない患者に対する援助（歩行、移動、移乗・移送）の実際について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅱ　pp126-140
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・予習として教科書を読んでおく。
・授業資料と教科書を基に復習する。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第８回　活動と休息援助技術　＜演習：体位変換＞
【key words】
ボディメカニクス、体位、体位変換

【授業概要】
・ボディメカニクス技術の基本を活用して臥床患者の体位変換を実施する。
・タスクトレーニングを行い、テクニカルスキルを習得する。
【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅱ　pp104-124　　配布資料

【課題・予習・復習・授業準備指示】
・指定された教科書のweb動画を視聴し具体的にイメージしておく。
・演習で体験したことをまとめる。
・体位変換に関する国家試験問題を解き、知識の確認をする。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第９回　活動と休息援助技術　＜演習：体位変換＞
【key words】
ボディメカニクス、体位、体位変換、
【授業概要】
・ボディメカニクス技術の基本を活用して臥床患者の体位変換を実施する。
・タスクトレーニングを行い、テクニカルスキルを習得する。
【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅱ　pp104-124　　配布資料

【課題・予習・復習・授業準備指示】
・指定された教科書のweb動画を視聴し具体的にイメージしておく。
・演習で体験したことをまとめる。
・体位変換に関する国家試験問題を解き、知識の確認をする。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１０回　活動・休息援助技術　＜演習：移乗・移送＞
【key words】
移乗・移送、車椅子
【授業概要】
・姿勢の維持や体位変換を自力で行えない患者に対する援助（移乗・移送）を実施する。
・タスクトレーニングを行い、テクニカルスキルを習得する。
【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅱ　pp126-140　　配布資料
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・指定された教科書のweb動画を視聴し具体的にイメージしておく。
・演習で体験したことをまとめる。
・移乗・移送に関する国家試験問題を解き、知識の確認をする。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１１回　活動・休息援助技術　＜演習：移乗・移送＞
【key words】
移乗・移送、車椅子
【授業概要】
・姿勢の維持や体位変換を自力で行えない患者に対する援助（移乗・移送）を実施する。
・タスクトレーニングを行い、テクニカルスキルを習得する。
【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅱ　pp126-140　　配布資料

【課題・予習・復習・授業準備指示】
・指定された教科書のweb動画を視聴し具体的にイメージしておく。
・演習で体験したことをまとめる。
・移乗・移送に関する国家試験問題を解き、知識の確認をする。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１２回　活動・休息援助技術　（シチュエーション・ベースド・トレーニング）
【key words】
患者説明・移乗・車椅子
【授業概要】
事例の状況に応じた援助技術を実施後にデブリーフィング（振り返り）を行い、知識と技術を統合し、実践力を強化する。
【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅱ　pp126-140　　配布資料

【課題・予習・復習・授業準備指示】
・事前課題に取り組む。
・演習で体験したことをまとめる。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１３回　活動・休息援助技術　（シチュエーション・ベースド・トレーニング）
【key words】
患者説明・移乗・車椅子
【授業概要】
事例の状況に応じた援助技術を実施後にデブリーフィング（振り返り）を行い、知識と技術を統合し、実践力を強化する。
【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅱ　pp126-140　　配布資料

【課題・予習・復習・授業準備指示】
・事前課題に取り組む。
・演習で体験したことをまとめる。

	【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１４回　総合演習 【key words】 コミュニケーション、ボディメカニクス、体位、体位変換、移乗、体位保持 【授業概要】 ・「コミュニケーション」「活動と休息援助技術」での学びを振り返り、演習を通して技術の習得をする。 ・演習後、自己の課題を明確にする。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅱ　pp126-140　　配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・事前課題、技術練習に取り組む。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１５回　総合演習 【key words】 コミュニケーション、ボディメカニクス、体位、体位変換、移乗、体位保持 【授業概要】 ・「コミュニケーション」「活動と休息援助技術」での学びを振り返り、演習を通して技術の習得をする。 ・演習後、自己の課題を明確にする。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅱ　pp126-140　　配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・事前課題、技術練習に取り組む。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講生に関わる情報] ・演習時は臨地実習と同様の身だしなみ（白衣着用）、または指定の体育着を着用すること。 ・「演習室使用時の手引き」に準じない場合は受講を認めない。 ・事前課題がある場合には講義・演習までに学修して臨み、提出の指示があった場合には速やかに提出すること。 ・事後課題がある場合には提出期限までに提出すること。 [受講のルール] ・他の受講生の迷惑になるような行為（私語、携帯電話の使用等）は厳禁。 ・遅刻・早退については担当教員に理由を申し出ること。 ・欠席した場合は、担当教員まで講義資料を取りにくること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	・教科書、参考文献を用いて講義・演習に関連する箇所を読んで学修すること。理解できないところは付箋を付けるなどして、疑問を解決する準備を行って講義・演習に臨むこと。 ・演習前には、教科書などのWeb動画を視聴し具体的な技術をイメージしておくこと。 ・看護援助技術は、繰り返しトレーニングすることにより習得すること。
オフィスアワー	・各回授業終了後から放課後18時までとする。 ・質問は、メールでも可能。 ・オフィスアワー以外の面談はメールで予約すること。
評価方法	筆記試験　(70%)　総合演習課題（10%）　ワークシート、リフレクションシートなどの課題（20%）により総合的に評価する。
教科書	１．茂野香おる他（2023）系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学２．医学書院. ２．任和子他（2023）系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学３．医学書院. ３．吉田みつ子・本庄恵子監修（2021）新訂版 写真でわかる 基礎看護技術アドバンス．インターメディカ.
参考書	適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義・演習を行う。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない

	ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 基礎看護援助技術Ⅱ　　授業コード： 20079

英文科目名称： Basic skills of nursing assistance2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年次	1単位(30)	必修
担当教員			
上田 葉子　小林 洋子　髙島 由紀子　桐生 由美子　櫻井 清美			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 看護の対象の日常生活援助に必要な環境調整、食事、排泄について学習し、根拠に基づいた看護技術を習得する。 【到達目標】 ①療養生活を整えることの意義を理解し、対象の状態に応じた療養環境を整える技術を習得できる。 ②食事援助の基礎知識が理解でき、対象の状態に応じた食事援助技術を習得できる。 ③食事後の口腔ケアの必要性が理解でき、対象に応じた口腔ケアの方法・種類を選択できる。 ④排泄の基礎知識が理解でき、対象の状況に応じた排泄ケア技術を習得できる。 ⑤対象の反応を捉え、安全・安楽・安心を考慮した援助技術の必要性について考えることができる。
授業の概要	１．入院患者を取り巻く療養環境について学習し、ベッドメーキングを中心とした環境調整の方法について演習を行う。 ２．人が生きていくうえで欠かすことのできない食事と排泄の意義について学習し、対象の状態に応じた具体的な援助方法について演習を行う。 第14・15回は事例に基づいた総合演習課題を実施し、基礎的な日常生活援助技術の習得を図る。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　科目オリエンテーション　環境調整技術　療養生活の環境　病室の環境のアセスメントと調整

【key words】
人間　環境　療養環境　療養生活　ベッドメーキング　リネン交換
【授業概要】
人と環境とは密接な関係にあるため、人間にとっての環境調整の意義を学ぶことは大切である。何らかの原因により入院となった場合、患者の生活の場は療養生活へと変化する。患者の療養生活を構成する要素について説明し、それらのアセスメントと調整方法について学習する。また、援助の実際としてベッド周囲の環境整備、ベッドメーキングとリネン交換の目的・実施方法について説明する。
【教科書ページ・参考文献】
①テキスト p.10-26
①サブテキスト 講義内容に該当するページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習】講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加する。
【復習】物理的な環境条件の基準について事後課題を提出する。
【授業準備】講義終了後にミニテストを実施する。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第２回　環境調整技術　（演習）　ベッドメーキング　(1)

【key words】
療養生活　療養環境　ベッドメーキング
【授業概要】
・学生どうしペアとなり、それぞれがベッドメーキングの演習を行う。
・演習時には実務経験のある教員がベッドメーキング時のボディメカニクスの活用法、手技における留意点についても実演し学生の演習を支援する。
【教科書ページ・参考文献】
①テキスト p.10-26
①サブテキスト 講義内容に該当するページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【復習】演習前に配布した手順書を読んでおく。演習を通してベッドが患者にとって安全で快適

		な場になるように作成することができたか課題用紙に記入し提出する。演習後は、ベッドメーキングについて自己練習を行う。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第３回	環境調整技術　　（演習）　ベッドメーキング　(2) 【key words】 療養生活　療養環境　ベッドメーキング 【授業概要】 ・学生どうしペアとなり、それぞれがベッドメーキングの演習を行う。 ・演習時には実務経験のある教員がベッドメーキング時のボディメカニクスの活用法、手技における留意点についても実演し学生の演習を支援する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.10-26 ①サブテキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・演習前に配布した手順書を読んでおく。 ・演習を通してベッドが患者にとって安全で快適な場になるように作成することができたか課題用紙に記入し提出する。また、ベッドメーキングについて自己練習を行う。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第４回	環境調整技術　　（演習）　臥床患者のリネン交換（1） 【key words】 療養生活　療養環境　ベッドメーキング　リネン交換 【授業概要】 ・ベッドメーキングで学習した方法を活用しながら、臥床患者のリネン交換を実施する。 ・演習はグループで実施するため、観察役、患者役となり「安全・安楽」の視点でどのように感じたのか看護師役の学生の記録用紙に記入する。 ・演習では実務経験のある教員が患者に対するコミュニケーションの取り方、声掛けの方法を実際に見せながら臥床患者がいる場合のリネン交換の方法を実演し、その後看護師役、患者役、観察役に分かれて演習を行う。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.10-26 ①サブテキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・該当する手順書を読んでから演習に参加する。 ・看護師役として「安全・安楽・安心」の視点で気づけたこと、気づけなかったこと課題用紙に記入し提出する。また、臥床患者のリネン交換について自己練習を行う。 【予習復習に必要な想定時間】 120分
	第５回	環境調整技術　　（演習）　臥床患者のリネン交換（2） 【key words】 療養生活　療養環境　ベッドメーキング　リネン交換 【授業概要】 ・ベッドメーキングで学習した方法を活用しながら、臥床患者のリネン交換を実施する。 ・演習はグループで実施するため、観察役、患者役となり「安全・安楽」の視点でどのように感じたのか看護師役の学生の記録用紙に記入する。 ・演習では実務経験のある教員が患者に対するコミュニケーションの取り方、声掛けの方法を実際に見せながら臥床患者がいる場合のリネン交換の方法を実演し、その後看護師役、患者役、観察役に分かれて演習を行う。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.10-26 ①サブテキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・該当する手順書を読んでから演習に参加する。 ・看護師役として「安全・安楽・安心」の視点で気づけたこと、気づけなかったこと課題用紙に記入し提出する。また、臥床患者のリネン交換について自己練習を行う。 【予習復習に必要な想定時間】 120分
	第６回	食事援助技術　　食事の基礎知識　栄養状態、食欲・摂取能力のアセスメントおよび援助の実際 【key words】 栄養状態　食欲　摂食・嚥下能力　摂食行動　食事摂取の介助　摂食・嚥下障害　摂食・嚥下訓練 【授業概要】 食事をするということは、人が生命を維持するうえで必要不可欠な行為である。そのため、食事の意義と食べるために必要な身体機能について説明し、食事援助を必要とする患者の栄養状態及び食欲・摂取能力のアセスメント方法、摂食・嚥下訓練について学習する。また、食事援助における看護師の役割を学習し、援助の実際として、食事援助を行う前の環境調整、摂食の準備、援助時の留意点について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.28-61 ①サブテキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習】講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加する。 【復習】嚥下のメカニズム、食事援助における看護師の役割について課題を提出する。 【授業準備】講義終了後にミニテストを実施する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第７回	食事援助技術　　非経口的栄養摂取の援助（経管栄養法・中心静脈栄養法）　清潔援助（口腔ケア） 【key words】 非経口的栄養摂取　経管栄養法　中心静脈栄養法 【授業概要】 ・非経口的栄養摂取の状況として、経管栄養法と中心静脈栄養法についての基礎知識と留意点に

	ついて説明する。 ・清潔援助の1つである、口腔ケアについて、口腔内の汚れの原因を説明し、口腔ケアの基礎知識と援助方法について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.28-61,p.215-223 ①サブテキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習】講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加する。 【復習】講義後の復習として経管栄養法について課題を提出する。 【授業準備】講義終了後にミニテストを実施する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
第８回	食事援助技術　　（演習）　角度による咀嚼・嚥下状態の違いを知る 【key words】 栄養状態　食欲　摂食・嚥下能力　摂食行動　食事摂取の介助 口腔ケア　ブラッシング 【授業概要】 ・看護師役、患者役、観察役になり、食事の援助を実施する。 ・演習後には角度の違いによる咀嚼・嚥下の状態、「安全・安楽」の視点からの気づきをグループ間で話し合いながら課題に取り組む。 ・演習では実務経験のある教員が患者に対するコミュニケーションの取り方、声掛けの方法を実際に見せながら事例に基づいて食事援助の方法を実演し、学生の演習を支援する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.28-61,p.215-223 ①サブテキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習】該当する手順書を読んでから演習に参加する。 【復習】角度の違いによる咀嚼・嚥下の状態の違い、他者から援助を受ける体験からの気づきを課題用紙に記入し提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
第９回	食事援助技術　　（演習）　食事の援助 【key words】 栄養状態　食欲　摂食・嚥下能力　摂食行動　食事摂取の介助 口腔ケア　ブラッシング 【授業概要】 ・看護師役、患者役、観察役になり、食事の援助を実施する。 ・演習後には角度の違いによる咀嚼・嚥下の状態、「安全・安楽」の視点からの気づきをグループ間で話し合いながら課題に取り組む。 ・演習では実務経験のある教員が患者に対するコミュニケーションの取り方、声掛けの方法を実際に見せながら事例に基づいて食事援助の方法を実演し、学生の演習を支援する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.28-61,p.215-223 ①サブテキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習】該当する手順書を読んでから演習に参加する。 【復習】演習後、看護師役を実施した自身の課題、患者役の立場からの学び、演習を通しての気づき、口腔ケアの実際について課題用紙に記入し提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
第１０回	排泄援助技術　排泄の意義とメカニズム　排泄援助の基礎知識（トイレ・床上・おむつによる排泄援助） 【key words】 排泄の意義　メカニズム　自然排尿　自然排便　床上排泄　便器　尿器　おむつ 【授業概要】 排泄行動は人間にとって最も重要な日常の営みである。そのため、排泄の意義、メカニズムについて学習することは大切である。尿、便の一般的な基準を学習し、何らかの原因により、排泄機能や排泄行動に障害が起きてしまった場合の援助方法の違いについて説明する。ここでは主に床上排泄（尿器・便器）、おむつ使用による排泄について援助技術の方法を説明する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.64-102 ①サブテキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習】講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加する。 【復習】配布した手順書を読んでおく。 【授業準備】講義終了後にミニテストを実施する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
第１１回	排泄援助技術　排泄障害のある患者への援助の実際 【key words】 排泄援助　導尿　浣腸　摘便　ストーマ 【授業概要】 自然排尿、自然排便が困難な場合の援助の基礎知識として導尿、浣腸や摘便時の方法と留意点について学習する。また疾患により排泄経路を変更した場合の人工膀胱、人工肛門についてその種類を説明する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.64-102 ①サブテキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習】講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加する。 【復習】配布した手順書を読んでおく。 【授業準備】講義終了後にミニテストを実施する。

	【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１２回　排泄援助技術　（演習）　尿器・便器の用い方 【key words】 床上排泄　尿器　便器　排泄援助 【授業概要】 ・床上排泄として、尿器・便器の用い方について看護師役、患者役、観察役に分かれて演習する。 ・手順を覚えるだけではなく、清潔・不潔を理解しながら演習を実施する。 ・演習では実務経験のある教員が患者に対するプライバシーへの配慮の方法や声掛けの方法を実際に見せながら臥床患者に対する尿器・便器の援助方法を実演し、学生の演習を支援する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.64-102 ①サブテキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習】該当する手順書を読んでから演習に参加する。 【復習】演習後の振り返りとして看護師役を体験した自身の課題、患者役の立場からの学び、演習を通しての気づきを課題用紙に記入し提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１３回　排泄援助技術　（演習）おむつ交換 【key words】 床上排泄　便器　尿器　おむつ　排泄援助 【授業概要】 ・おむつを使用している患者のおむつ交換の方法を看護師役、患者役、観察役に分かれて演習する。 ・演習では実務経験のある教員が患者に対するプライバシーへの配慮の方法や声掛けの方法を実際に見せながら臥床患者のおむつ交換の方法を実演し、学生の演習を支援する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.64-102 ①サブテキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習】該当する手順書を読んでから演習に参加する。 【復習】演習後の振り返りとして看護師役を体験した自身の課題、患者役の立場からの学び、演習を通しての気づきを課題用紙に記入し提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１４回　総合演習　（1）事例に基づく実施 【key words】 療養生活　療養環境 栄養状態　食欲　摂食・嚥下能力　摂食行動 床上排泄　便器　尿器　おむつ交換 【授業概要】 ・基礎看護援助技術Ⅱで学習したことを振り返りながら、課題用紙を活用して学習をすすめる。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト:任 和子他：系統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3. 医学書院, 2023. サブテキスト:吉田 みつ子他：写真でわかる 基礎看護技術アドバンス.インターメディカ, 2021. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【授業準備】演習前には手順書を活用しながら技術練習をする。 【予習復習に必要な想定時間】 90分 第１５回　総合演習　（2）事例に基づく実施 【key words】 ベッドメーキング　リネン交換 食事摂取の介助　口腔ケアの援助 排泄援助　便器　尿器　おむつ交換 【授業概要】 ・基礎看護援助技術Ⅱで学習したことを振り返り、既習の知識を活用しながら事例に基づいて演習を実施する。 ・看護師役、患者役になり、演習を実施する。演習後は担当教員よりフィードバックを行う。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト:任 和子他：系統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3. 医学書院, 2023. サブテキスト:吉田 みつ子他：写真でわかる 基礎看護技術アドバンス.インターメディカ, 2021. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【授業準備】演習前には手順書を活用しながら技術練習をする。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
受講生に関わる情報および受講のルール	[　受講生に関わる情報　] ・演習は白衣または指定の体育着を着用すること。「実習室使用の手引き」に準じない場合は受講を認めない。 ・事前課題がある場合には講義、演習までに学習して臨み、提出の指示があった場合には速やかに提出すること。 ・事後課題がある場合には提出期限までに提出すること。 ・看護技術は何回も繰り返して練習を行い、技術を習得すること。 [　受講のルール　] ・他の受講生の迷惑になるような行為（私語、携帯電話の使用等）は厳禁。 ・遅刻・早退については担当教員に理由を申し出ること。

	・欠席した場合は、後日、担当教員まで講義資料を取りにくること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	・Googleフォームよりコメントカードを提示する。質問がある場合にはコメントカードに記入をする。 ・コメントに関する回答は次回の講義で返答またはWebポータルの授業掲示板で提示する。 ・学習の進捗状況は講義後に実施するミニテストで確認をする。
授業外時間にかかわる情報	・事前課題については必ず学習し、わからない部分を講義や演習で解決するように努力すること。 ・看護援助技術は、演習室を利用して学習を深めること。
オフィスアワー	各回授業終了後から放課後18時までとする。 授業日以外については不在のこともあるためアポイントを取ること。
評価方法	筆記試験　(70%)，総合演習課題（10%），ミニテスト・レポート課題（20%） ※以上の項目を総合的に判断し、60%以上に対して単位認定する。
教科書	①任 和子他：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3. 医学書院, 2023.
参考書	①吉田 みつ子他：写真でわかる基礎看護援助技術 アドバンス.インターメディカ. ②岡谷 豊. 看護が見える 基礎看護技術 Vol.1.メディックメディア. ③岡谷 豊. 看護技術が見える 基礎看護技術 Vol.2.メディックメディア. ※その他、講義内で紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 基礎看護援助技術は看護援助を行うにあたり土台となる基礎的な技術について講義する科目である。 様々な科で実践してきた教員が、根拠をもとに講義を行う。演習では技術内容に応じて事例を挙げ、実務経験のある教員がデモンストレーションを実演し、技術演習をすすめる。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 基礎看護援助技術Ⅲ　　授業コード： 20080

英文科目名称： Basic skills of nursing assistance3

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年次	1単位(30)	必修
担当教員			
髙島由起子　櫻井清美　小林洋子　上田葉子　桐生 由美子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 　看護の対象の日常生活援助に必要な清潔・衣生活、感染予防の知識・技術・態度を学び、科学的根拠に基づいた 　看護技術を習得する。 〔到達目標〕 １．衣生活の意義を理解し、対象の状態に応じた病衣・寝衣交換の援助技術を習得する。 ２．身体の清潔の意義と全身への影響を理解し、清潔ケア(入浴・シャワー浴・清拭・洗髪等)の援助技術を習得す 　　る。 ３．感染予防の根拠について理解し、無菌的操作の技術を習得する。 ４．対象の反応を捉え、原理・原則に基づいた安全・安楽な援助の意義を理解する。 ５．看護技術の修得レベルを自己評価し、課題を明確化する。
授業の概要	「衣・食・住」と表現されるように衣生活は人間生活の基盤となる三大要素の一つである。人間が衣服を身につけることの意義を説明し、疾病によって衣生活を自ら営めなくなったときの援助について考える。「衣服」の役割と同様に、皮膚・粘膜自体にも身体内部をまもる働きがある。皮膚や粘膜の構造と機能について説明し、疾病によって清潔行動に制限のある対象者にとっての入浴、シャワー浴、清拭、洗髪等の清潔援助の効果と呼吸・循環器など全身への影響を学習する。これらを理解したうえで、寝衣交換と清潔援助の具体的な援助方法について演習を行う。 また、感染防止の基礎的知識と無菌操作について学習する。 第14・15回は、事例に基づいた総合演習課題を実施し、基礎的な日常生活援助技術の習得を図る。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回　衣生活援助技術（講義）　衣生活の援助 【key words】 衣生活・寝衣交換 【授業概要】 ・人間が衣服を用いる意義と看護における衣生活の意義について説明する。 ・療養生活における病衣の特徴、選び方、病衣の条件について説明する。 ・寝衣交換の留意点と方法、臥床患者の真意交換の実際について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座専門分野Ⅰ　基礎看護学〔3〕基礎看護援助技術Ⅱ　p.224-231 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキストの該当部分を読み用語調べをしておくこと。そして講義終了後は、該当する動画を視聴する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第２回　衣生活援助技術　(演習)　臥床患者の寝衣交換 【key words】 寝衣交換・臥床患者 【授業概要】 ・グループ毎に看護師、患者、ファシリテータ、観察者の役割に分かれて実施する。 ・それぞれの役割の視点から臥床患者の寝衣交換を原理・原則に基づき安全・安楽に実施できることを目標とする。 ・対象の反応を捉えつつ原理・原則に基づき安全・安楽を考慮しながら実施する重要性について考える。 ・実施後、学生カンファレンスにおいて意見交換を行う。発表を通じて問題解決または、各自の

学習
を深める。

【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座専門分野Ⅰ　基礎看護学〔3〕基礎看護援助技術Ⅱ　p.227-231
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキストの該当部分を読み用語調べをしておくこと。して講義終了後は、該当する動画を視聴する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第３回　衣生活援助技術（演習）　臥床患者の寝衣交換
【key words】
寝衣交換・臥床患者
【授業概要】
・グループ毎に看護師、患者、ファシリテータ、観察者の役割に分かれて実施する。
・それぞれの役割の視点から臥床患者の寝衣交換を原理・原則に基づき安全・安楽に実施できることを目標とする。
・対象の反応を捉えつつ原理・原則に基づき安全・安楽を考慮しながら実施する重要性について考え
る。
・実施後、学生カンファレンスにおいて意見交換を行う。発表を通じて問題解決または、各自の学習
を深める。

【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座専門分野Ⅰ　基礎看護学〔3〕基礎看護援助技術Ⅱp.227～231
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキストの該当部分を読み用語調べをしておくこと。講義終了後は、該当する動画を視聴する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第４回　清潔援助援助技術（講義）　清潔援助の基礎知識
【key words】
入浴・シャワー浴・清拭
【授業概要】
・皮膚粘膜の構造と機能について理解する。
・身体の清潔が生体や精神に及ぼす影響と意義について理解する。
・清潔行動に影響を与える因子について説明する。
・全身の皮膚の清潔を保持するための方法について説明する。
・患者の状況に合わせた清潔援助の方法選択の視点について説明する。
・それぞれの清潔援助の基礎知識と実際について説明する。

【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座専門分野Ⅰ　基礎看護学〔3〕基礎看護援助技術Ⅱp.171～177，p.178-189
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキストの該当部分を読み用語調べをしておくこと。して講義終了後は、該当する動画を視聴する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第５回　清潔援助技術（演習）　全身清拭　Ⅰ
【key words】
臥床患者・全身清拭
【授業概要】
・臥床患者の全身清拭をグループに分かれて実施する。患者・看護師役のそれぞれの役割を体験しながら、どのように援助すると心地よいケアが提供できるのかについて考える。
・臥床患者の全身清拭を原理・原則に基づき安全・安楽に実施できることを目標とする。
・対象の反応を捉え、原理・原則に基づき安全・安楽を考慮しながら実施する重要性について考える。

【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座専門分野Ⅰ　基礎看護学〔3〕基礎看護援助技術Ⅱ　p.184-189
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキストの該当部分を読み用語調べをしておくこと。講義終了後は、該当する動画を視聴する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第６回　清潔援助援技術（演習）　全身清拭　Ⅱ
【key words】
臥床患者・全身清拭
【授業概要】
・臥床患者の全身清拭をグループに分かれて実施する。患者・看護師役のそれぞれの役割を体験しながら、どのように援助すると心地よいケアが提供できるのかについて考える。
・臥床患者の全身清拭を原理・原則に基づき安全・安楽に実施できることを目標とする。
・対象の反応を捉え、原理・原則に基づき安全・安楽を考慮した援助の必要性について考える。

【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座専門分野Ⅰ　基礎看護学〔3〕基礎看護援助技術Ⅱ　p.184-189
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキストの該当部分を読み用語調べをしておくこと。講義終了後は、該当する動画を視聴する。
【予習復習に必要な想定時間】

60分

第７回　清潔援助技術（講義）　洗髪

【key words】
洗髪
【授業概要】
・頭皮の清潔が生体や精神に及ぼす影響と意義について理解する。
・洗髪に用いる物品の種類・方法について理解する。
・対象の状況に合わせた洗髪の方法選択の視点について説明する。
・安全・安楽に洗髪を実施する方法とその根拠について説明する。

【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座専門分野Ⅰ　基礎看護学〔3〕基礎看護援助技術Ⅱ　p.190-198
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキストの該当部分を読み用語調べをしておくこと。講義終了後は、該当する動画を視聴する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第８回　清清潔援助技術（演習）　洗髪Ⅰ

【key words】
洗髪
【授業概要】
・ケリーパッドを用いた臥床患者の洗髪方法について説明し、グループに分かれて実施する。患者・看護師役のそれぞれの役割を体験しながら、どのように援助すると心地よいケアが提供できるのかについて考える。
・ケリーパットを用いた臥床患者の洗髪を原理・原則に基づき安全・安楽に実施できることを目標とする。
・対象の反応を捉え、原理・原則に基づき安全・安楽を考慮した援助の必要性について考える。

【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座専門分野Ⅰ　基礎看護学〔3〕基礎看護援助技術Ⅱ　p.190-194
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキストの該当部分を読み用語調べをしておくこと。講義終了後は、該当する動画を視聴する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第９回　清潔援助技術（演習）　洗髪Ⅱ

【key words】
洗髪
【授業概要】
・ケリーパッドを用いた臥床患者の洗髪方法について説明し、グループに分かれて実施する。患者・看護師役のそれぞれの役割を体験しながら、どのように援助すると心地よいケアが提供できるのかについて考える。
・ケリーパットを用いた臥床患者の洗髪を原理・原則に基づき安全・安楽に実施できることを目標とする。
・対象の反応を捉え、原理・原則に基づき安全・安楽を考慮した援助の必要性について考える。

【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座専門分野Ⅰ　基礎看護学〔3〕基礎看護援助技術Ⅱ p.190-194
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキストの該当部分を読み用語調べをしておくこと。講義終了後は、該当する動画を視聴する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１０回　清潔援助技術（講義）　手浴・足浴・陰部洗浄

【key words】
手浴・足浴・陰部洗浄
【授業概要】
・身体の清潔が生体や精神に及ぼす影響と意義について理解する。
・清潔ケアに用いる物品・方法について理解する。
・対象の状況に合わせた清潔援助の方法選択の視点について説明する。
・原理・原則に基づき安全・安楽に清潔行動を支援する方法とその根拠について説明する。

【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座専門分野Ⅰ　基礎看護学〔3〕基礎看護援助技術Ⅱ p.199-201, p.201-207

【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキストの該当部分を読み用語調べをしておくこと。講義終了後は、該当する動画を視聴する
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１１回　清潔援助技術（演習）　足浴

【key words】
足浴
【授業概要】
・足浴の目的、援助方法について説明し、グループ毎に看護師、患者、ファシリテータ、観察者の役割
に分かれて実施する。
・療養生活における対象の足浴を原理・原則に基づき安全・安楽に実施できることを目標とする。
・それぞれの役割の視点から対象の反応を捉え、原理・原則に基づき安全・安楽を考慮した援助の必要性について考える。
・実施後、学生カンファレンスにおいて意見交換を行う。発表を通じて問題解決または、各自の学習

	を深める。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座専門分野Ⅰ　基礎看護学〔3〕基礎看護援助技術Ⅱ p.201-204 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキストの該当部分を読み用語調べをしておくこと。講義終了後は、該当する動画を視聴する 【予習復習に必要な想定時間】 60分
第１２回	清潔援助技術（演習）　陰部洗浄 【key words】 陰部洗浄 【授業概要】 ・陰部洗浄の目的、援助方法について説明し、グループ毎に看護師、患者、ファシリテータ、観察者の 役割に分かれて実施する。 ・療養生活における対象の陰部洗浄を原理・原則に基づき安全・安楽に実施できることを目標とする。 ・それぞれの役割の視点から対象の反応を捉え、原理・原則に基づき安全・安楽を考慮した援助の必要性について考える。 ・実施後、学生カンファレンスにおいて意見交換を行う。発表を通じて問題解決または、各自の学習 を深める 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座専門分野Ⅰ　基礎看護学〔3〕基礎看護援助技術Ⅱ p.204-207 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキストの該当部分を読み用語調べをしておくこと。講義終了後は、該当する動画を視聴する 【予習復習に必要な想定時間】 60分
第１３回	感染防止の技術（講義・演習）　感染経路別予防策・洗浄・消毒・滅菌・無菌操作・滅菌物の取り扱い方 【key words】 感染経路別予防策・洗浄・消毒・滅菌・無菌操作・滅菌物の取り扱い方 【授業概要】 ・感染経路別予防策、洗浄・消毒と滅菌、無菌操作と感染性廃棄物の取り扱い方について説明する。 ・清潔と不潔の区別をふまえ、滅菌物の取り扱い方等について説明し、実施する。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座専門分野Ⅰ　基礎看護学〔２〕基礎看護援助技術1　p.81-94 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキストの該当部分を読み用語調べをしておくこと。講義終了後は、該当する動画を視聴する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
第１４回	総合演習Ⅰ　事例に基づく実施 【key words】 清潔援助技術 【授業概要】 ・第１回から第12回までの清潔援助技術で学習したことを振り返り、演習を通して技術の習得をする。 ・演習後、自己の課題を明確にする。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座専門分野Ⅰ　基礎看護学〔2〕基礎看護援助技術Ⅰ 系統看護学講座専門分野Ⅰ　基礎看護学〔3〕基礎看護援助技術Ⅱ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第１回から第12回までの清潔援助技術で学習したことを振り返り、実施できるようにしておく。 演習終了後は、目標に照らし、看護職として自己の課題に関して考察する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
第１５回	総合演習Ⅱ　事例に基づく実施 【key words】 清潔援助技術 【授業概要】 ・第１回から第12回までの清潔援助技術で学習したことを振り返り、演習を通して技術の習得をする。 ・演習後、自己の課題を明確にする。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座専門分野Ⅰ　基礎看護学〔2〕基礎看護援助技術Ⅰ 系統看護学講座専門分野Ⅰ　基礎看護学〔3〕基礎看護援助技術Ⅱ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第１回から第12回までの清潔援助技術で学習したことを振り返り、実施できるようにしておく。 演習終了後は、目標に照らし、看護職として自己の課題に関して考察する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	［ 受講生に関わる情報　］ ・演習は白衣または指定の体育着を着用すること。「演習室使用時の手引き」に準じない場合は、受講を認めない。 ・事前課題がある場合には講義、演習までに学習して臨み、提出の指示があった場合には速やかに提出すること。 ・看護技術は何回も繰り返して練習を行い、技術を習得すること。

	［　受講ルール　］ ・他の受講生の迷惑になる行為（私語、携帯電話の使用など）は厳禁。 ・遅刻、早退については担当教員に理由を申しでること。欠席した場合は、担当教員まで授業資料を取りにくること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	・事前課題については必ず学習し、わからない部分を講義にて解決するように努力すること。 ・看護援助技術は、繰り返し練習することにより習得すること。
オフィスアワー	各回授業後から放課後18時までとする。
評価方法	筆記試験　(70%)，総合演習課題（10%），課題レポート・ミニテスト(20%) 以上の項目を総合的に判断し60%以上に対して単位認定する
教科書	教科書 茂野香おる他：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③. 医学書院，2023 サブテキスト ?田みつこ他：写真でわかる 基礎看護技術　アドバンス インターメディカ，2021
参考書	・医療情報科学研究所：看護技術が見えるVol. 1 、2018. ・その他、講義内で紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 基礎看護援助技術は看護援助を行うにあたり土台となる基礎的な技術について講義する科目である。 様々な科で実践してきた教員が、科学的根拠に基づいて講義を行なう。演習では講義で学んだ援助技術の原理・原則に基づいて実践するとともに、学生の自発性、主体性を尊重した学習を促す。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 基礎看護援助技術Ⅳ　　授業コード： 20081

英文科目名称： Basic skills of nursing assistance4

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	必修
担当教員			
小林 洋子　櫻井清美　上田葉子　桐生由美子　高島由起子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 ①呼吸・循環を整える技術として、酸素吸入療法、一時的吸引、吸入の基礎知識を習得する。 ②創傷とその治癒のメカニズムを知り、創傷処置方法、包帯法を習得する。 ③症状・生体機能管理技術の基礎知識として、検体検査・生体情報のモニタリングの意義と看護の役割を習得する。 ④医学的な検査・処置を必要とする対象への介助技術について習得する。 ⑤与薬における基礎知識を学習し、与薬に必要な看護技術を習得する ⑥救命救急処置の基礎知識、心肺蘇生法の基礎知識、院内急変時の基礎知識について習得する。 ⑦死に至るまでの身体的・精神的変化を学習し、死にゆく人と周囲の人々へのケアの必要性と死後の処置方法について習得する。 ⑧安全確保の基礎知識を学習し、対象にとって安全を考慮した援助技術の必要性を習得する。 【到達目標】 ①呼吸・循環を整える基礎知識を学習し、酸素吸入療法、吸引、吸入時における基本技術について実施できる。 ②創傷とその治癒のメカニズムを知り、治癒のために必要な環境づくりと創傷処置の方法・留意点について述べることができる。 ③生体検査・検体検査、与薬に必要な基礎知識を理解し、検査、与薬に対する基本技術を習得する。 ④生体情報のモニタリングの種類を列挙し、それぞれの概要と手順、看護の役割を述べることができる。 ⑤診察の目的と検査・処置時の看護を述べることができる。 ⑥急変時における初期対応の流れ、心肺蘇生法の基礎知識、院内急変時の基礎知識を述べることができる。 ⑦死にゆく人と周囲の人々の身体的・精神的変化を学習し、ケアの必要性を述べることができる。また、死亡による身体の変化が説明でき、死後の処置の留意点を述べることができる。 ⑧対象の反応を捉え、安全・安楽・安心を考慮した援助技術の必要性について考えることができる。
授業の概要	①酸素吸入療法、一時的吸引、吸入の目的と方法を学び、その援助の実際を手順書に従って実践する。 ②創傷とその治癒のメカニズムについて学び、その援助の実際を習得する。 ③診察・検査・処置における基礎知識を学び、医学的に異常をきたした対象に対する援助の実際について学習する。 ④与薬における基礎知識を学び、対象に与薬する際の援助技術について習得する。 ⑤安全確保の基礎知識として誤薬防止、チューブ類の予定外抜去防止、患者誤認防止、転倒・転落防止、薬剤・放射線暴露の防止方法について学習する。 ⑥救命救急を必要とする対象への判断方法を学び、１次救命処置の実際を手順書に従って実践する。 ⑦死に至るまでの身体的・精神的変化と死にゆく人と周囲の人々へのケアの必要性、死後の処置方法について学習する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回　　科目オリエンテーション　　呼吸・循環を整える技術 【key words】 呼吸、循環、酸素療法、一時的吸引、持続的吸引、吸入、人工呼吸療法 【授業概要】 ・呼吸・循環を整える技術について、酸素吸入療法、吸引（口腔、鼻腔、気管内）、吸入について実施する際の目的や留意点について説明する。 【教科書ページ・参考文献】

	p.234-278 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
第２回	呼吸・循環を整える技術　（演習）　酸素吸入療法　酸素ボンベの取り扱い 【key words】 呼吸、循環、酸素療法、酸素ボンベ、酸素残量計算 【授業概要】 ・臨床では酸素ボンベを使用することもあるため、酸素ボンベの取り扱い方や注意点、酸素の残量計算の方法について学生の学習を支援する。酸素の供給方法や酸素に必要な器具と投与方法を説明する。吸引では、気道分泌物の排出の援助や吸引に必要な器具と方法を説明する。 【教科書ページ・参考文献】 p.234-278 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
第３回	創傷管理技術 【key words】 創傷、創傷治癒、創傷処置、皮膚障害、包帯法、末梢、中枢、循環障害、運動障害 【授業概要】 ・皮膚の構造と機能について復習しながら、創傷の定義、治癒の種類、創傷治癒過程とそのメカニズムについて学習する。さらに、創傷治癒のための環境づくりの必要性と創傷処置と皮膚障害についての基礎知識について説明する。 ・包帯法の目的、種類を知り、包帯を用いるときの原則を説明する。 【教科書ページ・参考文献】 p.280-307 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
第４回	与薬の技術（1）与薬の基礎知識　経口与薬　吸入　点眼　点鼻　経皮的与薬　直腸内与薬 【key words】 薬物動態、薬剤の保管、正しい与薬、6R、経口与薬、吸入、点眼、点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬 【授業概要】 ・与薬についての基礎知識と種類について説明する。 ・薬物動態について復習を行い、薬物の作用に影響を与える因子について学習する。その後与薬の原則と投与経路別における与薬の方法、看護師の役割についてそれぞれ説明する。 ・主に経口、吸入、点眼、点鼻、直腸内与薬の目的・適応・方法・留意点について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 p.310-376 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
第５回	与薬の技術（2）与薬の基礎知識　　静脈注射　皮内注射　皮下注射　筋肉注射　輸血の基礎知識 【key words】 正しい与薬、6R、静脈注射、皮内注射、皮下注射、筋肉注射、輸血 【授業概要】 ・与薬についての基礎知識と種類について説明する。 ・薬物動態について復習を行い、薬物の作用に影響を与える因子について学習する。その後与薬の原則と投与経路別における与薬の方法、看護師の役割についてそれぞれ説明する。 ・主に静脈内注射、皮内注射、皮下注射、筋肉内注射、輸血の目的・適応・方法・留意点について学習する。また、輸液投与を行う際の滴下計算方法について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 p.310-376 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加する。 ・事後課題を提示するため記入し提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
第６回	症状・生体機能管理技術 【key words】 検体検査（血液、尿、便、喀痰検査）、モニタリング、心電図検査、動脈圧、中心静脈圧 【授業概要】 ・症状・生体機能管理技術の基礎知識を学習し、検体検査や生体モニタリングの種類や援助の実際を説明する。 【教科書ページ・参考文献】 p.406-434 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加する。 ・事後課題を提示するため記入し提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
第７回	診察・検査・処置の介助技術 【key words】 診察の介助、検査・処置の介助、X線撮影、CT、MRI、内視鏡検査、超音波、肺機能、核医学、穿刺 【授業概要】

		・診察の介助の目的を説明し、それぞれの生体検査の概要と検査、処置時の看護について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 p.436-456 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加する。 ・事後課題を提示するため記入し提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第８回	救命救急処置技術 【key words】 心肺蘇生法、一次救命処置、二次救命処置、エマージェンシーカート 【授業概要】 ・救命救急処置の基礎知識、心肺蘇生法の基礎知識、院内急変時の対応について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 p.378-403 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加する。 ・事後課題を提示するため記入し提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第９回	安全確保の技術（1）わが国における過去の医療事故 【key words】 セーフティマネジメント、医療事故、医療過誤、インシデント・アクシデントレポート、6R、薬剤・放射線被爆 【授業概要】 ・わが国における過去の医療事故を取り上げ、安全確保の重要性について説明する。 ・医療事故の定義、分類、発生要因、危険因子、看護事故の種類について説明し、看護者に求められる安全管理行動について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 p.106-125（基礎看護技術Ⅰ） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加する。 ・事後課題を提示するため記入し提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１０回	安全確保の技術（2）看護者に求められる医療安全行動 【key words】 KYT 【授業概要】 ・事例を取り上げ、看護者に求められる安全管理行動について考える。 【教科書ページ・参考文献】 p.106-125（基礎看護技術Ⅰ） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１１回	創傷管理技術　（演習）巻軸帯、三角巾を用いた包帯法 【key words】 創傷、創傷治癒、創傷処置、皮膚障害、包帯法、末梢、中枢、循環障害、運動障害 【授業概要】 ・学生同士ペアとなり、包帯法の原則をもとに演習を行う。 ・実務経験のある教員が巻軸包帯（環行帯、らせん帯）、三角巾を用いた上肢の固定方法について、デモンストレーションを実施し、その後の学生の演習を支援する。 【教科書ページ・参考文献】 ・P310～376 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・事前に配布した包帯法の手順書を読んでから参加する。 ・演習後の事後課題を提示するため記入し提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 120分
	第１２回	救命救急処置技術　（演習）一次救命処置の実施 【key words】 心肺蘇生法、一次救命処置、二次救命処置、エマージェンシーカート 【授業概要】 ・救命救急処置の基礎知識、心肺蘇生法の基礎知識、院内急変時の対応について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 p.378-403 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・演習前の事前課題を提示する。 ・事前課題を提出できなかった場合は演習に参加できないため、指定された期日までにレポートを提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１３回	与薬の技術　（演習）与薬の6Rをもとに薬を準備、実施、廃棄する 【key words】 与薬の６Ｒ、注射、無菌操作、感染性廃棄物の取り扱い 【授業概要】 ・与薬の技術では６Ｒを活用し安全を確保する技術を習得する。 ・演習ではデモンストレーション後に4～5人のグループに分かれて注射筒と注射針の取り扱い方

	針刺し防止策アンプルを使用した薬液の吸い上げ、注射による与薬方法について演習する。 ・前期で学習した感染性廃棄物の取り扱い方についても演習を実施する。 ・特に注射器や針の使用は無菌操作や安全確保が必要なため、実務経験のある教員が実際に学生の演習を支援する。 【教科書ページ・参考文献】 p.310-376 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・事前に配布した筋肉注射の手順書を読んでから参加する。 ・事後課題を提示するため記入し提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 120分
	第１４回　症状・生体機能管理技術　（演習）真空採血管、注射器を用いた静脈血採血 【key words】 検体検査（血液、尿、便、喀痰検査）、無菌操作、感染性廃棄物の取り扱い 【授業概要】 ・上肢モデルを使用して静脈血採血の演習を実施する。 ・演習ではデモンストレーション後に4～5人のグループに分かれて真空管を用いた採血と注射器を用いた採血を演習する。特に注射器や針の使用は無菌操作や安全確保が必要なため、実務経験のある教員が実際に学生の演習を支援する。 ・注射筒と注射針の取り扱い方　針刺し防止策　感染性廃棄物の取り扱い方について演習も実施する。 【教科書ページ・参考文献】 p.406-434 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・事前に配布した静脈血採血の手順書を読んでから参加する。 ・事後課題を提示するため記入し提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 120分
	第１５回　死の看取りの援助 【key words】 平均寿命、キュブラー・ロス、死の恐怖、身体的苦痛、精神的苦痛、死の看取り、死後の処置、グリーフケア 【授業概要】 ・日本の死亡に関して、現在の平均寿命、死因、死亡場所の変遷について復習をする。その後、死に至るまでの人の身体的・精神的変化を知り、死にゆく人と周囲の人々へのケアの必要性を学習する。また、死亡後の身体的変化を学習し、死後の処置方法や留意点について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 p.458-475 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加する。 ・死を迎える状態にみられる人の精神的変化について復習する。また残された家族のグリーフケアについて復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講生に関わる情報] ・演習は白衣または指定の体育着を着用すること。「実習室使用の手引き」に準じない場合は受講を認めない。 ・事前課題がある場合には講義、演習までに学習して臨み、提出の指示があった場合には速やかに提出すること。 ・事後課題がある場合には提出期限までに提出すること。 ・看護技術は何回も繰り返して練習を行い、技術を習得すること。 [受講のルール] ・他の受講生の迷惑になるような行為（私語、携帯電話の使用等）は厳禁。 ・遅刻・早退については担当教員に理由を申し出ること。 ・欠席した場合は、後日、担当教員まで講義資料を取りにくること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	・Googleフォームによるコメントカードを提示する。質問がある場合にはコメントカードに記入をする。 ・コメントに関する回答は次回の講義で返答またはWebポータルの授業掲示版で提示する。 ・学習の進捗状況の確認は講義後に実施するミニテストで確認する。
授業外時間にかかわる情報	・事前課題については必ず学習し、わからない部分を講義や演習で解決するように努力すること。 ・看護援助技術は、演習室を利用して自己学習を深めること。
オフィスアワー	各回授業終了後から放課後18時までとする。
評価方法	筆記試験（70%），レポート課題（20%），ミニテスト（10%） ※総合評価は筆記試験、レポート課題、ミニテスト等を合わせて60%を超えていることが前提となる。
教科書	有田清子他：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学②. 医学書院, 2022. 有田清子他：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③. 医学書院, 2022.
参考書	1) 本庄 恵子他.写真でわかる臨床看護技術① アドバンス.インターメディカ. 2) 本庄 恵子他.写真でわかる臨床看護技術②アドバンス.インターメディカ. 3) 岡谷 豊.看護が見える 基礎看護技術 Vol.1.メディックメディア. 4) 岡谷 豊.看護技術が見える 基礎看護技術 Vol.2. メディックメディア. ※その他、講義内で紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容

	基礎看護援助技術は看護援助を行うにあたり土台となる基礎的な技術について講義する科目である。 様々な科で実践してきた教員が根拠をもとに講義を行う。演習では技術内容に応じて事例を挙げ、実務経験のある教員がデモンストレーションを実演し、技術演習を進める。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 看護論　　授業コード： 20083

英文科目名称： Nursing theory

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年次	1単位(30)	必修
担当教員			
櫻井　清美			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	＜目的＞ 　看護援助の基礎となる代表的な看護論の特徴を学び、代表的な看護論の理論的枠組みおよび体系について理解し、看護実践との繋がりが理解できる。 ＜目標＞ １．代表的な書籍を精読し、要約・意見等をまとめ、各理論家の看護論について考えに触れることができる。 ２．各看護論の特徴を述べることができる。 ３．理論と看護実践の繋がりが説明できる。
授業の概要	代表的な看護論の理論的枠組みおよび知識体系について、代表的な書籍を精読し、要約・意見等をまとめる。 各理論家の看護論についての考えに触れ、看護実践との関係を理解する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	△
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	○
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　看護理論とは、 1. フロレンス・ナイティンゲールと看護論①「看護覚え書」序章

【key words】
看護理論、看護論、定義、病気、回復過程、看護

【授業概要】
看護論とは何かを再考し、看護の理論的としての看護理論であることを学ぶ。また、看護理論と看護実践のつながりを考える。
ナイティンゲール著の「看護覚え書」の概要を序章から学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書Ⓝ「看護覚え書」P1-6、DVD
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読し、看護とは何かを考えて授業に臨んでほしい。
【予習復習に必要な想定時間】
1-2時間

第２回　（ナイティンゲール生い立ち・活躍）　②環境

【key words】
換気、清浄、住居、小管理、物音、変化
【授業概要】
ナイチンゲールの生い立ちや時代・社会背景から、「看護覚え書」が著された意味を考える。また、基本的な概念である環境への看護について、ナイティンゲールのとらえ方を学び、自身の考えと比較する。

【教科書ページ・参考文献】
教科書Ⓝ　P13-111
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読し、ナイティンゲールとはどのような人生を送った人なのかを理解して授業に臨んでほしい。
【予習復習に必要な想定時間】
1-2時間

第３回　（ナイティンゲール著作・教育活躍）　③食事、ベッド

【key words】
食事、食物の選択、ベッドと寝具、陽光、部屋と壁の清潔
【授業概要】
概念である「食事」「ベッド」の看護について、ナイティンゲールのとらえ方を学び、自身の考

えと比較する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書Ⓝ　P112-158
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読し、該当部分の概念について概要を理解して授業に臨んでほしい。
【予習復習に必要な想定時間】
1-2時間

第４回　④清潔、励まし、病人の観察　（まとめ）
【key words】
清潔、おせっかい、励まし、忠告、忠告、観察
【授業概要】
概念である「清潔」「励まし」「病人の観察」の看護について、ナイティンゲールのとらえ方を学び、自身の考えと比較する。
まとめとして、ナイティンゲールが何故「看護覚え書」を著したのかを考える。
【教科書ページ・参考文献】
教科書Ⓝ　P159-226
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読し、該当部分の概念について概要を理解して授業に臨んでほしい。
【予習復習に必要な想定時間】
1-2時間

第５回　2. 人間関係論的な看護理論：ペプロー、オーランド、トラベルビー、キング他　3. 対象論的な看護理論：B.ニューマン、ペンダー、M.ニューマン他
【key words】
人間関係、プロセスレコード、再構成、看護過程記録
【授業概要】
それぞれの看護理論の時代背景や特徴、主要概念を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
参考文献１・２を活用した配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読し、それぞれの理論について概要を理解して授業に臨んでほしい。
【予習復習に必要な想定時間】
1-2時間

第６回　4. 働きかけ論的な看護理論：ウィーデンバック、オレム、ベナー、ワトソン、レニンガー他
【key words】
ニード、セルフケア、看護実践の技能、ケアリング
【授業概要】
それぞれの看護理論の時代背景や特徴、主要概念を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
参考文献１・２を活用した配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読し、それぞれの理論について概要を理解して授業に臨んでほしい。
【予習復習に必要な想定時間】
1-2時間

第７回　5. ヴァジニア・ヘンダーソン ①主要概念：人間の基本的欲求　　ニードの共通性と個別性
【key words】
ニード＝人間の基本的欲求、基本的看護の構成要素（14項目）

【授業概要】
ヘンダーソンの生い立ちや時代・社会背景から、「看護の基本となるもの」が著された意味を考える。また、基本的な概念であるニードへの看護について、人間の欲求の概念とも照らし合わせてヘンダーソンのとらえ方を学び、自身の考えと比較する。

【教科書ページ・参考文献】
教科書Ⓗ、DVD
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読し、主要な概念の概要を理解して授業に臨んでほしい。
【予習復習に必要な想定時間】
1-2時

第８回　ヴァジニア・ヘンダーソン②14項目の基本的看護の活用 看護論の活用の仕方）
【key words】
看護過程の展開への活用
自己の振り返り、看護、気づき、看護観

【授業概要】
概念である「14項目の基本的看護」について、ヴァジニア・ヘンダーソンのとらえ方を学び、看護への活用を学ぶ。また、自身の考えと比較し、看護観を深める。
【教科書ページ・参考文献】
教科書Ⓗ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読し、主要な概念の概要を理解して授業に臨んでほしい。
【予習復習に必要な想定時間】
1-2時間

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

	1時間
受講生に関わる情報および受講のルール	・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる王位（私語・スマホの使用など）は厳禁です。 ・自身の看護に対する思いを明らかにし、また、深めてほしい。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ＱＲコード、コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	授業に関連する教科書のページを熟読し、自らの疑問や考えをもって主体的に参加してほしい。 Ｆ．ナイチンゲール、ヴァジニア・ヘンダーソンに興味を持って、教科書以外の文献などからも理解が深められるとさらに良い。
オフィスアワー	月曜日　12：00～12：40
評価方法	１．レポート試験80％ ２．授業中レポート20％ 上記１から２を合わせて60％を超えること。
教科書	１．フロレンス・ナイティンゲール（児玉香津子、小田葉子訳）：看護覚え書き．2022,日本看護協会出版会　Ⓝ ２．ヴァジニア・ヘンダーソン（湯槇ます、児玉香津子訳）：看護の基本となるもの．2022,日本看護協会出版会　Ⓕ ３．秋葉公子ら著：看護過程を使ったヘンダーソンの看護論の実践．2023,ヌーヴェルヒロカワ ４．茂野香おる：系統看護学講座専門分野　看護学概論基礎看護学１．2023，医学書院
参考書	１．黒田裕子：ケースを通してやさしく学ぶ看護理論．2018,日総研 ２．筒井真優美：看護理論；看護理論の20の理解と実践への応用．2017,南江堂 ３．F・ナイチンゲール（湯槇ます、薄井博子他訳）：看護覚書．2022,現代社 その他、授業内で適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 病院の手術室および脳神経外科において看護の実務経験がある。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 基礎看護学実習Ⅰ　　授業コード：20084

英文科目名称： Practices of basic nursing 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年次	1単位(45)	必修
担当教員			
上田 葉子　櫻井 清美　小林 洋子　髙島 由紀子　桐生 由美子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【実習目的】 医療・看護の行われている場において、患者および患者を取り巻く環境の理解を深め、看護活動の実際を学ぶ。 【実習目標】 １.病院機能の概要および病院における医療チームとその役割を理解する。 ２.入院患者の療養生活の場を理解する。 ３.効果的な技術を用いてコミュニケーションをとり、入院患者の思いを捉える。 ４.看護師の活動と役割を理解する。 ５.看護学生としての基本的な態度を身につけることができる。 ６.臨地実習での学びを記述できる。
授業の概要	実習目的、実習目標を達成できるように2つの医療施設に分かれて臨地実習を行う。 詳細は配付する「基礎看護学実習Ⅰ実習要項」を参照すること。 【実習時期】令和5年9月8日（金）,9月11日（月）～9月22日（金）

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	△
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	実習1日目　学内実習　オリエンテーション 【key words】 オリエンテーション　実習目的　実習目標　実習内容 【授業概要】 １．オリエンテーション ・実習目的、目標、実習内容の説明 ・実習目標に関連した事前課題、事前学習の内容確認 ・実習目標に関連した事前学習内容の確認 ２．施設別オリエンテーション ・実習病院の紹介 ・実習病院の諸注意、交通アクセスについて ３．病棟別オリエンテーション ・担当教員よりオリエンテーションを受ける ・行動計画用紙を記入 【教科書ページ・参考文献】 看護学概論・基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ、看護覚え書、看護の基本となるもの 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ①実習施設の病院の理念・機能、看護部の概要等を事前に調べる。②グループ内の役割決定、連絡網を作成③各自、実習病院へのアクセス方法を確認する。 【予習復習に必要な想定時間】 3時間 実習2日目　病院実習①　施設別のオリエンテーション 【key words】 病院の役割　看護部の理念　病院見学　看護体制 【授業概要】 １．病院オリエンテーション ・病院の理念、組織機構、機能、設備 ・看護部の概要と役割(看護部の理念、職員構成、看護体制、安全管理、感染対策等) ２．施設内見学 ・グループに分かれて見学する。

	・各部門の概要：職種、主な仕事の内容、特徴、看護部との連携について説明を受ける。 【教科書ページ・参考文献】 看護学概論・基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ、看護覚え書、看護の基本となるもの 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前課題で学習した内容を復習しておく。 【予習復習に必要な想定時間】 3時間 実習3日目　病院実習②　病棟オリエンテーション　患者の療養環境と療養生活を知る　看護活動の見学 【key words】 病棟オリエンテーション　入院患者　療養環境　療養生活　看護師の役割 【授業概要】 １．病棟オリエンテーション（病棟の概要、入院患者の特徴、看護の特徴、病棟の構造と環境） ２．病棟を探索し、入院患者のおかれている療養環境について考える ３．看護師と共に行動し、実際の看護と入院患者の療養生活の場の実際を見学する ４．ショートカンファレンス 【教科書ページ・参考文献】 看護学概論・基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ、看護覚え書、看護の基本となるもの 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ①療養環境を構成する要素と基準値を復習する。②看護師の役割について復習し、質問ができるように準備する。 ③実習終了後は、実習目標に照らし合わせて、自身の到達状況を確認し、翌日に臨む姿勢を考える。 【予習復習に必要な想定時間】 3時間 実習4日目　病院実習③　看護師の活動と看護師の役割の理解　コミュニケーションを通して入院患者の思いを捉える 【key words】 看護師の役割 言語的コミュニケーション 非言語的コミュニケーション カンファレンス 【授業概要】 １．看護師と共に行動し、実際の看護と入院患者の療養生活の場の実際を見学する ２．効果的なコミュニケーションを通して、入院患者の思いを捉える ３．カンファレンス 【教科書ページ・参考文献】 看護学概論・基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ、看護覚え書、看護の基本となるもの 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ①看護活動の実際をふまえ、わからなかったことを整理する。②コミュニケーション技法を取り入れ患者の思いを捉えられるように準備する。③最終カンファレンスで自分自身の学びを述べられるように思考を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 3時間 実習5日目　学内実習　学習成果発表 【key words】 学習成果 個人面接 自己の課題 【授業概要】 １．実習全体のまとめとして学習成果を発表する ２．個人面接 ３．事後課題のテーマに沿ってレポートを作成する 【教科書ページ・参考文献】 看護学概論・基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ、看護覚え書、看護の基本となるもの 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ①実習全体を通して、実習目標の到達状況を自己分析する。到達できなかった目標はその原因を考えて次につなげる。②実習記録を整理し、記録の提出ができるように準備する。 【予習復習に必要な想定時間】 3時間
受講生に関わる情報および受講のルール	具体的内容については、「看護学臨地実習共通要綱」及び「基礎看護学実習Ⅰ」の実習要項を参照すること。 【履修要件】 ・看護学概論の単位認定の受験資格要件を満たしていること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	基礎看護学実習Ⅰの科目責任者または、実習担当教員に確認すること。
授業外時間にかかわる情報	事前課題については必ず学習してから実習に臨むこと。
オフィスアワー	各実習の終了後30分
評価方法	以下の項目を総合して評価する。 １.実習時間の５分の４以上の出席を要する。 ２.基礎看護学実習Ⅰの実習評価表に基づき、目標の達成度、実習態度、提出された実習記録等によって評価する。
教科書	①茂野　香おる他：専門分野　看護学概論. 基礎看護学1, 医学書院, 2023. ②任　和子他:専門分野　基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ　基礎看護学2・3, 医学書院, 2023.
参考書	①フローレンス・ナイチンゲール：看護覚え書き. 現代社. ②ヴァ-ジニア・ヘンダーソン:看護の基本となるもの. 日本看護協会出版会.
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 基礎看護学実習Ⅰは入学してから初めての臨地実習となる。そのため、実習に行く前の基礎知識を修得できるように、様々な科や臨床指導者を経験してきた基礎看護学領域の教員が看護学概

	論、基礎看護技術を中心に講義や演習を行っている。 講義や演習で学んだ内容を活かせるように基礎看護学領域の教員が中心となり、学生の臨地実習を支援する。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 精神看護学概論　　授業コード： 20086

英文科目名称： Introduction to mental nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年次	2単位(30)	必修
担当教員			
佐藤　るみ子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　人間の精神の発達とメンタルヘルスの視点から、精神保健医療福祉の役割と人権擁護・精神看護のあり方を知る。　　また、精神看護、対象理解、自己理解に関連する理論から精神看護の役割を理解する。 【到達目標】 　１）精神保健学・精神看護学の定義と看護の役割を概説することができる。 　２）精神保健医療福祉の変遷と現代社会のニーズからメンタルヘルスの課題と対策を説明することができる。 　３）人間の精神活動、こころの仕組みと働きを理論と関連づけることができる 　４）精神機能から精神障がい者の生きにくさを説明することができる。 　５）ライフサイクルにおける発達段階を理論で説明することができる。 　６）人間関係論を知り、患者との関係性と看護師のあり方を考案することができる。 　７）精神医学の歴史、精神医療・看護における倫理性から課題を見出すことができる。
授業の概要	本講義では、精神看護学・精神保健学・対人関係に関する基礎的な知識を理論から学修する。様々な社会病理現象からメンタルヘルスへの関心を高め、精神保健医療福祉の活動の実際をイメージする。精神障がい者の生活の生きにくさから必要な社会資源を考えていく。さらに、当事者（精神障がい者とその家族）の方と支援者の体験から障害者と支援に関して理解を深める。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	○
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	◎
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回　オリエンテーション・　現代社会 とメンタル ヘルス（１） 【key words】 現代社会・メンタルヘルス・社会病理現象 【授業概要】 科目の位置づけとシラバスの説明。現代社会の現状と社会的問題となっているニュースから社会病理現象を知り、精神的健康・生活に及ぼす影響を考える。自分の生活上での生きにくさから精神の健康について考えられるよう視覚教材を活用して説明する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅰ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P263-288 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業資料と教科書を照らし合せて読み、自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第２回　現代社会とメンタルヘルス（２）自死と対策 【key words】 現代社会現象、こころの健康、自死、対策 【授業概要】 こころの健康のあり方、精神保健の役割から、自殺の死亡率と背景、自殺予防対策の現状を知り、自分にできる支援は何かを考えることを狙いとして資料を基に説明する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅰ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P263-288 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業資料と教科書を照らし合せて読み、自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第３回　現代社会 とメンタルヘルス（３）こころの健康と精神障害

		【key words】 こころの健康、障害の概念、精神障害 【授業概要】 精神健康の基準、概念からこころが病むということはどういうことか。また、精神障害と精神障がい者をどのように捉えるか講義内容を自問自答しながらこころの健康のあり様を考える。また、1回～3回の授業を通して精神看護、精神保健、精神科看護の対象を理解できるよう視聴覚教材を活用して授業を展開する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅰ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P5-13　70-74 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業資料と教科書を照らし合せて読み、自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第４回	こころの健康(こころの仕組みと働き：フロイト) 【key words】 精神力動論、自我、精神機能、防衛機制 【授業概要】 こころの健康、不健康とはどのような状態か、健康の概念から考える。フロイトの精神力動論から、こころの仕組みと働きを知り、人間行動を捉えられる。そのこころの機能から精神の健康行動特性である防衛機制を学び、自己（人間）の行動を精神の健康視点から理解できるよう具体例を示し説明する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅰ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P17-36 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業資料と教科書を照らし合せて読み、自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第５回	脳機能と精神活動 【key words】 自我、脳機能、精神活動 【授業概要】 自我の構造とその人らしさである人格の構成概念を学ぶ。また、人間行動である精神活動を脳の働き（知・情・意）から理解し、脳機能と生活行動の関連を考える。既習の脳の構造と機能を統合できるように説明する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅰ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P48-55 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業資料と教科書を照らし合せて読み、自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第６回	ライフサイクルにおける人格の発達と危機（フロイト・エリクソン） 【key words】 人格、ライフサイクル、発達理論 【授業概要】 フロイト・エリクソンのライフサイクルにおける人格の発達と危機を知り、人間的成長に影響する環境の重要性を理解する。また、人間の発達課題から精神の健康と成長を考える。既習の心理学の内容を繋げて理解する。自己の発達過程を振り返りポジティブに捉える視点を伝え説明する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅰ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業資料と教科書を照らし合せて読み自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第７回	ストレスと危機理論 【key words】 ストレス、危機、理論、対処行動 【授業概要】 危機モデルと理論、ストレス対処理論を学び、ストレスが及ぼす心身への影響とストレスの対処方法、危機介入と対処行動を知る。自己のストレスマネージメントから、こころの健康維持と支援を具現化し理論と繋げられるように説明する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅰ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P17-31 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業資料と教科書を照らし合せて読み自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 １時間
	第８回	中間試験　人間関係論(1) 個人・集団人間関係論 【key words】 人間関係論、個人、集団（グループ）、役割機能 【授業概要】 1～7回の授業内容を知識として身に着けるために中間試験を行う。 人間関係論における自己と他者について理解する。また、集団力動論による集団の役割機能から精神の健康への影響を資料と教科書を基に説明する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅰ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P36-47 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業資料と教科書を照らし合せて読み自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第９回	人間関係論(2) 家族 【key words】

人間関係論、家族役割、家族病理
【授業概要】
家族の多様性と役割機能の現状を知り、家族役割と機能からこころの健康との関連から家族病理について理解する。また、慢性疾患を患う精神障がい者の家族の心理状況から家族支援について考えることを狙いとし、文献資料を活用して説明する。
【教科書ページ・参考文献】
精神看護学Ⅰ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2017.P48～57
参考図書　精神看護学(1)精神看護の基礎　第5版，医学書院，2019.P142-149　120-123
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業資料と教科書を照らし合せて読み自己学習ノートにまとめる。
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１０回　当事者授業-家族の思い-
【key words】
精神障害、家族、心理
【授業概要】
精神障がい者の家族をゲストスピーカとして招き、体験談を聴く。精神障がい者とその家族の体験から当事者の心理状況を知り、精神障がい者と家族のリカバリーの視点から支援の必要性と看護の役割と課題について考える。
【教科書ページ・参考文献】
参考図書　精神看護学(1)精神看護の基礎　第5版，医学書院，2019.P120-123
【課題・予習・復習・授業準備指示】
家族の体験を聴いた感想をまとめ提出することを課題とする。
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１１回　人間関係論(3)治療的関係
【key words】
人間関係論、患者看護師関係
【授業概要】
ペプロウ・トラベルビー・ロジャーズ・サリバンの人間関係に関する理論を学び、ケアにおける患者と看護師の関係性から看護師のあり方を考えられるよう資料を基に説明する。

【教科書ページ・参考文献】
精神看護学Ⅰ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P126-129
参考図書、精神看護学(1)精神看護の基礎　第5版，医学書院，2019.P120-123
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業資料と教科書を照らし合せて読み自己学習ノートにまとめる。
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１２回　精神科医療の歴史・法律
【key words】
精神医療、看護、歴史、精神保健福祉法
【授業概要】
精神医療と看護の変遷と法律から精神科医療と看護の現状を知り、・精神科医療における法律の役割と必要性を理解する。法律の改正に伴い、精神医療と精神疾患に対する社会の意識変化と精神医療・看護の課題について考える。精神医療に関する事件やニュースなどの視覚教材を活用し精神科看護の役割を理解できるよう説明する。
【教科書ページ・参考文献】
精神看護学Ⅰ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P205-234
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業資料と教科書を照らし合せて読み自己学習ノートにまとめる。
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１３回　精神看護における人権－看護倫理と法
【key words】
精神看護、人権、看護倫理、法律
【授業概要】
精神科医療、看護における倫理的問題の実際を視覚教材で示し、精神科看護の定義から精神科看護に求められる専門性について考える。基本的人権の視点から精神科看護の倫理綱領を理解し、倫理性を高める意識を持てるよう資料を基に説明する。
【教科書ページ・参考文献】
精神看護学Ⅰ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2017.P239-249
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業資料と教科書を照らし合せて読み自己学習ノートにまとめる。
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１４回　地域精神保健看護と地域移行支援ー地域で生活する精神障がい者と生活支援ー
【key words】
地域精神保健、地域移行支援、チーム医療、精神障がい者
【授業概要】
地域で生活する精神障がい者の生きにくさや必要とする生活支援について、当事者と支援者である精神保健福祉士の体験談を聴いて考える。精神障がい者の良き理解者の一人となり、医療・看護・福祉・行政の連携の必要性について考える。
【教科書ページ・参考文献】
精神看護学Ⅰ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.P167-182
【課題・予習・復習・授業準備指示】
当事者と支援者の実際の体験談を聴いた感想をまとめ提出する。
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１５回　リエゾン精神看護と看護者のメンタルヘルス
【key words】

	リエゾン精神医療・看護・感情労働・看護師・メンタルヘルス 【授業概要】 リエゾン精神看護師の役割とその必要性について理解する。感情労働者である精神科看護師の陥りやすいストレス状況とメンタルヘルスの大切さを知り、こころの健康と維持について考える。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅰ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2017.P59-63 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業資料と教科書を照らし合せて読み自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
受講生に関わる情報および受講のルール	予習・復習により、学習の整理、新たな課題を見出し、自分の考えを述べ思考を発展させる学習姿勢で臨む。 授業中の疑問はそのままにせず、自主的に調べ、質問する。 授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為は厳禁。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	授業後は、その日の資料内容を教科書と照らし合わせて確認する。短時間でも行うこと。
オフィスアワー	授業についての質問は授業終了後1時間受け付ける。
評価方法	中間試験、定期試験、課題レポートの総合評価で60%以上を単位認定とする。
教科書	武井麻子著者代表：精神看護学１「精神看護の基礎」第6版，医学書院，2023. 武井麻子著者代表：精神看護学２「精神看護の展開」第6版，医学書院，2023.
参考書	授業内で適宜紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 精神科病院勤務経験・教育活動（講義・精神看護学実習）の経験をしている。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 精神看護援助論Ⅰ　　授業コード： 20109

英文科目名称： Theories of mental nursing assistance 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	必修
担当教員			
成田　みぎわ　他			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　主な精神疾患の症状、治療による生活への影響を理解し、看護の役割と回復への支援を知る。また、既習の精神看護に関連する基礎的知識を基に精神疾患を患う対象の状況に応じた支援の方法を学び看護の役割を考える。 【到達目標】 １）各精神疾患の特徴や回復過程を説明することができる。 ２）精神科特有の治療や治療時の看護のポイントを説明することができる。 ３）精神障がい者のリカバリー（回復）を支える支援の実際を知り、看護の役割を記述することができる。
授業の概要	本講義では、主な精神疾患を患う対象の症状と治療、看護のポイントについて、資料・教科書・パワーポイントを活用し、説明する。既習の基礎知識を統合して、精神疾患を病む対象への看護を多角的な視点から考える。視聴覚教材ＤＶＤや看護師の看護実践活動を知ることで、疾病が生活に及ぼす影響や、多職種連携、地域社会資源の重要性などについて考え、精神科看護の役割を学ぶ。精神科看護活動の実際と知識を関連づけ、精神科看護への関心を高められるように展開する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	◎
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	○
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	オリエンテーション　精神疾患の回復過程（DVD） 【key words】 統合失調症　回復過程 【授業概要】 映画「ビューティフルマインド」を視聴し、統合失調症を患う対象とその家族の心理社会的支援を知る。精神障がい者の「生きにくさ」やその人の生活、人生に及ぼす影響を理解するとともに、リカバリーの実際を知る。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.p138-142 【課題・予習・復習・授業準備指示】 既習の疾病治療論Ⅳ、精神疾患の授業資料を再学習して授業に臨む 【予習復習に必要な想定時間】 １時間
	第２回	精神疾患回復過程（DVD） 【key words】 統合失調症　回復過程 【授業概要】 映画「ビューティフルマインド」を視聴し、統合失調症を患う対象とその家族の心理社会的支援を知る。精神障がい者の「生きにくさ」やその人の生活、人生に及ぼす影響を理解するとともに、リカバリーの実際を知る。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.p138-142 【課題・予習・復習・授業準備指示】 既習の疾病治療論Ⅳ、精神疾患の授業資料を再学習して授業に臨む 【予習復習に必要な想定時間】 １時間
	第３回	統合失調症と看護（１）急性期 【key words】 統合失調症、急性期、治療、看護 【授業概要】

		統合失調症の急性期における精神症状・治療を知り、観察の視点を理解する。また、精神症状・治療が生活に及ぼす影響から支援を考えることを狙いとし、観察ポイント、アセスメントの視点、看護のポイントを説明する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.p203-210.p224-232 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を熟読する。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて、学んだ内容を自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 １時間
	第４回	統合失調症と看護（２）慢性期 【key words】 統合失調症、慢性期、治療、看護 【授業概要】 統合失調症の慢性期における精神症状・治療を知り観察の視点を理解する。また、精神症状・治療が生活に及ぼす影響から支援を考えることを狙いとし、観察ポイント、アセスメントの視点、看護のポイントを説明する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.p210-218.p251-257.p292-297 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を熟読する。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて、学んだ内容を自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 １時間
	第５回	摂食障害、パーソナリティ障害、適応障害、発達障害と看護 【key words】 摂食障害、パーソナリティ障害、適応障害、発達障害、治療、看護 【授業概要】 摂食障害、パーソナリティ障害、適応障害、発達障害の症状とその特徴と治療を知り、観察の視点を理解する。また、精神症状・治療が生活に及ぼす影響から支援を考えることを狙いとし、観察ポイント、アセスメントの視点、看護のポイントを説明する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.p152-165.p258-263.p318-324 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を熟読する。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて、学んだ内容を自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 １時間
	第６回	気分障害と看護 【key words】 うつ病、躁病、治療、看護 【授業概要】 気分障害の精神症状・治療を知り観察の視点を理解する。また、精神症状・治療が生活に及ぼす影響から支援を考えることを狙いとし、観察ポイント、アセスメントの視点、看護のポイントを説明する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.p143-146.p236-247.p264-269 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を熟読する。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて、学んだ内容を自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 １時間
	第７回	精神作動物質使用による精神および行動の障害と看護 【key words】 急性中毒、依存症候群（アルコール依存を含む）、離脱状態、せん妄、精神病性障害、健忘症候群、 治療、看護 【授業概要】 精神作動物質使用による精神および行動の障害の症状・治療を知り観察の視点を理解する。また、精神症状・身体症状・治療が生命、生活に及ぼす影響から支援を考えることを狙いとし、観察ポイント、アセスメントの視点、看護のポイントを説明する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.p135-137.p232-235.p274-282 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を熟読する。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて、学んだ内容を自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 １時間
	第８回	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害と看護 【key words】 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害、治療、看護

		【授業概要】 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害の症状とその特徴、治療を知り、観察の視点を理解する。また、精神症状が生活に及ぼす影響から支援を考えることを狙いとし、観察ポイント、アセスメントの視点、看護のポイントを説明する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.p146-152.p303-307.p313-317.p324-329 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を熟読する。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて、学んだ内容を自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 １時間
	第９回	中間試験、精神科医療の現状（DVD） 【key words】 第１回～第８回のkey wordに準ずる、精神科医療 【授業概要】 第１回～８回までの学習内容を知識として身に着けられるよう中間試験を行う。 精神科医療の現状についてDVDを視聴し、第１０回の授業内容の導入とする。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第１０回	治療と看護（１）：精神科病棟の特徴、精神保健福祉法における行動制限とリスクマネジメント 【key words】 精神科病棟の構造、入院する精神疾患患者の特徴、精神保健福祉法、行動制限、リスクマネジメント 【授業概要】 精神科病棟の構造上の特殊性や入院する精神疾患患者の特徴を知り、必要な支援について考える。 精神保健福祉法の観点から行動制限の治療的目的を知り、安全を守るためのリスクマネジメントについて理解する。また、患者の人権擁護の視点から看護の役割を考えることを狙いとする。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019,p172-183.p184-202 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を熟読する。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて、学んだ内容を自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 １時間
	第１１回	治療と看護（２）：薬物療法、精神科治療の基礎と看護 【key words】 薬物療法、精神療法、認知行動療法、電気けいれん療法、治療時の看護 【授業概要】 薬物療法、精神療法、認知行動療法、電気けいれん療法等の精神科治療が身体に及ぼす影響を知り、患者が受け入れられる支援を考える。また、これらの治療が生活に及ぼす影響から看護の役割を説明する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019，p75-105 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を熟読する。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて、学んだ内容を自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 １時間
	第１２回	治療と看護（３）：精神科治療の実践と看護 【key words】 環境療法、社会療法、作業療法、治療時の看護 【授業概要】 環境療法、社会療法、作業療法等の治療が身体に及ぼす影響を知り、患者が受け入れられる支援を考える。また、これらの治療が生活に及ぼす影響から看護の役割を説明する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019，p106-117 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を熟読する。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて、学んだ内容を自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 １時間
	第１３回	治療と看護（4）：治療的環境と看護 【key words】 治療的環境、治療共同体、コミュニティ・ミーティング 【授業概要】 治療的環境や治療共同体とは何か、治療的環境を整えるための視点や支援を理解する。 コミュニティ・ミーティングを模擬体験する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：学んだ内容を自己学習ノートにまとめる。

	【予習復習に必要な想定時間】 １時間 第１４回　精神科看護の実際（１）：精神科における観察とアセスメント、精神科における身体のケア 【key words】 入院中の観察、アセスメント、ケアプラン、精神科における身体のケア 【授業概要】 精神科における観察の目的や方法、また精神科アセスメントの特徴を理解し、患者とともにケアの方向性を考える必要性を理解する。 精神科における身体を通したケアの意味を考え、身体合併症や身体症状に対するケアの実際を説明する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.p337-345 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：事前配布資料と教科書の該当箇所を熟読する。 復習：学んだ内容を自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 １時間 第１５回　精神科看護の実際（２）：精神科リハビリテーション看護 【key words】 精神科リハビリテーション看護、社会資源、チーム医療、リカバリー、地域包括支援（ACT） 【授業概要】 精神医療・看護におけるリハビリテーションの意味を理解し、精神障がい者のリカバリーを基本とした退院支援の実際を理解する。また、精神科におけるチーム医療の必要性と看護の役割について、近年行われている地域包括支援（ACT）を含めて説明する。 【教科書ページ・参考文献】 精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.p218-222 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当箇所を熟読する。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて、学んだ内容を自己学習ノートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 １時間
受講生に関わる情報および受講のルール	精神に関する科目、精神看護学概論で得た知識を繋げて履修すること。 予習・復習で学習を整理し、新たな課題を見出す能動的な学習を展開する。 授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語・携帯電話）は厳禁。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	授業前は授業計画に沿って教科書学習を行う。授業後は講義資料を復習する。
オフィスアワー	授業についての質問は授業終了後1時間受け付ける。
評価方法	中間試験、定期試験、課題レポートの総合評価で60%以上を単位認定とする。
教科書	川野雅資編集：精神看護学Ⅰ「精神保健看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019. 川野雅資編集：精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」第6版，ヌーベル・ヒロカワ，2019.
参考書	授業内で適宜紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 精神科病院・精神科デイケア・精神科訪問看護等の実務経験を有し、教育活動実践者である。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 成人看護学概論　　授業コード： 20100

英文科目名称： Introduction to nursing for adults

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年次	2単位(30)	必修
担当教員			
大山真貴子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 成人期のある人の特徴と成人を取り巻く社会背景の踏まえた身体的，心理・社会的課題を理解する。また，成人期の健康問題に対して，成人看護の基盤となる考え方や理論について学修する。
授業の概要	成人看護に関連する保健・医療・福祉における動向や課題，成人期にある人を取り巻く環境から生じる健康障害や健康に対する多様な価値観としてその人がその人らしく生きることを支える看護の基本的役割について15回を通して学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画	第１回	オリエンテーション授業の受け方、予習・復習について、評価方法について、グループワークについて説明 【key words】 成人　経過別の看護 【授業概要】 ″科目のオリエンテーションと授業スケジュールの説明 ライフサイクルの理解と成人とは，生活者とはについて学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門Ⅱ　成人看護学総論　第1章　成人と生活　第2章　生活と健康　P4～P63 【課題・予習・復習・授業準備指示】 字h後課題を提示する。 テキストを読んでおくこと 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２回	成人各期の身体，心理・社会的特徴 【key words】 成人期の身体，心理・社会的特徴 【授業概要】 前回の講義を振り返り，成人期の特徴を理解する 【教科書ページ・参考文献】 ・系統看護学講座　専門Ⅱ　成人看護学総論　第1章　成人と生活　第2章　生活と健康　P4～P63 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事後課題を提示する。 テキストを読んで授業に臨むこと 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第３回	成人期の発達課題と社会背景 【key words】 発達理論，発達危機，成人の学習理論　アンドラゴジー，エンパワメント 【授業概要】 グループに分かれて、青年期、成人期の様々な特徴及び成人期に生じやすい健康問題の特徴を具体的に調べ、レポートする 【教科書ページ・参考文献】 ・系統看護学講座　専門Ⅱ　成人看護学総論　第1章　成人と生活　第2章　生活と健康　P4～P63 ・看護のための人間発達学 【課題・予習・復習・授業準備指示】

		テキストを読んで授業に臨むこと　　ＧＷメンバーとのコミュニケーションを円滑にしてワークが活発にできるように臨む 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第４回	成人保健の動向 【key words】 生活習慣病，がん，脳卒中な 【授業概要】 成人期に生じやすい健康障害と成人保健について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 ・系統看護学講座　専門Ⅱ　成人看護学総論　第1章　成人と生活　第2章　生活と健康　P4～P63 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事後課題を提示する テキストを読んで授業に臨むこと 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第５回	健康レベルに応じた成人期の看護 【key words】 急性期看護，回復期間後 【授業概要】 経過別看護のなかで，救急看護やクリティカル看護，リハビリテーション看護について概要を学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 ・系統看護学講座　専門Ⅱ　成人看護学総論　第1章　成人と生活　第2章　生活と健康　P4～P63 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事後課題を提示する。 テキストを読んで授業に臨むこと 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第６回	健康レベルに応じた成人期の看護 【key words】 慢性期看護　終末期看護 【授業概要】 経過別看護のなかで，慢性疾患やがんの終末期における看護について概要を学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 ・系統看護学講座　専門Ⅱ　成人看護学総論　第1章　成人と生活　第2章　生活と健康　P4～P63 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事後課題を提示する。 テキストを読んで授業に臨むこと 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第７回	成人への看護アプローチの基本　成人看護の目的と特性、アプローチの基本 【key words】 大人の学習　行動変容　意志決定支援　チームアプローチ 【授業概要】 〞成人を取り巻く健康問題と、看護の関わりについて学習する、中でも様々な看護のアプローチについて学習する。又、大人の健康行動のとらえ方を理解する。 患者の意思決定を支援するということはどのようなことか、又看護師の役割は何かを考える。　〞 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門Ⅱ　成人看護学総論　第3章P90～P148 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事後課題を提示する。 テキストを読んで授業に臨むこと 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第８回	成人の健康レベルに対応した看護　ヘルスプロモーションを理解する 【key words】 成人看護の場　健康の保持増進　ヘルスプロモーション 【授業概要】 成人の健康保持、増進に関わる看護の考え方として代表的な概念であるエンパワメント、ヘルスプロモーションを取り上げその考え方を理解する。 〟 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門Ⅱ　成人看護学総論　1章、2章、第4章P152～P168　国民衛生の動向 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事後課題を提示する。 テキストを読んで授業に臨むこと 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第９回	チーム医療における基礎　IPE 【key words】 協働 【授業概要】 成人期にある対象の看護実践場面で展開されている。臨床におけるチーム医療について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 教員が配布する資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事後課題を提示する 【予習復習に必要な想定時間】

	60分 第１０回　疾患を持つ人の看護の関する　GW__1 【key words】 グループ学習 【授業概要】 GWを実施する。 事例を提示，調べ学習とグループワークの方法を理解し，メンバーと展開していきながら課題を達成することを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 GWの計画に沿って，メンバーと協議すること 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１１回　疾患を持つ人の看護の関する　GW__2) 【key words】 【授業概要】 健康を脅かす様々な要因について実態を知り、成人期の人々の健康逸脱・疾病時の看護について，グループで討議する 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門Ⅱ　成人看護学総論　　6章P190～P212 【課題・予習・復習・授業準備指示】 GWの計画に沿って，メンバーと協議すること 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１２回　疾患を持つ人の看護の関する　GW__2 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門Ⅱ　成人看護学総論　　7章P214～P231、10章P274～P292 【課題・予習・復習・授業準備指示】 GWの計画に沿って，メンバーと協議すること 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１３回　疾患を持つ人の看護の関する　GW__3 【key words】 協働 【授業概要】 成果発表の準備をする。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 グループ内で討議する 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１４回　疾患を持つ人の看護の関する　発表会 【key words】 プレゼンテーション 【授業概要】 3回にわたるGWの成果発表をする 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60分（発表委準備をグループメンバーと行うこと） 第１５回　これまでの講義のまとめとミニテスト 【key words】 成人看護に必要な基本的知識 【授業概要】 ミニテストを実施，その解説を行う。 【教科書ページ・参考文献】 これまでの配布資料と成人看護学総論の全ページを対象とする 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講に関わる情報〕 ・この科目は成人看護学実習ⅠおよびⅡの履修要件となっている。 ・講義は事後課題を課す。 ・グループワークは、リーダーを決め、計画的にかつ主体的に取り組むこと 〔受講のルール〕 ・出席カードおよび事後課題を提出すること。 ・事前に、授業概要及びシラバスを必ず確認し、その授業での自己の達成目標を明確にしたうえで、積極的に授業に 　・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁。

毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	出席に質問を記載た場合，成績に加点する。加点は1点
授業外時間にかかわる情報	授業計画に示されている文献は必ず確認し、理解をして授業に臨むこと。わからない部分を授業で解決するよう努力すること。
オフィスアワー	水曜日12時～13時 ＊事前に連絡をすることが望ましい。
評価方法	筆記試験（客観・論述）80%、事後課題と課題レポート等20% 総合評価は、筆記試験、課題レポート等を合わせて60%を超えていることが前提となる。
教科書	1)　小松浩子他　系統看護学講座成人看護学〔1〕成人看護学総論　医学書院
参考書	厚生労働統計協会　国民衛生の動向
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 高齢者看護学概論　　授業コード： 20108

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年次	２単位(30)	必修
担当教員			
平出　恵子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【目的】高齢者看護を理解するための基礎知識を学ぶ。 【目標】①老いを生きる高齢者その人に焦点をあて、エイジングや発達課題について理解する。 ②高齢社会における保健・医療・福祉の動向とその課題について理解を深める。 ③高齢者の健康問題と回復過程及びライフサイクルの最終段階にある死の疑念と支援について理解する。 ④高齢者の自立と権利を知り、それらを阻む虐待や拘束などの実態から高齢者を守るための諸制度について理解する。 ⑤高齢者看護の理念・定義を知り、その実践と責務について理解する。
授業の概要	今日の高齢社会の諸相を統計的側面でとらえ、高齢者を取り巻く保健・医療・福祉の動向と課題を学ぶ。 加齢による身体的・心理的・社会的変化の特徴と発達課題を学び、高齢者体験をとおして、高齢者の日常生活の不自由さが　心と身体に及ぼす影響を知る。 それらを通して、高齢者看護の理念並びに高齢者看護の視点で洞察することができるようにする。 高齢者の健康生活を守るために、看護の視点でアドバイスするプロジェクト学習を行う。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画		
	第１回	科目オリエンテーション、高齢者看護学概論の概要（授業内容・課題・グループワーク・評価方法等）、 高齢者の定義、高齢社会の統計的輪郭 【key words】 高齢者の定義、少子高齢化、高齢化率 【授業概要】 高齢者の定義を学び、看護するために高齢者を知ることの重要性を学ぶ。高齢化の現状を国民衛生の動向を用いて少子高齢化の現状と高齢化率について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院；第１章ｐ1～3　第2章ｐ24～28 厚生労働統計協会　国民衛生の動向2022/2023；第2編衛生の主要指標第1章人口静態、第3章生命表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義後、「地域で生活する高齢者を知ろう①」の課題１に取り組む。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第２回	高齢者の理解　加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化の特徴、老年期の発達課題 【key words】 老いる、加齢と老化、加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化の特徴、老年期の発達課題（エリクソン・ハヴィガースト 【授業概要】 老いるということ、加齢と老化の関係、生理的老化と病的老化、老化学説、加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化の特徴、ライフサイクルにおける老年期の発達課題を学ぶ。次回の高齢者体験演習の概要がわかる。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院第１章ｐ４～１９ 参考文献：舟島なをみ　看護のための人間発達学　医学書院第9章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題「地域で生活する高齢者を知ろう②」を記入し、加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化の特徴を考えてまとめる。高齢者体験演習の服装等の準備ができる。

		【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第３回	高齢者の理解　高齢者体験演習 【key words】 高齢者体験、高齢者に対するイメージ 【授業概要】 高齢者体験をとおして、高齢者が感じる日常生活の不自由さが心と身体に及ぼす影響を知る。 課題「地域で生活する高齢者を知ろう①②」の課題のコピー持参し提出 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院第１章ｐ４ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 高齢者体験で気づいた高齢者の加齢による身体的・精神的・社会的特徴と学びをレポートにまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第４回	高齢社会の統計的輪郭（少子高齢化、高齢者の健康状態、暮らし） 【key words】 高齢者の健康状態（有訴率、受療状況）・暮らし（経済状態、住まい、就業、社会活動、参加）、健康寿命 【授業概要】 高齢者の健康状態について統計的指標をもとに学ぶ。 実在する高齢者の情報から高齢者の健康状態について考える。 【教科書ページ・参考文献】 専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院第１章ｐ19～22、第2章ｐ28～36 国民衛生の動向2022/2023；第2編　第4章健康状態と受療状況 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題「地域で生活する高齢者を知ろう②」を持参して授業に臨む。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第５回	高齢社会と社会保障 ①高齢者に関わる保健医療福祉システムの構築と概要　②介護保険制度の整備 【key words】 保健医療福祉システム、地域包括システム、介護保険制度、高齢者医療確保法 【授業概要】 高齢社会における保健医療福祉の変遷を高齢化率と関連づけて学ぶ。 介護保険制度の概要を学ぶ。 高齢者を支える多様な職種と看護活動の拡大と専門化、ソーシャルサポートについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院第１章ｐ36～54 国民衛生の動向2022/2023；第3編第2章保健対策２老人保健、第４編第2章医療保険制度、第5編第1章介護保険制度の概要 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書および国民衛生の動向の該当ページについて、読んでまとめておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第６回	高齢者の生活と健康（高齢者の健康生活を理解するためのグループワーク）① 【key words】 高齢者、健康生活、プロジェクト学習、ポートフォリオ、俯瞰 【授業概要】 高齢者の健康生活を守るプロジェクト学習の概要と進め方がわかる。 高齢者の健康生活を守るために看護の視点でアドバイスを考える。 グループ内でアドバイスする身近な高齢者1人の候補を決め、高齢者が生活する中で困っていることは何かを情報共有し整理する。 高齢者の困っていることと、身体の加齢変化との関連を考える。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院第1章p7～22　第４章ｐ19～36 プロジェクト学習に関する資料を配布します。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 「地域で生活する高齢者を知ろう①②」課題から、生活の中で困っている問題を書き出して授業に持参する。 自己の成長させたい能力を考えて、ワークシートに記入する。 【予習復習に必要な想定時間】 グループメンバーで話し合い60分程度
	第７回	高齢者の生活と健康（高齢者の健康生活を理解するためのグループワーク）② 【key words】 高齢者、健康生活、プロジェクト学習、課題発見、計画、俯瞰 【授業概要】 高齢者の現状（情報）を理解するために必要な知識（解剖学や病態学等）をグループで調べる。 高齢者自身が自立した生活を送れるためには、生活改善として必要なことを看護の視点で考える。 対処と解決策の違いを理解する。 【教科書ページ・参考文献】 専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院第1章p7～22　第４章ｐ19～36 参考文献：解剖生理学、〔1〕病理学〔2〕病態生理学〔3〕薬理学 【課題・予習・復習・授業準備指示】 グループの目標と工程表（スケジュール）をグループで作成する。

		高齢者の情報に関する必要な知識（解剖学・生理学・病態学・薬理学等）の不足をグループで協力して調べる。 【予習復習に必要な想定時間】 グループメンバーで話し合い60分程度
	第８回	高齢者の生活と健康（高齢者の健康生活を理解するためのグループワーク）③ 【key words】 高齢者　　健康問題　プロジェクト学習　課題解決策 【授業概要】 高齢者の目指す状態（目標）と現状を照らし合わせて原因究明する。 得られている情報（S・0情報）を整理して、看護の視点で課題解決策案を考える。 課題解決策案は、高齢者自身に役立つものかをグループで検討する。 【教科書ページ・参考文献】 専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院第1章p7～22　第４章ｐ19～36 参考文献：解剖生理学、〔1〕病理学〔2〕病態生理学〔3〕薬理学 【課題・予習・復習・授業準備指示】 得られた情報を整理し、課題を明確にまとめる。 課題解決策の案を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 グループメンバーで話し合い60分程度
	第９回	高齢者の生活と健康（高齢者の健康生活を理解するためのグループワーク）④ 【key words】 高齢者　　健康問題　プロジェクト学習　課題解決策 【授業概要】 グループで下案を作成する。 アドバイスする高齢者のS・0情報を整理し、課題解決の具体的な方法をアドバイスとして整理する。 課題解決の具体的な方法が、役立つ内容かをグループで考える。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院第1章p7～22　第４章ｐ19～36 参考文献：専門分野Ⅱ　成人看護学 【課題・予習・復習・授業準備指示】 グループで下案作成に向けて相談する。 【予習復習に必要な想定時間】 グループメンバーで話し合い60分程度
	第１０回	高齢者の生活と健康（高齢者の健康生活を理解するためのグループワーク）⑤制作 【key words】 高齢者　　健康問題　プロジェクト学習　課題解決策　プレゼンテーション 【授業概要】 グループでプレゼンテーションの制作物の案を考える。 課題解決の具体的な方法をわかりやすく表現する。 全体のバランスを考えて、スライドをグループで仕上げる。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院第1章p7～22　第４章ｐ19～36 参考文献：専門分野Ⅱ　成人看護学 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題（１）加齢による変化に関する知識確認　課題（２）高齢者虐待等に関する新聞記事等を調べて記事概要の要約、自己の意見をレポート提出する。 【予習復習に必要な想定時間】
	第１１回	高齢者の生活と健康（高齢者の健康生活を理解するためのグループワーク）⑥制作 【key words】 高齢者　健康問題　プロジェクト学習　階大解決策　プレゼンテーション 【授業概要】 加齢による変化に関する知識確認の答え合わせを行う。 グループでプレゼンテーションの最終確認を行う。 プレゼンテーション（３分間）の発表内容・方法（ロールプレイング等）・工夫を考える。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院第1章p7～22　第４章ｐ19～36 参考文献：専門分野Ⅱ　成人看護学 【課題・予習・復習・授業準備指示】 プレゼンテーションの準備ができる。 【予習復習に必要な想定時間】 グループメンバーで話し合い60分程度
	第１２回	高齢者の生活と健康（高齢者の健康生活を理解するためのグループワーク）⑦発表 【key words】 高齢者、健康生活、プロジェクト学習、プレゼンテーション、相互評価、再構築 【授業概要】 グループ毎にプレゼンテーションを行う。 相互評価で、互いのグループの改善点を見つけ、高め合うことができる。（互いに学び合い成長できる。） 再構築のポイントについてわかる。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院第1章p7～22　第４章ｐ19～36 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ピンクとブルーの付箋（大き目）を各30枚程度、各自で持参する。 他者からの評価で良かった点、改善点についての他者評価をまとめる。 再構築の方向性について、グループメンバー間で確認する。 【予習復習に必要な想定時間】 グループメンバーで話し合い60分程度

	第１３回　高齢者の生活と健康（高齢者の健康生活を理解するためのグループワーク）⑧発表 【key words】 高齢者　健康問題　プロジェクト学習　プレゼンテーション　相互評価　再構築 【授業概要】 グループ毎にプレゼンテーションを行う。 相互評価で、互いのグループの改善点を見つけ、高め合うことができる。 互いに学び合い成長できる。再構築について理解できる。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院第1章p7～22　第４章ｐ19～36 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ピンクとブルーの付箋（大き目）を各３０枚程度、各自で持参し使用する。 グループで、相互評価の他者からの評価で良かった点、改善点についての他者評価をまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 グループメンバーで話し合い60分程度 第１４回　高齢社会の権利擁護の概要について　１）高齢者虐待　２）身体拘束　３）権利擁護のための制度（成年後見制度、日常生活自立支援事業） 【key words】 スティグマ、エイジズム、アドボカシー、高齢者虐待、身体拘束、成年後見制度、日常生活自立支援事業 【授業概要】 スティグマ、エイジズム、アドボカシー、高齢者虐待、身体拘束、成年後見制度、日常生活自立支援事業 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院第１章ｐ54～67 【課題・予習・復習・授業準備指示】 プロジェクト学習の再構築をグループで進める。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度 第１５回　高齢者看護の理念　①老年看護の定義と役割 ②高齢者看護における理論・概念の活用　③高齢者のための国連原則　④生活・療養の場における看護 【key words】 老年看護の定義、老年看護の役割、高齢者のための国連原則、高齢者看護における理論・概念、家族の看護、プロジェクト学習　再構築　成長確認 【授業概要】 老年看護の定義と役割、高齢者看護で活用できる理論・概念、高齢者のための国連原則、高齢者の意思決定にする能力を信頼支援する意義、実践に必要となる理論や支援・専門化としての責務について学ぶ。プロジェクト学習の再構築、グループメンバーでお互いの成長を伝え合う。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院； 第３章ｐ70～83　第２章ｐ50～54　第９章ｐ360～385 【課題・予習・復習・授業準備指示】 これまでの学習内容を俯瞰して、自身の高齢者像について考察し、成長報告書を作成する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
受講生に関わる情報および受講のルール	・1回～15回の講義を通して、高齢者看護を理解するための基礎を学びます。高齢者看護を保健・医療・福祉の側面から捉え、その動向を知ることで高齢者看護をより深く理解できるように組み立てています。 ・プロジェクト学習は、全員がリーダーとして計画的に主体的に取り組むこと ・グループでの疑問等については、早めにオフィスアワー等を活用して相談し解決すること ・プロジェクト学習ではポートフォリオを活用するため、A４ファイルを1冊準備すること ・事前に授業概要およびシラバスを確認し、授業に臨むこと ・欠席・忘れ物をしないで、予習・復習をして授業に参加するように努力すること
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する
オフィスアワー	授業終了後から17：30まで
評価方法	筆記試験（客観・論述）50%、課題レポート・プロジェクト学習（ポートフォリオ・成果集・成長報告書・出席状況等50%で総合評価する。 課題レポートの内容については、オリエンテーション時に提示する。 総合評価は筆記試験・課題レポート・プロジェクト学習等を合わせて60%を超えることが前提となる。
教科書	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　「老年看護学」「老年看護病態・疾患論」　医学書院 国民衛生の動向2023/2024　厚生労働統計協会
参考書	老年看護学関連出版物、随時資料を提示
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート

	■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 特別支援教育論　　授業コード： 20224

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2	選択必修
担当教員			
鈴木　淳　小林　義信			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	通常の学級にも在籍している発達障害や毛糸知的障害等、様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童、生徒の授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身につけていくことができるよう、子ども達の学習上または生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な基礎的な知識や支援方法を理解する。
授業の概要	テキストをもとに、特別支援教育の制度、内容、発達障害等の障害特性、通常学校における特別支援教育、学級経営、生活指導、授業づくり、教育課程、個別の教育支援計画、個別の指導計画、特別h支援教育コーディネーターの役割、家庭や地域との連携、支援体制、外国籍の児童生徒等への支援について学習する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	◎
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	◎
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第1回　オリエンテーション、本講義の目的　　特別支援教育の概要

【key words】
特別支援教育、重複障害、盲聾、点字。指文字
【授業概要】
オリエンテーションを受けることで本講義の概要、目的、評価方法等を理解し、各自の学修の見通しを持つ。重複障害教育の実践映像を視聴することで、特別支援教育の実際に触れる。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
シラバスや教科書の目次等を読んでおく。日頃から新聞、インターネット等で特別支援教育関係の生地の情報収集をしておく。
受講のルール参照

【予習復習に必要な想定時間】
受講のルール参照

第2回　特別支援教育の変遷、統合教育　インクルーシブ教育　特別支援教育の現行制度

【key words】
特別支援教育の理念　統合教育　インクルーシブ教育　特別支援学校　特別支援学級
通級　指導教室

【授業概要】
教科書の内容を中心に説明をしていく。その過程で、必要に応じて学生に質問をし、理解度を確認する。キーワードについては、内容を理解し説明できるようにする。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P10～P23
【課題・予習・復習・授業準備指示】
シラバスや教科書の目次等を読んでおく。日頃から新聞、インターネット等で特別支援教育関係の生地の情報収集をしておく。
【予習復習に必要な想定時間】
受講のルール参照

第3回　障害特性の理解と学習指導・生活指導①　視覚障害

【key words】
視機能、盲、弱視、触覚特性、ブラインディズム
【授業概要】
視覚の生理と病理、視機能、盲と弱視、視覚障害児の心理特性、視覚障害児に対する教科指導と生活指導の基本的な配慮事項について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
教科書　P152～P165
【課題・予習・復習・授業準備指示】
シラバスや教科書の目次等を読んでおく。日頃から新聞、インターネット等で特別支援教育関係の生地の情報収集をしておく。
【予習復習に必要な想定時間】
受講のルール参照

第4回　障害特性の理解と学習指導・生活指導②　聴覚・言語障害１
【key words】
ことばの鎖　言語取得　speechとlangage　聞こえの仕組み　難聴
【授業概要】
聴覚・言語の整理と病理、言語発達、聴覚・言語障害の臨床類型、聴力レベルと聴覚保障、聴覚・言語障害児の言語と心理、聴覚・言語障害児に対する教科指導と生活指導の基本的な配慮事項について学ぶ
【教科書ページ・参考文献】
教科書P166～P181
【課題・予習・復習・授業準備指示】
シラバスや教科書の目次等を読んでおく。日頃から新聞、インターネット等で特別支援教育関係の生地の情報収集をしておく。
【予習復習に必要な想定時間】
受講のルール参照

第5回　障害特性の理解と学習指導・生活指導③　聴覚・言語障害２
【key words】
構音障害　吃音　音声障害　　言語発達の遅れ
【授業概要】
聴覚・言語の整理と病理、言語発達、聴覚・言語障害の臨床累計、聴力レベルと聴覚保障、聴覚・言語障害児の言語と心理、聴覚・言語障害児に対する教科指導と生活指導の基本的な配慮事項について学ぶ
【教科書ページ・参考文献】
教科書P134～p151
【課題・予習・復習・授業準備指示】
シラバスや教科書の目次等を読んでおく。日頃から新聞、インターネット等で特別支援教育関係の生地の情報収集をしておく。
【予習復習に必要な想定時間】
受講のルール参照

第6回　障害特性の理解　音と学習指導・生活指導④　知的障害
【key words】
IQ　社会適応行動　知的発達　運動発達　重複障害

【授業概要】
知的精神活動と大脳機能，ＡＡＩＤＤによる知的障害の定義、知的障碍児の心理特性、知的障碍児に対する教科指導と生活指導の基本的な配慮事項について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P210～P219

【課題・予習・復習・授業準備指示】
シラバスや教科書の目次等を読んでおく。日頃から新聞、インターネット等で特別支援教育関係の生地の情報収集をしておく。
【予習復習に必要な想定時間】
受講のルール参照

第7回　障害特性の理解　音と学習指導・生活指導⑤　発達障害、情緒障害
【key words】
発達障碍者支援法、学習障害、注意欠陥移動性障害　自閉症スペクトラム障害　情緒障害
【授業概要】
発達障碍者支援法、発達障害の臨床特性（ＬＤ，ＡＤＨＤ，ＡＳＤ）、発達障害児に対する教科指導と生活指導の基本的な配慮事項、情緒障害の特徴と教育的・福祉的配慮事項について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P78～P133
【課題・予習・復習・授業準備指示】
シラバスや教科書の目次等を読んでおく。日頃から新聞、インターネット等で特別支援教育関係の生地の情報収集をしておく。
【予習復習に必要な想定時間】
受講のルール参照

第8回　障害特性の理解　音と学習指導・生活指導⑥　肢体不自由（運動機能障害）、摂食嚥下障害
【key words】
姿勢　運動　感覚　摂食嚥下　リスク管理
【授業概要】
四肢・頭頚部体幹、運動と感覚の生理・病理、運動発達、肢体不自由児の心理特性、肢体不自由児に対する教科指導と生活指導の基本的な配慮事項、摂食嚥下障害における食事介助とリスク管理について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P182～P195
【課題・予習・復習・授業準備指示】
シラバスや教科書の目次等を読んでおく。日頃から新聞、インターネット等で特別支援教育関係の生地の情報収集をしておく。
【予習復習に必要な想定時間】
受講のルール参照

第9回　障害特性の理解　音と学習指導・生活指導⑦　病弱・身体虚弱（内部障害）
【key words】
学習空白　　自己管理支援　自尊感情　医療的ケア　特定行為

		【授業概要】 代表的な内部障害の病態とそれに伴う生活制限、病弱・身体虚弱児の心理特性、病弱・身体虚弱児に対する教科指導と生活指導の基本的な配慮事項、特別支援教育における医療的ケアについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P196～P209 【課題・予習・復習・授業準備指示】 シラバスや教科書の目次等を読んでおく。日頃から新聞、インターネット等で特別支援教育関係の生地の情報収集をしておく 【予習復習に必要な想定時間】 受講のルール参照
	第10回	障害はないが特別な教育的ニーズがある子供たちの学習上または生活上の困難とその対応 【key words】 外国につながる子ども、国籍、就学義務、日本語教室、double limited　絶対的貧困　相対的貧困　　子どもの権利条約　　児童相談所　虐待 【授業概要】 生活の根幹に影響を及ぼしかねない　①外国語母語・外国籍あるいは　②生活困窮・貧困という社会状況下の子どもたちの多様なニーズと教育支援について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書Ｐ220～Ｐ235 【課題・予習・復習・授業準備指示】 シラバス、教科書を読んでおく。日頃から新聞、インターネット等で特別支援教育関係の記事の情報収集をしておく。キーワードについては、内容を確認しておく。 【予習復習に必要な想定時間】 受講のルール参照
	第11回	特別支援学校における教育の仕組みとその実際（特別支援学校とは、障害種に応じた特別支援学校）① 【key words】 学校教育法第72条　訪問教育　個別の指導計画　　個別の教育支援計画　認定特別支援学校就学者　知的障害　肢体不自由　病弱　視覚障害　聴覚障害 【授業概要】 教科書の内容を中心に説明していく。その過程で、必要に応じて学生に質問をし、理解度を確認する。気k-ワードについては内容を理解し説明できるようにする。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P51～P58 【課題・予習・復習・授業準備指示】 シラバスや教科書の目次等を読んでおく。日頃から新聞、インターネット等で特別支援教育関係の生地の情報収集をしておく。 【予習復習に必要な想定時間】 受講のルール参照
	第12回	特別支援学校における教育の仕組みとその実際（教育課程　各教科　各教科等を併せた指導自立活動）② 【key words】 準ずる教育、特別な教育課程　生活科　日常生活の指導　遊びの指導　生活単元学習　作業学習　自立活動　特別支援教育のセンター的機能 【授業概要】 教科書の内容を中心に説明していく。その過程で、必要に応じて学生に質問をし、理解度を確認する。気k-ワードについては内容を理解し説明できるようにする。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P51～P59 【課題・予習・復習・授業準備指示】 シラバスや教科書の目次等を読んでおく。日頃から新聞、インターネット等で特別支援教育関係の生地の情報収集をしておく。 【予習復習に必要な想定時間】 受講のルール参照
	第13回	小・中学校における特別支援教育の仕組み（特別支援教育コーディネーター　各機関・家庭との連携） 【key words】 特別支援学校のセンター的機能　特別支援教育コーディネーター　発達障害（LD　ADHD　広汎性発達障害） 【授業概要】 教科書の内容を中心に説明していく。その過程で、必要に応じて学生に質問をし、理解度を確認する。気k-ワードについては内容を理解し説明できるようにする。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P24～p33　P58～P59 【課題・予習・復習・授業準備指示】 シラバスや教科書の目次等を読んでおく。日頃から新聞、インターネット等で特別支援教育関係の生地の情報収集をしておく。 【予習復習に必要な想定時間】 受講のルール参照
	第14回	特別支援学級や通級による指導の仕組みとその実際 【key words】 特別支援学級　通級による指導　対象とする障害種　教育課程　自立活動 【授業概要】 教科書の内容を中心に説明をしていく。その過程で、必要に応じて学生に質問をし、理解度を確認する。キーワードについては、内容を理解し説明できるようにする。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P36～P45 【課題・予習・復習・授業準備指示】 シラバスや教科書の目次等を読んでおく。日頃から新聞、インターネット等で特別支援教育関係の生地の情報収集をしておく。 【予習復習に必要な想定時間】

	受講のルール参照 第15回　就学までの支援の仕組みとその実際 【key words】 早期発見・早期支援、言葉の発達　乳幼児健康診査　就学児健康診断 【授業概要】 教科書の内容を中心に説明していく。その過程では必要に応じて学生に質問をし、理解度を確認する。キーワードについては、内容を理解し説明できるようにする。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P62～P74 【課題・予習・復習・授業準備指示】 シラバスや教科書の目次等を読んでおく。日頃から新聞、インターネット等で特別支援教育関係の生地の情報収集をしておく。 【予習復習に必要な想定時間】 受講のルール参照
受講生に関わる情報および受講のルール	1　教科書を事前に読んで予習をしておくこと。（1時間程度） 2　学修の過程で生じた疑問等は積極的に質問して、内容理解に努める。 3　授業後復習することで内容理解につとめる。（1時間程度） 4　やむを得ず欠席する場合にはメール等で必ず講師に連絡する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	授業中に質問できなかった事項については、コメントカードやメール等を利用して早めに担当教員にコンタクトを取り、疑問のまま放置しない。学習の進捗状況については、コメントカード、授業中の質問、ワークシート等で確認する。
授業外時間にかかわる情報	1　特別支援教育に関する情報を日頃から新聞記事やインターネット等で収集に努める。
オフィスアワー	小林　火・水（17時～18時）　2号館　2回　高等教育支援センター室 鈴木　水（17時～19時）　1号館　2回204研究室
評価方法	レポート30パーセント　試験70パーセント
教科書	大塚玲　編著　「教員をめざすための特別支援教育入門」萌文書林
参考書	湯浅恭正編「よくわかる特別支援教育」第2版　ミネルヴァ書房 文部科学省　特別支援学校　幼稚部教育要領　小学部・中学部学習指導要領 河合康・小宮三弥編著　「わかりやすく学べる特別支援教育と障害児の心理・行動特性」北樹出版
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 （小林） 群馬県立の特別支援学校（知的特別支援学校・肢体不自由特別支援学校）での教諭としての勤務年数31年間、教頭としての勤務年数2年間、副校長としての勤務年数1年間、校長としての勤務年数3年間をもとに、特別支援学校における教育実習の基礎的知識（教育実習の意義、学校組織、生徒理解、学習指導案の作成、授業研究の仕方等）について指導する。 （鈴木） 主に大学病院等で言語聴覚士として、乳幼児から高齢者まで広くリハビリテーション臨床に37年間従事してきた実務経験を有する。これには機能回復訓練習（治療）の他、家族支援、就学・復学・復職支援、多職種連携等含む。また、特別支援教育コーディネーターと協働して支援対象幼児・自動・生徒および担任教諭への専門アドバイスも行ってきた。大学では障害学生学習支援室支援コーディネーター教員も兼任している。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 総合的な学習の時間　　授業コード： 20223

英文科目名称： Hours for comprehensive studies

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2	選択
担当教員			
青木美穂子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	総合的な学習の時間の特徴である、探究的な見方・考え方・総合的・横断的な学習の仕方を理解し、各教科等の見方・考え方を総合的に活用して、児童生徒一人一人の豊かな学びの実現に向けた指導力を身につける。
授業の概要	小学校・中学校・高等学校の各学校段階における総合的な学習の時間に必要な知識・技能（学習指導要領・解説の理解、年間指導計画・単元計画の作成、各教科等の関連性、評価方法等）を身につける。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	◎

授業計画

第1回　オリエンテーション　進化し、教育課程の中核を担う総合的な学習の時間
【key words】
アクティブ・ラーニング　学びの地図　カリキュラムデザイン
【授業概要】
教育課程のちゅかくを担う総合的な学習の時間の重要性を理解する。
【教科書ページ・参考文献】
P8～15
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P16～21
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第2回　資質・能力の三つの柱と目標の改訂
【key words】
三つの柱　横断的・総合的　探究
【授業概要】
改訂された資質・能力の三つの柱と目標を理解する。
【教科書ページ・参考文献】
P16～21
【課題・予習・復習・授業準備指示】
ｐ22～27
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第3回　目標と内容のポイント
【key words】
総合的な学習の時間の目標と内容　資質・能力

【授業概要】
同号的な学習の時間の目標と内容を理解し、育成を目指す資質・能力を知る。
【教科書ページ・参考文献】
ｐ22～27
【課題・予習・復習・授業準備指示】
ｐ28～31
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第4回　他教科等で育成を目指す資質・能力との関連　日常生活や社会との関りの重視
【key words】
他教科との関連　日常生活とのかかわり
【授業概要】
他教科等で育成を目指す資質・能力との関連を理解する。

		【教科書ページ・参考文献】 p28～31 【課題・予習・復習・授業準備指示】 p32～41 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第5回	探究課題の解決 【key words】 探究課題　横断的・総合的な課題　地域や学校の特色　教務・関心 【授業概要】 横断的・総合的な課題　地域や学校の特色　興味・関心 【教科書ページ・参考文献】 p32～41 【課題・予習・復習・授業準備指示】 p42～55 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第6回	指導計画 【key words】 全体計画　年間計画　単元計画 【授業概要】 全体計画や年間計画・単元計画について理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 p42～55 【課題・予習・復習・授業準備指示】 p56～65 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第7回	学習指導（比較・分類、ICT活用、体験活動） 【key words】 比較・分類、ICT　体験活動 【授業概要】 比較・分類、関連図蹴る技法の活用やICTの活用、体験活動の充実等の指導方法を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 p56～67 【課題・予習・復習・授業準備指示】 p68～83 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第8回	学習指導（指導体制・地域教材・学習環境の活用、調査活動、プログラミング） 【key words】 指導体制、地域教材、プログラミング 【授業概要】 始動対絵師の工夫や地域教材の活用、調査活動やプログラミング体験の充実等の指導方法を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 p68～83 【課題・予習・復習・授業準備指示】 p84～93 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第9回	評価 【key words】 評価の基本　児童の評価　教師の評価　指導計画の評価 【授業概要】 評価の基本や児童の評価、教師の評価、指導計画の評価等を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 p84～93 【課題・予習・復習・授業準備指示】 p94～111 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第10回	新授業プラン（3年生）授業プラン作成の計画 【key words】 授業プラン（3年生） 【授業概要】 3年生の授業プラン例を学習し、自分の授業プラン作成の計画を立てる。 【教科書ページ・参考文献】 p94～111 【課題・予習・復習・授業準備指示】 p112～129 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第11回	新授業プラン(4年生) 【key words】 授業プラン（4年生） 【授業概要】 4年生の授業プラン例を学習し、自分の授業プランの作成に取り掛かる。 【教科書ページ・参考文献】 p112～129 【課題・予習・復習・授業準備指示】

	p130～147 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第12回　新授業プラン（5年生） 【key words】 授業プラン（5年生） 【授業概要】 5年生の授業プラン例を学習し、自分の授業プランの作成を進める。 【教科書ページ・参考文献】 p130～147 【課題・予習・復習・授業準備指示】 p148～165 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第13回　新授業プラン（6年生） 【key words】 授業プラン（6年生） 【授業概要】 6年生の授業プラン例を学習し、自分の授業プランの作成をまとめる。 【教科書ページ・参考文献】 p148～165 【課題・予習・復習・授業準備指示】 p112～165 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第14回　新授業プラン（中学生） 【key words】 授業プラン（中学生） 【授業概要】 中学1・2・3年生の授業プラン例を学習し、自分の学習プラン作成を仕上げる。 【教科書ページ・参考文献】 p112～165 【課題・予習・復習・授業準備指示】 まとめ 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第15回　授業プラン発表 【key words】 授業プラン発表 【授業概要】 作成したい授業プランを発表する。発表を聞いて互いに学びあう。 【教科書ページ・参考文献】 まとめ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 まとめ 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
受講生に関わる情報および受講のルール	誠意ある態度での受講を求めます。講義や実習等を妨げる態度や私語を慎んで下さい。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	授業中に指示します。
オフィスアワー	授業終了後30分
評価方法	レポート（授業プラン）作成と発表（80%）　授業態度（20%）を総合して評価します。
教科書	田村学編著　小学校新学習指導要領の展開　総合的な学習　明治図書　1800円+税
参考書	小・中・高等学校学習指導要領　総合的bな学習の時間編　文部科学省
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 群馬県公立小中学校教諭　群馬県公立小学校教頭　群馬県公立小学校校長を経験 群馬県利根郡昭和村教育委員会教育長職務代理（現職） アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等）

	■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 統計の基礎　　授業コード： 20226

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1	必修
担当教員			
白石憲一			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 近年のコンピューターの発達に伴い、看護学の分野で統計的手法を用いた研究が多くなり、こうした手法を理解することは今後ますます重要になってきている。授業の目的は統計学の基礎的な力を養成することにある。 【到達目標】 看護学研究を行う上での分析手法である統計学を習得し、研究を円滑に行っていく力を身につけることを到達目標とする。
授業の概要	統計学の基礎的な理論について学習し、さらに看護学に関連するデータを用いて、演習形式で学習する。また統計的手法を用いた実証分析の方法についても学習する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　イントロダクション
【key words】
無作為抽出、相関、分布
【授業概要】
授業の概要について理解する。

【教科書ページ・参考文献】
1頁～208頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。
【予習復習に必要な想定時間】
4時間

第２回　データの性質と分布の代表値
【key words】
量的変量、質的変量、平均値、中央値、最頻値

【授業概要】
データの分類方法と平均値、中央値、最頻値について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
16頁～19頁、24頁～29頁

【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。
【予習復習に必要な想定時間】
4時間

第３回　分布の散布度
【key words】
分散、標準偏差
【授業概要】
分散と標準偏差の計算方法について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
24頁～29頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

【予習復習に必要な想定時間】
4時間

第４回　無作為抽出

【key words】
無作為抽出
【授業概要】
無作為抽出の方法について、実例を通じて学習する。
【教科書ページ・参考文献】
80頁～83頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。
【予習復習に必要な想定時間】
4時間

第５回　散布図と相関

【key words】
散布図、相関
【授業概要】
散布図の描き方、相関の計算方法について学習する。

【教科書ページ・参考文献】
39頁～40頁、151頁～153頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。
【予習復習に必要な想定時間】
4時間

第６回　クロス集計

【key words】
クロス集計
【授業概要】
クロス集計の作成の仕方について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
145頁～147頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。
【予習復習に必要な想定時間】
4時間

第７回　保健統計

【key words】
公衆衛生、保健統計
【授業概要】
保健統計の見方について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
168頁～194頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。
【予習復習に必要な想定時間】
4時間

第８回　統計数字の読み方

【key words】
公衆衛生、保健統計
【授業概要】
保健統計の解釈の方法について学習する。

【教科書ページ・参考文献】
168頁～194頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。
【予習復習に必要な想定時間】
4時間

第９回　確率分布

【key words】
正規分布
【授業概要】
確率分布表の見方について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
67頁～70頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。
【予習復習に必要な想定時間】
4時間

第１０回　標準化

【key words】
標準化
【授業概要】
標準化のための計算方法について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
31頁～32頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。
【予習復習に必要な想定時間】

	4時間 第１１回　excelを用いたデータ処理 【key words】 excel 【授業概要】 excelを用いた初歩的なデータ分析の方法について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 20頁～34頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。 【予習復習に必要な想定時間】 4時間 第１２回　excelを用いたグラフ作成 【key words】 excel、グラフ 【授業概要】 excelを用いてグラフ作成の方法について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 35頁～44頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。 【予習復習に必要な想定時間】 4時間 第１３回　excelを用いた統計的検定 【key words】 ｔ検定 【授業概要】 excelを用いて統計的検定の方法について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 104頁～166頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。 【予習復習に必要な想定時間】 4時間 第１４回　excelを用いた回帰分析 【key words】 excel、回帰分析 【授業概要】 回帰分析の理論を学び、さらにexcelを用いて回帰分析の操作方法を学習する。 【教科書ページ・参考文献】 151頁～157頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。 【予習復習に必要な想定時間】 4時間 第１５回　統計学の利用法 【key words】 平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差、無作為抽出、相関、クロス集計、正規分布、エクセル、グラフ 【授業概要】 実例に沿って統計的手法の活用方法について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 1頁～208頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。 【予習復習に必要な想定時間】 4時間
受講生に関わる情報および受講のルール	パソコンを用いた演習も行うため、指定した日にノートパソコンの持参が求められる。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	必要とされる予備知識については、教科書を通読して事前に理解することが望まれる。授業で学習した内容は、教科書だけではなく、さまざまな文献やHP 等を参照して復習すると、理解がより深まる。
オフィスアワー	授業終了後30 分。
評価方法	試験（60%）、授業中の課題（40%）を総合して評価する。
教科書	高木晴良「統計学」（医学書院）最新版
参考書	ロウントリー「新・涙なしの統計学」（新世社）2001

実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 公衆衛生学(疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援と社会保障制度、保健医療福祉行政論)　授業コード： 20227

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	必修
担当教員			
大竹　一男			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】人々の基本的生活と人間のあり方、健康と公衆衛生、健康指標と予防、生活環境の保全について学習する。 【到達目標】日本の今の現状、特に人口動態、失業率、所得、余暇、婚姻、家族機能などを公衆衛生学という学問から学んでいってほしいと思います。公衆衛生の概念と疫学的手法、特にコホート研究、患者対照研究、無作為化比較対照試験の基礎を学び、研究マインドを持つ看護師としての活躍してほしいと思います。また地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨、日本の高度経済成長期に起こった公害、現在の地球環境問題などを学び、地球人として何ができるかを考えるきっかけをつかんでください。
授業の概要	公衆衛生の目的は、人々を疾病から守り、健康を保持・増進し、人々に十分な発育を遂げさせ、肉体的・精神的能力を完全に発揮させることである。臨床医学が病気になった個人を対象にしているのに対し、公衆衛生学は個人、家族、地域社会及び全国民の健康の総和を指標として、疾病のみならずすべての健康からの偏りの予防、コントロール、治療のみでなく、積極的な意味での健康の達成を目的としている。従って、単なる治療医学ではなく、予防医学さらには社会における医療制度施設など社会の健康水準を保持・増進するのに必要な社会医学も含まれることがわかる。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回 生活単位、家庭生活の基本機能、生活の場と健康について学ぶ 第２回 家族の機能と役割、ライフスタイルの変化、生活習慣の確立、人間の集団としての働きを学ぶ 第３回 公衆衛生の概念、健康と環境について学ぶ 第４回 疫学的方法による健康の理解について学ぶ 第５回 人口静態と人口動態、疾病統計について学ぶ 第６回 母子保健統計について学ぶ 第７回 地球環境、水・空気・土壌、食品管理及び家庭用品について学ぶ 第８回 ごみ、廃棄物、住環境について学ぶ
受講生に関わる情報および受講のルール	講義の全資料は、初回の講義で配布するので、持参して講義に臨むこと。 授業中に生じた疑問はそのままにせず，調べる，質問するなどの行動に移すこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式

授業外時間にかかわる情報	１）教科書を必ず読んで講義に参加すること。テキストで予習をすること 。
オフィスアワー	授業の前後10分は対応可能
評価方法	配布した講義資料を活用して加筆し、定期試験のときに持ち込み可とします。定期試験結果（80%）や講義中の質疑応答など（20%）で総合的に評価する。
教科書	公衆衛生がみえる 2022-2023　メディックメディア 第5版
参考書	0
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 障害者福祉学　　授業コード： 20234

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1	必修
担当教員			
大竹　勤			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 障害者を取り巻く状況（生活実態）を学び、医療福祉従事者に必要なソーシャルワークの技術を身につけ、実践できるようになることを目的とする。 【到達目標】 障害者福祉の基本を理解する。 ソーシャルワークの意義と目的について理解する。 援助技術の原理原則について理解する。
授業の概要	障害の概念と障害児者福祉の歴史を踏まえ、障害児者への支援の実際を理解する。障害（身体・知的・精神・発達障害・難病等）による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解するため、障害児者の体験事例等を取り入れたグループディスカッションや疑似体験等を通して、障害をもつ人の生活を具体的に学ぶとともに、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した支援の基本を習得する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	◎
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	◎
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	△
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	オリエンテーション　自分のことを知ってもらう（プロフィール票の作成・提出）障害者福祉学の基本となるもの 【key words】 自己紹介　障害者観　障害者か障碍者か　障害者の自立 【授業概要】 授業計画について説明する。援助者として必要なコミュニケーション能力の第一歩である「自分のことを知ってもらう」ことについて考える。障害者観について考える。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業時に配付するプロフィール票の作成。 他者に自分を知ってもらうための印象に残る自己紹介を考えましょう。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第２回	障害者福祉とは 【key words】 障害者基本法　障害者の定義　ＩＣＦ　ＩＣＩＤＨ 【授業概要】 障害者基本法における障害者の定義について理解する。社会モデルの考え方とＩＣＦの構造を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業中に見る映像の感想文を提出する。第1回の授業を受けて、自分なりの障害者観を思い描いてから授業に参加しましょう。 【予習復習に必要な想定時間】 １時間
	第３回	障害者の現状と生活のしづらさ　障害者福祉の理念 【key words】 障害者数　生活のしづらさ　ノーマライゼーション　自立生活運動

	【授業概要】 日本の障害者数と障害者の生活のしづらさについて理解する。障害者福祉の理念について理解する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ノーマライゼーション実現のために何が必要か考えてみよう 【予習復習に必要な想定時間】 1.5時間
	第４回　障害者福祉を支える方制度 【key words】 障害者基本法　障害者福祉制度の歴史　バイスティックの７原則 【授業概要】 障害者福祉関連法の基本的な内容について理解しよう　バイスティックの7原則について理解しよう 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ソーシャルワークの原理原則について考えてみましょう 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第５回　障害者の生活実態と支援 【key words】 身体障害者　知的障害者　精神障害者　発達障害者 【授業概要】 障害者の定義と必要な支援について理解しよう 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 それぞれの障害者の定義と特徴について学ぼう 【予習復習に必要な想定時間】 1.5時間
	第６回　障害者総合支援法の現状と課題 【key words】 障害者総合支援法 【授業概要】 障害者総合支援法による福祉サービスの種類や手続きなどについて理解しよう 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 自分が住む自治体では、どのようにすれば支援を受けられるか調べてみよう。 【予習復習に必要な想定時間】 １時間
	第７回　障害者福祉の今後のあり方 【key words】 障害者の権利に関する条約　共生社会 【授業概要】 障害者福祉の最近の動向を踏まえ、共生社会のあり方について考えよう 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 障害者への配慮について考えてみよう 【予習復習に必要な想定時間】 １時間
	第８回　まとめ　看護職として働く者として 【key words】 【授業概要】 今まで学んだことをもとに、保健医療福祉の専門家としてどのように障害者を支援していくかを考える。 ドキュメンタリー番組の映像を見て意識を高める。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 どのような看護師になりたいか考える 【予習復習に必要な想定時間】 １時間
受講生に関わる情報および受講のルール	対人援助サービスに携わる者としての自覚をもって授業に参加すること。 8回の授業なので、欠席が3回以上になると単位認定はできなくなるので注意すること。 演習には積極的に参加すること。授業の流れに反した行動はしないこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	レポート課題や感想文の提出を複数回求める
オフィスアワー	授業後20分間（内容に応じてはさらに時間を取るので、授業後すぐに申し出ていただけると有難い）
評価方法	筆記試験（80%）と授業中に課すレポート課題等の提出物（20%）による評価する。筆記試験の詳細については試験時に指示する。

教科書	共に生きるための障害福祉学入門（大月書店）
参考書	授業内で適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 解剖学Ⅰ　　授業コード： 20235

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	必修
担当教員			
大竹一男			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 1．看護の対象となる人間をりかいするための基礎的な知識として、人体の構造を理解できる。 ２．人体の構造と機能を看護の視点で系統的に捉えることができる。 ３．看護の対象者の構造について述べることができる。
授業の概要	１．看護の視点で人体の構造を理解できるようにする。 ２．日常生活を送る上で、人体がどのような構造を持つかを理解できるようにする。 ３．正常な人体について理解し、疾病によって人体が受ける変化を学修するための土台となるようにする。 ４．看護に応用できるような抽出眼を養えるようにする。 ５．自己学習で振り返り、繰り返し学習することで知識をに身につける。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	神経系１ 【key words】 中枢神経系 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	神経系２ 【key words】 末梢神経系 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第３回	感覚器系１ 【key words】 視覚と聴覚 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第４回	感覚器系２ 【key words】 嗅覚、味覚、触覚

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第５回　運動器系１

【key words】

全身の骨

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第６回　運動器系２

【key words】

全身の筋肉

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第７回　循環器系１

【key words】

心臓

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第８回　循環器系２

【key words】

動脈、静脈、毛細血管、リンパ循環

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第９回　消化器系１

【key words】

消化器系を構成する器官　口腔　咽頭　食道　胃　十二指腸、小腸、大腸

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１０回　消化器系２

【key words】

消化器系を構成する器官　肝臓、膵臓、胆嚢

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１１回　呼吸器系

【key words】

鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支、肺

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１２回　泌尿器系

【key words】

腎臓、尿管、膀胱、尿道

【授業概要】

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　生殖器系 【key words】 女性生殖器　男性生殖器 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　内分泌系１ 【key words】 視床下部ホルモン　下垂体ホルモン 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　内分泌系２ 【key words】 甲状腺、副腎、性腺、膵臓、消化管ホルモン 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	【到達目標】 神経系、感覚器系、運動器系、循環器系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系を構成する各器官の構造について説明できる。更に勉強の深さと広さを看護学国家試験の既出問題集を解くことによって確かめる。教科書と問題集を用いて能動的に学修し、人体を構成する器官器系、器官、組織、細胞について学ぶ。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	アクティブアカデミーを使用する。
授業外時間にかかわる情報	１）教科書を必ず読んで講義に参加すること。 ２）講義毎に指定するワークブックを次回講義までに完成させておくこと。 ３）確認テスト（テキスト内から出題）を必ず受けること。
オフィスアワー	授業の前後10分は対応可能
評価方法	確認テストやノート作成を評価（20%）に加え、定期試験（80）とあわせて総合的に評価する。
教科書	１）医学書院　解剖生理学 ２）医学書院　解剖生理学ワークブック 上記2冊を教科書として使用する。解剖学II及び生理学I及び生理学IIでも使用する。
参考書	坂井建雄編集：カラー図鑑　人体の正常構造と機能全１０巻縮刷版、日本医事新報社
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援

	□その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 解剖学Ⅱ　　授業コード： 20236

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	必修
担当教員			
大竹　一男			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 1．看護の対象となる人間を理解するための基礎的な知識として、人体の構造を理解できる。 2．人体の構造と機能を看護の視点で系統的に捉えることができる。 3．看護の対象者の構造について述べることができる。
授業の概要	1．看護の視点で人体の構造を理解できるようにする。 2．日常生活を送る上で、人体がどのような構造を持つかを理解できるようにする。 3．正常な人体について理解し、疾病によって人体が受ける変化を学習するための土台となるようにする。　4．看護に応用できるような抽出眼を養えるようにする。 5．自己学習で振り返り、繰り返し学習することで知識を身につける。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	神経系１ 【key words】 中枢神経系に関する問題演習 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	神経系２ 【key words】 末梢神経系に関する問題演習 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第３回	感覚器系１ 【key words】 視覚と聴覚に関する問題演習 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第４回	感覚器系２ 【key words】 嗅覚、味覚、触覚に関する問題演習

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第５回　運動器系１

【key words】

全身の骨に関する問題演習

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第６回　運動器系２

【key words】

全身の筋肉に関する問題演習

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第７回　循環器系１

【key words】

心臓に関する問題演習

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第８回　循環器系２

【key words】

動脈、静脈、毛細血管、リンパ循環に関する問題演習

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第９回　消化器系１

【key words】

消化器系を構成する器官　口腔　咽頭　食道　胃　十二指腸、小腸、大腸に関する問題演習

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１０回　消化器系２

【key words】

消化器系を構成する器官　肝臓、膵臓、胆嚢に関する問題演習

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１１回　呼吸器系

【key words】

鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支、肺に関する問題演習

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１２回　泌尿器系

【key words】

腎臓、尿管、膀胱、尿道に関する問題演習

【授業概要】

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　生殖器系 【key words】 女性生殖器　男性生殖器に関する問題演習 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　内分泌系１ 【key words】 視床下部ホルモン　下垂体ホルモンに関する問題演習 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　内分泌系２ 【key words】 甲状腺、副腎、性腺、膵臓、消化管ホルモンに関する問題演習 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	【到達目標】 解剖学Iで修得した人体の器官系について、より深く学ぶために演習形式、グループ学習を中心に行う。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	アクティブアカデミーを使用する。
授業外時間にかかわる情報	１）教科書を必ず読んで講義に参加すること。 ２）講義毎に指定するワークブックを次回講義までに完成させておくこと。 ３）確認テスト（テキスト内から出題）を必ず受けること。
オフィスアワー	授業の前後10分は対応可能
評価方法	確認テストやノート作成を評価（20%）に加え、定期試験（80）とあわせて総合的に評価する。
教科書	１）医学書院　解剖生理学 ２）医学書院　解剖生理学ワークブック 上記2冊を教科書として使用する。解剖学II及び生理学I及び生理学IIでも使用する。
参考書	坂井建雄編集：カラー図鑑　人体の正常構造と機能全１０巻縮刷版、日本医事新報社
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 生理学Ⅰ　　授業コード： 20237

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	必修
担当教員			
山﨑博幸			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	授業の目的：人体の機能を理解するための基本的な知識を習得する。生理学Ⅰでは主に動物性生理機能の理解を目的とする。 授業の到達目標 ・細胞内小器官及び細胞が機能するために働く分子の種類・機能を説明できる。 ・神経細胞、グリア細胞の基本的な機能を説明することができる。 ・脳の各領域における役割、脳神経の役割を説明することができる。 ・脳と身体の関係を説明することができる。 ・感覚器の仕組み、脳への情報伝達を説明することができる。 ・骨、筋肉の働きの基本的なメカニズムを説明することができる。 ・皮膚の機能、基本的な生体防御機構を説明することができる。
授業の概要	生理学は生体の持つ様々な機能およびその調節機構を研究する学問領域である。人体の生理機能は、生命維持に必須な植物性昨日とそれ以外の動物性機能に分けられるため、生理学Ⅰでは動物性機能を学修する。具体的には神経生理（神経の興奮と伝達、ニューロンとシナプス、脳と認知・行動）、感覚生理（感覚器の種類と機能および伝達機構）、運動生理（筋肉の種類と構造、筋収縮メカニズム、反射、随意運動と不随意運動、随意運動の発現と調節、運動の中枢プログラムと運動パターン、運動の制御と調節）を学修する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	生理学を学ぶための基礎知識（１） 【key words】 細胞、細胞内小器官、細胞膜、DNA、RNA、ATP、セントラルドグマ、細胞分裂、劣性遺伝（潜性遺伝）、優性遺伝（顕性遺伝） 【授業概要】 生理学を学ぶための基礎的な細胞生物学、分子生物学、遺伝学の講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 p8～44 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。 授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２回	生理学を学ぶための基礎知識（２） 【key words】 細胞内液、細胞外液、浸透圧、組織、上皮組織、単層扁平上皮、重層扁平上皮、単層円柱上皮、多列線毛上皮、移行上皮、腺上皮、筋組織、骨組織、粘膜、漿膜 【授業概要】 生理学を学ぶための基礎的な細胞内および細胞外のイオン組成の知識、組織の種類についての講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 p45～54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。 授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第３回	神経系の構造と機能（１）

【key words】
中枢神経、末梢神経、体性神経、自律神経、大脳皮質、辺縁系、大脳基底核、間脳、小脳、脳幹、脳室、髄膜
【授業概要】
神経系の構造と機能について、マクロな視点から講義を行う。
【教科書ページ・参考文献】
p 358～382
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。
授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第４回　神経系の構造と機能（２）
【key words】
ニューロン、シナプス、グリア細胞（アストロサイト、ミクログリア、オリゴデンドロサイト、シュワン細胞）、神経線維、静止膜電位、活動電位
【授業概要】
神経系を構成するニューロン、アストロサイト、ミクログリア、オリゴデンドロサイト、シュワン細胞の機能について講義を行う。また、神経系の機能的基盤であるシナプスについても講義を行う。
【教科書ページ・参考文献】
p 358～382
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。
授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第５回　脳幹、脳神経、脊髄の機能
【key words】
脳神経、脳幹、嗅神経、視神経、動眼神経、滑車神経、三叉神経、外転神経、顔面神経、内耳神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経、頸神経、胸神経、腰神経、仙骨神経、尾骨神経
【授業概要】
脳幹、12対の脳神経の機能および脊髄について講義を行う。
【教科書ページ・参考文献】
p 383～391
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。
授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第６回　神経の伝導路
【key words】
運動ニューロン、下行伝導路、錐体路、感覚、皮膚感覚、深部感覚、上行伝導路
【授業概要】
運動機能と下行伝導路、感覚機能と上行伝導路について講義を行う。
【教科書ページ・参考文献】
p 391～397
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。
授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第７回　視覚の生理学
【key words】
眼球、角膜、強膜、水晶体、硝子体、網膜、虹彩、中心窩、視神経乳頭、視交叉、視細胞（杆体、錐体）、輻輳反射、瞬目反射
【授業概要】
眼の構造および視覚の伝導路、基本的な神経支配について講義を行う。
【教科書ページ・参考文献】
p 397～407
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。
授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第８回　聴覚と平衡覚の生理学
【key words】
外耳、中耳、内耳、外耳道、鼓膜、耳小骨、骨迷路、半規管、蝸牛、伝音難聴、感音難聴
【授業概要】
外耳、中耳、内耳の構造および機能、音（気体の振動）がどのように伝わるのかを講義する。さらに、内耳の機能である平衡覚の感知についての講義も行う。
【教科書ページ・参考文献】
p 408～413
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。
授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第９回　味覚、嗅覚、痛覚の生理学
【key words】
味蕾、顔面神経、舌咽神経、塩味、酸味、甘味、苦味、うま味、嗅上皮、疼痛、自由神経終末、体性痛、内臓痛、表在痛、深部痛、神経障害性疼痛、ブラジキニン、プロスタグランジン、関連

		痛、オピオイド 【授業概要】 味覚と味覚を感知する脳神経、においを感じ取る嗅覚器について講義を行う。また、痛みの種類や感じる仕組み、情報伝達について講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 p 413～421 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。 授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１０回	脳の統合機能 【key words】 脳波、睡眠、レム睡眠、ノンレム睡眠、ナルコレプシー、オレキシン、概日リズム、記憶、海馬、本能行動、情動行動、視床下部、精神神経疾患 【授業概要】 脳が外界と身体からの情報を統合し、状況に応じた行動をするための様々な働きについて講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 p 420～432 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。 授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１１回	骨の生理学 【key words】 骨膜、緻密質、海綿質、髄腔、赤色脊髄、黄色脊髄、骨単位、ハバース管、長骨、骨芽細胞、破骨細胞、骨基質、ビタミンD、球関節、楕円関節、鞍関節、蝶番関節、車軸関節、線維性結合、軟骨性結合、骨性結合、脊柱 【授業概要】 骨の構造および機能について講義を行う。また、骨の発生と成長や関節の形状と可動性についても講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 p 283～339 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。 授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１２回	筋肉と運動 【key words】 骨格筋、屈曲、伸展、外転、内転、外旋、内旋、回外、回内、等尺性収縮、等張性収縮、随意運動、不随意運動 【授業概要】 主に四肢の運動に関わる筋肉の動きについて講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 p 283～339 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。 授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１３回	筋肉の収縮 【key words】 筋束、筋線維、筋原線維、神経筋接合部、T管、筋小胞体、アクチン、ミオシン、カルシウム、ATP、運動ニューロン、滑り説 【授業概要】 筋収縮の分子メカニズムについて講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 p 339～355 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。 授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１４回	皮膚および体温調節機構 【key words】 重層扁平上皮、表皮、真皮、皮下組織、角化、ケラチン、体温、腋窩温、体温の変動（日内変動、性周期変動）、体温調節中枢、視床下部、セットポイント 【授業概要】 皮膚の機能、構造および身体の体温調節機構について講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 p 435～439、451～457 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。 授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１５回	生体の防御機構 【key words】 皮膚、粘膜、非特異的防御機構、特異的防御機構、免疫、炎症、白血球、マクロファージ、T細

	胞、B細胞、形質細胞、免疫グロブリン、補体、オプソニン作用、予防接種、アレルギー、アナフィラキシーショック 【授業概要】 皮膚・粘膜による防御機構および、特異的防御機構である免疫の基礎を講義する。 【教科書ページ・参考文献】 p 439～450 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。 授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講のルール〕 私語、スマホの使用、写真・動画撮影は禁止。注意してもやめない場合は退室していただきます。 その他授業の妨害行為を禁止とする。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード　又は　Google Form
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	木曜日、金曜日の4限（面接希望者は事前に連絡ください）
評価方法	筆記試験（100%）
教科書	系統看護学講座　専門基礎　「解剖生理学　人体の構造と機能Ⅰ」　医学書院
参考書	系統看護学講座準拠　「解剖生理学ワークブック」　医学書院 田中越郎　「イラストでまなぶ生理学」　医学書院
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 生理学Ⅱ　　授業コード： 20238

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	必修
担当教員			
吉田由香里			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 人体の機能を理解するための基本的な知識を習得する。生理学IIでは主に植物性生理機能の理解を目的とする。 【到達目標】 ・栄養の消化と吸収について説明することができる。 ・呼吸の仕組みについて説明することができる。 ・血液のはたらきについて理解し、血液の循環とその調節について説明することができる。 ・体液の調節の仕組みについて説明することができる。 ・尿の生成の仕組みについて説明することができる。 ・内臓機能の調節の仕組みについて説明することができる。 ・生殖機能について説明することができる。 ・発生と老化のしくみについて説明することができる。
授業の概要	生理学は生体の持つ様々な機能およびその調節機構を研究する学問領域である。 人体の生理機能は、生命維持に必須な植物性機能とそれ以外の動物性機能に分けられ、生理学IIでは、植物性機能を学修する。 具体的には、消化・吸収、呼吸、血液、循環、内臓機能、ホメオスタシス、生殖等を学修する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回　栄養の消化と吸収（1） 【key words】 【授業概要】 口・咽頭・食道の機能について講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 p.56～67 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。 授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第２回　栄養の消化と吸収（2） 【key words】 【授業概要】 腹部消化管の機能について講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 p.67～84 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。 授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第３回　栄養の消化と吸収（3） 【key words】

【授業概要】
膵臓・肝臓・胆嚢の機能について講義を行う。
【教科書ページ・参考文献】
p.84～93
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。
授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第４回　呼吸と血液のはたらき（1）
【key words】

【授業概要】
呼吸の機能について講義を行う。
【教科書ページ・参考文献】
p.96～126
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。
授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第５回　呼吸と血液のはたらき（2）
【key words】

【授業概要】
血液の機能について講義を行う。
【教科書ページ・参考文献】
p.126～148
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。
授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第６回　血液の循環とその調節（1）
【key words】

【授業概要】
心臓の機能について講義を行う。
【教科書ページ・参考文献】
p.150～175
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。
授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第７回　血液の循環とその調節（2）
【key words】

【授業概要】
末梢循環系の機能について講義を行う。
【教科書ページ・参考文献】
p.175～206
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。
授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第８回　血液の循環とその調節（3）
【key words】

【授業概要】
末梢循環系の機能およびリンパについて講義を行う。
【教科書ページ・参考文献】
p.200～208
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。
授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第９回　体液の調節と尿の生成（1）
【key words】

【授業概要】
腎臓の機能について講義を行う。
【教科書ページ・参考文献】
p.210～225
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。
授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１０回　体液の調節と尿の生成（2）

	【key words】 【授業概要】 尿の生成、体液の調節について講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 p.225～237 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。 授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１１回　内臓機能の調節（1） 【key words】 【授業概要】 自律神経および内分泌系による調節について講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 p.240～253 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。 授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１２回　内臓機能の調節（2） 【key words】 【授業概要】 内分泌腺と内分泌細胞について講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 p.254～273 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。 授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１３回　内臓機能の調節（3） 【key words】 【授業概要】 ホルモンによる調節ついて講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 p.273～280 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。 授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１４回　生殖・発生と老化のしくみ（1） 【key words】 【授業概要】 男性生殖器および女性生殖器の機能について講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 p.460～475 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。 授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１５回　生殖・発生と老化のしくみ（2） 【key words】 【授業概要】 受精と胎児の発生のしくみ、成長と老化について講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 p.475～499 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に教科書・参考書の該当箇所を読んでおくこと。 授業中はメモをとって、講義後にまとめて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
受講生に関わる情報および受講のルール	授業中に生じた疑問はそのままにせず、調べる、質問するなどの行動に移すこと。 私語、スマホの無断使用は禁止。注意してもやめない場合には退出していただきます。 その他、授業の妨害行為を禁止します。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード，レポート，Google formなど
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	授業終了後30分

評価方法	出席状況，授業態度，レポート，定期テスト（筆記試験）で総合的に評価する。
教科書	系統看護学講座　専門基礎　「解剖生理学　人体の構造と機能１」　医学書院
参考書	系統看護学講座準拠　「解剖生理学ワークブック」　医学書院 林正健二編集：解剖生理学（ナーシンググラフィカ　人体の構造と機能①、メディカ出版
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 病原微生物学　　授業コード： 20239

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	必修
担当教員			
谷本　弘一			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 感染症の原因となる病原微生物の種類や基礎的な性質、感染予防対策等について医療従事者として必要な知識を身に付ける。 【到達目標】 1）微生物とはどのような生物であるか、その種類と性質について説明できる。 2）病原微生物の感染経路、感染予防対策について説明できる。 3）主な病原微生物の性質とその感染症について説明できる。
授業の概要	医療の発展に伴い、薬剤耐性菌感染症や日和見感染症が急増し、感染症の種類が著しく変貌している。そして看護師は様々な感染症患者のケアをするため、感染予防の観点から合理的な対応と適切な対策を行わなくてはならない。本講義では、感染症の原因となる主な病原微生物の性質を学び、それぞれの病原微生物に対する感染予防対策を行えるよう学習する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	○
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回 微生物と微生物学　微生物の発見以前・発見、微生物の種類 第２回 微生物の生育　微生物発育の要因 第３回 感染症総論　感染と病原体、感染経路、感染症の検査・治療 第４回 予防接種　ワクチンの種類 第５回 洗浄・消毒・滅菌 第６回 医療関連感染と感染対策 第７回 感染症を起こす主な細菌①　グラム陽性球菌 第８回 感染症を起こす主な細菌②　グラム陰性球菌・桿菌 第９回 感染症を起こす主な細菌③　腸管感染の原因細菌、結核菌、マイコプラズマ 第１０回 感染症を起こす主なウイルス①　ウイルス性呼吸器感染症・下痢症、麻疹、風疹、ヘルペス感染症 第１１回 感染症を起こす主なウイルス②　HIV、肝炎ウイルス、エボラウイルス 第１２回 感染症を起こす主な真菌　カンジダ感染症、アスペルギルス症、白癬、ニューモシスチス肺炎

	第１３回 感染症を起こす主な寄生虫　マラリア、トキソプラズマ症、寄生虫による食中毒 第１４回 病原微生物の構造　細菌・真菌・原虫・ウイルスの構造 第１５回 講義全体のまとめ
受講生に関わる情報および受講のルール	スマホなどの操作はせず、誠意ある態度での受講を求めます。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	授業計画に該当する内容をテキストを用いて予習すること。また、配布するおさらい問題を解いて復習すること。
オフィスアワー	授業の前後10分は対応可能。
評価方法	定期試験で評価する。
教科書	疾病のなりたちと回復の促進4　微生物学　系統看護学講座　専門基礎分野　医学書院　最新版
参考書	病気がみえる vol. 6　免疫・膠原病・感染症　医療情報科学研究所　編集
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 病院で微生物検査と感染制御の業務に従事してきた。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 臨床薬理学　　授業コード： 20240

英文科目名称： Clinical Pharmacology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	必修
担当教員			
世喜　利彦			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】　薬は疾病に必要な予防，治療に関する知識だけでなく，QOL(生活の質）向上のための重要な基礎知識でもあります。薬物治療が薬物有害反応無く，最大の効果を得るためには患者に一番近い看護職の力がとても大きいのです。患者を看るための基盤知識としての「臨床薬理学」に興味を持ち，深く理解することが、この授業の目的です。 【到達目標】 １．　薬理学の分類と臨床薬理学の概要を把握できる。 ２．　薬（薬物）とは何か？　薬物療法の目的，物に関する法令を学び理解できる。 ３．　薬は生体内でどう作用するのか，その作用様式を理解できる。 ４．　薬物療法の基本を把握，理解できる。 ５．　薬はどのようにして作られるのか，新薬開発と臨床試できる。
授業の概要	【授業の概要】　昨今、社会において看護実践・看護ケア時に必要なアセスメントを行うためには，看護の基盤となる基礎的な知識の充実が看護教育に求められています。そのための科目の一つが臨床薬理学ですが,高校まで学習していないため理解が難しいと思う学生が多いようです。 薬を理解する最も良い方法は、疾患の原因を理解することです。すなわち，疾患の原因を除くために薬は使用されるということを考えながら学習を進めると，薬について理解を深めることが可能になりますので，授業もこの方法の基づいて進めていきます。 さらに、私は，看護師国家試験問題の中で，カタカナで記載されている薬剤名(一般名）が過去約30年間にどのような頻度で出題されているかを，既に調査・解析しています。それゆえ、その結果を説明し，看護師国試問題の臨床薬理学対策を考える授業も行います。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画	第１回　医薬品総論について（１） 【key words】 医薬品医療機器等法，日本薬局方，受容体,セカンドメッセンジャー，作用薬，拮抗薬，遮断薬,阻害薬，半減期，薬物有害反応，薬剤耐性，薬物依存 【授業概要】 医薬品分類と関連法律，医薬品の作用原理とそれに影響を与える要因，体内における薬物の動きまでを理解できる。 【教科書ページ・参考文献】 ナーシンググラフィカ 臨床薬理学［第７版］2022年 p21～42. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「医薬品総論」の部分を事前に読んで，わからない部分をマークし，講義中に集中して理解に努める。授業内容について出された課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 臨床薬理学は最低30分の予習で授業前には必ず一度は予定範囲を読み，理解できない部分をマークして授業に臨む。 第２回　医薬品総論について（２） 【key words】 処方箋，調剤，与薬，アドヒアランス，医薬品添付文書，イエローレター，ブルーレター 【授業概要】

		医薬品の開発から臨床で使用されるまでを理解できる。 【教科書ページ・参考文献】 ナーシンググラフィカ 臨床薬理学［ 第７版 ］2022年 p43～60. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「医薬品総論」の部分を事前に読んで，わからない部分をマークし，講義中に集中して理解に努める。授業内容について出された課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 臨床薬理学は最低30分の予習で授業前には必ず一度は予定範囲を読み，理解できない部分をマークして授業に臨む。
	第３回	感染症疾患に使用する薬について 【key words】 抗菌薬，殺菌的作用，抗ウィルス薬，抗真菌薬，消毒，滅菌 【授業概要】 感染症診療の流れと抗微生物薬の適正使用，作用機序，分類，薬物有害反応について理解でき，消毒薬の適正使用と有害反応を理解できる。 【教科書ページ・参考文献】 ナーシンググラフィカ 臨床薬理学［第７版］2022年 p61～86. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「医薬品総論」の部分を事前に読んで，わからない部分をマークし，講義中に集中して理解に努める。授業内容について出された課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 臨床薬理学は最低30分の予習で授業前には必ず一度は予定範囲を読み，理解できない部分をマークして授業に臨む。
	第４回	免疫疾患・アレルギー・炎症に使用する薬について 【key words】 即時型アレルギー,アナフィラキシショック，自己免疫疾患，リウマチ治療薬，免疫抑制薬，ステロイド，非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDｓ）アスピリン喘息，抗アレルギー薬，予防接種薬 【授業概要】 免疫と免疫疾患のしくみ，自己免疫疾患と治療薬，炎症（痛み，発熱)に対する薬の作用機序と特徴を理解でき,予防接種の種類とその対象疾患を学べる。 【教科書ページ・参考文献】 ナーシンググラフィカ 臨床薬理学[第７版］2022年 p87～110. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「医薬品総論」の部分を事前に読んで，わからない部分をマークし，講義中に集中して理解に努める。授業内容について出された課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 臨床薬理学は最低30分の予習で授業前には必ず一度は予定範囲を読み，理解できない部分をマークして授業に臨む。
	第５回	がん・痛みに使用する薬（１） 【key words】 アルキル化薬，抗腫瘍性抗生物質，微小管阻害薬，白金製剤，分子標的治療薬，WHOがん疼痛ガイドライン，オピオイド鎮痛薬，モルヒネ 【授業概要】 がんの種類と抗癌薬の効果、抗がん薬の有害作用とその対策，オピオイド鎮痛薬の特徴を理解できる。 【教科書ページ・参考文献】 ナーシンググラフィカ 臨床薬理学[第７版］2022年　p111～140. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「医薬品総論」の部分を事前に読んで，わからない部分をマークし，講義中に集中して理解に努める。授業内容について出された課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 臨床薬理学は最低30分の予習で授業前には必ず一度は予定範囲を読み，理解できない部分をマークして授業に臨む。
	第６回	末梢神経に使用する薬 について 【key words】 神経伝達物質,ドパミン，アセチルコリン，ノルアドレナリン，GABA，アドレナリン作動薬，抗コリン薬 【授業概要】 神経の種類と分類，役割，　自律神経のしくみと役割，交感神経に作用する薬の特徴と副作用,副交感神経に作用する薬の特徴と副作用について理解できる。 【教科書ページ・参考文献】 ナーシンググラフィカ 臨床薬理学[第７版］2022年　p141～151. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「医薬品総論」の部分を事前に読んで，わからない部分をマークし，講義中に集中して理解に努める。授業内容について出された課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 臨床薬理学は最低30分の予習で授業前には必ず一度は予定範囲を読み，理解できない部分をマークして授業に臨む。
	第７回	脳・中枢神経系疾患に使用する薬 について 【key words】 抗てんかん薬，パーキンソン病治療薬，錯体外路，血液脳関門（BBB)，アルツハイマー型認知症治療薬,向精神薬，抗うつ薬，睡眠薬，抗不安薬，気分安定薬 【授業概要】

てんかんの病態,アルツハイマー型認知症の薬物療法を理解でき，パーキンソン病の病態生理・症状発現のメカニズムや薬物療法,向精神薬の種類と薬理作用を理解できる。
【教科書ページ・参考文献】
ナーシンググラフィカ 臨床薬理学［第７版］2022年 p153～187.
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の「医薬品総論」の部分を事前に読んで，わからない部分をマークし，講義中に集中して理解に努める。授業内容について出された課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。
【予習復習に必要な想定時間】
臨床薬理学は最低30分の予習で授業前には必ず一度は予定範囲を読み，理解できない部分をマークして授業に臨む。

第８回　循環器疾患に使用する薬
【key words】
高血圧，降圧薬，昇圧薬，抗不整脈薬，虚血性心疾患，心不全，動脈硬化，脳卒中，肺高血圧症
【授業概要】
心臓の働き，主な心疾患を理解できる。心疾患治療薬の作用機序と特性，脳卒中の種類と治療薬を理解できる。

【教科書ページ・参考文献】
ナーシンググラフィカ 臨床薬理学[第７版］2022年 p189～209.
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の「医薬品総論」の部分を事前に読んで，わからない部分をマークし，講義中に集中して理解に努める。授業内容について出された課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。
【予習復習に必要な想定時間】
臨床薬理学は最低30分の予習で授業前には必ず一度は予定範囲を読み，理解できない部分をマークして授業に臨む。

第９回　血液・造血器疾患，呼吸器疾患に使用する薬について
【key words】
鉄欠乏性,巨赤芽球性,再生不良貧血,播種性血管内凝固症候群,気管支喘息，発作治療薬，長期管理薬，気管支拡張薬，β2受容体刺激薬，テオフィリン製剤，鎮咳薬，去痰薬
【授業概要】
貧血の病態,症状，そして貧血治療薬の特徴を理解できる。播種性血管内凝固症候群の病態，症状，その治療薬の特徴を理解できる。血友病の病態，症状，その治療薬の特徴を理解できる。特発性血小板減少性紫斑病の病態，症状,その治療薬の特徴を理解できる。
【教科書ページ・参考文献】
ナーシンググラフィカ 臨床薬理学［第７版］2022年 p211～220.
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の「医薬品総論」の部分を事前に読んで，わからない部分をマークし，講義中に集中して理解に努める。授業内容について出された課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。
【予習復習に必要な想定時間】
臨床薬理学は最低30分の予習で授業前には必ず一度は予定範囲を読み，理解できない部分をマークして授業に臨む。

第１０回　代謝・内分泌疾患に使用する薬
【key words】
痛風発作予防薬，インスリン製剤，経口血糖降下薬，脂質異常症治療薬，骨粗鬆症治療薬，甲状腺機能更新症治療薬，アジソン病治療薬，クッシング症候群治療薬，尿崩症治療薬
【授業概要】
治療の目的である，QOL(生活の質）維持，健康寿命の延長を意識して病態を，治療薬の薬理作用や特徴んを把握し,薬物有害反応との関係性を理解できる。服薬コンプライアンスが治療成功の鍵になるため，副作用の予防，緩和策について理解できる。

【教科書ページ・参考文献】
ナーシンググラフィカ 臨床薬理学[第７版］2022年 p221～246.
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の「医薬品総論」の部分を事前に読んで，わからない部分をマークし，講義中に集中して理解に努める。授業内容について出された課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。
【予習復習に必要な想定時間】
臨床薬理学は最低30分の予習で授業前には必ず一度は予定範囲を読み，理解できない部分をマークして授業に臨む。

第１１回　消化器系疾患に使用する薬について
【key words】
胃酸，消化性潰瘍，ヘリコバクター・ピロリ，プロトンポンプ阻害薬，ヒスタミンH2受容体ブロッカー，悪心・嘔吐，制吐薬，鎮吐薬，便秘，瀉下薬，止瀉薬
【授業概要】
胃液分泌の仕組みと潰瘍形成，消化性潰瘍約の作用機序と使用法，嘔吐のしくみと制吐薬，しゃげ薬の作用機序を理解できる。
【教科書ページ・参考文献】
ナーシンググラフィカ 臨床薬理学[第７版］2022年 p263～287.
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の「医薬品総論」の部分を事前に読んで，わからない部分をマークし，講義中に集中して理解に努める。授業内容について出された課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。
【予習復習に必要な想定時間】
臨床薬理学は最低30分の予習で授業前には必ず一度は予定範囲を読み，理解できない部分をマークして授業に臨む。

第１２回　泌尿器・生殖器疾患，感覚器疾患に使用する薬について
【key words】
褥瘡治療薬，アトピー性皮膚炎治療薬，ステロイド外用薬，白内障治療薬，緑内障治療薬，結膜炎治療薬，めまい治療薬

	【授業概要】 皮膚疾患，褥瘡の治癒過程と概要薬の特徴,使い方を理解できる。視覚障害時の点眼剤及びステロイド外用薬の使用時の注意点を理解できる。 【教科書ページ・参考文献】 ナーシンググラフィカ 臨床薬理学 ［第７版］2022年 p289～302、p303～314. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「医薬品総論」の部分を事前に読んで，わからない部分をマークし，講義中に集中して理解に努める。授業内容について出された課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 臨床薬理学は最低30分の予習で授業前には必ず一度は予定範囲を読み，理解できない部分をマークして授業に臨む。 第１３回　周術期・救命救急時に使用する薬 【key words】 医薬品中毒，救急カート，輸液療法，弛緩麻酔，局所麻酔，輸血療法，インフォームドコンセント 【授業概要】 医薬品投与に関連した緊急事態として、アナフィラキシーショックや過剰投与について，またショックに対して使用する薬を理解できる。 医薬品に関連した中毒に対する一般的な治療法と解毒薬を理解できる。麻酔時に使用する薬について理解できる。 【教科書ページ・参考文献】 ナーシンググラフィカ 臨床薬理学[第７版］2022年 p315～338. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「医薬品総論」の部分を事前に読んで，わからない部分をマークし，講義中に集中して理解に努める。授業内容について出された課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 臨床薬理学は最低30分の予習で授業前には必ず一度は予定範囲を読み，理解できない部分をマークして授業に臨む。 第１４回　重要項目の説明（投与量計算問題を含む）と、看護師国家試験問題の薬剤出題ベスト５０ 【key words】 【授業概要】 現在使用している教科書の旧版の巻末に「臨床薬理学」において、重要事項があり、その中には、臨される単位や、投与量計算問題があり、これらの重要事項や問題を解き、また説明を行う。 【教科書ページ・参考文献】 ナーシンググラフィカ 臨床薬理学 旧版［第４版］2016年 巻末資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「医薬品総論」の部分を事前に読んで，わからない部分をマークし，講義中に集中して理解に努める。授業内容について出された課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 臨床薬理学は最低30分の予習で授業前には必ず一度は予定範囲を読み，理解できない部分をマークして授業に臨む。 第１５回　臨床薬理学の重要課題及び記述問題の演習 【key words】 キーワード多数のため,記載できません。 【授業概要】 特に記述式問題を15～18題,作成したものを事前に1年生に配布し，あらかじめ，回答を作成しておいてもらい,授業で黒板に記載してもらい，他の学生に不足を補ってもらう。 【教科書ページ・参考文献】 担当教員が看護師国家試験の過去問題，模擬試験，教科書から抜粋した重要問題，記述式問題を作成した課題。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の「医薬品総論」の部分を事前に読んで，わからない部分をマークし，講義中に集中して理解に努める。授業内容について出された課題の回答を記載して、次回の授業に提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 臨床薬理学は最低30分の予習で授業前には必ず一度は予定範囲を読み，理解できない部分をマークして授業に臨む。
受講生に関わる情報および受講のルール	最低30分の予習の中であらかじめ，授業前に必ず一度は予定範囲を読んでおく。復習(1時間以上)は，その日のうちに行う。 また不明な点，理解できない点があれば，遠慮しないで質問してください。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	毎回の授業内容に関する課題を，1年生に配布し次回の授業に提出してもらう。また，授業内容の質問については，オフィスアワーの記載での対応とします。
授業外時間にかかわる情報	授業計画に示されている教科書、資料は必ず事前に熟読し、理解をして授業に臨むこと。わからない部分を授業にて解決するよう，授業中、あるいは授業後に質問するなど。,遠慮せずに直接聞いていただき，あるいは，e-mail で聞いていただいても構いません。 e-mail address: toseki@jobu.ac.jp
オフィスアワー	授業終了後に1年生の他授業が無ければ、30分後まで対応し，それ以外はメールにて対応。 e-mail address ： toseki@jobu.ac.jp
評価方法	筆記試験100%，尚，再試験の場合も筆記試験100%とする。
教科書	ナーシンググラフィカ 臨床薬理学　疾病の成り立ちと回復の促進 ②［第７版］メディカ出版 2022年

	教科書： ナーシンググラフィカ 臨床薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進 ②［ 第７版 ］メディカ出版 2022年
参考書	担当教員がパワーポイントで作成，配布した 毎回の授業用に使用するカラー資料(臨床薬理学資料）。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 研究機関において，基礎医学領域の研究員として勤務した経験（薬剤開発，生化学作用評価，抗体作製(モノクローナル抗体を含む，遺伝子工学・細胞工学技術を用いた薬剤作用評価等） アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： フィジカルアセスメント　　授業コード： 20241

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	1	必修
担当教員			
小林洋子　櫻井清美　上田葉子　桐生由美子　高島由起子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 看護に必要なフィジカルアセスメントの基礎的な知識、技術、態度を習得する。 〔到達目標〕 ①フィジカルアセスメントの意義を説明できる。 ②演習を通して客観的情報を得る手段であるフィジカルイグザミネーションについて、その方法、ポイントを述べ.ることができる。 ③正常所見及び主な異常所見を説明できる。 ④神経系、呼吸器系、循環器系、筋・骨格系、腹部（消化器）の基礎的なフィジカルイグザミネーションが実施できる。 ⑤身体診察を受ける対象の気持ちを配慮した対応ができる。
授業の概要	バイタルサイン、頭部・顔面・頸部・耳鼻咽頭、視覚、神経系、呼吸器系、循環器系、腹部（消化器）、筋・骨格系等に関する内容を教授する。講義後は学生同士でペアになり演習にて体験する。演習は、正常所見について確認する。また、身体診察を受ける対象の気持ちを考慮する必要性について考える機会とする。第13回、14回は、事例に基づきフィジカルアセスメントを実施・評価する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	・科目オリエンテーション　バイタルサイン測定ー講義① 【key words】 ・フィジカルアセスメント　バイタルサイン　意識状態 【授業概要】 ・科目オリエンテーション ・看護師がバイタルサインの測定・評価を行う意義、重要性について説明する。 ・意識状態の正しい観察方法、評価について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 ・インターメディカ　P40～P57 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加すること ・課題を期日までに提出すること 【予習復習に必要な想定時間】 ・30分
	第２回	・バイタルサインの測定ー講義② 【key words】 ・体温・脈拍・呼吸・血圧・意識状態 【授業概要】 ・バイタルサイン測定のアセスメントー講義 ・体温・脈拍・呼吸・血圧の正しい測定方法、評価について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 ・インターメディカ　P40～P57 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加すること ・課題を期日までに提出すること 【予習復習に必要な想定時間】 ・30分
	第３回	・バイタルサインの測定ー演習（１）

【key words】
・体温・脈拍・呼吸・血圧・意識状態
【授業概要】
・バイタルサイン測定のアセスメントー【演習】（1）
・バイタルサインの測定を看護師役・患者役にて実施する。
・バイタルサインの測定結果をアセスメントし、記録する。
【教科書ページ・参考文献】
・インターメディカ　P40～P57
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加すること
・課題を期日までに提出すること
【予習復習に必要な想定時間】
・30分

第４回　・バイタルサインの測定ー演習（２）

【key words】
・体温・脈拍・呼吸・血圧・意識状態
【授業概要】
・バイタルサイン測定のアセスメントー【演習】（２）
・バイタルサインの測定を看護師役・患者役にて実施する。
・バイタルサインの測定結果をアセスメントし、報告する。
【教科書ページ・参考文献】
・インターメディカ　P40～P57
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加すること
・課題を期日までに提出すること
【予習復習に必要な想定時間】
・30分

第５回　・バイタルサインの測定ー演習（３）

【key words】
・体温・脈拍・呼吸・血圧・意識状態
【授業概要】
・バイタルサイン測定のアセスメントー【演習】（３）
・バイタルサインの測定を看護師役・患者役にて実施する。
・バイタルサインの測定結果をアセスメントし、記録する。
・教員と学生がダブル聴診器を使用して、血圧測定し、血管音が聴取できているか確認をする。

【教科書ページ・参考文献】
・インターメディカ　P40～P57
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加すること
・課題を期日までに提出すること
【予習復習に必要な想定時間】
・30分

第６回　・面接・身体診察・循環器系ー講義①

【key words】
・面接　身体診察　循環器
【授業概要】
・面接を実施する際の流れ、入室から面接開始までの流れ、面接の実施
・身体診察＜視診、触診、打診、触診＞
・循環器系のフィジカルアセスメント＜問診、視診、触診、聴診＞

【教科書ページ・参考文献】
・インターメディカ　P14～P27　P58～P82
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加すること
・課題を期日までに提出すること
【予習復習に必要な想定時間】
・30分

第７回　・フィジカルアセスメントの実際（系統別）：呼吸器系ー講義②

【key words】
・呼吸器　呼吸数　腹式　胸式　呼吸音
【授業概要】
・呼吸器系の基本的な構造と機能を復習する。
・身体診察のポイントと正常所見、異常所見について説明する。
・肺の正常な位置､気管の正常な位置､ばち状指､胸部レントゲン像､動脈血酸素飽和度､問診､触診､打診に
　ついて説明する。

【教科書ページ・参考文献】
・インターメディカ　P83～P103
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加すること
・課題を期日までに提出すること
【予習復習に必要な想定時間】
・30分

第８回　・フィジカルアセスメントの実際（系統別）：腹部系ー講義③

【key words】
・腹痛　腸音
【授業概要】
・フィジカルアセスメントの実際（系統別）腹部系
・身体診察のポイントと正常所見、異常所見について説明する。
・腹部の基本的な構造と機能を復習する。

		・フィジカルイグミザネーションのポイントと正常所見､主な異常所見について説明する。 ・腹部の視診（外形や輪郭）､聴診（腸蠕動音）､打診（腹部全体の打診）､触診（浅い､深い）､腹水の アセスメントについて演習するため、講義後ＤＶＤ学習を行う。 【教科書ページ・参考文献】 ・インターメディカ　P178～P208 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加すること ・課題を期日までに提出すること 【予習復習に必要な想定時間】 ・30分
	第９回	・フィジカルアセスメントの実際（系統別）感覚系－講義④ 【key words】 ・視力・視野・聴力 【授業概要】 ・フィジカルアセスメントの実際（系統別）：感覚器系 ・感覚器系の基本的な構造と機能を復習する。 ・身体診察のポイントと正常所見について説明する。 ・見る：眼のフィジカルアセスメント、聴く：耳のフィジカルアセスメントについて説明する。 ・心音、呼吸音、腸蠕動音について聴診する。 ・実施結果を観察記録に残し､アセスメントする。 【教科書ページ・参考文献】 ・インターメディカP58～P83、P83～P103　P178～P208 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加すること ・課題を期日までに提出すること 【予習復習に必要な想定時間】 ・30分
	第１０回	・フィジカルアセスメントの実際（系統別）：筋・骨格系－講義⑤ 【key words】 ・筋　骨格　関節　検査 【授業概要】 フィジカルアセスメントの実際（系統別）：筋・骨格系－講義 ・筋・骨格器系の基本的な構造と機能を復習する。 ・フィジカルイグミザネーションのポイントと正常所見､主な異常所見について説明する。 ・筋・骨格の状態､関節､関節周囲の状態､関節可動域､筋力（徒手筋力テスト）､バレー徴候を説明する。 【教科書ページ・参考文献】 ・インターメディカ　P134～P163 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加すること ・課題を期日までに提出すること 【予習復習に必要な想定時間】 ・30分
	第１１回	・フィジカルアセスメントの実際（系統別）：脳・神経系－講義⑥ 【key words】 ・自覚症状・健康歴・個性・ライフサイクル 【授業概要】 ・フィジカルアセスメントの実際（系統別）：脳・神経系－講義 ・脳・神経系のアセスメントについて説明する。 ・感覚器と脳の12神経の視診、触診のアセスメントについて説明する。 【教科書ページ・参考文献】 ・・インターメディカP104～P133 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加すること ・課題を期日までに提出すること 【予習復習に必要な想定時間】 ・30分
	第１２回	・フィジカルアセスメントの実際（系統別）：皮膚・リンパ系・甲状腺－講義⑦ 【key words】 ・皮膚　リンパ系　甲状腺 【授業概要】 ・皮膚の基本的な構造と機能を復習する。 ・フィジカルイグミザネーションのポイントと正常所見､主な異常所見について説明する。 ・皮膚、甲状腺、副甲状腺の視診、触診の説明をする。 【教科書ページ・参考文献】 ・インターメディカ　P164～P177 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加すること ・課題を期日までに提出すること 【予習復習に必要な想定時間】 ・30分
	第１３回	・総合演習（１）事例1に基づき実施　（演習） 【key words】 ・総合演習　事例　バイタルサインの測定とフィジカルアセスメントの実際 【授業概要】 ・総合演習（１）事例１に基づき実施 ・バイタルサインの測定と呼吸音の観察、腹部の観察など基礎的なフィジカルイグザミネーションを実施す る。

	【教科書ページ・参考文献】 ・インターメディカ　P33～P57　P58～P208 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加すること ・課題を期日までに提出すること 【予習復習に必要な想定時間】 ・30分 第１４回　・総合演習（２）事例1に基づき実施　（演習） 【key words】 ・総合演習　事例　バイタルサインの測定とフィジカルアセスメントの実際 【授業概要】 ・総合演習（１）事例１に基づき実施 ・バイタルサインの測定と呼吸音の観察、腹部の観察など基礎的なフィジカルイグザミネーションを実施す る。 【教科書ページ・参考文献】 ・インターメディカ　P33～P57　P58～P208 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加すること ・課題を期日までに提出すること 【予習復習に必要な想定時間】 ・30分 第１５回　・事例学習での学び 【key words】 フィジカルアセスメントの復習 【授業概要】 ・今まで学習してきたことの復習を行う。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・講義前にテキストの該当部分を読んでから授業に参加すること ・課題を期日までに提出すること 【予習復習に必要な想定時間】 ・30分
受講生に関わる情報および受講のルール	［受講生に関わる情報］ ・演習は白衣、ナースシューズを着用。頭髪・爪・化粧は「演習室使用時の心構え」に準じない場合は受講を認めない。 ・事前課題がある場合には講義、演習までに学習して臨み、提出の指示があった場合には速やかに提出すること。 ・技術（フィジカルイグザミネーション）は繰り返して練習し、積極的に習得すること。 ［受講のルール］ ・他の受講生に迷惑になる行為（私語、携帯電話等の使用）は厳禁。 ・遅刻・早退については、担当教員の理由を申し出ること。欠席した場合は、担当教員まで講義資料を取りにくること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	・コメントカード、またはQRコード
授業外時間にかかわる情報	・授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館 での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容を深めることを心がける。 ・授業のなかでミニテストを行うので指示された範囲を学習すること
オフィスアワー	・各回、授業終了後から放課後18時までとする。
評価方法	・筆記試験(70%）、総合演習課題(20%)、課題レポート・ミニテスト（10%)とする。　総合評価は60%を超えていること が前提となる。
教科書	・守田美奈子ほか：写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス､インターメディカ､2021. ・有田清子ほか：基礎看護技術Ⅰ､医学書院､2019.
参考書	・横山美樹：はじめてのフィジカルアセスメント､メヂカルフレンド社　2018. ・山内豊明：フィジカルアセスメント　ワークブック、医学書院,2016. ・山内豊明：フィジカルアセスメント　ガイドブック,医学書院,2017. ント,メジカルフレンド社,2016.
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 看護職として臨地実習指導者として学生に指導を行ってきている。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育

	■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 地域包括ケアシステム論　　授業コード： 20242

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1	必修
担当教員			
塚越　八重子　　矢内つや子　　篠原百合子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	目的 地域の暮らしを理解し、地域に暮らす人々を「生活者」ととらえ、様々な発達段階、健康レベル、生活の場にある人が住み慣れた地域で暮らし続ける大切さを理解する。 目標 １．多様な人々の暮らしを理解し、暮らしが健康に与える影響を理解する ２．地域・在宅看護論の対象と看護の基盤となる概念を理解する ３．地域で生活する人々と、その家族の看護について理解する ４．1から3を通して地域で生活する人々とその家族の健康と暮らしを継続して支援する意義を認める。
授業の概要	地域で生活する多様な人々の暮らしを理解し、地域包括ケアシステムにおける看護職の役割が発揮できるための基礎知識を習得する。方法は、地域包括ケアシステムの基礎知識を各看護学の特徴と関連させ、対象に応じた看護ができることを目指すために、オムニバス形式で段階的に深化させる。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	△
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	○
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第1回	人々の暮らしと地域・在宅看護１） 【key words】 暮らし、暮らしと健康、地域・在宅看護 【授業概要】 １．人々の暮らしの理解 １）暮らしとは ２）暮らしと健康との関係 ３）暮らしの中で健康をとらえる ２．地域・在宅看護の役割 １）地域・在宅看護の基盤となる考え方 ２）地域・在宅看護に求められる役割 【教科書ページ・参考文献】 p2～10 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ｐ2～p10 授業開始までに読んでおく 【予習復習に必要な想定時間】 4時間
	第2回	人々の暮らしと地域・在宅看護２） 【key words】 暮らし、暮らしと健康、地域・在宅看護 【授業概要】 １．人々の暮らしの理解 ・演習 ・1回目の事後学習をもとに学修した内容を共有する 【教科書ページ・参考文献】 ｐ2～p10 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・ワークシート１を記載する 【予習復習に必要な想定時間】 4時間
	第3回	暮らしの基盤としての地域の理解１） 【key words】

		地域、多様性 【授業概要】 １．暮らしと地域 １）地域の定義 ２）人々の暮らす地域の多様性 ２．暮らしと地域を理解するための考え方 １）システム理論 ２）システム思考 【教科書ページ・参考文献】 p38-51 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・関東と関西の文化の違い：日常の事例 ・システム理論、システム思考の振り返り ・地域包括ケアシステムについてまとめる 【予習復習に必要な想定時間】 4時間
	第4回	暮らしの基盤としての地域の理解２） 【key words】 【授業概要】 ３．地域包括ケアシステムと地域共生社会 １）地域包括ケアシステム ２）地域共生社会 【教科書ページ・参考文献】 p45 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・「地域共生社会」を各自まとめる 【予習復習に必要な想定時間】 4時間
	第5回	地域・在宅看護の対象 【key words】 ライフステージ、健康レベル 【授業概要】 １．地域・在宅看護の対象者 １）地域による多様性 ２）ライフステージよる多様性 ３）健康レベルの多様性 ２．家族の理解 １）わが国における家族の現状 ２）わが国における家族とその変遷 ３）地域・在宅看護の対象者としての家族 ３．地域に暮らす対象者の理解と看護 １）地域特性の理解と看護 ２）家族のライフステージの理解と看護 ３）対象者の理解からつながりをつくる看護 【教科書ページ・参考文献】 p100 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・ワークシート３を記載する 【予習復習に必要な想定時間】 4時間
	第6回	地域における暮らしを支える看護１） 【key words】 暮らしと環境、看護師の態度・知識・姿勢 【授業概要】 １．暮らしを支える地域・在宅看護 １）「暮らしを支える看護」とは ２）「暮らしを支える看護」の実践 ２．暮らしの環境を整える看護 １）暮らしに関連する環境 ２）暮らしの環境を整える看護とは ３）看護師に求められる態度・知識・姿勢 【教科書ページ・参考文献】 p104 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業の振り返りをする 【予習復習に必要な想定時間】 1時間から2時間
	第7回	地域における暮らしを支える看護２） 【key words】 地域の環境、人々の健康ニーズ 【授業概要】 ３．広がる看護の対象と提供方法 １）健康に対する人々のニーズ ２）看護の実践方法の広がり ３）人々の健康ニーズこたえる看護と看護の実践例 ４．地域における家族への看護 １）地域における家族への看護姿勢 【教科書ページ・参考文献】

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 1時間から2時間 第8回　地域における暮らしを支える看護３） 【key words】 ライフステージ、健康課題、災害、リスク 【授業概要】 ５．地域におけるライフステージに応じた看護 １）ライフステージと人々の暮らし ２）ライフステージによる健康課題と予防 ３）疾病とライフステージ ４）家族とライフステージ ６．地域での暮らしにおけるリスクの理解 １）暮らしにおけるリスクと安全に暮らし続けるための援助 ７．地域での暮らしにおける災害対策 １）暮らしと災害 ２）地域・在宅看護と災害対策 【教科書ページ・参考文献】 p113-141 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・地域における災害について列挙する ・授業の振り返り 【予習復習に必要な想定時間】 4時間
受講生に関わる情報および受講のルール	・事前学習、事後課題を必ず行って授業に臨むこと。 ・グループワークは積極的に取り組むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	・コメントカードにより毎回確認する
授業外時間にかかわる情報	毎回2時間程度事前学習や課題を行う
オフィスアワー	授業終了後から10分間。12:00～12:40。
評価方法	課題10%、レポート90%
教科書	系統看護学講座　地域・在宅看護の基盤　医学書院　2022
参考書	授業内で必要に応じて紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 看護職としての実務経験、教育経験、研究を通して、教授内容を深めてきた。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 地域包括ケア実習Ⅰ　　授業コード： 20243

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1	必修
担当教員			
全看護専任教員			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	様々な発達段階、環境、生活の場にある人々の住み慣れた地域での暮らしを知り、人々の生活環境が健康に及ぼす影響について理解する。これらの学習を通して地域包括ケアに関連するサービス提供機関及び健康支援の必要性を理解する。 １．様々なライフサイクルにある人々の暮らしを理解する ２．地域の生活環境が人々の暮らしや健康に与える影響を理解する ３．人々が地域で暮らし続けるために、地域包括ケアシステム及び健康支援が重要であることを理解す る
授業の概要	地域包括ケアシステム論で学修した内容をもとに、様々な発達段階にある人々の暮らしの場に出向き、様々な活動への参加を通して、住み慣れた地域で暮らし続ける大切さを理解する。これらの活動を通して、住民のニーズを知り、暮らしやすい地域を実現するために地域包括ケアシステムが必要であることを理解する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	△
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	◎
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	△
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	別紙実習要項に準ずる 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	（１）事前オリエンテーションを受ける （２）大学ジャージを着用し、実習であることを自覚し、身だしなみを整える。 （３）実習先では教員とともに自己紹介し、実習協力への承諾を得る （４）記録用紙を用いて、利用者からの情報を収集する。 （５）実習中は日々の記録（学習計画用紙）を用いて翌日の学修計画を立案する。 （６）実習目標の達成に向けて教員や施設の指導者から必要な支援を受ける。 （７）利用者のプライバシーに配慮して行動する。 （８）収集した情報・記録用物等を置き忘れないように取扱いに十分注意する。 （９）利用者個人が特定できないような形式で記録する。 （10）学習に直接関係しないデータは速やかに破棄する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	実習中、日々適切に対応する
授業外時間にかかわる情報	日々の記録を通して、事前学習と1日のまとめを行う。
オフィスアワー	月曜日
評価方法	行動目標に沿って評価する
教科書	系統看護学講座　地域・在宅看護の基盤、医学書院　2022
参考書	実習中に適宜紹介する

実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 様々な発達段階、環境、生活の場にある人々の住み慣れた地域での暮らしを知り、人々の生活環境が健康に及ぼす影響について、学生が理解できるように実践経験や研究などを通して実習指導を行っている アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 中国語　　授業コード： 20244

英文科目名称： Chinese

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択科目
担当教員			
岡野　康幸			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 ・中国語の正確な発音と初歩の文法・語彙を修得することにより、自身に関する簡単なことが言えるようにする。 ・中国語の学習を通じて、日本語との構造の差異に着目する。 【到達目標】 ・ピンインを見て発音ができるようになる。 ・中国語であいさつ・簡単な自己紹介ができるようになる。
授業の概要	中国語は声調（音声の高低）によって意味が変わる言語であり、また日本語には存在しない発音も多い言語です。発音を徹底的に練習することにより、正しい発音の習得と今後の自発的学習（予習・復習）の筋道をつける。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	△
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　科目オリエンテーション　諸注意　読みなれている言葉を中国語で発音してみよう

【key words】
受講にあたっての諸注意　中国語　漢語　簡体字　繁体字　ピンイン
【授業概要】
みなさんにとって中国語を本格的に学ぶのは初めてのことだと思います。初回に中国語と中国に関する概説をします。漢字や漢文表現は日本語の一部となっています。しかしもとは中国語（古典中国語）です。孔子やラーメンを中国語で発音し、日本語との差異を感じてください。なお、この授業で言う「中国語」とは、中華人民共和国で使用されている“普通话”（普通話）を指して言います。
【教科書ページ・参考文献】
P2
【課題・予習・復習・授業準備指示】
無料公開の放送大学【中国語Ⅰ（’１８）】第１回「『中国語』を学ぶ」見ておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
50分　https://v.ouj.ac.jp/view/ouj/#/navi/player?co=8808&ct=V&ca=1016

第２回　発音の決まりごと（１）

【key words】
ピンイン　声調（四声）　単母音　複合母音
【授業概要】
中国語は声調言語（音の高低によって意味が異なる）です。故に入門段階では発音の練習が最も重視されます。著名な中国語研究者が「中国語　発音よければ　半ばよし」と言うほど、中国語における発音の比重は高いのです。この回では、声調（四声）・単母音・複合母音について発音練習していきます。
【教科書ページ・参考文献】
P2・P3
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習の段階では、教科書付録のCDや音声ストリーミングを聞くだけでいいです。決して一人で発音練習をしないでください。入門段階で中国語の発音練習をすると、間違った発音を覚える可能性が大だからです。
【予習復習に必要な想定時間】
15分

第３回　発音の決まりごと（２）

【key words】
声調　併音

		【授業概要】 前回に続き発音の練習をします。今回は鼻母音・軽声・声調変化について練習していきます。また中国語の発音表記法である併音（ピンイン）の使い方についても講義します。 【教科書ページ・参考文献】 P4～P7 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習の段階では、教科書付録のCDや音声ストリーミングを聞くだけでいいです。決して一人で発音練習をしないでください。入門段階で中国語の発音練習をすると、間違った発音を覚える可能性が大だからです。 【予習復習に必要な想定時間】 15分
	第４回	第０課　你好！（こんにちは）第１課　你是日本人吗？（あなたは日本人ですか。） 【key words】 併音　名前の尋ねかた　是構文（名詞述語文） 【授業概要】 外国語を学ぶ際にあいさつはどの言語でも最初に学ぶ語彙でしょう。発音の練習をしっかりやっていきます。また今回より意味も含め本格的に中国語を学んで行きます。あいさつ・自己紹介・よろしくのあいさつ三大要素を暗記できるまで言ってみましょう。また中国語では名前の尋ねかた、あいさつの仕方についても何通りかあります。語彙を増やして表現を豊富にしてみましょう。さらに、人称代名詞と動詞“是”「～です」について学習します。動詞“是”の構文は名詞述語文と呼ばれるもので基本構造の文です。この構文を使って会話と作文をしていきます。 【教科書ページ・参考文献】 P8～P13 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習の段階では、教科書付録のCDや音声ストリーミングを聞くだけでいいです。復習の際には、音声を聞きながら自分でも言ってみても構いません。 【予習復習に必要な想定時間】 15分
	第５回	第２課　这是什么？（これは何ですか。） 【key words】 这个 那个 哪个 【授業概要】 指示代名詞（こそあど【これ・それ・あれ・どれ】）について学習します。この構文を使って会話と作文をしていきます。また疑問詞疑問文“什么”“谁”“哪里”を使って疑問文を作ってみましょう。さらに、助詞“的”を使い所有を示す「～の」の構文も学習します。練習問題にも取り組み自力で解いてみましょう。 【教科書ページ・参考文献】 P14～P17 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習の段階では、教科書付録のCDや音声ストリーミングを聞くだけでいいです。復習の際には、音声を聞きながら自分でも言ってみても構いません 【予習復習に必要な想定時間】 15分
	第６回	今天几月几号？（今日は何月何日ですか。） 【key words】 曜日の言い方 【授業概要】 日付・曜日の尋ねかたについて学習します。日付･曜日の言い方は基本的に日本語と同じですが、語彙が異なりますので気をつけてください。動詞文（主語+動詞【+目的語】）の構文は動詞述語文と呼ばれるものです。動作を表す語彙を用いて表現力を豊富にしていきましょう。練習問題にも取り組み自力で解いてみましょう。 【教科書ページ・参考文献】 P18～P21 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習の段階では、教科書付録のCDや音声ストリーミングを聞くだけでいいです。復習の際には、音声を聞きながら自分でも言ってみても構いません。 【予習復習に必要な想定時間】 20分
	第７回	你今年多大？（あなたは今年何歳ですか。） 【key words】 年齢の尋ね方 【授業概要】 年齢の尋ねかた・年の言い方について学習します。中国語では年齢を聞くときに、①子ども②同世代･年下③目上の人で尋ね方が異なります。（日本語でもそうですよね）難しいことはありませんが、使い分けができるようにしてください。また年の言い方（おととし・去年・今年・来年・再来年）の言い方についても学習します。さらに、一から百までの数の数え方を学習します。練習問題にも取り組み自力で解いてみましょう。 【教科書ページ・参考文献】 P22～P25 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習の段階では、教科書付録のCDや音声ストリーミングを聞くだけでいいです。復習の際には、音声を聞きながら自分でも言ってみても構いません。 【予習復習に必要な想定時間】 20分
	第８回	第５課　现在几点？（いま何時） 【key words】 時間の表し方 【授業概要】 時刻の尋ねかた・言い方について学習します。日本語と時刻の言い方が異なる場面もありますので、その違いに注意しながら学習していきましょう。 【教科書ページ・参考文献】

		P26～P29 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習の段階では、教科書付録のCDや音声ストリーミングを聞くだけでいいです。復習の際には、音声を聞きながら自分でも言ってみても構いません。 【予習復習に必要な想定時間】 20分
	第９回	第６課　你家有几口人？（あなたの家族は何人ですか.） 【key words】 你家　几 動詞“有” 【授業概要】 数の数え方について学習します。中国語では１０以下か以上かで尋ね方が異なります。家族の場合はたいてい１０人以下でしょうから“几”になります。また家族人員を示す語彙も覚えましょう。さらに、所有を示す動詞“有”を使い「ある、持っている」を表す文章を作っていきます。肯定文以外にも否定文･疑問文のつくり方も覚えましょう。関連表現も覚えていきましょう。また練習問題にも取り組み自力で解いてみましょう。 【教科書ページ・参考文献】 P30～P33 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P30・P31の音声を講義の前に必ず聞いておいてください。P33の単語帳（家族）を聞き、中国語で家族名称が答えられるようよく予習をしてください。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１０回	第７課　体育馆在哪儿？（体育館はどこですか。） 【key words】 動詞“在”所在・存在を表す　連動文 【授業概要】 所在・存在を示す“在”を使い「ある、いる」を表す文章を作っていきます。肯定文以外にも否定文･疑問文のつくり方も覚えましょう。更に願望を示す助動詞“想”を使い自分の願望を表す文章を作ってみましょう。さらに、動作が二つ連続して行なわれる文章を連動文と言います。例えば、体育館に行ってバスケットをする。と言った場合、“行って”と“する”の二つの動詞からこの一文は成り立っています。中国語での連動文を作ってみましょう。練習問題にも取り組み自力で解いてみましょう。 【教科書ページ・参考文献】 P34～P37 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P34・P35の音声を講義の前に必ず聞いておいてください。P37の単語帳（方位詞）を聞き、中国語で方位名称が答えられるようよく予習をしてください。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１１回	第８課　山田太郎在家吗？（山田太郎は家にいますか。） 【key words】 100以上の数の数え方　動詞“在”の活用（肯定文・否定文・疑問文）　电话 番号として言うときの“一”の発音 【授業概要】 この回では１００以上の数の数え方を学習します。日本語の数え方と若干異なりますので気をつけてください。また前々回に学習した所在・存在を示す“在”を使い（わたしは～にいる）という文章を作っていきます。さらに、電話口での中国語会話を学習します。電話で外国語を使用するのは想像以上に難しいです。（相手の顔が見えないので、表情を窺えません）しかし、初級者でも基本的なことはいえますので、基礎的な会話を学習しましょう。練習問題にも取り組み自力で解いてみましょう。 【教科書ページ・参考文献】 P38～P41 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P38・P39の音声を講義の前に必ず聞いておいてください。p41の単語帳（街中）を聞き、中国語で街中に関する言葉を答えられるようよく予習をしてください。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１２回	第９課　你喜欢什么？（あなたは何が好きですか。） 【key words】 Ｓ+Ｖ+Ｏ　喜欢 【授業概要】 中国語の基本構文はＳ+Ｖ+Ｏ（主語+述語+目的語）です。この構文を体に染み込むまで徹底して学習します。“喜欢”を使い（～が好き）という文章を作っていきます。さらに、“喜欢”を使って、肯定文以外に否定文や疑問文を作っていきます。中国語は日本語と異なり「～するのが好き」という形になります。ですから日本語では「野球が好き」で通じますが中国語の場合、「野球をするのが好き（我喜欢打棒球）」となります。（打が動作を示す）このことについても学習し理解してください。練習問題にも取り組み自力で解いてみましょう。 【教科書ページ・参考文献】 P42～P45 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P42・P43の音声を講義の前に必ず聞いておいてください。p45の単語帳（行動）を聞き、中国語で行動に関する言葉を答えられるようよく予習をしてください。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１３回	第10課　你身体真棒！（あなたの体は本当にすばらしい。） 【key words】 形容詞述語文　副詞　很 真　主述述語文　吧 【授業概要】 形容する際の文章（形容詞述語文）について学習し、習得してもらいます。形容詞述語文の大きな特徴として必ず副詞“很”“真”などを付けなければなりません。“是”構文との相違に着目しながら解説していきます。さらに、主述述語文（～は～が～だ、例として象は鼻が長い）と文末の“吧”について学習します。特に“吧”は３種類の使い方があるので注意して学習していきましょう。練習問題にも取り組み自力で解いてみましょう。

	【教科書ページ・参考文献】 P46～P49 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P46・P47の音声を講義の前に必ず聞いておいてください。p49の単語帳（対義語）を聞き、中国語で対義語を答えられるようよく予習をしてください。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１４回　第11課 您要什么？（あなたは何が欲しいですか。） 【key words】 助動詞　要（要には二つの意味があるので気をつけてください）　金額の数え方 【授業概要】 助動詞“要”は（～したい）という願望を意味するときと、（欲しい）の意味の場合と二つあります。この差異に注意して学習していきます。さらに、お金の数え方について学習します。また買い物の際の中国語を身につけましょう。練習問題にも取り組み自力で解いてみましょう。 【教科書ページ・参考文献】 P50～P53 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P50・P51の音声を講義の前に必ず聞いておいてください。p53の単語帳（色）を聞き、中国語で色を答えられるようよく予習をしてください。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１５回　第12課 你打羽毛球打得很好！（あなたはバトミントンが上手ね。） 【key words】 様態補語　得　助動詞　会 【授業概要】 様態補語“得”について学習します。日本語とは言い表し方が異なりますので、差異に着目しながら学習します。さらに、助動詞“会”（できる）は学習･練習の結果何らかの技能が「できる」と言う意味を表します。この“会”を使い文章を作ります。練習問題にも取り組み自力で解いてみましょう。 【教科書ページ・参考文献】 P54～P57 【課題・予習・復習・授業準備指示】 P54・P55の音声を講義の前に必ず聞いておいてください。p57の単語帳（動作）を聞き、中国語で動作を答えられるようよく予習をしてください。 【予習復習に必要な想定時間】 45分
受講生に関わる情報および受講のルール	・ただ授業を聞くといった受け身の姿勢ではなく、「学ぶ意義」を自身に問いかけながら、積極的に参加すること。 ・周囲の迷惑になるので私語は慎むこと。 ・本人の責に帰す遅刻早退は認めない。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	漢字で書かれていても中国語は外国語です。漢字を見て中国語ではどのように発音するのかと意識してみてください。
オフィスアワー	講義前及び終了後に非常勤講師室におりますので、何かあれば訊いてください。
評価方法	期末試験８０％　小テスト２０％
教科書	川邉雄大『体育・スポーツ系のための入門中国語』朝日出版社、２０１９年１月
参考書	相原茂『はじめての中国語』講談社現代新書、１９９０年２月
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 生物学　　授業コード： 20245

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
松井孝夫			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】看護学の観点から生物学の基礎的知識と生物学に関する幅広い教養を身につける。学習の過程では、授業においてはグループワーク等を通して連携・協働力やコミュニケーション能力を高め、授業外の時間においては、課題に対して主体的に取り組む姿勢を身につける。 【到達目標】生物学の基礎的知識と生物学に関する幅広い教養を身につけている。連携・協働力やコミュニケーション能力を高め、課題に対して主体的に取り組む姿勢を身につけている。
授業の概要	生物とその生命現象、ヒトのからだのしくみについて理解することは医療従事者になるために必要不可欠である。本科目では、基礎生物学として、「生物の特徴」「生物の共通性と多様性」「生物とエネルギー」「遺伝子とその働き」「遺伝情報とDNA」「遺伝情報とタンパク質の合成」「ヒトの体の調節」「神経系と内分泌系による調節」「情報の伝達」「体内環境の維持の仕組み」「免疫の働き」等について学修する。 なお、高校で生物基礎を履修していない学生は、本科目を受講することが望ましい。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	○
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画

第1回　ガイダンス

【key words】
生物基礎
【授業概要】
生物学に関する基礎力をチェックする。
学習内容及び方法を確認する。
ICT（googleのアプリなど）の使用方法を理解する。

【教科書ページ・参考文献】
第2回～第8回の授業内容の該当ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：シラバスを確認する。（教科書の準備は不要）
学習端末（ノートPC、タブレット、スマホなど）を準備する。
復習：基礎用語チェック表（スプレッドシート）の用語をセルフチェックする。

【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第2回　生物の特徴

【key words】
細胞質基質　細胞膜　ミトコンドリア　細胞膜　原核細胞　原核生物　真核細胞　真核生物　DNA　代謝　異化　同化　ATP　高エネルギーリン酸結合　触媒　酵素　基質特異性　呼吸
【授業概要】
生物の共通性と多様性について、様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだし、また、生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解する。
生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解すること、光合成や呼吸などの代謝とATP を関連付けて理解する。
【教科書ページ・参考文献】
p22-47
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：基礎用語チェック表（スプレッドシート）の用語を簡潔に説明する。
復習：基礎用語チェック表（スプレッドシート）の用語をセルフチェックする。

【予習復習に必要な想定時間】

60～120分

第3回　遺伝子の働きと遺伝情報の発現

【key words】

DNA　ヌクレオチド　デオキシリボース　塩基　二重らせん構造　相補性　形質転換　細胞周期　間期　タンパク質　アミノ酸　mRNA　リボース　転写　翻訳　分化　ゲノム

【授業概要】

遺伝情報とDNAについて、DNA の構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNA の特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性とDNA の複製を関連付けて理解する。
遺伝情報とタンパク質の合成について、遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。

【教科書ページ・参考文献】

p48-81

【課題・予習・復習・授業準備指示】

予習：基礎用語チェック表（スプレッドシート）の用語を簡潔に説明する。
復習：基礎用語チェック表（スプレッドシート）の用語をセルフチェックする。

【予習復習に必要な想定時間】

60～120分

第4回　まとめ①

【key words】

【授業概要】

第２・３回の学習内容を整理し、関連事項を確認する。（教科書第１～４章）

【教科書ページ・参考文献】

p22-107、p120-131

【課題・予習・復習・授業準備指示】

予習：基礎用語チェック表（スプレッドシート）の用語を簡潔に説明する。
復習：基礎用語チェック表（スプレッドシート）の用語をセルフチェックする。

【予習復習に必要な想定時間】

60～120分

第5回　生物の体内環境の維持①

【key words】

恒常性　血液　組織液　リンパ液　血しょう　フィブリン　原尿　肝臓

【授業概要】

体内環境と恒常性について、体液とその働き及び体液の調節に関する資料に基づいて、体内環境は一定の範囲内に保たれていること、体内のさまざまな器官が連携して恒常性を生み出していることを見出し理解する。

【教科書ページ・参考文献】

p182-193

【課題・予習・復習・授業準備指示】

予習：基礎用語チェック表（スプレッドシート）の用語を簡潔に説明する。
復習：基礎用語チェック表（スプレッドシート）の用語をセルフチェックする。

【予習復習に必要な想定時間】

60～120分

第6回　生物の体内環境の維持②

【key words】

交感神経　副交感神経　脳下垂体前葉　脳下垂体後葉　間脳視床下部　バソプレシン　インスリン　すい臓　糖尿病

【授業概要】

自律神経系による情報の伝達について、体の調節に関する資料に基づいて、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解する。
内分泌系による調節について、体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモン
の働きとの関係を見いだして理解する。

【教科書ページ・参考文献】

p194-201

【課題・予習・復習・授業準備指示】

予習：基礎用語チェック表（スプレッドシート）の用語を簡潔に説明する。
復習：基礎用語チェック表（スプレッドシート）の用語をセルフチェックする。

【予習復習に必要な想定時間】

60～120分

第7回　生物の体内環境の維持③

【key words】

自然免疫　獲得免疫　T 細胞　B 細胞　NK 細胞　キラーT 細胞　二次応答　体液性免疫　細胞性免疫　血清療法　ワクチン

【授業概要】

免疫と疾患免疫の働きについて、免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解する。

【教科書ページ・参考文献】

p206-213

【課題・予習・復習・授業準備指示】

予習：基礎用語チェック表（スプレッドシート）の用語を簡潔に説明する。
復習：基礎用語チェック表（スプレッドシート）の用語をセルフチェックする。

【予習復習に必要な想定時間】

60～120分

第8回　まとめ②

【key words】

	体液、神経系、内分泌系、免疫 【授業概要】 第５～７回の学習内容を整理し、関連事項を確認する。（教科書第５～６章） 【教科書ページ・参考文献】 p182-231 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：基礎用語チェック表（スプレッドシート）の用語を簡潔に説明する。 復習：基礎用語チェック表（スプレッドシート）の用語をセルフチェックする。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
受講生に関わる情報および受講のルール	google classroom、フォーム、googleスプレッドシートを使用できるように個人端末（スマホ可）を準備すること。 多様な学習形態に適応すること（個人の学習と、グループでの学習、全体での学習） 多様な表現方法で知識・技能を活用すること（文字言語、音声言語、作図） 毎時間、振り返り（自己評価）を行うこと。（活用した知識・技能、高められた資質・能力≒DP） 欠席した場合も、授業内容を把握して、時間を確保して、復習を行うこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ICT利用（googleスプレッドシート、googleフォーム、電子メール）
授業外時間にかかわる情報	予習を必ず行うこと。復習は授業当日の午後（または翌日）に行うこと。 予習：基礎用語チェック表（スプレッドシート）の用語を簡潔に説明する。 復習：基礎用語チェック表（スプレッドシート）の用語をセルフチェックする。
オフィスアワー	水曜日　授業終了時
評価方法	筆記試験50%、スプレッドシート、ノート、プリント等50%で評価する。 筆記試験は、生物学の基礎的知識の定着を評価する。 スプレッドシート、ノート、プリントは、予習・授業・復習・振り返り（自己評価）等を評価資料として、資質・能力・態度を評価する。
教科書	サイエンスビュー生物総合資料四訂版（実教出版）
参考書	授業時に随時紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 看護過程の基礎　　授業コード： 20246

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	必修
担当教員			
上田 葉子　髙島 由紀子　櫻井 清美　小林 洋子　桐生 由美子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業目的】 看護学専門科目に共通する問題解決思考を基盤として、基礎的な看護過程の展開方法を修得する。 【到達目標】 1.看護の目的に照らして看護の対象である人間を全人的にとらえることができる。 2.看護過程の意義について説明できる。 3.看護過程の構成要素について説明できる。 4.看護過程の展開方法に沿って対象に必要な看護問題を導き出し、その問題を解決するために行う計画・実施・評価の思考と行動の道筋を説明できる。 5.看護記録の目的と意義について説明できる。
授業の概要	看護過程を用いることの意義、看護過程を構成する5つの要素とその展開方法ついて教授する。また、看護職者が行う記録についても教授する。演習では事例を通して基礎的なアセスメント、看護問題の明確化、計画立案、実施、評価といった思考と行動の道筋について学習する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	△
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	○
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画		
	第１回	科目オリエンテーション　看護過程とは 【key words】 人間の反応　看護過程　問題解決過程　クリティカルシンキング　倫理的判断　リフレクション 【授業概要】 ・科目オリエンテーションとして授業の目的と目標、授業概要、評価方法について説明する ・看護における対象のとらえ方（人間の反応）と看護師の役割について学習を深める。 ・人間の反応を理解した後、看護過程の意義と看護過程を用いることの利点を説明し、さらに看護過程の5つの構成要素とそれぞれの関係性について説明する。また、看護過程に取り組む前の基盤となる考え方として、問題解決過程およびクリティカルシンキングと看護過程との関係、倫理的判断、リフレクションについて学習する 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.272-292 ②テキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習】講義前にテキストの該当する部分を読んでおくこと 【復習】提示するレポート課題に取り組み、期限までに提出する 【授業準備】講義終了後にミニテストを実施する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２回	看護過程の各段階における基本的な考え方と看護記録 【key words】 アセスメント　看護問題の明確化　看護問題　看護診断　看護計画　実施・評価　看護記録 【授業概要】 看護過程の各段階であるアセスメント,看護問題の明確化,看護計画,実施・評価について説明する。また看護記録について法的な位置づけと目的・記載・管理上の留意点,看護記録を構成する4つの要素について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.292-322, p.322-328 ②テキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】

		【予習】講義前にテキストの該当する部分を読んでおくこと 【復習】提示するレポート課題に取り組み、期限までに提出する 【授業準備】次回、講義開始前にミニテストを実施するため復習をしておくこと 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第３回	【事例展開】講義・演習 アセスメント 1）データの収集と情報への変換 【key words】 人間の反応　データ　S情報・0情報　ゴードン,M　機能的健康パターン 【授業概要】 ・看護の対象となる人がどのような状態であるのかを考え、その人が必要とする援助を行うためには、その対象者に関するデータ（身体的・精神的・社会的な人間の反応）が必要である。得たデータを看護の知識を使って意味づけすることでデータから情報へ変換する方法を学習する。 ・演習では、事例を通して、プロフィールの作成を行う。さらに、収集したデータをゴードンの機能的健康パターンに基づくアセスメントの枠組み項目を活用し、人体構造・機能学や看護技術などの専門知識、患者の個別性を基にして、データに意味付けすることで情報への変換を行う。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.292-297 ②テキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習】講義前にテキストやサブテキストの該当する部分を読んでおくこと 【復習】提示するレポート課題に取り組み、期限までに提出する 【予習復習に必要な想定時間】 120分
	第４回	【事例展開】講義・演習 アセスメント 2）「人間の反応」の解釈と分析の方法① 【key words】 人間の反応　解釈　分析　推論　判断 【授業概要】 ・プロフィール（患者基本情報）とアセスメントの枠組みを活用してクラスタリングされた情報を根拠として、「人間の反応」が現時点で適切かどうか、健康増進への意欲・願望を示しているかという2つの視点で現状について解釈する。さらに、解釈した「人間の反応」がその現状を引き起こしている原因や誘因、「人間の反応」を維持・促進できる強み、将来のなりゆきについて分析する。（推論・判断） ・演習ではクラスターごとの情報について解釈・分析行う。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.297-305 ②テキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習】講義前にテキストやサブテキストの該当する部分を読んでおくこと 【復習】提示するレポート課題に取り組み、期限までに提出する 【予習復習に必要な想定時間】 120分
	第５回	【事例展開】講義・演習 アセスメント 3）「人間の反応」への解釈と分析の方法② 【key words】 人間の反応　解釈　分析　推論　判断 【授業概要】 ・プロフィール（患者基本情報）とアセスメントの枠組みを活用してクラスタリングされた情報を根拠として、「人間の反応」が現時点で適切かどうか、健康増進への意欲・願望を示しているかという2つの視点で現状について解釈する。さらに、解釈した「人間の反応」がその現状を引き起こしている原因や誘因、「人間の反応」を維持・促進できる強み、将来のなりゆきについて分析する。（推論・判断） ・演習ではクラスターごとの情報について解釈・分析行う。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.297-305 ②テキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習】講義前にテキストの該当する部分を読んでおくこと 【復習】提示するレポート課題に取り組み、期限までに提出する 【予習復習に必要な想定時間】 120分
	第6回	【事例展開】講義・演習 アセスメント 4）「人間の反応」の関連性の把握① 【key words】 人間の反応　関連図　問題の総合 【授業概要】 ・「人間の反応」の解釈、分析の結果をふまえて、プロフィール情報とアセスメントの枠組みを見ながら、項目ごとの「人間の反応」の関連性を確認し、対象者の全体像を把握していく。 ・演習では、見ているだけではまとまらない思考を視覚化する手段として関連図を作成し、全体像を把握する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.305 ②テキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習】講義前にテキストやサブテキストの該当する部分を読んでおくこと 【復習】提示するレポート課題に取り組み、期限までに提出する 【予習復習に必要な想定時間】 120分
	第7回	【事例展開】講義・演習 アセスメント 5）「人間の反応」の関連性の把握② 【key words】 人間の反応　関連図　問題の総合 【授業概要】 ・「人間の反応」の解釈、分析の結果をふまえて、プロフィール情報とアセスメントの枠組みを見ながら、項目ごとの「人間の反応」の関連性を確認し、対象者の全体像を把握していく。 ・演習では、見ているだけではまとまらない思考を視覚化する手段として関連図を作成し、全体像を把握する。

		【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.305 ②テキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習】講義前にテキストやサブテキストの該当する部分を読んでおくこと 【復習】提示するレポート課題に取り組み、期限までに提出する 【予習復習に必要な想定時間】 120分
	第8回	【事例展開】講義・演習　看護問題の明確化（看護診断）①看護問題の見きわめ方と看護問題の表現（看護診断） 【key words】 看護問題　看護診断　原因「E」　症状「S」　実在型　リスク型　ヘルスプロモーション型 【授業概要】 ・関連図により「人間の反応」の関連が整理されたら、その問題のどこに焦点をあてるのか考え看護師が独自に介入する看護問題を明確化する。 ・看護診断は「人間の反応」への臨床判断である。総合された情報を一つひとつ分析し、その情報の塊から推論される看護診断の診断指標や関連因子を照合する。そして、照合した情報を症状「S」と関連因子「E」、あるいは危険因子「R」に分類し、どの看護診断として考えることができるか（臨床）判断する。 ・抽出された看護診断を患者の全体像の中で考察し、さらに各々の看護診断の間に関係があるかどうかを判断し、必要に応じて統合する。統合した問題のみ、最終的な判断をくだすために、再び看護診断された問題を、その看護診断の指標や関連因子と照合する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.305-311 ②テキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習】講義前にテキストやサブテキストの該当する部分を読んでおくこと 【復習】提示するレポート課題に取り組み、期限までに提出する 【予習復習に必要な想定時間】 120分
	第9回	【事例展開】講義・演習 看護問題の明確化（看護診断）②看護問題（看護診断）の表記方法と優先順位 【key words】 看護問題　看護診断　原因「E」　症状「S」　実在型　リスク型　ヘルスプロモーション型 【授業概要】 ・看護問題の種類とその表記方法、看護問題の優先順位のつけ方について説明する。 ・演習では事例の状況から看護問題の優先順位を考え、看護問題リストを記入する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.311-312 ②テキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習】講義前にテキストの該当する部分を読んでおくこと 【復習】提示するレポート課題に取り組み、期限までに提出する。 【授業準備】次回、講義前に今までに学習した内容のミニテストを実施する。 【予習復習に必要な想定時間】 120分
	第10回	【事例展開】G・W　看護問題の明確化と優先順位の決定① 【key words】 看護問題　看護診断　原因「E」　症状「S」　実在型　リスク型　ヘルスプロモーション型　優先順位 【授業概要】 個人で学習してきた看護問題の明確化と看護問題の優先順位をもとにしながら、グループ内で関連図を作成し、看護問題の明確化についてさらに理解を深める。グループで検討した結果を基に、事例の患者の優先順位を決定する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.292-313 ②テキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【復習】グループワークの日までに個人で進めているレポート課題を仕上げておくこと。 【授業準備】グループで検討した関連図と看護問題リスト用紙を期日までに仕上げて提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 120分
	第11回	【事例展開】G・W　看護問題の明確化と優先順位の決定② 【key words】 看護問題　看護診断　原因「E」　症状「S」　実在型　リスク型　ヘルスプロモーション型　優先順位 【授業概要】 個人で学習してきた看護問題の明確化と看護問題の優先順位をもとにしながら、グループ内で関連図を作成し、看護問題の明確化についてさらに理解を深める。グループで検討した結果を基に、事例の患者の優先順位を決定する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.292-313 ②テキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【復習】グループワークの日までに個人で進めているレポート課題を仕上げておくこと。また、講義時間内で課題の作成が終了できなかった場合はグループ間で学習をすすめ、課題を提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 120分
	第12回	【事例展開】発表 関連図と看護問題の優先順位① 【key words】

	看護問題　看護診断　原因「E」　症状「S」　実在型　リスク型　ヘルスプロモーション型　優先順位 【授業概要】 グループで検討した看護問題を関連図を用いて発表する。発表の順番以外は、他のグループの発表を聞いて、自分たちのグループ内ではなかった視点はないか、なぜそのような視点に至ったのかなどを質問できるように準備する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.292-313 ②テキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【授業準備】グループ間で発表者を決めておくこと。また作成した関連図、看護問題リストを発表できるように準備をしておく。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第13回　事例展開】発表 関連図と看護問題の優先順位② 【key words】 看護問題　看護診断　原因「E」　症状「S」　実在型　リスク型　ヘルスプロモーション型　優先順位 【授業概要】 グループで検討した看護問題を関連図を用いて発表する。発表の順番以外は、他のグループの発表を聞いて、自分たちのグループ内ではなかった視点はないか、なぜそのような視点に至ったのかなどを質問できるように準備する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.292-313 ②テキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【授業準備】グループ間で発表者を決めておくこと。また作成した関連図、看護問題リストを発表できるように準備をしておく。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第14回　【事例展開】講義・演習　看護計画の立案 【key words】 看護計画　看護成果　観察計画（O-P）直接ケア計画（T-P）教育計画（E-P） 【授業概要】 ・看護計画の立案では明らかとなった看護問題に対して、それらを維持、改善、促進するための具体的な介入方法を考えていく。看護計画の立案について、それぞれの問題に対する「期待される成果」とその表記方法、看護計画の分類と具体的な介入方法について学習する。 ・演習では事例を基に、1つの看護問題を取り上げ、看護計画を立案する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.314-318 ②テキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習】講義前にテキストの該当する部分を読んでおくこと 【復習】提示するレポート課題に取り組み、期限までに提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第15回　【事例展開】講義　看護計画の実施・評価の方法　看護過程の基礎のまとめ 【key words】 看護計画　評価　看護記録 【授業概要】 ・立案した看護計画を実施する際には、アセスメントの内容・看護問題・期待される成果をあらためて確認する。患者は日々変化しているため、日々の経過記録や診療録を確認し、看護者間で情報交換を行い、患者とのコミュニケーションをとることで現在の患者の状態を確認する。これらをふまえて具体的な実施方法を考え、必要に応じて修正を加えながら計画を実施する。実施にあたり、患者の反応を観察することが重要である。実施した看護援助やそれに伴う患者の反応等はアセスメント用紙や経過記録に記録を残す。 ・看護過程の最終段階は評価である。評価とは問題解決のために看護介入を行った結果、期待させる成果に到達することができたかどうかを看護問題ごとに判断することである。期待される成果に達したのであればその問題は解決となる。しかし、期待される成果に到達できていないのであれば問題は解決しておらず、看護介入を継続しなければならない。以上の内容について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 ①テキスト p.318-321, p.322-327 ②テキスト 講義内容に該当するページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【復習】今まで、提出したレポート課題を追加・修正し、順番を整えて提出期限までに提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語、携帯電話の私用）は慎むこと。 ・全15回の講義の中で、提示するレポート課題はファイルに整理し、最終講義後（提出時期については最終講義後に伝達）に提出することで評価の一部とする。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	・Googleフォームよりコメントカードを提示する。 ・コメントに関する回答は次回の講義で返答またはWebポータルの授業掲示版で提示する。 ・学習の進捗状況は講義後に実施するミニテストや課題への取り組み内容から確認する。
授業外時間にかかわる情報	・各講義は予習を前提に進める。そのため、授業前日には教科書の該当ページを読んでおくこと。 ・レポート課題については、図書館等を利用して、参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容を深めることを心掛けること。 ・ミニテストを実施するため、一つずつ丁寧に理解を積み重ねること。
オフィスアワー	各回授業終了後から放課後18時までとする。

	授業日以外は、不在のこともあるため事前にアポイントをとること。
評価方法	筆記試験（30%）,レポート課題（60%）,ミニテスト（10%） ※以上の項目を総合的に判断し、60%以上に対して単位認定する。
教科書	①茂野 香おる他：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学2.医学書院,2023. ②江川 隆子：ゴードンの機能的健康パターンに基づく 看護過程と看護診断.NOUVELLE HIROKAWA.
参考書	その他、授業の中で適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 臨床では急性期、慢性期病棟、外来における看護を経験し、看護過程を展開してきた。 看護過程の基礎はあらゆる看護実践の基盤となる思考の過程を学習する科目であるため、臨床経験豊富な教員が看護実践の思考の過程を教授する。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 看護倫理　　授業コード： 20247

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	必修
担当教員			
櫻井　清美			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	＜目的＞ 　ケア対象者の尊厳と権利を擁護する看護者の責務について学び、医療における倫理的問題について考えることができる。 ＜目標＞： １．医療および看護において必要とされる倫理の基礎知識を得る。 ２．看護倫理学の観点が臨地実習において必要とされることを理解する。 ３．看護職に必要な倫理的責任と法的責任について理解する ４．倫理的な諸問題に対する感受性を高める。
授業の概要	倫理の原則や倫理規定から、看護職に求められる倫理について学習するとともに、現在の医療・看護の場において看護職が遭遇する倫理的問題・ジレンマ等についての学習を通して、看護職としての倫理観を構築すること、さらに、倫理的問題解決のために活用できる理論・対処方略について学習し、倫理的視点から看護職として適切な判断・行動が取れるようになることをねらいとする。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	◎
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画	第1回	ガイダンス：看護倫理の位置づけ、倫理学・看護倫理を学ぶ意味、生命倫理①倫理学の基本的考え方 【key words】 看護専門職、倫理学、義務論・帰納主義、生命倫理、インフォームドコンセント、守秘義務、個人情報保護、倫理的課題（生殖・死・先端医療）、看護とは何か、看護倫理の原則、アドボカシー、ケアリング 【授業概要】 　なぜ倫理について学ぶのかを理解し、生命倫理・医療倫理・看護倫理に関する概念やキーワードについて学ぶ。また、医療倫理の基本的考え方を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P2-5、10-92 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読し、生命倫理・医療倫理・看護倫理とは何かを考えて、授業に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1～2時間
	第2回	生命倫理②生命倫理　③性と生殖の生命倫理 【key words】 患者の権利、生命倫理4原則（自律尊重・善行・無害・正義）、看護職の責務 性の概念、性への医療的介入、生殖をめぐる概念、脆弱性を持つ人々の権利、生殖への医療介入 【授業概要】 生命倫理とは何か考え、性と生殖についての倫理的課題を学び、自身の意見を考える。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P24-40、42-58 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当部分を事前に読み、倫理的課題である性と生殖についての自分の考えをもって出席してほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1～2時間
	第3回	生命倫理④死の生命倫理　⑤先端医療と制度をめぐる生命倫理 【key words】 死生観、医療による死の確定、ホスピス・緩和ケア、自分らしく死ぬ権利、死の倫理課題（告

		知・終末期） 移植医療、再生医療、遺伝子医療、医療資源と医療保険制度 【授業概要】 生命倫理とは何か考え、先端医療についての倫理的課題を学び、自身の意見を考える。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P60-72、74-92 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当部分を事前に読み、倫理的課題である死と先端医療についての自分の考えをもって出席してほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1～2時間
	第4回	看護倫理①看護倫理とは何か ②専門職の倫理 【key words】 看護の倫理原則（善行と無害・正義・中世・誠実）、倫理的概念（アドボカシー・責務・協力・ケアリング）、専門職の倫理的判断 専門職の倫理綱領（ICN・日本看護協会）、保健師助産師看護師法と倫理 【授業概要】 看護倫理とは何か考え、専門職としての職業倫理や対象者への人としての倫理的なかかわりや配慮についてを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P96-118、120-136 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当部分を事前に読み、倫理的課題である死と先端医療についての自身の考えをもって出席してほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1～2時間
	第5回	看護倫理③倫理的問題へのアプローチ；基本的ルールとアプローチ法 【key words】 Jonsen症例検討シート、 トンプソン＆トンプソンの意思決定10ステップ、 サラ・フライ分析と意思決定モデル ナラティブ・アプローチ、 レスト道徳的行動モデル 【授業概要】 倫理的問題へのアプローチについて、活用できるよう、その基本ルールや様々なアプローチ法を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P138-162 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当部分を事前に読み、倫理的問題のアプローチについて理解して出席してほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1～2時間
	第６回	事例検討① 【key words】 看護実践における倫理的問題の特徴、 倫理的問題へのアプローチ法の活用 【授業概要】 倫理的問題へのアプローチ法を活用し、各自の意見を発表し合いグループで検討する。 倫理的課題に対する自身の考えを深める。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P138-162、184-214 【課題・予習・復習・授業準備指示】 多くの側面から倫理的問題を検討できるよう、学んできた知識を再確認して検討に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1～2時間
	第7回	事例検討② 【key words】 倫理的問題へのアプローチ法の活用 【授業概要】 倫理的問題へのアプローチ法を活用し、各自の意見を発表し合いグループで検討する。 倫理的課題に対する自身の考えを深める。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P138-162、184-214 【課題・予習・復習・授業準備指示】 多くの側面から倫理的問題を検討できるよう、学んできた知識を再確認して検討に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1～2時間
	第8回	看護倫理④看護研究の倫理、まとめ 【key words】 倫理的問題、倫理的配慮の要点 【授業概要】 看護研究における倫理的課題を学び、自身が研究するうえで厳守することの重要性を学ぶ。 授業全体を振り返って、看護職としての将来の自身を考える。また、倫理的問題について検討し続けることの大切さを考えてほしい。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P164-180

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 看護研究とは、誰に貢献する内容なのかを考えた上で出席してほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1～2時間
受講生に関わる情報および受講のルール	・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁です。 ・ループワークでディスカッションした内容を、各自整理し文章に表現してほしい。 ・看護職をするうえで、必ずかかわり考え続ける必要のある倫理的課題について、今の自身の考えを表してほしい。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	QRコード、コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	倫理的課題について、授業前および授業後にも思いを巡らせ、授業が終講するするときに考えを深めることができることが望ましい。そのために、日常的に医療倫理や看護倫理に関する話題に敏感であってほしい。 教科書の授業に関連する部分を熟読し、自らの疑問や考えをもって主体的に参加してほしい。
オフィスアワー	授業終了後1時間
評価方法	１．筆記試験70% ２．課題レポート30％ 上記１～２を合わせて60％を超えること。
教科書	宮坂道夫編：系統看護学講座別巻　看護倫理. 2023, 医学書院
参考書	小西恵美子編：看護学テキストNiCE　看護倫理. 2023, 南江堂 その他、適宜紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 病院にて、手術室および脳神経外科での看護実践の経験がある アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 地域・在宅看護学概論　　授業コード： 20248

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2	必修
担当教員			
篠原　百合子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業の目的] 疾病や障がいを持ちながら、生活する人々とその家族が生活を継続していくための支援に必要な地域・在宅看護の基礎的能力を養う。 [到達目標] ①地域・在宅看護の目的、対象、活動の場、位置づけが理解できる。 ②地域・在宅看護の変遷、背景が理解できる。 ③地域・在宅看護の特徴が理解できる。 ④療養者とその家族の特徴が理解できる。 ⑤在宅における主な社会資源、連携、チームケア、地域包括ケアシステムの基礎知識が理解できる。 ⑥在宅における倫理の特徴、展望が理解できる。
授業の概要	疾病や障がいを持ちながら、生活する人々とその家族が生活を継続していくために必要な在宅看護の基礎的能力を養う。在宅ケアが推進される少子高齢化や保健・医療・福祉施策の動向と在宅療養者の健康上の課題・問題が生活に及ぼす影響を理解し、在宅療養者及び家族介護者が、安全・安楽Ⅱ生活を継続していくために必要な在宅看護における看護師の機能と役割を学ぶ。更に在宅療養を支える在宅看護に関連する制度やシステム、他職種との連携及び社会資源の活用について総合的に理解し、在宅での看護活動における倫理的課題について考える。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	○
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	△
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	○
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	◎
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回　科目オリエンテーション　Ⅰ地域・在宅看護の概念 【key words】 ・在宅看護 ・訪問看護 ・在宅ケア ・人口構造 ・疾病構造 【授業概要】 ◇ガイダンス Ⅰ地域・在宅看護の概念 １．地域と生活 ２．地域・在宅看護の背景 ３．地域・在宅看護の基盤 【教科書ページ・参考文献】 メデイカ出版　地域・在宅療養を支えるケア　　配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 １）シラバスを精読する、参照ページを確認しておく（事前） ２）学習内容の振り返り（事後） 【予習復習に必要な想定時間】 2時間程度 第2回　Ⅱ．在宅療養者と家族の支援 【key words】 ・セルフケア理論 ・エンパワメント

・意思決定

【授業概要】
Ⅰ地域・在宅看護の概念
４．地域・在宅看護の役割・機能
５．地域・在宅看護を展開するための基本理念
６．地域・在宅看護における倫理
Ⅱ．在宅療養者と家族の支援
１．　地域・在宅看護の対象者
２．在宅看護の対象者と在宅療養の成立要件
３．在宅療養の場における家族のとらえ方
４．在宅療養者の家族への看護
５．事例

【教科書ページ・参考文献】
メデイカ出版　地域・在宅療養を支えるケア　　配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
１）セルフケア理論、
エンパワメントについて調べる（事前）

【予習復習に必要な想定時間】
2時間程度

第3回　Ⅲ.地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護

【key words】
・地域ケアシステム
・地域包括ケアシステム
・多職種連携

【授業概要】
Ⅲ.地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護
１．地域アセスメント
２．地域包括ケアシステム
３．療養の場の移行に伴う看護
４．地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携

【教科書ページ・参考文献】
メデイカ出版　地域・在宅療養を支えるケア　　配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
１）地域アセスメントについて復習する（事後）
【予習復習に必要な想定時間】
2時間程度

第4回　Ⅳ.地域療養を支える制度

【key words】
・ケースマネジメント
・ケアマネジメント
・医療保険

【授業概要】
Ⅲ.地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護
５．在宅看護におけるケースマネジメント/ケアマネジメント
Ⅳ.地域療養を支える制度
１．社会資源の活用
２．医療保険制度

【教科書ページ・参考文献】
メデイカ出版　地域・在宅療養を支えるケア　　配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
１）医療保険について調べる（事前）
２）生活保護制度について調べる（事前）

【予習復習に必要な想定時間】
2時間程度

第5回　Ⅳ.地域療養を支える制度

【key words】
・国際生活機能分類（ICF）

・介護保険
・生活保護制度

【授業概要】
Ⅳ.地域療養を支える制度
３．後期高齢者医療制度
４．介護保険制度
５．生活保護制度
６．その他の法律

【教科書ページ・参考文献】
メデイカ出版　地域・在宅療養を支えるケア　配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
１）介護保険制度について調べる（事前）
【予習復習に必要な想定時間】
2時間程度

第6回　Ⅴ．在宅療養を支える訪問看護

【key words】
・訪問看護
・療養通所介護

【授業概要】
Ⅴ．在宅療養を支える訪問看護
１．訪問看護の特徴
２．訪問看護ステーション
３．訪問看護サービスの展開
４．訪問看護の記録

【教科書ページ・参考文献】
メデイカ出版　地域・在宅療養を支えるケア　　配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
1)訪問看護の特徴についてまとめる

【予習復習に必要な想定時間】
2時間程度

第7回　Ⅵ．在宅看護における安全と健康危機管理
【key words】
・健康危機管理
・安全管理
・リスクマネジメント

【授業概要】
Ⅵ．在宅看護における安全と健康危機管理
１．訪問看護における危機管理
２．日常生活における安全管理
３．災害時における療養者と家族の健康危機管理

【教科書ページ・参考文献】
メデイカ出版　地域・在宅療養を支えるケア　配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
１）在宅医療におけるリスクの特徴
２）日常生活における安全管理について、まとめる（事前）

【予習復習に必要な想定時間】
2時間程度

第8回　地域・在宅看護実践の場と連携
【key words】

【授業概要】
１．おもな地域・在宅看護実践の場
１）住まいで、通所サービスで、短期入所サービスで
２）通所・短期入所・訪問サービスの場で
３）施設サービスの場で
４）医療機関で

【教科書ページ・参考文献】
メデイカ出版　地域・在宅療養を支えるケア配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
2時間程度

第9回　Ⅶ.地域・在宅看護実践の場と連携
【key words】

【授業概要】
２．多職種との連携と協働p164事例、
・グループワークのガイダンス
ワーク①わからない用語調べ

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

10回　Ⅶ.地域・在宅看護実践の場と連携
【key words】

【授業概要】
２．多職種との連携と協働p164事例、
ワーク②協働する職種と役割
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

11回　Ⅶ.地域・在宅看護実践の場と連携
【key words】

	【授業概要】 ２．多職種との連携と協働p164事例、 ワーク③Aさんの目標 ワーク④⑤ 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 12回　Ⅶ.地域・在宅看護実践の場と連携 【key words】 ２．多職種との連携と協働p164事例、 ワーク④⑤、発表準備 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 13回　Ⅶ.地域・在宅看護実践の場と連携 【key words】 【授業概要】 ２．多職種との連携と協働 前半グループ発表、共有 相互にコメント 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ２．多職種との連携と協働 前半グループ発表、 相互にコメント 【予習復習に必要な想定時間】 14回　Ⅶ.地域・在宅看護実践の場と連携 【key words】 【授業概要】 ２．多職種との連携と協働 後半グループ発表、共有 相互にコメント 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 15回　Ⅷ.地域・在宅看護の動向と今後の発展 【key words】 【授業概要】 １．在宅看護の先駆的取り組み １）海外での取り組み ２）日本での取り組み 【教科書ページ・参考文献】 p278～ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講生に関わる情報] ①予習：教科書を読んでくる。指示された事前学習を行い、授業時活用する。 ②復習：授業で配布したプリント、資料を読み返す。 [受講のルール] ①レポート等の課題について、提出期限を厳守する。 ②コメントカードには授業の学びを必ず記載する事。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	□コメントカード方式　☑シャトルカード方式　　□ICT利用（Webフォームやメールなど） □その他（　　）
授業外時間にかかわる情報	授業計画、紹介された文献・資料は必ず確認する。
オフィスアワー	月曜日
評価方法	①試験　80％ ②学修課題　20％(提出期限を厳守する)

	③総合評価は、筆記試験と課題を合わせて60%以上を超えていることが前提(詳細な評価基準は授業概要参照)
教科書	台　有桂　他編：ナーシンググラフィカ、在宅看護論　地域療養を支えるケア、メディカ出版、2022
参考書	河原加代子他：地域・在宅看護の基盤　医学書院　2022
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 在宅看護学の特徴である、・施設内外の生活の場における看護・あらゆる年齢と健康レベルの人々を対象とする・健康の視点から生活に係る多様な機関・職種との連携などについて、実践、研修や研究活動に携わってきた。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 看護学概論　　授業コード： 20252

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
櫻井　清美			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	＜目的＞ 　看護とは何かを探求するとともに、看護学を構成する主要概念としての人間・健康・環境・生活の理解を深め、看護学を学ぶ基礎を身につける。 ＜目標＞ １．「看護とは何か」、看護の役割と機能について説明できる。 ２．看護の独自性・専門性を述べることができる。 ３．看護の対象である人間はどういう存在であるか述べることができる。 ４．健康の法則について述べることができる ５．健康と環境との関係について述べることができる。 ６．看護の役割・機能・しくみについて説明できる。
授業の概要	１．学生自身の体験を通して「看護とは何か」「健康とは何か」を考え、理論と結び付けて教授する。 ２．「人間は共通性と個別性」をもった唯一無二の存在であることおよび人間の可能性を考え、理解を深める。 ３．学生自身の生活を通して「生活・環境とは何か」、「看護の役割・機能」について教授する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	ガイダンス：看護学概論の位置づけ 看護の本質、独自の機能を持つ専門職 【key words】 看護学、専門職、独自の機能、看護とは何か 【授業概要】 看護とは何か、その役割と独自の機能について学ぶ。また、看護の独自性・専門性を学ぶ。学生が今までとらえてきた看護について、社会で認められている内容とを比較し、将来像を考える。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P2-10 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを熟読し、看護の役割と機能について考えて授業に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間
	第２回	看護とは何か①看護本質 【key words】 看護の変遷・歴史、定義、職能団体、看護理論家 【授業概要】 看護とは何か、その機能や定義を踏まえ、歴史的な変遷も学ぶ。また、看護理論家による看護の概念枠組みなどを学び、自身がとらえていた看護との相違を確認する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P2-39 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを熟読し、看護の定義と機能や歴史的役割について考えて授業に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間
	第３回	看護とは何か②看護の役割と機能看護ケア、質保証、役割機能の拡大 【key words】 看護ケア、質保証、役割機能の拡大 【授業概要】

		看護の役割と機能を、広い視野で考えてみる。昨今の役割拡大による対象者への看護の仕事内容の幅広さを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P39-61 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを熟読し、看護の役割拡大について考えて授業に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間
	第４回	看護とは何か③看護の継続性と情報共有 【key words】 看護の継続性、情報共有、看護チーム 【授業概要】 看護が継続することの重要性を学ぶ。また、そのために、情報共有が重要でありチームで対象者に対応することの必要性を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P61-76 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを熟読し、看護が継続するためにどのような工夫が必要か考えて授業に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間
	第５回	対象の理解①人間の「こころ」と「からだ」 【key words】 人間、こころ、ホメオスタシス、ストレス、欲求段階、危機 【授業概要】 看護を行うためには、その対象者の理解が不可欠であることを学ぶ。さらに、対象理解が深まることで、必要な看護が導き出せることを学ぶ。また、人間理解として、「こころ」と「からだ」両面から把握する重要性を学び、ニードとして欲求段階を理解する必要性を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P78-93 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを熟読し、対象理解に必要な事柄を考えて授業に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間
	第６回	対象の理解②生涯発達する人間 【key words】 発育、発達、アイデンティティ 【授業概要】 対象としての人間は、高齢者となっても生涯発達しつづける存在であることを学ぶ。また、発達段階別に発達課題があることを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P94-100 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを熟読し、青年期である自身がどのような発達課題があるのかを考えて授業に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間
	第７回	対象の理解③暮らし、家族と地域 【key words】 生活者、暮らし、家族・集団・地域 【授業概要】 対象の理解として、生活者としての社会面である暮らしや家族・集団、地域を理解する必要性を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P100-106 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを熟読し、自身や家族がどのような暮らしをしているのか考えて授業に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間
	第８回	健康①健康と生活の把握の意義、 健康のとらえ方 【key words】 健康、障害、国際生活機能分類（ICF） 【授業概要】 対象者理解の側面において、健康には暮らしや生活習慣などが関連していることを学ぶ。また、健康とは何か、その概念や分類について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P108-115 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを熟読し、自身の健康について考えて授業に臨んでほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間
	第９回	健康②国民の健康の全体像 【key words】 健康の全体像、有訴率、通院者率、患者、障害者、難病患者、死亡率 【授業概要】 健康の側面の理解のために、日本国内における健康の全体像として、有訴率・死亡率や患者や障害者の現状を学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
教科書P102-108
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを熟読し、自身の家族の健康について考えて授業に臨んでほしい。
【予習復習に必要な想定時間】
1-2時間

第10回　健康③国民のライフサイクル

【key words】
ライフサイクル、平均寿命と出生、結婚と出産、健康寿命、老い、家族

【授業概要】
健康の側面の理解のために、国民のライフサイクルの現状を学ぶ。人間は、産まれ成長発達し、機能低下や病気となり老いて亡くなっていく。家族内でそういったサイクルが繰り返されていくことを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P108-136
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを熟読し、自身や家族のライフサイクルについて考えて授業に臨んでほしい。
【予習復習に必要な想定時間】
1-2時間

第11回　健康④日本人の健康と生活、 ヘルスプロモーション

【key words】
健康とは何か、ヘルスプロモーション
【授業概要】
健康とは何か、定義を再確認し学ぶ。また、国の施策とも関し、健康長寿を目指すために重要なヘルスプロモーションについて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P110

【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを熟読し、自身や家族のヘルスプロモーションとは何かと考えて授業に臨んでほしい。
【予習復習に必要な想定時間】
1-2時間

第12回　看護の提供者①職業としての看護

【key words】
看護ケア、ケアリング、質保証
【授業概要】
対象を学んできたが、そういった対象者に対し、どのようなことを行うことが看護になりえるのか、また、職業として看護を行うために重要なことは何かを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P138-150
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを熟読し、看護とは何か、職業として行うにはどのようなことが必要か考えて授業に臨んでほしい。
【予習復習に必要な想定時間】
1-2時間

第13回　看護の提供者②看護職の資格・養成制度・就業状況

【key words】
看護実践、質保証、個別看護
【授業概要】
看護の提供者である看護職の資格は、どのような法律に基づきどのような援助を行うことであるのか学ぶ。また、その養成制度や就業状況の現状を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P150-162
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを熟読し、看護職の資格と現状についてどのようにとらえるか考えて授業に臨んでほしい。
【予習復習に必要な想定時間】
1-2時間

第14回　看護の提供者③看護職者の継続教育と キャリア展開、養成制度の課題

【key words】
疾病構造の変化、看護活動、多様化、生活習慣病対策

【授業概要】
疾病構造の変化により、看護活動の多様化について学ぶ。また、看護職者の継続教育とキャリアの展開や養成制度の課題を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P162-184
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを熟読し、自身の将来像を考えて授業に臨んでほしい。
【予習復習に必要な想定時間】
1-2時間

第15回　看護の提供のしくみ、制度と政策、管理、医療安全

【key words】
サービス、チーム医療、看護制度、保健師助産師看護師法、診療報酬、
看護管理、リーダーシップ、アクシデントとインシデント

【授業概要】
法的な制度や政策に則った、看護提供のしくみについて学ぶ。また、看護の管理や医療安全の必要性についても学ぶ。

	【教科書ページ・参考文献】 教科書P220-304 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを熟読し、現在の看護の提供のしくみについて考えて授業に臨んでほしい。 また、まとめとなるため、学ぶ中で看護への思いの変化を確認し、自身の将来への希望について考えてほしい。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間
受講生に関わる情報および受講のルール	授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語、スマホの使用など）は厳禁です。 授業中の課題は、必ず提出すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ＱＲコード、コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	授業計画に示されている教科書の該当ページを必ず確認し、事前学習をして授業に臨んでほしい。 受け身で授業を受けるのではなく、主体的に看護とはなにかを考えてほしい。
オフィスアワー	月曜日　12時～12時40分
評価方法	１．筆記試験70％ ２．課題レポート20％ ３．授業中レポート10％ 上記１から３を合わせて60%を超えること。
教科書	茂野香おる編：系統看護学講座　専門分野　基礎看護学［１］看護学概論．2023，医学書院
参考書	１．F・ナイチンゲール（湯槇ます、薄井博子他訳）：看護覚書．2022，現代社 ２．ヴァジニア・ヘンダーソン（湯槇ます他訳）：看護の基本となるもの．2022，日本看護協会出版会 その他、授業中に適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 病院にて、手術室および脳神経外科の看護の実務経験がある。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 統合実習　　授業コード： 20253

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	2	必修
担当教員			
平出恵子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【目的】 あらゆる健康段階における対象とその家族への看護活動のあり方を学び、保健・医療・福祉チームにおける看護専門職の役割と責任を理解し、総合的な看護実践能力を高めるための知識・技術・態度を習得する。 【目標】 １．施設および病院組織における看護の機能と役割を理解する。 1）看護部・病棟の組織と役割について説明できる。 2）看護部・病棟の組織としての医療安全管理について説明できる。 3）医療・看護倫理の重要性について考えられる。 4）病棟看護管理者の役割について説明できる。 ２．チーム医療における看護職間・多職種との協働・連携について理解する。 1）患者に関わる多職種の役割を説明できる。 2）チーム医療における多職種との連携の必要性を説明できる。 3）リーダーシップ、メンバーシップについて説明できる 4）看護活動におけるマネジメントの必要性について説明できる。 ３．地域包括ケアシステムにおける看護活動のあり方を理解する。 1）退院支援における地域包括ケアシステムの必要性について説明できる。 2）社会資源の活用や在宅生活に向けての退院支援・調整における看護師の役割を説明できる。 3）医療・看護・保健・福祉・行政の支援ネットワークの必要性を説明できる。 ４．看護専門職を目指す者として、看護活動する上での自己の課題を明確にする。 1）事前学習を行い自己の学習目標を明確にできる。 2）実習や自己学習に主体的に取り組むことが出来る。 3）グループメンバーの一員として協働・協力・連携を図ることができる。 4）他者の意見を聴き、自己の意見を伝え、学びを深められる。 5）実習の学びを通して自己の課題を記述できる。
授業の概要	【目的】 あらゆる健康段階における対象とその家族への看護活動のあり方を学び、保健・医療・福祉チームにおける看護専門職の役割と責任を理解し、総合的な看護実践能力を高めるための知識・技術・態度を習得する。 【目標】 ①複数の患者の状況を判断し、優先順位を考えた看護援助ができる。 ②看護の場における管理・リーダーの役割を説明できる。 ③チーム医療体制の中で、看護職間・多職種における協働・連携について述べることができる。 ④患者・家族に対しての退院支援や地域包括ケアシステムのあり方を述べることができる。 ⑤看護職者として、看護実践における自己の課題について説明できる。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	◎
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	◎

授業計画	第１回

受講生に関わる情報および受講のルール	以下の要件をすべて満たしている者が、施設・病棟統合実習に臨むことができる。 　臨床看護学実習Ⅰ・Ⅱ、高齢者看護学実習Ⅰ・Ⅱ、精神看護学実習、在宅看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習、看護活動におけるメンバー・リーダーシップの単位を修得している者
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	原則、臨地実習時間及び学内実習時間内に実習担当教員に相談し、指導を受けること。
授業外時間にかかわる情報	実習に臨むにあたり、既習知識の復習及び事前学習は必須である。4月から事前学習に臨む事。事前学習の時間確保について、その他実習に関わる課題や実習記録を記載する上で必要な自己学習の時間は、各自で確保する必要がある。
オフィスアワー	原則、臨地実習時間及び学内実習時間内に実習担当教員に相談し、指導を受けること。 事前学習についての時間確保は、担当教員の指示を受けることもある。
評価方法	1）実習時間の5分の4以上の出席を単位認定の条件とする。 2）出席状況・実習への取り組み・実習記録・レポート等の記載内容を評価対象とし、評価基準に基づいて総合的に評価する。
教科書	臨床看護学実習Ⅰ・Ⅱ、高齢者看護学実習Ⅰ・Ⅱ、精神看護学実習、在宅看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習に使用した全ての教科書、系統看護学講座看護の統合と実践①「看護管理」系統看護学講座看護の統合と実践②「医療安全」
参考書	上記の教科書以外で教員から指示された参考書
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 看護現場の実践経験者による指導 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 情報リテラシー　　授業コード： 20254

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	必修
担当教員			
藤本　壱			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 演習を中心として、情報リテラシーの理解や情報利活用能力を高め、レポート・論文の作成やプレゼンテーション、データ分析などに生かせるようにすることを目的とする 【到達目標】 ①パソコンの基本的な操作を理解する ②基本的な情報の利活用（収集・分析など）ができる ③Microsoft Wordでレポート等の文章を作成できる ④P検3級の試験を受験できる ④Microsoft Excelでデータの集計や分析を行うことができる ⑤Microsoft PowerPointでプレゼンテーションができる ⑥情報セキュリティや情報モラルについて正しく理解できる
授業の概要	授業を通し、情報リテラシーを理解し、情報利活用能力を高め、レポート・論文などの各種の文書を作成したり、基本的なデータ分析を行ったり、プレゼンテーションを行ったりすることができるようになることを目標とする。 また、パソコン検定の「P検」の3級レベルを受験できる程度の知識と技能を得られうようにする

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	△
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画

第１回　オリエンテーション、パソコンの基本操作

【key words】
情報リテラシー、パソコンの基本
【授業概要】
情報リテラシーの必要性や、情報処理とパソコンの関係などを学習する
・講義のオリエンテーション
・情報リテラシーの必要性
・情報を利活用する上でのパソコンの役割
・パソコンの基本操作（キーボードの使い方など）
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・情報リテラシーの基本を復習する
・キーボード入力を練習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第２回　情報の収集と利用

【key words】
インターネット、検索、図書館
【授業概要】
レポート作成などの元となる情報の収集や利用の方法を学習する
・主な情報源(新聞、書籍、インターネット、etc)
・インターネットの仕組み
・ホームページの検索(Google)
・インターネットの主な情報源(統計データ、WikiPediaなど)
・図書館の蔵書の検索
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・ホームページで各種の情報を検索する

・図書館で必要な蔵書を検索する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第３回　レポート・論文の作成(1)
【key words】
レポート、論文
【授業概要】
レポートや論文を作る基本的な流れを学習する
・レポート・論文の基本(作文との違いなど)
・レポートの構成の立て方(アウトラインを作ってから詳細に進む)
・Wordでの文書作成の基本
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テーマを立ててレポートの構成を考え、それをWordで入力する練習をする
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第４回　レポート・論文の作成(2)
【key words】
書式、構成
【授業概要】
レポートや論文を構成する各種の項目と、それをWordで作成する手順を学習する
・基本的な書式の設定(ページ書式、文字書式、段落書式)
・文書の構成を整える(箇条書きなど)
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適切な書式設定を行い、読みやすいレポートを作成する練習をする
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第５回　情報の分析や可視化(1)
【key words】
Excel、表、分析、可視化
【授業概要】
情報の分析・可視化のツールとなるExcelの基本を学習する
・情報の分析・可視化とExcelの関係
・Excelでの情報管理の基本(データの入力・整理など)
・Excelでの基本的な書式設定
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
Excelで情報を管理する練習をする(各種のデータの入力や整理など)
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第６回　プレゼンテーション(1)
【key words】
プレゼンテーション、PowerPoint
【授業概要】
プレゼンテーションの一連の流れや、資料作成の基本について学習する
・プレゼンテーションの流れ(準備作業、資料作成、発表など)
・資料作成前の準備(データ収集、構成の検討、会場設備の確認など)
・PowerPointでの資料作成の基本(スライド作成、書式設定など)
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
プレゼンテーションのテーマを立てて、実際にプレゼンテーションすることを想定して準備作業などを行う練習をする
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第７回　レポート・論文の作成(3)
【key words】
表
【授業概要】
レポートや論文の中で表を使って情報をまとめる場面は多いので、表の作り方を学数する
・表の作成とデータ入力
・表の操作（行／列の挿入、削除、コピー、セルの結合など操作)
・表の書式設定(罫線、網掛け、文字配置など)
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
表を作る練習をしてWordやPowerPointでレポートや論文を作る際に活用する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第８回　レポート・論文の作成(4)
【key words】
図形、写真、ワードアート、スマートアート
【授業概要】
レポートや論文に図や写真を入れる場面も多いので、それらの扱い方を学習する
・図形の挿入と書式設定
・図や写真の挿入
・図等のレイアウト
・ワードアート(特殊なレイアウトの文字の並び)の挿入

・スマートアート(よく使いそうな図)の挿入
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
図形や写真を含む文書を作る練習をしてレポートや論文を作る際に活用する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第９回　レポート・論文の作成(5)
【key words】
改ページ、表紙、ヘッダー、フッター、スタイル、目次
【授業概要】
レポートや論文を仕上げる際に行う作業について学習する
・レポートの推敲(文章を読み直す、誤字脱字のチェック、不備がないかどうかのチェックなど)
・改ページの挿入
・ヘッダー(上余白)とフッター(下余白)の利用
・スタイル(書式の組み合わせ)の利用と設定
・目次の作成
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
レポートを美しく仕上げる練習をする
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１０回　情報の分析や可視化(2)
【key words】
棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ
【授業概要】
多くの情報をグラフで可視化する方法を学習する
・棒グラフの作成
・グラフ要素の追加軸ラベル、データラベルなど）と書式設定
・折線、円グラフの作成
・複合グラフの作成
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
グラフの作成を練習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１１回　情報の分析や可視化(3)
【key words】
計算、集計、分析
【授業概要】
多くの情報を分析する際の基本となる計算や関数の使い方を学ぶ
・Excelでの計算の基本
・データの集計(合計、最大値、最小値など)
・データ分析の基本(平均、標準偏差など)
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
実際にプレゼンテーションを作成する際にこの回の内容を活用する

【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１２回　プレゼンテーション(2)
【key words】
アニメーション、動画
【授業概要】
聞き手にとって分かりやすいプレゼンテーションを行うための手法や、それをPowerPointで実現する手順を学ぶ
・動きのあるプレゼンテーションの作成(アニメーション、画面切り替え)
・プレゼンテーション内での動画や音声の利用
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
動きのあるプレゼンテーションを作れるように練習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１３回　プレゼンテーション(3)
【key words】
発表、練習、アフターフォロー
【授業概要】
プレゼンテーション直前、当日、そして終了後に行うことや、それらに関するPowerPointの機能を学習する
・プレゼンテーション前の準備(発表の練習、発表時間の測定と発表内容の調整など)
・プレゼンテーションでの話し方(視線誘導、ジェスチャーなど)
・アフターフォロー(プレゼンテーション後の資料の配布など)
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
実際のプレゼンテーションを行えるように練習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

	第１４回　文書等の活用と管理 【key words】 コピー、貼り付け、ドライブ、フォルダ、ファイル 【授業概要】 レポートや論文を作る際に、アプリケーション間でデータをコピーいたりなど、各種の作業が必要となるので、それらについて学習する ・アプリケーション間のコピーと貼り付け ・ドライブ／フォルダ／ファイルの概念 ・フォルダ／ファイルの操作（コピー、移動、削除など） 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 アプリケーション間のデータのやり取りを練習する ファイル操作に慣れる 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１５回　情報セキュリティ・情報モラルと課題説明・作成 【key words】 情報セキュリティ、情報モラル、課題 【授業概要】 情報を利活用する上で知っておくべき情報セキュリティや情報モラルを学習する また、課題の作成も行う ・情報セキュリティ ・情報モラル ・課題内容の説明 ・課題作成実習 ・課題を作成して期限までに提出 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 情報セキュリティに留意し、ウィルス感染などの被害を受けないようにする 情報モラルを守り、他の人に迷惑をかけないようにする 課題を作成して期限までに提出する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講生に関わる情報]　配布資料は当授業のホームページから各自ダウンロードすること。 [受講のルール] 積極的に授業に臨むこと。 実習形式の授業なので、話を聞くだけでなく、手を動かしてパソコンの操作を身につけること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	授業の資料はホームページで公開するので、それを使って復習する
オフィスアワー	授業開始前後20分間
評価方法	レポート課題による評価 レポートとしてのまとまり(30%)、Wordの各種機能の活用度(50%)、Excelの各種機能の活用度(20%)
教科書	PowerPointによるスライド資料(当科目のホームページで配布)
参考書	繰り返して慣れる!完全マスターWord　Office365・Office2019対応、NOA出版 繰り返して慣れる!完全マスターExcel　Office365・Office2019対応、NOA出版 ドリルでマスター!PowerPoint&プレゼンテーション、NOA出版
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 Office関連雑誌原稿執筆多数 パソコン関連書籍執筆多数 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援

	■その他 その他の具体的内容 授業を毎回録画してYouTubeで配布

講義科目名称： 公衆衛生看護学対象論Ⅱ　　授業コード： 20257

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3	2	選択
担当教員			
橋本いずみ　　大野佳子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 １．公衆衛生看護活動における対人支援活動を展開するために健康診査の概念を学び、保健分野に応じた健康診査について理解する。 ２．地域組織活動を展開するために地域組織活動に関わる概念、地域ケアシステムの構築の概念とネットワーク化について理解する。 〔到達目標〕 ①健康診査の仕組みと実際を説明できる。 ②３歳児健康診査の事業概要を説明できる。 ③３歳児健康診査を受診する児の事例展開を行い、健康状態・発達状態をアセスメントできる。 ④３歳児健康診査における保健師の役割を説明できる。 ⑤特定健康診査・特定保健指導の事業概要を説明できる。 ⑥特定健康診査受診者の結果を理解し、アセスメントできる。 ⑦地域組織活動とは何か説明できる。 ⑧地域組織活動における保健師の役割と用いられる概念について説明できる。 ⑨当事者組織と地域組織活動の実際について具体的に述べることができる。 ⑩地域ケアシステムについて説明できる。 ⑪地域ケアシステムにおける保健師の役割を述べることができる。 ⑫ネットワークの形成とケースマネジメントについて述べることができる。
授業の概要	・健康診査の学習 ・３歳健康診査を受診する３歳児の事例展開 ・３歳児健康診査の実際、問診、身体計測、診察、保健指導における保健師の役割の実際（グループ演習） ・特定健康診査・特定保健指導の実際、事例展開、初回指導計画 ・地域組織活動、地域ケアシステムについての学習 ・各回授業終了時の小テスト

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	△
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回　科目オリエンテーション、健康診査について 【key words】 健康診査、３歳児健康診査、地区組織活動、地域ケアシステム 【授業概要】 １）講義計画、講義の受け方、予習・復習、評価方法について説明する。 ２）健康診査についての講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：シラバスの確認を行う。授業の目的と到達目標を確認し、授業で学習する内容について理解する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第２回　健康診査についての理解を深める①

		【key words】 健康診査 【授業概要】 １）健康診査についての講義 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：健康診査について教科書、参考文献を読み、予習する。 課題： 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第３回	健康診査について理解を深める② 【key words】 健康診査、保健指導 【授業概要】 １）健康診査についての講義 ２）各種健康診査の事業概要の作成。 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：健康診査について予習学習する。 課題：各種健康診査の事業概要を作成し提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第４回	健康診査についての理解を深める③ 【key words】 健康診査、保健指導 【授業概要】 １）健康診査についての講義 ２）各種健康診査の事業概要の提出。 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：健康診査について予習学習する。 課題：各種健康診査の事業概要を作成し提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第５回	３歳児健康診査の事例展開① 【key words】 ３歳児健康診査、乳幼児の発育・発達、事例展開、健診後の支援 【授業概要】 ３歳児健康診査を受ける児ののアセスメントと健康課題を抽出する。 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：３歳児健康診査について、健康診査後の課題に対する支援の実際について予習学習する。 課題：（３歳児健康診査の事業概要の添削結果を確認し、加筆修正を行い完成させて提出する。） 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第６回	３歳児健康診査の事例展開② 【key words】 ３歳児健康診査、健康診査従事者、健康診査での保健師の役割 【授業概要】 ３歳児健康診査を受ける児ののアセスメントと健康課題を抽出する。 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：３歳児健康診査について、健康診査後の課題に対する支援の実際について予習学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第７回	３歳児健康診査の事例展開③ 【key words】 ３歳児健康診査、健康診査従事者、健康診査での保健師の役割 【授業概要】 事例展開に基づき、グループワークにより、学びを共有する。 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-54

【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：３歳児健康診査について、健康診査後の課題に対する支援の実際について予習学習する。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第８回　３歳児健康診査の事例展開④
【key words】
３歳児健康診査、健康診査従事者、健康診査での保健師の役割
【授業概要】
１）３歳児健康診査を受ける児の事例を提供し、各自事例の展開を行う。
２）事例展開について教員より指導を受け、加筆修正を行い完成させる。
【教科書ページ・参考文献】
標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132
標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：３歳児健康診査について、健康診査後の課題に対する支援の実際について予習学習する。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第９回　特定健康診査事例の特定保健指導内容の展開①
【key words】
特定健康診査・特定保健指導
【授業概要】
特定健康診査事例を階層化し、特定保健指導の初回面接計画の立案①
【教科書ページ・参考文献】
標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132
標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：特定健康診査、特定保健指導について
復習：第1回～4回講義内容
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１０回　特定健康診査事例の特定保健指導内容の展開②
【key words】
特定健康診査・特定保健指導
【授業概要】
特定健康診査事例を階層化し、特定保健指導の初回面接計画の立案②
【教科書ページ・参考文献】
標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132
標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：特定健康診査、特定保健指導について
復習：第1回～4回講義内容
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１１回　特定健康診査・特定保健指導内容の事例展開③
【key words】
特定健康診査、特定保健指導
【授業概要】
特定健康診査事例を階層化し、特定保健指導の初回面接計画の立案③
【教科書ページ・参考文献】
標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132
標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：特定健康診査、特定保健指導について
復習：第1回～4回講義内容

【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１２回　特定健康診査・特定保健指導内容の事例展開の発表
【key words】
特定健康診査、特定保健指導健康診査、

【授業概要】
各自が立案した保健指導計画を発表する。
【教科書ページ・参考文献】
標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132
標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：特定健康診査・特定保健指導について
復習：第1回～4回講義内容、自身の記録
【予習復習に必要な想定時間】
90分

第１３回　地区組織活動①
【key words】
地域組織、自治体、ボランティア組織、エンパワーメント
【授業概要】
保健師が行なう地区組織活動の概要を理解する
【教科書ページ・参考文献】
標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　医学書院 p.208-261
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書 p.208～261をよく読む。

	【予習復習に必要な想定時間】 90分 第１４回　地区組織活動②、地域ケアシステム① 【key words】 地域組織活動における保健師の役割、地域包括ケアシステムづくり支援、 【授業概要】 地区組織活動の実際を学ぶ（DVD） 地域組織活動における保健師の役割について理解を深める。 地域ケアシステムの概念を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　医学書院 p.208-261 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書 p.208～261をよく読む。 【予習復習に必要な想定時間】 90分 第１５回　地域ケアシステム② 【key words】 地域ケアシステムの発展過程 【授業概要】 地域ケアシステムの発展過程における保健師の役割を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　医学書院 p.208-261 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書 p.208～261をよく読む。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ①演習時の服装は、普段着又は大学指定制服とする。 ②学習前に事前資料に必ず目を通し、事前学習、事前課題の提出を期限を把握しておくこと。 ③授業・演習へは積極的な姿勢で臨むこと。 〔受講のルール〕 ①授業シラバスを必ず確認し、積極的に授業に臨むこと。 ②必要な授業資料は授業開始までに印刷をしておくこと。 ③授業に必要なもの以外は机上に置かない。 ④原則カメラをオンにして受講する。（zoom授業の場合） ⑤呼名時に反応がない場合は、途中退席とみなし欠席とする。（zoom授業の場合） ⑥出欠確認は授業開始時の入室又は呼名確認と授業後のコメントシートの提出の両方とする（zoom授業の場合）。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	随時メールにて質問を受け付ける。
授業外時間にかかわる情報	３歳児健康診査事例展開、特定保健指導事例展開においてはグループにて内容を共有し、協力し合いながら時間外も有効的に活用すること。
オフィスアワー	授業開始日に提示する。
評価方法	①３歳児健康診査事業概要課題・事例展開　15％ ②特定健康診査・特定保健指導事業概要課題・事例展開　15％ ③授業・演習への取り組み、課題提出状況　10％ ④試験　60％
教科書	標準保健師講座２ 公衆衛生看護技術　医学書院 最新　保健学講座5　公衆衛生看護管理論　メヂカルフレンド社
参考書	標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護活動　医学書院 公衆衛生看護学jp　インターメディカル 保健の実践k学シリーズ　行政看護学　講談社 国民衛生の動向　2020／2021　厚生労働統計協会
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等）

	□情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 公衆衛生看護学方法論Ⅰ　　授業コード：20258

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	選択
担当教員			
橋本いずみ　　大野佳子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的・到達目標〕 　地域を構成する人々の心身の健康、疾病、障害の予防、発生、回復、改善の過程のアセスメント及び健康課題の明確化について理解するとともに、人々が主体的に健康問題を解決できるよう地域の特性を踏まえ適切な接近方法・技術の選択及び支援方法を理解する。 〔到達目標〕 １．対人支援に有効な理論の概要を述べられる。 ２．「個」「家族」への援助技術である家庭訪問の目的、対象、展開方法の概要を述べられる。 ３．家庭訪問のプロセスを理解し、対象把握、優先度、接近技法・技術を使って学内において模擬的に展開することができる。 ４．健康相談の対象、方法が述べられる。 ５．健康相談、個人に対する健康教育に関する理論を使って学内において模擬的な健康相談を実施することができる。 ６．ライフステージ毎の対象者の発達課題、健康課題を理解し、保健指導に必要な基礎知識を述べられる。
授業の概要	①保健指導、家庭訪問の目的、対象、プロセスについて学ぶ。 ②保健指導を模擬的に実施する。 ③家庭訪問を模擬的に実施する。 ④授業終了時の小テスト（毎回）。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　科目オリエンテーション　保健行動理論

【key words】
ヘルスプロモーション　ＱＯＬ　自己決定　自立　問題解決型　目標達成型

【授業概要】
①対人支援の重要な視点として、健康の社会的決定要因を理解する。
②対象者に対し健康を全人的に捉え潜在能力・主体性を重視すること理解し具体的な支援方法を学ぶ。
③対人支援計画の立案の方法と手順を理解する。
③対人支援としての保健指導、家庭訪問を理解する。
カウンセリング、コーチングの技法の概要を理解する。

【教科書ページ・参考文献】
教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　3章
参考書：国民衛生の動向

【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書を熟読して臨むこと。配布資料を整理するためのＡ４ファイルを持参し、授業内容の整理し復習する。

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第２回　対人保健活動の基本　【演習】対人支援の実際　面接技術

【key words】
面接　コミュニケーション　　聴き手　言語　非言語

【授業概要】
①地域住民の様々な生活を捉えるための多様な知識と考え方を学ぶ。
②基本的面接技術を理解する。
③健康問題への支援について、対象に即した支援方法を学ぶ。

		④保健指導のプロセスを理解し、実際の流れをイメージできる。、 ⑤家庭訪問のプロセスを理解し、実際の流れをイメージできる。、 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　4章 参考書：国民衛生の動向 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読して臨むこと。授業後は資料・ノートを整理し学んだこと自分で説明できるようにする。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分
	第３回	健康課題アセスメント　健康相談　【演習】保健指導計画の作成 【key words】 保健指導　アセスメント　健康問題　　優先順位　行動変容 【授業概要】 ①健康相談がどのような目的・対象に行われいるのか理解する。 ②保健師が行う保健指導の特徴を捉える。 ③保健指導の方法と対象者の選定基準など具体的実施方法を理解する。 ④事例の保健指導案を作成する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　4章 参考書：国民衛生の動向 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読して臨むこと。授業後は資料・ノートを整理し学んだこと自分で説明できるようにする。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分 ６０分
	第４回	【演習】保健指導案の作成① 【key words】 家族の健康問題課題　主体性　自己決定　行動変容　習慣化 【授業概要】 ①事例から作成した保健指導案の演習を行う。 ②学生が2人一組となり、保健師役と指導受ける側役で、指導案の実際の保健指導を行う。 ③保健指導の流れ、保健指導におけるコミュニケーションの特徴を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　4章 参考書：公衆衛生看護学　ＪＰ　ｐ６１－７１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読して臨むこと。授業後は資料・ノートを整理し学んだこと自分で説明できるようにする。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
	第５回	【演習】保健指導案の作成② 【key words】 メタボリックシンドローム　動機づけ支援　積極的支援 【授業概要】 ①健康問題を抱えた身近な家族等に、同意を得て、保健指導の対象者として選定する。 ②健康問題について、基本的知識を整理し、どのような保健指導が適切かを考え、指導ポイントを絞る。 ③保健指導の指導案を作成する。 ④保健指導に必要なリーフレットを作成すｒ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　4章 参考書：公衆衛生看護学　ＪＰ　ｐ６１－７１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 保健指導に必要な知識の習得 保健指導対象者の理解を深める 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
	第６回	【演習】保健指導案・指導用リーフレットの作成 【key words】 メタボリックシンドローム　動機づけ支援　積極的支援 【授業概要】 ①保健指導の指導案を作成する。 ②保健指導用リーフレット（Ａ４1枚程度）の作成 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　4章 参考書：公衆衛生看護学　ＪＰ　ｐ６１－７１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 保健指導案の作成 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分 ９０分
	第７回	家庭訪問による支援の展開　DVD視聴 【key words】 保健医療福祉制度　ライフサイクル　家族の発達課題　家族　家庭訪問　法的根拠 【授業概要】 ①対人支援における家庭訪問の機能・役割・特徴を理解する。 ②家庭訪問のプロセスを理解し、家庭訪問場面をイメージすることができる。 ③事例の健康問題を理解する。 【教科書ページ・参考文献】

		教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　ｐ１３４―１４２　ｐ２６４－２７３ 参考書：公衆衛生看護学　ＪＰ　ｐ５７－８９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読して臨むこと。授業後は資料・ノートを整理し学んだこと自分で説明できるようにする。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第８回	【演習】家庭訪問事例　新生児の測定（頭囲、胸囲、身長。体重） 【key words】 アセスメント　健康課題　保健指導　行動変容 【授業概要】 ①グループになり新生児の測定（頭囲、胸囲、身長、体重）を行う。 ②測定した数値の評価、児の発達・発育を理解する。 ③グループワークで、保健指導を行う上で、重要なこと、必要なことなど話し合う。 ②保健師の求められる役割、人間性などについて話し合う。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　ｐ１３４―１４２　ｐ２６４－２７３ 参考書：公衆衛生看護学　ＪＰ　ｐ５７－８９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読して臨むこと。授業後は資料・ノートを整理し学んだこと自分で説明できるようにする。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
	第９回	【演習】家庭訪問による支援緒展開　　家庭訪問計画・指導案の作成① 【key words】 家庭訪問　プライバシー　困難事例 【授業概要】 ①家庭訪問の特徴を捉え、個人、家族への支援としての、家庭訪問の機能・役割を理解する。 ②家庭訪問のプロセスについて、対象把握から、実施評価までの流れを理解する。 ③困難事例や受け入れ拒否などのケースについて、基本的な対応について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　ｐ１３４－１６３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読して臨むこと。授業後は資料・ノートを整理し学んだこと自分で説明できるようにする。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
	第１０回	【演習】家庭訪問計画・指導案の作成② 【key words】 新生児訪問 【授業概要】 ①新生児初回家庭訪問の事例の、訪問計画保健師役、母親役になり家庭訪問を行う場面を見ながら、家庭訪の流れを理解する。 ②家庭訪問の実際をイメージしながら、保健師役になって家庭訪問した時の動きができるようにする。。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　ｐ１３４－１６３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書を熟読して臨むこと。授業後は資料・ノートを整理し学んだこと自分で説明できるようにする。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分
	第１１回	【演習】家庭訪問　① 【key words】 新生児訪問 【授業概要】 ①教員が母親役になり、学生が保健師役となり、指導案に沿って保健指導を行う。（ロールプレイ） ②保健師役として指導を行った自己評価を行う。 ③家庭訪問における流れと保健師の役割を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　ｐ１３４－１６３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ９０分 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分
	第１２回	【演習】家庭訪問　② 【key words】 新生児訪問 【授業概要】 ①教員が母親役になり、学生が保健師役となり、指導案に沿って保健指導を行う。（ロールプレイ） ②保健師役として指導を行った自己評価を行う。 ③家庭訪問における流れと保健師の役割を理解する。 【教科書ページ・参考文献】

	教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　ｐ１３４－１６３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 配布資料を熟読する。授業後は資料、ノートを整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分 第１３回　【演習】家庭訪問　③ 【key words】 家庭訪問　気遣い　困難事例 【授業概要】 ①家庭訪問の個々の学びを、グループワークで共有し理解を深める。 ②各グループから発表する。 ③グループワークや発表から、家庭訪問の個々の学びのまとめを行う。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　ｐ１３４－１６３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 これまでの学習資料等を確認する。授業後は資料、ノートを整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分 第１４回　【演習】　保健指導　まとめ 【key words】 保健指導　家族の健康　保健師の役割　主体性　行動変容 【授業概要】 ①家族への保健指導を保健指導計画・指導案により保健指導を行う。 ②保健指導を行っての、家族からの評価、自己評価を行う。 ③グループワークにより、評価を共有し、保健師の求められる役割、人間性などについて話し合う。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　ｐ１３４－１６３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 これまでの学習資料等を確認する。授業後は資料、ノートを整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分 第１５回　家庭訪問（結核、精神、幼児発達）事例から訪問の基礎を学ぶ 【key words】 家庭訪問　当事者　主体的　地域生活 【授業概要】 ①グループになり事例検討を行う。 ②家庭訪問計画を立て、グループ内で計画の実効性を確認する。 ③学生二人が、訪問対象者と保健師になり、ロールプレイを行う。 ④建学の学生は評価し、ディスカッションで評価のまとめを行う。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術２　医学書院　Ｐ２０８－２３７ 参考書：国民衛生の動向 【課題・予習・復習・授業準備指示】 学習全体を振り返り、学習した内容を整理し、知識を定着させる。 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ①予習をして臨むこと。 ②演習時の服装は、普段着又は大学指定ジャージとエプロンとする。 ③自身や家族･身近な人々の健康や保健行動に関心をもって受講する。 ④教科書･プリント等は毎回持参すること。 〔受講のルール〕 ①授業シラバスを必ず確認し、積極的に授業に臨むこと。 ②私語・携帯電話・スマートフォンの使用を禁ずる。携帯電話・スマートフォンは許可がない場合は机上に置かない。 ③レポート等の課題について、提出期限を厳守すること。 ④授業の学びを必ず記載すること（振り返り用紙）。記載することで思考を深める。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	振り返り用紙及びミニレポート。
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	授業開始日に提示する。
評価方法	①筆記試験（客観・論述）60%、 ②実技試験（演習課題・演習に関するレポート）40%、内訳は以下に示す。 ・家庭訪問演習課題 20% ・保健指導演習課題 10% ・ミニレポート及び演習に臨む態度 10% 注：総合評価は筆記試験、実技試験合わせて60%を超えていることが前提となる。
教科書	教科書：標準保健師講座　公衆衛生看護技術　医学書院　2020　国民衛生の動向
参考書	参考書：中谷芳美：標準保健師講座対象別公衆衛生看護活動．医学出版．2014 参考書：松本千明：健康行動理論（実践編）．医歯薬出版株式会社．2014 金子仁子：保健の実践科学シリーズ　行政看護学　講談社 参考書：後藤真太郎他：MANDARAとEXCELによる市民のためのGIS講座．古今書院．2013

	参考書：中野綾美：ナーシンググラフィカ小児看護学（1）小児の発達と看護．メディカ出版．2013
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 公衆衛生看護学方法論Ⅱ　　授業コード： 20259

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3	2	選択
担当教員			
橋本いずみ　　大野佳子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 ①公衆衛生看護活動における対人支援活動を展開するために健康診査の概念を学び、保健分野に応じた健康診査について理解する。 ②母子保健分野における健康診査である３歳児健康診査の事業概要を学び、事例の展開を通して３歳児健康診査の実際と保健師の役割を体験し考察する。 ③成人期の健康診査である特定健康診査・特定保健指導の事業概要を学び、事例の展開を通して特定保健指導の実際と保健師の役割を体験し考察する。 ④地域組織活動を展開するために地域組織活動に関わる概念、当事者組織及び住民の自立支援と地域組織活動の実際や歴史を知る。 ⑤地域ケアシステムの構築とネットワーク化を理解するために、地域ケアシステムの概念及びネットワークについて理解する。 〔到達目標〕 ①健康診査の仕組みと実際を説明できる。 ②３歳児健康診査の事業概要を説明できる。 ③３歳児健康診査を受診する児の事例展開を行い、健康状態・発達状態をアセスメントできる。 ④３歳児健康診査における保健師の役割を説明できる。 ⑤特定健康診査・特定保健指導の事業概要を説明できる。 ⑥特定健康診査受診者の結果を理解し、アセスメントできる。 ⑦地域組織活動とは何か説明できる。 ⑧地域組織活動における保健師の役割と用いられる概念について説明できる。 ⑨当事者組織と地域組織活動の実際について具体的に述べることができる。 ⑩地域ケアシステムについて説明できる。 ⑪地域ケアシステムにおける保健師の役割を述べることができる。 ⑫ネットワークの形成とケースマネジメントについて述べることができる。
授業の概要	・健康診査の学習 ・３歳健康診査を受診する３歳児の事例展開 ・３歳児健康診査の実際、問診、身体計測、診察、保健指導における保健師の役割の実際（グループ演習） ・特定健康診査・特定保健指導の実際、事例展開、初回指導計画 ・地域組織活動、地域ケアシステムについての学習 ・各授業終了時の小テスト

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	○
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	△
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回　科目オリエンテーション(対面）、健康診査について 【key words】 健康診査、３歳児健康診査、地区組織活動、地域ケアシステム 【授業概要】 １）講義計画、講義の受け方、予習・復習、評価方法について説明する。 ２）健康診査についての講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132

		標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：シラバスの確認を行う。授業の目的と到達目標を確認し、授業で学習する内容について理解する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２回	健康診査についての理解を深める(対面) 【key words】 健康診査 【授業概要】 １）健康診査についての講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：健康診査について教科書、参考文献を読み、予習する。 課題： 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第３回	健康診査について理解を深める(対面) 【key words】 健康診査、保健指導 【授業概要】 １）健康診査についての講義を行う。 ２）各種健康診査の事業概要を作成する。 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：健康診査について予習学習する。 課題：各種健康診査の事業概要を作成し提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第４回	健康診査についての理解を深める(対面) 【key words】 健康診査、保健指導 【授業概要】 １）健康診査についての講義を行う。 ２）各種健康診査の事業概要を作成（し提出する）。 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：健康診査について予習学習する。 課題：各種健康診査の事業概要を作成し提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第５回	３歳児健康診査を受ける児の事例展開を行う(対面) 【key words】 ３歳児健康診査、乳幼児の発育・発達、事例展開、健診後の支援 【授業概要】 １）３歳児健康診査を受ける児の事例を提供し、各自事例の展開を行う。 ２）事例展開について教員より指導を受け、加筆修正を行い完成させる。 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：３歳児健康診査について、健康診査後の課題に対する支援の実際について予習学習する。 課題：（３歳児健康診査の事業概要の添削結果を確認し、加筆修正を行い完成させて提出する。） 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第６回	３歳児健康診査を受ける児の事例展開を行う(対面) 【key words】 ３歳児健康診査、健康診査従事者、健康診査での保健師の役割 【授業概要】 １）３歳児健康診査を受ける児の事例を提供し、各自事例の展開を行う（グループワーク）。 ２）事例展開について教員より指導を受け、加筆修正を行い完成させる。 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：３歳児健康診査について、健康診査後の課題に対する支援の実際について予習学習する。 【予習復習に必要な想定時間】

		90分
	第７回	３歳児健康診査を受ける児の事例展開を行う(対面) 【key words】 ３歳児健康診査、健康診査従事者、健康診査での保健師の役割 【授業概要】 １）３歳児健康診査を受ける児の事例展開を振り返り、学習内容を統合する（グループワーク）。 ２）事例展開についてグループごと発表し、学びの共有を行う。 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：３歳児健康診査について、健康診査後の課題に対する支援の実際について予習学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第８回	３歳児健康診査を受ける児の事例展開を行う(対面) 【key words】 ３歳児健康診査、健康診査従事者、健康診査での保健師の役割 【授業概要】 １）３歳児健康診査を受ける児の事例を提供し、各自事例の展開を行う。 ２）事例展開について教員より指導を受け、加筆修正を行い完成させる。 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：３歳児健康診査について、健康診査後の課題に対する支援の実際について予習学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第９回	特定健康診査事例の特定保健指展開を行う(対面) 【key words】 特定健康診査・特定保健指導 【授業概要】 １）特定健康診査事例を階層化し、特定保健指導の初回面接計画を立てる 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：特定健康診査、特定保健指導について 復習：第1回～4回講義内容 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第１０回	特定健康診査事例の特定保健指展開を行う(対面) 【key words】 特定健康診査・特定保健指導 【授業概要】 １）特定健康診査事例を階層化し、特定保健指導の初回面接計画を立てる 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：特定健康診査、特定保健指導について 復習：第1回～4回講義内容 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第１１回	特定健康診査・特定保健指導の事例展開を行う(対面) 【key words】 特定健康診査、特定保健指導 【授業概要】 １）特定健康診査事例を階層化し、特定保健指導の初回面接計画を立てる 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：特定健康診査、特定保健指導について 復習：第1回～4回講義内容 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第１２回	特定健康診査・特定保健指導の事例展開を発表する(対面) 【key words】 特定健康診査、特定保健指導健康診査、 【授業概要】 １）特定健康診査事例を階層化し、特定保健指導の初回面接計画を立て、発表する。 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　p.114-132 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護　p.2-111,p.220-302 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：特定健康診査・特定保健指導について 復習：第1回～4回講義内容、自身の記録 【予習復習に必要な想定時間】

	90分 第１３回　地区組織活動(対面) 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　医学書院 p.208-261 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書 p.208～261をよく読む。 【予習復習に必要な想定時間】 90分 第１４回　地区組織活動、地域ケアシステムネットワーク(対面) 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　医学書院 p.208-261 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書 p.208～261をよく読む。 【予習復習に必要な想定時間】 90分 第１５回　地域ケアシステムネットワーク(対面) 【key words】 【授業概要】 ・まとめ ・授業評価アンケート（授業最後） 【教科書ページ・参考文献】 標準保健師講座２　公衆衛生看護技術　医学書院 p.208-261 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書 p.208～261をよく読む。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ①演習時の服装は、普段着又は大学指定制服とする。 ②学習前に事前資料に必ず目を通し、事前学習、事前課題の提出を期限を把握しておくこと。 ③授業・演習へは積極的な姿勢で臨むこと。 〔受講のルール〕 ①授業シラバスを必ず確認し、積極的に授業に臨むこと。 ②必要な授業資料は授業開始までに印刷をしておくこと。 ③授業に必要なもの以外は机上に置かない。 ④原則カメラをオンにして受講する。（zoom授業の場合） ⑤呼名時に反応がない場合は、途中退席とみなし欠席とする。（zoom授業の場合） ⑥出欠確認は授業開始時の入室又は呼名確認と授業後のコメントシートの提出の両方とする（zoom授業の場合）。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	随時メールにて質問を受け付ける。
授業外時間にかかわる情報	３歳児健康診査事例展開、特定保健指導事例展開においてはグループにて内容を共有し、協力し合いながら時間外も有効的に活用すること。
オフィスアワー	授業開始日に提示する。
評価方法	①３歳児健康診査事業概要課題・事例展開　15% ②特定健康診査・特定保健指導事業概要課題・事例展開　15% ③授業・演習への取り組み、課題提出状況　10% ④試験　60%
教科書	標準保健師講座２ 公衆衛生看護技術　医学書院 最新　保健学講座5　公衆衛生看護管理論　メヂカルフレンド社
参考書	標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護活動　医学書院 公衆衛生看護学jp　インターメディカル 保健の科学シリーズ　行政看護学　講談社 国民衛生の動向　2020／2021　厚生労働統計協会
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート

	■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 公衆衛生看護学看護技術演習　　授業コード： 20260

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4	2	選択
担当教員			
橋本　いずみ　　大野　佳子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 公衆衛生看護活動に必要な基本的知識を習得する。 【到達目標】 ①地域保健活動過程の一連の流れがわかる。 ②地域診断の意義と目的がわかる。 ③地域保健計画、事業計画と保健師の役割がわかる。
授業の概要	公衆衛生看護活動の基本となる公衆衛生看護過程、地域診断、事業計画、予算、評価（疫学的評価方法を含む）、行政保健師に必要な自治体に関する基本的知識を学ぶ。各授業終了時には小テストを実施する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	◎
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	△

授業計画

第１回　科目オリエンテーション　地域診断の概念　地域保健活動に用いる理論

【key words】
講義の受け方、公衆衛生看護、地域診断、地域保健活動
【授業概要】
１）講義の受け方、予習・復習、評価方法について説明する。
２）患者に対する看護過程の展開と同様に、地域保健活動においては、地域保健活動過程を実践する。保健師が地域保健活動過程を実践する意義と目的について学ぶ。
３）プリシード・プロシードモデル、コミュニティ・アズ・パートナーモデル等の地域保健活動に用いる理論について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
教科書：第4版データ更新 公衆衛生看護学.Jp. インターメディカル. 2018 p.97-102
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の該当ページをよく読む。
復習：地域診断の概念及び地域保健活動に用いる理論について復習する。

【予習復習に必要な想定時間】
90分

第２回　地域保健活動の方法、地域診断の過程（情報収集と地域アセスメント）【演習①】

【key words】
地域診断、既存の資料、情報収集、地域アセスメント
【授業概要】
次年度、おくたのげんき隊としてボランティア活動を担うにあたり、既存の資料からA町の地域診断を実施する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：第4版データ更新 公衆衛生看護学.Jp. インターメディカル. 2018 p.103-117
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の該当ページをよく読む。
課題：次年度、おくたのげんき隊として活動するにあたり、A町の地域診断を行う。

【予習復習に必要な想定時間】
90分

第３回　地域診断の過程（情報収集と地域アセスメント）【演習②】

【key words】
地域診断、既存の資料、情報収集、地域アセスメント
【授業概要】

		次年度、おくたのげんき隊としてボランティア活動を担うにあたり、既存の資料からA町の地域診断を実施する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：第4版データ更新 公衆衛生看護学.Jp. インターメディカル. 2018 p.103-117 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書及び配布資料をよく読み、地域アセスメントに活用する。 課題：A町の地域診断を実施し、提出する（締め切り厳守）。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第４回	疫学概論　疫学の指標、疫学調査法 【key words】 疫学概論、疫学の指標、疫学調査法 【授業概要】 疫学がなぜ公衆衛生看護に必要かを考える。疫学の指標、疫学調査法について学び、疫学の問題を解いて理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：第4版データ更新 公衆衛生看護学.Jp. インターメディカル. 2018 p.97-127 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当ページをよく読む。 復習：配布資料の演習問題を復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第５回	活動・事業計画と保健師の役割 【key words】 地域保健活動計画、地域保健活動過程、保健師活動 【授業概要】 地域保健活動計画の意義と活動計画作成の過程を学び、地域保健活動過程と保健師活動について理解する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：第4版データ更新 公衆衛生看護学.Jp. インターメディカル. 2018 p.128-134 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当ページをよく読む。 復習：配布資料を復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第６回	地域保健活動計画のモニタリング・評価 【key words】 地域保健活動計画、事業、モニタリング、評価 【授業概要】 地域保健活動計画のモニタリングと評価を実施する必要性について理解する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：第4版データ更新 公衆衛生看護学.Jp. インターメディカル. 2018 p.134-137 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当ページをよく読む。 復習：配布資料を復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第７回	地方自治体における計画策定・施策化と予算のしくみ 【key words】 地方自治体、保健福祉政策、予算 【授業概要】 地方自治体における保健福祉政策と保健師の役割について学ぶ。また、保健事業の実施に要する費用計上の例を用いて、予算のしくみについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：第4版データ更新 公衆衛生看護学.Jp. インターメディカル. 2018 p.138-147 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当ページをよく読む。 復習：配布資料を復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
	第８回	地域におけるグループ支援、地区組織化活動 【key words】 地域保健活動計画、事業、モニタリング、評価 【授業概要】 地域で生活する上で、一人ひとりでは気づきや解決が困難な健康上の課題に対して、グループのもつ力を活用することの意義について学ぶ。また、保健師によるグループの育成支援と組織化、地区組織化活動の実際について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：第4版データ更新 公衆衛生看護学.Jp. インターメディカル. 2018 p.148-165 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書の該当ページをよく読む。 復習：配布資料を復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 90分
受講生に関わる情報および受講のルール		〔受講のルール〕 ・授業シラバスを必ず確認し、積極的に授業に臨むこと。 ・携帯電話は机上に置かないこと。 ・レポート等の課題について、提出期限を厳守すること。

毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	授業に関わる事柄について予習をして授業に臨むこと。 終了した授業に関しては必ず復習をすること。
オフィスアワー	授業開始日に提示する。
評価方法	筆記試験（客観的）80%、レポート課題 20%
教科書	荒賀直子・後閑容子編：第4版データ更新 公衆衛生看護学. Jp. インターメディカル. 2018
参考書	・保健の実践科学シリーズ　行政看護学　講談社 他、授業内で適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 公衆衛生看護学実習　　授業コード： 20261

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4	5	必修
担当教員			
大野　佳子　　橋本　いずみ			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	公衆衛生看護は、人々の生活の場において、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、社会生活への適応、そして「生」を全うするために、個人と家族、近隣、および様々な集団に対して保健・医療・福祉等の関係者との連携により行う看護である。 公衆衛生看護学実習は、これら公衆衛生看護の全体像を理解し実践力の基本を学ぶために、保健所（群馬県においては保健福祉事務所）、市町村保健センター、小学校または中学校、および事業所において実施する。 この実習を通じてこれまでの講義や演習を通じて学んできたことを公衆衛生看護活動の現場で検証するとともに、保健師をはじめ公衆衛生で働く看護職と養護教諭の専門職としての技術、マインドそして倫理性を体験的に学び、今後の学習に活かしていただきたい。
授業の概要	４年次8月下旬～10月中旬にかけ、以下の実習を行う。 ■保健所・市町村保健センター実習 ■学校保健実習 ■産業保健実習

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	○
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	△
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	＊＊＊＊　臨地実習要項参照 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	■実習履修資格者 (1) 保健師課程履修を許可されていること。 (2) 施設・病棟統合実習を除く３年次までの看護学臨地実習の単位を全て修得していること。 (3) 3年次までの保健師必修科目の単位を全て修得していること。 (4) 4年次前期の保健師必修科目の単位認定の資格要件を満たしていること。 以上 (1) ～ (4) の条件をすべて満たしていること。 ■実習上の注意 ・臨地実習要項「公衆衛生看護学実習Ⅰ」にそって実習を行う。 ・社会人としての責任ある振る舞いを要求される。 ・制服もしくは指示された服装で実習すること。 ・靴はローヒールで音のしないものであること。 ・髪は他の実習と同様にまとめる。アクセサリーはつけない。 ・実習中は名札を着用する。 ・事前学習をしないで実習することはできない。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	臨地実習要項参照
授業外時間にかかわる情報	臨地実習要項、実習オリエンテーション資料参照

オフィスアワー	臨地実習要項参照
評価方法	公衆衛生看護学実習Ⅰの目標を評価基準として、実習内容、実習中の態度、課題、記録物、出席状況等を基に総合的に評価する。 詳細は臨地実習要項を参照のこと。
教科書	公衆衛生看護活動論で使用した教科書
参考書	公衆衛生看護活動論で使用した参考書
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 災害看護　　授業コード： 20263

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3	1	必修
担当教員			
中山　洋子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 近年多様化する災害発生に伴い、人々の健康被害も多様化している。それらの人々に対して看護活動を行うためには、災害の特性をふまえた人々の理解も必要である。また、災害時における看護の理解を深めるとともに、災害サイクル各期において他職種と協働しながら看護活動を行うための必要な知識・技術も必要である。さらには、グローバル化が進む中で、在日外国人に対し諸外国に対応する保健・医療活動等看護実践の機会が増えている。看護の多様な場を理解するためにも、国際社会が求める看護師の役割について理解し、看護実践能力を身につける。 【到達目標】 ①災害の概念や定義について理解し、災害が健康に及ぼす影響を学習する。 ②災害発生時の看護活動の基盤となる法的制度を学習する。 ③災害各期の被災者の特性を理解し、各期の看護活動を学習する。 ④災害各期に応じた看護実践能力を身につける。 ⑤災害時の精神的ケアの方法を学習する。 ⑥災害時における自助、共助、公助について学習する。 ⑦感染の成り立ち、感染予防の観点とその具体的実践方法を身につける。 ⑧国外での救護活動に必要な基本的知識と国際協力について学習する。 ⑨国や地域、文化や人種などあらゆる違いを超えた多文化への適応や多文化理解の基本的な考え方を学習する。 ⑩国際協力方法について多文化共生や効果的な国際協力の視点を学習する。
授業の概要	災害が人々の健康と生活に与える影響を理解し、災害発生時に看護者として行動できるように、災害各期に合わせた看護活動についての知識、技術を学ぶ。 国際看護実践に必要な基礎的知識、国や地域、文化や人種の違いを学び、国際看護の実践について考える。また、先進国と発展途上国の健康問題を比較しながら国際協力における看護活動を学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	災害および災害看護に関する基礎知識 【key words】 災害看護　災害医療　災害医療体制　災害に関する法律　災害サイクル 【授業概要】 テキスト：災害看護　第1章、第2章 ・災害の定義と災害看護の歴史を学ぶ。 ・災害をめぐる法律、災害時の情報伝達の仕組みや、日本における災害医療体制について学ぶ。 ・災害サイクルにおける看護活動を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 参考教材：放送大学　災害看護・国際看護　第1回～第3回 https://v.ouj.ac.jp/view/ouj/#/navi/player?co=30066&ct=V&ca=30009 【課題・予習・復習・授業準備指示】 災害・災害看護の歴史について学習する。災害の種類別の疾病構造を学習する。災害をめぐる法律について調べておく。日本の災害医療体制について調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第２回	災害各期に応じた看護：超急性期、急性期

【key words】
災害サイクル　超急性期　急性期　看護活動　ＣＳＣＡＴＴＴ

【授業概要】
テキスト：災害看護　第4章、第5章
・災害サイクルの超急性期、急性期における看護師の役割を学ぶ。
・ＤＭＡＴとその活動について、ＣＳＣＡＴＴＴについて学ぶ。
・災害時病院での看護活動について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
参考教材：放送大学　災害看護・国際看護　第4回、第5回
https://v.ouj.ac.jp/view/ouj/#/navi/player?co=30066&ct=V&ca=30009

【課題・予習・復習・授業準備指示】
災害サイクルにおける超急性期、急性期の看護師の役割について学習する。急性期における病院の看護師の役割について学習する。「ＣＳＣＡＴＴＴ」「ＤＭＡＴ」について調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60分程度

第３回　災害時に必要な技術

【key words】
一次トリアージ　二次トリアージ　トリアージタッグ　３Ｔ　机上訓練
【授業概要】
テキスト：災害看護　第2章
・トリアージの概念、一次トリアージ、二次トリアージ、トリアージタッグの記載方法について実技演習を行う。災害現場における医療活動について、机上訓練を取り入れながら、グループワークを通して考える。

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トリアージの概念とカテゴリーについて調べておく。トリアージタッグの取り扱いと記載方法を学習する。
災害における疾病（クラッシュ症候群、外傷患者の取り扱い等）について学習しておく。

【予習復習に必要な想定時間】
60分程度

第４回　災害各期に応じた看護：亜急性期～静穏期

【key words】
災害サイクル　亜急性期　慢性期　避難所　静穏期　健康障害　心のケア

【授業概要】
テキスト：災害看護　第1章、第4章、第5章、第6章
・災害サイクルの亜急性期、慢性期、静穏期における看護師の役割を学ぶ。
・避難所における二次的合併症、健康障害についてグループワークを通して学ぶ。
・仮設住宅等における健康障害とその対応について学ぶ。
・災害に関わる人々の心のケアを学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
参考教材：放送大学　災害看護・国際看護　第5回～第11回
https://v.ouj.ac.jp/view/ouj/#/navi/player?co=30066&ct=V&ca=30009

【課題・予習・復習・授業準備指示】
災害サイクルにおける亜急性期、慢性期、静穏期の看護師の役割について学習する。避難所、仮設住宅等における健康障害とその対応について調べておく。災害に関わる人々の心のケアについて調べておく。

【予習復習に必要な想定時間】
60分程度

第５回　感染に関する基礎知識

【key words】
感染経路　感染予防　医療環境　サーベランス　新興感染症対策

【授業概要】
テキスト：災害看護　第2章
医療関連感染の理解を深め、医療関連感染対策に興味をもつきっかけとするとともに、災害現場から日常における環境管理まで学習する。

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
感染症の種類とその原因、対策について調べておくとともに、関連法規に目を通しておく。
災害現場や避難所に対する環境感染管理について、過去の災害において調べる。

【予習復習に必要な想定時間】
60分程度

第６回　国際看護学に関する基礎知識

	【key words】 国際看護　国際的健康課題　国際協力　国際看護活動　保健医療 【授業概要】 テキスト：災害看護　第5章 世界の健康問題の現状を理解し、健康に影響を与える要因について理解する。保健医療分野における国際機関の役割について理解する。国としての国際協力活動について理解する。 【教科書ページ・参考文献】 参考教材：放送大学　災害看護・国際看護　第12回～第14回 https://v.ouj.ac.jp/view/ouj/#/navi/player?co=30066&ct=V&ca=30009 【課題・予習・復習・授業準備指示】 世界の健康問題の現状と課題について調べておく。「国際協力」「国際人権法」「国際人道法」について調べておく。保健医療協力分野における国際機関について学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第７回　多文化理解と多文化看護論 【key words】 多文化理解　在留外国人　多文化看護論 【授業概要】 テキスト：第5章 国や地域、文化や人種などあらゆる違いを超えた多文化への適応や多文化理解の基本的な考え方が理解できる。事例を通して多文化理解を学習することができる。 【教科書ページ・参考文献】 参考教材：放送大学　災害看護・国際看護　第12回～第14回 https://v.ouj.ac.jp/view/ouj/#/navi/player?co=30066&ct=V&ca=30009 【課題・予習・復習・授業準備指示】 文化を考慮した看護理論について調べておく。在留外国人の定義について調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第８回　国際看護活動の展開 【key words】 開発協力　国際看護活動　国際救援 【授業概要】 テキスト：災害看護　第5章 国際協力方法について多文化共生や効果的な国際協力の視点を理解できる。国際救援における理念と救援活動について理解できる。 【教科書ページ・参考文献】 参考教材：放送大学　災害看護・国際看護　第15回 https://v.ouj.ac.jp/view/ouj/#/navi/player?co=30066&ct=V&ca=30009 【課題・予習・復習・授業準備指示】 開発途上国の健康問題について調べておく。世界における災害の発生状況について調べておく。国際救援活動を行う団体について調べておく。国際救援時の看護者の役割についてまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ・この科目は統合分野の必修科目である。したがって、すべての領域の基礎的知識と看護実践能力を身につけていること　が望ましい。 ・演習時には新たにオリエンテーションをするので確認して臨むこと。 〔受講のルール〕 ・事前に授業概要及びシラバスを必ず確認し、自己の達成目標を明確にした上で、積極的に授業に臨むこと。 ・授業時に課題を提示することがある。課題の未実施や実施した課題を授業時に持参しなかった場合には、演習などの授業に参加できないことがあるので十分注意すること。 ・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁。また、授業中にスライドを撮影することや授業内容の録音についても固く禁ずる。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード方式またはICT利用
授業外時間にかかわる情報	・授業概要に示されている予習・復習を行い授業に臨むこと。また、授業内で提示された課題には計画的に取り組み、提出期限を守って提出すること。 ・教科書及び授業に必要な資料等は事前に確認し、授業時に持参すること。
オフィスアワー	各回、原則授業終了後から放課後18時までとする。但し、ｵﾑﾆﾊﾞｽ形式の授業であるため、学内教員のオフィスアワーについては、研究室に提示されている時間に準ずる。
評価方法	筆記試験（客観・論述）90%、演習、課題レポート等10%で評価する。 総合評価は筆記試験、演習、課題レポート等合わせて60%を超えていることが前提となる。 ＊課題レポートの未提出及び提出期限の遅れは減点の対象とする。その他、演習、課題レポートの評価基準の詳細は、課題提示時に別途説明する。

教科書	災害看護　心得ておきたい基本的な知識　南山堂
参考書	講義の中で適宜提示する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 疾病・治療論各論Ⅰ　　授業コード： 20264

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2	必修
担当教員			
瀬川　篤記　蘇原　直人			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 生体機能に影響を及ぼす要因を理解し、主要な健康障害とその診断、治療に関する知識を学び、健康障害や検査、治療に伴う人間の身体的・精神的反応を理解し、看護につなげることができる。 【到達目標】 ①消化器系の健康障害と人間の反応について概説できる。 ②腎泌尿器系の健康障害と人間の反応について概説できる。 ③内分泌系・栄養・代謝系の健康障害と人間の反応について概説できる。
授業の概要	消化器系・腎泌尿器系・内分泌系の疾患の症状・検査・診断方法・主な治療について学習する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　ガイダンス、消化器系疾患の理解と治療1：食道疾患の治療
11/30

【key words】
TNM　PPI　H2 blocker
【授業概要】
人体構造機能学の知識を基に、食道がんと胃がんを中心に食道と胃の疾患について講義を行い、TNM分類によるがんの進行と治療法の選択について概説する。
胃潰瘍について、その発生の機序と治療法について講義を行う。
【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　成人看護学5　消化器　医学書院　p142～152
【課題・予習・復習・授業準備指示】
人体構造機能学の食道について事前に学習すること。疑問点があれば、質問できるようにまとめておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２回　消化器系疾患の理解と治療2：胃・十二指腸疾患の治療
11/30

【key words】
胃炎　胃・十二指腸潰瘍
【授業概要】
胃炎の原因および診断・治療について講義する。
胃・十二指腸潰瘍について発生機序、合併症について解説するとともに、診療ガイドラインに応じた治療について解説する。
TNM分類による胃がんの進行と治療法の選択について概説する。
【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　成人看護学5　消化器　医学書院　p152～172
【課題・予習・復習・授業準備指示】
人体構造機能学の胃・十二指腸について事前に学習すること。疑問点があれば、質問できるようにまとめておくこと。

【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第３回　消化器系疾患の理解と治療3：肝臓・胆嚢の疾患と治療①
11/30

【key words】
肝炎
【授業概要】

		人体構造機能学の知識を基に、肝臓の疾患について講義し、主に肝炎の原因・種類・経過と進行について講義する。また、現在の治療法も併せて紹介する。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　成人看護学5　消化器　医学書院　p 210～230 【課題・予習・復習・授業準備指示】 炎症の発生とその所見についてまとめておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第４回 12/21	消化器系疾患の理解と治療4：肝臓・胆嚢の疾患と治療② 【key words】 肝硬変症　肝がん 【授業概要】 肝臓の機能と構造で学習した知識を基に、肝硬変の原因と臨床症状、重症度について講義を行う。 また、肝がんの診断、治療について概説し、その予後についても考えていく 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　成人看護学5　消化器　医学書院　p 230～247 【課題・予習・復習・授業準備指示】 人体構造機能学の肝臓の機能と構造について復習し、疑問点をまとめておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第５回 12/21	消化器系疾患の理解と治療5：腸の疾患と治療 【key words】 大腸がん　腸・腸間膜 【授業概要】 大腸がんについてTNM分類による進行と治療法について講義する。 人体構造機能学の知識を基に、腸と腸間膜についての講義を行い、主に大腸の炎症性疾患について講義する。 診断・治療として不可欠の消化器内視鏡検査について、治療法と共に紹介する。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　成人看護学5　消化器　医学書院　p 172～210 【課題・予習・復習・授業準備指示】 人体構造機能学の腸と腸間膜について復習し、疑問点をまとめておくこと。 消化器内視鏡について、その原理と取り扱いの留意点、治療方法とリスクについてまとめておくこと。疑問点があれば質問すること。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第６回9/26	腎泌尿器系疾患の理解と治療　1　腎機能障害のある疾患とその治療① 【key words】 クレアチニン 【授業概要】 人体構造機能学で学習した知識を前提として、腎臓の構造と機能についてさらに詳しく講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　成人看護学８　腎・泌尿器　医学書院　p 18～30 【課題・予習・復習・授業準備指示】 人体構造機能学で学習した、腎臓の機能と構造について復習を行い、講義において疑問点を質問できるよう、整理すること。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第７回10/3	腎泌尿器系疾患の理解と治療　2　腎機能障害のある疾患とその治療② 【key words】 クレアチニンクリアランス 【授業概要】 前回の講義で学んだ腎臓の構造と機能に関する知識を基に、腎機能検査について、その仕組みと測定方法についての講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　成人看護学８　腎・泌尿器　医学書院　p 70～78 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回学習した、腎臓の構造と機能について復習し、腎機能検査における測定値の意味と関連させて考えをまとめておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第８回 10/17	腎泌尿器系疾患の理解と治療　3　人工透析、腎臓の手術　膀胱がん 【key words】 腎代替療法　腎がん　膀胱がん 【授業概要】 腎不全に伴う治療法について、主に腎代替療法を取り上げ講義を行う。 腎代替療法として血液透析および腹膜透析について扱い、それぞれの原理と合併症について概説する。 腎がんおよび膀胱がんについて診断および治療について講義する。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　成人看護学８　腎・泌尿器　医学書院　p 102～112　p 175～184 【課題・予習・復習・授業準備指示】 腎代替療法についての原理と合併症について、他人に説明できる程度に理解できるよう、まとめておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間

	第９回 10/24	腎泌尿器系疾患の理解と治療　4　急性腎障害と慢性腎臓病 【key words】 急性腎障害　慢性腎臓病 【授業概要】 急性腎障害と診断基準について講義する。 慢性腎臓病について重症度分類を紹介し、ステージごとの診療計画について講義する。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　成人看護学８　腎・泌尿器　医学書院　p 114～123 【課題・予習・復習・授業準備指示】 急性腎不全と急性腎障害の違い、慢性腎不全と慢性腎臓病の違いについて説明できるようにまとめておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第１０回 10/31	腎泌尿器系疾患の理解と治療　5　全身性疾患としての腎臓病 【key words】 IgA腎症　痛風腎 【授業概要】 糸球体腎炎として主にIgA腎症について、その発病のメカニズムと臨床経過について概説する。また、治療法についても併せて紹介する。 全身性疾患による腎障害として、主に痛風腎について取り上げ、その原因と治療について講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　成人看護学８　腎・泌尿器　医学書院　p 127～142 【課題・予習・復習・授業準備指示】 人体構造機能学および腎臓の機能について復習し、疑問点をまとめておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第１１回 11/7	内分泌系疾患と治療1　病態生理の理解と主な治療①　糖尿病① 【key words】 糖尿病の分類　診断　治療 【授業概要】 糖尿病の分類および診断手順について解説し、治療法として食事療法、運動療法について講義する。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　成人看護学6　内分泌・代謝　医学書院　全頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 人体構造機能学における代謝に関わる物質および分泌器官について復習し、説明できるようにしておくこと。 小テスト 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第１２回 11/14	内分泌系疾患と治療2　病態生理の理解と主な治療②　糖尿病② 【key words】 糖尿病の治療 【授業概要】 糖尿病の薬物療法について講義する。 糖尿病の慢性合併症について取り上げ、症状と進行機序、治療について講義する。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　成人看護学6　内分泌・代謝　医学書院　全頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 人体構造機能学における代謝に関わる物質および分泌器官について復習し、説明できるようにしておくこと。 小テスト 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第１３回 11/21	内分泌系疾患と治療3　病態生理の理解と主な治療③　クッシング病・尿崩症等 【key words】 ホルモン作用　下垂体　疾患 【授業概要】 内分泌器官の構造と機能について学習し、ホルモンの作用および異常について学習する。また、視床下部－下垂体前葉の疾患としてクッシング病について講義を行う。 視床下部―下垂体後葉疾患として尿崩症について講義を行う。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　成人看護学6　内分泌・代謝　医学書院　全頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ホルモンの機能と名称、分泌器官について学習し、理解しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第１４回 11/28	内分泌系疾患と治療4　病態生理の理解と主な治療④　副腎脂質ホルモン異常などバセドウ病・原発性アルドステロン症等 【key words】 橋本病　バセドウ病　甲状腺機能低下症　甲状腺腫瘍 【授業概要】 甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患、性腺疾患などについて講義し、甲状腺クリーゼなどの救急系疾患についても取り扱う。

	【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　成人看護学6　内分泌・代謝　医学書院　全頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 甲状腺、副甲状腺、性腺についての機能とホルモン作用について復習しておく。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第１５回 12/12　内分泌系疾患と治療5　病態生理の理解と主な治療⑤　脂質代謝異常、痛風等その他の代謝異常まとめ 【key words】 脂質異常症 【授業概要】 脂質異常症の発生メカニズムおよび診断について講義する。 脂質異常症の治療として、食事療法、薬物療法について取り上げ、講義する。 肥満症、尿酸代謝異常について概説する。 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　成人看護学6　内分泌・代謝　医学書院　全頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 これまでの授業の復習として、教科書および講義内容の復習を行い、疑問点を解消しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 ３時間
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は厳禁とする。静粛に講義を聴くこと。私語を注意して止めないものは、退席とする。人体構造機能学について十分復習し授業に臨むこと。授業は、人体構造学の知識が習得できていることを前提に、ハイスピードで進行する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	テキストで予習・復習をすること。
オフィスアワー	各講師の授業終了後３０分
評価方法	筆記試験100％（消化器33点、腎・泌尿器33点、内分泌34点）
教科書	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　消化器、系統看護学講座　専門分野Ⅱ　腎泌尿器、系統看護学講座　専門分野Ⅱ内分泌：医学書院
参考書	授業内で適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 疾病・治療論各論Ⅱ　　授業コード： 20265

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2	必修
担当教員			
村上　博和　市川　優美　髙野　峻一			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 生体機能に影響を及ぼす要因を理解し、主要な健康障害とその診断、治療に関する知識を学び、健康障害や検査、治療に伴う人間の身体的・精神的反応を理解し看護につなげることができる。 【到達目標】 ①循環器系の健康障害と人間の反応について概説できる。 ②呼吸器系の健康障害と人間の反応について概説できる。 ③血液・造血器系の健康障害と人間の反応について概説できる。
授業の概要	循環器系・呼吸器系・血液・造血器系の疾患の症状・検査・診断方法・主な治療について学習する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	△
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	○
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	○
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	△
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	△
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	◎

授業計画	第１回9/27	ガイダンス、循環器系疾患の理解と治療1　循環器の構造と機能、症状とその病態生理、主な検査と治療 【key words】 循環器の構造と機能、症状、病態生理、検査 【授業概要】 ・循環器の構造と機能（復習） ・症状とその病態生理（胸痛、動悸、呼吸困難、浮腫、チアノーゼ、めまい・失神、四肢の疼痛、ショック） ・検査(心電図、心エコー、脈波、心臓カテーテル法、血行動態モニタリング、心臓核医学検査、CT、MRI) ・治療の概要（内科的治療、外科的治療、補助循環装置） ＊詳しい治療法については、第2回からの疾患と関連付けて説明する 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　循環器　成人看護学③　第2、3、4章p16～81 【課題・予習・復習・授業準備指示】 上記教科書ページを読み、授業に臨む。授業で提示された課題に取り組む。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第２回10/4	循環器系疾患の理解と治療2　虚血性心疾患（狭心症、急性心筋梗塞） 【key words】 虚血性心疾患、狭心症、心筋梗塞 経皮的冠動脈インターベンション：PCI、冠動脈バイパス術：CABG 【授業概要】 虚血性心疾患 ・労作性狭心症（治療法として経皮的冠動脈インターベンション：PCI、冠動脈バイパス術：CABG含む） ・冠れん縮性狭心症 ・不安定狭心症 ・急性心筋梗塞 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　循環器　成人看護学③　第5章p120～148 【課題・予習・復習・授業準備指示】 上記教科書ページを読み、授業に臨む。授業で提示された課題に取り組む。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第３回 10/11	循環器系疾患の理解と治療3　心不全、血圧異常、不整脈

【key words】
心不全、血圧異常、不整脈
薬物療法、ペースメーカー
【授業概要】
・心不全（病態、分類、診断、治療：薬物療法等）
・血圧異常（高血圧、低血圧）
・不整脈とその治療（ペースメーカー含む）
【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　循環器　成人看護学③　第5章p149～197
【課題・予習・復習・授業準備指示】
上記教科書ページを読み、授業に臨む。授業で提示された課題に取り組む。
【予習復習に必要な想定時間】
30～60分

第４回　循環器系疾患の理解と治療4　弁膜症、心膜炎、心筋疾患
10/18

【key words】
弁膜症、心膜炎、心筋疾患
【授業概要】
・弁膜症
・心膜炎（心タンポナーデ含む）
・心筋疾患
【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　循環器　成人看護学③　第5章p198～210
【課題・予習・復習・授業準備指示】
上記教科書ページを読み、授業に臨む。授業で提示された課題に取り組む。
【予習復習に必要な想定時間】
30～60分

第５回　循環器系疾患の理解と治療5　先天性心疾患、動脈系疾患、静脈系疾患
10/25

【key words】
先天性心疾患、動脈系疾患、静脈系疾患
【授業概要】
・先天性心疾患
・動脈系疾患（大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性疾患）
・静脈系疾患（血栓性静脈炎、深部静脈血栓等）
【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　循環器　成人看護学③　第5章p211～230
【課題・予習・復習・授業準備指示】
上記教科書ページを読み、授業に臨む。授業で提示された課題に取り組む。
【予習復習に必要な想定時間】
30～60分

第６回9/28　呼吸器系疾患の理解と治療1　呼吸器の構造と機能、症状とその病態生理

【key words】
呼吸器の構造　呼吸器の生理　呼吸器症状（自覚症状・他覚症状）
【授業概要】
・呼吸器の構造と機能（復習）
・症状とその病態生理
【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　呼吸器　成人看護学②　第2、3章p20～67
【課題・予習・復習・授業準備指示】
上記教科書ページを読み、授業に臨む。授業で提示された課題に取り組む。
【予習復習に必要な想定時間】
30～60分

第７回10/5　呼吸器系疾患の理解と治療2　検査と治療・処置

【key words】
呼吸器系の検査　治療・処置
【授業概要】
・検査（喀痰検査、胸水検査、気管支鏡検査、生検、呼吸機能検査）
・治療・処置（吸入療法、酸素療法、人工呼吸療法、呼吸理学療法、気道確保、胸腔ドレナージ）
・手術療法（開胸術・胸腔鏡手術）
【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　呼吸器　成人看護学②　第4章p72～134
【課題・予習・復習・授業準備指示】
上記教科書ページを読み、授業に臨む。授業で提示された課題に取り組む。
【予習復習に必要な想定時間】
30～60分

第８回　呼吸器系疾患の理解と治療3　感染症・間質性肺疾患
10/12

【key words】
感染症・間質性肺疾患
【授業概要】
・感染症（かぜと急性気管支炎、インフルエンザ、肺炎、結核）
・間質性肺疾患（間質性肺炎、サルコイドーシス、好酸球性肺疾患、塵肺）
【教科書ページ・参考文献】
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　呼吸器　成人看護学②　第5章p138～175
【課題・予習・復習・授業準備指示】
上記教科書ページを読み、授業に臨む。授業で提示された課題に取り組む。
【予習復習に必要な想定時間】
30～60分

第９回　呼吸器系疾患の理解と治療4　気道疾患・肺血栓塞栓症・呼吸不全・呼吸調節に関する疾患
10/19

		【key words】 気道疾患・肺血栓塞栓症・呼吸不全・呼吸調節に関する疾患 【授業概要】 ・気道疾患（気管支喘息、気管支拡張症、慢性閉塞性肺疾患:COPD） ・肺血栓塞栓症 ・呼吸不全（呼吸不全の病態生理、急性呼吸窮迫症候群、肺性心） ・呼吸調節に関する疾患（過換気症候群、睡眠時無呼吸症候群） 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　呼吸器　成人看護学②　第5章p176～196 【課題・予習・復習・授業準備指示】 上記教科書ページを読み、授業に臨む。授業で提示された課題に取り組む。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第１０回 10/26	呼吸器系疾患の理解と治療5　肺腫瘍・胸膜・縦隔・横隔膜の疾患・胸部外傷 【key words】 肺腫瘍・胸膜・縦隔・横隔膜の疾患・胸部外傷 【授業概要】 ・肺腫瘍（悪性腫瘍：原発性肺がん、転移性肺腫瘍） ・胸膜・縦隔・横隔膜の疾患（胸膜の疾患：胸膜炎・膿胸・自然気胸等、縦隔の疾患、横隔膜の疾患） ・胸部外傷 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　呼吸器　成人看護学②　第5章p197～221 【課題・予習・復習・授業準備指示】 上記教科書ページを読み、授業に臨む。授業で提示された課題に取り組む。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第１１回 11/22	血液・造血器系疾患の理解と治療1　血液の生理と造血のしくみ・検査・診断と症候・病態生理 【key words】 血液の生理、造血のしくみ、検査、診断、症候、病態生理 【授業概要】 ・血液の生理（血液の成分と機能、止血機構と線溶、免疫応答） ・造血の仕組み（血液細胞の分化を含む） ・検査・診断（末梢血検査、骨髄穿刺・生検等） ・症候とその病態生理（貧血、白血球増加症、白血球減少症、脾腫、リンパ節腫脹、出血性素因） 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　血液・造血器　成人看護学④　第2、3章p18～46 【課題・予習・復習・授業準備指示】 上記教科書ページを読み、授業に臨む。授業で提示された課題に取り組む。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第１２回 11/29	血液・造血器系疾患の理解と治療2　赤血球系の異常、白血球系の異常 【key words】 赤血球系の異常、貧血、白血球系の異常 【授業概要】 ・赤血球系の異常（鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、再生不良性貧血、溶血性貧血） ・白血球系の異常（伝染性単核球症等） 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　血液・造血器　成人看護学④　第4章p50～68 【課題・予習・復習・授業準備指示】 上記教科書ページを読み、授業に臨む。授業で提示された課題に取り組む。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第１３回 12/6	血液・造血器系疾患の理解と治療3　造血器腫瘍（造血器腫瘍の治療、急性白血病、骨髄異形成症候群） 【key words】 造血器腫瘍、急性白血病、骨髄異形成症候群 【授業概要】 ・造血器腫瘍の概念と分類 ・治療計画 ・造血器治療の基本理念（化学療法、支持療法、造血幹細胞移植、分化誘導療法、分子標的療法、遺伝子治療） ・造血器腫瘍療法における支持療法（感染症対策、出血とその対策：輸血療法含む） ・急性白血病 ・骨髄異形成症候群 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　血液・造血器　成人看護学④　第4章p69～103 【課題・予習・復習・授業準備指示】 上記教科書ページを読み、授業に臨む。授業で提示された課題に取り組む。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
	第１４回 12/13	血液・造血器系疾患の理解と治療4　造血器腫瘍（慢性白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫） 【key words】 造血器腫瘍、慢性白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫 【授業概要】 ・慢性白血病（慢性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病） ・悪性リンパ腫

	・骨髄腫及び類縁疾患（多発性骨髄腫等） 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　血液・造血器　成人看護学④　第4章p103～125 【課題・予習・復習・授業準備指示】 上記教科書ページを読み、授業に臨む。授業で提示された課題に取り組む。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分 第１５回　血液・造血器系疾患の理解と治療5　出血性疾患 12/20 【key words】 出血性疾患 【授業概要】 ・血管異常（アレルギー性紫斑病） ・血小板異常（特発性血小板減少性紫斑病等） ・凝固異常（血友病等） ・播種性血管内凝固症候群（DIC） 【教科書ページ・参考文献】 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　血液・造血器　成人看護学④　第4章p125～133 【課題・予習・復習・授業準備指示】 上記教科書ページを読み、授業に臨む。授業で提示された課題に取り組む。 【予習復習に必要な想定時間】 30～60分
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は厳禁とする。静粛に講義を聴くこと。私語を注意して止めないものは、退席とする。人体構造機能学について十分復習し授業に臨むこと。授業は、人体構造学の知識が習得できていることを前提に、ハイスピードで進行する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	テキストで予習・復習をすること。
オフィスアワー	各講師の授業終了後３０分
評価方法	筆記試験100%（循環器34点、呼吸器33点、血液・造血器33点）
教科書	系統看護学講座専門分野Ⅱ　脳・神経　医学書院、ナースのためのやさしくわかる整形外科　ナツメ社
参考書	授業内で適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 村上博和：内科医として40年以上の勤務歴あり アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 疾病・治療論各論Ⅲ　　授業コード： 20266

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員			
金子　由夏　宇野　治夫			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 生体機能に影響を及ぼす要因を理解し、主要な健康障害とその診断、治療に関する知識を学び、健康障害や検査、治療に伴う人間の身体的・精神的反応を理解し、看護につなげることができる。 【到達目標 ①運動器系の健康障害と人間の反応について概説できる。 ②脳神経系の健康障害と人間の反応について概説できる。
授業の概要	運動器系・脳神経系の疾患の症状・検査・診断方法・主な治療について学習する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　運動器の構造と機能、疾患の病態と症状
10/6

【key words】
骨、骨格、筋肉の構造と機能、骨折の特徴、骨折の治癒過程、骨折の合併症、骨粗鬆症
【授業概要】
ガイダンス、運動器疾患に関連する検査、症状・治療を関連付けて説明する
　特に高齢者に見られる骨折、合併症を伴う治療に注意を要する骨折
【教科書ページ・参考文献】
P.39-60、P.285 -308
【課題・予習・復習・授業準備指示】
骨折、特に高齢者にみられる４大骨折。神経麻痺や出血性ショックを起こす骨折。開放骨折の特徴。
【予習復習に必要な想定時間】

第２回　運動器疾患の病態と検査・治療
10/13

【key words】
ADL、ROM、MMT検査、ミエログラフィ、関節内視鏡検査、画像検査、
【授業概要】
運動器疾患に伴う機能や病態に関する検査を概説する。
　整形外科の痛み、ADL、機能障害、変形、検査など
【教科書ページ・参考文献】
P.8　P.38　P.309
【課題・予習・復習・授業準備指示】
ミエログラフィー検査の注意点、ROM、MMT検査の要点、ADLの概念
【予習復習に必要な想定時間】

第３回　運動器疾患の病態と治療：脊椎・脊髄疾患、肩関節、肘関節疾患
10/20

【key words】
腰椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、側弯症、肩関節周囲炎、肘内障、ミエログラフィー
【授業概要】
運動器疾患の病態と関連する症状、行われる検査と治療を概説する
【教科書ページ・参考文献】
P.61-110
【課題・予習・復習・授業準備指示】
高齢者によくみられる脊椎疾患
側弯症検診
【予習復習に必要な想定時間】

第４回 9/29	脳神経の構造と機能 【key words】 神経伝達、ニューロン、シナプス、大脳、間脳、脳幹、脊髄、脳血管 【授業概要】 大脳、脳幹、中枢神経、脊髄神経、末梢神経　ニューロン、血管系の構造について概説する 【教科書ページ・参考文献】 P.6-50　系統看護学講座専門分野Ⅱ脳神経成人看護学⑦脳・神経、医学書院 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回ミニテスト 【予習復習に必要な想定時間】 事前にテキストのP.6 -50に目を通して臨む
第５回 10/6	神経系の機能とその障害による症状 【key words】 脳神経、脊髄神経、自律神経、運動感覚 【授業概要】 中枢神経、末梢神経の神経伝達と運動感覚、自律神経系の構造、機能と障害時の症状について説明する 【教科書ページ・参考文献】 P.18-79　系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学⑦脳神経　医学書院 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回　ミニテスト 【予習復習に必要な想定時間】
第６回 10/27	運動器疾患の病態と検査・治療：手・股関節、膝関節疾患 【key words】 人工股関節手術、人工膝関節手術 【授業概要】 手の一般的疾患　、腱鞘炎、デュプュイトラン拘縮。膝、変形性関節症、オスグットシェラッター 股・臼蓋形成不全、変形性股関節症 【教科書ページ・参考文献】 P.112-160　ナースのための優しくわかる整形外科　ナツメ社 【課題・予習・復習・授業準備指示】 人工関節手術後のケアの注意店 【予習復習に必要な想定時間】
第７回 10/13	脳神経障害とその症状： 【key words】 意識障害（JCS,GCS),高次機能障害(失行・失認、失語症）、運動機能障害 【授業概要】 脳神経系が障害された時の病態と症状を関連付けて説明する 【教科書ページ・参考文献】 P.52-86,P.88-120,　系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学成人看護学⑦脳・神経 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回　　ミニテスト 【予習復習に必要な想定時間】
第８回 10/20	脳神経の疾患の理解と、治療：脳血管障害の内科的治療、 【key words】 脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、（内科的治療）、 【授業概要】 脳神経の機能と障害された時の症状を疾患と関連付けて説明する 【教科書ページ・参考文献】 P.122-161　系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学⑦脳・神経 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回　ミニテスト 【予習復習に必要な想定時間】
第９回 10/27	脳神経系の疾患の理解と治療：頭部外傷、脳血管疾患の外科的治療、脳脊髄液の異常 【key words】 頭部外傷、脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血（外科的治療）、頭蓋内圧亢進症上、 水頭症、V-Pシャント 【授業概要】 疾患の病態に関連する症状と治療を関連付けて説明する 【教科書ページ・参考文献】 P.122-161　系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学⑦脳・神経 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回　ミニテスト 【予習復習に必要な想定時間】
第１０回 11/10	運動器疾患の病態と検査治療：足関節疾患、感染症、関節リウマチ 【key words】 糖尿病の足病変、関節リウマチ、 【授業概要】 疾患の病態と症状の関連付けながら検査・治療を説明する。 【教科書ページ・参考文献】 P.162-178,P.200-206,P.226-244　ナースのためのやさしくわかる整形外科　ナツメ社 【課題・予習・復習・授業準備指示】

	関節リウマチの診断・治療 【予習復習に必要な想定時間】 第１１回　脳神経系疾患の理解と治療：脊髄疾患、脊髄神経障害 11/10 【key words】 パーキンソン病、ALS、ニューロパチーびょう 【授業概要】 疾患の病態と症状を関連付けながら検査・治療を説明する 【教科書ページ・参考文献】 P.161-168　系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学⑦脳・神経 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回　ミニテスト 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回　脳神経系疾患の理解と治療：脊髄変性症、髄膜炎など 11/17 【key words】 パーキンソン病、ホーエンヤールの分類、ALS、ミオパチー、多発性硬化症、 【授業概要】 疾患の病態と症状を関連付けながら治療、経過、予後を説明する 【教科書ページ・参考文献】 P.168-211　系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学⑦脳・神経 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回　ミニテスト 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　運動器疾患の病態の理解と治療：小児の整形外科的疾患 11/17 【key words】 筋性斜頸、先天性股関節脱臼、手根管症候群、複合性局所疼痛症候群 【授業概要】 疾患の病態と症状を関連付けて検査・治療の説明をする 【教科書ページ・参考文献】 P.258-268,P.180-206　ナースのためのやさくわかる整形外科、ナツメ社 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　脳神経系疾患の理解と治療：認知症、てんかん 11/24 【key words】 アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭葉型認知症、 脳血管障害型認知症、中核症状、周辺症状、 【授業概要】 疾患の病態と症状を関連付けた治療と経過予後について説明する 【教科書ページ・参考文献】 P.218-235　系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学⑦脳・神経 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　運動器疾患の病態と治療：腫瘍 11/24 【key words】 骨軟部腫瘍、骨肉腫、骨転移、くる病、退行性・代謝性疾患、骨粗鬆症、 ロコモティブシンドローム 【授業概要】 疾患の病態と症状を関連付けて検査・治療を説明する 【教科書ページ・参考文献】 P.246-255,P.208-224　ナースのためのやさしくわかる整形外科、ナツメ社 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は厳禁とする。静粛に講義を聴くこと。私語を注意して止めないものは、退席とする。人体構造機能学について十分復習し授業に臨むこと。授業は、人体構造学の知識が習得できていることを前提に、ハイスピードで進行する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	テキストで予習・復習をすること。
オフィスアワー	各講師の授業終了後３０分
評価方法	筆記試験100%（脳神経50点、運動器50点）
教科書	系統看護学講座専門分野Ⅱ　成人看護学⑦脳・神経、成人看護学⑩運動器　医学書院、ナースのためのやさしくわかる整形外科　ナツメ社
参考書	授業内で適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容

	アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 疾病・治療論各論Ⅳ　　授業コード： 20267

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2	必修
担当教員			
村上　博和　松本　吉郎　野島　照雄　井田　翔太　笹澤　武史			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 生体機能に影響を及ぼす要因を理解し、主要な健康障害とその診断、治療に関する知識を学び、健康障害や検査、治療に伴う人間の身体的・精神的反応を理解し看護につなげることができる。 【到達目標】 ①感覚器系（眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科）の健康障害と人間の反応について概説できる。 ②精神神経系の健康障害と人間の反応について概説できる。 ③歯科領域の疾患と人間の反応について概説できる。
授業の概要	感覚器領域（眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科）ならびに精神神経系と歯科領域の疾患の症状・検査・診断方法・主な治療について学習する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　精神疾患と治療１:精神疾患の基礎知識
4/18

【key words】
脳と心　脳の機能障害　主な精神疾患　精神医学
【授業概要】
精神疾患の特徴　精神障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライド、資料と教科書を活用して講義にて学習する。また、精神医学について理解する。
120-137ｐ

【教科書ページ・参考文献】
120-137ｐ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
脳の機能と構造を予習する。
授業後は配布資料と教科書を再度読む
【予習復習に必要な想定時間】
2時間

第２回　精神疾患と治療2：疾患、治療が生活に及ぼす影響
4/25

【key words】
知的障害、パーソナリティ障害、自閉スペクトラム
【授業概要】
精神疾患の特徴　精神障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライド、資料と教科書を活用して講義にて学習する。精神疾患・治療が生活に及ぼす影響から看護を考える。
【教科書ページ・参考文献】
157-169ｐ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業後は教科書、配布資料を再度読む。
疾患の看護について教科書で確認し疾患とつなげながら読む。

【予習復習に必要な想定時間】
2時間

第３回　精神疾患の理解と治療3：疾患、治療が生活に及ぼす影響
5/23

【key words】

		不安障害(神経症) 適応障害　心身症・身体表現性障害 【授業概要】 精神疾患の特徴　精神障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライド、資料と教科書を活用して講義にて学習する。精神疾患・治療が生活に及ぼす影響から看護を考える。、疾患の回復過程から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 146-157 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業後は配布資料と教科書を読む 疾患の看護について教科書で確認し疾患とつなげながら読む 授業後は配布資料と教科書を読む 疾患の看護について教科書で確認し疾患とつなげながら読 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	第４回 5/30	精神疾患の理解と治療4：疾患、治療が生活に及ぼす影響 【key words】 統合失調症 【授業概要】 精神疾患の特徴　精神障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライド、資料と教科書を活用して講義にて学習する。精神疾患・治療が生活に及ぼす影響から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 138-142 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業後は配布資料と教科書を読む 疾患の看護について教科書で確認し疾患とつなげながら読む。 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	第５回 6/6	疾患の理解と治療5：疾患、治療が生活に及ぼす影響 【key words】 躁うつ病 【授業概要】 精神疾患の特徴　精神障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライド、資料と教科書を活用して講義にて学習する。精神疾患・治療が生活に及ぼす影響から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 143-146 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業後は配布資料と教科書を読む 疾患の看護について教科書で確認し疾患とつなげながら読む。 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	第６回 6/20	精神疾患の理解と治療6：疾患、治療が生活に及ぼす影響 【key words】 依存症　器質性精神障害　てんかん 【授業概要】 神疾患の特徴　精神障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライド、資料と教科書を活用して講義にて学習する。精神疾患・治療が生活に及ぼす影響から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 129-137 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業後は配布資料と教科書を読む 疾患の看護について教科書で確認し疾患とつなげながら読む。 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	第７回 6/27	精神疾患の理解と治療7：疾患、治療が生活に及ぼす影響 【key words】 アルコール依存症、薬物依存と中毒 【授業概要】 精神疾患の特徴　精神障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライド、資料と教科書を活用して講義にて学習する。精神疾患・治療が生活に及ぼす影響から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 274-282 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業後は配布資料と教科書を読む 疾患の看護について教科書で確認し疾患とつなげながら読む。 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	第８回 6/8	耳疾患と治療、生活に及ぼす影響

		【key words】 耳鼻構造と機能　伝音　感音　難聴 【授業概要】 耳疾患、機能の障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライドと教科書を活用して講義にて学習する。また、聴覚機能、疾患の回復過程から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 1-50ｐ　106-134ｐ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 耳の構造を予習する。 授業後は看護につなげられるよう教科書178-213ｐを読む 【予習復習に必要な想定時間】 3時間
	第９回 6/15	鼻疾患と治療、生活に及ぼす影響 【key words】 鼻疾患　アレルギー性鼻炎　副鼻腔炎 【授業概要】 鼻疾患、機能の障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライドと教科書を活用して講義にて学習する。また、臭覚機能、疾患の回復過程から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 50-53ｐ　134-146ｐ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 鼻の構造を予習する。授業後は看護につなげられるよう教科書214-220ｐを読む 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	第１０回 6/22	口腔・咽頭疾患と治療、生活に及ぼす影響 【key words】 口腔　咽頭　唾液腺　主な疾患　嚥下障害 【授業概要】 口腔咽頭疾患、機能の障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライドと教科書を活用して講義にて学習する。また、味覚機能、嚥下機能の低下、疾患の回復過程から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 口腔、咽頭の構造を予習する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業後は教科書、配布資料を再度読む。 疾患の看護について教科書で確認し疾患とつなげながら読む。 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
	第１１回 4/11	皮膚疾患と治療、生活に及ぼす影響 【key words】 皮膚の構造　病態生理　皮膚炎、湿疹、感染性疾患 【授業概要】 皮膚疾患、皮膚の障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライドと教科書を活用して講義にて学習する。また、感覚機能・嚥下機能の低下、疾患の回復過程から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 1-156ｐ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 皮膚の構造を予習する。 授業後は看護につなげられるよう教科書160-223ｐを読む 【予習復習に必要な想定時間】 ２時間
	第１２回 4/11	皮膚疾患と治療、生活に及ぼす影響 【key words】 皮膚悪性腫瘍、褥瘡 【授業概要】 皮膚疾患、皮膚の機能障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライドと教科書を活用して講義にて学習する。また、感覚機能・嚥下機能の低下、疾患の回復過程から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 80-156ｐ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業後は看護につなげられるよう教科書228-266ｐを読む 【予習復習に必要な想定時間】 ２時間
	第１３回 6/29	授業後は看護につなげられるよう教科書228-266ｐを読む 【key words】 齲蝕、歯周病、歯肉炎、保存治療、補綴治療 【授業概要】 歯・口腔疾患、機能の障害が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライドと教科書を活用して講義にて学習する。また、摂食（咀嚼・嚥下）機能、疾患の回復過程から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 17-159ｐ

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 歯・口腔の構造機能を予習する。 授業後は看護につなげられるよう教科書162-274ｐを読む 【予習復習に必要な想定時間】 ２時間 第１４回　眼疾患と治療、生活に及ぼす影響 6/20 【key words】 眼の構造　遠視、近視、老視、白内障 【授業概要】 眼の構造と視機能の障害、疾患が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライドと教科書を活用して講義にて学習する。また、視覚機能、疾患の回復過程から看護を考える。 【教科書ページ・参考文献】 1-107ｐ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 眼の構造を予習する。 授業後は看護につなげられるよう教科書122-201を読む 【予習復習に必要な想定時間】 ２時間 第１５回　眼疾患と治療、生活に及ぼす影響 7/4 【key words】 緑内障、感染性疾患他 【授業概要】 視機能の障害、疾患が身体、心理、社会、生活に及ぼす影響を理解するための必要な知識・技能をスライドと教科書を活用して講義にて学習する。また、視覚機能、疾患の回復過程から看護を考える。 過去の国家試験問題の概説を行う。 【教科書ページ・参考文献】 112-119ｐ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業後は看護につなげられるよう教科書186-203ｐを読む 【予習復習に必要な想定時間】 2時間
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は厳禁とする。静粛に講義を聴くこと。私語を注意して止めないものは、退席とする。人体構造機能学について十分復習し授業に臨むこと。授業は、人体構造学の知識が習得できていることを前提に、ハイスピードで進行する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	テキストで予習・復習をすること。
オフィスアワー	各講師の授業終了後30分
評価方法	受講態度　試験実施　提出物
教科書	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　眼、系統看護学講座　専門分野Ⅱ　耳鼻、系統看護学講座　専門分野Ⅱ　皮膚 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　歯・口腔：医学書院 精神看護学Ⅰ「精神保健学」、精神看護学Ⅱ「精神臨床看護学」：ヌーベルヒロカワ
参考書	授業内で適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他

	その他の具体的内容

講義科目名称： 疾病・治療論各論Ⅴ　　授業コード： 20268

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2	必修
担当教員			
武田　憲子　平田　洋一郎　多田　真和　林　博			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 生体機能に影響を及ぼす要因を理解し、主要な健康障害とその診断、治療に関する知識を学び、健康障害や検査、治療に伴う人間の身体的・精神的反応を理解し、看護につなげることができる。 【授業目標】 ①女性生殖器系の健康障害と人間の反応について概説できる。 ②小児特有の健康障害と人間の反応について概説できる。 ③高齢者特有の健康障害と人間の反応について概説できる。
授業の概要	1.　生殖器系疾患の病態生理と治療について学ぶ。 2.　小児期にある子どもおよび高齢者に特有な疾患を取り上げ、各疾患の概念、病態生理、分類、疫学、発症、原因、誘因、症状、経過、検査、診断、治療法、予後等について教授する。これらの疾患の治療に伴う看護を考える基礎知識とする。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　6/21　ガイダンス、生殖器系疾患の理解と治療1

【key words】
女性生殖器、乳房、子宮筋腫、子宮がん
【授業概要】
上記の女性生殖器疾患の病態生理・検査・診断・治療について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
P22-36
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを熟読し、予習復習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分程度

第２回　6/21　生殖器系疾患の理解と治療2

【key words】
妊娠の成立、性周期ホルモン、卵巣のう腫、卵巣がん
【授業概要】
上記の女性生殖器疾患の病態生理・検査・診断・治療について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
P28-36
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを熟読し、予習復習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分程度

第３回 7/5　生殖器系疾患の理解と治療3

【key words】
月経異常、月経随伴症状、更年期障害、乳がん
【授業概要】
上記の女性生殖器疾患の病態生理・検査・診断・治療について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
P164-171
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストを熟読し、予習復習する。
【予習復習に必要な想定時間】

		60分程度
	第４回 7/5	生殖器系疾患の理解と治療4 【key words】 不妊症、不育症、性感染症 【授業概要】 上記の女性生殖器疾患の病態生理・検査・診断・治療について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 P171-196 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを熟読し、予習復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第５回 5/9	小児の代表的疾患①：先天性代謝異常、代謝・内分泌疾患 【key words】 ダウン症候群、新生児マススクリーニング対象疾患、１型・２型糖尿病 【授業概要】 上記の小児の代表疾患の病態生理・検査・診断・治療について概説する。 【教科書ページ・参考文献】 第１章～第４章　P6-102 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各章の末頁にあるゼミナール復習と課題について予習復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第６回 5/9	小児の代表的疾患②：免疫・アレルギー疾患、感染症、呼吸器疾患 【key words】 アレルギー、気管支喘息、急性乳幼児下痢症、麻疹、風疹、突発性発疹、水稲、帯状疱疹、手足口病、流行性耳下腺炎、急性灰白髄炎、日本脳炎、インフルエンザ、細気管支炎、マイコプラズマ肺炎 【授業概要】 上記の小児の代表疾患の病態生理・検査・診断・治療について概説する。 【教科書ページ・参考文献】 第５章～第７章　P104-186 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各章の末頁にあるゼミナール復習と課題について予習復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第７回 5/9	小児の代表的疾患③：循環器疾患 【key words】 先天性心疾患（心室中隔欠損症、心房中隔欠損症、卵円孔開存症、ファロー四徴症） 後天性心疾患（川崎病、リウマチ性弁膜症） 【授業概要】 上記の小児の代表疾患の病態生理・検査・診断・治療について概説する。 【教科書ページ・参考文献】 第８章　P188-221 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各章の末頁にあるゼミナール復習と課題について予習復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第８回 5/9	小児の代表的疾患④：消化器疾患 【key words】 口唇・口蓋裂、肥厚性幽門狭窄症、腸閉塞、腸重積、ヒルシュスプルング病、鎖肛、急性虫垂炎、ヘルニア、胆道閉鎖症 【授業概要】 上記の小児の代表疾患の病態生理・検査・診断・治療について概説する。 【教科書ページ・参考文献】 第９章　P225-276 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各章の末頁にあるゼミナール復習と課題について予習復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第９回 6/24	小児の代表的疾患⑤：血液疾患、悪性新生物 【key words】 血友病、血管性紫斑病、突発性血小板減少性紫斑病、神経芽腫、ウィルムス腫瘍、急性リンパ性白血病、脳腫瘍 【授業概要】 上記の小児の代表疾患の病態生理・検査・診断・治療について概説する。 【教科書ページ・参考文献】 第10章～第11章　P278-330 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各章の末頁にあるゼミナール復習と課題について予習復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
	第１０回 6/24	小児の代表的疾患⑥：腎・泌尿器疾患、神経疾患、運動器・骨格器疾患 【key words】 ネフローゼ症候群、髄膜炎、てんかん、水頭症、熱性けいれん、脳性まひ、進行性筋ジストロフィー、二分脊髄症 【授業概要】 上記の小児の代表疾患の病態生理・検査・診断・治療について概説する。

	【教科書ページ・参考文献】 第12章～第14章　P332-430 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各章の末頁にあるゼミナール復習と課題について予習復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度 第１１回　小児の代表的疾患⑦：皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉科疾患 6/24 【key words】 色素性母斑、熱傷、アトロピン点眼、結膜炎、斜視、中耳炎、口蓋扁桃肥大 【授業概要】 上記の小児の代表疾患の病態生理・検査・診断・治療について概説する。 【教科書ページ・参考文献】 第15章～第17章　P432-480 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各章の末頁にあるゼミナール復習と課題について予習復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度 第１２回　老年特有の疾患の理解と治療1 6/23 【key words】 老化、老年看護、超高齢社会 【授業概要】 老年特有の疾患の病態生理・検査・診断・治療について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 P1-45 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の講義内容の復習及び興味を抱いた部分について自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度 第１３回　老年特有の疾患の理解と治療2： 6/23 【key words】 老年症候群 【授業概要】 老年特有の疾患の病態生理・検査・診断・治療について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 P47-92 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の講義内容の復習及び興味を抱いた部分について自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度 第１４回　老年特有の疾患の理解と治療3 7/7 【key words】 高齢者総合機能評価、肺炎、脳血管障害 【授業概要】 老年特有の疾患の病態生理・検査・診断・治療について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 P93-202 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の講義内容の復習及び興味を抱いた部分について自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度 第１５回　老年特有の疾患の理解と治療4： 7/7 【key words】 認知症 【授業概要】 老年特有の疾患の病態生理・検査・診断・治療について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 P202-318 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の講義内容の復習及び興味を抱いた部分について自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分程度
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は厳禁とする。静粛に講義を聴くこと。私語を注意して止めないものは、退席とする。人体構造機能学について十分復習し授業に臨むこと。授業は、人体構造学の知識が習得できていることを前提に、ハイスピードで進行する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	テキストで予習・復習をすること。
オフィスアワー	各講師の授業終了後３０分
評価方法	筆記試験100％（生殖器25点、小児50点、老年25点）
教科書	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　女性生殖器、系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児臨床看護各論 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護病態・疾患論：医学書院
参考書	授業内で適宜紹介する。

実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 道徳教育（特別活動を含む）　　授業コード： 20222

英文科目名称： Moral education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2	選択
担当教員			
塚本　忠男			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 「道徳」を主体的に学び研究し、自らの実践を通して具体的な授業（教育）の在り方を考察する。（含特別活動） その教育実践の基本的な態度である本学見学の精神を学び、自らの思考を実践する能力を養う。 【到達目標】 ①人が社会にあって、人としてのあるべき道を学び、実践する力を身につけることができる。 ②自己の思考するところを言語表現できる語い力・話力・能力をみがき、思考力、判断力、表現力を身につけることができる。 ③道徳教育（含特別活動教育）の目的と意義及び内容について研究、考察し、具体的な実践的手法を身につけることができる。 ④教養としての主権者意識・市民性意識を涵養し、社会にあってその姿勢を実践する力を身につけることができる。
授業の概要	・人間としての在り方・生き方について学び、積極的に社会に参加できる力を養う。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画

第１回　オリエンテーション（授業計画・授業内容、授業方法、授業時の留意事項、評価）

【key words】
授業について、講義の受け方、評価

【授業概要】
・授業のスタートに当たり授業活動における秩序（ルール、マナー等）を確認する。
・授業内容は儒学哲学をもとに、社会にあって人間のあり方についての思考を深める。
さらには、道徳・特別活動教育について学習指導要領をもとに実践的授業について児童・生徒の指導と教師として教育すべき技術・能力を考察する。
・授業形態（グループ発表・全体討議・評価等）について教師と学生によって授業活動ができる（アクティブラーニング）ことを基本とする。
・授業出席確認は授業担当者のもと学生のリーダーが呼名で確認する。
・次回授業からグループ発表のため、グループ編成、発表テーマ・内容について活動する。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト「咸有一徳」、授業担当教師が作成する資料を配布

【課題・予習・復習・授業準備指示】
・本時配布資料講義について、上毛新聞「三山春秋」、「虐待」、自分の気になる社会事象記述用紙「ハチドリのひとしずく」　（記述用紙）
・上記の配布資料について読解・記述を次回授業までに行う。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第２回　テキスト「咸有一徳」について解説する。「道」と「徳」の字源、「哲学する」ことについて解説し、考察する。

【key words】
咸有一徳、道、徳、哲学する

【授業概要】
・書経の篇名「咸有一徳」が有する意味を解説する。
・「道」「徳」字の源を探る。
・「哲学する」ことの意義にして考察する。
・グループ発表テーマ等の考察、「ハチドリのひとしずく」発表と話し合い

【教科書ページ・参考文献】
テキスト「咸有一徳」P62～64、教師作成資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・本時配布資料
「徳」字の字源解説、グループ発表記録用紙、読売新聞「編集手帳」（船戸結愛ちゃん）

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第３回　発表グループ編成　「仁」の字源（加藤常賢）と論語に見る「仁」について考察する。
【key words】
グループ編成とその意味　仁

【授業概要】
・なぜグループを編成するのか。何を追究するのか。
・「仁」字の字源と儒教的考察
・グループ発表の最終打ち合わせ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト「咸有一徳」P40～48、P41～43、教師作成資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・「仁」字の字源解説、論語「顔淵」の解釈
・本時配布資料

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第４回　グループ発表初回、「大学での学び」について、第3回講義の補足と復習について講義する。
【key words】
・咸有一徳の「一」、論語、儒学
【授業概要】
・「仁」について　その字源と論語における意味を解説する。
・現代主権者、社会人として考察すべき儒教哲学について考察する。
・「大学での学び」を考える。
・グループ発表と質問と討論と評価を行う。
・グループ発表と討論30分

【教科書ページ・参考文献】
「咸有一徳」・配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本時配布資料
・大学での学び、発表グループが作成した資料

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第５回　「仁」は孔子の思想の中心を成す。その「仁」について考察する。「漢」という時代について考察する。コメントカードから学ぶことについて紹介する。
【key words】
・中国漢時代、コメントカード

【授業概要】
・「仁」は孔子の中心思想（儒学倫理学、儒学リーダーシップ学）であることを学ぶ。
・中国漢時代の様子と儒学の発展について考察する。
・グループ発表と討論30分
・コメントカードに答える。（学生の話し合い）

【教科書ページ・参考文献】
「咸有一徳」・配布資料

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本時配布資料
・漢の時代　・コメントカードよりコメント集

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第６回　「仁」について、孟子と伝習録によって考察する。「秦」という時代～諸子百家の出現について解説する。
【key words】
孟子、伝習録、秦、諸子百家
【授業概要】
・「仁」を多方向からとらえる。そして倫理学としての「仁」を再認識する。
・グループ発表と質問と討論と評価

【教科書ページ・参考文献】
テキスト「咸有一徳」P39～40、配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本時配布資料
・上毛新聞「三山春秋」（東京空襲と井上有一）
・本の紹介「アニメと哲学」小川仁志著

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第７回　儒学の実践「知行合一」（陽明学）について考察する。（公愛を育て、吾が英知〈至善・良知〉

	の実践を考える） 【key words】 知行合一、至善、良知、格物、陽明学 【授業概要】 ・真心を行いで示す。誰もが生まれながらに持っている、人として行うべき正しい道を外に現すこと。そしてそれによって 社会的な物事に正しく処することについて考察する。 ・グループ発表と討論30分 【教科書ページ・参考文献】 テキスト「咸有一徳」、配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本時配布資料 学習指導要領「道徳」、学校教育法施行規則（抄）
	【予習復習に必要な想定時間】 60分
第８回	「真心」とは何か、「真心」の本体とは何かについて儒学を基に考察する。学習指導要領一部改正（平成27年3月）から、第1章総説「道徳の内容」について解説する。 【key words】 真心、学習指導要領、学校教育法施行規則、「道徳」 【授業概要】 ・「真心」とは何か、「真心」の本体とは何かについて考察する。 ・学習指導要領改訂「道徳」について理解し、指導の視点、方法を実践的に学ぶ。 ・グループ発表と討論 【教科書ページ・参考文献】 テキスト「咸有一徳」P49～56、配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本時配布資料、（新）学習指導要領「特別活動」編 【予習復習に必要な想定時間】 60分
第９回	「真心」について「中庸」「礼記」「伝習録」から考察する。　・「真心」について「伝習録」より「本体」について考察する。 【key words】 「中庸」「礼記」「伝習録」「何か」「本体」 【授業概要】 ・「真心」について中庸・礼記・伝習録によって考察する。 ・「道徳」の教科化について、その経緯・改訂の基本方針を再認識する。 ・グループの発表と討論 【教科書ページ・参考文献】 テキスト「咸有一徳」、配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本時配布資料 ・中庸・礼記・伝習録に見る「真心」の解説 ・上毛新聞「三山春秋」（「想定外」という説明） 【予習復習に必要な想定時間】 60分
第１０回	「至誠」とは何か、「尽くす」が極めて大切、を「中庸」・「礼記」から引用して考察する。教育の歴史を「修身科」と「教育勅語」を中心にとらえて教育の変遷を探る。 【key words】 至誠・修身科、教育勅語 【授業概要】 ・儒教哲学「仁」を「中庸」より「至誠」について考察し、「知行合一」によって実践することの意義について学ぶ。 ・日本の文化、教育に影響が大であった儒教と、「小学教則」の関係を考察する。 ・グループ発表と議論 【教科書ページ・参考文献】 テキスト「咸有一徳」P57～61、配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本時配布資料 ・「伝習録」「中庸」「礼記」から「至誠」「尽くす」の引用文 ・教育の歴史―修身科―の解説 【予習復習に必要な想定時間】 60分
第１１回	学習指導要領と道徳について学修し、「道徳」の在り方について考察する。「レポート・小論」に必要な技術を解説する。 【key words】 道徳、教科化のための法改正 【授業概要】 ・「道徳」を教科化するための関係法令の改正、改訂について知る。 ・「考える」というクリティカルな思考行為について考察する。 ・グループ発表と討論 【教科書ページ・参考文献】 学習指導要領「道徳」（解説書）、配布資料

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 本時配布資料 ・「レポート・小論」の技術 ・上毛新聞「三山春秋」から2編 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１２回　修身科と教育勅語～修身科の廃止（昭和22年）と道徳の授業について研究、考察する。教育勅語について解説する。学習指導要領特別活動編について解説する。 【key words】 修身科、教育勅語、学習指導要領特別活動 【授業概要】 ・教科「修身科」が廃止され「道徳」として教育された歴史をとらえてその内容を考察する。 ・（新）学習指導要領の特徴と「特別活動」における教育活動について概説する。 ・グループ発表と討論 【教科書ページ・参考文献】 配布資料（教育の歴史―修身科―、学習指導要領「特別活動」編） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本時配布資料　先時配布資料「新学習指導要領　特別活動編」を熟読しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１３回　学習指導要領「特別活動」改訂の経緯及び基本方針について解説し理解する。「特別活動」改訂の主旨及び要点についてその内容を解説し考察する。 【key words】 特別活動、改訂と改正 【授業概要】 ・「特別活動」改訂の主旨及び要点について、今回の学習指導要領改訂の経緯及び基本方針を理解しながら「学習指導の改善・充実」について考察し、教育実践に活かす。 ・グループ発表と討論 【教科書ページ・参考文献】 配布資料（第12回配布） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本時配布資料 明治憲法と教育勅語（文部科学省）、教育勅語（原文・読み・意味） 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１４回　「咸有一徳」本文（第一編・第二編・第三編）の注釈を解説し、人が社会にあっての在り方を考察する。 【key words】 マナー（家庭・医療福祉・学校） 【授業概要】 ・「咸有一徳」「本文」の注釈を読解しながら「家庭生活における基本的なマナー」 「医療福祉界が今望んでいるマナー」「学校生活における品位あるマナー」について考察する。 ・グループ発表と討論 【教科書ページ・参考文献】 テキスト「咸有一徳」P71～102 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本時配布資料 ・「世界がもし100人の村だったら」、上毛新聞「三山春秋」（古墳時代の代表的な遺物である人物埴輪…） 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１５回　授業を総括する。　グループ発表　　「世界がもし100人の村だったら」（第14回授業配布資料）の文章の最終文を創作し、人としての在り方を考察する。 【key words】 授業考察、世界がもし100人の村だったら（「ドネラ・メドウズ」より） 【授業概要】 ・授業の全体を振り返り取り組みについて総括し、グループリーダーが発表する。 ・「世界がもし100人の村だったら」の文章の終章を創作し、その理由を記して提出する。 ・グループ発表、3グループが発表し討論する。 ・授業アンケートを実施する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本時配布資料 ・「P4C」を授業に（「道徳」の学習スタイルとして有効な学習活動） 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	・　意欲的な学習態度であること ・　日常の生活において学びを実践すること ・　授業中の迷惑行為　（遅刻、居眠り、私語、メール作成等）は厳禁する

毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	・　ニュース・新聞等より、社会現象、とくに人間としての在り方・生き方に関する事象について感心を持って とらえ、どうあるべきかということに考えを巡らすこと
オフィスアワー	・　月、火、木曜日の９時～１７時　授業のない時間帯
評価方法	・　レポート提出１０％、筆記試験７０％、発表（内容、方法、態度）２０％
教科書	・　成有一徳
参考書	・　授業において紹介
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 県立高等学校の教師として38年間教育に携わった。その経験をもとに、教育関係講座（科目）を担当し教授している。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 公衆衛生看護学概論（地域・在宅看護論、公衆衛生看護学概論） 授業コード：20230

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2	必修
担当教員			
大野　佳子　　橋本　いずみ			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 公衆衛生看護学を概観し、看護職としての地域、地域住民の健康の捉え方、活動のあり方を学ぶ。 【到達目標】 ①公衆衛生看護学の概念、歴史、社会的背景を理解できる。 ②地域住民に対する健康支援のあり方について理解できる。 ③公衆衛生及び地域保健活動ついて基本的な知識を習得する。
授業の概要	地域看護学、公衆衛生看護学の概念、基本的な知識、公衆衛生の歴史、法律、政策等を調べることや、現場の保健師からの講話やヘルスプロモーション活動への参加を通して公衆衛生看護活動について理解を深める。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	科目オリエンテーション、公衆衛生看護活動の定義と理念　1 【key words】 公衆衛生看護、保健師 【授業概要】 ・授業の全体像、看護学における公衆衛生看護学の位置づけを理解し、全１５回をどのように学習していくのか学習計画を考える。公衆衛生看護の定義、公衆衛生看護活動について理解を深める。 ・小テスト 【教科書ページ・参考文献】 公衆衛生看護学概論ｐ2―6・国民衛生の動向 【課題・予習・復習・授業準備指示】 あらかじめ教科書を読んで授業に臨む。授業終了後は、これまでの講義内容を振り返り、重要な個所など、資料、ノートを整理しておく。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２回	公衆衛生の理念と公衆衛生看護の基盤となる概念　2 【key words】 公衆衛生　ヘルスプロモーション　健康　公衆衛生看護における倫理　エンパワーメント 【授業概要】 ・公衆衛生活動の目的・目標、健康の概念、PHCを説明できるようにする。 ・小テスト 【教科書ページ・参考文献】 公衆衛生看護学概論ｐ2-22・国民衛生の動向 【課題・予習・復習・授業準備指示】 あらかじめ教科書を読んで授業に臨む。授業終了後は、これまでの講義内容を振り返り、重要な個所など、資料、ノートを整理しておく。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第３回	公衆衛生看護の対象と活動の場 【key words】 個人と家族　地区組織　行政機関　国際化　訪問看護 【授業概要】 ・公衆衛生活動を展開する場として最も割合の多い行政機関について、組織・機関（保健所、市町村保健センター等）・主な業務について学ぶ。行政機関以外での場としての、産業分野、学校、医療施設における役割や、国際化に伴う新たな視点について理解する。

・小テスト
【教科書ページ・参考文献】
公衆衛生看護学概論ｐ21-68　・国民衛生の動向
【課題・予習・復習・授業準備指示】
あらかじめ教科書を読んで授業に臨む。授業終了後は、これまでの講義内容を振り返り、重要な個所など、資料、ノートを整理しておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第４回　公衆衛生看護の歴史
【key words】
保健所法　保健婦規則　保健婦助産婦看護婦法他
【授業概要】
・19世紀イギリスで始まった訪問看護～我が国戦後の公衆衛生看護婦の歴史のＤＶＤを視聴し歴史を理解する。また、我が国の公衆衛生看護は歴史的にどのように変遷し、社会環境の変化にどのような影響を受けてきたかを知る。
・小テスト
【教科書ページ・参考文献】
ｐ236―256　DVD（公衆衛生看護の歴史）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事前課題の提出、あらかじめ教科書を読んで授業に臨む。授業終了後は、これまでの講義内容を振り返り、重要な個所など、資料、ノートを整理しておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第５回　公衆衛生看護学における倫理
【key words】
看護師倫理規範、保健婦助産婦看護婦法他
【授業概要】
・公衆衛生看護における倫理について学び、学部生としての在り方を理解する。
・小テスト
【教科書ページ・参考文献】
公衆衛生看護学概論ｐ70-86
【課題・予習・復習・授業準備指示】
　あらかじめ教科書を読んで授業に臨む。授業終了後は、これまでの講義内容を振り返り、重要な個所など、資料、ノートを整理しておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第６回　社会環境の変化と健康課題　1
【key words】
少子高齢化　疾病構造　健康の決定要因　災害　健康危機管理保健活動
【授業概要】
・地域の人々の健康とその支援を考える時、社会環境は切り離せない重要事項であることを理解し、社会の変化の概要を理解する。人口構成や経済・科学の発展、グローバル化などにより疾病構造も健康課題も大きく変化している。
・小テスト
【教科書ページ・参考文献】
公衆衛生看護学概論ｐ88-107
【課題・予習・復習・授業準備指示】
　あらかじめ教科書を読んで授業に臨む。授業終了後は、これまでの講義内容を振り返り、重要な個所など、資料、ノートを整理しておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第７回　社会環境の変化と健康課題　2
【key words】
少子高齢化　疾病構造　健康の決定要因　災害　健康危機管理保健活動
【授業概要】
・社会環境の変化に影響することを体系的に理解する。健康についても、社会的要因ににより決定されることを理解する。災害における公衆衛生看護活動の重要性を知る。
・小テスト
【教科書ページ・参考文献】
ｐ146―164
【課題・予習・復習・授業準備指示】
　あらかじめ教科書を読んで授業に臨む。授業終了後は、これまでの講義内容を振り返り、重要な個所など、資料、ノートを整理しておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第８回　公衆衛生看護活動の展開の基盤
【key words】
健康の概念、医療モデルと生活モデル、ポピュレションアプローチ　保健師の活動
【授業概要】
・人々の健康は、生活・社会と密接に関係している。公衆衛生看護活動の展開方法について理解し、予防についての概念とそれに基づいたアプローチ方法が理解する。
・小テスト
【教科書ページ・参考文献】
ｐ146―164
【課題・予習・復習・授業準備指示】
あらかじめ教科書を読んで授業に臨む。授業終了後は、これまでの講義内容を振り返り、重要な個所など、資料、ノートを整理しておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第９回　公衆衛生活動の展開方法　1
【key words】
公衆衛生看護活動の計画・実践・評価、地域アセスメント

【授業概要】
・保健師が日々の活動を行うための手段としての基本技術としての計画策定について学ぶ。PDCAサイクルを理解する。
・小テスト
【教科書ページ・参考文献】
P146-164
【課題・予習・復習・授業準備指示】
あらかじめ教科書を読んで授業に臨む。授業終了後は、これまでの講義内容を振り返り、重要な個所など、資料、ノートを整理しておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第10回　公衆衛生活動の展開方法　２

【key words】
地域診断、アセスメント、
【授業概要】
・地域診断の目的を理解し、その過程を学ぶ。
・小テスト
【教科書ページ・参考文献】
P146-164
【課題・予習・復習・授業準備指示】
あらかじめ教科書を読んで授業に臨む。授業終了後は、これまでの講義内容を振り返り、重要な個所など、資料、ノートを整理しておく。
【予習復習に必要な想定時間】

第11回　保健医療福祉における事業化と施策化　１

【key words】
健康日本２１　保健計画　策定プロセス
【授業概要】
・保健計画が、地方自治体の他の計画との整合性が取られているなど、どのような視点で策定されているのか経緯等も含め全体像を捉える。日本における保健計画の変遷を把握し、今後どのような計画を立てることが求められているのかを理解する。行政保健師の業務がＰＤＣＡサイクルの繰り返しの中で行われていることを理解する。
・小テスト
【教科書ページ・参考文献】
P146-164
【課題・予習・復習・授業準備指示】
あらかじめ教科書を読んで授業に臨む。授業終了後は、これまでの講義内容を振り返り、重要な個所など、資料、ノートを整理しておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第12回　保健医療福祉における事業化と施策化　２

【key words】
健康日本２１　保健計画　策定プロセス
【授業概要】
・保健計画が、地方自治体のほかの計画との整合性が取られているなど、どのような視点で策定されているのか経緯等も含め全体像を捉える。日本における保健計画の変遷を把握し、今後どのような計画を立てることが求められているのかを理解する。行政保健師の業務がＰＤＣＡサイクルの繰り返しの中で行われていることを理解する。
・小テスト
【教科書ページ・参考文献】
P146-164
【課題・予習・復習・授業準備指示】
あらかじめ教科書を読んで授業に臨む。授業終了後は、これまでの講義内容を振り返り、重要な個所など、資料、ノートを整理しておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第13回　地区組織活動

【key words】
地区組織活動、ソーシャルキャピタル、ネットワークづくり、システム化
【授業概要】
・地域組織活動について理解し、その種類と活動の実際を学ぶ。
・ネットワークづくりとシステム化を理解する。
・小テスト
【教科書ページ・参考文献】
P146-164
【課題・予習・復習・授業準備指示】
あらかじめ教科書を読んで授業に臨む。授業終了後は、これまでの講義内容を振り返り、重要な個所など、資料、ノートを整理しておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第14回　公衆衛生看護学管理機能

【key words】
公衆衛生看護学管理機能、新任期、管理的ポスト
【授業概要】
・新任期から管理的なポストまでが担う公衆衛生看護管理機能を理解する。
・小テスト
【教科書ページ・参考文献】
保健師業務要覧第4版
【課題・予習・復習・授業準備指示】
あらかじめ教科書を読んで授業に臨む。授業終了後は、これまでの講義内容を振り返り、重要な個所など、資料、ノートを整理しておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

	第15回　保健師のキャリアパスと実践に必要な研究力 【key words】 キャリアパス、研究、自己研鑽 【授業概要】 ・新人保健師研修制度から現任教育までのキャリアパスについて学ぶ。実践現場の情報を活かした研究力について知る。 ・小テスト 【教科書ページ・参考文献】 保健師業務要覧第4版 【課題・予習・復習・授業準備指示】 あらかじめ教科書を読んで授業に臨む。授業終了後は、これまでの講義内容を振り返り、重要な個所など、資料、ノートを整理しておく。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 授業資料は、授業前までに印刷しておく、またはPCへのダウンロードを終えておくこと。 〔受講のルール〕 ・授業シラバスを必ず確認し、積極的に授業に臨むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	授業内で指示された課題を指示された日時までに提出すること。
オフィスアワー	授業開始時に提示する。
評価方法	①筆記試験（客観・論述）60%　②事前課題、毎時間のリアクションペーパーの提出　30%　③授業中の質疑及び態度10%（教員評価） 注：総合評価は①～③合わせて60%を超えていることが前提となる。 注：レポートは期限内に提出がない場合、減点する。
教科書	標準保健師講座①　公衆衛生看護学概論　医学書院 保健の実践科学シリーズ　行政看護学　講談社
参考書	国民衛生の動向2022/2023
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 公衆衛生看護学対象論Ⅰ（看護の統合と実践、個人・家族・集団・組織の支援）　授業コード：20231

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2	選択
担当教員			
橋本　いずみ　　大野　佳子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　看護師の活動対象が病気・障害のある人々から健康な人々まで広がっている現状において、多様な健康支援の方法を理解する。 【到達目標】 ①地域で暮らす人々の健康とQOLの維持向上を目指す地域看護活動のあり方がわかる。 ②ライフステージ別対象（親子）に対する保健活動の概要と支援方法がわかる。 ③多職種と協働・連携しながら地域看護活動に取り組む必要性について考察できる。
授業の概要	地域に生活する様々なライフステージの対象者の健康の保持増進、疾病予防、回復の促進について地域で展開される看護活動について、看護職として必要な基本的な知識と技術を学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	○
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	△
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	△

授業計画

第１回　科目オリエンテーション　母子保健活動とは

【key words】
講義の受け方、発達段階、保健活動、母子保健
【授業概要】
１）講義の受け方、予習・復習、評価方法について説明する。
２）乳幼児期、学童期、思春期、青年期、成人期、老年期の6段階に分けた各階層の発達と健康課題及びその時期に伴う保健活動について学ぶ。個人のライフサイクルと同じように、家族にも一定の周期的な変化の過程がある。家族の発達段階と課題について概説する。
３）母子保健の理念について学ぶ。
４）小テスト
【教科書ページ・参考文献】
教科書：標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護活動　医学書院　p.2-14
参考書：保健の実践科学シリーズ　行政看護学　講談社、国民衛生の動向.2022/2023　厚生労働統計協会

【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：地域看護学概論の復習をして授業に臨む。
復習：教科書及び配布資料を復習する。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第２回　母子保健（親子保健）の動向　1

【key words】
母子保健（親子保健）、健やか親子21（第2次）
【授業概要】
１）母子保健（親子保健）及び女性の健康に関する理念、概念を学ぶ。
２）母子の健康指標の動向と母子保健施策の変遷を理解する。
３）小テスト
【教科書ページ・参考文献】
教科書：標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護活動　医学書院　p.2-14
参考書：保健の実践科学シリーズ　行政看護学　講談社、国民衛生の動向.2022/2023　厚生労働統計協会

【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の該当ページをよく読む。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第３回　母子保健（親子保健）の動向　2

【key words】
母子保健、健康日本21（第2次）、次世代育成支援対策
【授業概要】
１）市町村における総合的な母子保健活動
２）市町村を支援する保健所の母子保健活動
３）健やか親子21（第2次）と次世代育成支援対策について学ぶ。
４）小テスト
【教科書ページ・参考文献】
教科書：対象別公衆衛生看護活動　医学書院　p.2-14
参考書：保健の実践科学シリーズ　行政看護学　講談社、国民衛生の動向.2022/2023　厚生労働統計協会
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の該当ページをよく読む。
復習：教科書及び配布資料を復習する。

【予習復習に必要な想定時間】
90分

第４回　母子保健（親子保健）における健康課題　1

【key words】
母子保健、健康日本21（第2次）乳幼児健康診査
【授業概要】
１）周産期ハイリスク母子について理解する。
２）周産期ハイリスク母子の早期発見と地域支援体制の整備について学ぶ。
２）乳幼児健康診査について理解する。
４）乳幼児健診の精度管理と事後支援体制の充実
【教科書ページ・参考文献】
教科書：標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護活動　医学書院　p.2-14，24-40
参考書：厚生統計協会：国民衛生の動向.2022/2023

【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護活動　医学書院　p.58-81
復習：教科書及び配布資料を復習する。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第５回　母子保健（親子保健）における健康課題　2

【key words】
乳幼児健康診査、育児支援、乳幼児期の成長発達
【授業概要】
１）乳幼児健診における育児支援と子育て支援体制の充実
２）乳幼児の成長・発達と健康課題への支援について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護活動　医学書院　p.2-14,24-40
参考書：厚生統計協会：国民衛生の動向.2018/2019

【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の該当ページをよく読む。
復習：教科書及び配布資料を復習する。

【予習復習に必要な想定時間】
60分

第６回　母子保健（親子保健）における健康課題　3

【key words】
乳幼児期の成長発達、予防接種、乳幼児期の事故の特徴と事故防止
【授業概要】
１）乳幼児の成長・発達と健康課題への支援について学ぶ。
２）乳幼児期の予防接種について学。
３）乳幼児期の事故の特徴と事故防止について理解する。

【教科書ページ・参考文献】
教科書：標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護活動　医学書院　p.12-40
参考書：厚生統計協会：国民衛生の動向.2022/2023

【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の該当ページをよく読む。
復習：教科書及び配布資料を復習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第７回　母性各期の健康課題と支援

【key words】
思春期、成熟期、妊娠・出産、更年期
【授業概要】
1）思春期の健康課題と保健師活動を理解する。
２）成熟期：妊娠・出産に撮んなう保健師活動を理解する。
３）更年期の健康課題と保健師活動を理解する。

【教科書ページ・参考文献】
教科書：標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護活動　医学書院　p.15-22
参考書：厚生統計協会：国民衛生の動向.2022/2023

【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の該当ページをよく読む。
復習：教科書及び配布資料を復習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第８回　支援ニーズの高い親子の健康課題と支援

【key words】
未熟児養育医療、自立支援医療、小児慢性特定疾患、困難事例、子供虐待、DV
【授業概要】
１）支援ニーズの高い事例への保健師活動理解する。
２）ケース検討を行い、問題・課題の明確化、アセスメント、具体的支援法を考える。
３）地域のサポートシステム・社会資源について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護活動　医学書院　p.42-55
参考書：厚生統計協会：国民衛生の動向.2022/2023

【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書の該当ページをよく読む。
復習：教科書及び配布資料を復習する。
【予習復習に必要な想定時間】
90分

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

	【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ・予習復習を必ず行うこと 〔受講のルール〕 ・授業シラバスを必ず確認し、積極的に授業に臨むこと。 ・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁。 ・携帯電話を机上に置かないこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	予習として教科書を読んで授業に臨むこと。わからない部分を授業にて解決するよう努力すること。 教科書、配布資料をよく読み復習すること。
オフィスアワー	授業開始日に提示する。
評価方法	授業の出席状況、授業中の態度・発言内容・提出物など。 筆記試験（客観・論述）レポートなど総合的に評価する。
教科書	標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護活動　第４版　医学書院
参考書	・保健の実践科学シリーズ　行政看護学　講談社 ・国民衛生の動向 2022/2023　厚生労働統計協会
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 地域・在宅看護援助論Ⅰ　　授業コード：20249

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	必修
担当教員			
篠原　百合子　　塚越　八重子　矢内つや子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕在宅療養者とその家族の特徴について学び、在宅看護の援助方法とケアマネジメントについて理解できる。 〔到達目標〕 ①在宅療養、在宅における看護活動の特徴が理解できる。 ②訪問看護制度、訪問看護事業所の特徴が理解できる。 ③在宅看護における看護過程の特徴・展開方法が理解できる。 ④在宅における日常生活援助、医療処置管理の特徴・方法が理解できる。 ⑤①～④で得た知識をもとに、事例展開を通して在宅看護活動の特徴が理解できる ⑥社会資源の活用とケアマネジメントの特徴・方法が理解できる ⑦退院支援の意義と方法が理解できる ⑧在宅療養者とその家族に必要な災害対策が理解できる
授業の概要	訪問看護活動の特徴、･療養者とその家族とのコミュニケーションの取り方・在宅における療養生活支援の知識技術および看護過程展開･社会資源の活用とケアマネージメントの実際を学習する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	◎
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	◎
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	○
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回	科目オリエンテーション　　在宅看護における看護過程の特徴 【key words】 在宅看護、継続看護、家族看護、訪問看護指示書、訪問看護報告書、特別訪問看護指示書、療養者・家族の生活上の望み、療養者・家族の強み、看護課題、ICF、持てる力 【授業概要】 講義スケジュール、授業評価等、シラバスに基づいて説明する。 在宅看護過程の基本的な考え方と、展開方法について説明した後、教科書事例についての展開例をもとに、在宅療養者とその家族の特徴や在宅療養者とその家族の特徴、訪問看護制度と看護活動の特徴について概論での学習内容想起を促し、具体的な展開方法について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 ナーシンググラフィカ在宅看護論①地域療養を支えるケア P.35~53、P212~229, ナーシンググラフィカ在宅看護論②在宅療養を支える技術 P22~30、P220~223 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書②P220~223を読む 課題：在宅看護過程ワークシートに情報を整理する。 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	在宅看護過程　展開事例の理解 【key words】 在宅看護、訪問看護指示書、訪問看護報告書、特別訪問看護指示書 【授業概要】 学生の展開事例についてDVDを視聴し、展開事例のイメージをつかみ、課題を提示する 在宅看護過程ワークシートのフェイスシート（在宅療養者の基本情報①、②）を記載する 在宅看護過程ワークシートのアセスメントに情報を整理する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書①② 配布資料（在宅看護過程、在宅看護過程ワークシート、参考事例展開例、学生の展開事例） 【課題・予習・復習・授業準備指示】

		課題：フェイスシート（在宅療養者の基本情報①、②）を仕上げる。 在宅看護過程ワークシートに情報を整理する。 事例の疾病に関する症状を含む病態・治療・経過と看護についてレポートに整理しておく 【予習復習に必要な想定時間】
	第３回	在宅看護過程　アセスメントⅠ身体的側面の理解① 【key words】 身体アセスメント、ADL、嚥下機能 【授業概要】 在宅における身体的側面（呼吸・移動・食事・排泄）のアセスメントとその援助方法について説明する 身体的側面（呼吸・姿勢保持と移動・食事・排泄）のアセスメントを在宅看護過程ワークシートに記載する 在宅療養者と家族の生活上の望みについて理解する 【教科書ページ・参考文献】 教科書①P252-257、P259~261教科書②P70~84、88~96 配布資料（在宅看護過程、在宅看護過程ワークシート、参考事例展開例、学生の展開事例） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書①P P252-257、P259~261、教科書②P70~84、88~96を読む 課題：在宅看護過程ワークシートアセスメントⅠ身体的側面（呼吸・姿勢保持と移動・食事・排泄） 【予習復習に必要な想定時間】
	第４回	在宅看護過程　アセスメントⅠ身体的側面の理解② 【key words】 ADL、姿勢保持、社会資源、訪問入浴サービス 【授業概要】 在宅における身体的側面（清潔と更衣・睡眠・服薬管理・化学療法）のアセスメントとその援助方法について説明する 在宅における身体的側面（清潔と更衣・睡眠・服薬管理）のアセスメントを看護過程ワークシートに記載する 在宅療養者と家族の生活上の望みについて理解する 【教科書ページ・参考文献】 教科書①P258~259、262~265　教科書②P84~87、96~99、106~117 配布資料（在宅看護過程、在宅看護過程ワークシート、参考事例展開例、学生の展開事例） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書①P258~259、、262~265 教科書②P84~87、96~99、106~117を読む。 課題：在宅における身体的側面（清潔と更衣・睡眠・服薬管理）のアセスメントをまとめる 【予習復習に必要な想定時間】
	第５回	在宅看護過程　アセスメントⅠ身体的側面の理解③ 【key words】 ADL、姿勢保持、医療的ケア、在宅経管栄養法、ストーマ、自己導尿、膀胱瘻、膀胱留置カテーテル 【授業概要】 在宅における身体的側面（在宅における医療的ケア：在宅経管栄養法、インシュリン自己注射管理、ストーマ、自己導尿、膀胱瘻、膀胱留置カテーテル、褥瘡とその処置）について説明する 事例の在宅における身体的側面（食事・栄養状況、排泄、褥瘡予防）について理解し、在宅看護過程ワークシートを補充する 【教科書ページ・参考文献】 教科書①P268~274　　教科書②P137~180、 配布資料（在宅看護過程、在宅看護過程ワークシート、参考事例展開例、学生の展開事例） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書①P268~274　教科書②P137~180を読んでくる。 課題：事例の在宅における身体的側面（食事・栄養状況、排泄、褥瘡予防）の在宅看護過程ワークシートのアセスメントを補充する 【予習復習に必要な想定時間】
	第６回	在宅看護過程　アセスメントⅠ身体的側面の理解④ 【key words】 ADL、姿勢保持、医療的ケア、HOT、健康危機管理（災害時） 【授業概要】 在宅における身体的側面（在宅における医療的ケア：在宅酸素療法、気管切開、在宅人工呼吸法）について説明する 在宅看護における安全と健康危機管理（災害）について説明する 事例の在宅療養者と家族の生活上の危機管理、災害時に起こりうることについて理解し、在宅看護過程ワークシートにまとめる 【教科書ページ・参考文献】 教科書①P234~249、P265~268　　教科書②P117~137、 配布資料（在宅看護過程、在宅看護過程ワークシート、参考事例展開例、学生の展開事例） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書①P258~265、教科書②P84~116をよく読んでくる。 課題：事例の在宅療養者と家族の生活上の危機管理、災害時に起こりうることについて理解し、在宅看護過程ワークシートにまとめる

【予習復習に必要な想定時間】
第７回　在宅看護過程　アセスメントⅡ心理的側面の理解①
【key words】
療養者の発達段階、思い、望み、強み
【授業概要】
身体的側面からくる心理的側面への影響、療養者の発達段階、思い、望み、強みの意味と生活への影響、看護の方向性や支援方法について説明する。
事例の心理的側面を在宅看護過程ワークシートのアセスメントにまとめる

【教科書ページ・参考文献】
教科書①②
配布資料（在宅看護過程、在宅看護過程ワークシート、参考事例展開例、学生の展開事例）

【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：事例と参考展開事例をよく読んでくる
課題：事例の心理的側面を在宅看護過程ワークシートのアセスメントにまとめる

【予習復習に必要な想定時間】
第８回　在宅看護過程　アセスメントⅢ・Ⅳ環境・生活の側面、家族・介護状況の側面の理解①
【key words】
環境、事故リスク、人的環境、物理的環境、日常生活様式、生活リズム、習慣、日常生活行動、IADL
【授業概要】
アセスメントⅢ（環境・生活の側面）：家の間取りや居室、自宅周辺の道路状況、日常生活様式、生活リズム、習慣、日常生活行動、IADL、経済状況や他者との交流、社会的役割が、療養者の生活や、生活上の望み、身体的側面・心理的側面に及ぼす影響について説明する。身体的側面・心理的側面が環境・生活に及ぼす影響を説明する。
アセスメントⅣ：家族全員の生活背景・発達段階、家族の介護力・介護状況、家族の療養者に対する認識度、家族の介護に伴う身体的影響、精神的ニーズ、フォーマル・インフォーマルな社会資源の活用状況による、療養者の生活上の望みへの影響を説明する
課題：事例の環境・生活の側面、家族・介護状況の側面を、在宅看護過程ワークシートのアセスメントにまとめる

【教科書ページ・参考文献】
教科書①②
配布資料（在宅看護過程、在宅看護過程ワークシート、参考事例展開例、学生の展開事例）

【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：事例の環境・生活の側面、家族・介護状況の側面を、在宅看護過程ワークシートのアセスメントⅢ・Ⅳにまとめる
【予習復習に必要な想定時間】
第９回　在宅看護過程　アセスメントⅢ・Ⅳ環境・生活の側面、家族・介護状況の側面の理解②
【key words】
社会資源、介護保険、医療保険、後期高齢者医療制度、障害者総合支援法、難病法、難病特別対策推進事業、法定外サービス、地域特性
【授業概要】
医療依存度の高い療養者の在宅において活用できる社会資源とそのマネジメントについて地域特性を踏まえて説明する
【教科書ページ・参考文献】
教科書①　P.142-194、教科書②
配布資料（在宅看護過程、在宅看護過程ワークシート、参考事例展開例、学生の展開事例）

【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：地域特性のワークシートを記載する。　教科書①　P.142-194を読む。
課題：在宅看護過程ワークシートのアセスメントⅢ・Ⅳを補充する

【予習復習に必要な想定時間】
第１０回　在宅看護過程　アセスメントⅢ・Ⅳ環境・生活の側面、家族・介護状況の側面の理解③
【key words】
介護力、社会資源、介護保険、医療保険、後期高齢者医療制度、障害者総合支援法、難病法、難病特別対策推進事業、法定外サービス、地域特性
【授業概要】
在宅看護過程：アセスメントⅢ：環境・生活の側面、アセスメントⅣ：家族・介護状況の側面のポイントをグループ発表で確認し、補充する
【教科書ページ・参考文献】
教科書①②
配布資料（在宅看護過程、在宅看護過程ワークシート、参考事例展開例、学生の展開事例）

【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：在宅看護過程ワークシートのアセスメントⅢ・Ⅳを補充する
【予習復習に必要な想定時間】
第１１回　在宅看護過程　ジェノグラム、エコマップ、関連図
【key words】
ジェノグラム、エコマップ、関連図、生活上の望み、介護力
【授業概要】
在宅看護における関連図作成のポイントを説明する
ジェノグラム、エコマップを提示し、作成方法を説明する
在宅看護過程ワークシートの関連図を記載する

【教科書ページ・参考文献】
教科書①②
配布資料（在宅看護過程、在宅看護過程ワークシート、参考事例展開例、学生の展開事例）

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：関連図を記載する 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回　在宅看護過程　看護課題と優先順位① 【key words】 看護課題、関連因子、療養者と家族の望み、優先順位 【授業概要】 在宅看護における看護課題の考え方、優先順位の考え方、記載方法を説明し、参考事例で確認する。 看護課題と関連因子を発表形式で確認し、各自の看護課題・看護問題リストを記載する。 関連図の補充・修正を行う。 【教科書ページ・参考文献】 ℓ教科書①② 配布資料（在宅看護過程、在宅看護過程ワークシート、参考事例展開例、学生の展開事例） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：看護課題・看護問題リストの記載、関連図の補充・修正を行う。 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　在宅看護過程　看護課題・優先順位②、看護計画① 【key words】 看護計画、５W１H、介護力、社会資源、自宅にあるものの利用、強みを生かす 【授業概要】 看護課題・優先順位の確認・・現在の生活の困ったこととその根拠・成り行きについて、身体面・心理面・社会面からそれぞれ発表し、学びを共有する。 優先順位とその根拠について発表し、学びを共有する。 在宅看護計画のポイントを説明し、各自看護計画を立てる 【教科書ページ・参考文献】 教科書①② 配布資料（在宅看護過程、在宅看護過程ワークシート、参考事例展開例、学生の展開事例） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：看護計画を立てる 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　在宅看護過程　看護計画② 【key words】 OP・TP・EP　介護力、社会資源、自宅にあるものの利用、強みを生かす 【授業概要】 看護計画を発表し、学びを共有し、自身の看護計画を補充する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書①② 配布資料（在宅看護過程、在宅看護過程ワークシート、参考事例展開例、学生の展開事例） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：看護計画を完成させる。フェイスシート（在宅療養者の基本情報①、②）、アセスメント、関連図、看護課題リストを補充修正し、完成させる。 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　在宅看護過程　まとめ 【key words】 在宅看護過程まとめ 【授業概要】 多職種連携や在宅療養移行支援時の看護職の役割、訪問看護をに必要な保険や制度、訪問看護での支援のポイントを事例を通して確認する。 在宅看護過程のポイントの確認、自己評価表の記載、提出方法の確認を行う 【教科書ページ・参考文献】 教科書①② 配布資料（在宅看護過程、在宅看護過程ワークシート、参考事例展開例、学生の展開事例） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前課題：在宅看護過程ワークシートを仕上げておく 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ①予習：教科書を読んでくる。指示された事前学習レポートを整理し、授業時活用する。 ②復習：授業で配布したプリント・資料を読み返す。 〔受講のルール〕 ③受講態度の望ましくない場合は、退出させ、当該授業を欠席扱とする。 ④私語・携帯電話の使用を禁ずる。私語・携帯電話の使用を見つけた場合は当該授業について欠席扱いにする。 ⑤レポート等の課題について、提出期限を厳守する。提出期限を過ぎたレポート等の課題は受理しません。 ⑥授業の学びを必ず記載すること。記載することで表現力を養うものである。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	授業計画に示されている文献は必ず確認し、理解をして授業に臨むこと。わからない部分を授業にて解決するよう努力すること。各種手技は再学習し修得すること。
オフィスアワー	授業のあった日の放課後18時まで（ただし、実習指導等で学内に不在時は除く）

評価方法	①筆記試験60%、（教科書、講義内容全般から出題する）。 ②演習課題40%（提出期限を遵守する）。 ③総合評価は、筆記試験とレポート課題を合わせて60%以上を超えていることが前提（詳細な評価基準は授業概要参照）
教科書	臺　有桂他編：ナーシンググラフィカ、在宅看護論①　地域療養を支えるケア、メディカ出版、2021 臺　有桂他編：ナーシンググラフィカ、在宅看護論②　地域療養を支える技術、メディカ出版、2021
参考書	正野 逸子他編、関連図で理解する在宅看護過程 第２版、メジカルフレンド社、2018 国民衛生の動向　2020/2021　厚生統計協会
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 総合病院病棟や訪問看護ステーション勤務、介護支援専門員資格を有し、在宅看護学に関する研修会、勉強会、研究を行っている。 訪問看護ステーション管理経験者からの講義が一部含まれている。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 地域・在宅看護援助論Ⅱ　　授業コード： 20250

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	必修
担当教員			
塚越　八重子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 　疾病や障害を持ちながら在宅で生活をする療養者とその家族の特徴を学び状態・状況に応じた支援ができるための基礎的知識技術を修得する。 〔到達目標〕 ①疾病や障害を持つ療養者とその家族の特徴が理解できる ②疾病や障害を持つ療養者とその家族が必要とする援助が理解できる ③療養者とその家族への指導ができる知識・技術を習得する ④訪問看護の一連を学内で模擬的に実践し、面接技法と在宅看護活動に必要な知識技術の習得をする ⑤在宅療養移行時における援助の意義・方法が理解できる ⑥在宅における終末期の看護の特徴・援助方法が理解できる
授業の概要	学内演習により、在宅で療養する患者に対して行う基礎的な看護技術を学ぶ。また、在宅生活を可能にする医療機器などを用いた治療法における看護の役割を学習し、医療処置の目的・内容を理解する。さらに必要に応じ家族に対するこれらの技術の相談・指導を受けることができるよう修得した知識技術の整理をする。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	○
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	◎
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画		
	第１回	科目オリエンテーション　認知症在宅療養者とその家族への援助 【key words】 アルツハイマー型認知症、脳血管型認知症、認知症の症状－中核症状・周辺症状、家族支援、地域ネットワーク、地域ケアシステム、地域包括支援センター、高齢者虐待、ユマニチュード 【授業概要】 本科目の進め方を示す。授業の中で説明するが、本科目は演習が多い。講義で理論的知識をい習得し、演習を通して実践的な学習をすることによって、知識の定着と思考力、技術の習得をねらう。 １）認知症の現状と中核症状と行動・心理症状を説明する。 ２）認知症高齢者・家族の特徴とその支援について説明する。 ３）認知症予防、認知症療養者に関する地域ネットワークについて説明する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：①臺有桂他編：ナーシンググラフィカ、地域・在宅看護論①　地域療養を支えるケア、メディカ出版、2022、p27、p61-63、p185-192 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：地域における認知症に関連するネットワーク、地域の取り組みについて事前に調べてくる。 授業準備指示：在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰの授業資料を持参する。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間程度
	第２回	外部講師（角田氏）：難病を持つ在宅療養者の理解 【key words】 難病友の会　関節リウマチ　当事者　家族 【授業概要】 難病友の会を運営している当事者を招き、難病友の会の活動、当事者として難病と共に生きること、療養者の気持ち、家族の思いなどを聞く。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：①臺有桂他編：ナーシンググラフィカ、地域・在宅看護論①　地域療養を支えるケア、メディカ出版、2022、p176-180

【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：講義後レポート提出
復習：授業資料を熟読し、学習したことを復習し、知識の整理、定着を図る。図書館の関連書籍を読むことも推奨する。
【予習復習に必要な想定時間】
1-2時間程度

第３回　精神障害を持つ療養者とその家族への援助

【key words】
精神障害、精神障害者と社会資源、地域ネットワーク、家族支援、訪問看護指示書、訪問看護計画書
【授業概要】
１）在宅における精神障害者の動向を説明する。
２）精神障害を抱える療養者とその家族の特徴とその支援について説明する。
３）精神障害を抱える療養者に関連するネットワークについて説明する。
４）精神障害者を取り巻く社会資源について説明する。

【教科書ページ・参考文献】
教科書：①臺有桂他編：ナーシンググラフィカ、在宅看護論①　地域療養を支えるケア、メディカ出版、2022、p164-176、
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：精神障害を抱える療養者に関連するネットワーク、地域の取り組みについて事前に調べてくる。
授業準備指示：在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰの授業資料を持参する。

【予習復習に必要な想定時間】
1-2時間程度1－2時間程度

第４回　難病療養者(児)とその家族への援助

【key words】
難病療養者(児)の特徴、特定疾患治療研究事業、公費負担、難病患者居宅生活支援事業、訪問看護と医療保険、医療的ケアと関連職種
【授業概要】
難病を抱える療養者(児)と家族の特徴、我が国の難病対策に関する基礎的知識を踏まえたうえで、フォーマル、インフォーマルな社会資源によるサービスを使いながら難病療養者(児)の生活を支援する看護について考える。
１）難病の在宅看護の指針を説明する。
２）社会資源の活用と、在宅保健・医療看護チームの調整について説明する。
３）難病を持つ在宅看護における看護師の役割について説明する。

【教科書ページ・参考文献】
教科書：①臺有桂他編：ナーシンググラフィカ、在宅看護論①　地域療養を支えるケア、メディカ出版、2022、p176-178
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：難病療養者(児)に関するサポートシステム、地域における取り組みについて調べてくる。
授業準備指示：在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱの授業資料を持参する。

【予習復習に必要な想定時間】
1-2時間程度

第５回　在宅療養児とその家族への援助

【key words】
養育医療、小児慢性特定疾患治療研究事業、重症心身障害児　家族支援　社会資源
【授業概要】
１）在宅療養児を取り巻く動向、社会資源について説明する。
２）在宅で療養児とその家族の特徴について説明する。
３）在宅で療養児とその家族への援助について説明する。

【教科書ページ・参考文献】
教科書：①臺有桂他編：ナーシンググラフィカ、在宅看護論①　地域療養を支えるケア、メディカ出版、2022、p180-184、②臺有桂他編：在宅療養を支える技術、メディカ出版2022、 p232-236
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：地域における療養児に関連するネットワーク、地域の取り組みについて事前に調べてくる。
授業準備指示：在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱの授業資料を持参する。

【予習復習に必要な想定時間】
1-2時間程度

第６回　訪問看護過程①　家庭訪問・初回訪問　　訪問看護の実際　外部講師（訪問看護ステーション管理者）

【key words】
訪問看護　訪問マナー　日常生活援助　アセスメント　訪問看護指示書　サービス利用票・提供票　看護計画・立案
【授業概要】
事例について訪問看護の計画をグループで考える。
事例の訪問看護指示書、サービス利用票・提供票から、訪問看護で把握すべき情報とその収集方法をグループで考える。
１）訪問看護における面接のための情報収集ができる。
２）訪問時に必要なアセスメント計画が立案できる。
３）訪問看護における看護師の役割を整理する。

【教科書ページ・参考文献】
教科書：①臺有桂他編：地域療養を支えるケア、メディカ出版2022、 ②臺有桂他編：在宅療養を支える技術、メディカ出版2022、 p18-31
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業準備指示：在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱの授業資料を持参する。

		事前課題：あらかじめ提示してある課題を持参する。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間程度
	第７回	訪問看護過程②　アセスメント・計画立案　演習 【key words】 訪問看護　訪問マナー　日常生活援助　アセスメント　訪問看護指示書　サービス利用票・提供票　看護計画・立案 【授業概要】 事例について訪問看護の計画をグループで考える。 １）訪問看護における面接のための情報収集ができる。 ２）訪問時に必要なアセスメント計画が立案できる。 ３）訪問看護における看護師の役割を整理する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：①臺有桂他編：地域療養を支えるケア、メディカ出版2022、②臺有桂他編：在宅療養を支える技術、メディカ出版2022、 p18-31 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業準備指示：在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱの授業資料を持参する。 事前課題：あらかじめ提示してある課題を持参する。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間程度
	第８回	訪問看護過程③　アセスメント・計画立案　〔ロールプレイ演習準備〕 【key words】 訪問看護　訪問マナー　日常生活援助　アセスメント　訪問看護指示書　サービス利用票・提供票　看護計画・立案 【授業概要】 事例について訪問看護の計画をグループで考える。 １）訪問看護における面接のための情報収集ができる。 ２）訪問時に必要なアセスメント計画が立案できる。 ３）訪問看護における看護師の役割を整理する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：①臺有桂他編：地域療養を支えるケア、メディカ出版2022、②臺有桂他編：在宅療養を支える技術、メディカ出版2022、 p18-31 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業準備指示：在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱの授業資料を持参する。 事前課題：あらかじめ提示してある課題を持参する。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間程度
	第９回	訪問看護過程④　〔ロールプレイ演習〕 【key words】 訪問看護　訪問マナー　日常生活援助　アセスメント　訪問看護指示書　サービス利用票・提供票　看護計画・立案 【授業概要】 １）各グループで展開した訪問計画に沿ってロールプレイを行う。 ２）看護師役、看護学生役、療養者役、家族役を演じることでそれぞれの立場の気持ちを理解する。 ３）立案した計画のポイントを説明する。 ４）見学し、気づいたこと、学んだことを共有する。 ５）訪問看護の基本を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：①臺有桂他編：地域療養を支えるケア、メディカ出版2022、②臺有桂他編：在宅療養を支える技術、メディカ出版2022、 p18-31 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業準備指示：在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱの授業資料を持参する。　事前課題：あらかじめ提示してある課題を持参する。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間程度
	第１０回	訪問看護過程⑤　〔ロールプレイ演習〕 【key words】 訪問看護　訪問マナー　日常生活援助　アセスメント　訪問看護指示書　サービス利用票・提供票　看護計画・立案 【授業概要】 １）各グループで展開した訪問計画に沿ってロールプレイを行う。 ２）看護師役、看護学生役、療養者役、家族役を演じることでそれぞれの立場の気持ちを理解する。 ３）立案した計画のポイントを説明する。 ４）見学し、気づいたこと、学んだことを共有する。 ５）訪問看護の基本を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：①臺有桂他編：地域療養を支えるケア、メディカ出版2022、②臺有桂他編：在宅療養を支える技術、メディカ出版2022、 p18-31 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業準備指示：在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱの授業資料を持参する。　事前課題：あらかじめ提示してある課題を持参する。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間程度

	第１１回	訪問看護過程⑥　ロールプレイ演習の振り返り 【key words】 訪問看護　訪問マナー　日常生活援助　アセスメント　訪問看護指示書　サービス利用票・提供票　看護計画・立案 【授業概要】 演習の振り返りをまとめ、グループ発表し、学びを統合する。 １）訪問事例の看護過程展開をグループで振り返り、要点をまとめ、学びを共有する。 ２）看護師役、看護学生役、療養者役、家族役を演じて気づいたこと、感じたことを発表する。 ３）訪問時に必要なマナー、家庭訪問の基本的態度、訪問看護計画、訪問間看護師の役割、今後の自己の課題について振りかえる。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：①臺有桂他編：地域療養を支えるケア、メディカ出版2022、 ②臺有桂他編：在宅療養を支える技術、メディカ出版2022、 p18-31 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業準備指示：在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱの授業資料を持参する。発表の準備は各グループで行う。 課題：事後レポートを提出する。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間程度
	第１２回	在宅ターミナル期の療養者とその家族への援助① 【key words】 終末期　緩和ケア　ターミナルケア　看取り　グリーフケア 【授業概要】 １）在宅ターミナルケアを取り巻く現状を説明する。 ２）在宅ターミナルもおける身体的・心理的・社会的特徴と経過について説明する。 ３）在宅ターミナルケアの条件、疼痛コントロール、チームケアの特徴について説明する。 ４）在宅ターミナルケアにおける家族支援について説明する。 ５）在宅ターミナルケアに関わる訪問看護師の役割について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：①臺有桂他編：地域療養を支えるケア、メディカ出版2022、②臺有桂他編：在宅療養を支える技術、メディカ出版2022、 p60-66、p216-219 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業準備指示：在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱの授業資料を持参する。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間程度
	第１３回	在宅ターミナル期の療養者とその家族への援助②　外部講師：訪問看護師からの話 【key words】 終末期　緩和ケア　ターミナルケア　看取り　グリーフケア 【授業概要】 １）在宅ターミナルケアを取り巻く現状を説明する。 ２）在宅ターミナルもおける身体的・心理的・社会的特徴と経過について説明する。 ３）在宅ターミナルケアの条件、疼痛コントロール、チームケアの特徴について説明する。 ４）在宅ターミナルケアにおける家族支援について説明する。 ５）在宅ターミナルケアに関わる訪問看護師の役割について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：①臺有桂他編：地域療養を支えるケア、メディカ出版2022、②臺有桂他編：在宅療養を支える技術、メディカ出版2022、 p60-66、p216-219 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業準備指示：在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱの授業資料を持参する。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間程度
	第１４回	療養者とその家族への援助　まとめ① 【key words】 マインドマップ　振り返り 【授業概要】 １）在宅看護についてグループで振り返りを行い、マインドマップを作成し、発表する。 ２）在宅看護における知識・技術・態度の修得について、これまでの在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱを振り返り整理する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：①臺有桂他編：地域療養を支えるケア、メディカ出版2022、②臺有桂他編：在宅療養を支える技術、メディカ出版2022、 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業準備指示：在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱの授業資料を持参する。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間程度
	第１５回	療養者とその家族への援助　まとめ② 【key words】 マインドマップ　振り返り 【授業概要】 １）在宅看護についてグループで振り返りを行い、マインドマップを作成し、発表する。 ２）在宅看護における知識・技術・態度の修得について、これまでの在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱを振り返り整理する。　３）グループ発表を通して学びを共有する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：①臺有桂他編：地域療養を支えるケア、メディカ出版2022、②臺有桂他編：在宅療養を支える技術、メディカ出版2022

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業準備指示：在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱの授業資料を持参する。 復習：在宅看護のまとめについて整理する。 【予習復習に必要な想定時間】 1-2時間程度
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ・演習はジャージ、ナースシューズ着用。髪型等身だしなみは実習に準じる。 ・指定された事前学習及び事後レポートの提出をする。 〔受講のルール〕 ・授業シラバスを必ず確認し積極的に授業に臨むこと。 ・医療専門職及び対人サービス職として、出席時間の厳守と対象者が好感を持てる態度を身につけることは基 本である。そのため態度や身だしなみ等が整っていない場合受講を認めない。 ・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式、ICT利用（WEBフォーム）
授業外時間にかかわる情報	授業計画に示されている文献は必ず確認し、理解をして授業に臨むこと。わからない部分を授業にて解決するよう努力すること。各種手技は再学習し修得すること。
オフィスアワー	授業のある日の放課後～18時まで
評価方法	①筆記試験60%、（教科書、講義内容全般から出題する）。 ②演習課題40%（提出期限を遵守する）。 ③総合評価は、筆記試験とレポート課題を合わせて60%以上を超えていることが前提（詳細な評価基準は授業概要参照）
教科書	臺　有桂他編：ナーシンググラフィカ、地域・在宅看護論①　地域療養を支えるケア、メディカ出版、2022 臺　有桂他編：ナーシンググラフィカ、地域・在宅看護論②　在宅療養を支える技術、メディカ出版、2022
参考書	岡崎美智子、正野逸子編：根拠がわかる在宅看護援助技術第２版．メヂカルフレンド社．2010 樋口キエ子他編：退院支援から在宅ケアへ、筒井書房出版、2011 国民衛生の動向　2020/2021　厚生統計協会 杉本正子、眞舩拓子：在宅看護論　実践をことばに．ヌーベルヒロカワ．2011
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 総合病院や訪問看護ステーション勤務、介護支援専門員資格を有し、在宅看護学に関する研修会、勉強会、研究を行っている。 難病当事者からの語り、訪問看護ステーション管理経験者からの講義が一部含まれている。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 看護研究方法論　　授業コード： 20232

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	2	必修
担当教員			
大山　真紀子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 看護専門職を目指す者として、看護研究方法論の基礎を学び、研究疑問を科学的に探究する能力を養う。 〔到達目標〕 ①看護研究に関する基本的な知識、研究方法、研究の倫理について理解できる。 ②研究計画書を作成し、各自の研究テーマに基づく論文作成（看護研究）に活用できる。
授業の概要	看護実践の質の向上、看護学の発展、看護専門職としての専門性を発展させる上で、看護研究は必要不可欠である。 本科目では、看護研究の意義や目的、研究倫理、実践科学としての看護研究のあり方、看護研究を行う上で必要な知識と研究デザイン、研究計画の作成、文献クリティーク、論文のまとめ方、研究発表の仕方（プレゼンテーション）について学修する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	○

授業計画

第１回　科目オリエンテーション　看護研究プロセスの概要　文献検討の意義　文献検索の方法

【key words】
オリエンテーション、研究プロセス、文献検討
【授業概要】
授業の進め方と授業内容、評価の方法について理解する。
特に、当該科目の目標と看護学部DPとの関連について理解する。
自らの興味関心のある研究テーマを設定、文献検索を行い、各自研究をすすめる。
【教科書ページ・参考文献】
①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P2-63
②川村佐和子編集：ナーシング・グラフィカ　看護研究　MCメディカ出版　2019
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト及び研究に関する文献を読み、自己学習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第２回　文献講読とクリティーク

【key words】
文献講読、クリティーク
【授業概要】
文献（研究論文）を読みながら、文献の読み方及びクリティークの方法について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P215-220
②川村佐和子編集：ナーシング・グラフィカ　看護研究　MCメディカ出版　2019
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト及び研究に関する文献を読み、自己学習する。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～120分

第３回　研究と倫理

【key words】
看護研究、研究倫理
【授業概要】
看護研究における研究倫理について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】

		①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P19-30 ③日本看護協会編：看護に活かす基準・指針・ガイドライン集　2018　日本看護協会出版会 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み、自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第４回	研究課題と研究デザイン　　研究デザインの種類と特徴、概念枠組み　データの種類 【key words】 看護研究、研究デザイン、概念枠組み　データの種類 【授業概要】 看護研究における研究デザイン、概念枠組み、データの種類（量的データ・質的データ）について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P80-117 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み、自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第５回	量的研究　　量的研究のデータ収集と分析 【key words】 看護研究、量的研究、データ収集 【授業概要】 看護研究における量的研究のデータ収集の扱い方について理解し、分析方法について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P136-204 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み、自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第６回	量的研究　　質問紙調査票の作成 【key words】 看護研究、量的研究、質問紙調査 【授業概要】 看護研究における質問紙調査票の作成について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P153-158 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み、自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 660分～120分
	第７回	質的研究　　質的研究のデータ収集と分析　　事例研究と事例検討 【key words】 看護研究、質的研究、データ収集、データ分析エスノグラフィー 【授業概要】 看護研究における質的研究の特徴と質的研究のデータ収集と分析、エスノグラフィーについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P222-240 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み、自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第８回	論文のまとめ方①　研究論文の構成要素 【key words】 看護研究、論文作成、論文の構成 【授業概要】 看護研究における論文の構成及びその要素について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P212-214 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み、自己学習する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第９回	論文のまとめ方②　論文・抄録の書き方（ガイドライン） 【key words】 看護研究、データ分析 【授業概要】 看護研究における論文・抄録の書き方（ガイドライン）について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P212-214 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み、自己学習する。 ガイドラインの配布資料をよく読む。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１０回	論文発表の仕方、プレゼンテーション 【key words】 看護研究、研究発表、プレゼンテーション 【授業概要】 看護研究における研究発表及びプレゼンテーションの基本について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P210-212

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分 第１１回　研究計画書の作成①【演習】研究テーマの設定、研究動機、関連文献の講読 【key words】 看護研究、研究計画書 【授業概要】 研究計画書の作成に必要な構成要素について学ぶ。各自研究計画書の作成に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 ①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P120-134 【課題・予習・復習・授業準備指示】 研究に関する文献を読み、研究計画書の作成をすすめる。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分 第１２回　研究計画書の作成②【演習】研究目的・研究方法 【key words】 看護研究、論文作成、抄録作成 【授業概要】 各自研究計画書の作成に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 ①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P120-134 【課題・予習・復習・授業準備指示】 研究に関する文献を読み、研究計画書の作成をすすめる。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分 第１３回　研究計画書の作成③【演習】倫理的配慮 【key words】 研究倫理、倫理的配慮 【授業概要】 各自研究計画書の作成に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 研究に関する文献を読み、研究計画書の作成をすすめる。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　P23-30, 120-134 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分 第１４回　研究計画書の作成④【演習】研究計画書のまとめ、文献引用 【key words】 看護研究、研究計画書 【授業概要】 各自研究計画書の作成に取り組む。 研究計画書を完成させる。 【教科書ページ・参考文献】 ①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　全頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 研究に関する文献を読み、研究計画書の作成をすすめる。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分 第１５回　総括 【key words】 看護研究、研究計画書 【授業概要】 各自研究計画書の作成に取り組む。 研究計画書を完成させる。 【教科書ページ・参考文献】 ①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018　全頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 研究に関する文献を読み、研究計画書の作成をすすめる。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
受講生に関わる情報および受講のルール	自己の研究課題に対し主体的に取り組み、研究計画書を作成し、4年次の論文作成（看護研究セミナー）につなげる。 興味関心のある事項及び研究疑問について文献を読む。 看護研究に関する参考書を活用する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	自己の研究課題に関連する研究論文を読み、文献学習を積極的に行うこと。
オフィスアワー	授業終了後～2時間　　火曜日16：30～17：45
評価方法	筆記試験（客観・論述）　50%、課題学習・提出物50%により総合的に評価する
教科書	①南裕子、野嶋佐由美編集　看護における研究(第2版)　日本看護協会出版会　2018 ②川村佐和子編集：ナーシング・グラフィカ　看護研究　MCメディカ出版　2019 ③日本看護協会編：看護に活かす基準・指針・ガイドライン集　2018　日本看護協会出版会

参考書	随時紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 博士（看護学の学位を有し、看護学領域の教育・研究の実践及び、大学院教育での研究指導を行っている。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 地域・在宅看護学実習　　授業コード： 20251

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3	2	必修
担当教員			
塚越　八重子　　矢内つや子　　篠原百合子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕健康上の問題を持ちながら家庭で生活する対象を理解し、看護の実際を学ぶ。 1．自宅あるいは自宅以外の居宅（グループホーム、ケアハウス、有料老人ホームなど）における療養者とその家族の多様な生活を理解できる。 2．在宅の看護過程を理解できる。 3．訪問看護師として倫理的配慮のもとに看護を提供する意義を理解できる。 4．在宅療養・外来通院治療時における（退院支援部門含む）における在宅療養支援の重要性を理解できる。 5．訪問看護ステーションの特徴・機能が理解できる。 6．在宅ケアサービス及び関係機関・関係職種の関わりを理解できる。 7．看護者としての自己の役割を理解できる。
授業の概要	健康上の問題を持ちながら家庭で生活する対象を理解するために、群馬県内訪問看護ステーションにおける看護師との同行訪問を通じて、自宅あるいは自宅以外の居宅（グループホーム、ケアハウス、有料老人ホームなど）における療養者とその家族の多様な生活をする人々への看護の実際を学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	○
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	◎
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	

授業計画	第１回　　別紙実習要項参照
受講生に関わる情報および受講のルール	1)在宅看護論実習では生活の場や保健福祉行政機関等、様々な住民がいる場につくため、施設の内外を問わず言動には十分注意し、不用意に対象者の話をしない等、社会人として責任ある態度で臨むこと。 2)訪問看護では対象者・家族がホスト、看護師がゲストという立場である。常に対象者・家族の了解と協力を得るよう務め、言葉づかいや身だしなみに注意を払うこと。 3)訪問看護ステーションから提供された情報や実習記録等、個人のプライバシーに関わる記録物については取り扱いに十分注意し、放置・紛失しないこと。 4)服装・身だしなみは他家を訪問するマナーに見合ったもの、看護行為の提供に支障のないものに心掛けること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	その都度、適切に対応する。
授業外時間にかかわる情報	当日のまとめと考察、翌日の体験内容について調べ学習をして臨む。
オフィスアワー	実習日の14 - 16時。
評価方法	①出席状況。 ②実習内容:実習目的･目標に対する達成状況。 ③実習態度。 ④実習記録･レポート。

	※実習時間の4/5以上の出席を要する。
教科書	教科書:臺　有桂他編：ナーシンググラフィカ 在宅看護論①　地域療養を支えるケア.メディカ出版.2019. 臺　有桂他編：ナーシンググラフィカ 在宅看護論②　在宅療養を支える技術.メディカ出版.2018.
参考書	参考書：正野逸子・本田影子編著：関連図で理解する在宅看護過程 メジカルフレンド社出版.2018.
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 総合病院病棟や訪問看護ステーション勤務、介護支援専門員資格を有し、在宅看護学に関する研修会、勉強会、研究を行っている。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 看護研究（看護の統合と実践、公衆衛生看護活動展開論） 授業コード：20233

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	1	必修
担当教員			
看護専任教員			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 既習科目「看護研究方法論」での学習内容を活用し、自己の研究テーマに基づき看護研究の一連の過程を実施することを通じ、看護研究を実施するために必要な基礎的能力を習得する。 〔到達目標〕 ①看護研究として取り組みたい研究課題を明確化し、研究テーマを決定できる。 ②自己の研究テーマ、研究目的に基づき、研究計画書の作成ができる。 ③研究計画書に基づき、データ収集・分析を実施し、基礎的知識を得る。 ④研究結果を論述し、考察することができる。 ⑤実施した一連の過程を研究論文の形式に則って論述できる。 ⑥実施した一連の看護研究の過程を研究発表の方法に則って発表できる。 ⑦看護研究の過程を通して、看護研究に必要な基礎的知識と研究的態度を身につける。
授業の概要	既習の各看護学で学んだ基礎的知識及び「看護研究方法論」で作成した研究計画書を活用し、自己の研究テーマを設定し看護研究の一連の過程の体験を通して、看護研究を実施するために必要な基礎的知識を習得する。 本科目では、個々の学生の看護実習での実践した事例または各自の研究疑問、興味・関心のある研究テーマを選定し、文献検討、研究方法、論文作成、抄録作成、研究成果の発表など、看護研究の一連のプロセスを実際に経験し学修する。保健師教育課程の学生については、公衆衛生看護学上の研究課題についてテーマを設定し、看護研究を学修する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
〈看護学の知識〉看護学の観点から基礎的知識と幅広い教養を身につけている。	
〈コミュニケーション能力〉相互の立場を尊重した適切なコミュニケーション能力を身につけている。	
〈課題対応能力〉広く多元的に情報を収集し、科学的根拠の基に課題解決に向けた対応能力を身につけている。	◎
〈看護実践能力〉科学的根拠に基づき、安全・安楽・自立を基本とした看護実践が提供できるための能力を身につけている。	
〈共感的態度〉看護の振り返りや自己洞察を行い、共感的な態度をとる姿勢を身につけている。	
〈倫理観〉生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理的視点から考える態度を身につけている。	○
〈連携・協働力〉保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し他者と協働関係を築く力を身につけている。	
〈地域的・国際的視野〉地域的・国際的視野を持ち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身に付けている。	
〈研鑽し続ける姿勢〉看護専門職者に求められる新たな課題に対して、主体的に取り組む姿勢を身につけている。	◎

授業計画	第１回	科目オリエンテーション／研究テーマの決定 【key words】 オリエンテーション、研究テーマ、EBN、量的研究、質的研究 【授業概要】 今後の授業の進め方とおおよその内容、評価の方法について理解する。 特に、当該科目の目標と看護学部DPとの関連について理解する。 自らの興味関心のある研究テーマを設定、文献検索を行い、各自研究をすすめる。 保健師教育課程の学生は、実習地域の地域診断等から研究テーマについて考える。なお、担当指導教員は公衆衛生看護学領域の教員で対応し、実習地域との調整により決定する。 担当指導教員を決定する。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第２回	研究計画書の作成 【key words】 研究計画書、研究倫理、EBN、量的研究、質的研究 【授業概要】 各自研究計画書の作成に取り組む。 研究計画書に基づき、各自の研究をすすめる。 【教科書ページ・参考文献】

		看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第３回	研究データの収集の実践 【key words】 看護研究、データ収集 【授業概要】 自己の研究テーマにおける研究データの収集に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第４回	研究データの整理 【key words】 看護研究、データ収集、データの整理 【授業概要】 自己の研究テーマにおける研究データ収集の整理に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第５回	研究データの分析 【key words】 看護研究、データ分析 【授業概要】 自己の研究テーマにおける研究データの分析に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第６回	研究データの分析結果の文章化 【key words】 研究データ、分析結果、文章化 【授業概要】 収集した研究データの結果を文章化し、論文作成に繋げる。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第７回	研究論文の作成[1]緒言、研究目的 【key words】 看護研究、論文作成 【授業概要】 論文作成の手引きに基づき、各自論文作成に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第８回	研究論文の作成[2]研究方法 【key words】 研究論文、研究方法 【授業概要】 論文作成の手引きに基づき、各自論文作成に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第９回	研究論文の作成[3]研究結果 【key words】 研究論文、研究結果 【授業概要】

		論文作成の手引きに基づき、各自論文作成に取り組む 【教科書ページ・参考文献】 看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１０回	研究論文の作成[4]考察、結論 【key words】 研究論文、考察、結論 【授業概要】 論文作成の手引きに基づき、各自論文作成に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１１回	研究論文の抄録作成 【key words】 看護研究、論文作成、抄録作成 【授業概要】 作成した各自論文について、ガイドラインに沿って抄録作成に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１２回	研究発表会の準備[1]：発表原稿の作成 【key words】 研究発表、発表原稿の作成 【授業概要】 研究発表するための発表原稿及びパワーポイント（研究発表用）を作成する。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１３回	研究発表会の準備[2]：予行演習、プレゼンテーション 【key words】 看護研究、発表準備、プレゼンテーション 【授業概要】 研究発表の準備として、パワーポイントを用いた発表の予行演習を行う。 必要に応じて、修正を行う。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１４回	研究成果の発表 【key words】 研究発表、研究成果、プレゼンテーション 【授業概要】 学内研究発表会において、研究発表を行う。 質疑応答を行い、研究に対する理解を深め、自己課題を明確にする。 （研究発表会に２年生及び３年生が参加する） 【教科書ページ・参考文献】 看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト及び研究に関する文献を読み活用する。 担当教員（アドバイザー）とアポイントを取り、指導を受ける。 【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
	第１５回	総括　研究のまとめ 【key words】 グループワーク、看護専門職者としての態度 【授業概要】 これまでの研究のプロセスを通して学んだこと及び看護専門職者としての態度について、自身の考えをまとめる。 【教科書ページ・参考文献】 看護研究方法論で使用したテキスト及び授業資料を活用する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 論文作成及び研究発表までの過程を振り返り、グループワーク（討議）に活かす。 看護専門職者としての基礎的研究能力について考察する。

	【予習復習に必要な想定時間】 60分～120分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講に関わる情報〕 ・上記「授業計画」はあくまでも目安であるため、学生は、主体的に担当教員の指導を求め、その指導に基づき課題 に取り組む。 〔受講のルール〕 ・指導教員にアポイントメントをとり、指導を必ず受けること。 ・担当教員から提示された課題には主体的に取り組み、提出期限は必ず厳守すること。 ・保健師教育課程の学生は、公衆衛生看護学領域の教員からの指導を受ける。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式、その他（アンケート）
授業外時間にかかわる情報	・担当教員から提示された課題には真剣に取り組むこと。 ・わからない部分を授業にて解決するよう努力すること。
オフィスアワー	火曜日16：30～17：45　・各指導担当教員と相談の上、日時を決定し指導を受ける
評価方法	研究論文及び抄録、研究成果の発表（プレゼンテーション）、研究に取り組む姿勢について、看護研究セミナー評価表に基づき、単位認定教員が評価、判定する。
教科書	①南裕子：看護における研究，日本看護協会出版会，2019. ②日本看護協会編：看護に活かす基準・指針・ガイドライン集　2018　日本看護協会出版会
参考書	随時紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 博士または修士の学位を有し、各専門領域の教育・研究を行っている。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容